MUSIC PORTER X

SDMB / MP3 / ATRAC3 PLUS PLAYER / FM STEREO

User Manual

FOMA® D851iWM
'06.3

ドコモ　W-CDMA 方式

このたびは、「FOMA D851iWM」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書および電池パックなど機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA D851iWM は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いのうえ、末長くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA 端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所および FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが 3 本たっている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA 方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様は SSL をご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様による SSL のご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対し SSL の安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社
- この FOMA 端末は、FOMA プラスエリアに対応しております。
- この FOMA 端末は、ドコモの提供する FOMA ネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめて FOMA 端末をお使いになる方へ

本 FOMA 端末が「はじめての FOMA 端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA 端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 電池パックをセットし、充電しましょう（☛P41、P42）
2. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう（☛P46、P48）
3. 本体のキーなどの役割を確認しましょう（☛P26）
4. 画面に表示されるアイコンなどの意味を確認しましょう（☛P30）
5. メニューの操作方法を確認しましょう（☛P32）
6. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう（☛P50、P59）

- この「FOMA D851iWM取扱説明書」の本文中においては、「FOMA D851iWM」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
-
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

さまざまな検索方法で、知りたい機能や操作方法を探せます。

次ページで詳しく説明しています

操作手順の表記／キーの表記

- 操作手順は、主にショートカット操作で説明しています。操作方法が複数ある場合は、最も簡単な操作方法を記載しています。
- 本書では、操作手順を以下のように表記しています。

表　記	意　味
MENU 0 ▶ ▶ 端末暗証番号を入力	待受画面で MENU 0 を押したあと、 を押す。続けて、端末暗証番号を入力し、 を押す。

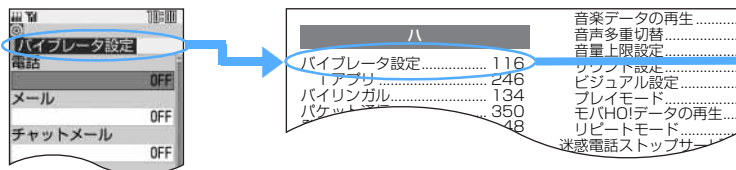
- 特に断りがないかぎり、待受画面からの操作手順を記載しています。
- 本書では、 （イージーセレクタープラス）で項目にカーソルを合わせる操作を、「選ぶ」と表記しています。また、 （イージーセレクタープラス）で項目にカーソルを合わせ、 （決定キー）を押して項目を選ぶ操作を、「選択」と表記しています。
入力欄に文字を入力する操作においては、最後に を押す操作を省略しています。
- 文字の入力方法は、主にインライン入力（入力欄を選択して文字を直接入力する方法）で説明しています。☛P354
- 本書では、キーの表記を省略しています。

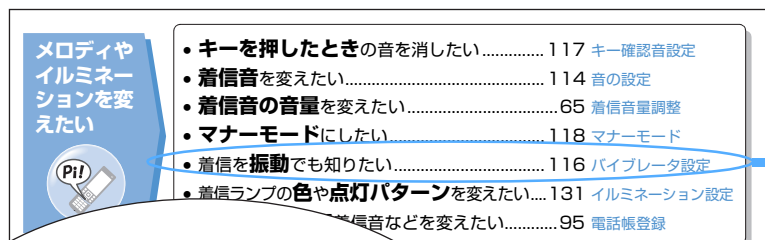
実際のキー	本書での表記
1 .,/@ あ	1

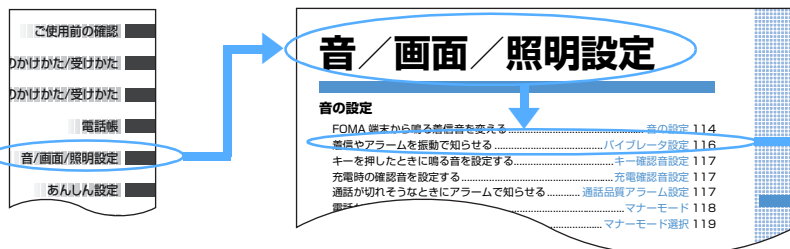
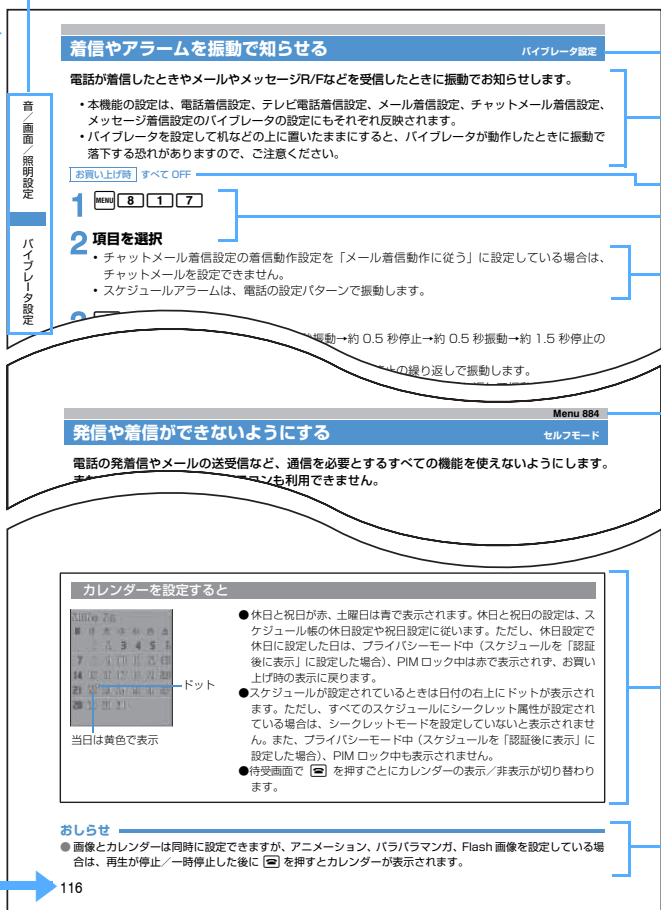
本書の見かた／引きかた

「バイブレータ設定」の記載ページを探すときを例に説明します。

「索引」から探すとき

あらかじめ機能名やサービス名がわかっているときは索引から探します。

「かんたん検索」から探すとき

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

「表紙インデックス」から探すとき

表紙→章扉（章の最初のページ）→機能の記載ページという順で探します。

- ページはサンプルです。本文中のページとは異なります。
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- トータルコーディネイト設定（☛P134）のお買い上げ時の設定は■ TGB design ですが、本書では、主に■ Prag の場合で説明しています。
- 本文中で、モバ HO!、ミュージックプレイヤー、FM ラジオに共通する説明では、これらの機能をまとめてオーディオ機能と記載しております。

かんたん検索

かんたん検索では、よく使う機能や知っていると便利な機能を簡単に探せます。

通話に便利な機能を知りたい

出られない電話にこうしたい

メロディやイルミネーションを変えたい

画面表示を変えたい／知りたい

メールを使いこなしたい

オーディオ機能を利用したい

安心して電話を使いたい

こんなこともできます

目次

Contents

FOMA D851iWM の特徴

FOMA は、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の 1 つとして認定された W-CDMA 方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

ｉ モードだからスゴイ！

ｉ モードは、ｉ モード端末のディスプレイを利用して、ｉ モードのサイト（番組）や ｉ モード対応ホームページから便利な情報をご利用いただけるほか、手軽にメールのやりとりができるオンラインサービスです。

ｉ モーション

サイトやインターネットから映像や音を取得して楽しめます。FOMA端末に保存した ｉ モーションを、着信音や着信画像に設定することもできます（着モーション）。☛P193

ｉ モーションメール

内蔵カメラで撮影した動画やサイトから取得した ｉ モーションを、ｉ モードメールに添付して送ることができます。☛P208

D851iWM の主な特徴

ｉ チャネル

ニュースや天気などをグラフィカルな情報として受信できます。定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉ チャネル対応キー（CLR）を押すことでチャネル一覧に表示できます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。☛P256
また、ｉ チャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料でおためしサービスを利用できます。
・お申し込みが必要な有料サービスです。

テレビ電話

離れている相手と顔を見ながら会話できます。お買い上げ時は相手の声がスピーカーから聞こえるようになっているので、すぐに会話を始めることができます。☛P78

ｉ アプリ／ｉ アプリ DX

さまざまな ｉ アプリをサイトからダウンロードして活用したり、それらを待受画面に設定したりできます。
さらに ｉ アプリ DX では、電話帳やメールなど ｉ モード端末内の情報と連動することで、より ｉ アプリの楽しみかたが広がります。
☛P242

デコメール

メール本文の文字の色、大きさや背景色を変えたり、デコメールピクチャや内蔵カメラで撮影した写真を本文中に挿入できるなど、表現力豊かなメールを作成し、送信できます。またテンプレートに対応しているので、送られてきたデコメールやサイトからダウンロードしたデコメールの様式を利用し、簡単にデコメールを作成できます。
☛P204

あんしん設定

シークレットモード

電話帳やスケジュールに「シークレット属性」を設定すると、シークレットモード中以外は表示されなくなります。☛P147

プライバシーモード

端末暗証番号を入力しないと電話帳、メール、画像、スケジュール、着信履歴、リダイヤルなどを表示できないように設定できます。FOMA 端末を一定時間操作しないと自動的にプライバシーモードにする設定もできます。☛P144

・その他のあんしん設定については ☛P135

豊富なネットワークサービス

- ●留守番電話サービス（有料）※1 ☛P342
- ●転送でんわサービス（無料）※1 ☛P344
- ●SMS（ショートメッセージ）（無料）☛P236
- ●キャッチホン（有料）※1 ☛P343
- ●デュアルネットワークサービス（有料）※1 ☛P345

※1：お申し込みが必要です。

多彩な機能

モバHO!

- モバHO!※1の音楽・音声チャンネルが受信できます。最新ヒット曲やトップチャートなど多彩な番組を聴くことができます。☛P260
- 受信中の放送を約20時間〜30時間程度録音できます。※2録音後は、ミュージックプレイヤーで、曲を選んで再生できます。☛P264、P265

※1：モバHO!は、モバイル放送株式会社が提供する有料の移動体向け衛星デジタル放送サービスです。受信には別途契約が必要です。

※2：番組によって情報量が異なるため、録音できる時間は異なる場合があります。

ミュージックプレイヤー

- 1Gバイトの内蔵メモリに、音楽CDや音楽配信サイトからダウンロードした音楽データを最大約2800分録音できます。※3☛P269
- 再生中に、内蔵されている Flash 画像をアニメーション表示したり、撮影した静止画をスライドショー表示したりできます。☛P281
- 低消費電力テクノロジー（音楽専用ICチップ）を搭載することにより、音楽連続再生が最大約20時間まで可能です。※3☛P42

※3：データ形式がATRAC3plus、ビットレートが48kbpsの場合の時間です。

FMラジオ

FMラジオ（76.0MHz〜90.0MHz）やテレビ放送（1ch〜3ch）の音声を聴くことができます。都道府県を設定することで、お使いになる地域の放送局を簡単に登録できます。☛P274

アニメーションメニュー

Flash画像によるアニメーションメニュー（Flash™メニュー）が搭載されました。☛P32

ワンプッシュオープン

サイドのワンプッシュオープンボタンを押すと、片手ですばやくスライドオープンできます。

スライド連動機能

- 着信中にFOMA端末を開くだけで電話に出られます。☛P62
  また、通話中にFOMA端末を閉じるだけで通話を終了したり保留できます。☛P62
- 受信メールやスケジュール表示中にFOMA端末を開くだけで、返信画面やスケジュールの編集画面を表示できます。☛P318

マルチアクセス機能

音声通話とパケット通信を同時に利用できます。iモード中の通話や、通話中のメールの送受信ができます。☛P316

マルチタスク機能

複数の機能を同時に実行し、切り替えながら利用できます。たとえば電話したり、音楽データを再生したり、FMラジオを聴いたりしながら受信メールを読んだり、電話帳を登録したりできます。☛P317

トータルコーディネイト

画面デザインの各設定に統一感を持たせてコーディネイトすることができます。☛P134

シンプルメニュー

通常のメインメニューとは別に、「でんわ」や「メール」、「音楽／カメラ」、「iモード」などのよく使う機能を見やすく大きい文字で表示したメニューがあります。☛P33

高精細、大画面ディスプレイ

240×400ドット、2.8インチの大型TFT液晶を搭載。細かい画像や文字などを大画面で美しく表示します。

自動時刻補正

ドコモネットワークからの時刻情報をもとに、FOMA端末の時刻を補正します。設定した時間だけ進めたり、遅らせたりすることもできます。☛P46

美しい音質でメロディ再生

PCM音源64和音、声や効果音などの着信音（ADPCM音源）にも対応しています。

赤外線通信／赤外線リモコン

赤外線を利用して他のFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、テレビの赤外線リモコンに対応した機器を操作することもできます。☛P306、P310

カメラ搭載

- ディスプレイ側にのみカメラを搭載しています。フレーム付き撮影、連続撮影など、さまざまな撮影方法を選択できます。
  有効画素数：32万画素
  最大記録画素数：31万画素
- 動きのなめらかな高画質な動画を撮影・再生できます。☛P161、P292

より使いやすくなったメール機能

- 圏外から圏内に移動したとき、圏内自動送信設定済みの未送信メールを自動的に送信します。☛P211
- あらかじめ返信メールの本文を登録しておくと、簡単に返信できます（クイック返信）。☛P230
- 電話帳やカレンダーからメールの検索が簡単にできます。☛P101、P326
- ATOK+APOT（AI推測変換）搭載により、効率的に文字を変換できます。

D851iWMを使いこなす！

D851iWMの多彩なビジュアルコミュニケーションを紹介します。

キャラ電で気持ちを伝える

テレビ電話で通話するとき、自分の映像の代わりにキャラクタを相手の画面に表示できます。キー操作でアクション（動きや表情）を付ければ、気持ちも表現できます。☛P83、P298

自分の画面

アクション一覧のテロップ表示

©BVIG

キーを押してアクションを指示します。

相手の画面

©BVIG

キャラクタが動きます。

デコメール

メールの文字の色を変えたり、画像や写真を付けたり、メールを自由に装飾できます。あらかじめデコメールピクチャが内蔵されているので、簡単に画像を設定できます。☛P204
また、デコメールテンプレートを利用すると、簡単にデコメールを作成できます。☛P371

デコメールピクチャの例

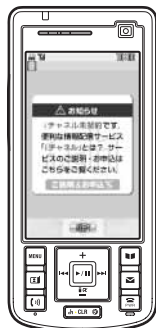
デコメールピクチャ

デコメールテンプレートの例

iチャネル

自分で操作することなく、いろいろな情報を定期的に受信することができます。
また、iチャネル対応キー（CLR）を押すことでチャネル一覧を表示することができ、さらにリッチな詳細情報を取得することができます。☛P256

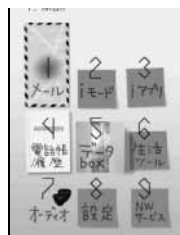
未契約

契約後

画面のカスタマイズ

- 待受画面には未読メール、不在着信などの新着情報や、カレンダー、スケジュールなどを表示でき、簡単な操作で内容を確認できます（カスタム待受画面）。また、設定したフォルダ内の画像をランダムに待受画面に表示することもできます。☛P124、P122
- トータルコーディネイト設定により、待受画面、カラーテーマ設定などを一括で設定できます。☛P134

カスタム待受画面

[ボタン] を押して選びます。　内容を確認できます。

トータルコーディネイト（■ Prag）の例

G ガイド番組表リモコン搭載

G ガイド番組表リモコンは、テレビ番組表とテレビリモコン機能が 1 つになった月額利用料が無料の便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。お住まいの地域に応じたテレビ局のタイトル、番組内容、開始／終了時間などを知ることができます。気になった番組情報があったら、すぐにお友達に番組のタイトル、番組の放送スケジュールなどをメールで知らせる「おすすめメール」機能があります。
また、お使いのテレビのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。☛P311

画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

音楽を聴きながら、スライドショーやアニメーションを見る

音楽や録音したモバ HO! を聴きながら、撮影した静止画や、画像をスライドショーで表示したり、Flash 画像をアニメーションで表示したりすることができます。好きな曲やアーティストに合った静止画や画像をフォルダごとに整理しておき、フォルダを選んで、内容をスライドショーで表示することもできます。（ビジュアル設定）☛P281

音楽データ再生時の
通常表示画面

[ボタン] を 2 回押します。

ビジュアル
表示画面

ビジュアル設定で設定した内容が表示されます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- **次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。**

表示	内容
	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- **次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。**

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

絵表示	内容
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

- **「安全上のご注意」は下記の 8 項目に分けて説明しています。**

FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMA カードの取扱いについて（共通）

⚠危険

指示

FOMA 端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。
指定品以外のものを使用した場合は、FOMA 端末や電池パック、その他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　D07	卓上クレードル　D01	リアカバー　D09
FOMA AC アダプタ　01	FOMA DC アダプタ　01	マイク付リモコン　D02
アンテナ内蔵ヘッドホン　D01	車内ホルダ　01	

- その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。
また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火のそばや、ストーブのそば、直射日光の強いところや炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

水ぬれ禁止

濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA 端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。
ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. **電源プラグをコンセントやソケットから抜く。**
2. **FOMA 端末の電源を切る。**
3. **電池パックを FOMA 端末から取り外す。**

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

指示

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがや故障の原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
故障の原因となります。

指示

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話、ｉモード、ｉアプリ、モバHO!聴取、音楽再生の繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタ（充電器含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じるおそれがあります。
FOMA 端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA 端末の取扱いについて

⚠警告

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA 端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA 端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。
- ご注意いただきたい電子機器の例
  補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
  植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用になる方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。
また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与えることがあります。

禁止

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。
FOMA 端末を医用電気機器などの近くで携行および使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に影響を与える可能性があります。

禁止

自動車などを運転中に使用しないでください。
2004 年 11 月 1 日から、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となっております。ハンズフリーキットをご利用の場合でも車を安全な場所に停車してからご利用ください。運転中は、公共モードまたは留守番電話サービスをご利用ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話するときは（スピーカーホン機能）、必ずFOMA端末を耳から離して使用してください。
難聴になる可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

禁止

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、ヘッドホンの音量を上げないでください。また周囲の交通、路面状態には気をつけてください。
事故の原因となります。

禁止

自動車やバイク、自転車などの運転中は、モバHO!や音楽、FMラジオを聴かないでください。
周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因になります。また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏み切りや横断歩道ではご注意ください。

⚠注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質
ディスプレイ側ケースの側面	マグネシウム合金MD1D（JIS）相当品※1

※1：塗装されていますが、はがれると肌に触れる可能性があります。

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、感電、故障などの原因となります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。
安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

電池パックの取扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

危険

指示

電池パック内部の液が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

マイク付リモコンの取扱いについて

⚠注意

禁止

マイク付リモコンを利用する際は、クリップの部分に指を挟まないようご注意ください。
けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

アンテナ内蔵ヘッドホンの取扱いについて

⚠注意

禁止

アンテナ内蔵ヘッドホンを利用する際は、正しく装着し、混雑した場所で他の人の荷物やアクセサリなどにネックバンドやコードを引っ掛けたりしないようご注意ください。
コードが首に絡み、けがなどの事故や破損の原因となることがあります。

オプション品（AC アダプタ、DC アダプタ、卓上クレードル、車内ホルダ）の取扱いについて

⚠警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上クレードルは、風呂場などの湿気の多い場所では、使用しないでください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。
感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

ぬれ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。
感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

つづく

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

禁止

充電中は、アダプタ（充電器含む）および卓上クレードルを安定した場所に置いてください。また、アダプタ（充電器含む）および卓上クレードルを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
FOMA 端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

DC アダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA 端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。
落雷、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、FOMA 海外兼用 AC アダプタ 01 を使用してください。

AC アダプタ：AC100V
FOMA 海外兼用 AC アダプタ
：AC100 ～ 240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DC アダプタ：DC12V・24V
（マイナスアース車専用）

指示

DC アダプタのヒューズが万一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントやソケットから抜いて、行ってください。
感電の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）をコンセントやソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを引っ張らないでください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

FOMA カードの取扱いについて

注意

指示

FOMA カード（IC 部分）を取り外す際はご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

本記載の内容は『医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針』（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA 端末の電源を切るようにしてください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には FOMA 端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA 端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA 端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部から FOMA 端末は 22cm 以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

●水をかけないでください。

FOMA 端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMA カードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかるようなことはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れなどによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

●お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

・FOMA 端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布 (めがね拭きなど) で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。

・アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

●端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

●エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

●FOMA 端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

●電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA 端末についてのお願い

●極端な高温、低温は避けてください。

温度が 5 ℃～ 35 ℃、湿度が 45%～ 85%の範囲でご使用ください。

●一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

●お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●ズボンやスカートの後ろポケットに FOMA 端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

故障の原因となります。

●ストラップなどを挟んだまま、FOMA 端末を閉じないでください。

故障、破損の原因となります。

●使用中、充電中、FOMA 端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

●カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

●モバ HO! 機能をご利用中は FOMA 端末が熱くなりますので、手や顔などで触れる場合はご注意ください。

電池パックについてのお願い

●電池パックは消耗品です。

使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
  長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末から外し、電池パックを包装しているビニール袋などに入れて保管してください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  ・湿気、ほこり、振動の多い場所　・一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中にFOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他のICカード読み取り装置（リーダー／ライター）などに、FOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管してくださるようお願いします。
  万一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- 極端な高温・低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
  故障の原因となります。

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標について

本書に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉ モーション」「ｉ モード」「ｉ アプリ」「ｉ アプリサーチ」「ｉ モーションメール」「ｉ ショット」「ｉ メロディ」「ｉ アニメ」「DoPa」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「ショートメール」「クイックキャスト」「着モーション」「デコメール」「V ライブ」「ｉ エリア」「キャラ電」「ｉ アプリ DX」「ｉ チャネル」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「sigmarion」「セキュリティスキャン」「musea」「ビジュアルネット」「公共モード」「マルチナンバー」「e ビリング」「メッセージ F」「トクだねニュース便」「My DoCoMo」「MUSIC PORTER X」および「FOMA」ロゴ「ｉ-mode」ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「MUSIC PORTER X」ロゴは NTT ドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Microsoft®、Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Java 及び Java に関連するすべての商標は、米国及びその他の国において米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2006 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlend および JBlend に関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

- 「マルチタスク／ Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- NetFront および NetFront は、株式会社 ACCESS の日本並びにその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は Macromedia, Inc. の Macromedia® Flash™ テクノロジーを搭載しています。
  Copyright© 1995-2006 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia Flash は Macromedia, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー ® は米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の登録商標です。
- Adobe および Reader は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
  Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの登録商標です。
- 「BeatJam」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「BeatJam」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- 「BeatJam」「ATOK」「APOT（Advanced Prediction Optimization Technology）」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 「OpenMG」「ATRAC」「ATRAC3plus」「ATRAC3」は、ソニー株式会社の商標です。
- 「Gガイドモバイル」およびそのロゴ、「Gガイド」およびそのロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.またはその関係会社の日本国内における登録商標です。

- QuickTime は米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- symbian
  本機には、Symbian Software Ltd よりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。Symbian、Symbian OS、およびすべての Symbian 関連の商標およびロゴは Symbian Software Ltd の商標または登録商標です。©1998-2006 Symbian Software Ltd. All rights reserved.
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson multimedia.
- モバ HO! および モバHO! はモバイル放送株式会社の商標または登録商標です。
- その他、本文中に掲載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

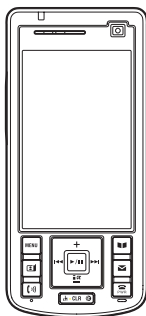
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において、以下に記載する場合のみ使用することが認められています。
  ・MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  ・個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録された MPEG-4 Video を再生する場合
  ・MPEG LA よりライセンスを受けた提供者により提供された MPEG-4 Video を再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

4,901,307	5,600,754	5,267,261	5,506,865	5,710,784
5,504,773	5,416,797	5,568,483	5,228,054	5,778,338
5,109,390	5,490,165	5,414,796	5,544,196	
5,535,239	5,101,501	5,659,569	5,337,338	
5,267,262	5,511,073	5,056,109	5,657,420	

- 本製品はインターネット機能として、株式会社ACCESSのNetFrontを搭載しています。
  NetFrontは日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  Copyright© 1996-2006 ACCESS CO., LTD.
  本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  ・Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  ・Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
  ・Windows Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
  ・Windows 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
  ・Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND EDITIONの略です。
  ・Windows NT Serverは、Microsoft® Windows NT® Server Network operating system Version 4.0の略です。
  ・Windows XP、2000、Me、98 のように併記する場合があります。
  ・Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。

本体付属品および主なオプション品について

本体付属品

FOMA D851iWM
（保証書、リアカバー D09 含む）

取扱説明書（本書）

クイックマニュアル記載 ☛P412

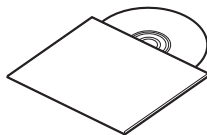
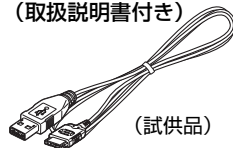
FOMA D851iWM 用
CD-ROM

PDF 版「データ通信マニュアル」を収録

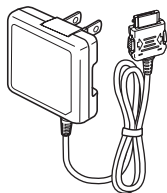
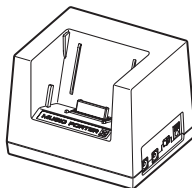
BeatJam サポートガイド
BeatJam 音楽転送クイックガイド
（別冊）

USB 接続ケーブル
（取扱説明書付き）

（試供品）

マイク付リモコン D02
（保証書、取扱説明書付き）

アンテナ内蔵ヘッドホン D01
（保証書、取扱説明書付き）

主なオプション品

FOMA AC アダプタ 01
（保証書、取扱説明書付き）

卓上クレードル D01
（保証書、取扱説明書、
FM アンテナ（試供品）付き）
☛P283

電池パック D07
（取扱説明書付き）

• その他のオプション品について ☛P387

ご使用前の確認

各部の名称と機能

サイズ（mm）：高さ109×幅50×厚さ24
（閉じているとき）
質量（g）　：約 136（電池パック装着時）

① **着信ランプ**
電話着信時やメール受信時、FOMA 端末開閉時、カメラ撮影時などに点灯／点滅します。点灯パターン、点灯色を設定できます。また、新着情報があるときに点滅します（☛P131）。充電中は赤く点灯します。

② **受話口**
相手の声がここから聞こえます。

③ **ディスプレイ**☛P30

④ **MENU ／左上ソフト／マナーモードキー**
メニューの表示、ガイド行左上に表示される操作の実行、マナーモードの設定／解除などに使います。

⑤ **テレビ電話開始／スクロール／左下ソフトキー**
テレビ電話をかける／受ける、メールやサイト画面の1画面スクロール、文字入力時の大文字／小文字切り替え、ガイド行左下に表示される操作の実行などに使います。

⑥ **音声電話開始／スピーカーホン／文字キー**
音声電話をかける／受ける、スピーカーホン機能の切り替え、文字入力時の入力モード切り替えなどに使います。

⑦ **CLR ｉチャネル／クリアキー**
チャネル一覧の表示、文字の消去や、1つ前の画面に戻る、セルフモードの設定／解除などに使います。また、ｉアプリ待受画面を設定中に押すとｉアプリが起動します。

⑧ **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行などに使います。

⑨ **＊／公共モード（ドライブモード）キー**
「＊」の入力、公共モード（ドライブモード）の設定／解除、カメラ使用時の画面モードの切り替えなどに使います。

⑩ **送話口／マイク**
自分の声を伝えます。

⑪ **赤外線ポート**☛P307
赤外線でデータをやりとりします。

⑫ **カメラ**☛P86、P154
カメラやビデオカメラで自分を撮影したり、テレビ電話で自分の映像を送信したりします。

⑬ **イージーセレクタープラス**
決定キー
操作の実行、フォーカスモードの実行、ワンタッチ登録したｉアプリの起動などに使います。
データ BOX ／↑キー
データBOXメニューの表示､カメラの起動､カーソルの上方向への移動、音量の調整などに使います。
ｉモード／ｉアプリ／↓キー
ｉモードメニューの表示、ｉアプリフォルダ一覧の表示、カーソルの下方向への移動、音量の調整などに使います。

[⇦] **着信履歴／←（前へ）キー**
着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソルの左方向への移動、プライバシーモードの起動／解除などに使います。
[⇨] **リダイヤル／→（次へ）キー**
リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソルの右方向への移動などに使います。

⑭ **[📖] 電話帳／スケジュール／右上ソフトキー**
電話帳やスケジュールの表示、ガイド行右上に表示される操作の実行などに使います。

⑮ **[✉] メール／スクロール／右下ソフトキー**
メールメニューの表示、新規メール作成、メールやサイト画面の1画面スクロール、ガイド行右下に表示される操作の実行などに使います。

⑯ **[☎] 電源／終了／応答保留キー**
電源を入れる／切る、通話／操作中の機能の終了、応答保留、シークレットモードの解除などに使います。また、カスタム待受画面やカレンダーの表示／非表示の切り替えに使います。

⑰ **[#] # ／マナーモード／改行キー**
「#」の入力、マナーモードの設定／解除、文字入力時の改行などに使います。

⑱ **拡張接続端子**
付属のマイク付リモコンや、卓上クレードル（別売）を接続します。

⑲ **リアカバー**

⑳ **スピーカー**
着信音などが鳴ります。また、スピーカーホン機能使用時は、相手の声がここから聞こえます。

㉑ **FOMA用アンテナ部（アンテナ内蔵）**
よりよい条件で電話を利用するためには、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

㉒ **モバHO!用アンテナ部（アンテナ内蔵）**
FOMA端末だけでモバHO!を受信する場合、よりよい条件でモバHO!を受信するためには、アンテナ部を人体から離した状態でお使いください。

㉓ **ストラップ取付口**

㉔ **外部接続端子** ☛P44、P270
各種オプション品などを接続します。

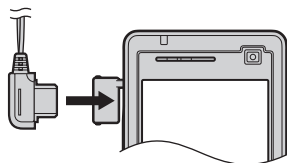
㉕ **[▣] TASKキー**
マルチアクセス･マルチタスクの操作に使います。

㉖ **[♫] 音楽機能キー**
伝言メモ／音声メモメニューの表示、クイック伝言メモの開始、カメラの撮影、着信音／アラーム音の停止などに使います。また待受画面で1秒以上押すと、最後に起動したオーディオ機能が起動します。

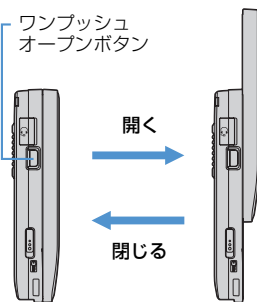
㉗ **イヤホンマイク端子**
平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を接続します。

㉘ **ワンプッシュオープンボタン**
FOMA端末を開くときに使います。

㉙ **プロテクトキー** ☛P146
プロテクトキーロックの設定／解除に使います。

スイッチ付イヤホンマイクの接続方法

- 付属のマイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンの接続方法 ☛P29
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを差し込んで使用できます。また、イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使えます。

FOMA 端末を開く／閉じる

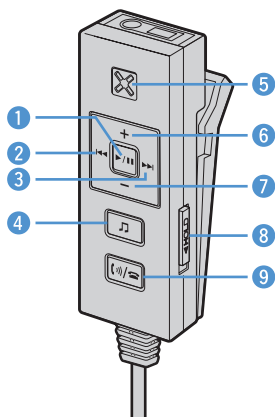
FOMA 端末を開くときは、ワンプッシュオープンボタンを押してください。閉じるときは、前面部（ディスプレイが付いている部分）を下にスライドさせてください。

- FOMA 端末を開くことで、メールの返信画面やスケジュール、メモ帳編集画面の表示などが簡単にできます。☛P214、P322、P334
- FOMA 端末を閉じたまま通話できます。また、FOMA 端末を開いて電話に出たり、FOMA 端末を閉じて通話を終了、保留したりできます。☛P62
- ワンプッシュオープンボタンを押さずに無理に開いたり、乱暴に開閉すると破損の原因となりますのでご注意ください。

おしらせ

● 拡張接続端子は付属のマイク付リモコン、もしくは別売の卓上クレードルとの接続専用のコネクタとなります。それ以外のコネクタを接続すると破損等の恐れがありますので、絶対行わないでください。

付属のマイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンの使いかた

付属のマイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンを接続してモバHO!や音楽、FMラジオを聴くことができます。付属のマイク付リモコンのキーで、オーディオ機能の起動や切り替え、再生や選局などを操作できます。また、簡単に電話をかけたり、受けたりすることもできます。

- FOMA端末の開閉にかかわらず操作できます。
- 詳しくは、付属のマイク付リモコンの取扱説明書をご覧ください。
- アンテナ内蔵ヘッドホンは、モバHO!用のアンテナを内蔵しています。

❶ **再生／一時停止キー**
モバHO!聴取中：1秒以上押すと録音を開始します。録音中に押すと録音を停止します。受信停止中に押すと受信を再開します。
ミュージックプレイヤー起動中：音楽データを再生／一時停止します。
FMラジオ起動中：受信停止中に押すと受信を再開します。

❷ **前曲・前局送りキー**
モバHO!聴取中：前のチャンネルに送ります。
ミュージックプレイヤー起動中：前曲に送ります。曲の途中（1秒以上経過）で押すと、現在の曲の先頭に戻ります。再生中に1秒以上押すと巻き戻しします。
FMラジオ起動中：前プリセット局に送ります。1秒以上押すと放送局を自動選局します。

❸ **次曲・次局送りキー**
モバHO!聴取中：次のチャンネルに送ります。
ミュージックプレイヤー起動中：次曲に送ります。再生中に1秒以上押すと早送りします。
FMラジオ起動中：次プリセット局に送ります。1秒以上押すと放送局を自動選局します。

❹ **音楽機能キー**
オーディオ機能起動中に押すとミュージックプレイヤー→FMラジオ→モバHO!聴取の順に機能が切り替わります。
待受画面や他の機能起動中※1に1秒以上押して、前回終了時のオーディオ機能を起動します。
1秒以上押すと起動中のオーディオ機能を終了します。
※1　起動中の機能によります。☛P263

❺ **マイク**
自分の声をここから伝えます。

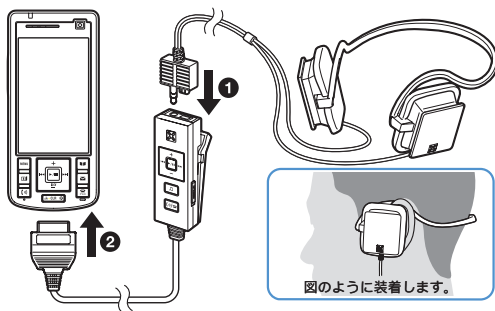
❻ **音量アップキー**
オーディオ機能起動中に音量を上げます。

❼ **音量ダウンキー**
オーディオ機能起動中に音量を下げます。

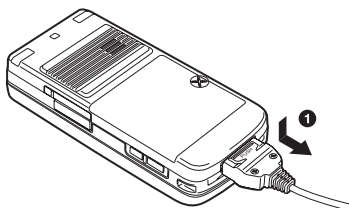
❽ **ホールドキー**
▼の方向にスライドすると以外の操作を無効にし、誤操作を防ぎます（の操作は無効にはなりません）。解除するには▼と反対の方向にスライドします。

❾ **開始／終了キー** ☛P335
電話をかけたり、受けたりするときに1秒以上押します。

接続のしかた

・接続プラグはしっかり差し込んでください。きちんと差し込まないと、音が聞こえない場合や、マイク付リモコンが動作しない場合があります。

❶ 付属のマイク付リモコンにアンテナ内蔵ヘッドホンの接続プラグを差し込む

❷ FOMA 端末の拡張接続端子に付属のマイク付リモコンの接続プラグを、PUSH と書かれた面を裏にして差し込む

取り外しかた

❶ 付属のマイク付リモコンの接続プラグの PUSH と書かれた面の中央部を押しながら、まっすぐ引き抜く

❷ アンテナ内蔵ヘッドホンのプラグを持って、付属のマイク付リモコンから引き抜く

おしらせ

● 付属のマイク付リモコンと平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）を同時に接続して使用しないでください。

● 付属のマイク付リモコンやアンテナ内蔵ヘッドホンを取り外すときは、コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。故障の原因となります。

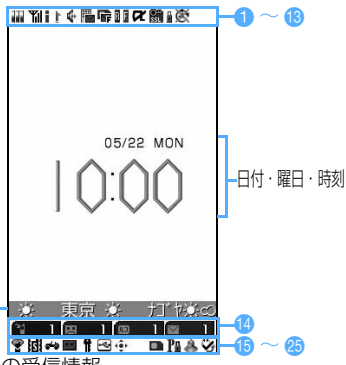
● マイク付リモコンやアンテナ内蔵ヘッドホンを取り扱うときは、ケーブルやコードを持って本体などをぶらさげたり引っ張ったりしないでください。

● マイク付リモコンのアンテナ内蔵ヘッドホン接続部に金属片などをはさまないでください。

● アンテナ内蔵ヘッドホンを大音量で使用すると、耳に傷害を与える恐れがありますので、呼びかけられて返事ができるくらいの音量に設定してご使用ください。

● アンテナ内蔵ヘッドホンに強い衝撃を与えたり、アンテナ内蔵ヘッドホンを投げつけたりすると故障の原因となります。

ディスプレイの見かた

ここではディスプレイの上部、下部に表示されるマーク（アイコン）の説明をします。

ｉチャネルの受信情報
ｉチャネルサービスをご利用の場合、テロップ表示設定でテロップ表示を「表示する」に設定していると、待受画面にｉチャネルの受信情報がテロップ表示されます。☛P257

① ：電池残量表示☛P45
漢／ｶﾅ／ｶﾅ／数／英／英／数／数
：文字入力モード表示☛P355

② ：受信レベル☛P46
圏外：圏外表示☛P46
self：セルフモード中☛P142
：データ転送モード中☛P306
オーディオメモリモード中☛P269
データリンクソフト使用中☛P388

③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）☛P176
：ｉモード中（パケット通信中）
☛P188、P212

④ ：赤外線通信中☛P306
赤外線リモコン使用中☛P310

⑤ ：スピーカーホン機能利用中☛P51
※1 ：USBハンズフリー対応機器で通信中
☛P59
：積算通話料金が上限を超過☛P333

⑥ ：センターにｉモードメールとメッセー
※1 ジR/F満杯※2☛P213、P188
／／
：センターにｉモードメールまたはメッセージR/F満杯☛P213、P188
：センターに未受信のｉモードメールとメッセージR/Fあり☛P213、P188
／／
：センターに未受信のｉモードメールまたはメッセージR/Fあり☛P213、P188

⑦ ：未読ｉモードメール、SMS満杯で
※1 FOMAカードにSMS満杯☛P238
：未読ｉモードメール、SMS満杯
☛P213、P238
：FOMAカードにSMS満杯☛P238
：未読ｉモードメールとSMSあり
☛P212、P237
：未読ｉモードメールあり☛P212
：未読SMSあり☛P237

⑧ R／R（青／赤）
：未読メッセージRあり／満杯☛P188

⑨ F／F（緑／赤）
：未読メッセージFあり／満杯☛P188

⑩ ：ｉアプリ動作中☛P244
：ｉアプリ待受画面表示中☛P122
：ｉアプリ待受画面からｉアプリ起動中
☛P250
：ｉアプリDX動作中☛P244
：ｉアプリDX待受画面表示中☛P122
：ｉアプリDX待受画面からｉアプリ起動中☛P250

⑪ ：SSLページ表示中およびSSLページか
※1 らダウンロードしたｉアプリを使用中またはｉアプリでSSL通信中☛P177
：圏内自動送信失敗メールあり☛P211
：圏内自動送信メールあり☛P211

⑫ ：シークレットモード中☛P147

⑬ ：ｉアプリ自動起動失敗☛P249

⑭ ：フォーカスモードアイコン☛P37

⑮ ：通常マナーモード中☛P118
：オリジナルマナーモード中☛P119

⑯ ：電話着信音消音設定中☛P66
：音声電話着信のバイブレータ設定中☛P116
：電話着信音消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中☛P66、P116

⑰ ：公共モード（ドライブモード）中☛P70

⑱ ：伝言メモ設定中☛P72
：伝言メモ満杯☛P72

⑲ ：プロテクトキーロック中（一時解除中はグレー）☛P146

⑳ ：USB接続ケーブルで外部機器に接続中
☛P91

㉑ ／●
：フォーカスモード時のイージーセレクタープラスの有効キーの表示☛P37

㉒ ：FOMAカード読み込み中☛P46

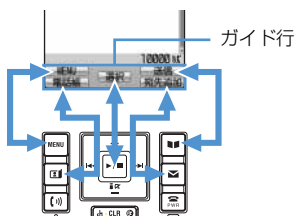
㉓ ：PIMロック中☛P143
※1 ：ダイヤル発信制限中☛P144

㉔ ：アラーム設定中☛P319
：スケジュールアラーム設定中☛P322
：アラームとスケジュールアラームを同時に設定中

㉕ ：ソフトウェア更新予約中☛P401
※1 ：最新パターンデータの自動更新失敗☛P403
：最新パターンデータの自動更新成功☛P403
※1：現在優先度の高いものが1つ表示されます。優先度の高い順に上から掲載しています。
※2：i モードメール、メッセージR/Fのうち1種類が満杯で、その他に未受信のメール／メッセージがある場合にも表示されます。

ガイド行の見かた

ガイド行には、MENU、、、、を押して実行できる操作が表示されます。

例 メール作成画面表示中のガイド行

表示位置とキーは、図のように対応しています。本書では、ガイド行に表示される操作の説明を、対応するキー（MENU）を使って説明しています。
ガイド行に表示される操作は画面により異なります。

- ガイド行のは、イージーセレクタープラスのに対応しています（使用する機能やサイトの作りかたによっては異なる場合があります）。

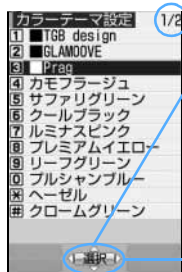
タスクバーの見かた

タスクバーには、動作中の機能（タスク）を示すアイコンが最大9個表示されます。現在、動作中の機能を確認できます。また、メール／メッセージ受信時には受信結果がスクロール表示されます。

タスクバー（音声電話通話中にスケジュール帳のカレンダーを表示したときの例）

：音声電話
／：テレビ電話（64K／32K）
：外部機器によるテレビ電話
：メール
：i モードメール受信中
：SMS受信中
：チャットメール
：メッセージR/F
：i モード／SMS問合せ中
：i モード／i チャネル
：Bookmark／Internet／ラストURL／画面メモ／ツータッチサイト
：i アプリ
：マイピクチャ
：i モーション
：メロディ
：キャラ電
：カメラ
：ビデオカメラ
：サウンドレコーダー
：モバHO!聴取画面／モバHO!番組表／モバHO!チャンネル設定表示中
：モバHO!録音中
：ミュージックプレイヤー
：FMラジオ
：電話帳
：着信履歴
：リダイヤル
：伝言メモ・音声メモ
：自局番号
：アラーム設定中／鳴動中
：スケジュール帳
：スケジュールアラーム鳴動中
：メモ帳
：電卓
：外部データ連携中
：赤外線通信の受信設定中・INBOX保存中
／（紺／グレー）：オーディオメモリモード中（通信可能）／オーディオメモリモード中（USB 接続ケーブル未接続）
：64Kデータ通信
／：USB経由でパケット発信・通信中／送信中
／（紺／グレー）：各機能の設定中／保留中
：ソフトウェア更新中
：ソフトウェア更新の通知あり
：パターンデータ更新中／バージョン表示中
：各種ネットワークサービス設定中
／（黒／グレー）：プロテクトキーロック中にモバHO! 聴取画面／モバHO!番組表／モバHO!チャンネル設定を表示したとき／一時解除中
／（黒／グレー）：プロテクトキーロック中にミュージックプレイヤー画面を表示したとき／一時解除中
／（黒／グレー）：プロテクトキーロック中にFMラジオ画面を表示したとき／一時解除中

一覧画面の見かた

例 カラーテーマ設定画面

現在表示中のページ番号と総ページ数（一覧が複数ページにわたる場合）

△▽ は、選ばれている項目の上下に選択項目があることを示しています。

- [↕] でカーソルを移動します。
- ページの最後の項目で [↓] を押すと次ページ、ページの先頭の項目で [↑] を押すと前ページが表示されます。

◁ ▷は、選択項目が複数ページにわたっていることを示しています。

- [↔] でページを切り替えます。
- アイコンの選択画面などでは切り替わりません。
- 色名はイメージです。

おしらせ

● 次の現象は液晶ディスプレイの特性であり、FOMA 端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

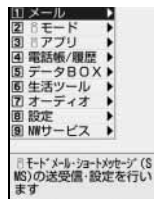
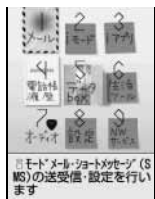
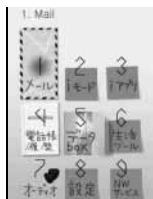
- FOMA 端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。
- FOMA 端末の電源を切らずに電池パックを取り外すと、しばらくの間、ディスプレイから残像が消えないことがあります。電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- しばらく同じ画面を表示していると、何か操作をし、画面表示が切り替わったときに、前の画面表示の残像がディスプレイに残る場合があります。

メニューの選択方法

メニューにはノーマルメニューと、よく使う機能だけに限定したシンプルメニューがあります。シンプルメニューでは、文字も大きく表示されます。ほかにも、自分だけのオリジナルメニューを作ることができます（カスタムメニュー☛P327）。

ノーマルメニューとカスタムメニューの表示形式

お買い上げ時は、ノーマルメニューの「アニメーション」に設定されています。以下の種類から選べます（メニュー設定☛P129）。

- 画面はトータルコーディネイト設定が■ Prag のノーマルメニューの表示例です。

リスト

タイルアイコン

アニメーション※1

※1：ノーマルメニューのみ設定できます。

シンプルメニューに切り替える

1 [MENU]

ノーマルメニューが表示されます。
- カスタムメニューが表示されたとき：[📖]

2 [✉] **を押す**

シンプルメニューが表示されます。

■ **ノーマルメニューに切り替える：待受画面で** [MENU][✉]
- カスタムメニューに切り替える：待受画面で [MENU][📖]

シンプルメニューから操作できる機能

シンプルメニューからは実行できないメニューがあります。

メニュー		ショートカット操作
でんわ	電話帳検索	[MENU][1][1]
	電話帳登録	[MENU][1][2]
	リダイヤル	[MENU][1][3]
	着信履歴	[MENU][1][4]
	伝言メモ一覧	[MENU][1][5]
	自局番号	[MENU][1][6]/[MENU][0]
メール	受信メール	[MENU][2][1]
	送信メール	[MENU][2][2]
	未送信メール	[MENU][2][3]
	新規メール	[MENU][2][4]
	ｉ モード問合せ	[MENU][2][5]
音楽／カメラ	モバ HO!	[MENU][3][1]
	ミュージックプレイヤー	[MENU][3][2]
	FM ラジオ	[MENU][3][3]
	カメラ	[MENU][3][4]
	マイピクチャ	[MENU][3][5]

メニュー		ショートカット操作
音楽／カメラ	待受画面設定	[MENU][3][6]
	USB モード設定	[MENU][3][7]
ｉモード	ｉMenu	[MENU][4][1]
	Bookmark	[MENU][4][2]
	ラスト URL	[MENU][4][3]
	画面メモ	[MENU][4][4]
ｉアプリ	ソフト一覧	[MENU][5][1]
	待受画面設定	[MENU][5][2]
	ｉ アプリ設定	[MENU][5][3]
データ BOX		[MENU][6]
設定／生活ツール	音／バイブ	[MENU][7][1]
	ディスプレイ	[MENU][7][2]
	アラーム	[MENU][7][3]
	電卓	[MENU][7][4]
	伝言メモ設定	[MENU][7][5]
	情報表示／リセット	[MENU][7][6]
	留守番電話	[MENU][7][7]

シンプルメニューに設定したときは

- 呼出中や通話中に、受話音量の調整方法が表示されます。
- 待受画面でメモリ番号（1～9）を入力すると、登録されている名前と電話番号が表示されます。また、音声電話やテレビ電話をかけるキー操作が表示されます。音声電話通話中にMENUを押し、「ダイヤル入力」を選択してメモリ番号を入力した場合も同様に表示されます。

おしらせ

- バイリンガル設定を英語表示に設定しているときは、シンプルメニューに切り替えられません。また、シンプルメニューに設定すると、バイリンガルの設定はできません。
- シンプルメニューに設定している場合に、バイリンガル設定が英語表示に設定されているFOMAカードを差し込み、FOMA端末の電源を入れたときは、メニュー表示はノーマルメニューになります。

メニューから機能を選択する

ダイヤルキーでメニューを選択する方法（ショートカット操作）と、イージーセレクタープラスでメニュー項目を選択する方法があります。

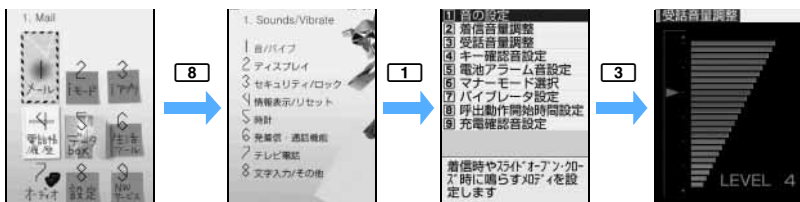
- 本書では、主にノーマルメニューのショートカット操作で説明しています。
- 各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、メニューの表示形式が「リスト」、「タイルアイコン」のときは、アイコンが🔒で表示されたり文字が薄く表示されます。ただし、メニューの表示形式が「アニメーション」のときは、項目を選択するとメッセージが表示されます。

ダイヤルキーでメニューを選択する（ショートカット操作）

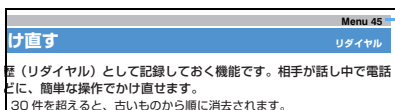
メニュー項目にはそれぞれ番号（項目番号）が割り当てられており、対応するダイヤルキーで選択できます。

例 ノーマルメニューの場合に「受話音量調整」を実行するとき

1 MENU 8 1 3

受話音量調整画面が表示されます。

複数のショートカット操作がある場合

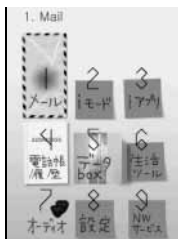
ショートカット操作が複数ある場合、操作手順で記載している以外のショートカット操作を本文中のタイトル右端に記載しています。

例 リダイヤルの場合

MENUでメニューを表示したあと 4 5 の順に押すと、リダイヤルが表示されることを示します。

・✉は✉、⬇は⬇を押すことを示します。

イージーセレクタープラスでメニューを選択する

例 ノーマルメニュー（アニメーション表示の「■ Prag」）の場合に「受話音量調整」を実行するとき

1 MENU

- アニメーション表示以外のときにメニュー項目を選ぶと、機能説明が表示されます。
- アニメーション表示の場合、ガイド行のは表示されません。

2 で「設定」を選ぶ▶

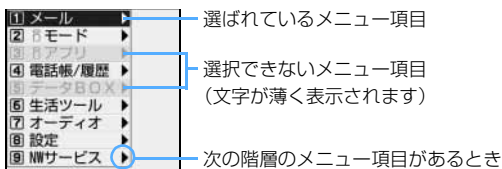
- シンプルメニューのとき：で項目を選ぶ▶または

3 で「音／バイブ」を選ぶ▶

- タイルアイコン表示、アニメーション表示の「■ GLMV」の場合はで項目を選びます。

4 で「受話音量調整」を選ぶ▶

受話音量調整画面が表示されます。

リスト表示での選択方法

でメニュー項目を選び、またはを押します。

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。
- 1つ前のメニューに戻す：または CLR

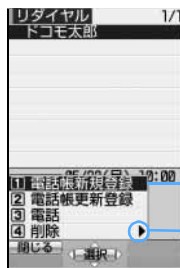
メニューを選択した後で待受画面や1つ前の画面に戻すとき

：待受画面に戻ります。　　CLR：1つ前の画面に戻ります。

サブメニューから機能を選択する

ガイド行の左上に「MENU」が表示される場合、サブメニューを使って、さまざまな操作ができます。

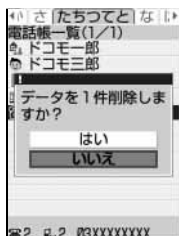
例 リダイヤルのサブメニューを表示するとき

1 リダイヤル一覧で MENU

2 でサブメニュー項目を選ぶ▶ または

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。同じ機能でも操作する画面により項目番号が異なる場合があります。
- 1つ前のメニューに戻す： または CLR
- サブメニューを閉じる：MENU

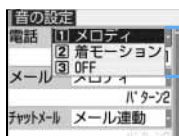
画面の各項目を設定する

確認画面で「はい／いいえ」を選択する

1 で「はい」または「いいえ」を選ぶ▶

- 機能によっては「はい／いいえ」以外の項目が表示される場合があります。

プルダウンメニューから項目を選択する

1 で項目を選ぶ

2 でプルダウンメニューを表示▶ で項目を選ぶ

- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

3 [決定] を押す

チェックボックスで項目を選択する

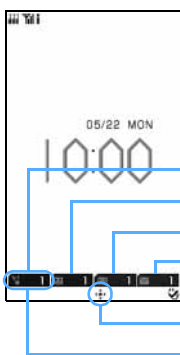
1 [上下] でチェックボックスを選ぶ ▶ [決定]

チェックボックスが□から☑に変わり、選択されます。

- 選択されている項目の場合は☑から□に変わり、選択が解除されます。
- 機能によっては、[MENU] を押すとすべての項目を選択または解除できます。
- 項目番号に対応するダイヤルキーでも選択できます。

情報をすばやく表示する フォーカスモード

待受画面に[不在着信 1]や[伝言メモ 1]などのアイコンが表示されたときに、対応する情報をすばやく表示できます。

1 [決定] ▶ [左右] で[不在着信 1]や[伝言メモ 1]などのアイコンを選ぶ

- アイコンの右の数字は、蓄積されている情報の件数です。
- フォーカスモードを解除する：[CLR] または [終話]
- 最新のパターンデータに自動更新された（または自動更新に失敗した）ことをお知らせするアイコン（成功、失敗）が表示されたときは [上下] でアイコンを選びます。

不在着信（電話に出なかった履歴）あり
未再生の伝言メモあり
留守番電話サービスの伝言メッセージあり
未読の受信メールあり
パターンデータの自動更新の結果あり
有効なイージーセレクタープラスの方向
選ばれているアイコンの色が変わります。

2 [決定] を押す

選択したアイコンに対応する画面が表示されます。

[不在着信 1]：着信履歴一覧が表示され、着信日時や電話をかけてきた相手の情報などを確認できます。

[伝言メモ 1]：伝言メモ一覧が表示され、伝言メモを再生できます。

[留守番電話 1]：留守番電話サービスのメッセージ再生確認画面が表示され、メッセージを再生できます。

[受信メール 1]：受信メールのフォルダ一覧が表示され、未読メールを表示できます。

[成功]／[失敗]：パターンデータの自動更新の結果を確認できます。

おしらせ

- アイコンを選び、[CLR] を 1 秒以上押すと、アイコンは一時的に消去されますが、新たに情報が蓄積されたり、情報を閲覧して件数が変化したりすると再度表示されます。

D851iWMの保存・登録・保護件数

種別		最大保存・登録件数	最大保護件数
メール	受信メール※1、※2	1000件	500件
	送信メール※1、※2	200件	100件
	未送信メール※1、※2	200件	100件
	メールテンプレート※1	100件	－
FOMAカードのSMS※3		20件	－
メッセージR※1		100件	50件
メッセージF※1		50件	25件
ブックマーク		100件	－
画面メモ※1		100件	50件

種別	最大保存・登録件数	最大保護件数
iアプリ※4	100件	100件
画像※1	1000件	－
メロディ※1	500件	－
動画／iモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1	100件	－
キャラ電※1	50件	－
チャンネルロゴ※1	100件	－
モバHO!	500曲	－

※1：実際に保存・登録できる件数は、データのサイズにより少なくなる場合があります。
※2：iモードメールとSMSの合計件数です。
※3：送信SMSと受信SMSの合計件数です。送達通知の件数は含まれません。
※4：メール連動型iアプリは最大5件（iアプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。実際に保存できる件数は、iアプリのサイズにより少なくなる場合があります。

おしらせ

- FOMA端末に保存されているデータは、FOMA端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、重要なデータは控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末内のデータのファイルサイズの表示は、データを扱う機能によって多少の誤差が生じることがあります。
- パソコンをお持ちの場合は、添付のCD-ROM内のFOMA Dシリーズデータリンクソフトと付属のUSB接続ケーブルをご利用いただくことにより、メール、ブックマーク、画像、メロディ、動画／iモーションなどのデータをパソコンに転送・保管できます。

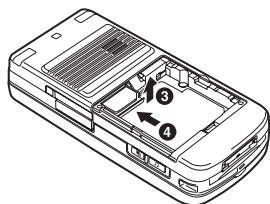
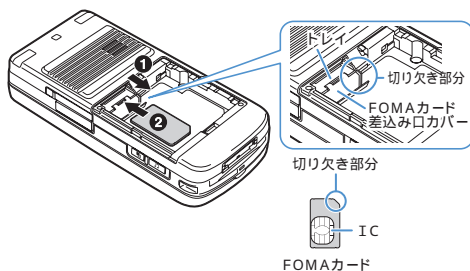
FOMAカードを使う

FOMAカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されるカードです。
FOMA端末に挿入して使用します。

- FOMAカードの詳しい取り扱いについては、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末はFOMAカードを取り付けた状態で使用します。カードが取り付けられていないときは、まず、FOMAカードを取り付けてください。

- FOMAカードの取り付けや取り外しは、電源を切り、リアカバー、電池パックを取り外してから行ってください。
  リアカバー、電池パックの取り付け／取り外し☞P41
- FOMAカードの取り付けや取り外しは、FOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。また、ワンプッシュオープンボタンに触れないようご注意ください。

取り付けかた

❶FOMA カード差込み口カバーを引き出す
FOMA カード差込み口カバーに指先をかけ、トレイが止まるところまで引き出します。

❷IC 面を下にして FOMA カードを差し込む

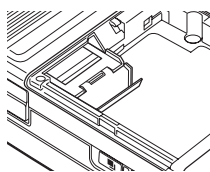
❸FOMA カード差込み口カバーをトレイと水平になるように戻す
FOMA カードと FOMA カード差込み口カバーの切り欠き部分を合わせてください。

❹電池取付部の壁まで押し込む

取り外しかた

❶FOMA カード差込み口カバーを引き出す
•「取り付けかた」の❶と同じです。

❷FOMA カードを引き抜く

FOMA カードトレイが外れたとき

FOMAカードトレイを差し込み、まっすぐに押し込んでください。

- FOMAカードを外してから行ってください。
- FOMAカードトレイを無理に付けようとするとトレイや端末側の部品が壊れることがありますのでご注意ください。

おしらせ

- FOMA カードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとすると、FOMA カードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外した FOMA カードはなくさないようにご注意ください。

FOMA カードの暗証番号について

FOMA カードには、「PIN1 コード」「PIN2 コード」という 2 つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、4～8桁の任意の数字に変更できます。☛P138

FOMA カード動作制限機能について

FOMA 端末には、お客様のデータやファイルを保護するための機能として、FOMA カード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA 端末にお客様の FOMA カードを取り付けている状態で、サイトなどからファイルやデータをダウンロードしたり、メールに添付されたデータを取得すると、それらのデータやファイルには FOMA カード動作制限機能が自動的に設定されます。
- FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードが取り付けられていない場合、FOMA カード動作制限機能が設定されたデータやファイルの表示や再生はできなくなります。
- FOMA カード動作制限機能が設定されているファイルやデータは、赤外線通信で送信できません。
- 動作制限の対象となるデータは次のとおりです。
  - ・画面メモ
  - ・デコメール本文中に挿入されている画像
  - ・ｉアプリ（ｉアプリ待受画面を含む）
  - ・画像（アニメーション、Flash を含む）
  - ・メロディ
  - ・動画メモ
  - ・メッセージ R/F
  - ・ｉモードメールに添付されているファイル
  - ・ｉモーション
  - ・キャラ電
  - ・テレビ電話伝言メモ
- FOMA カード動作制限機能が設定されているｉアプリは、別の FOMA カードに差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合に、次の操作ができなくなります。
  - ・起動
  - ・自動起動
  - ・バージョンアップ
  - ・ｉアプリの詳細情報の表示
  - ・自動起動設定の変更
  - ・ｉアプリの動作設定
  - ・ｉアプリ待受画面の設定

おしらせ

- ● FOMA カード動作制限機能の対象になっているデータを待受画面や発着信時の画像、着信音などに設定しているとき、別の FOMA カードに差し替えたり、FOMA カードを差し込まずに使用したりすると、音や画像の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。この場合、設定されている音や画像と、実際に鳴る音や表示される画像が異なることがあります。データをダウンロードしたときに使用した FOMA カードを差し込むと、データの動作制限は解除され、設定は元の状態に戻ります（データをランダムイメージ設定に利用していたときは、設定が解除される場合があります）。
- ● 赤外線通信、データリンクソフトを利用して入手したデータや内蔵のカメラで撮影した静止画や動画には、FOMA カード動作制限機能は設定されません。
- ● 他のｉチャネル対応端末に FOMA カードを差し替えた場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で CLR を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- ● FOMA カードが取り付けられていない場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されません。

FOMA カードに保存される設定

以下の設定はFOMAカードに保存されます。FOMAカードを差し替えると、差し替えたFOMAカードに保存されている設定が有効になります。

- SMS 設定の送信文字種、有効期間、SMSC、アドレス、Type of Number
- 証明書表示／使用設定のドコモ証明書、ユーザ証明書
- 自局番号の自局電話番号
- バイリンガル
- FOMA カード（UIM）の PIN1 コード、PIN2 コード、PIN1 コード ON ／ OFF

FOMA カードの機能差分について

FOMA カードには緑色と青色の 2 種類があり、それぞれのカードは次のように機能が異なります。

項　目	FOMA カード（緑色）	FOMA カード（青色）	参照先
FOMA カード電話帳に登録可能な電話番号の桁数	最大 26 桁	最大 20 桁	P98
FirstPass を利用するためのユーザ証明書操作	利用可	利用不可	P191
WORLD WING サービスの利用	利用可	利用不可	P41
サービスダイヤル	「ドコモ故障問合せ」および「ドコモ総合案内・受付」の利用 •「故障お問い合わせ先」および「DoCoMo インフォメーションセンター」に接続されます。	利用不可	P346

WORLD WING について

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（W-CDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

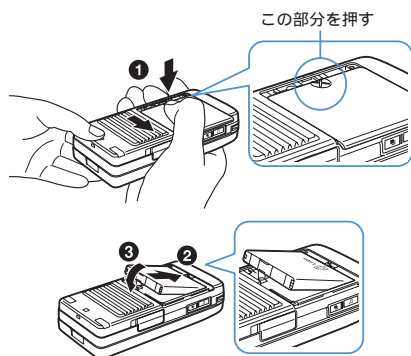
WORLD WING はお申込み手続きなしでご利用いただけます。

● 2005 年 8 月 31 日以前に FOMA サービスをご契約で WORLD WING をご契約いただいていないお客様は、WORLD WING をご利用される場合、別途お申込み手続きが必要となります。

● 一部ご利用になれない料金プランがあります。

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

• 電池パックの取り付け／取り外しは、必ず電源を切り、FOMA 端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。また、ワンプッシュオープンボタンに触れないようご注意ください。

取り付けかた

❶**リアカバーを外す**
リアカバーの先端を指で押しながら矢印の方向にスライドさせて外します。

❷**電池パックのドコモロゴ、リサイクルマークのある面を上にして、FOMA 端末と電池パックの端子が合うように図のような角度で差し込む**
電池パックの端子を無理に差し込むと、本体のコネクタや電池パックの端子部を破損させる恐れがあります。ご注意ください。

❸**電池パックをはめ込む**

つづく

❹リアカバーを FOMA 端末から約 2mm ずらして置き、FOMA 端末とリアカバーにすき間が生じないようにリアカバーの中央を指で押しながら、矢印の方向にスライドさせる

正しい手順で取り付けないと、リアカバーを破損させることがあります。

取り外しかた

❶リアカバーを外す
❷電池パックの突起部分を持って、拡張接続端子の方向に押しながら取り外す

電池パックのリサイクルについて

この製品に使用されているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。環境保全のため、不要になった電池は NTT DoCoMo または代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

● リサイクルの際、以下のことにご注意ください。
- 端子にテープなどを貼り、絶縁してください。
- 分解、改造をしないでください。

おしらせ

● FOMA 端末のディスプレイはアクティブ液晶を使用しています。アクティブ液晶の特性上、電池パックの取り付け／取り外しの際、残像や横縞がしばらく表示されることがありますが、故障ではありません。

携帯電話を充電する

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。
- 電池残量は、電池マークで確認します。☛P45

充電時間・電池使用時間の目安

充電時間	連続通話時間	連続待受時間	連続再生時間	連続受信時間
約 140 分	音声電話時 約 170 分 テレビ電話時 約 90 分	静止時 約 420 時間 移動時 約 320 時間	モバ HO! 約 6 時間 音楽 約 20 時間	モバ HO! 約 2 時間 FM ラジオ 約 25 時間

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させたり、オーディオ機能を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、FOMA 端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 連続再生時間とは、付属のアンテナ内蔵ヘッドホンを使用し、再生音量をレベル 13（お買い上げ時）に設定した状態での時間の目安です。

- 音楽再生時の連続再生時間とは、データ形式がATRAC3plus、ビットレートが48kbpsの場合の時間です。
- 連続受信時間とは、付属のアンテナ内蔵ヘッドホンを使用し、再生音量をレベル13（お買い上げ時）に設定した状態での時間の目安です。
- データ通信やマルチアクセスの実行、カメラの使用、動画／iモーション（音楽データ含む）の再生などによっても、通話（通信）時間・待受時間は短くなります。

電池パックについて

- 電池パックD07をご使用ください。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回の使用時間が短くなっていきます。1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命と考えてください。電池パックの寿命の目安は、約1年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

充電の開始／終了とその他の留意事項

FOMA 端末の電源は、切ってからでも入れたままでも充電できます。ただし、電源を入れたままで充電した場合は、充電時間が長くなります。

- 充電を開始すると、着信ランプが赤く点灯します。
  電源を入れたままで充電を開始すると、充電確認音が鳴り、電池マークが点滅します。

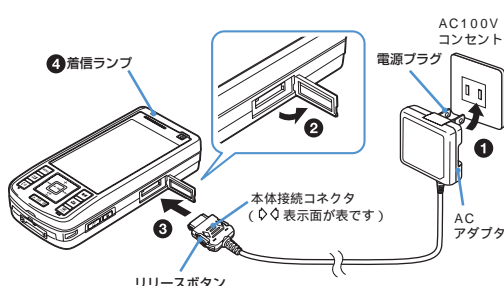
マーク	着信ランプ	意　味
（充電中：点滅 充電完了：点灯）	充電中：点灯（赤） 充電完了：消灯	正常に充電しています。

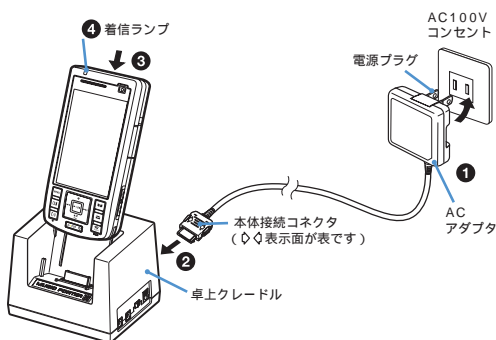
  ・電池マークはトータルコーディネイトの設定によって異なります。マークは変更できます。☛P131
  ・充電を開始しても着信ランプが赤く点灯しなかった場合や、赤で点滅している場合は、正常に充電できていません。オーディオ機能など、電池の消費が大きい機能を使用している場合には特にご注意ください。FOMA 端末の温度が上昇していると充電できない場合がありますので、使用している機能を終了し、FOMA 端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。再度充電を行っても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
- 充電が完了すると、着信ランプが消灯します。
  電源を入れたままで充電したときは、充電確認音が鳴り、電池マークが点灯状態になります。
  ・電池マークが点滅中は充電が完了していません。
- 充電確認音は鳴らないように設定できます。☛P117
- 電源を入れたまま長時間（1日以上）充電しないでください。充電が完了してもFOMA端末の電源が入っていると、電池残量が減少します。このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再度充電を行いますが、再充電の途中でFOMA端末を取り外した場合は、次のような状態になることがあります。
  ・電池残量が少ない　・電池切れのメッセージが表示される　・短時間しか使えない
- 電池残量が十分にある場合は、ACアダプタやDCアダプタに接続しても充電しないことがあります。
- ACアダプタまたはDCアダプタを接続して、充電しながら長時間使用すると、温度上昇により一時的に充電できなくなる場合があります。
- 本体接続コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないよう、ゆっくり確実に行ってください。また、本体接続コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。
- ACアダプタの本体接続コネクタは、水平になるように抜き差ししてください。

コンセントから充電する

FOMA ACアダプタ01（別売）を使用して充電できます。また、卓上クレードルD01（別売）と組み合わせても充電できます。
FOMA 端末を閉じた状態でも、開いた状態でも充電できます。

- 電池パック単体では充電できません。
- 詳しくは、ACアダプタと卓上クレードルの取扱説明書をご覧ください。

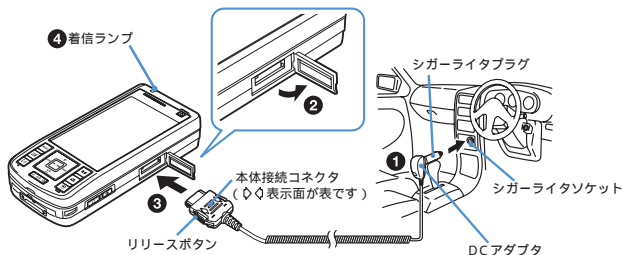
■ ACアダプタだけで充電する場合

❶ACアダプタの電源プラグを起こし、AC 100Vコンセントに差し込む
❷FOMA端末の外部接続端子の端子カバーを開く
❸本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❹充電の開始を確認する
着信ランプが赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、ACアダプタをコンセントから引き抜きます。次に端子カバーを閉じます。

■ 卓上クレードルに差し込んで充電する場合

❶ACアダプタの電源プラグを起こし、AC 100Vコンセントに差し込む
❷卓上クレードルに本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❸卓上クレードルの背面に沿うようにFOMA端末を図のような角度で差し込む
❹充電の開始を確認する
着信ランプが赤く点灯したことを確認してください。充電が完了したら、卓上クレードルを手で押さえながら、FOMA 端末を卓上クレードルの背面に沿うように卓上クレードルから取り出します。

• FOMA端末を卓上クレードルへ取り付ける際は、ストラップなどを挟まないようにご注意ください。
• 差し込みが十分でなかったり、FOMA 端末が傾いていたりすると、正常に充電できません。FOMA端末を押し込んでください。

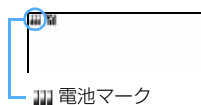
自動車の中で充電する

専用のFOMA DCアダプタ01（別売）を使用すると、自動車の中でも充電できます。マイナスアース車（12V車・24V車）で使用できます。
• 詳しくは、DCアダプタの取扱説明書をご覧ください。

❶DCアダプタのシガーライタプラグを自動車のシガーライタソケットに差し込む
❷FOMA端末の電源を切り、外部接続端子の端子カバーを開く
❸DCアダプタの本体接続コネクタを「カチッ」と音がするまで確実に差し込む
❹充電の開始を確認する
充電が完了したら、DCアダプタの本体接続コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜き、シガーライタプラグをシガーライタソケットから引き抜きます。次に端子カバーを閉じます。

おしらせ

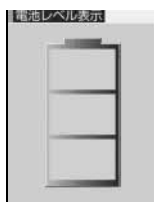
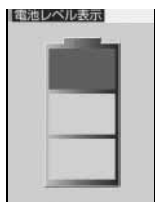
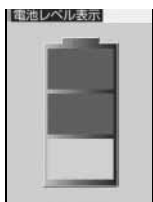
● 自動車のエンジンを切った状態で充電すると、車のバッテリーを消耗させることがあります。必ずエンジンをかけた状態で充電してください。
● 充電しない場合は、DC アダプタはシガーライタソケットから取り外してください。
● DCアダプタのヒューズ(2A)は消耗品です。交換に際しては、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

電池残量の確認のしかた　電池残量

ディスプレイに電池残量の目安が 3 段階で表示されます。

(電池残量 3):十分残っています。
(電池残量 2):少なくなっています。
(電池残量 1):充電することをおすすめします。
• 電池マークはトータルコーディネイトの設定によって異なります。マークは変更できます。☛P131

電池残量を音と表示で確認する

1 MENU 8 4 3

(電池残量 3)　(電池残量 2)　(電池残量 1)

3 回鳴ります　2 回鳴ります　1 回鳴ります

電池残量が表示されます。確認音がキー確認音設定の音で鳴ります。

電池が切れそうになると

メッセージ表示や電池アラーム音でお知らせします。充電を開始すれば電池アラーム音は止まりますが、すぐに止めたい場合は ☎ を押してください。
• 待受中のときは、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。 を押すとメッセージが消えますが、しばらくすると電池アラーム音が鳴り、再度メッセージが表示されます。このとき、ディスプレイ上部のすべてのアイコンが点滅し、約 1 分後に自動的に電源が切れます。
• 通話中のときは、受話口から電池アラーム音が鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。、CLR、☎ を押すと、メッセージが消えます。電池アラーム音が聞こえてから約 20 秒後に通話が切れて、待受画面に戻ります。その約 1 分後に自動的に電源が切れます。

電池アラーム音が鳴らないようにする　電池アラーム音設定

お買い上げ時 ON

1 MENU 8 1 5

2 2 **を押す**
• 設定する:1

おしらせ

● 通話中に電池が切れそうになると、「OFF」に設定していても、受話口から電池アラーム音が鳴ります。

電源を入れる／切る

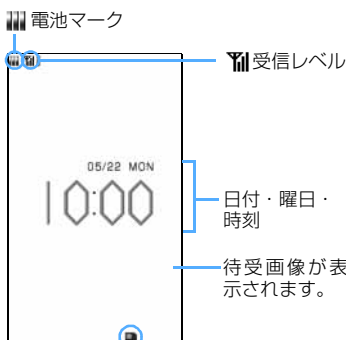
電源 ON ／ OFF

- 初めて電源を入れると、ソフトウェア更新を実行するかどうかの確認画面が表示されます。実行する場合は、電池が十分に充電されている必要がありますのでご注意ください。実行前に、必ず「ソフトウェアを更新する」をご覧ください。☛P398

電源を入れる

1 **(2 秒以上)**

ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。ウェイクアップ画面の表示まで多少時間がかかります。

- クイック起動設定を「ON」に設定すると、待受画面の表示までの時間が短くなります。

受信レベル表示	Yil	Yi	Y	圏外
状態	強	中	弱	サービスエリア外や電波の届かない所

- 日付・時刻が設定されていないときは、その旨のメッセージが表示されます。で、日付時刻設定を行ってください。
- FOMA カードが取り付けられていない場合、FOMA カードの挿入が必要な旨のメッセージが表示されます。電源を切り、FOMA カードを取り付けてから電源を入れ直してください。
- PIN1 コード ON ／ OFF を「ON」に設定している場合、PIN1 コードを入力します。
- 以下は変更できます。
  - 待受画像 ☛P119
  - 電池マーク ☛P131
  - 時刻の表示形式 ☛P133

電源を切る

1 **(2 秒以上)**

おしらせ

- Yil が表示されていて、移動せずに通話していても、通話が切れることがあります。
- 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定した場合は、PIN2 コードの入力が必要です。
- 次の場合は、約 90 秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消えます（カメラ撮影中などを除く）。音声電話中も同様です。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び表示されます。
  - 照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定している場合
  - 充電中の場合（照明設定の点灯時間を「常時」以外に設定し、AC アダプタ接続時動作を「端末設定に従う」に設定しているとき）

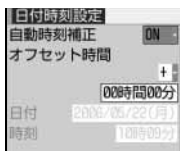
日付・時刻を合わせる

日付時刻設定

時刻設定には、ドコモのネットワークから取得した時刻情報を基に、FOMA 端末の時刻を補正する方法と、自分で時刻を入力する方法があります。

お買い上げ時　自動時刻補正：ON　オフセット時間：+、00 時間 00 分

1

2 各項目を選択して設定

- 自動時刻補正を「ON」にした場合、オフセット時間を設定できます。日付、時刻は設定できません。

自動時刻補正：自動時刻補正を行うかどうかを設定します。
- 自分で日付・時刻を設定する場合は、自動時刻補正を「OFF」にしてください。

オフセット時間：時計を常に一定時間進めておきたいときなどに、取得した時刻より、進める（+）／遅らせる（−）時間を設定します。
- 00 時間 00 分〜 23 時間 59 分の間で入力できます。
- 時、分が 0 〜 9 のときは、前に 0 を付けます。

日付、時刻：日付、時刻を入力します。
- 西暦は下 2 桁を入力します。2000 年 1 月 1 日から 2050 年 12 月 31 日まで設定できます。
- 時刻は 24 時間制で入力します（00 時 00 分〜 23 時 59 分）。
- 月、日、時、分が 0 〜 9 のときは、前に 0 を付けます。

- 数字は [↕] でも増減できます。[↔] で変更する数字を選んでからも入力できます。

3 [📖] を押す

自動時刻補正を設定したとき

FOMA カードを取り付けた状態で、電波の届く場所で電源を入れたときなどに自動的に補正されます。
- 数秒程度の誤差が生じる場合があります。また、電波状況によっては時刻を補正できない場合があります。
- ｉ アプリによっては、ｉ アプリ動作中に時刻情報を受信しても補正できない場合があります。
- 自動時刻補正を「ON」にしたとき、しばらく時刻が補正されない場合があります。自動時刻補正を有効にするには、電源を入れ直してください。
- FOMA カードを取り付けていないときや、圏外にいるときは、電源を入れ直すなどしても補正は行われません。
- モバ HO! 聴取中は時刻情報を受信しても、補正は行われません。

おしらせ

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能は利用できません。
- ランダムイメージ設定（「スライドオープン」切替以外）
- 自動電源 ON ／ OFF 設定
- アラーム設定
- スケジュール帳
- ユーザ証明書の操作 ☞P191
- ｉ アプリの自動起動機能 ☞P248
- 時刻設定を必要とする ｉ アプリ DX ☞P242
- 再生制限が設定されている ｉ モーションの取得 ☞P294
- データ（スケジュール）送受信 ☞P307、P308
- ソフトウェア更新
- パターンデータ更新
- SSL 通信（認証）
- モバ HO! 聴取
- モバ HO! 番組表

● 日付・時刻を設定していないときは、次の機能で日時が記録されず、「----/--/--」「----------------」などと表示されます。
- リダイヤル／着信履歴
- 伝言メモ／音声メモ
- メモ帳
- カメラで撮影した静止画／動画の日時 ☞P156
- 送信メール／未送信メールの日時 ☞P220
- ｉ アプリ（詳細情報）のダウンロード日時 ☞P245
- 静止画やメロディ、キャラ電、ｉ モーション、メールテンプレートなどの保存・登録日時 ☞P304、P210

● 設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、長い間電池パックを外しているとリセットされることがあります。その場合は、再度、日付・時刻の設定を行ってください。
● 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定している場合は、端末暗証番号の入力が必要です。

相手に自分の電話番号を通知する　発信者番号通知

電話をかけたとき、相手の電話機のディスプレイに自分の電話番号（発信者番号）を表示させせます。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。
- 圏外では、発信者番号通知の設定操作はできません。電波状態のよい場所で行ってください。
- 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 MENU 9 5 1
- 設定内容を確認する：MENU 9 5 2 ▶「はい」を選択

2 **ネットワーク暗証番号を入力 ▶ 1**
- 入力したネットワーク暗証番号は「*」で表示されます。
- 通知しない：2

おしらせ

- 以下の方法でも発信者番号の通知／非通知を設定できます。
  - 電話帳データごとに、発信者番号の通知／非通知を設定する ☛P108
  - 電話をかけるときに、発信者番号の通知／非通知を設定する ☛P55
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。
- 複数の番号通知方法を同時に設定・操作した場合、次の優先順位で番号通知動作が行われます。ただし、ディスプレイの表示と実際の通知／非通知が異なる場合があります。
  ① 発信時に発信条件で番号通知方法を設定した場合 ☛P56
  ② 相手の電話番号の前に「186」／「184」を付けた場合
  ③ 電話帳データに発番号設定をした場合
  ④ 発信者番号通知を設定した場合

Menu 47

自分の電話番号を確認する　自局番号

自分の電話番号（自局電話番号）や名前、メールアドレスなどを確認します。

お買い上げ時　自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録

1 MENU 0
- 自局電話番号には、FOMA 端末に挿入している FOMA カードの電話番号が表示されます。
- ｉモードのメールアドレスを確認する：i 1 でｉMenu を表示→「8 オプション設定」→「1 メール設定」→「アドレス確認」を選択

おしらせ

- 通話中に自分の電話番号を確認する：■ 0

電話のかけかた／受けかた

電話のかけかた

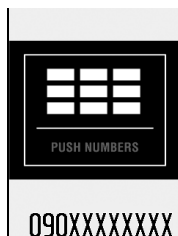
電話の受けかた

電話に出られないとき／出られなかったとき

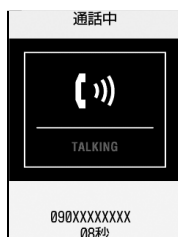
電話をかける

ここでは、音声電話とテレビ電話で共通の操作を説明します。

- 通話中は FOMA 用アンテナ部を手で覆わないでください。
- モバ HO! 録音中は緊急通報（110 番、119 番、118 番）以外への発信はできません。

1 電話番号を入力

一般電話にかける	同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
携帯電話にかける	090 − XXXX − XXXX、080 − XXXX − XXXX
PHS にかける	070 − XXXX − XXXX

- 電話番号は 80 桁まで入力できます。ただし、表示されるのは 24 桁です。
- 電話番号を訂正する：CLR
- 待受画面に戻す：CLR（1 秒以上）

2 [発信]

「プッププッ」という発信音が聞こえます。相手が出たらお話しください。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえます。
  [終話] を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 相手の携帯電話や PHS の電源が入っていないとき、または相手が電波の届かない場所にいるときには、接続できないことをガイダンスでお知らせします。

3 通話が終わったら [終話]

- FOMA 端末を閉じて電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

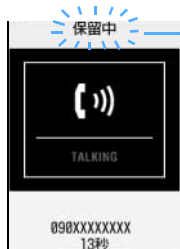
おしらせ

- 操作 2、操作 1 の順でも電話をかけられます。[発信] を押して電話番号を入力した後、約 5 秒経過すると自動的に音声電話がかかります。
- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。
- マルチナンバーをご契約の場合、登録しているマルチナンバーを選択してから電話をかけることができます。☛P347

通話中に保留にする　通話中保留

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。

- 保留中も、電話をかけた側に通話料金がかかります。

1 通話中に [保留]

音声電話保留中

テレビ電話保留中

通話が保留になり、ガイダンス（通話保留音）が流れます。テレビ電話のときは、自分と相手には通話中保留画像が表示されます。

- 音声電話の保留中に [保留] または [スピーカー] を押すと、保留が解除されます。
- テレビ電話の保留中に [保留] を押すと、保留が解除され、保留前に送信していた画像に戻ります。[テレビ電話] または [スピーカー] を押すと保留が解除され自画像が、[メール] を押すと保留が解除され代替画像が相手に送信されます。

おしらせ

● FOMA 端末を閉じて保留にするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

スピーカーホン機能を利用する

相手の声がスピーカーから聞こえる状態で電話をかけられます。

1 電話番号を入力 ▶ [スピーカー]（1 秒以上）

- テレビ電話でかける：[テレビ電話]
  テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定を「OFF」に設定しているときに、スピーカーホン機能を利用してテレビ電話をかける場合は、[テレビ電話] を 1 秒以上押します。
- テレビ電話をかけたとき、自動的にスピーカーホン機能が ON になります。スピーカーホン機能を利用しないでテレビ電話をかけるには、テレビ電話動作設定で設定を変更します。
- 発信中、呼出中は [スピーカー]、通話中は [メール] または [スピーカー] を押すたびにスピーカーホン機能の ON ／ OFF を切り替えられます。
- スピーカーホン機能利用中は、ディスプレイに [スピーカー表示] が表示されます。
- 電話帳一覧、リダイヤル一覧、着信履歴一覧、伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。
- スピーカーの音量は、音声電話通話中は [上下] を押してから [十字]、テレビ電話通話中は [MENU] [7] を押してから [上下] で調整できます。設定は通話終了後も保持され、テレビ電話伝言メモの再生音の音量にも反映されます。

おしらせ

● スピーカーホン機能を利用した通話に切り替えると、音量が急に大きくなり耳に傷害を与える恐れがありますので、FOMA 端末を耳から離して使用してください。
● 周囲や相手側の雑音が大きく、聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能を OFF にして通話してください。
● FOMA 端末に向かって約 30cm 以内の距離でお話しください。
● 付属のマイク付リモコン、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット 01（別売）を接続しているときは、接続した機器を使って音声をやりとりします。
● マナーモード中でもスピーカーホン機能を利用できます。

音声電話通話中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明	参照先
1 テレビ電話切替	音声電話からテレビ電話へ切り替えます。	P53
2 着信履歴	着信履歴を表示します。	P63
3 リダイヤル	リダイヤルを表示します。	P54
4 日付時刻設定	日付・時刻を設定します。	P46
5 再接続アラーム設定※1	電波状態が悪くて途切れた通話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。	P58
6 通話品質アラーム設定※1	電波状態が悪くて通話が途切れそうになったときに、アラーム音で知らせるように設定します。	P117
7 通話中クローズ設定	通話中に FOMA 端末を閉じたときの動作（切断／継続／保留）を設定します。	P62
8 ダイヤル入力	キャッチホンをご利用の場合、通話中に別の相手に電話をかけられます。	P344
9 受話音量調整	受話音量を調整します。	P65

※１：アラーム鳴動中でも設定を変更できます。アラームが鳴り止んだ後に変更した設定が反映されます。

- 通話中には、次のキーで操作できます。
  - ・[↕]：受話音量を調整する
  - ・[←]：着信履歴を表示する
  - ・[→]：リダイヤルを表示する
  - ・[カメラ]：カメラを起動する
  - ・[電話帳]：電話帳を起動する
  - ・[♫]（1 秒以上）：相手の声を録音する（通話中音声メモ）

ポーズ、タイマーを入力する

ポーズとタイマーは音声電話のみ有効です。

例「03XXXXXXXXP12345」（ポーズ「P」を入力）で発信したとき

電話がつながった後に [↓] を押すと、ポーズ以降の番号が送出されます。

ポーズ「P」を入力する

ポケットベル※へのメッセージ送信や自宅の留守番電話の操作、チケットの予約などに利用します。ポーズ（P）が入力された箇所でダイヤルを区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 **[＊]（1 秒以上）**
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

※：2001 年 1 月から、ドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

タイマー「T」を入力する

外線番号に続けて内線番号をダイヤルするときなどに利用します。外線番号と内線番号の間に「T」を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 **#（1 秒以上）**

- タイマーは連続して入力できます。
- タイマー 1 つにつき、約 1 秒の間隔をとります。
- 電話番号の先頭に入力すると発信できません。

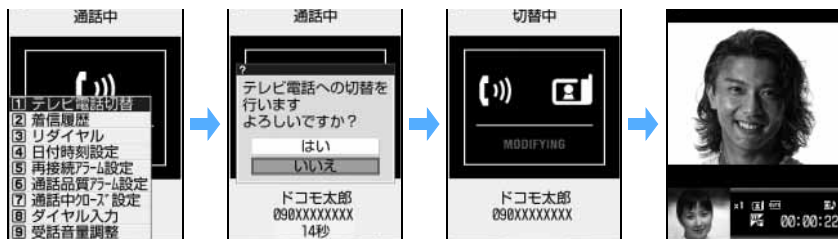
おしらせ

● プッシュ信号（DTMF）は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
● お話し中の通話を保留にして別の相手にポーズ(P)、タイマー(T)を入力して電話をかけることはできません。
● チケットの予約など、音声ガイダンスに従ってプッシュ信号（DTMF）を送出する必要がある場合には、スピーカーホン機能を利用すると便利です。この場合、スピーカーホンに切り替えた後で、プッシュ信号(DTMF)を入力してください。

音声電話からテレビ電話に切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、音声電話通話中に、サブメニューからの操作でテレビ電話へ切り替えられます。切り替えは、音声電話をかけた側の端末からのみ操作できます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応の端末どうしでご利用いただけます。
- テレビ電話に切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。☛P90

1 **音声電話通話中に MENU 1 ▶「はい」を選択**

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択すると音声電話通話中の画面に戻ります。
- テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、テレビ電話に切り替わると、スピーカーホンを利用した通話に自動的に切り替わります。

おしらせ

● パケット通信中の場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
● 相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
● キャッチホンでの通話中は、テレビ電話に切り替えられません。
● 切り替えには、約 5 秒かかります。なお、電波状況により切り替えに時間がかかる場合があります。
● 電波状況によっては音声電話からテレビ電話に切り替えられず、電話が切れる場合があります。
● 切り替え中に別の電話がかかってきたときは、着信は拒否されます。
● スピーカーホン機能は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。

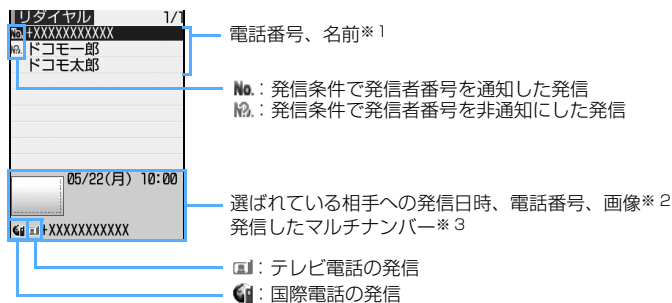
● テレビ電話通話中に行った設定（フレーム選択など）は、音声電話とテレビ電話を切り替えるたびに解除されます。
● テレビ電話と音声電話の通話時間に応じて、通話料金がそれぞれ加算されます。
●「切替中」と表示されている間は料金は課金されません。
● テレビ電話から音声電話へ戻すには ☛P81

Menu 45

前にかけた相手にかけ直す リダイヤル

相手にかけた電話を発信履歴（リダイヤル）として記録しておく機能です。相手が話し中で電話がつながらなかった場合などに、簡単な操作でかけ直せます。

• 最大 30 件記録されます。30 件を超えると、古いものから順に消去されます。

1 ▶ リダイヤル一覧で相手を選ぶ

※1：電話番号が電話帳に登録されている場合（シークレットモード中でない場合、シークレット属性が設定されている電話帳の相手に発信したときはリダイヤルには相手の電話番号が表示されます。）
※2：電話帳に登録されている場合
※3：マルチナンバーを契約している場合（発信した基本契約番号の名称または付加番号の名称）

• リダイヤル一覧／着信履歴一覧を切り替える：

■ **電話帳に登録する：**
① **リダイヤルを選ぶ ▶ MENU 1**
• 登録済みの電話帳データに追加する：MENU 2
② **1 ～ 2 ▶ 名前やメールアドレスなどを登録 ☛P95、P98**
• 登録済みの電話帳データに追加する：1 ～ 2 ▶ 電話帳データを選択 ▶ 登録内容を修正 ☛P105

■ **SMS を作成する：リダイヤルを選ぶ ▶ （1 秒以上）**
リダイヤルの電話番号を宛先にした SMS の作成画面が表示されます。
• を押すと、リダイヤルの電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1 件目のメールアドレスが宛先に設定された ｉ モードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、リダイヤルの電話番号が宛先に設定された ｉ モードメールの作成画面が表示されます。
• 宛先が電話帳に登録されている場合は、To 欄に電話帳の名前が表示されます。

2 または

• 選んでいるリダイヤルと同じ発信方法で電話をかける：
・32K テレビ電話で発信したリダイヤルは、64K で発信されます。

おしらせ

- 条件を設定して電話をかけられます。☛P56
- 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、発信時の種別（音声電話／テレビ電話）がリダイヤルに記録されます。
- 日付・時刻が設定されていない場合は、リダイヤルには日時が記録されません。
- 同じ電話番号にかけた場合は、番号通知の「指定なし」、「通知」、「非通知」のそれぞれについて最新の 1 件のみが記録されます。
- マルチナンバーに登録している発信番号を選択するには ☛P347

リダイヤルを削除する　リダイヤル削除

1 [□]

2 **リダイヤルを選ぶ ▶ [MENU][4][1]**
- 全件削除する：[MENU][4][2]

3 **「はい」を選択**

1 回の通話ごとに電話番号を通知するかしないかを設定する　186／184

電話をかけたとき、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 相手の電話機が、発信者番号表示が可能なときに表示されます。

「186」／「184」を付けて電話をかける

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加する方法です。

- **発信者番号を通知する：[1][8][6] ▶ 相手の電話番号 ▶ [発信]（音声電話のとき）または [テレビ電話]（テレビ電話のとき）**
- **発信者番号を通知しない：[1][8][4] ▶ 相手の電話番号 ▶ [発信]（音声電話のとき）または [テレビ電話]（テレビ電話のとき）**

おしらせ

- 電話をかけたときに発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、「186」を付けてからおかけ直しください。
- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 相手の電話番号に「186」／「184」を付けて発信した場合、「186」／「184」も付いた電話番号がリダイヤルに記録されます。
- 番号通知方法の優先順位について ☛P48

条件を設定して電話をかける

音声電話／テレビ電話をかけるたびに、発信方法や発信者番号の通知／非通知、マルチナンバーの発信番号の選択、プレフィックスを付加するかどうかを設定できます。

1 電話番号を入力 ▶ MENU 3

• 伝言メモ一覧、音声メモ一覧から操作する場合も同様です。

2 各項目を選択して発信条件を設定

発信方法：「音声電話」、「64K テレビ電話」、「32K テレビ電話」から選択します。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定します。
• 番号通知方法の優先順位について ☛P48

マルチナンバー：相手に通知する番号を基本契約番号または付加番号から選択します。☛P347

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択します。
• プレフィックス設定について ☛P57

3 MENU ▶「はい」を選択

設定した内容で電話がかかります。

• 発信方法で「64K テレビ電話」または「32K テレビ電話」を選択した場合には、「キャラ電選択発信」を選択して、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

おしらせ

● リダイヤル一覧、着信履歴一覧、FOMA端末電話帳の電話帳一覧／詳細（TOP／電話）画面、FOMAカードの電話帳一覧／詳細画面、自局電話番号の詳細画面、スケジュールのメンバーリスト一覧から操作する場合は、MENU を押し「電話」または「電話／メール」→「電話」からも同様に操作できます。

● 国際電話では番号通知で「通知」を選択しても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

国際電話を利用する WORLD CALL

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

• 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

• 通話方法

0 0 9 1 3 0 ▶ 0 1 0 ▶ 国番号 ▶ 市外局番 ▶ 相手の電話番号 ▶ 発信キー

• 上記の電話番号を FOMA 端末の電話帳に登録できます。

• 市外局番が「0」で始まる場合には「0」を除いてダイヤルしてください（ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です）。

• 通話先は世界約 220 の国と地域です。

• 「WORLD CALL」の料金は毎月の FOMA サービスの通信料金と合わせてご請求します。

• 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。

・FOMA サービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

• 国際電話ダイヤル手順の変更について

携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に

伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
  ・ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 一部ご利用できない料金プランがあります。

海外の特定 3G 携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
- 接続可能な国及び通信事業者等の情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

簡単な方法で「WORLD CALL」を利用する　国際ダイヤル自動付加設定

本設定を「自動付加」に設定すると、「+」の後に国番号からの電話番号を入力することで、国際電話用の「009130010」を自動的に付けて国際電話を簡単にかけられます。
- 「+」の後に日本の国番号「81」を先頭に付けて発信した場合は、本設定を「自動付加」に設定していても、国際電話用の「009130010」は付加されません。

お買い上げ時　自動付加

1 MENU 8 6 8 3

2 **1 を押す**
- 解除する：2

■ **国際ダイヤル自動付加設定を利用してかける：0（1秒以上）▶国番号▶電話番号を入力▶[発信]**

「WORLD CALL」以外の番号を設定する　プレフィックス設定

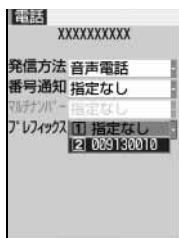
電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ登録しておくと、電話番号を入力した後でも、簡単にプレフィックスを付加して国際電話をかけられます。
- お買い上げ時は、国際電話用の「009130010」が登録されています。

お買い上げ時　009130010

1 MENU 8 6 8 2

2 **プレフィックス 1 ～ 3 欄を選択 ▶ 番号を入力**
- 最大 3 件、1 件につき 10 桁まで入力できます。
- 番号（プレフィックス）にはポーズ、タイマーを含めないでください。ポーズ、タイマーを含めてプレフィックスを設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけることはできません。
- 「009130010」は、他のプレフィックスに変更もできます。

3 [📖] を押す

■ プレフィックスを選択してかける：

① 国番号 ▶ 電話番号を入力
② [MENU][3] ▶ プレフィックス欄を選択
③ プレフィックス番号を選択
④ [MENU] ▶「はい」を選択

サブアドレスを指定して電話をかける　サブアドレス設定

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すように設定します。

• 映像配信サービス「V ライブ」でコンテンツを選択するときにも利用します。

お買い上げ時　ON

1 [MENU][8][6][8][4]

2 [1] を押す

• 解除する：[2]

■ サブアドレスを指定して電話をかける：電話番号を入力 ▶ [＊] ▶ サブアドレスを入力 ▶ [(音声)]（音声電話のとき）または [(テレビ)]（テレビ電話のとき）

• 相手の電話機や通信機器にサブアドレスが設定されている必要があります。

おしらせ

● サブアドレス設定を「ON」に設定していても、ポーズやタイマー、「#」を入力した後に「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとしては認識されず、「＊」を含んだプッシュ信号(DTMF)として送出されます。

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する　再接続アラーム設定

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた音声電話、テレビ電話を、電波状態がよくなったときに再接続するときのアラーム音を設定します。

• 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
• 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長 10 秒間です。
• 再接続されるまでの時間（最長 10 秒間）も通話料金がかかります。
• 利用状態や電波状態により、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

お買い上げ時　アラーム高音

1 [MENU][8][6][9][2] ▶ [1] ～ [3]

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする　ノイズキャンセラ設定

通話中の周囲の騒音を抑えることによって、自分の声が相手に、また相手の声も明瞭に聞きとれるようになります。

- 通常は、「ON」に設定した状態でのご使用をおすすめします。

お買い上げ時　ON

1

2 **1 を押す**

- 解除する：2

車の中で手を使わずに話す　車載ハンズフリー

FOMA 端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器と、USB 接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット 01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01（別売）が必要です。

おしらせ

- 着信時の画面表示や着信音などの動作は、FOMA 端末の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、FOMA 端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらずハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード（ドライブモード）中の着信動作は、公共モード（ドライブモード）の設定に従います。
- ハンズフリー対応機器から電話帳やリダイヤルを利用してテレビ電話をかけた場合、ハンズフリー対応機器からの通信速度設定に従います。設定されていない場合は、64K 固定でテレビ電話を発信します。
- ハンズフリー対応機器からテレビ電話をかけた／受けた場合、相手には代替画像が送信されます。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- FOMA 端末から音を鳴らす設定にしている場合、通話中に FOMA 端末を閉じたときの動作は、通話中クローズ設定の設定に従います。ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、通話中クローズ設定の設定に関わらず、FOMA 端末を閉じても通話状態は変わりません。

電話を受ける

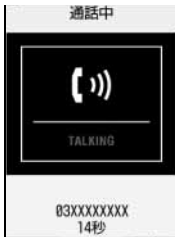
ここでは、音声電話とテレビ電話で共通の操作を説明します。

- 音声着信の場合、[(·))] 以外に 0 ～ 9、*、# を押しても電話を受けられます（エニーキーアンサー）。☛P62

1 **電話がかかってくる**

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。

- 応答保留にする：[☎]

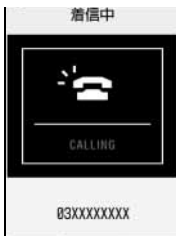
2 [(⁾⁾)]

お話しください。通話時間が表示されます。
- 通話中保留にする：[保留]
- スピーカーホン機能に切り替える：[✉] または [(⁾⁾)]
- FOMA 端末を開いても電話を受けられます。☛P62

3 通話が終わったら [☎]

- FOMA 端末を閉じて電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

ディスプレイの表示について

着信中の相手からの発信状況や FOMA 端末の設定に従って、電話番号や名前、画像、動画／ｉ モーションなどがディスプレイに表示されます。名前や電話番号を表示しないように設定できます。☛P128

■ **相手の電話番号が通知されたとき**

相手の電話番号が電話帳に登録されていない場合は、電話番号が表示されます。また、電話着信設定またはテレビ電話着信設定で設定した画像が表示されます。

相手の電話番号が電話帳に登録されている場合には名前と電話番号が表示されます。また、人物画像表示設定が「ON」のときは電話帳に設定している画像や動画／ｉ モーションも表示されます。☛P127

■ **相手の電話番号が通知されなかったとき**

発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知理由	理　由
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります）

音声電話がかかってきた場合は、発番号なし動作設定で設定した着信動作やイメージ表示が優先されます。テレビ電話がかかってきた場合は、着信画像はテレビ電話着信設定が優先されます。

着信中の操作について

音声電話の着信中にサブメニューから次の操作ができます（通話中着信動作選択を「通常着信」に設定していると、通話中に別の電話がかかってきたときも同様に操作できます）。

サブメニュー	説　明
1 **着信拒否**	電話が切れます（相手側に通話料金はかかりません）。
2 **留守番電話**※1	かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。
3 **転送でんわ**※2	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※1：留守番電話サービスをご利用いただき、音声電話がかかってきた場合に有効です。
※2：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

- ♬（1秒以上）：伝言メモで応対する（クイック伝言メモ）
- ♬：着信音、バイブレータを停止する
- ：着信音量を調整する

通話中に「ププ…ププ…」という音（通話中着信音）が聞こえたとき

留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかをご契約いただくと、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、次の動作ができます。

ご契約の内容	動　作	参照先
留守番電話サービス※1	留守番電話サービスセンターに接続します。	P342
キャッチホン	通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答します。	P343
転送でんわサービス※1	転送先へ転送します。	P344

※ 1：通話中着信設定を開始に設定し、通話中着信動作選択を「通常着信」に設定した場合にサブメニューから操作できます。

- キャッチホンをご契約されていない場合は、通話中着信音「ププ…ププ…」が鳴っても電話は受けられません。

おしらせ

- FOMA 端末から転送された電話を着信した場合は、転送元の電話番号が電話帳に登録されていないときは電話番号が、電話帳に登録されているときは名前が表示されます。ただし、転送元によっては、転送元の電話番号や名前が表示されないことがあります。
- 電話帳や電話着信設定などで電話着信時の画像に動画／ｉモーションを設定していても、音声通話中に音声電話の着信があった場合は動画／ｉモーションは再生されず、最初のコマが表示されます。
- 国際電話がかかってきた場合、発信者番号の先頭に「＋」が表示されます。
- ミュージックプレイヤー再生中に着信があったときは、再生を一時停止します。
- FM ラジオ受信中に着信があったときは、受信を停止します。
- 電話帳に登録されていない相手からの着信に対して、着信を拒否したり、着信音やバイブレータなどでの呼出動作をすぐに開始しないように設定できます。☛P151、P150
- 電話帳に登録されている相手に対して着信拒否を設定できます。☛P147

音声電話からテレビ電話に切り替えて電話を受ける

- 切り替え操作は、音声電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
- テレビ電話への切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P90

つづく

1 音声電話通話中にテレビ電話への切替要求を受ける

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

2 「はい」を選択

テレビ電話に切り替わり、相手側に自画像が送信されます。
- 代替画像を送信する：「いいえ」を選択
- 「はい」を選択したときに初めて自画像が送信されます。

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする エニーキーアンサー設定

電話がかかってきたとき、[通話] 以外に [0] ～ [9]、[＊]、[＃] を押して電話に出られるようにします。
- 本機能は音声電話に有効です。ただし、通話中着信時は無効です。

お買い上げ時 ON

1 [MENU] [8] [6] [5]

2 [1] を押す
- 解除する：[2]

FOMA 端末を開いて通話を開始する 着信中オープン応答

- 本機能は音声電話にのみ有効です（プロテクトキーロック中も有効です）。

お買い上げ時 OFF

1 [MENU] [8] [6] [8] [5]

2 [1] を押す
- 解除する：[2]

FOMA 端末を閉じて通話を切断／継続／保留する 通話中クローズ設定

- 64K データ通信中、パケット通信中は、本機能は動作しません。

お買い上げ時 通話継続

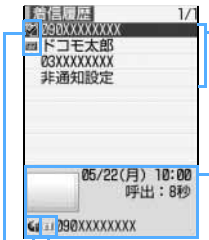
1 [MENU] [8] [6] [9] [5]

2 [1]～[3]

切断　：通話を終了します。
通話継続：通話を継続します。
通話保留：通話を保留します。相手にはガイダンス（通話保留音）が流れます。

おしらせ

- 「通話保留」に設定している場合、以下のように動作します。
  - テレビ電話通話中に静止画やフレームを重ねた自画像を送信中にFOMA端末を閉じたときは、保留解除後、静止画やフレームは解除されます。
  - ポーズ（P）入力後にプッシュ信号（DTMF）を送出するなど、プッシュ信号（DTMF）一括送信中にFOMA端末を閉じたときは通話を継続します。
  - 音声電話／テレビ電話の切り替え中にFOMA端末を閉じたときは通話を継続します。
- 付属のマイク付リモコン、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や市販のハンズフリー対応機器などを接続して通話中に FOMA 端末を閉じた場合、接続中の機器から音を鳴らすように設定しているときは、本機能の設定に関わらず通話は継続されます。この状態で付属のマイク付リモコン、平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）やハンズフリー対応機器を外しても通話は継続されます。
- 伝言メモ録音／録画中に FOMA 端末を閉じた場合、本設定に関わらず録音／録画は継続されます。
- 通話中音声メモ録音中／動画メモ録画中に FOMA 端末を閉じた場合は、本設定に従って動作します。「通話保留」に設定している場合、保留直前までに録音／録画していた内容が保存されます。
- 「通話継続」に設定している場合、FOMA 端末を閉じたときもそのままの画像で通話できます。

Menu 44

着信履歴を利用する

着信履歴

かかってきた電話や電話に出られなかったとき（不在着信）の履歴を記録しておく機能です。伝言メモに録音／録画されたときも記録されます。

- 最大 30 件記録されます。30 件を超えると、古いものから順に消去されます。

例 着信履歴から電話をかけるとき

1 ▶着信履歴一覧で着信履歴を選ぶ

※ 1：電話番号が電話帳に登録されている場合
※ 2：電話帳に登録されている場合
※ 3：マルチナンバーを契約している場合（着信した基本契約番号の名称または付加番号の名称）

- 着信履歴一覧／リダイヤル一覧を切り替える：[□]

■ 電話帳に登録する：
① **着信履歴を選ぶ▶MENU 1**
• 登録済みの電話帳データに追加する：MENU 2
② **1 ～ 2▶名前やメールアドレスなどを登録** ☛P95、P98
• 登録済みの電話帳データに追加する：1 ～ 2▶電話帳データを選択▶登録内容を修正 ☛P105

■ **SMS を作成する：着信履歴を選ぶ▶✉（1 秒以上）**
着信履歴の電話番号を宛先にした SMS の作成画面が表示されます。
• ✉ を押すと、着信履歴の電話番号がメールアドレスとともに電話帳に登録されている場合は、1 件目のメールアドレスが宛先に設定された i モードメールの作成画面が表示されます。それ以外の場合は、着信履歴の電話番号が宛先に設定された i モードメールの作成画面が表示されます。

2 または

• 選んでいる着信履歴と同じ着信方法で電話をかける：

かかってきた電話に出られなかったとき（不在着信）

1（数字は件数）が表示され、着信履歴に記録されます。☛P37
• イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、着信履歴を表示するまでの間は着信ランプが点滅します。
• 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

おしらせ

● 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信を表示する場合は着信履歴一覧で MENU 5 3 を押します。呼出開始時間外の不在着信を表示する場合は MENU 5 2、すべての着信履歴を表示する場合は MENU 5 1 を押します。
● 条件を設定して電話をかけられます。☛P56
● 呼出動作開始時間設定で設定した呼出開始時間内の不在着信のみが着信履歴に記録されている場合、待受画面で を押すと、表示されていない着信履歴がある旨の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、呼出開始時間内履歴が表示されます。
● 日付・時刻が設定されていない場合は、着信履歴には日時が記録されません。
● 会社などでダイヤルインをご利用の相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なった番号が表示される場合があります。
● 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合、着信時の種別（音声電話／テレビ電話）が着信履歴に記録されます。
● ダイヤル発信制限や PIM ロックを設定すると、それまでに記録されていた着信履歴は削除されます。ただし、その後の着信は着信履歴に記録され、PIM ロック中の場合は着信履歴から発信できます。
● マルチナンバーに登録している発信番号を選択するには ☛P347

着信履歴を削除する　着信履歴削除

1 [←]

2 **着信履歴を選ぶ ▶ [MENU][4][1]**
- 全件削除する：[MENU][4][2]

3 **「はい」を選択**

相手の声の音量を調整する　受話音量調整

レベル１（最小）～レベル６（最大）の６段階で調整できます。
- キー確認音、音声電話伝言メモ、音声メモの再生音の音量にも反映されます。
- 通話中に変更された音量は、通話終了後も保持されます。
- 受話音量は電源を切っても保持されます。

お買い上げ時　レベル４

通話中に調整する

1 **通話中に [↕]**

[↓]を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。
- 音量を大きくする：[↑]または[→]
- 音量を小さくする：[↓]または[←]
- テレビ電話通話中の音量調整をする：[MENU][7]

待受中に調整する

1 **[MENU][8][1][3] ▶ [✥]で音量調節 ▶ [↓]**

着信音の音量を調整する　着信音量調整

電話やメール、メッセージR/Fの着信音の音量を調整します。
- 「Silent」（消音）、レベル１～レベル６の７段階で調整できます（着モーションも７段階になります）。待受中はステップトーン（約３秒ごとに、消音→レベル１→…→レベル６で着信音が鳴る）も設定できます。
- 電話着信中に変更された着信音量は、通話を終了すると元に戻ります。
- 待受中に変更された着信音量は、電源を切っても保持されます。
- 電話着信音量は、電池レベル表示時の確認音、ｉアプリ、スケジュールアラームの音量にも反映されます。ただし、ステップトーンに設定した場合のｉアプリの音量と電池レベル表示時の確認音はレベル４です。

お買い上げ時　電話着信音量調整：レベル４　メール着信音量調整：レベル４

着信中に電話の着信音量を調整する

1 **着信中に [↕]**

[⏎] を押すか、キーの操作を止めてしばらくすると、自動的に音量が設定されます。

- 音量を大きくする：[↑] または [→]
- 音量を小さくする：[↓] または [←]

おしらせ

- 着信音とバイブレータの動作を止める：着信中に [♪]
- 電話着信音量調整をステップトーンに設定している場合、着信中に調整をすると、レベル 6 からの変更になります。

待受中に調整する

例 電話着信時の音量を調整するとき

1 [MENU][8][1][2][1]

■ **メール着信時の音量を調整する：[MENU][8][1][2][2]**

2 [✥]

- ステップトーンにする：レベル6のときに、[↑]または[→]
- 消音にする：レベル1のときに、[↓]または[←]

3 **[⏎] を押す**

おしらせ

- 電話の着信音量を消音に設定した場合は、待受画面に [消音アイコン] が表示されます。また、同時に音声電話のバイブレータを設定した場合は、[アイコン] が表示されます。

Menu 8222 / Menu 8224

音声電話／テレビ電話着信時の動作を設定する 電話着信設定／テレビ電話着信設定

- 本機能の設定は、音の設定、バイブレータ設定の電話／テレビ電話、およびイルミネーション設定の音声着信／テレビ電話着信にも反映されます。

お買い上げ時 着信音：メロディ／電話メロディ B（電話着信設定）、メロディ／■ FLOW（テレビ電話着信設定）
イメージ表示：標準画像　バイブレータ：OFF　イルミネーション：点滅／オーシャン

例 音声電話着信時の動作を設定するとき

1 [MENU][8][6][2]

■ **テレビ電話着信時の動作を設定する：[MENU][8][7][2]**

2 各項目を選択して設定

着信音：電話がかかってきたときの着信音を設定します。
- 「OFF」を選択すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択したときは、メロディまたは動画／ｉ モーションを選択します。

イメージ表示：電話がかかってきたときに表示する画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を設定します。
- 「ｉモーション」を選択したときは、フォルダ一覧から動画／ｉモーションを選択します。フォルダ一覧が表示されないときは、「画像選択」を選択します。

バイブレータ：電話がかかってきたときの振動を設定します。

イルミネーション：着信ランプの点灯パターンと色を設定します。

- 選択時にメロディ、動画／ｉ モーションを再生して確認するには☛P114

3 [📖]を押す

おしらせ

- イメージにパラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。
- 音声のみの動画／ｉ モーション（歌手の歌声など映像のないｉ モーション）を着信音に設定しているとき、イメージ表示を映像のみの動画／ｉ モーションまたは Flash 画像に設定し直すと、着信音は「パターン 1」（音声電話）または「電話・メロディ A」（テレビ電話）になります。
- 動画／ｉ モーションによってはイメージに設定できない場合があります。また、音声のある動画／ｉ モーションは設定できません。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定していても連動しないことがあります。

通話中やパケット通信中の着信時に優先して表示する画面を設定する　優先通信モード設定

音声電話通話中にパケット通信の着信があったとき、またはパケット通信中に音声電話がかかってきたときに、どちらの画面を優先的に表示させるかを設定します。
- 本設定により画面の表示が切り替わっても、通話やパケット通信は中断されません。

お買い上げ時　設定なし

1 [MENU][8][6][8][1]

2 [1]～[3]

設定なし：表示の優先を決めずに後から着信した方の画面を表示します。

音声通話表示優先：音声電話通話中の画面を優先して表示します。

パケット通信表示優先：パケット着信中の画面を優先して表示します。

- ｉ モードのパケット着信時は、本設定に関わらず、音声電話通話中の画面が優先して表示されます。

表示される画面について

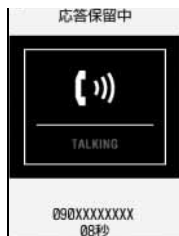
優先通信モード設定の設定内容によって、画面の表示は次のようになります。

設定内容	音声電話通話中のパケット着信時（ｉモード以外）※1、※2	パケット通信中の電話着信時※3
設定なし	音声電話通話中の画面	音声電話着信中の画面
音声通話表示優先	音声電話通話中の画面	音声電話着信中の画面
パケット通信表示優先	パケット着信中の画面	ｉモード中の画面

※1：電話着信時に表示される画面は、通話中着信動作選択の設定に従って動作します。☛P346
※2：ｉモード以外のパケット通信にはｉモードメール、SMS、メッセージR/Fの受信は含まれません。
※3：ｉモード中にｉモード以外のパケット着信は受けられません。☛P383

すぐに電話に出られないときに保留にする　応答保留

・応答保留中でも相手側には通話料金がかかります。

1 着信中に [電話]

音声電話応答保留中

テレビ電話応答保留中

応答保留になります。相手には応答保留ガイダンスが流れます。
テレビ電話のときは、自分と相手には応答保留画像が表示されます。

2 電話に出られる状態になったら [通話]

・音声電話の場合は、FOMA端末を開いても電話に出られます。☛P62
・テレビ電話の場合は [テレビ電話] または [通話] を押します。[メール] を押すと、相手には代替画像が送信されます。☛P89
・応答保留中に [電話] を押すか、相手が電話を切ると、通話が終了します。

おしらせ

● 留守番電話サービスや転送でんわサービスをご利用の場合は、着信中に [MENU] を押し「留守番電話」／「転送でんわ」を選択すると、留守番電話への切り替えや電話の転送ができます。

応答保留ガイダンスを設定する　応答保留ガイダンス設定

自分の声を応答保留ガイダンスとして録音することもできます。

・ガイダンスは1件、約10秒間録音できます。
・音声電話、テレビ電話ともに、応答保留中はここで設定したガイダンスが流れます。

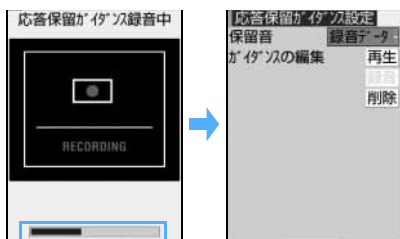
お買い上げ時　内蔵音

例 録音データをガイダンスに設定するとき

1 MENU 8 6 4

2 **保留音欄を選択 ▶ 2**

・お買い上げ時のガイダンスに戻す：1 ▶ 操作４に進む

3 **ガイダンスの編集欄の「録音」を選択 ▶ 発信音の後に応答保留ガイダンスを話す**

録音可能時間の目安

メッセージが表示された後、録音が開始されます。

- 録音開始から約10秒後に終了音（ピーッ）が鳴ります。
- 録音を途中で停止する：
- 録音したガイダンスを確認する：「再生」を選択
- 既に録音データが登録されているときは「録音」は選択できません。「削除」を選択し、「はい」を選択して録音データを削除してから録音してください。

4 **を押す**

おしらせ

● 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。

● 保留音を「内蔵音」に設定すると、応答保留時に相手に「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

通話保留音を設定する

通話保留音設定

・音声電話、テレビ電話ともに、通話保留中はここで設定したメロディが流れます。

・本機能の設定は、音の設定の通話保留音にも反映されます。

お買い上げ時 保留音・ボイス

1 MENU 8 6 9 3

2 2 ～ 3

・お買い上げ時のメロディに戻す：1

・メロディを再生する：メロディを選ぶ ▶

おしらせ

● 通話保留中に流れるときの通話保留音の音量は変更できません。

公共モード（ドライブモード）を利用する

公共モード（ドライブモード）

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

- 公共モードの設定／解除は、待受中のみできます（画面に「圏外」が表示されている時でも可能です）。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- 本機能は、データ通信中はご利用できません。

公共モード（ドライブモード）を設定する

1 **[＊]（1 秒以上）**

公共モードが設定され、[アイコン]が表示されます。
着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

- マナーモードを同時に設定しているときは、公共モードの設定が優先されます。

■ **解除する：[＊]（1 秒以上）**

■ 公共モード（ドライブモード）を設定すると

お客様の FOMA 端末に電話がかかってきても、着信音は鳴りません。画面には[アイコン 1]が表示され、着信履歴に記録されます。
電話をかけてきた相手には運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

■ 公共モード（ドライブモード）中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。	留守番電話サービスセンターに接続されずに切断されます。
転送でんわサービス	相手に公共モードのガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モード中である旨の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。 転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
キャッチホン	公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが流れた後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。

おしらせ

● 公共モード中は、次の音が鳴りません。また、バイブレータや着信ランプも動作しません。
 • 着信音 • アラーム音 • スケジュールアラーム音 • 電池アラーム音
 • ｉ アプリのサウンド • 充電確認音 • 通話料金上限通知アラーム※1
 ※1：通話料金上限通知の設定を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません。
● 公共モード中でも、次の音は鳴ります。
 • キー確認音 • FOMA 端末開閉時のスライドオープン／スライドクローズの効果音
 • カメラおよびビデオカメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）
 • サウンドレコーダー録音時の録音確認音
● 公共モード中でも、オーディオ機能は起動できます。
● 公共モード中は、待受画面に ｉ チャネルの情報はテロップ表示されません。
● メールやメッセージ R/F を受信しても、受信中画面や受信結果画面は表示されません。ただし、ｉ モード問合せを行った場合は、受信中画面や受信結果画面が表示されます。また、このときにメールやメッセージ R/F を受信すると受信中画面が表示され、受信が完了すると受信結果が更新されます。
● 電源が入っていないときや圏外にいるときは、相手には圏外時のガイダンスが流れ、公共モードのガイダンスは流れません。
● 公共モード中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、公共モードは解除されます。ただし、テレビ電話で発信した場合は、解除されません。

公共モード（電源 OFF）を利用する

公共モード（電源 OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源 OFF）を設定した後、電源を切った際の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近等）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

公共モード（電源 OFF）を設定する

1 [＊][2][5][2][5][1]▶[発信]

公共モード（電源 OFF）が設定されます（待受画面上の変化はありません）。
続けて電源を切ると、公共モード（電源 OFF）が動作します。
公共モード（電源 OFF）設定後、電源を切った際の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

■ **解除する**：[＊][2][5][2][5][0]▶[発信]

■ **設定を確認する**：[＊][2][5][2][5][9]▶[発信]

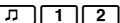
■ **公共モード（電源 OFF）を設定すると**

「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源 OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。
電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。

■ 公共モード（電源 OFF）中の着信と各サービスとの関係

サービス名	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手に公共モード（電源 OFF）のガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続されます。	留守番電話サービスセンターに接続されずに切断されます。
転送でんわサービス	相手に公共モード（電源 OFF）のガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。 相手に流れるガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。 「ガイダンスを流す」に設定したときは、公共モードのガイダンスが流れます。「ガイダンスを流さない」に設定したときは、ガイダンスは流れません。	相手に公共モード（電源OFF）中である旨の映像ガイダンスは表示されずに、転送先に転送されます。転送先がテレビ電話に対応していない電話機の場合は切断されます。
迷惑電話ストップサービス	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨のガイダンスが流れた後、切断されます。	相手が迷惑電話着信拒否に登録されている場合、相手に接続できなかった旨の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れた後、切断されます。	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、切断されます。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モード（電源OFF）中である旨の映像ガイダンスが表示された後、切断されます。

電話に出られないときに用件を録音／録画する　伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが再生され、相手の用件が録音／録画されます。

- 音声電話・テレビ電話合わせて最大 4 件、1 件につき約 30 秒間録音／録画できます。
- 音声電話の場合は相手の声だけ録音されます。テレビ電話の場合は相手の画像も録画されます。
- 録音／録画日時や電話番号なども記録されます。ただし、日付・時刻が設定されていない場合や電話番号が通知されていない場合などは、日時や電話番号は記録されません。
- 電話がかかってきてから応答ガイダンスを再生するまでの時間を変更できます。
- 自分の声で応答ガイダンスを作成できます。
- 伝言メモの内容は、手帳などに別にメモをお取りください。
  FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Menu 4611

伝言メモを設定する

お買い上げ時　停止する

1 ♫ 1 1

待受画面にが表示されます。

■ **解除する**：♫ 1 2

クイック伝言メモで応対する

伝言メモ機能を開始に設定していなくても、着信中に ♫ を 1 秒以上押すと、伝言メモ機能を 1 回だけ動作させることができます。この操作は伝言メモ機能を開始に設定する操作ではありません。

おしらせ

● 伝言メモが 4 件録音／録画されると、待受画面に が表示されます。この場合、伝言メモを解除してもアイコンは消えません。
● 伝言メモが既に 4 件録音／録画されている場合は、伝言メモを設定できません。また、着信中に ♫ を 1 秒以上押してクイック伝言メモを動作させようとすると、警告音（ピピッ）が鳴り、着信音が鳴り続けます。不要な伝言メモを削除してから操作をやり直してください。

伝言メモの設定中に電話がかかってくると

1 電話がかかってくる

応答時間の設定に従って着信音が鳴った後、伝言メモ応答ガイダンスの画面が表示されます。
- 伝言メモ応答ガイダンスを「内蔵音」に設定しているときは、相手には「ただいま、電話に出ることができません。ピーッという発信音の後にお名前、ご用件をお話しください。」というガイダンスが流れます。録音したガイダンスを流すときは、「録音データ」に設定します。

2 相手のメッセージを録音または録画

音声電話伝言メモ録音中　テレビ電話伝言メモ録画中

- 録音／録画の開始時と終了時に相手には「ピーッ」と鳴ります。また、録音／録画開始時から約 25 秒後に､終了予告音（ピピッ）が鳴ります。

3 録音または録画が終了すると、電話が切れる

1（数字は件数）が表示されます。

おしらせ

● 電源が入っていないときや圏外にいるときは、伝言メモ機能は動作しません。留守番電話サービス（有料）をご利用ください。
● 伝言メモが既に 4 件録音／録画されている場合は、伝言メモ機能は動作せず、着信音が鳴り続けます。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定している場合は、各サービスが作動します。
● 公共モード（ドライブモード）中は公共モード（ドライブモード）が優先され、伝言メモ機能は動作しません。
● 電波の状態により、録音内容が途切れたり、画面が乱れる場合があります。
● 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中に別の電話がかかってきた場合は、着信を拒否して応答ガイダンス、録音／録画を継続します。留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただいている場合、着信を拒否した電話は着信履歴に記録されます。
● 応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でも電話に出られます。音声電話の場合は、 を押します。テレビ電話の場合は、 または を押すと、自画像が送信され、 を押すと代替画像が送信されます。音声電話の場合は、FOMA 端末を開いても電話に出られます。☛P62
このとき、伝言メモ録音／録画中の場合は電話を受けるまでの録音／録画内容は記録されません。
● イルミネーション設定の新着通知を「ON」に設定している場合、未再生の伝言メモがある間は着信ランプが点滅します。

Menu 4613

応答ガイダンスが始まるまでの時間を設定する　伝言メモ応答時間設定

お買い上げ時　8 秒

1 ♫ 1 3

2 応答時間を入力（0 〜 120 秒）

- 数字を増減する：[上下]

おしらせ

- オート着信機能設定（付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）など接続時）・留守番電話サービス・転送でんわサービスと本機能を同時に設定している場合、設定した時間により、優先順位が異なります。伝言メモを優先させるには、伝言メモの応答時間をオート着信機能設定・留守番電話サービス・転送でんわサービスの呼出時間設定よりも短く設定してください。ただし、電波状態によっては伝言メモが優先されないことがあります。この場合は、クイック伝言メモで応答してください。
- オート着信機能設定の自動着信機能時間と伝言メモの応答時間は、同じ時間に設定できません。

Menu 4614

応答ガイダンスを設定する　伝言メモ応答ガイダンス設定

自分の声を応答ガイダンスとして録音できます。

- ガイダンスは 1 件、約 10 秒間録音できます。

お買い上げ時　内蔵音

例　録音データをガイダンスに設定するとき

1 ♫ 1 4

2 伝言メモ応答ガイダンス欄を選択 ▶ 2

- お買い上げ時の応答ガイダンスに戻す：1 ▶ 操作 4 に進む

3 ガイダンスの編集欄の「録音」を選択 ▶ 発信音の後に応答ガイダンスを話す

- 操作方法は応答保留ガイダンスを録音する場合と同じです。☛P68

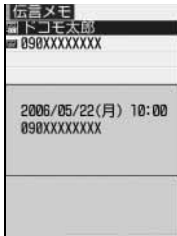
4 [メニュー] を押す

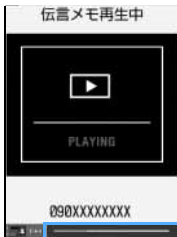
おしらせ

- 録音したガイダンスを削除すると、お買い上げ時のガイダンスに戻ります。

伝言メモを再生する

伝言メモ一覧から、録音された伝言メモを再生／削除します。
- 未再生の伝言メモがあるときは、待受画面からすばやく伝言メモを再生できます。☛P37

1 ♫ 2

伝言メモ一覧画面では、録音日時と相手の電話番号が表示されます。
：未再生の音声電話伝言メモ　：未再生のテレビ電話伝言メモ
：再生済みの音声電話伝言メモ　：再生済みのテレビ電話伝言メモ
- 相手の電話番号が通知されたときは電話番号が、通知されなかったときは発信者番号非通知理由が表示されます。また、電話帳に登録されている相手の場合は名前が表示されます。

2 再生する伝言メモを選択

音声電話伝言メモの場合

- 再生中は次の操作ができます。
  ：音量調整　：停止
  ：スピーカーホン機能の切り替え（音声電話伝言メモのみ）

■ **削除する：**
① **伝言メモを選ぶ ▶ MENU 2 1**
  - 全件削除する：MENU 2 2

② **「はい」を選択**

■ **電話帳に登録する：**
① **伝言メモを選ぶ ▶ MENU 4**
  - 登録済みの電話帳データに追加する：MENU 5

② **1 ～ 2 ▶ 名前やメールアドレスなどを登録** ☛P95、P98
  - 登録済みの電話帳データに追加する：1 ～ 2 ▶ 電話帳データを選択 ▶ 登録内容を修正 ☛P105

■ **電話をかける：**
伝言メモを選ぶ ▶ （音声電話のとき）または （テレビ電話のとき）
  - 条件を設定して電話をかけられます。☛P56

3 再生した伝言メモを削除するかどうかを選択
- 伝言メモを削除する：「はい」を選択

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。テレビ電話を利用すると、お互いの画像を見ながら通話できます。また、自分の映像の代わりに静止画や代替画像、キャラ電なども表示できます。

ドコモのテレビ電話は「国際標準の 3GPP ※1 で標準化された、3G-324M ※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※ 1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）…第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体。

※ 2：3G-324M…第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

- テレビ電話の通信速度には、次の 2 種類があります。
  - ・64K：通信速度 64kbps で通信をします。
  - ・32K：通信速度 32kbps で通信をします。

テレビ電話通話中の画面の見かた

1	**親画面**	お買い上げ時は、相手側のカメラ映像を表示
2	**通信速度**	：64K　：32K
3	**スピーカーホン機能**	：スピーカーホン機能 ON 表示なし：スピーカーホン機能 OFF
4	**子画面**	お買い上げ時は、自分側のカメラ映像を表示
5	**ズーム**	～：標準～ 2 倍
6	**状態**	：自画像送信中　：カメラオフ画像送信中 ：キャラ電送信中　：フレーム送信中 ：静止画送信中　：通話保留中 ：応答保留中　：伝言メモ録画中 ：動画メモ録画中
	アクションモード	：全体アクション　：パーツアクション
7	**撮影モード**	：フルオート　など 他の撮影モードのアイコンについては ☛P85
8	**送信画質**	表示なし：標準　：画質優先　：動き優先
9	**音声・映像の送受信**	：音声送受信中　：映像送受信中 ：音声・映像送受信中
10	**テレビ電話切替機能**	表示なし：切り替え不可　：切り替え可
11	**通話時間**	時：分：秒の形式で表示

テレビ電話をかける

- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話をかけられます。☛P56

1 電話番号を入力

- 音声電話の入力方法と同じです。

2 [テレビ電話]

テレビ電話接続中は、自分の画像が表示されます。

- 相手が話し中のときは、「ツーツー」という話中音が聞こえ、ディスプレイには「お話中です」または「接続できませんでした」のメッセージが表示されます。[終話] を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。リダイヤルを使うと便利です。
- 代替画像がキャラ電の場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。☛P89
- 「テレビ電話接続」と表示された時点から課金が始まります。

3 通話する

相手の声がスピーカーから聞こえます（スピーカーホン機能）。

- 通話中保留にする：[保留]
- スピーカーホン機能を切り替える：[メール] または [スピーカー]
- 相手の設定により代替画像などが表示される場合があります。
- 自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替わらないようにするには、テレビ電話動作設定で設定を変更するか、マナーモードに設定します。

4 通話が終わったら [終話]

- FOMA端末を閉じてテレビ電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

テレビ電話通話中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。また、テレビ電話通話中に [♪] を1秒以上押すと相手の声や画像を録音／録画できます（動画メモ）。

サブメニュー	説　明	参照先
1 **音声電話切替**	テレビ電話から音声電話へ切り替えます。	P81
2 **カメラ調整**	送信する画像に効果をかけたり、明るさ、色の濃さ、ちらつきを調整します。	P86
3 **フレーム／代替画像**	送信する画像にフレームを付けたり、キャラ電や静止画を送信します。	P85 P83 P86
4 **画像品質設定**	送受信する画像の品質を設定します。	P85
5 **テレビ電話動作設定**	通話中に表示する画面の設定を変更します。	P88
6 **DTMF送信**	テレビ電話通話中にプッシュ信号（DTMF）を送出します。	P81
7 **受話音量調整**	受話音量を調整します。	P65

おしらせ

- 操作2、操作1の順でもテレビ電話をかけられます。[ビデオ]を押して電話番号を入力した後、約5秒経過すると自動的にテレビ電話がかかります。
- 条件を設定してテレビ電話をかけられます。☛P56
- テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、マナーモード中にテレビ電話をかけるとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。
- 付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などと接続中にテレビ電話で通話すると、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定の設定に関らず、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
- 代替画像やキャラ電を利用しても、テレビ電話の通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になりますのでご注意ください。
- テレビ電話がかからなかったときは、画面に次のメッセージが表示され、待受画面に戻ります。なお、通話する相手の電話機種別やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	説　明
番号をご確認の上おかけ直しください	使われていない電話番号です。
お話中です	相手が話し中、またはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか、電源が切れています	相手が電波の届かない所にいるか、電源が入っていません。
発信者番号通知をONにしてください	発信者番号非通知で接続した場合に表示されます（Vライブやビジュアルネット等への発信時）。
音声電話でおかけ直しください	相手が留守番電話サービスを設定している場合や、転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末の場合に表示されます。
接続できませんでした	発信者番号通知を「通知する」に設定の上、おかけ直しください。 • 上記以外の場合にも表示されることがあります。

- テレビ電話をかけてつながらなかった場合、次のように再発信が自動で行われます。

発信方法	音声自動再発信設定	再発信動作
64K	ON	64K→32K→音声
	OFF	64K→32K→切断
32K	ON	32K→音声
	OFF	32K→切断

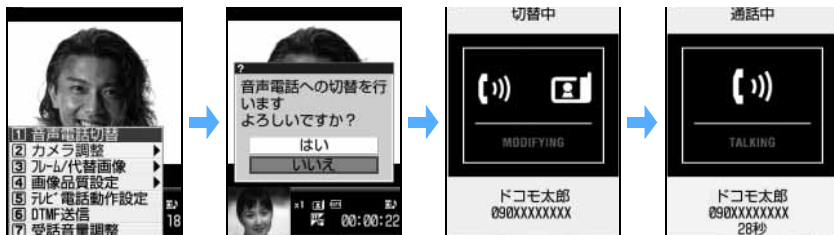
マルチナンバーを指定してテレビ電話を発信した場合は、指定した発信番号で再発信されます。
音声電話で再発信した場合、かかる通話料金は音声通話料になります。

- テレビ電話発信中や再発信中に着信があった場合、発信は中断され、着信音が鳴ることがあります。
- テレビ電話通話中に音声か映像、どちらかの通信が切れて[アイコン]（音声のみ）または[アイコン]（映像のみ）の表示になった場合でも、そのまま通話が継続される場合があります。
- 32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHSなどの機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも相手が32Kエリアなどの通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。テレビ電話設定の音声自動再発信が「ON」に設定されている場合も、32Kでの再発信が優先されます。☛P88
  • 32Kで電話接続をした場合でも、64Kで接続したデジタル通信料と同一になります。
- テレビ電話設定の音声自動再発信を「ON」に設定中にFOMA端末から緊急通報（110番、119番、118番）へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

テレビ電話から音声電話に切り替える

相手側が切り替え可能な端末の場合、テレビ電話通話中に、サブメニューからの操作で音声電話へ切り替えられます。切り替えは、テレビ電話をかけた側の端末からのみ操作できます。

- 音声電話／テレビ電話切り替え対応の端末どうしでご利用いただけます。
- 音声電話に切り替えるには、相手がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。☛P90

1 テレビ電話通話中に MENU 1 ▶「はい」を選択

- 切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。
- 「いいえ」を選択するとテレビ電話通話中の画面に戻ります。

おしらせ

- テレビ電話と音声電話を切り替える際の注意事項については、「音声電話からテレビ電話に切り替える」のおしらせを参照してください。☛P53
- 音声電話からテレビ電話へ戻すには ☛P53

プッシュ信号（DTMF）を送出する　DTMF送信

(自画像送信中）／(カメラオフ画像送信中）／(キャラ電送信中）のときにプッシュ信号（DTMF）を入力できます。

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

1 通話中に MENU 6 ▶ ダイヤルキーで入力

入力した番号が画面に表示され、プッシュ信号（DTMF）が送出されます。

- プッシュ信号（DTMF）送出を解除する：CLR
- 自画像送信中は MENU 6 を押さなくても、ダイヤルキーを押すだけでプッシュ信号（DTMF）送出ができます。
- プッシュ信号（DTMF）を送出すると、設定されたフレームや静止画は解除されます。
- プッシュ信号（DTMF）はダイヤルキーで送出するため、キャラ電送信中の場合はダイヤルキーによるアクション操作はできません。

テレビ電話を受ける

・、、以外のキーを押してテレビ電話を受けることはできません（エニーキーアンサーは無効です）。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ディスプレイの照明が点灯し、着信ランプが点灯／点滅します。
- 相手からの発信状況や FOMA 端末の設定に従って、電話番号や名前、画像、動画／ｉモーションなどがディスプレイに表示されます。
- 応答保留にする：

2 または

テレビ電話接続中は、自分の画像がディスプレイに表示されます。

■ **代替画像でテレビ電話を受ける：**

テレビ電話がつながったときから、相手には代替画像が送信されます。
- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、代替画像設定の標準画像が送信されます。

3 通話する

相手の声がスピーカーから聞こえます（スピーカーホン機能）。
- 通話中保留にする：
- スピーカーホン機能を切り替える：または
- 相手の設定により、代替画像などが表示される場合があります。
- 自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替わらないようにするには、テレビ電話動作設定で設定を変更するか、マナーモードに設定します。

4 通話が終わったら

- FOMA 端末を閉じてテレビ電話を切るようにするには、通話中クローズ設定で設定を変更します。

着信中の操作について

サブメニューから次の操作ができます。

サブメニュー	説　明
1 着信拒否	電話が切れます。相手側に通話料金はかかりません。
2 転送でんわ※1	かかってきた電話を転送先へ転送します。

※ 1：転送でんわサービスをご利用いただき、転送先が登録されている場合に有効です。

・着信中には次のキーで操作できます。
・[♫]（1 秒以上）：伝言メモで録画する（クイック伝言メモ）
・[♫]：着信音、バイブレータを停止する
・[↕]：着信音量を調整する

おしらせ

● テレビ電話動作設定でスピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、マナーモード中にテレビ電話を受けるとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。
● 付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、テレビ電話動作設定のスピーカーホン設定の設定に関わらず、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。
● テレビ電話がかかってきたときは、転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先を 3G-324M に準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合、テレビ電話は接続されません。転送先の電話機をあらかじめご確認の上、転送先を設定してください。
● テレビ電話着信時の動作を変更するには ☛P66

テレビ電話から音声電話に切り替えて電話を受ける

・切り替え操作は、テレビ電話を発信した側からのみ行うことができます。着信した側からは切り替え操作を行うことはできません。
・音声電話への切替要求を受けるには、テレビ電話切替機能通知を開始しておく必要があります。☛P90

1 テレビ電話通話中に音声電話への切替要求を受ける

切替中
MODIFYING
ドコモ太郎
090XXXXXXXX

テレビ電話から音声電話へ自動的に切り替わります。
・切り替え中は電話を切り替える旨のガイダンスが流れます。

キャラ電を利用する

テレビ電話で通話するときに、自分の画像の代わりにキャラクタを送信します。テレビ電話通話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かしたり、キャラクタによっては、送話口からの音声に反応して口を動かしたりします。

1 通話中に [MENU] [3] [2] [1]

つづく

2 フォルダを選択 ▶ キャラ電を選択

キャラ電
©BVIG
アクション一覧のテロップ表示

- キャラ電を代替画像として送信中にダイヤルキーを押すと、キャラクタが数字に対応したアクションをします。また、以下の操作も行えます。
  0 ：アクションの中止
  ＊ ：アクション一覧の表示
  - アクションを選択するとキャラクタが動きます。

  ＊（1秒以上）：アクションモード（全体アクション／パーツアクション）の切り替え
- お買い上げ時に登録されているキャラ電のアクション一覧 ☛P372

おしらせ

● キャラ電によっては、アクションがないものがあります。

相手側に送信する映像について設定する

設定できる項目は次のとおりです。

項　目	参照先
送信画像を自画像／代替画像に切り替える	P84
送受信画像の品質を設定する	P85
送信画像にフレームを重ねる	P85
送信画像に特殊な効果をかける	P85

項　目	参照先
送信画像の明るさ／色の濃さ／ちらつきを調整する	P86
静止画／カメラオフ画像を送信する	P86
表示倍率を切り替える	P87

送信画像を自画像／代替画像に切り替える

1 通話中に [自画像]

代替画像
©BVIG

- 押すたびに自画像（[自画像]）と代替画像（[代替画像]または[代替画像]）が切り替わります。☛P89
- 代替画像にキャラ電が設定されている場合、キャラ電が表示できないことがあります。このとき相手には、テレビ電話画像選択の標準画像が送信されます。☛P89

送受信画像の品質を設定する

•「動き優先」に設定すると画像の動きはなめらかになり、画質がやや粗くなります。
•「画質優先」に設定すると画質は細やかになり、画像の動きがやや鈍くなります。

お買い上げ時 標準

例 送信する画像の品質を設定するとき

1 通話中に MENU 4 1

• 送信画像の品質は、通話中に [キー] を押しても切り替えられます。

■ **受信画像の品質を設定する：通話中に MENU 4 2**

2 1 〜 3

送信画像にフレームを重ねる　フレーム

自画像送信中の場合に、フレームを重ねることができます。

• 表示サイズが 176 × 144（QCIF）以下のフレームのみ選択できます。ダウンロードしたフレームは、表示サイズが 176 × 144（QCIF）のフレームのみ選択できます。

1 通話中に MENU 3 1

2 フレームを選択

• ディスプレイに鏡像（左右逆向きの画像）が表示され、相手には正像（正しい向きの画像）が送信されます。
• フレーム送信を解除する：[アイコン]
• お買い上げ時に登録されているフレーム ☛P371

送信画像に特殊な効果をかける　撮影モード

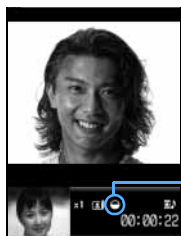
送信する画像に次の効果をかけることができます。自画像送信中の場合のみ変更できます。

項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン	項　目	アイコン
フルオート	[アイコン]	夜景	[アイコン]	グルメ	[アイコン]	モノトーン（赤）	[アイコン]
感度アップ	[アイコン]	トワイライト	[アイコン]	文字	[アイコン]	モノトーン（緑）	[アイコン]
逆光補正	[アイコン]	サーフ&スノー	[アイコン]	美白	[アイコン]	モノトーン（青）	[アイコン]
スポット測光	[アイコン]	スポーツ	[アイコン]	日焼け	[アイコン]	モノクロ	[アイコン]
風景	[アイコン]	ペット	[アイコン]	ソフトタッチ	[アイコン]	セピア	[アイコン]

• 詳しくは ☛P166

お買い上げ時 フルオート

1 通話中に MENU 2 1

2 [1]～[9]、[0]、[＊]、[＃]

現在の効果

・[←□→]でページを切り替えられます。

送信画像の明るさ／色の濃さ／ちらつきを調整する　カメラ調整

明るさ・色の濃さを 5 段階で調整できます。また、画像のちらつきがある場合、お使いの地域の電源周波数に合った設定にするとちらつきが抑えられる場合があります。
- 自画像送信中の場合のみ変更できます。
- 撮影モードの設定によっては明るさ／色の濃さを変更できない場合があります。
- 通話終了後も設定内容が保持されます。

お買い上げ時　明るさ：3 段階目　色の濃さ：3 段階目　ちらつき調整：自動

1 **通話中に [MENU][2] ▶ 項目を選択**

■ **明るさや色の濃さを調整する：**

① [2] ▶ 明るさのスライダを選ぶ ▶ [←□→]
② [↓] で色の濃さのスライダを選ぶ ▶ [←□→] ▶ [📖]
- 調整中、親画面には自画像が表示されます。スライダの位置を変えるたびに、明るさ／色の濃さの変化が確認できます。
- 調整後、しばらくの間何もしなかった場合、設定は変更されずに通話中の画面に戻ります。

■ **ちらつきを調整する：[3] ▶ [1]～[3]**
- ちらつき調整の設定はカメラのちらつき調整にも反映されます。

静止画／カメラオフ画像を送信する

静止画または「カメラオフ」と表示される代替画像（カメラオフ画像）を選択します。
- フレーム送信中（☛P85）の場合は設定できません。
- 画像サイズが 176 × 144（QCIF）以下で、FOMA 端末外への出力が可能な静止画のみ設定できます。FOMA 端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限）☛P305

1 **通話中に [MENU][3] ▶ 項目を選択**

■ **カメラオフ画像を送信する：[3]**
- カメラオフ画像を設定すると、テレビ電話画像選択で設定されている代替画像が送信されます。ただし設定されている代替画像がキャラ電の場合は、標準画像（カメラオフ画像）が送信されます。

■ 静止画を送信する：

① 4 ▶ フォルダを選択
② 静止画を選択
- 静止画を表示する：静止画を選ぶ ▶ [□]
- 元の画像を表示する：静止画像送信中に [□]

表示倍率を切り替える ズーム

- 自画像送信中の場合のみ利用できます。

お買い上げ時 標準（x1）

1 通話中に [□]
- [□] を押すと次の順に切り替わります。[□] を押すと逆の順になります。
  標準（x1）→ 2 倍（x2）

テレビ電話中の画面表示について設定する

- 通話終了後も設定内容が保持されます。

親画面と子画面を切り替える

お買い上げ時 親画面：相手画像　子画面：自画像

1 通話中に [□]
- 押すたびに交互に切り替わります。
  親画面：相手画像／子画面：自画像 ⟷ 親画面：自画像／子画面：相手画像

親画面のサイズを変更する

お買い上げ時 大

1 通話中に [□]（1 秒以上）
- 押すたびに大→中→小→大→ … の順に切り替わります。

通話中に画面表示を設定する 通話中テレビ電話動作設定

お買い上げ時 テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大　照明設定：常灯（標準）

1 通話中に MENU 5

2 各項目を選択して設定
- 各項目の設定方法は「テレビ電話の設定を変更する」の操作 2 と同じです。☛P88

3 [□] を押す

テレビ電話の設定を変更する

テレビ電話動作設定

テレビ電話がつながらなかったときの動作や、テレビ電話通話中の画面を設定します。また、発信時に相手に自画像を送信するかどうかを設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」に設定するとテレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合や、デュアルネットワークサービスでmovaサービスを利用中の場合などでテレビ電話を受けられないときなどに、自動的に音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64kbpsやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2006年2月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならない場合があります。通話料金が発生する場合もありますのでご注意ください。

お買い上げ時　音声自動再発信：OFF　テレビ電話画面設定：両方　子画面表示：自画像　画面サイズ設定：大
発信時自画像送信：ON　送信画質設定：標準　照明設定：常灯（標準）　スピーカーホン設定：ON

1 MENU 8 7 3

2 **各項目を選択して設定**

音声自動再発信：テレビ電話がつながらなかった場合、自動的に音声電話で再発信するかどうかを設定します。

テレビ電話画面設定：通話中に自画像または相手画像のどちらか一方のみを表示するか、両方の画像を表示するかを設定します。
- 「両方」以外に設定した場合、子画面表示は設定できません。

子画面表示：通話中の子画面に自画像と相手画像のどちらを表示するかを設定します。

画面サイズ設定：親画面の表示サイズを設定します。

発信時自画像送信：発信時に相手に自画像を送信するかどうかを設定します。
- 「OFF」に設定すると、代替画像設定で設定した画像を送信します。

送信画質設定：相手に送信する画像の画質を設定します。

照明設定：通話中のディスプレイの照明を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P128）の設定に従って動作します。

スピーカーホン設定：テレビ電話に接続されたときに、自動的にスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかを設定します。

3 **を押す**

おしらせ

- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合でも、相手やネットワークの状況によって再発信が行われないことがあります。
- 音声自動再発信を「ON」に設定している場合、パソコンなどをつないだパケット通信中にテレビ電話をかけようとしても、テレビ電話には接続されずに再発信が行われ、音声電話で再発信します。音声電話通話中や64Kデータ通信中にはテレビ電話には接続されず再発信も行われません。
- 音声自動再発信を「ON」に設定中、音声で再発信した場合の通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。
- スピーカーホン設定を「ON」に設定している場合、マナーモード中にテレビ電話をかけるとスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選択します。

テレビ電話で表示する画像を設定する　テレビ電話画像選択

テレビ電話で相手に送信する代替画像、伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像を変更します。

- 次の画像は設定できません。
  - ・サイズが 176 × 144（QCIF）を超える静止画
  - ・アニメーション、パラパラマンガ
  - ・JPEG 形式、GIF 形式以外の静止画
  - ・FOMA 端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限）☛P305

代替画像を設定する

お買い上げ時　標準キャラ電

1 MENU 8 7 4

2 1 ▶ **イメージ表示欄を選択**

キャラ電
©BVIG

■ **標準のキャラ電を設定する：** 1
「標準キャラ電」（ブンブン（Dimo））が設定されます。

■ **標準の静止画を設定する：** 2
「標準画像」（カメラオフ画像）が設定されます。

■ **その他のキャラ電を設定する：**
① 3 ▶ **「画像選択」を選択 ▶ フォルダを選択**
② **キャラ電を選択**
- キャラ電を表示する：キャラ電を選ぶ ▶ 📖

■ **その他の静止画を設定する：**
① 4 ▶ **「画像選択」を選択 ▶ フォルダを選択**
② **静止画を選択**
- 静止画を表示する：静止画を選ぶ ▶ 📖
- 相手には選択した画像に文字メッセージが重なって表示されます。

3 📖 **を押す**

おしらせ

● 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は「標準キャラ電」に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は「標準画像」に戻ります。

伝言メモ録画中／応答保留／通話中保留／動画メモ録画中の画像を変更する

お買い上げ時 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像

1 MENU 8 7 4

2 2 ～ 5

3 **イメージ表示欄を選択 ▶ 2**

伝言メモ画像の場合

• お買い上げ時の画像に戻す：1 ▶ 操作 6 に進む

4 **「画像選択」を選択 ▶ フォルダを選択**

5 **画像を選択**

6 **[■] を押す**

音声電話とテレビ電話の切り替えについて設定する　テレビ電話切替機能通知

自分の端末が音声電話とテレビ電話の切り替えができる端末であることを、相手の端末に通知するかどうかを設定します。

- 音声電話通話中／テレビ電話通話中は、設定の変更はできません。
- 圏外では、設定の操作はできません。電波状態のよい場所で操作してください。

お買い上げ時 開始

1 MENU 8 7 6 1

■ 停止する：MENU 8 7 6 2

■ 設定内容を確認する：MENU 8 7 6 3

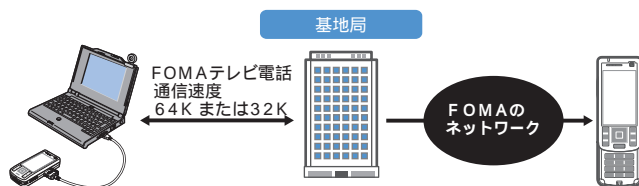
2 **「はい」を選択**

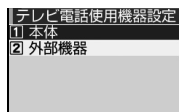
外部機器と接続してテレビ電話を使用する テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器と FOMA 端末を付属の USB 接続ケーブルで接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。
この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクや USB 対応 Web カメラなどの機器（市販品）を用意する必要があります。

- FOMA 端末が外部機器と接続されていないときは、本機能を利用できません。
- テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定・操作方法については、外部機器の取扱説明書などを参照してください。
- 本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト 2005」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトホームページからダウンロードしてご利用ください（パソコンでのご利用環境等詳細についてはサポートホームページでご確認ください）。

http://videophonesoft.nttdocomo.co.jp/

お買い上げ時 本体

1 MENU 8 7 5

2 1 ～ 2

おしらせ

- 音声電話通話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- キャッチホンをご契約いただいていると、音声電話通話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴には不在着信として残ります。外部機器からのテレビ電話通話中に音声電話・テレビ電話・64K データ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

FOMA 端末で使用できる電話帳について

FOMA D851iWM では、FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳を利用できます。

○：可　×：不可

項　目		FOMA 端末電話帳	FOMA カード電話帳
電話帳登録件数		最大 700 件※1	最大 50 件
登録内容	名前・フリガナ	名前は全角 16 文字（半角 32 文字）まで、フリガナは半角 32 文字まで設定可能。	名前は全角 10 文字（半角 21 文字）まで、フリガナは全角 12 文字（半角 25 文字）まで設定可能。
	画像・動画	1 人につき 1 件	×
	グループ	30 グループおよび「グループなし」に分類可能。	10 グループおよび「グループなし」に分類可能。
	電話番号・アイコン	1 人につき 5 番号まで、電話帳全体で最大2105番号※1まで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1 人につき 1 番号のみ設定可能。アイコンは設定不可。
	メールアドレス・アイコン	1 人につき 5 アドレスまで、電話帳全体で最大 2105 アドレス※1まで設定可能。それぞれについてアイコンを設定可能。	1人につき1アドレスのみ設定可能。アイコンは設定不可。
	電話着信時の設定※2※3	○	×
	メール受信時の設定※2	○	×
	その他の設定※4	○	×
	メモリ番号	○	×
電話帳検索	全件表示（50 音）	○	○
	グループ検索	○	○
	フリガナ検索	○	○
	ランキング検索	○	×
	メモリ番号検索	○	×
	電話番号検索	○	○
	シークレット検索	○	×
各種設定	シークレット属性設定	○	×
	発番号設定	○	×
	メモリ別着信拒否／許可設定	○	×
	シークレットコード設定	○	×
	テレビ電話通信速度設定	○	×
その他	電話番号入替え・メールアドレス入替え・メモリ番号入替え	○	×
	クイックダイヤル	○	×
	クイックメール	○	×
	メール検索	○	○
	サイト表示	○	×
	赤外線送信	○	○

※ 1：各電話帳データの登録内容により、実際に登録できる件数が少なくなる場合があります。
※ 2：着信音・着信バイブレータ・着信イルミネーションパターン・着信イルミネーションカラーの設定ができます。また、グループ別の着信設定ができます。
※ 3：テレビ電話代替画像も設定できます。
※ 4：URL・テキストメモ・郵便番号・住所・会社名・役職名・誕生日の設定ができます。

名前の表示について

FOMA 端末電話帳、FOMA カード電話帳に登録した相手と電話の発着信を行うと、発信中／着信中／通話中の画面に、電話帳に登録されている名前が表示されます。
また、リダイヤルや着信履歴、伝言メモ、受信メールの発信元、送信／未送信メールの宛先、カスタムメニューの人物などにも、電話帳に登録されている名前が表示されます。また、電話帳を検索せずに電話番号／メールアドレスを入力したときも表示されます。

- FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳に同じ電話番号／メールアドレスで名前が異なる電話帳を登録している場合、FOMA 端末電話帳に登録されている名前が表示されます。
- FOMA 端末電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で複数登録している場合、最初に登録した電話帳の名前が表示されます。
- メールを受信した際、発信元のメールアドレスと電話帳に登録しているメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。ただし、発信元が i モード端末の場合は、ドメイン名「@docomo.ne.jp」を省略したメールアドレスを電話帳に登録していても電話帳の設定に従って動作し、電話帳に登録した名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。
- SMS を受信した際、電話帳に登録されている電話番号が一致した場合は電話帳の設定で動作します。
- 電話帳に登録した相手からメールを着信すると、電話帳に登録している名前がタスクバーにスクロール表示されます。ただし、シークレットモード中でない場合にシークレット属性が設定されている相手からメールの受信があると、タスクバーにはメールアドレスが表示されます。

FOMA 端末電話帳に登録する

電話帳登録

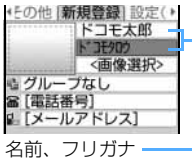
- 最大登録件数 ☛P94
- 電話帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
  パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと付属の USB 接続ケーブルを利用して、パソコンに保管できます。
- FOMA 端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ドコモショップなど窓口にて機種変更時など新機種へコピーする際は、仕様によっては FOMA 端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1 MENU 4 2

2 **名前を入力（全角 16 文字（半角 32 文字）まで）**

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 名前を入力しないと登録できません。

3

名前、フリガナ

登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ **名前を修正する：名前欄を選択 ▶ 名前を修正 ▶ [■]**

■ **フリガナを修正する：フリガナ欄を選択 ▶ フリガナを修正（半角 32 文字まで）**

- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 [↕] で項目を選択し、入力

画像選択 ：発着信時や電話帳データ確認時に表示する画像や動画／ｉモーションを設定します。

- お買い上げ時の状態に戻す：[5]

■ **画像を設定する：[1] ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択**

- 横縦（または縦横）のサイズが 640 × 480 を超える画像を選択すると、画像を縮小して登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して画像を設定すると、電話帳用（96 × 72）以下に縮小した画像が保存されます。
- 電話発着信時や電話帳データ確認時には、アニメーションは再生中の画像、パラパラマンガは最初のコマが表示されます。

■ **カメラで静止画を撮影して設定する：[2] ▶ 静止画を撮影 ▶ [保存]**

- 静止画のサイズは電話帳用（96 × 72）に自動的に設定されます。
- オーディオ機能起動中は静止画を撮影できません。

■ **動画／ｉモーションを設定する：[3] ▶ フォルダを選択 ▶ 動画／ｉモーションを選択**

- 画像サイズが Sub-QCIF（128 × 96）、または、QCIF（176 × 144）の、映像のみの動画／ｉモーションが設定できます。
- 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには ☛P114

■ **ビデオカメラで動画を撮影して設定する：[4] ▶ 動画を撮影 ▶ [保存]**

- 動画のサイズは QCIF（176 × 144）に自動的に設定されます。音声は録音されません。
- オーディオ機能起動中は動画を撮影できません。

グループ：グループ 1 ～ 30 および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。
グループ設定について ☛P99

電話番号：市外局番から入力し（26 桁まで）、アイコンを選択します。

- 1 人につき 5 番号まで登録できます。1 件目の電話番号を登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- ポーズ（P）、タイマー（T）、「＋」、「＃」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。

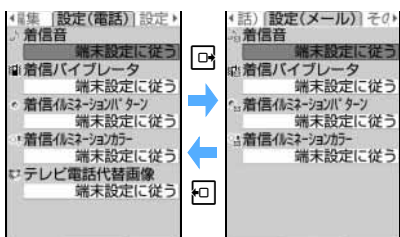
メールアドレス：

半角 50 文字まで入力できます。アイコンを選択します。

- 1 人につき 5 アドレスまで登録できます。1 件目のメールアドレスを登録すると、追加登録する項目が表示されます。
- 相手がシークレットコードを登録しているとき ☛P109

5 [操作ボタン]でその他画面を表示 ▶ 各項目を選択して設定

- URL：半角 256 文字まで入力できます。
- テキストメモ：全角 100 文字（半角 200 文字）まで入力できます。
- 郵便番号：7 桁まで入力できます。
- 住所：全角 100 文字（半角 200 文字）まで入力できます。
- 会社名：全角 50 文字（半角 100 文字）まで入力できます。
- 役職名：全角 50 文字（半角 100 文字）まで入力できます。
- 誕生日：誕生日設定を「ON」に設定して、誕生日欄に誕生日を入力します。

6 [操作ボタン]で設定画面（電話／メール）を表示 ▶ 各項目を選択して設定

設定（電話）画面　　設定（メール）画面

- グループを「グループなし」に設定した場合、すべての各項目は「端末設定に従う」に設定されています。グループを選択した場合、テレビ電話代替画像は「端末設定に従う」に、それ以外の項目は「グループ設定に従う」に設定されています。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P114

着信音：「着モーションを選択」または「メロディを選択」を選択し、動画／ｉモーションまたはメロディを選択します。
- 詳細情報の着信音設定が「可」になっている動画／ｉモーションのみ着信音に設定できます。
- 「端末設定に従う」に設定すると、音の設定の電話／テレビ電話の設定に従います。

着信バイブレータ：
「はい」を選択して電話着信時や、メール受信時のバイブレータを設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、バイブレータの設定に従います。

着信イルミネーションパターン：
「はい」を選択して着信ランプの点灯パターンを設定します。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、着信イルミネーションカラーは設定できません。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。
- 点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると点灯色は設定できません。

着信イルミネーションカラー：
「はい」を選択して着信ランプの点灯色を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、イルミネーション設定に従います。

テレビ電話代替画像（設定（電話）画面のみ表示）：
「はい」を選択して通話中に表示するキャラ電（☛P298）を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、テレビ電話画像選択の設定に従います。

7 [■]

最も小さい空きメモリ番号が自動的に割り当てられます。

■ **メモリ番号を入力して登録する：番号を入力（0～699）**
- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。
- 登録済みのメモリ番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「新規登録」を選択して他のメモリ番号を指定してください。

8 [保存]を押す

おしらせ

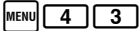
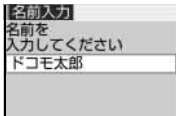
- 184、186を付けた電話番号を電話帳に登録すると、SMS作成時の宛先に選択しても送信できません。また、メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にしている相手に184、186を付けて電話帳に登録すると、ｉモードメール作成時の宛先に選択しても送信できません。
- ｉモード端末のメールアドレスのドメイン名（@docomo.ne.jp）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。
  - ｉモードメールアドレスをチャットメールのメンバーに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。
  - 電話帳やグループ設定でメール着信時の設定をしている場合は、発信元のメールアドレスと電話帳に登録されているメールアドレスがドメイン名を含めて完全に一致しないと設定どおりに動作しません。ただし、ｉモード端末のメールアドレスの場合は、「@docomo.ne.jp」を省略しても設定どおりに動作します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定していても連動しないことがあります。

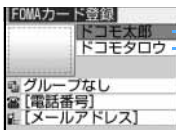
電話帳 FOMAカード電話帳登録

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカード電話帳登録

- 最大登録件数 ☛P94

1 [MENU][4][3]

2 名前を入力（全角10文字（半角21文字）まで）

- 漢字、ひらがな、カタカナ、英字、数字、記号、絵文字を入力できます。ただし、記号、絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。
- 全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字までしか登録できません。
- 名前を入力しないと登録できません。

3 [■]

名前、フリガナ

登録画面で名前とフリガナを確認します。

■ **名前を修正する：名前欄を選択 ▶ 名前を修正 ▶ [■]**

■ **フリガナを修正する：フリガナ欄を選択 ▶ フリガナを修正（全角12文字（半角25文字）まで）**
- フリガナは、全角カタカナと半角英数字で入力できます。
- 全角／半角が混在している場合は、12文字までしか登録できません。
- 名前を修正してもフリガナには反映されません。

4 各項目を選択し、入力

グループ：グループ 1 ～ 10 および「グループなし」から選択します。新規登録時は「グループなし」に設定されています。

電話番号：市外局番から入力します。26 桁（FOMA カードの種類によっては 20 桁）まで入力できます。
- 1 番号のみ登録できます。アイコンは設定できません。
- ポーズ（P）、「+」※1、「#」、サブアドレスの区切り（＊）を登録できます。タイマー（T）は入力できますが、登録できません。

  ※1：先頭以外で「+」を入力すると以降の数字や文字がすべて削除されます。

メールアドレス：半角 50 文字まで入力できます。
- 1 アドレスのみ登録できます。アイコンは設定できません。

5 [電話帳] を押す

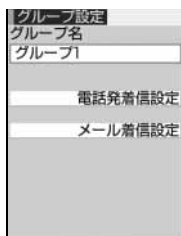
おしらせ

● ｉモード端末のメールアドレスのドメイン名（@docomo.ne.jp）は省略して登録できますが、「@docomo.ne.jp」を含めて登録することをおすすめします。ｉモードメールアドレスをチャットメールのメンバーに登録するときは、「@docomo.ne.jp」を含めて登録してください。

グループの名前や発着信動作を設定する　グループ設定

FOMA 端末電話帳や FOMA カード電話帳のグループ名を変更したり、FOMA 端末電話帳のグループごとに着信音を設定したりできます。
- FOMA カード電話帳のグループ設定はグループ名のみ変更できます。
- 「グループなし」は、グループ名を変更したり、発着信動作の設定はできません。

1 [MENU] [4] [1] [2]
- FOMA カード電話帳のグループ名を変更する：[MENU] [4] [1] [2] [電話帳]

2 グループを選ぶ ▶ [MENU] [2]

3 グループ名を設定
- FOMA 端末電話帳のグループ名は、全角 10 文字（半角 20 文字）まで入力できます。
- FOMA カード電話帳のグループ名は、全角 10 文字（半角 21 文字）まで入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10 文字までしか登録できません。操作 5 へ進みます。

つづく

4 各項目を選択して設定

- 発着信画像の設定方法は「FOMA 端末電話帳に登録する」の操作 4 と同じです ☞P96
  その他の項目の設定方法は「FOMA 端末電話帳に登録する」の操作 6 と同じです。☞P97

電話発着信設定：着信音、発着信画像、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーを設定し、[電話帳] を押します。

- 着信音に「着モーションを選択」を選択すると、発着信画像は「着信音連動」になります。ただし、音声のみの動画／ i モーション（歌手の歌声など映像のない i モーション）を着モーションに設定した場合は、「イメージを選択」、「静止画を撮影」、「初期値に戻す」を選択できます。

メール着信設定：着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションパターン、着信イルミネーションカラーを設定し、[電話帳] を押します。

5 [電話帳] を押す

おしらせ

● 発着信動作の優先順位について ☞P115、P116、P127、P132

Menu 41

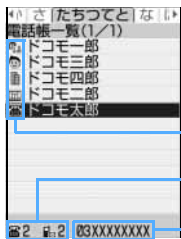
電話帳から電話をかける

電話帳検索

電話をかける相手の電話帳データを、FOMA 端末電話帳または FOMA カード電話帳から呼び出し、簡単に電話をかけられます。

- 電話帳データは、次の検索方法を指定して呼び出すことができます。
  - ・全件表示（50 音）☞P101
  - ・グループ検索 ☞P101
  - ・フリガナ検索 ☞P102
  - ・ランキング検索※1☞P102
  - ・メモリ番号検索※1☞P103
  - ・電話番号検索 ☞P103
  - ・行検索 ☞P104
  - ・シークレット検索※1☞P110

  ※ 1：FOMA カード電話帳では利用できません。
- 待受画面で [電話帳] を押したときに表示される検索方法を指定できます。☞P104
- 電話帳一覧で [MENU] を押し、「検索方法選択」を選択しても電話帳の検索方法を変更できます。
- FOMA カード電話帳でも利用できる検索方法では、[電話帳] を押すたびに FOMA 端末電話帳一覧と FOMA カード電話帳一覧が切り替わります。
- FOMA カード電話帳一覧では、相手の名前の前に [UIM] が表示されます。

1 [電話帳]

全件表示（50 音）の場合

お買い上げ後、初めて操作したときは全件表示（50 音）の電話帳一覧が表示されます。検索方法を指定している場合は、指定された方法で電話帳一覧が表示されます。

1 件目の電話番号に設定されているアイコン

選ばれている相手に登録されている電話番号とメールアドレスの件数

選ばれている相手の 1 件目の電話番号（表示しきれない部分は省略）

2 相手を選ぶ ▶ [通話]

- テレビ電話をかける：相手を選ぶ ▶ [テレビ電話]
- 電話番号を複数登録しているときは、電話番号を選択します。

■ iモードメールを作成する：相手を選ぶ▶[✉]
- メールアドレスを複数登録しているときは、メールアドレスを選択します。
- iモードメールの作成・送信方法 ☞P202
- 詳細（TOP）画面でも同様に操作できます。1件目に登録しているメールアドレスが宛先に設定されます。詳細（メール）画面では、メールアドレスを選び[●]または[✉]を押します。
- メールアドレスが登録されている場合に有効です。

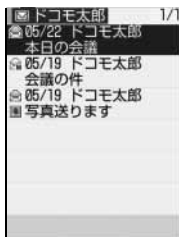
■ SMSを作成する：相手を選ぶ▶[✉]（1秒以上）
- 電話番号を複数登録しているときは、電話番号を選択します。
- SMSの作成・送信方法 ☞P236
- 詳細（TOP）画面でも同様に操作できます。1件目に登録している電話番号が宛先に設定されます。詳細（電話）画面では、電話番号を選び[✉]を押します。
- 電話番号が登録されている場合に有効です。
- メールアドレスが登録されていない場合は、[✉]を押しても同様に操作できます。

■ サイトを表示する：相手を選択▶[◀▶]で詳細（その他）画面を表示▶URLを選択

メールを検索する

例 FOMA端末電話帳から受信メールを検索するとき

1 [📖]

2 相手を選ぶ▶[MENU][1][5][1]

選んだ相手から受信したメールが一覧表示されます。
- 受信／送信メールの見かた ☞P219
- 電話帳一覧に戻る：[CLR]または[MENU][0]
- 詳細（TOP／メール／電話）画面からも同様に操作できます。
- FOMAカード電話帳からの場合、相手を選び、受信メールのときは[MENU][1][3][1]、送信メールのときは[MENU][1][3][2]を押します。

■ 送信メールを検索する：相手を選ぶ▶[MENU][1][5][2]

おしらせ
- 条件を設定して電話をかけられます。☞P56

電話帳データを50音順に表示する　全件表示（50音）

電話帳データを50音順（あ行→か行→さ行→…→その他（アルファベット、数字、フリガナが空白で始まるもの、記号、フリガナなし）の順）に表示します。

1 [MENU][4][1][1]

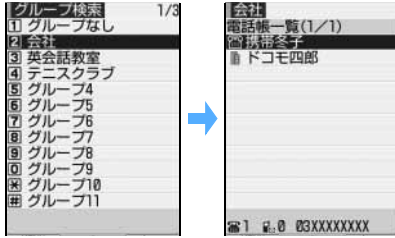
2 [◀▶]で行を選択
- [◀▶]の代わりに[0]～[9]、[＊]、[#]を押すと、ダイヤルキーに割り当てられている行が表示されます。たとえば、[1]を押すとあ行が表示されます。「その他」の行を表示するには、[＊]または[#]を押します。

グループで検索する　グループ検索

- グループを設定せずに登録した電話帳データは「グループなし」に登録されています。

つづく

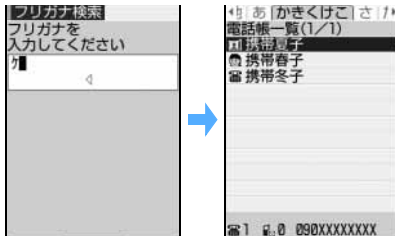
1 MENU 4 1 2

2 グループを選択

- 同一グループ内の電話帳データは次のフリガナ順に表示されます。
  ①50 音順　②アルファベット順　③数字
  ④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

名前で検索する　フリガナ検索

フリガナを入力して、その文字から始まる電話帳データを検索します。

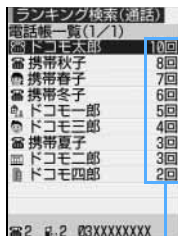
1 MENU 4 1 3

2 フリガナを入力 ▶

- フリガナは先頭の一部を入力して検索できます。フリガナを入力しなくても検索できます。

通話／メール回数の多い相手を検索する　ランキング検索

FOMA 端末電話帳に登録されている電話帳データを、通話回数が多い順に表示したり（通話回数ランキング）、ｉ モードメール送受信回数が多い順に表示（メール回数ランキング）できます。
- 通話回数、メール回数は 9999 回まで表示されます。
- 電話帳に登録している電話番号、メールアドレスを直接入力した場合もカウントされます。

例 通話回数ランキングを表示するとき

1 MENU 4 1 4 1

- 累積通話回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までの電話発着信回数です。電話帳データを FOMA 端末電話帳に登録した後からの通話がカウントの対象となります。

■ **メール回数ランキングを表示する：MENU 4 1 4 2**
- 累積メール回数は、お買い上げ時または前回リセットから現在までのメール送受信回数です。電話帳データを FOMA 端末電話帳に登録した後からのｉ モードメールの送受信がカウントの対象となります。

おしらせ

- 累積回数が同じ場合は、次のフリガナ順に表示されます。
  ①50音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

通話回数／メール回数をリセットする

1 **電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ MENU 8 3**

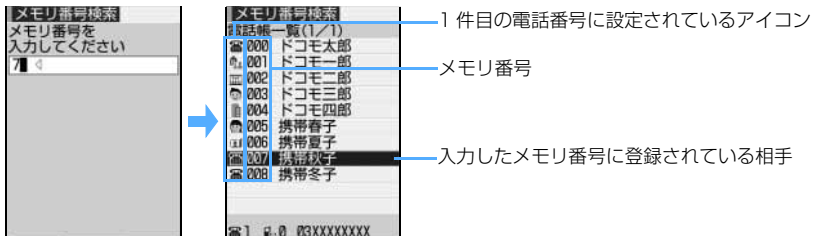
2 **「はい」を選択**

- 個々の累積通話回数、最終通話日時、累積メール回数、最終メール日時がリセットされます。

メモリ番号で検索する　メモリ番号検索

FOMA端末電話帳を、メモリ番号を入力して検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 **MENU 4 1 5**

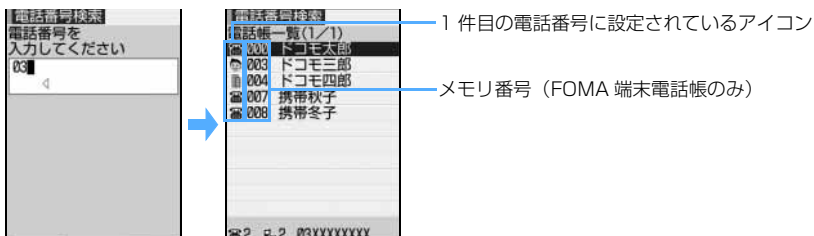
2 **メモリ番号を入力 ▶ 📖**

- 100の位や10の位の頭の0は省略できます。

電話番号で検索する　電話番号検索

電話番号の一部だけを入力して、その数字を含む電話番号を検索します。何も入力しなくても検索できます。

1 **MENU 4 1 6**

- FOMAカード電話帳を検索する：MENU 4 1 📖 4

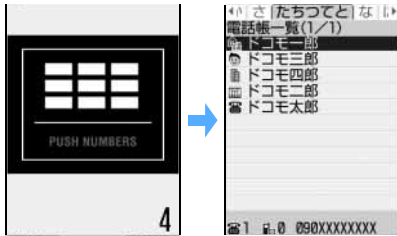
2 **電話番号の一部を入力 ▶ 📖**

おしらせ

● 電話番号検索で該当する電話帳データが複数ある場合、FOMA 端末の電話帳はメモリ番号の順に表示されます。FOMA カード電話帳は次のフリガナ順に表示されます。
①50 音順　②アルファベット順　③数字　④空白で始まるもの　⑤記号　⑥フリガナなし

すばやく行検索する

ダイヤルキー 0 ～ 9 に割り当てられている文字から電話帳データを検索します。
- 前回使用した電話帳（FOMA 端末電話帳または FOMA カード電話帳）を検索します。

例「ドコモ」を検索するとき

1 4 [電話帳]

- 検索結果画面では、0 ～ 9、#、*、[左右] を押して行を切り替えられます。

検索方法を指定する

待受画面で [電話帳] を押したときに表示される検索方法を指定できます。
- シークレット検索は指定できません。

お買い上げ時　全件表示（50 音）

1 MENU 4 1

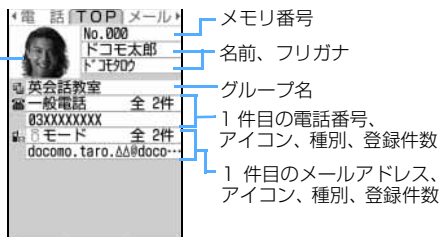
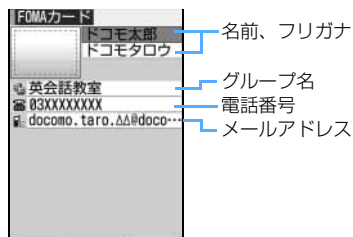
指定されている検索方法の項目に ✔ が付いています。

2 **検索方法を選ぶ ▶ MENU**
- FOMA カード電話帳の検索方法は選べません。

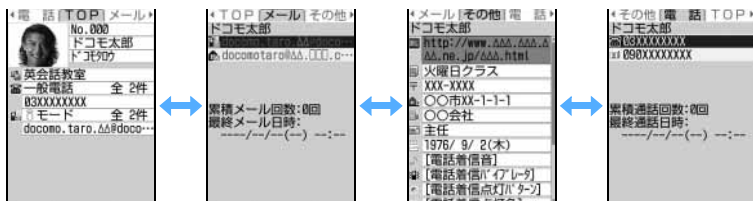
おしらせ

● 前回 FOMA カード電話帳を検索した場合は、指定した検索方法で FOMA カード電話帳が検索されます。ただし、FOMA カード電話帳で検索できない方法を指定した場合は、FOMA カード電話帳（50 音）の電話帳一覧が表示されます。

電話帳の登録内容を確認する

1 **電話帳を検索 ▶ 電話帳データを選択**
- 前後の電話帳データの詳細画面を表示する：[上下]
- 着信拒否／許可設定や発番号設定、シークレットコードが設定されている場合は、メモリ番号の右側に ! が表示されます。

画像（画像選択に動画／ｉモーションを設定した場合、動画／ｉモーションが再生されます）

■ 登録内容の詳細を表示する（FOMA 端末電話帳のみ）：[→]

- [→] を押すたびに、詳細（TOP）画面→詳細（メール）画面→詳細（その他）画面→詳細（電話）画面の順に切り替わります。[←] を押すと逆の順に切り替わります。

■ 詳細画面のすべての登録内容を確認する：[📖]

- 元の画面に戻す：[📖]

おしらせ

● 累積通話回数／累積メール回数や最終通話日時／最終メール日時は、電波状況などの理由で相手が電話に応答しなかったり、ｉモードメールが送信できなかった場合は、対象になりません。

電話帳を修正する　　電話帳修正

電話帳データの内容を修正・コピーしたり、電話帳データ内の電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えたりします。また、電話帳データのメモリ番号を入れ替えることができます。

登録内容を修正する

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ [MENU][3]

2 電話帳データを修正

- 詳細については
☛P96「FOMA 端末電話帳に登録する」操作 3 以降、☛P98「FOMA カード電話帳に登録する」操作 3 以降

3 [📖]を押す

- FOMA 端末電話帳の場合、メモリ番号入力画面が表示されます。メモリ番号（0 ～ 699）を変更後、登録方法の選択画面が表示されます。上書き登録か新規登録を選択してください。
  - ・上書き登録を選択した場合は、以前の電話帳データは破棄されます。
  - ・メモリ番号を変更して、新規登録を選択した場合は、以前の電話帳データは残り、新たに電話帳データが登録されます。メモリ番号を変更せずに、新規登録を選択した場合は、再度メモリ番号入力画面が表示されます。必要に応じて番号を変更してください。☛P98
- FOMA カード電話帳の場合、登録方法の選択画面が表示されます。上書き登録か新規登録を選択します。

おしらせ

● FOMA カード電話帳の電話帳データの電話番号に「＊」が含まれている場合は上書き登録ができないことがあります。その場合は新規登録するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、新規登録されます。

● 複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、一番最後以外に登録されている電話番号やメールアドレスを削除すると、以降が繰り上げ登録されます。

登録内容をコピーする

コピーした内容は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- コピーした内容は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーを行うと内容は上書きされます。

例 FOMA 端末電話帳から FOMA カード電話帳にコピーする場合

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ [MENU][6]

2 [1] ～ [8]

該当項目のデータが一時的に記録されます。

FOMA 端末電話帳の場合

3 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面、FOMA カード電話帳の電話帳一覧または詳細画面、自局番号の詳細画面では[MENU]を押し、「コピー」を選択します。

● 電話番号コピー、メールアドレスコピーでは、1 件目に登録されている内容がコピーされます。2 件目以降の電話番号やメールアドレスをコピーするには、FOMA 端末電話帳や自局番号の各詳細画面で、コピーする電話番号やメールアドレスを選び、コピーします。

電話番号やメールアドレス、メモリ番号の順番を入れ替える

電話帳データに複数の電話番号やメールアドレスが登録されている場合に、FOMA 端末電話帳の検索結果画面から、電話番号やメールアドレスの順番を入れ替えます。また、2 つの電話帳データのメモリ番号を入れ替えることもできます。

1 電話帳を検索 ▶ 順序を入れ替える

■ 電話番号の順序を入れ替える：

① 相手を選ぶ ▶ MENU 8 2 1
② 1 件目に登録する電話番号を選択
選択した電話番号と 1 件目の電話番号が入れ替わります。

■ メールアドレスの順番を入れ替える：
① 相手を選ぶ ▶ MENU 8 2 2
② 1 件目に登録するメールアドレスを選択
選択したメールアドレスと 1 件目のメールアドレスが入れ替わります。

■ メモリ番号を入れ替える：
① 相手を選ぶ ▶ MENU 8 2 3
② メモリ番号を入れ替える相手を選択

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「設定／確認」→「入替え」→「電話番号入替え」、「メールアドレス入替え」、「メモリ番号入替え」を選択します。

電話帳をコピーする

FOMA 端末電話帳を FOMA カード電話帳にコピーしたり、FOMA カード電話帳を FOMA 端末にコピーします。

• コピーする電話帳データのグループと同じ名前のグループが、コピー先の電話帳にある場合は、そのグループにコピーされます。

■ FOMA 端末電話帳から FOMA カード電話帳にコピーされる項目

項目	内容
名前	名前をコピーします（全角10文字（半角21文字）まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、10文字まで）。
フリガナ	フリガナをコピーします（全角12文字（半角25文字）まで。ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カタカナが含まれている場合は、12文字まで）。半角カタカナは全角カタカナになります。
電話番号	1 件目に登録されている電話番号をコピーします（26 桁（FOMA カードの種類によっては 20 桁）まで ☛P41）。タイマー（T）が登録されている場合は、タイマー（T）のみ削除されます。「+」が先頭以外で入力されている場合は「+」以降の数字や文字はすべて削除されます。アイコンはすべて☎になります。
メールアドレス	1 件目に登録されているメールアドレスをコピーします（半角 50 文字まで）。FOMA カード電話帳では、アイコンはすべて📱になります。

• FOMA カード電話帳に保存できる最大文字数を超えた部分は削除されます。

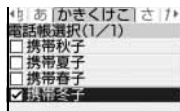
つづく

■ FOMA カード電話帳から FOMA 端末電話帳にコピーされる項目

名前	名前をコピーします。
フリガナ	フリガナをコピーします。全角カタカナは半角カタカナになります。
電話番号	電話番号をコピーします。アイコンは☎になります。
メールアドレス	メールアドレスをコピーします。アイコンは になります。

例 FOMA 端末電話帳から FOMA カード電話帳にコピーする場合

1 電話帳を検索 ▶ MENU 7 3

2 相手を選択

FOMA 端末電話帳の場合

3 📖 を押す

おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「赤外線／FOMA カード」→「FOMA カードへコピー」、FOMA カード電話帳の一覧画面／詳細画面では MENU を押し、「赤外線／本体へコピー」→「本体へコピー」を選択します。

電話帳を削除する 電話帳削除

1 人分の電話帳データを削除します。

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ MENU 4

2 「はい」を選択

電話帳に各種機能を設定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話帳データ内の電話番号ごとに、発信者番号の通知／非通知の設定やテレビ電話をかけるときの通信速度の設定ができます。また、メールアドレスごとにシークレットコードを設定できます。

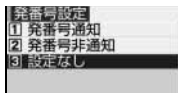
• FOMA カード電話帳は、ここで説明する機能を設定できません。

電話番号ごとに発信者番号通知／非通知を設定する 発番号設定

お買い上げ時 設定なし

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ MENU 8 1 2

2 端末暗証番号を入力 ▶ 電話番号を選択

3 1 ～ 2

• 解除する：3

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「設定／確認」→「設定」→「発番号設定」を選択します。
- 「設定なし」に設定すると、発信者番号通知の設定に従って動作します。
- 発番号設定をした電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。
- 番号通知方法の優先順位について ☛P48

テレビ電話をかけるときの通信速度を電話番号ごとに設定する テレビ電話通信速度設定

お買い上げ時 64K

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ MENU 8 1 5

2 電話番号を選択 ▶ 1 ～ 2

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「設定／確認」→「設定」→「テレビ電話設定」を選択します。
- 通話ごとにテレビ電話の通信速度を指定した場合は、本設定よりも優先されます。☛P56

メールアドレスにシークレットコードを設定する シークレットコード設定

相手がメールアドレス（携帯電話番号 @docomo.ne.jp）にシークレットコードを登録している場合は、そのシークレットコードを電話帳データに設定しておくと、電話帳を検索して i モードメールを作成するときに自動的にシークレットコードが付加されます。

1 電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ MENU 8 1 4

2 端末暗証番号を入力 ▶ メールアドレスを選択

3 4 桁のシークレットコードを入力

• シークレットコード設定を解除する：CLR を 1 秒以上押して消去 ▶ ⏎

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレットコード設定」を選択します。
- 「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手からのメールには返信できません。電話帳データの「シークレットコード」または「シークレットコード@ docomo.ne.jp」を削除してから、上記の方法でシークレットコードを設定してください。
- シークレットコードを設定した電話帳データの詳細（TOP）画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。
- 設定したシークレットコードは、電話帳データの詳細画面や i モードメール作成時の宛先などには表示されません。シークレットコードは、操作 1 ～ 2 の手順で確認できます。

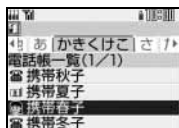
他人に見られたくない電話帳を守る　シークレット属性

端末暗証番号を入力しないと呼び出せないシークレット属性を持ったデータにします。

電話帳にシークレット属性を設定する

• FOMA カード電話帳データには設定できません。
• シークレット属性を設定するにはシークレットモード中に設定操作をする必要があります。

1 シークレットモードを設定

2 待受画面で電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶ MENU 8 1 1

• シークレット属性が設定されると が点滅します。

■ **解除する：シークレット属性が設定されている相手を選ぶ ▶ MENU 8 1 1**

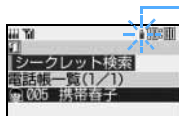
おしらせ

● FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「設定／確認」→「設定」→「シークレット属性設定」を選択します。
● シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードに設定しないと修正できません。
● シークレットモードを設定していないときは、着信画面、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモ、受信メール一覧などに、シークレット属性が設定されている電話帳データの名前や登録された画像または動画／ｉモーションは表示されません。また、電話帳データに設定した着信音やバイブレータも動作しません。
● シークレットモード中に電話帳データを登録・修正すると、その電話帳データにシークレット属性が設定されます。

シークレット属性を設定した電話帳を検索する　シークレット検索

• 検索できるのはシークレット属性が設定されている電話帳データだけです。
• シークレットモードを設定していないときは検索できません。

1 シークレットモードを設定

2 待受画面で MENU 4 1 7

• 以降の操作は通常の検索方法と同じです。☛P100

選んでいる相手にシークレット属性が設定されているときに点滅

電話帳　シークレット属性

おしらせ

- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモード中以外は検索できません。また、クイックダイヤルやクイックメールも利用できません。
- シークレットモード中にシークレット検索以外の検索を行うと、シークレット属性が設定されている電話帳データと設定されていない電話帳データの両方が検索の対象となります。

電話帳の登録状況を確認する　登録件数確認

FOMA 端末電話帳の登録件数やシークレット設定されている件数などを表示します。

1 電話帳を検索▶MENU 8 4

おしらせ

- FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「設定／確認」→「登録件数確認」を選択します。
- FOMA カード電話帳で確認する場合は、電話帳一覧または詳細画面から MENU を押し、「登録件数確認」を選択します。
- 登録件数は、シークレット設定されている件数を含みます。

少ないキー操作で電話をかける　クイックダイヤル

FOMA 端末電話帳のメモリ番号が 0 ～ 99 の相手には、簡単な操作で電話をかけられます。

・電話帳データの 1 件目の電話番号が電話をかける対象となります。

例 メモリ番号 2 の電話番号に電話をかけるとき

1 メモリ番号（この場合は 2 ）を入力▶

- メモリ番号の前に 0 などは付けずに入力します。前に 0 などを付けて入力すると、電話はかかりません。
- テレビ電話をかける：メモリ番号を入力▶

音／画面／照明設定

音の設定

画面／照明の設定

FOMA 端末から鳴る着信音を変える

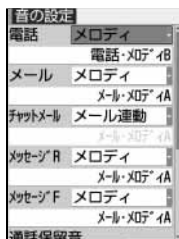
音の設定

電話が着信したとき、メールやメッセージR/Fなどを受信したときに鳴る音を設定します。また、通話保留中に鳴る音や、FOMA端末を開閉したときに鳴る音を設定します。着信音に動画／ｉモーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定の着信音の設定、および通話保留音設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時 電話：メロディ／電話・メロディＢ　メール：メロディ／メール・メロディＡ　チャットメール：メール連動
メッセージＲ、メッセージＦ：メロディ／メール・メロディＡ　通話保留音：保留音・ボイス
テレビ電話：メロディ／■ FLOW　スライドオープン：メロディ／スライド・オープン音３
スライドクローズ：メロディ／スライド・クローズ音３

1 MENU 8 1 1

2 各項目を設定

■ **電話、メール、チャットメール、メッセージR、メッセージF、テレビ電話の着信音を設定する：項目を選択▶ 1 ～ 3 （チャットメールの場合は 1 ～ 4 ）**

- 「メロディ」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
  メロディ一覧の見かた ☛P301
- 「着モーション」を選択したときは、メロディ欄を選択して動画／ｉモーションを選択します。
  動画／ｉモーション一覧の見かた ☛P293
- 「OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- チャットメールの着信音を「メール連動」に設定している場合は、メールの着信音の設定に従います。

■ **通話保留音を設定する：項目を選択 ▶ 1 ～ 3**

■ **スライドオープン、スライドクローズの効果音を設定する：項目を選択 ▶ 1 ～ 2**

- 「メロディ」を選択したときは、メロディ欄を選択してメロディを選択します。
  メロディ一覧の見かた ☛P301
- 「OFF」に設定すると、効果音は鳴りません。

3 [決定] **を押す**

メロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには

- メロディ一覧でメロディを選び [決定] を押すと再生できます。再生中は次の操作ができます。
  - 音量調整※1：[←→]　・前後のメロディの再生：[↑↓]　・メロディ一覧に戻る：CLR
  - メロディの選択：[決定]
- 動画／ｉモーション一覧で動画／ｉモーションを選び [決定] を押すと再生できます。再生中は次の操作ができます。
  - 音量調整※1：[↑↓]　・一時停止／再生：[決定]　・停止（動画／ｉモーション一覧に戻る）：[決定]／CLR
  - 早送り再生：[→]　・巻戻し再生：[←]
- モバHO!聴取中にメロディ、動画／ｉモーションを再生しようとすると、モバHO!機能を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとモバHO!機能が停止され、メロディ、動画／ｉモーションが再生されます。
- ミュージックプレイヤー／FMラジオ起動中にメロディ、動画／ｉモーションを再生すると、再生が一時停止または受信が停止されます。音声のないｉモーションの場合は、ミュージックプレイヤーの再生／FMラジオの受信が継続されたまま再生されます。

※１：再生時の音量はデータBOXの動作設定に従います。音量を調整するとデータBOXの動作設定にも反映されます。着信音量とは連動しません。

着信音に設定できるメロディ一覧

お買い上げ時は、次のメロディがメロディの「プリインストール」フォルダに登録されています。
- ディスプレイに表示しきれない部分は省略されます。
- 作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

曲名（【　】内は作曲者）
パターン1～5
電話・メロディA
電話・メロディB
電話・メロディC
電話・黒電話
電話・女性ボイス
メール・メロディA
メール・メロディB
メール・メロディC
メール・女性ボイス
メール・英語ボイス

曲名（【　】内は作曲者）
アラーム・メロディ
アラーム・アナログ時計
アラーム・女性ボイス
スライド・オープン音1～3
スライド・クローズ音1～3
保留音・ボイス
交響曲第25番ト短調K.183より第1楽章【MOZART WOLFGANG AMADEUS】
火星【HOLST GUSTAV】
おもちゃの兵隊のマーチ【JESSEL LEON】
森のくまさん【アメリカ民謡】

曲名（【　】内は作曲者）
凱旋行進曲【VERDI GIUSEPPE】
Rhapsody in Blue【GERSHWIN GEORGE】
四季～冬～【VIVALDI ANTONIO LUCIO】
ツァラトゥストラはかく語りき【STRAUSS RICHARD】
SUMMERTIME【GERSHWIN GEORGE】
ジムノペディ第1番【SATIE ERIK ALFREDI LE】
■ BEAT BREAK
■ FLOW

■ 着信音の優先順位について

複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で鳴ります。

① マルチナンバーの着信設定
② FOMA端末電話帳の設定
③ FOMA端末電話帳のグループ設定
④ 音の設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定／チャットメール着信設定／メッセージ着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信音は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信音は音の設定／テレビ電話着信設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定画面に表示される音や画像と異なることがあります。
- 電話帳に画像や動画／ｉモーションを設定していて着信音を設定していない場合、音の設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定で「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定しているときは、着信音と着信画像は「着モーション」の設定が優先されます。「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定しているときは、着信音は「着モーション」の設定になり、着信画像は電話帳に設定した画像や電話着信設定／テレビ電話着信設定で設定した画像になります。

■ その他の音などの設定について

- メール着信音やイルミネーションなどを設定する ☛P232
- 付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続しているときに、着信音をイヤホンからのみ鳴らすように設定する ☛P337

おしらせ

- 映像のみの動画／ｉモーションは着信音に設定できません。
- 詳細情報（☛P304）の着信音設定が「不可」になっている動画／ｉモーションは「着モーション」に設定できません。
- 「着モーション」に音声と映像のある動画／ｉモーションを設定すると、着信画像は動画／ｉモーションの映像になります。「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定すると、着信画像は標準画像になります（音声電話やテレビ電話の着信画像（Flash画像を除く）は、電話着信設定やテレビ電話着信設定で変更できます）。
- 着信画像を「着信音連動」に設定しているとき、音声のみの動画／ｉモーションまたはメロディを着信音に設定すると、着信画像には標準画像が表示されます。
- 着信画像に映像のみの動画／ｉモーションまたはFlash画像を設定していても、音声のみの動画／ｉモーションを着信音に設定すると、着信画像には標準画像が表示されます。

● 着信音に音声のみの動画／ｉモーションを設定している場合、着信画像にアニメーション（標準画像を除く）を設定しても動作せず、着信画面には最初のコマが表示されます。
● FOMA 端末をすばやく開閉すると、スライドオープン／スライドクローズの効果音は鳴らない場合があります。また、次の場合は、FOMA 端末を開閉しても効果音は鳴りません。

• 発信中
• 通話中
• メロディ再生中
• キャラ電撮影中
• ｉアプリ起動中
• 伝言メモ録音／録画中
• 着信中
• マナーモード中
• 動画／ｉモーション再生中
• 伝言メモ／音声メモ／動画メモ再生中
• サウンドレコーダー録音中
• 通話中音声メモ録音中
• 応答保留中
• アラーム鳴動中
• 動画撮影中
• 伝言メモ応答ガイダンス再生中
• 通話料金上限通知アラーム鳴動中
• 動画メモ録画中
• オーディオ機能起動中（一時停止中または受信停止中の場合は鳴ります）

● スライドオープン／スライドクローズの効果音の音量は変更できません。

着信やアラームを振動で知らせる バイブレータ設定

電話が着信したときやメールやメッセージR/Fなどを受信したときに振動でお知らせします。

• 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定のバイブレータの設定にもそれぞれ反映されます。
• バイブレータを設定して机などの上に置いたままにすると、バイブレータが動作したときに振動で落下する恐れがありますので、ご注意ください。

お買い上げ時 すべて OFF

1 MENU 8 1 7

2 **項目を選択**

• チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメールを設定できません。
• スケジュールアラームは、電話の設定パターンで振動します。

3 1 ～ 5

• 「パターン A」を設定すると、約 0.5 秒振動→約 0.5 秒停止→約 0.5 秒振動→約 1.5 秒停止の繰り返しで振動します。
• 「パターン B」を設定すると、約 1 秒振動→約 2 秒停止の繰り返しで振動します。
• 「パターン C」を設定すると、約 0.25 秒振動→約 0.25 秒停止の繰り返しで振動します。
• 「メロディ連動」を設定すると、音の設定で設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては連動しないことがあります。また、主旋律に連動しないことがあります。
• 「OFF」を設定すると、振動しません。
• 選ばれているパターンで振動します。ただし、「メロディ連動」と「OFF」の場合は振動しません。

4 **[本]を押す**

• 電話のバイブレータを設定したときは、待受画面に[アイコン]（電話着信音量調整を「Silent」（消音）に設定しているときは[アイコン]）が表示されます。

■ バイブレータの優先順位について

複数の機能でバイブレータを設定している場合は、次の優先順位で振動します。

① FOMA 端末電話帳の設定
② FOMA 端末電話帳のグループ設定
③ バイブレータ設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定／チャットメール着信設定／メッセージ着信設定

おしらせ

●通話中に着信があった場合は振動しません。
●「OFF」に設定していても、一部のFlash画像が動作しているときに振動する場合があります。

キーを押したときに鳴る音を設定する　キー確認音設定

• 電池レベル表示時の確認音も変更されます。
• 次のキーを押したときやプロテクトキーをスライドさせたときは鳴りません。
　・[♫]　・ワンプッシュオープンボタン

お買い上げ時　キー確認音3

1 [MENU][8][1][4]

2 [1]～[3]
• 選ばれているキー確認音が鳴ります。ただし、「OFF」の場合は鳴りません。
• 鳴らさない：[4]

おしらせ

●「OFF」に設定すると、次の音は鳴らなくなります。
　• 電池レベル表示時の確認音　• 赤外線通信やデータ送受信時の通信終了音
●「OFF」以外に設定しても、次の場合は、キー確認音は鳴りません。
　• マナーモード中（オリジナルマナーモード中で、オリジナルマナーモード設定のキー確認音を「OFF」以外に設定している場合は鳴ります）
　• プロテクトキーロック中（[☎]を押したときは鳴ります）
　• ｉアプリ実行中（[■]を押したとき、またはマルチタスクの切り替え中や他の画面を表示中は鳴ります）
　• オーディオ機能起動中（一時停止中または受信停止中は鳴ります）

充電時の確認音を設定する　充電確認音設定

充電の開始／完了時に確認音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。

お買い上げ時　ON

1 [MENU][8][1][9]▶[1]～[2]

おしらせ

●「ON」に設定しても、次の場合は、充電確認音は鳴りません。
　• マナーモード中　• 公共モード（ドライブモード）中　• 音声電話通話中　• テレビ電話通話中
　• 64Kデータ通信中　• ｉモード通信中　• パケット通信中
　• オーディオ機能起動中（一時停止中または受信停止中は鳴ります）

通話が切れそうなときにアラームで知らせる　通話品質アラーム設定

通話状態が悪く、途中で音声通話が途切れてしまう恐れのある場合、直前にアラームを鳴らしてお知らせします。

• 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れてしまうことがあります。

つづく

・本機能は音声電話にのみ有効です。

お買い上げ時 アラーム高音

1 MENU 8 6 9 4

2 1 ～ 2

• 鳴らさない：3

電話から鳴る音を消す

マナーモード

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの音を消したりして、FOMA 端末からの音を鳴らさないように設定します。

お買い上げ時 未設定

1 **MENU（1秒以上）または #（1秒以上）**

マナーモード選択で指定したマナーモードが設定され、待受画面に（通常マナーモード中）または（オリジナルマナーモード中）が表示されます。

■ **解除する：MENU（1秒以上）または #（1秒以上）**

通常マナーモードを設定すると

着信音、キー確認音、アラームなどFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

● 電話着信時やメール受信時などのバイブレータの動作は、バイブレータ設定には関わらず「パターン A」になります。
● アラーム設定で設定した時刻になったときのバイブレータの動作は、アラーム設定に従います。
● スケジュールで設定した日時になったときのバイブレータの動作は、「パターン A」になります。
● 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して受信メールやメッセージ R/F を表示しても、メロディは自動再生されません。
● 以下の場合、再生またはスピーカー出力するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生されます。
  • メロディの再生時
  • 付属のマイク付リモコンなどを接続していないときに、モバ HO! を聴取したときやミュージックプレイヤーの再生をしたとき
  • モバ HO! 聴取中に付属のマイク付リモコンなどを抜いたとき（ミュージックプレイヤー再生時は一時停止）
● 音声のある動画／ｉモーションの再生時には、音声を再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると再生されます。映像のある動画／ｉモーションの場合、「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。

おしらせ

● マナーモード中でも、キャラ電撮影を除く次の音は鳴ります。
  • カメラおよびビデオカメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）
  • サウンドレコーダー録音時の録音確認音（シャッター音）
● 通常マナーモード中は、通話料金上限通知を「ON」に設定し、アラームで通知する設定にしていても、メッセージのみ表示されます。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従ってアラームが鳴ります。

マナーモードを変更する　マナーモード選択

マナーモードの設定を変更できます（オリジナルマナーモード設定）。通常マナーモードとオリジナルマナーモードのどちらを設定するかを選択できます。

お買い上げ時　通常マナーモード

1 [MENU][8][1][6]

2 [2]

- [1]を押すと通常マナーモードで動作するように設定され、1つ前の画面に戻ります。

3 各項目を選択して設定

バイブレータ：電話着信時やメール受信時のバイブレータの動作を設定します。
- 「ON」に設定すると、着信や受信をバイブレータ設定（☛P116）に従って振動で知らせます。ただし、バイブレータ設定で「OFF」に設定しているときは「パターンA」で振動します。
- 「OFF」に設定すると、バイブレータは動作しません。

キー確認音：キー確認音を設定します。

電話着信音量：電話着信音量を設定します。
- ｉアプリの音量は、電話着信音量の設定に従います。ただし、「ステップトーン」に設定している場合は「レベル4」となります。

メール着信音量：メール着信音量を設定します。

電池アラーム音：電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。

アラーム／スケジュール音：
アラームやスケジュールアラームを鳴らすかどうかを設定します。
- 「ON」に設定すると、アラームやスケジュールアラームは各設定に従って鳴ります。スケジュールアラームの音量は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従います。
- 「OFF」に設定すると、アラームやスケジュールアラームは鳴りません。

マイク感度UP：マイクの感度を上げるかどうかを設定します。

4 [📖]を押す

オリジナルマナーモードの内容が設定されます。

待受画面の表示を変更する　待受画面設定

待受画面の表示をお好みに応じて変更できます。

- 画像や動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリによっては、ダウンロード時と同じFOMAカードを挿入していないと、待受画面設定が無効になります（FOMAカード動作制限機能）。
- 時計の表示を設定するには☛P133
- ｉチャネルのテロップ表示を設定するには☛P257

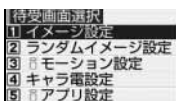
画像・動画／ｉモーション・キャラ電を待受画面に設定する

ｉモードのサイトやメールから保存した画像、動画／ｉモーション、キャラ電や、FOMA端末で撮影した静止画や動画などを待受画面に設定します。また、アニメーション、パラパラマンガなども設定できます。

- お買い上げ時に登録されている画像、ｉモーション、キャラ電☛P369、P372
- テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定しているとき、待受画面に動画／ｉモーションまたはキャラ電を設定すると、テロップ表示は解除されます。その後、動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面以外を設定すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に戻ります。

お買い上げ時 ■TGB design

1 MENU 8 2 1 1

2 1、3、4 のいずれか

3 フォルダを選択 ▶ 画像、動画／ｉモーション、キャラ電を選択

- 画像を確認するには、画像一覧で画像を選び [□] を押します。画像表示画面で次の操作ができます。
  - ・前後の画面の表示：[□]　・画像一覧に戻る：CLR　・画像の選択：[□]
- キャラ電を確認するには、キャラ電一覧でキャラ電を選び [□] を押します。キャラ電表示画面で次の操作ができます。
  - ・全体アクションとパーツアクションの切り替え：[□]
  - ・アクション一覧を表示：[□]　・拡大表示と等倍表示の切り替え：[□]
  - ・キャラ電一覧に戻る：[□]／CLR
- 選択時に動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P114

■ **キャラ電のアクションを設定する：**

① **キャラ電一覧でキャラ電を選ぶ ▶ MENU**

② **通常欄を選択 ▶ 1 〜 4**

- 不在着信、未読メールがあるときのアクションも同様に設定します。
- 「全体アクション」「パーツアクション」を選択した場合は、アクション一覧からアクションを選択します。
- 「直接入力」を選択した場合は、アクションに対応している数値を入力してください。☛P372
- 「OFF」に設定すると、あらかじめ設定されている動作になり、アクションは設定できません。

③ **アクション間隔欄を選択 ▶ 1 〜 6**

- 「OFF」に設定すると、1回のみ選択したアクションが動作します。

④ [□]

4「はい」を選択

- 選択した画像のサイズによっては、確認画面で次の項目が選択できます。画像サイズによって、表示される項目が異なります。

項　目	説　明
はい（等倍表示）	画像サイズのまま表示します。
はい（拡大表示）	画面サイズに合わせて拡大して表示します。
はい（縦ピッタリ）※1	画像の縦のサイズを画面サイズに合わせて拡大／縮小して表示します。
はい（横ピッタリ）※2	画像の横のサイズを画面サイズに合わせて拡大／縮小して表示します。

※1：画像サイズによっては、画像の左右が切れることがあります。
※2：画像サイズによっては、画像の上下が切れることがあります。

- 選択した動画／ｉモーション、キャラ電が拡大表示できる場合は、確認画面で等倍表示するか拡大表示するかを選択できます。「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示します。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

待受画面に設定した動画／ｉモーションやアニメーションを再生するには

● 動画／ｉモーションの場合は次の操作ができます。
- 再生：CLR／FOMA端末を開く
- 停止：CLR／FOMA端末を閉じる／[電話]
- 音量調整：[上下]

● アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の場合は次の操作ができます。
- 再生：FOMA端末を開く／待受画面に戻る／電源を入れる
- 一時停止／再生：[電話]
- 停止：FOMA端末を閉じる

● キャラ電の場合は次の操作ができます。
- 再生（アクション間隔を設定しているときは、設定した間隔で繰り返し再生）：CLR／FOMA端末を開く
- 停止：CLR／FOMA端末を閉じる／[電話]

● プロテクトキーロック中も、FOMA端末を開閉して再生／停止できます。また、再生中はエニーキーで停止します。

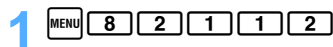
おしらせ

● オールロック中やPIMロック中（PIMロックの対象となっているデータを待受画面に設定している場合）は、設定した待受画面が解除され、一時的にお買い上げ時の画像が表示されます。ロックを解除すると設定した待受画面が再度表示されます。ただし、「プリインストール」フォルダ内のデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定したデータが表示されます。
● 画像によっては設定できない場合があります。
● 縦ピッタリ表示、横ピッタリ表示が設定できるのは、JPEG形式の場合、横縦（または縦横）のサイズが8×8～640×480、および960×1280、1200×1600、1728×2304のいずれかの画像のみです。GIF形式の場合、横縦（または縦横）のサイズが8×8～640×480の画像のみです。
● 再生回数や再生期限などの制限が設定されている動画／ｉモーションや、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は、待受画面に設定できません。また、動画／ｉモーションによっては待受画面に設定できない場合があります。
● Flash画像やキャラ電を待受画面に設定すると、一定時間再生後に停止します。待受画面に設定したFlash画像のメロディは再生されません。
● テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定している場合、待受画面に設定したアニメーション、パラパラマンガ、Flash画像の再生は、約5秒後に停止し、ｉチャネルのテロップが表示されます。ただし、[電話]で再生した場合は、再生完了後にｉチャネルのテロップが表示されます。
● アニメーションを拡大表示で設定した場合、表示が乱れる場合があります。
● テロップ中にリンクのある動画／ｉモーションを待受画面に設定しても、待受画面からPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能は利用できません。

● 動画／ｉモーションやキャラ電を待受画面に設定した場合、時計は、デジタル時計（デザイン固定）でディスプレイ上部に表示されます。
● キャラ電の複数の項目にアクションを設定している場合は、次の優先順位に従ってアクションします。
① 不在着信、未読メール
② 通常
• 不在着信と未読メールの両方が設定されている場合、不在着信と未読メールの両方が存在するときは、それぞれに設定されているアクションを交互に繰り返します。

画像をランダムに表示する　ランダムイメージ設定

画像を一定の時間ごとやFOMA端末を開くタイミングで、待受画面にランダムに表示できます。

1 MENU 8 2 1 1 2

2 **各項目を選択して設定**

フォルダ：画像が保存されているフォルダをマイピクチャ内から選択します。
• 表示できる画像がないフォルダは選択できません。

切替設定：画像を切り替えるタイミングを設定します。
•「15秒毎」に設定すると、待受画面に戻ってから15秒毎に切り替わります。
•「1分毎」「15分毎」「1時間毎」に設定すると、時計に従って切り替わります（たとえば、「1分毎」に設定すると、毎分0秒に切り替わります）。
•「日替り」に設定すると、毎日0時に切り替わります。
•「スライドオープン」に設定すると、FOMA端末を開いたときに切り替わります。

3 **▶「はい」を選択**
• ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ
● 次の画像は表示できません。
• パラパラマンガ　• アニメーション　• Flash画像
● 画像が切り替わるタイミングに電源が入っていない場合は切り替わりません。
● 日付・時刻が設定されていない場合、切替設定で「スライドオープン」以外に設定しているときは、切り替わりません。
● 現在、待受画面に表示されている静止画を移動したり、パラパラマンガを作成しても、次の画像に切り替わるまでその画像が表示されています。それ以降は表示されません。
● 選択したフォルダを削除したり、フォルダ内の静止画を移動、削除したり、パラパラマンガを作成したりして表示できる静止画がなくなると、お買い上げ時の画像が待受画面に表示され、ランダムイメージ設定は解除されます（移動やパラパラマンガを作成した場合は、次の画像に切り替わるタイミングまで画像が表示されています）。
● 切替設定を「スライドオープン」に設定していても、FOMA端末の開閉をすばやく繰り返すと、画像が切り替わらない場合があります。

ｉアプリ待受画面を設定する

• ｉアプリ待受画面は、待受画面選択の他の設定やカレンダー設定、カスタム待受画面と同時に設定できます。同時に設定した場合は、ｉアプリ待受画面が優先して表示されます。
• ｉアプリ待受画面に、複数のｉアプリは設定できません。

・テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定しているとき、待受画面に ｉ アプリを設定すると、テロップ表示は解除されます。その後、動画／ ｉ モーション、キャラ電、ｉ アプリ待受画面以外を設定すると、テロップ表示設定のテロップ表示は「表示する」に戻ります。

1 MENU 8 2 1 1 5

ｉ アプリ待受画面に対応した ｉ アプリが一覧表示されます。

2 **ｉ アプリを選択 ▶「はい」を選択**

ｉ アプリ待受画面が設定され、待受画面に または が表示されます。

おしらせ

● PIM ロック中やプライバシーモード中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、ｉ アプリ待受画面は表示されず、その前に設定していた待受画面が表示されます。ただし、PIM ロック中の場合、PIM ロックの対象となっているデータを設定していたときは、お買い上げ時の待受画面が表示されます。

● ｉ アプリを待受画面に設定した場合、時計は、デジタル時計（デザイン固定）でディスプレイ上部に表示されます。

● ｉ アプリ待受画面を操作するには ☛P250

待受画面にカレンダーを設定する

1 MENU 8 2 1 2

2 **「はい」を選択**

・ｉ アプリ待受画面が設定されているときは、続けて ｉ アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

カレンダーを設定すると

●休日と祝日が赤、土曜日は青で表示されます。休日と祝日の設定は、スケジュール帳の休日設定や祝日設定に従います。ただし、休日設定で休日に設定した日は、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIM ロック中は赤で表示されず、お買い上げ時の表示に戻ります。

●スケジュールが設定されているときは日付の右上にドットが表示されます。ただし、すべてのスケジュールにシークレット属性が設定されている場合は、シークレットモードを設定していないと表示されません。また、プライバシーモード中（スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）、PIM ロック中も表示されません。

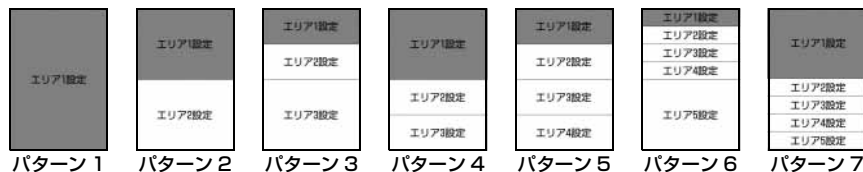
●待受画面で を押すごとにカレンダーの表示／非表示が切り替わります。

おしらせ

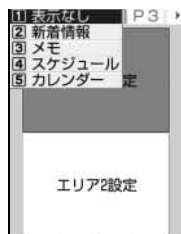
● 画像とカレンダーは同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、Flash 画像を設定している場合は、再生が停止／一時停止した後に を押すとカレンダーが表示されます。

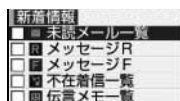
● 待受カレンダーを解除するには ☛P126

待受画面の表示をカスタム設定する　カスタム待受

待受画面をいくつかのエリア（領域）に分割し、それぞれのエリアに未読メールや不在着信などの新着情報、メモ、カレンダー、スケジュールを表示できます。エリアの分けかたは、次の7種類から選択できます。

1 MENU 8 2 1 4

2 ◎でパターンを切り替え

3 エリアを選択 ▶ 1 ～ 5

- 複数のエリアがある場合は、操作３を繰り返します。
- 画面の半分より小さいエリア（パターン３のエリア１設定など）には、カレンダーは設定できません。

■ 新着情報を設定する：2 ▶ 情報を選択 ▶ ◎

■ メモを設定する：

① 3

② メモを選択

- ◎を押すとメモの内容が表示されます。CLR を押すとメモ一覧に戻ります。メモ帳参照画面で ◎ を押しても設定されます。

4 ◎ ▶「はい」を選択

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

おしらせ

● トータルコーディネイト設定を変更すると、カスタム待受画面が表示されなくなりますが、設定は保存されています。操作１、操作４の順に操作すると以前に設定していたカスタム待受画面が表示されます。

カスタム待受画面の情報を確認する

- 待受画面で ☎ を押すごとにカスタム待受画面の表示／非表示が切り替わります。表示させてから操作してください。

1 [キー]

一番上のエリアが赤い枠で囲まれます。
- [キー] でカーソル枠を移動できます。
- テロップ表示設定のテロップ表示の設定によってカスタム待受画面表示エリアが異なります。

テロップ表示設定のテロップ表示を「表示する」に設定した場合に表示されます。

2 エリアを選択

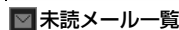
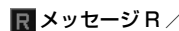
おしらせ

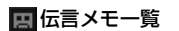
● 画像とカスタム待受画面は同時に設定できますが、アニメーション、パラパラマンガ、Flash 画像を設定していた場合、再生が停止／一時停止した後に [キー] を押すと情報が表示されます。

各情報の表示内容について

カスタム待受画面と各種情報は次のように表示されます。
- 表示される情報の件数・行数はエリアのサイズによって異なります。
- 各情報の日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

■ 新着情報

新着情報で設定している項目が、新しい順に一覧表示されます。

未読メール一覧：受信日時と題名の先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

メッセージＲ／メッセージＦ：
受信日時とタイトルの先頭部分が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、メッセージＲまたはメッセージＦの一覧が表示されます。

不在着信一覧：着信日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、着信履歴一覧が表示されます。

伝言メモ一覧：録音／録画日時と相手の電話番号（電話帳に登録されているときは名前）が表示されます。先頭に表示されているときにエリアを選択すると、伝言メモ一覧が表示されます。

■ メモ

メモ帳に登録されている内容の先頭部分が表示されます。エリアを選択すると、メモの詳細が表示されます。

■ スケジュール

開始日時が経過していないスケジュールが日時順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のスケジュールの詳細が表示されます。
- アイコン、日時、内容の先頭部分が表示されます。
- 長期間スケジュールの場合は、登録されているアイコンの代わりに が表示されます。アイコンの後ろには開始の日付または時刻（当日で開始時刻前の場合）が表示されます。長期間スケジュールは、終了日時が経過するまで表示されます。
- 終日に設定したスケジュールが当日の場合は、開始時刻の代わりに「終日」と表示されます。

■ カレンダー

当月のカレンダーが表示されます。エリアを選択すると、スケジュール帳のカレンダーが表示されます。
- カレンダーの見かたについては☛P123

画像以外の設定を解除する

動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリ待受画面、待受カレンダー、カスタム待受画面の設定を解除し、画像を待受画面に表示します。

1 MENU 8 2 1 6

2 「はい」を選択
- 以前に画像を設定していた場合はその画像、設定していなかった場合はお買い上げ時の画像が待受画面に表示されます。

電話やメールの発着信時に表示する画像を変更する　発着信画面表示設定

電話の発信時やメールの送受信時、ｉモード問合せ時に表示される画像を設定します。
- 電話の着信時に表示される画像を設定するには☛P66

電話発信時の画像を変更する　電話発信設定／テレビ電話発信設定　Menu 861 / Menu 871

音声電話やテレビ電話の発信時に表示される画像を設定します。

お買い上げ時　標準画像

例 音声電話発信時の画像を設定するとき

1 MENU 8 2 2 1

■ テレビ電話発信時の画像を設定する：MENU 8 2 2 3

2 イメージ表示欄を選択▶2

- お買い上げ時の画像を設定する：1▶操作４に進む

3「画像選択」を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択

4 [📖] を押す

おしらせ

● パラパラマンガを設定すると、最初のコマが表示されます。

発着信時に電話帳に設定した画像を表示する 人物画像表示設定

電話帳に登録されている相手との音声電話やテレビ電話の発着信時に、電話帳に設定されている人物画像を表示できます。

お買い上げ時 ON

1 [MENU] [8] [2] [2] [5]

2 [1] を押す

- 表示しない：[2]

■ **発信画像の優先順位について**

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

① FOMA 端末電話帳の設定（人物画像表示設定が「ON」に設定されているときに有効）

② FOMA 端末電話帳のグループ設定

③ 電話発信設定／テレビ電話発信設定

■ **着信画像の優先順位について**

複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

① マルチナンバーの着信設定

② FOMA 端末電話帳の設定（人物画像表示設定が「ON」に設定されているときに有効）

③ FOMA 端末電話帳のグループ設定

④ 電話着信設定／テレビ電話着信設定

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、音声電話の着信画像は発番号なし動作設定に従います。テレビ電話の着信画像は音の設定／テレビ電話着信設定に従います。
- 発番号なし動作設定で設定した音や画像が削除されると、設定内容が変更されます。この場合、実際に鳴る音や表示される画像が設定画面に表示される音や画像と異なることがあります。

メール送受信時や問合せ時の画像を変更する メール送信画像設定／メール受信画像設定／問合せ画像設定

- 問合せ画像には Flash 画像を設定できません。

お買い上げ時 標準画像

例 i モードメール、SMS 送信時の画像を設定するとき

1 [MENU] [8] [2] [2] [6]

■ **i モードメール、SMS、メッセージ R/F 受信時の画像を設定する：[MENU] [8] [2] [2] [7]**

■ **i モード問合せ、SMS 問合せ時の画像を設定する：[MENU] [8] [2] [2] [8]**

2 画像を選択して登録

- 操作方法は「電話発信時の画像を変更する」の操作 2 以降と同じです。☛P126

音／画面／照明設定

発着信画面表示設定

着信時に相手の電話番号や名前を表示する　着信表示設定

音声電話やテレビ電話がかかってきたときに、電話番号や名前を表示するかどうかや、名前の文字サイズを設定します。
また、ｉモードメール、SMS、メッセージR/Fを受信したとき、タスクバーに受信結果をスクロール表示するかどうかを設定します。

- 名前の表示については ☛P95

お買い上げ時　電話着信時電話番号：表示する　電話着信時名前表示：通常表示　メール／メッセージ着信時表示：表示する

1 MENU 8 2 2 9

2 各項目を選択して設定

電話着信時電話番号：電話がかかってきたときに電話番号を表示するかどうかを設定します。
電話着信時名前表示：電話がかかってきたときに名前を通常サイズで表示するか、小さく表示するか、表示しないかを設定します。
メール／メッセージ着信時表示
：ｉモードメール、SMS、メッセージ R/F を受信したとき、タスクバーに受信結果を表示するかどうかを設定します。
- 「表示する」に設定すると、タスクバーに受信結果がスクロール表示されます。

3 ［📖］**を押す**

ディスプレイとキーの照明を設定する　照明設定

お買い上げ時　照明方法：点灯　点灯時間：10 秒　範囲：ディスプレイ＋キー　ディスプレイの明るさ：標準
AC アダプタ接続時動作：端末設定に従う

1 MENU 8 2 5

2 各項目を選択して設定

照明方法：点灯させるかどうかを設定します。
- 「点灯」に設定すると、点灯時間、範囲、ディスプレイの明るさで設定した条件で点灯します。
- 「消灯」に設定すると、点灯しません。また、点灯時間、範囲、ディスプレイの明るさは設定できません。

点灯時間：点灯時間を設定します。
範囲　：ディスプレイのみを点灯させるか、ディスプレイとキー部分を点灯させるかを設定します。
- 「ディスプレイ+キー」に設定したときに点灯するキーは、MENU、［📖］、［📇］、［✉］、［((•))］、［☎］、［□］、CLR、0～9、＊、#です。

ディスプレイの明るさ：
ディスプレイが点灯するときの明るさを設定します。

AC アダプタ接続時動作：
別売りの AC アダプタ（卓上クレードル）や DC アダプタに接続したときのディスプレイの点灯動作を設定します。
- 「端末設定に従う」に設定すると、上記の項目の設定に従って点灯します。
- 「常時点灯」に設定すると、ディスプレイは微灯になります。

3 [📖] を押す

おしらせ

- 次の場合は、約 90 秒間何も操作せずにいると、ディスプレイの表示が消え、省電力の状態になります（カメラ撮影中などを除く）。キー操作をしたり、電話の着信などがあると、ディスプレイは再び表示されます。
  - 点灯時間を「常時」以外に設定している場合
  - 充電中の場合（点灯時間を「常時」以外に設定し、AC アダプタ接続時動作を「端末設定に従う」に設定しているとき）
- 照明方法を「点灯」に設定していても、プロテクトキーロック中は、キーを押してもディスプレイやキーは点灯しません。ただし、[☎] を押したときは、ディスプレイが点灯します。

画面のカラー配色を変更する　カラーテーマ設定

画面の背景や文字など画面の各部の色が変わります。

お買い上げ時　■ TGB design

1 [MENU][8][2][3]

2 [1] ～ [9]、[0]、[＊]、[#] のいずれか

- 24 種類から選択できます。
- [◁□▷] でページを切り替えられます。
- 選ばれている配色で画面が表示されます。オーディオ機能画面のアニメーション画像も配色によって切り替わります。
- 色名はイメージです。

メニューの表示方法やデザインを設定する　メニュー設定

メニューの表示形式やアイコンのデザインの変更などができます。

- お買い上げ時に登録されているノーマルメニューのタイルアイコンとアニメーションのデザイン☛P370

お買い上げ時　ノーマル：アニメーション　カスタム：タイルアイコン
アニメーションデザイン：■ TGB　アイコン拡大表示：OFF
起動メニュー：ノーマル／シンプル　カスタムメニューショートカット：カスタム

1 [MENU][📇]

2 各項目を選択して設定

ノーマル　：ノーマルメニューの表示形式を設定します。

カスタム　：カスタムメニューの表示形式を設定します。

タイルアイコンデザイン：

ノーマルメニューのタイルアイコンのデザインを設定します。

- ノーマルを「タイルアイコン」に設定した場合のみ設定できます。
- 「カスタム 1」「カスタム 2」は、メニューアイコンや背景画像を変更してオリジナルのメニューのデザインを作成するときに設定します。

アニメーションデザイン：
ノーマルメニューのアニメーションのデザインを設定します。
• ノーマルを「アニメーション」に設定した場合のみ設定できます。

アイコン拡大表示：メニュー選択時に、タイルアイコンを拡大表示するかどうかを設定します。

起動メニュー：待受画面でMENUを押したときにノーマル／シンプルメニューとカスタムメニューのどちらかを表示させるかを設定します。

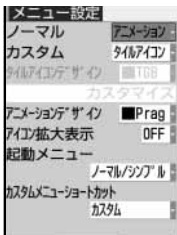
カスタムメニューショートカット：
カスタムメニューのショートカットの操作方法を設定します。
•「ノーマル／シンプル」に設定すると、ノーマル／シンプルメニューと同じ項目番号でショートカット操作ができます。
•「カスタム」に設定すると、カスタムメニューに登録された各機能の位置に対応した項目番号でショートカット操作ができます。

3 **を押す**

音／画面／照明設定　メニュー設定

オリジナルのメニューのデザインを作成する

メニューのアイコンや背景画像を変更して、メニュー画面のデザインを2種類作成できます。
• アイコンは96×96、背景画像は240×240より大きい画像は縮小して表示されます。

1 **MENU ▶ ノーマル欄で「タイルアイコン」を選択**

2 **タイルアイコンデザイン欄で「カスタム1」または「カスタム2」を選択 ▶「カスタマイズ」を選択**

3 **機能を選択 ▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択**

■ **メニューアイコンを解除する：アイコンを選ぶ ▶ MENU 1 ▶「はい」を選択**
• 全件解除する：MENU 2 ▶「はい」を選択

4 **▶ フォルダを選択 ▶ 画像を選択**

■ **背景を解除する：MENU 4 ▶「はい」を選択**

5

おしらせ

● パラパラマンガやFlash画像、「アイテム」フォルダ内の画像は設定できません。また、アニメーションを設定すると最初のコマが表示されます。
● PIMロック中は、タイルアイコンデザインの「カスタム1」、「カスタム2」の設定内容を変更できません。

電池残量のマークを変更する　電池マーク設定

お買い上げ時　■→■→■

1 MENU 8 2 4

2 1 ～ 5

着信ランプの色と点灯パターンを設定する　イルミネーション設定

不在着信や未読メールなどの新着情報があるときに着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。また、通話中や着信時、FOMA端末の開閉時などの着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。

- 本機能の設定は、電話着信設定、テレビ電話着信設定、メール着信設定、チャットメール着信設定、メッセージ着信設定、メロディの動作設定のイルミネーションの設定にもそれぞれ反映されます。

お買い上げ時　新着通知、通話中：OFF　テレビ電話着信、音声着信：点滅／オーシャン
メール着信、メッセージＲ着信、メッセージＦ着信、チャットメール着信：点滅／アクア
アラーム、スケジュール：OFF　メロディ再生：メロディ連動／レインボー　スライドオープン、
スライドクローズ：ゆっくり点滅／ガーネット

1 MENU 8 2 6

2 各項目を設定

■ **新着通知を設定する：新着通知欄を選択 ▶ 1 ～ 2**

- 「ON」に設定すると、不在着信（音声電話／テレビ電話／伝言メモ）があるときは音声着信のイルミネーションカラーに、未読情報（メール／チャットメール／ SMS）があるときはメール着信のイルミネーションカラーに、未読情報（メッセージＲ／メッセージ F）があるときはメッセージR着信／メッセージF着信のイルミネーションカラーに従って、約６秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると点滅は停止します。
- 「OFF」に設定すると、新着情報があっても着信ランプは点滅しません。

■ **通話中、テレビ電話着信、音声着信、メール着信、メッセージＲ着信、メッセージＦ着信、チャットメール着信、アラーム、スケジュール、メロディ再生、スライドオープン、スライドクローズを設定する：**

① **イルミネーションパターン欄を選択 ▶ 1 ～ 5**

- 「通話中」の場合は、「メロディ連動」は設定できません。
- 選ばれているパターンで着信ランプが点灯／点滅します。「メロディ連動」の場合は点滅します。ただし、「OFF」の場合は点灯／点滅しません。
- 「メロディ連動」または「OFF」に設定するとイルミネーションカラーは設定できません。
- 「メロディ連動」に設定すると「レインボー」で点灯／点滅します。ただし、新着通知の点滅は設定しているイルミネーションカラーに従います。また、音の設定を「着モーション」

つづく

に設定した場合、およびテレビ電話着信や音声着信以外の項目で音の設定を「OFF」に設定した場合も、設定しているイルミネーションカラーに従います。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信を設定できません。

② **イルミネーションカラー欄を選択 ▶ 1 ～ 9、0、＊、# のいずれか**
- でページを切り替えられます。
- 選ばれている色で着信ランプが点灯／点滅します。
- チャットメール着信設定の着信動作設定を「メール着信動作に従う」に設定している場合は、チャットメール着信を設定できません。

3 を押す

■ **イルミネーションの優先順位について**

複数の機能でイルミネーションを設定している場合、電話の着信やメール、SMS、チャットメール、メッセージ R/F の受信があったときは、次の優先順位で着信ランプが点灯／点滅します。

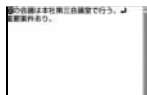
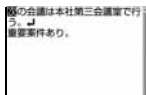
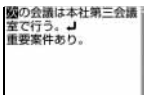
① FOMA 端末電話帳の設定
② FOMA 端末電話帳のグループ設定
③ イルミネーション設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定／メール着信設定／チャットメール着信設定／メッセージ着信設定
- アラーム設定でイルミネーションを設定している場合は、本設定よりもアラーム設定の設定が優先されます。

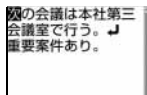
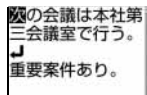
おしらせ

- 色名はイメージです。
- 新着通知を「ON」に設定していても、次の場合、着信ランプは点滅しません。
  - 着信中　・通話中　・公共モード（ドライブモード）中
- 新着通知を「ON」に設定した場合、最初に新着情報があったときから約 6 時間経過しても新着情報がないときや、 1 1（数字は件数）を消去したときは、情報を確認していなくても着信ランプの点滅は停止します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
- FOMA 端末電話帳に着信動作を設定している相手から電話の着信やメールの受信があった場合は、その設定に従って動作します。ただし、新着通知があるときの着信ランプの動作は変わりません。
- 新着通知を「ON」に設定しているとき、新着情報に複数の項目がある場合は、次の優先順位に従って着信ランプが点滅します。

① 不在着信（音声電話／テレビ電話／伝言メモ）
② 未読情報（メール／チャットメール／ SMS）
③ 未読情報（メッセージ R）
④ 未読情報（メッセージ F）

文字の大きさを変更する　文字サイズ設定

全画面入力で文字を入力するときの、文字サイズ (5 種類) を変更できます。

最小：12 ドット　小：16 ドット　中（標準）：20 ドット　大：24 ドット　最大：28 ドット

お買い上げ時　中(標準)

1 MENU 8 2 7 1

2 1 ～ 5

• 選ばれている文字サイズの例が表示されます。

おしらせ

● メール本文入力時やインライン入力時の文字サイズ、文字入力したときに表示される予測変換候補の文字サイズは変更されません。ただし、「最大」に設定した場合は、次の文字サイズも変更されます。
 • メールの本文入力時の確定していない文字の文字サイズ
 • 文字入力したときに表示される予測変換候補の文字サイズ
● サイト画面や画面メモ、メッセージ R/F を表示するときの文字サイズも変更されます。ただし「最小」の場合は「小」で、「最大」の場合は「大」で表示されます。

Menu 8213

時計の表示を設定する 時計表示設定

待受画面の時計表示の有無や、時計のデザイン、時刻の表示形式（24 時間表示／ 12 時間表示）、表示位置を設定できます。

お買い上げ時 デザイン：ON ／デジタル 1 形式：24 時間表示 表示位置：下

「アナログ 1」を中央部に表示

「デジタル 1」を中央部に、12時間で表示

「デジタル 2」を上部に、24時間で表示

「デジタル 3」を下部に、12時間で表示

「デジタル 4」を中央部に、24時間で表示

「デジタル 5」を上部に、12時間で表示

1 MENU 8 5 4

2 各項目を選択して設定

デザイン：時計を表示するかどうかを設定します。また、表示するときの時計のデザインを設定します。
 •「ON」に設定したときは、デザインを選択します。
 •「OFF」に設定すると、表示位置は設定できません。

形式：24 時間表示と 12 時間表示のどちらで表示するかを設定します。
 • アナログ時計の表示は変わりません。

表示位置：時計を表示する位置を設定します。

3 [■] **を押す**

おしらせ

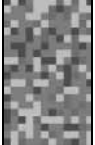
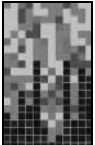
● 次の場合はデザインや表示位置の設定に関わらず、時計は、デジタル時計（デザイン固定）でディスプレイ上部に表示されます。
 • 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電が表示されている場合
 • ｉアプリ待受画面が表示されている場合
● オールロック中は、本機能の設定に関わらず上部に表示されます。
● 待受画面以外の画面では、ディスプレイの右上に時刻が表示されます。時刻の表示形式（24 時間表示／ 12 時間表示）は、本機能の設定に従います。

画面を英語表示に切り替える　バイリンガル

お買い上げ時　Japanese

1 MENU 8 2 7 2

2 2 を押す

- 日本語表示に切り替える：1

おしらせ

● 設定内容は、FOMA カードに保存されます。

画面のデザインをコーディネイトする　トータルコーディネイト設定

画面デザインの各設定に統一感を持たせてコーディネイトします。待受画面、電池マーク、時計表示、カラーテーマ、メニューアイコン、ミュージックプレイヤーのビジュアル設定（アニメーション画像）、オーディオ機能画面のアニメーション画像を一括して設定します。

コーディネイトされる機能・項目		トータルコーディネイト設定				
		■ TGB design	■ GLAMOOVE	■ Prag	Digital Camouflage	Green Square
待受画面設定		■ TGB design	■ GLAMOOVE	■ Prag	Dot Pattern	Square generator
電池マーク設定						
時計表示設定	デザイン	ON／デジタル1	ON／デジタル2	ON／デジタル3	ON／デジタル4	ON／アナログ1
	表示位置	下	上	中	中	中
カラーテーマ設定		■ TGB design	■ GLAMOOVE	■ Prag	カモフラージュ	サファリグリーン
メニュー設定	ノーマル	アニメーション	アニメーション	アニメーション	タイルアイコン	タイルアイコン
	タイルアイコンデザイン	–	–	–	タイル 1	タイル 2
	アニメーションデザイン	■ TGB	■ GLMV	■ Prag	–	–
ビジュアル設定（アニメーション画像）		■ TGB design	■ GLAMOOVE	■ Prag	Dot Wave	Square Sound

お買い上げ時　■ TGB design

1 MENU 8 2 8

2 1 ～ 5

あんしん設定

暗証番号について

携帯電話の操作や機能を制限する

発着信や送受信を制限する

その他の「あんしん設定」について

暗証番号について

FOMA 端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA 端末を活用してください。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や FOMA 端末、FOMA カードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
  詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

端末暗証番号

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。☛P137

ネットワーク暗証番号

ドコモeサイトでの各種手続き時や、各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「My DoCoMo ID ／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、ｉモードからは、ドコモｅサイト内の「各種手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My DoCoMo」「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

ｉモードパスワード

マイメニューの登録・削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み・解約などを行う際には４桁の「ｉモードパスワード」が必要になります（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります）。
ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
ｉモードから変更される場合は、「ｉMenu」⇒「8 オプション設定」⇒「2 ｉモードパスワード変更」から変更ができます。

PIN1 コード／ PIN2 コード

FOMA カードには、PIN1 コード、PIN2 コードという２つの暗証番号を設定できます。
これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。☛P138

PIN1 コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA カードを FOMA 端末に差し込むたびに、または FOMA 端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PIN1 コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
PIN2 コードは、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する４～８桁の番号です。

- PIN１／PIN２コード、PIN１コードON／OFFの設定は、FOMAカードに記録されます。新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。

PIN ロック解除コード

PIN ロック解除コードは、PIN1 コード、PIN2 コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PIN ロック解除コードの入力を 10 回連続して失敗すると、FOMA カードがロックされます。

おしらせ

● いたずら防止のため、端末暗証番号／ PIN1 コード・PIN2 コード／ｉ モードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。
● 端末暗証番号の入力に５回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。

端末暗証番号を変更する　端末暗証番号変更

- 端末暗証番号には、４～８桁の数字を入力します。
- 入力した端末暗証番号は「*」で表示されます。

お買い上げ時　0000

1

2 現在の端末暗証番号を入力

- 正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。[キー] を押して正しい端末暗証番号を入力してください。

3 新しい暗証番号欄を選択 ▶ 新しい端末暗証番号を入力

4 新しい暗証番号（確認）欄を選択 ▶ 操作３と同じ端末暗証番号を入力

5 [キー] を押す

PIN コードを設定する

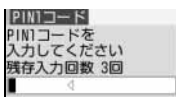
- PIN1 ／ PIN2 コードは変更できます。
- PIN1 ／ PIN2 コードには、4 ～ 8 桁の数字を入力します。
- 入力した PIN1 ／ PIN2 コードは「*」で表示されます。

電源を入れたときに PIN1 コードを入力するように設定する　PIN1 コード ON ／ OFF

ご契約時　OFF

1 MENU 8 3 4 3

2 1

- PIN1 コードを入力しないように設定する：2

3 **PIN1 コードを入力**

- ご契約時の PIN1 コードは「0000」に設定されています。
- PIN 1コードが正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。[クリア]を押して正しいPIN 1コードを入力してください。3回連続して失敗すると PIN 1コードがロックされます。[クリア]を押して PIN ロックを解除してください。
- 現在の設定を変更する場合のみ PIN1 コード入力画面が表示されます。

PIN1 コード ON ／ OFF を「ON」に設定すると

FOMA 端末の電源を入れると PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力すると、待受画面が表示されます。

- 正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発着信や各種通信機能の操作ができません。
- PIN1 コードの入力を 3 回連続して失敗すると、PIN1 コードがロックされます。[クリア]を押して PIN ロックを解除してください。

PIN1 ／ PIN2 コードを変更する　PIN1 ／ PIN2 コード変更

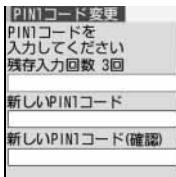
- PIN1 コードを変更するときは、PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定する必要があります。

ご契約時　PIN1 コード、PIN2 コード：0000

例　PIN1 コードを変更するとき

1 MENU 8 3 4 1

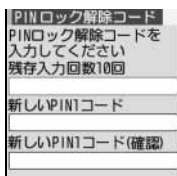
■ **PIN2 コードを変更する**：MENU 8 3 4 2

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 現在の PIN1 コードを入力**

3 **新しいPIN1コード欄を選択▶新しいPIN1コードを入力**

4 **新しいPIN1コード（確認）欄を選択▶操作3と同じPIN1コードを入力**

5 **[□]を押す**

• 現在のPIN1／PIN2コードが正しくないときは、その旨のメッセージが表示されます。[□]を押して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。3回連続して失敗すると、PIN1／PIN2コードがロックされます。[□]を押してPINロックを解除してください。

おしらせ

● PIN2コードの入力を3回連続失敗してFOMA端末がロックされた場合でも、電話の発着信やメールの送受信などは可能ですが、PIN1コードの入力を3回連続失敗してFOMA端末がロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックを解除する

PINコード入力画面でPIN1／PIN2コードの入力を3回連続して失敗すると、PINコードがロックされます。その場合は、ロックを解除してから新しいPINコードを設定します。

• PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
• 入力したPINロック解除コード、PIN1／PIN2コードは「*」で表示されます。

例 PIN1コードのロックを解除するとき

1 **PINコードロックの確認画面で[□]**

2 **8桁のPINロック解除コードを入力**

3 **新しいPIN1コード欄を選択▶新しいPIN1コードを入力**

4 **新しいPIN1コード（確認）欄を選択▶操作3と同じPIN1コードを入力**

5 **[□]を押す**

PINロックが解除され、新しいPIN1コードが設定されます。

各種ロック機能について

FOMA 端末を他人に不正に使用されたり、個人情報や電話帳データを見られたりしないように、さまざまなロック機能があります。目的に合わせてご利用ください。

- 複数のロック機能を同時に設定できます。
- プロテクトキーロックとシークレットモード以外のロック機能の設定は、電源を切っても保持されます。
- ロック機能を設定しても、各種緊急通報（110 番、119 番、118 番）は可能です。

項　目	説　明	参照先
オールロック	各種メニュー機能の操作などをできないようにして、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P140
遠隔ロック	FOMA 端末を紛失した場合などに遠隔操作でオールロックを設定し、他人が不正に使用するのを防ぎます。	P141
セルフモード	電話の発着信やメールの送受信、赤外線通信などの通信機能を利用できないようにします。	P142
PIM ロック	電話帳や自局番号、スケジュールなどの個人情報機能を利用できないようにして、情報の表示や改ざんを防ぎます。	P143
ダイヤル発信制限	ダイヤルキーを押して電話を発信できないようにします。	P144
プライバシーモード設定	電話帳・履歴やメール、マイピクチャ、ｉ モーション、スケジュール、ｉ アプリの表示ができなくなり、他人が不正に閲覧するのを防ぎます。	P144
プロテクトキーロック	キーの操作を無効にし、誤操作を防ぎます。	P146
シークレットモード	電話帳データやスケジュールデータにシークレット属性を設定すると、そのデータは端末暗証番号を入力してシークレットモードを設定したときのみ表示されます。	P147

他の人が使用できないようにする　オールロック

各種メニュー機能の操作などができなくなり、他人が不正に FOMA 端末を使用するのを防ぎます。オールロック中は、電話をかけたり、受けたりすることもできなくなります。

オールロック中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して [発信] を押します。このとき、緊急通報番号は端末暗証番号の入力欄に「*」で表示されます。

- オールロック中は、設定した待受画面が解除され、お買い上げ時の画像が表示されます。解除すると、設定した待受画面が再度表示されます。

お買い上げ時　未設定

1 [MENU] [8] [3] [1] [1]

2 **端末暗証番号を入力**

「オールロック中」と表示されます。

■ **解除する：待受画面で端末暗証番号を入力**

おしらせ

- オールロック中は、指定した日時になってもアラームやスケジュールアラームは動作しません。
- オールロック中は、待受画面に ｉ チャネルの情報はテロップ表示されません。
- オールロックを解除するとき、端末暗証番号の入力を 5 回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。
- 電源を入れる／切るの操作はできます。また、自動電源 ON ／ OFF 設定を設定している場合、自動電源 ON ／ OFF が行われます。
- オールロック中に電話が着信したときは、着信が拒否され、相手には話中音が流れますが、着信履歴には不在着信として記録されます。オールロックを解除すると待受画面に［1］（数字は件数）が表示されます。
- オールロック中も ｉ モードメールや SMS、メッセージ R/F は受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。オールロックを解除すると、受信アイコンが表示されます。

他の人が使用できないように遠隔からロックする　遠隔ロック

FOMA 端末を紛失した場合などに、設定した動作条件で FOMA 端末に音声電話をかけると、オールロックが設定され、他人が不正に使用できなくなります。

お買い上げ時 OFF

遠隔ロックの動作条件を設定する

1 MENU 8 3 1 3

2 端末暗証番号を入力 ▶ 各項目を選択して設定

遠隔ロック：遠隔ロックを有効にするかどうかを設定します。
- 「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

監視時間（分）：最初に着信してから設定した回数分の着信があるまでの制限時間を設定します（1 ～ 10 分）。制限時間を超えても設定した回数の着信がないときは、遠隔ロックは動作しません。また、それまでカウントした着信回数はリセットされます。

着信回数（回）：遠隔ロックが動作するまでの音声電話の着信回数を設定します（3 ～ 10 回）。

発信元 1 ～ 3：遠隔ロックを起動させる発信元の電話番号を設定します。公衆電話も設定できます。

■ **発信元を設定する：**

① **発信元 1 ～ 3 欄を選択**

② **発信元選択欄を選択 ▶ 1 ～ 2**

- 「発信者番号」に設定したときは、入力欄に電話番号を入力します。［電話帳］を押すと電話帳から入力できます。

③ ［📖］

3 ［📖］**を押す**

おしらせ

- 発信元に、ポーズ（P）、タイマー（T）が設定された電話帳データを登録した場合、ポーズ（P）、タイマー（T）以降は削除されます。

遠隔ロックを設定する

設定した動作条件で FOMA 端末に音声電話をかけて、遠隔ロックをかけます。
- 発信者番号を通知して電話をかけてください。
- 次の場合は、着信回数のカウントは開始されず、遠隔ロックは設定されません。
  - ・相手が電話に出た場合（応答保留や伝言メモで対応したとき、オート着信機能で電話に出たときも含みます）
  - ・FOMA 端末が通話中
  - ・FOMA 端末が圏外、電源が入っていない、セルフモード中などで電話がかからない場合
- 指定回数分の電話をかける前に次の状態になると、着信回数はリセットされます。
  - ・相手が電話に出た場合（応答保留や伝言メモで対応したとき、オート着信機能で電話に出たときも含みます）
  - ・FOMA 端末の電源が切られた場合
  - ・設定した監視時間が経過した場合
- オールロック中でも遠隔ロックを設定できます。

1 設定した条件で FOMA 端末に音声電話をかける

ロックされた旨のガイダンスが流れ、FOMA 端末は遠隔ロック中になります。

■ **解除する：遠隔ロック中の FOMA 端末で端末暗証番号を入力**

おしらせ

● 着信回数のカウントは、設定している発信元の中で最初に着信回数としてカウントされた電話番号のみ有効となります。カウントを開始してから、その他に設定した発信元の電話番号から着信があってもカウントされません。

● 着信拒否した電話や留守番電話サービス、転送でんわサービスに転送した電話も、着信回数としてカウントされます（呼出時間が「0 秒」の場合を除く）。

● 伝言メモまたはオート着信機能が設定されている場合は、伝言メモまたはオート着信機能が起動する前に電話を切ってください。

● 遠隔ロック中は、電話が着信しても切断されます。発信元に設定している電話番号からの電話の場合は、ロック中である旨のガイダンスが流れ、切断されます。

● プロテクトキーロック中（プロテクトキー動作設定を「スライドオープン時もロック」に設定した場合）に遠隔ロックを設定したときは、オールロックの解除はできますが、緊急通報はできません。

Menu 884

発信や着信ができないようにする　セルフモード

電話の発着信やメールの送受信など、通信を必要とするすべての機能を使えないようにします。また、赤外線通信や赤外線リモコンも利用できません。

お買い上げ時　OFF

1 CLR（1 秒以上）▶「はい」を選択

セルフモードが設定され、待受画面にselfが表示されます。
- ショートカット操作したとき：1 ▶「はい」を選択

■ **解除する：CLR（1 秒以上）**
- ショートカット操作したとき：2

おしらせ

- セルフモード中に緊急通報（110 番、119 番、118 番）を行うと、セルフモードは解除されます。
- セルフモード中に電話がかかってきた場合、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に送られてきた ｉ モードメールやメッセージ R/F は ｉ モードセンターで、SMS は SMS センターでお預かりします。受信する場合は、セルフモードを解除してから ｉ モード問合せ／ SMS 問合せをしてください。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする　PIM ロック

個人情報の表示や改ざんを防ぎます。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定しているときは、本機能を設定できません。
- 本機能を「ON」に設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後の発信や着信は記録され、リダイヤルや着信履歴からの発信は可能です。

お買い上げ時　OFF

1 MENU 8 3 1 2

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 1**

PIM ロックが設定され、待受画面に が表示されます。

- 解除する：2

PIM ロックを設定すると

- 次の操作（すべて、または一部の設定）が利用できなくなります。
  - ・メール／チャットメール／ SMS ／メッセージ R/F ※ 1
  - ・ｉ Menu
  - ・Bookmark
  - ・Internet
  - ・画面メモ
  - ・ラスト URL
  - ・ｉ アプリ
  - ・電話帳
  - ・伝言メモ／音声メモ
  - ・マイピクチャ
  - ・ｉ モーション
  - ・メロディ
  - ・キャラ電
  - ・カメラ
  - ・ビデオカメラ
  - ・サウンドレコーダー
  - ・スケジュール帳
  - ・通話料金上限通知
  - ・メモ帳
  - ・イヤホンスイッチ設定
  - ・アラーム
  - ・ソフトウェア更新
  - ・自局番号
  - ・スキャン機能
  - ・ｉ チャネル
  - ・赤外線によるデータ送受信
  - ・モバ HO! 機能
  - ・ミュージックプレイヤー
  - ・FM ラジオ
  - ・USB モード設定
  - ・オーディオメモリ初期化
  - ・データ一括削除
  - ・メニュー設定（タイルアイコンデザインの「カスタム 1」「カスタム 2」の設定内容の変更）

  ※ 1：受信できますが、受信中画面や受信アイコン、受信結果画面は表示されません。
- メニューを表示すると、アイコンが で表示されたり、文字が薄く表示され、選択できません。ただし、メニュー設定でノーマルを「アニメーション」に設定している場合は、表示は変わらず、選択すると PIM ロック中である旨のメッセージが表示されます。
- 電話帳に登録されている相手から電話の着信があっても、相手の名前は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- 伝言メモ設定中でも伝言メモが動作しないため、待受画面に は表示されず、未再生の伝言メモのアイコンも表示されません。
- 待受画面に ｉ チャネルの情報はテロップ表示されなくなります。

つづく

おしらせ

- PIMロックの対象となっているデータを待受画面やテレビ電話の代替画像、着信音などに設定していると、PIMロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。PIMロックを解除すると、設定は元の状態に戻ります。ただし、「プリインストール」フォルダ内に登録されているデータを設定している場合は、PIMロック中でも設定した待受画面や着信音などになります。
- PIMロックを設定すると、留守番電話サービスの伝言メッセージの件数が増加しても、通知音やバイブレータによる通知は行われません。

ダイヤル発信を禁止する　ダイヤル発信制限

電話番号をダイヤルして電話を発信すること（ダイヤル発信）ができない状態にします。

- 電話帳とリダイヤルからの発信はできます。
- 本機能を「ON」に設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴は削除されます。ただし、設定後に電話帳から発信した電話はリダイヤルに記録されます。

お買い上げ時　OFF

1 MENU 8 3 3

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 1**

ダイヤル発信制限が設定され、待受画面にが表示されます。

- 解除する：2

ダイヤル発信制限を設定すると

- 次の操作ができなくなります。
  - ・着信履歴からの発信
  - ・電話帳の修正、登録、削除
  - ・自局番号の修正、リセット
  - ・Phone To（AV Phone To）、Mail To 機能
  - ・外部機器との電話帳データの送受信
  - ・ｉモードメール／SMS の送信（電話帳を利用しての送信、または電話帳に登録された相手からのメールへの返信は可能）
  - ・メール作成画面からのメールテンプレートの読み込み
  - ・テンプレート一覧画面やテンプレート詳細画面からのメール作成（電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートからのメール作成は可能）
  - ・ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用

他の人が電話帳やメールなどを利用できないようにする　プライバシーモード設定

プライバシーモードの動作を設定する

プライバシーモード中に電話帳やメール、マイピクチャなどを利用するとき、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。プライバシーモードは手動で起動させたり、一定時間内に何も操作しなかった場合に自動的に起動させることもできます。

- プライバシーモードの設定を有効にするには、プライバシーモードを起動する必要があります。

お買い上げ時 電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュール、ｉアプリ：表示する　自動起動：OFF

1 MENU 8 3 6

2 **端末暗証番号を入力▶各項目を選択して設定**

- プライバシーモード中に、次の機能を利用するときに、端末暗証番号を入力するかどうかを設定します。また、待受中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

電話帳・履歴：電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモを表示するときの設定です。

メール：メールを表示するときの設定です。
- 「指定フォルダを非表示」に設定すると、フォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定したフォルダは表示されません。

マイピクチャ：マイピクチャを利用するときの設定です。

ｉモーション：ｉモーションを利用するときの設定です。

スケジュール：スケジュールを利用するときの設定です。

ｉアプリ：ｉアプリを利用するときの設定です。

自動起動：プライバシーモードが自動起動するまでの時間を設定します。

3 [■]▶[⏎]

おしらせ

- 自動起動以外のすべての項目を「表示する」に設定した場合、プライバシーモードは起動しません。また、プライバシーモードを起動していたときは、自動的に解除されます。

プライバシーモードを起動する

- プライバシーモード設定で自動起動するように設定した場合は、設定に従って起動します。

1 [⇦]**（1秒以上）**

■ **解除する：[⇦]（1秒以上）▶端末暗証番号を入力**

- プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）、受信メール、送信メール、未送信メールのフォルダ設定のプライバシーを「ON」に設定している場合は、各フォルダ一覧画面で CLR を1秒以上押し、端末暗証番号を入力すると、一時的にプライバシーモードを解除し、フォルダを表示できます。

おしらせ

- プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、発着信時などには電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話番号またはメールアドレスのみ表示されます。また、電話帳データに設定されている着信音やバイブレータ、テレビ電話代替画像などは動作せず、FOMA端末の設定に従います。
- プライバシーモード中（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリ用のメールフォルダを選択したり、ｉアプリをダウンロードする場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
- プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）にメール連動型ｉアプリを削除する場合は、端末暗証番号の入力が必要です。
- プライバシーモード中（マイピクチャ、ｉモーションを「認証後に表示」に設定した場合）は、FOMA端末電話帳で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを着信音や画像に設定しているときは、電話帳や電話帳のグループ設定ではなく、音の設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定に従って動作します。ただし、音の設定、電話着信設定、テレビ電話着信設定の各画像設定で、「プリインストール」フォルダ以外のデータを設定している場合は、お買い上げ時の設定で動作します。

● プライバシーモード中（マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）は、静止画撮影や動画撮影でフレームを重ねての撮影はできません。
● プライバシーモード中（ｉモーションを「認証後に表示」に設定している場合）は、動画を撮影した直後のテロップ編集はできません。
●「認証後に表示」に設定した機能をプライバシーモード中に利用する場合、一度端末暗証番号を入力すると、待受画面に戻るまで端末暗証番号の入力は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の項目を利用する場合も同様です。
（例）プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャを「認証後に表示」に設定した場合）に、マイピクチャに保存されている画像をメールで送信しようとした場合、マイピクチャを起動するときに端末暗証番号を入力するため、メール作成画面で電話帳を呼び出しても端末暗証番号の入力は不要です。
● プライバシーモード中（マイピクチャ、ｉモーション、ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）は、次の操作を行おうとすると、端末暗証番号を入力した後に、プライバシーモード設定で非表示にしている項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。
- 電話発信設定
- 電話着信設定
- テレビ電話発信設定
- テレビ電話着信設定
- メール送信画像設定
- メール受信画像設定
- 問合せ画像設定
- テレビ電話画像選択
- 電話帳の新規登録／編集
- グループ設定の電話発着信設定／メール着信設定
- 音の設定
- 待受画面設定のｉアプリ設定
- 発番号なし動作設定
- メッセージ着信設定
- メール着信設定
- チャットメール着信設定
- アラーム設定やスケジュールのアラーム編集（「ｉモーションを選択」を選択したとき）
- 自局番号編集
- マルチナンバーの着信設定

キーの誤操作を防止する　プロテクトキーロック

キー操作を無効にし、鞄などに入れて持ち歩く際の誤操作を防ぎます。

お買い上げ時　未設定

1 プロテクトキーを下にスライドさせてから離す

プロテクトキーロックが設定され、待受画面に が表示されます。
- モバHO! 聴取／ミュージックプレイヤー／FMラジオ画面でもプロテクトキーロックを設定できます。設定した場合は、タスクバーに ／ ／ が表示されます。
- プロテクトキー動作設定を「スライドオープン時は解除」に設定している場合、FOMA 端末を開いた状態で設定すると、一時解除の状態で設定されます。待受画面または、モバHO! 聴取／ミュージックプレイヤー／FMラジオ画面でFOMA端末を閉じるとプロテクトキーロックが設定されます。

■ **解除する：プロテクトキーを下にスライドさせてから離す**

FOMA端末を開いたときのプロテクトキーロックの動作を設定する　プロテクトキー動作設定

FOMA端末を開いたときに、プロテクトキーロックを一時解除するかどうかを設定します。

お買い上げ時　スライドオープン時は解除

1 MENU 8 3 8 ▶ 1 〜 2

おしらせ

- プロテクトキーロック中や一時解除中に、自動電源 OFF によって電源が切れた場合は、プロテクトキーロックは解除されます。一時解除中に手動で電源を切った場合も同様です。
- プロテクトキーロック中でも、次のキー操作はできます。
  - [(・))]で音声電話、テレビ電話を受ける（[テレビ]ではテレビ電話を受けられません）
  - 着信中の電話を[☎]で保留する（応答保留）
  - [☎]で実行中の機能を終了する（オーディオ機能起動中は除く）
  - 遠隔ロック中にオールロックを解除する

  着信時やアラーム鳴動時、メールやメッセージ R/F 受信時などでも、プロテクトキーを下にスライドさせてから離すと解除できます。
- プロテクトキーロック中でも、[☎]を押すとディスプレイが点灯します。

シークレット属性が設定されている情報を表示する　シークレットモード

シークレットモードを設定すると、シークレット属性を設定した電話帳データやスケジュールデータを表示できます。また、シークレット属性を設定／解除する場合、シークレットモードを設定する必要があります。

お買い上げ時　未設定

1 [MENU][8][3][2]

2 **端末暗証番号を入力**

シークレットモードが設定され、ディスプレイ上部に[アイコン]が表示されます。

■ **解除する：待受画面で[☎]**

- 待受画面で[MENU][8][3][2]を押しても解除されます。

おしらせ

- シークレットモード中は、アニメーション、パラパラマンガ、Flash 画像を待受画面に設定すると、最初のコマが表示されます。[☎]を押すとシークレットモードが解除され、再生されます。
- シークレットモード中にシークレット属性が設定されている相手から着信やメールの受信があったときは、電話帳データに設定されている着信音、着信バイブレータ、着信イルミネーションで動作します。シークレットモード中でない場合は、音の設定、バイブレータ設定、イルミネーション設定の各設定内容で動作します。

指定した電話番号からの着信を拒否／許可する　メモリ別着信拒否／許可

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信拒否／許可を設定します。

- 本機能を利用するには、電話番号ごとに着信拒否／許可を設定してから、本設定で着信拒否／許可を有効にしてください。設定項目と着信の拒否／許可の動作は次のとおりです。

メモリ別着信拒否／許可	電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
	着信許可	着信拒否	設定なし
許可設定	着信する	着信を拒否する※1	着信を拒否する※1
拒否設定	着信する	着信を拒否する※1	着信する
設定解除	着信する	着信する	着信する

※1：設定した電話番号から電話が着信しても、着信音が鳴らずに切断され、相手側には話中音が流れます。

つづく

・本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
・着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
・留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
・番号通知お願いサービス、および発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

着信を拒否／許可する電話番号を指定する

FOMA 端末電話帳に登録されている電話番号に対して、着信拒否／許可を設定します。
・FOMA カード電話帳に登録されている電話番号には設定できません。

1 **電話帳を検索 ▶ 相手を選ぶ ▶** MENU 8 1 3

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 電話番号を選択**

3 1 ～ 2
・着信拒否／許可を設定した電話帳データの詳細画面には、メモリ番号の右側に ! が表示されます。
・解除する：3

おしらせ
● FOMA 端末電話帳の詳細画面では MENU を押し、「設定／確認」→「設定」→「着信許可／拒否設定」を選択します。
● 着信拒否／許可を設定している電話番号を変更／削除した場合、本機能の設定は解除されます。その場合は、変更／登録後の電話番号に着信拒否／許可を設定してください。

着信拒否／許可設定を有効にする

・本機能の設定は着信拒否／許可を設定したすべての電話番号が対象になります。
・拒否設定と許可設定を同時に有効にはできません。

お買い上げ時 設定解除

1 MENU 8 6 7 1

2 **端末暗証番号を入力 ▶** 2 ～ 3
・解除する：1

おしらせ
● 着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能の設定に関わらず、発番号なし動作設定に従った動作となります。
● ｉモードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する 発番号なし動作設定

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由（発信者番号非通知理由）ごとに着信動作を設定します。

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定、音の設定よりも本機能の設定が優先されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話を着信した場合は、該当する発信者番号非通知理由の着信動作を「着信拒否」に設定しているときのみ本機能が動作します。それ以外に設定した場合は、音の設定／テレビ電話着信設定に従って動作します。

お買い上げ時 すべて設定解除

1 MENU 8 6 3 ▶ **端末暗証番号を入力**

2 1 ～ 3

- 通知されない理由ごとに操作 2 ～ 4 を繰り返します。
- 非通知理由については☛P60

3 **各項目を選択して設定**

着信動作：発信者番号が通知されない電話が着信したときの動作を設定します。
- 「設定解除」に設定すると、音の設定の電話に設定した着信音が鳴ります。
- 「着信拒否」に設定すると、着信を拒否します。
- 「着信音 OFF」に設定すると、着信音は鳴りません。
- 「メロディ」または「着モーション」を選択したときは、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。
- 「設定解除」「着信拒否」に設定すると、イメージ表示は設定できません。「着モーション」に設定すると、イメージ表示は「着信音連動」になります。

イメージ表示：発信者番号が通知されない電話が着信したときに表示する画像を設定します。
- 「標準画像」を選択したときは、お買い上げ時の画像を設定します。
- 「イメージ」を選択したときは、「画像選択」を選択して画像を選択します。
- 「ｉモーション」を選択したときは、フォルダ一覧から動画／ｉモーションを選択します。フォルダ一覧が表示されないときは、「画像選択」を選択します。

- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P114

4 **📖 を押す**

おしらせ

- メモリ登録外着信拒否を設定している場合に発信者番号が通知されない電話が着信したときは、本機能よりもメモリ登録外着信拒否の設定が優先されます。
- 「着信拒否」に設定した場合、拒否された着信は着信履歴に不在着信として記録されます。
- 着信動作の「着モーション」に音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）を設定した場合、「標準画像」に設定されますが、イメージ表示欄で「イメージ」を選択して画像（Flash 画像を除く）を変更できます。

電話帳に登録されていない相手からの着信をすぐに受けないようにする　呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話が着信したとき、指定した時間が経過した後に着信音やバイブレータなどによる呼出動作を開始するように設定します。「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

- メモリ登録外着信拒否を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

お買い上げ時　OFF

1 MENU 8 1 8

2 各項目を選択して設定

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかどうかを設定します。
- 「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を設定します（1 ～ 99 秒）。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかどうかを設定します。

3 📖 **を押す**

着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話が着信したとき、設定した時間内はディスプレイ表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答できます。その場合、時間内不在着信表示を「表示しない」に設定していても、かかってきた電話は着信履歴に記録されます。
- PIM ロック中やプライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、電話帳に登録されている相手からの着信でも本機能が動作します。
- 次の場合も、本機能が動作します。
  - ・電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話が着信したとき
  - ・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

- ● 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスは動作します。
  - 公共モード（ドライブモード）　• 伝言メモ　• 留守番電話サービス　• 転送でんわサービス
- ● 発番号なし動作設定で着信拒否の対象に設定している相手から電話が着信した場合は、本機能より発番号なし動作設定が優先されます。
- ● 呼出開始時間を留守番でんわサービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否する　メモリ登録外着信拒否

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。
- 呼出動作開始時間設定の着信呼出動作を「ON」に設定していると、本機能は設定できません。

お買い上げ時 OFF

1 MENU 8 6 7 2

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 1**

- 解除する：2

メモリ登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録していない相手から電話が着信したとき、着信音は鳴らずに切断され、相手には話中音が流れます。

- 着信を拒否しても、着信履歴には不在着信として記録されます。
- 次の場合も、着信を拒否します。
  - ・電話帳に登録されている相手でも発信者番号が通知されない電話が着信したとき
  - ・シークレットモードを設定していないときに、シークレット属性を設定した電話帳に登録されている相手から着信があったとき

おしらせ

● 発信者番号が通知されない着信があった場合は、発番号なし動作設定よりも本機能の設定が優先されます。
● ｉ モードメールや SMS は、本機能の設定に関わらず受信します。

その他の「あんしん設定」について

次のようなあんしん設定があります。

目　的	機能・サービスの内容	参照先
大量に届くメールの中から、必要なメールだけを受信します。	メール選択受信設定	P229
メールアドレスを変更します。	メールアドレス変更	『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。
指定したドメインからのメールのみを受信します。	ドメイン指定受信	
ｉ モードどうしのメールだけを受信／拒否します。	ｉモードメールのみ受信／拒否	
一方的に送られてくる広告メールを受信しません。	未承諾広告※メール拒否	
1 日に 1 台の ｉ モード携帯電話から送信される 200 通目以降の ｉ モードメールを拒否します。	ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限	
災害時に ｉ モードを利用して、安否情報を登録／確認します。	ｉ モード災害用伝言板サービス	
受信するすべてのメールのうち、指定したアドレスからのメールを受信／拒否します。	アドレス指定受信／拒否	
受信するすべての SMS または非通知 SMS、国際 SMS、非通知 SMS と国際 SMS の受信を拒否します。	SMS 一括拒否／非通知 SMS 拒否／国際 SMS 拒否／非通知 SMS と国際 SMS の拒否	
メール機能を一時的に停止します。	メール機能停止	
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を受けません。	迷惑電話ストップサービス	P344
電子認証サービス「FirstPass」を利用して、安全で信頼性の高いデータ通信を行います（FirstPass 対応のサイトに限ります）。	FirstPass	P177 P191
パケット通信を使ってFOMA端末のソフトウェアを最新の状態にします。	ソフトウェア更新	P398
障害を引き起こす可能性のあるデータの削除や、アプリケーションの起動の中止によって、FOMA 端末をウイルスから守ります。	スキャン機能	P402

カメラ

カメラをご使用になる前に

FOMA 端末のカメラを使って静止画や動画を撮影できます。撮影した静止画や動画は、FOMA 端末で表示／再生するだけでなく、i モードメールに添付して送信したり、赤外線通信で送信したりできます。

カメラのご使用について

- カメラはディスプレイ側にのみ付いています。ディスプレイに向って撮影すると、写り具合を確認しながら撮影できます。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、点や線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- レンズに直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとしたり、電池残量が少ないと、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがあります。
- レンズの特性により、画像が歪んで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらつくことがありますが、故障ではありません。被写体との距離やカメラの向きを変えたり、場所を移動することで、ちらつきを減らすことが可能です。また、ちらつき調整によりちらつきを低減できる場合があります。☛P168
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

撮影時の留意事項

- レンズ部分に指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布でふいてください。
- 手ぶれしないように FOMA 端末をしっかりと持って撮影してください。レンズ部分に指、ストラップなどがかからないように注意してください。
- FOMA 端末を閉じていても、開いていても撮影できます。
- セルフタイマー機能を利用すると、自動でシャッターを切れるため、手ぶれ防止に効果的です。☛P164
- 撮影する場所に応じて明るさを設定してください。☛P165
- または を押してから実際に撮影されるまでに多少の時間差がありますので、 または を押してから少しの間、FOMA 端末を動かさないようにしてください。なお、速く動いている被写体を撮影すると、 または を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- 動きの激しいものを撮影すると、画質が荒くなったり、映像が乱れたりすることがあります。
- カメラで自画像を表示すると鏡像表示されますが、撮影した静止画や動画は正像となります。静止画の場合、静止画詳細設定で自動保存を「しない」に設定すると、鏡像でも保存できます。
- i アプリからカメラ撮影を実行した場合、撮影した静止画や動画はマイピクチャや i モーションのフォルダには保存されず、i アプリ内に保存されます。ただし、i アプリによってはマイピクチャの「i モード」フォルダや「デコメールピクチャ」フォルダ、i モーションの「i モード」フォルダに保存される場合もあります。また、撮影した静止画や動画は、サーバへ自動的に送られる場合があります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後保存せずに長時間放置しないようにしてください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

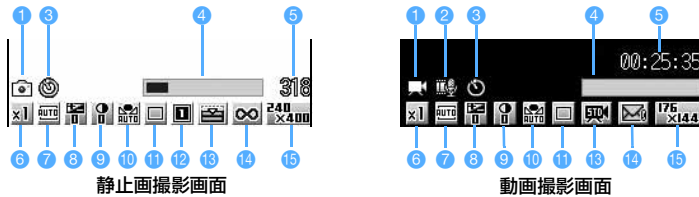
著作権・肖像権について

FOMA 端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイト（番組）やインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

撮影画面とファイルについて

撮影画面の見かた

静止画撮影画面　動画撮影画面

❶**機能／状態**	：実行中の機能や撮影状態を示します。 ：静止画撮影 ☛P157　：動画撮影 ☛P161
❷**撮影種別**	：撮影する動画の種類を示します。☛P163
❸**セルフタイマー**	：セルフタイマー設定時にが表示されます。☛P164
❹**インジケータ**	：**撮影待機中** 通常の撮影時は保存領域の使用率を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。 **動画撮影中／一時停止中** サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する撮影したサイズの割合を示します。
❺**カウンタ**	：**撮影待機中** 通常の撮影時は現在の設定で FOMA 端末に保存できる静止画の最大枚数（目安）または動画の最大時間（目安）を示します。セルフタイマー使用時（カウント中）はシャッターが切れるまでの残り時間を示します。静止画の手動連写中は撮影枚数／総撮影枚数を示します。 **動画撮影中／一時停止中** 経過時間／残り時間（撮影停止するまでの時間）（目安）を示します。
❻**ズーム**	：撮影する静止画や動画の表示倍率を示します。☛P164
❼**撮影モード**	：撮影モードを示します。☛P166
❽**明るさ**	：撮影する静止画や動画の明るさを示します。☛P167
❾**色の濃さ**	：撮影する静止画や動画の色の濃さを示します。☛P167
❿**ホワイトバランス**	：ホワイトバランスの設定状態を示します。☛P167
⓫**フレーム**	：フレームの設定状態を示します。☛P165
⓬**連続撮影**	：連続撮影の設定状態を示します。☛P159
⓭**画質／品質**	：静止画の画質、動画の品質の設定状態を示します。☛P167
⓮**サイズ制限**	：保存するファイルサイズの制限値を示します。☛P168
⓯**画像サイズ**	：撮影する静止画、動画の画像サイズを示します。☛P166

つづく

おしらせ

● ｉアプリから起動したときは、インジケータ、カウンタ、サイズ制限は表示されません。また、セルフタイマー起動、ズーム以外は操作できません。

静止画ファイル／動画ファイルについて

項　目	静止画ファイル	動画ファイル
ファイル形式	JPEG （Exif 形式、PRINT Image Matching Ⅲ対応）	MP4 （MobileMP4）
符号化方式	―	映像：MPEG-4　音声：AMR
拡張子	jpg	3gp
ファイル名／表示名／タイトル	撮影した日時が自動的に付けられます。 （例）2006 年 5 月 22 日 12 時 34 分 56 秒の場合→ 20060522123456 • 撮影後、ファイル名や表示名を変更できます。☛P304 • FOMA 端末の日付・時刻が設定されていない場合、ファイル名・表示名・タイトル（動画のみ）は「--------------」になります。	
メール添付・出力	メールに添付して送信したり、専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に取り込んだりできます。	

静止画の保存枚数／動画の撮影時間について

D851iWM に保存できる静止画の枚数は、画質、画像サイズ、サイズ制限の設定や撮影状況によって変わります。また、動画の撮影時間は、品質、画像サイズ、撮影種別、サイズ制限の設定や撮影状況によって変わります。

• 静止画の画質、画像サイズ、サイズ制限は静止画詳細設定で設定します。動画の品質、画像サイズ、撮影種別、サイズ制限は動画／録音詳細設定で設定します。

■ 保存できる静止画の枚数（目安）

単位：枚

画質＼画像サイズ	96 × 72	128 × 96	176 × 144	240 × 320	240 × 400	352 × 288	640 × 480
エコノミー	約 777	約 777	約 777	約 533	約 431	約 412	約 197
スタンダード	約 777	約 777	約 697	約 394	約 323	約 312	約 141
ファイン	約 777	約 697	約 477	約 238	約 201	約 197	約 83

■ 保存できる動画の撮影時間（目安）

サイズ制限	画像サイズ	撮影種別	1 回あたりの撮影時間（単位：秒）				保存できる最大撮影時間（単位：分）			
			品　質				品　質			
			LP	STD	HQ	HQ+	LP	STD	HQ	HQ+
メール添付用（小）	128 × 96	画像＋音声	約 112	約 70	約 51	約 21	約 63	約 39	約 29	約 11
		画像のみ	約 190	約 96	約 71	約 24	約 108	約 54	約 40	約 13
	176 × 144	画像＋音声	約 87	約 45	約 30	約 11	約 49	約 25	約 17	約 6
		画像のみ	約 128	約 54	約 36	約 12	約 72	約 30	約 20	約 6
	320 × 240	画像＋音声	約 32	約 17	約 13	約 6	約 18	約 9	約 7	約 3
		画像のみ	約 36	約 18	約 14	約 6	約 20	約 10	約 7	約 3
メール添付用（大）	128 × 96	画像＋音声	約 189	約 119	約 86	約 36	約 63	約 40	約 28	約 12
		画像のみ	約 321	約 161	約 120	約 41	約 108	約 54	約 40	約 13
	176 × 144	画像＋音声	約 148	約 76	約 51	約 19	約 49	約 25	約 17	約 6
		画像のみ	約 217	約 91	約 61	約 21	約 73	約 30	約 20	約 7
	320 × 240	画像＋音声	約 54	約 29	約 23	約 10	約 18	約 9	約 7	約 3
		画像のみ	約 61	約 30	約 24	約 10	約 20	約 10	約 8	約 3

カメラで静止画を撮影する

• 着信音量を「Silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、シャッター音やセルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。また、シャッター音やカウントダウン音の音量は変更できません。

静止画を撮影する

1 [カメラ]（1 秒以上）

静止画撮影画面

着信ランプが青で点灯し、カメラが起動します。
- 撮影待機中は次の操作ができます。
  - [＊]：全画面表示／標準画面表示切り替え
    - 全画面表示にすると、画面下部のマークやガイド行が消えます。
  - [カメラ切替]：静止画撮影／動画撮影切り替え

2 被写体にカメラを向けて [シャッター] または [♪]

シャッター音が鳴り、着信ランプが赤で点灯して静止画が撮影され、確認画面が表示されます。
- 静止画詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。操作 3 以降の操作は不要です。

3 撮影した静止画を確認

- 静止画をすぐに保存する：操作 4 に進む
- 保存しないで撮影し直す：[CLR]
- QCIF（176 × 144）以下の静止画を拡大表示して確認する：[カメラ]
  - ・元に戻すには [シャッター] を押します。
- 横長 VGA（640 × 480）の静止画を等倍表示して確認する：[カメラ切替]
  - ・[方向キー] でスクロールできます。元に戻すには [CLR] を押します。
  - ・等倍表示は正像で表示されます。

■ **撮影した静止画をメールに添付して送信する：[メール]**

撮影した静止画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。画像サイズやファイルサイズによっては、QVGA（240 × 320 または 320 × 240）への変換やデータ BOX への保存の確認画面が表示されます。☛P208

- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると 9000 バイトより小さいファイルサイズで FOMA 端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが 9000 バイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。

■ **待受画面に設定する：[MENU][2][1]▶「はい」を選択**

撮影した静止画が FOMA 端末に保存され、待受画面に設定されます。
- 画像サイズによっては、静止画の表示サイズを選択できます。☛P121

つづく

- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **電話帳の画像に登録する（画像サイズが電話帳用（96 × 72）の場合のみ）：MENU 2 ▶ 2 〜 3 ▶「はい」を選択**

撮影した静止画がFOMA端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。

- 更新登録するときは、登録する電話帳データを選択します。

■ **タイトルを変更する：MENU 3 1 ▶ タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字（連続撮影した画像は30文字）まで）▶ □**

■ **明るさや色のバランスを補正する：□**

静止画補正モードになります。以降の操作については ☛P291

- 画像サイズが横長VGA（640 × 480）のときは補正できません。
- 4コマ撮影でフレームが設定されている場合は、補正できません。

■ **鏡像で保存する：MENU 4 1**

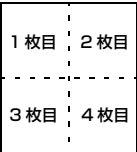
- フレームが設定されている場合や、画像サイズが横長VGA（640 × 480）で静止画詳細設定の撮影日時が「日付」または「日付＋時刻」に設定されている場合は、鏡像で保存できません。

■ **正像表示／鏡像表示を切り替える：MENU 4 2**

■ **保存されている画像を一覧表示する：MENU 7**

4 □ または ♫

撮影した静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。

■ **保存した静止画をすぐに確認する：□ ▶ 静止画を選択**

- 画像表示中の操作については ☛P287「画像を表示する」操作3
- 確認後 CLR を2回押すと、静止画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは確認できません。

おしらせ

- 画像サイズや画質によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかることがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像を削除するか、画像サイズや画質を低い値に変更してください。
- 音声電話通話中に静止画を撮影した場合、通話が途切れることがあります。
- 静止画の撮影待機中、シャッター音が鳴る前に電話がかかってきた場合、撮影を中断します。シャッター音が鳴り既に静止画を撮影している場合、自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話や通信の終了後に確認画面が表示されます。ただし、着信したタイミングによっては撮影した静止画が破棄される場合があります。
- 電話帳またはメールからカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
  - メールの作成
  - 待受画面の設定
  - 電話帳の画像登録
  - 補正
  - 等倍表示
  - 画像の一覧表示
- 静止画詳細設定で撮影日時を「日付」または「日付＋時刻」に設定して撮影しても、確認画面には日付や時刻は表示されません。保存した静止画には日付や時刻が表示されます。なお、横長VGA（640 × 480）の静止画では、確認画面で □ を押して等倍表示すると日付や時刻が表示されます。

連続撮影する

次の撮影ができます。いずれの場合も、約0.4秒間隔で自動的に撮影する自動連写と、1枚ずつ撮影する手動連写ができます。

撮影方法	説　明
連続撮影自動 連続撮影手動	最大6枚の静止画を連続して撮影できます。撮影した静止画は、マイピクチャにパラパラマンガの形式で保存され、アニメーションのように連続して表示できます。 • 撮影枚数は静止画詳細設定で設定します。 • 撮影できる画像サイズはSub-QCIF（128 × 96）、QCIF（176 × 144）、QVGA（240 × 320）、待受用（240 × 400）、CIF（352 × 288）です。 • マイピクチャのパラパラマンガの解除機能を使用すると、1枚ずつの静止画にできます。
4コマ撮影自動 4コマ撮影手動	120 × 160のサイズの静止画を4枚撮影し、並べて1枚の静止画にします。 • 撮影できる画像サイズはQVGA（240 × 320）のみです。 1枚目　2枚目 3枚目　4枚目

• 電話帳、メール、iアプリからカメラを起動したときは連続撮影／4コマ撮影できません。ただし、iアプリによっては連続撮影ができる場合があります。

1 [カメラボタン]（1秒以上）

カメラが起動します。

2 連続撮影の種類を選択

連続撮影のマーク

① [左右キー] で連続撮影のマークを選ぶ
• 連続撮影できない画像サイズでは、連続撮影のマークにカーソルが移動しません。画像サイズを変更するには ☛P165

② [上下キー] でマークを切り替え ▶ [決定キー]

[アイコン]：連続撮影自動　[アイコン]：4コマ撮影自動
[アイコン]：連続撮影手動　[アイコン]：4コマ撮影手動

• 連続撮影を解除する：[左右キー] で連続撮影のマークを選ぶ ▶ [上下キー] で [アイコン] に切り替え ▶ [決定キー]

3 被写体にカメラを向けて [決定キー] または [♫]

自動連写のときは、自動連写用のシャッター音が鳴り、撮影枚数分の静止画が連続で撮影されます。手動連写のときは、シャッター音が鳴り、最初の1枚が撮影されます。以降、1枚ごとに [決定キー] または [♫] を押して撮影します。撮影枚数分の撮影が終了すると、確認画面が表示されます。

• 静止画詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影枚数分の撮影が終了すると、撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。操作4以降の操作は不要です。
• 連続撮影手動、4コマ撮影手動を途中で中断するには [ボタン] を押します。
  ・連続撮影手動の場合、自動保存を「する」に設定しているときは、それまでに撮影した静止画が保存され、撮影画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定しているときは、確認画面が表示されます。
  ・4コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は保存できません。
• 連続撮影自動、4コマ撮影自動は途中で中断できません。
• 手動撮影時は、着信ランプが色を変えながら点灯します。

4 連続撮影した静止画を確認

- 確認画面で操作できる機能は通常の撮影時と同じです。
- 保存しないで撮影し直す：CLR
- 連続撮影自動／連続撮影手動で 2 枚以上撮影したときは、[i] を押すたびに 1 枚表示とサムネイル表示が切り替わります。[◀○▶] を押すと前後の静止画に切り替わります。

5 [保存] または [♪]

静止画が保存されます。

- 保存時の動作は通常の撮影時と同じです。

■ **静止画を 1 枚だけ保存する（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**

① **静止画を選ぶ**
  - 1 枚表示時は保存する静止画を表示します。

② **[保存]（1 秒以上）▶「正像保存」または「鏡像保存」を選択**

■ **静止画を複数選択して保存する（連続撮影自動／連続撮影手動のみ）：**

① **サムネイル表示中に MENU 5 2 ▶ 静止画を選択**
  - [✉] を押すとカーソル位置の静止画が拡大表示されます。[保存] を押すとサムネイル表示に戻ります。

② **[📖] ▶「正像保存」または「鏡像保存」を選択**

■ **静止画をすべて鏡像で保存する：MENU 4 1**

おしらせ

● 手動連写中に電話が着信したり、アラームやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、その時点で撮影が中止されます。連続撮影手動の場合、自動保存を「する」に設定しているときは、それまでに撮影した静止画が自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話・通信やアラームの終了後に確認画面が表示されます。4 コマ撮影手動の場合、それまでに撮影した静止画は保存できません。

● 自動連写中に電話が着信したり、アラームやスケジュールアラームの設定時刻になった場合、撮影が続行されます。自動保存を「しない」に設定しているときは、通話・通信やアラームの終了後に確認画面が表示されます。着信音およびアラーム音はシャッター音が鳴り終わるまで鳴りません。

● 連続撮影した静止画から 1 枚または複数を選択して保存した場合、保存しなかった静止画は破棄されます。

ビデオカメラで動画を撮影する

動画撮影

- お買い上げ時は音声付きの動画を撮影するように設定されています。動画／録音詳細設定で変更できます。
- 着信音量を「Silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、撮影確認音（シャッター音）やセルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。また、撮影確認音（シャッター音）やカウントダウン音の音量は変更できません。

1 MENU 6 3

動画撮影画面

着信ランプが青で点灯し、ビデオカメラが起動します。

- 撮影待機中は次の操作ができます。
  ：動画撮影／静止画撮影切り替え

2 被写体にカメラを向けて またはは ♫

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影が開始されます。 が ● に切り替わり、着信ランプが色を変えながら点滅します。

- 撮影を一時停止するときは を押します。● が ❚❚ に切り替わり、着信ランプが緑で点灯します。 または ♫ を押すと、撮影を再開します。

3 または ♫

撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影が終了します。確認画面が表示されます。

- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、撮影した動画が保存され、撮影画面に戻ります。操作 4 以降の操作は不要です。
- 撮影中にファイルサイズが制限値を超えると、撮影が自動的に終了し、その時点までに撮影した動画が保存の対象になります。
- 一時停止中に を押して撮影を終了した場合は、その時点までに撮影した動画が保存の対象になります。

4 撮影した動画を確認

- 動画をすぐに保存する：操作 5 に進む
- 保存しないで撮影し直す：CLR
- 動画を再生する：
  - ・動画／録音詳細設定の自動再生を「する」に設定している場合は、自動的に再生されます。

■ **撮影した動画をメールに添付して送信する：**

撮影した動画を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した動画が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

- 画像サイズを QVGA（320 × 240）に設定している場合は、添付できません。
- 品質を「HQ ＋（最高品質）」に設定している場合は、添付できません。

つづく

■ 待受画面に設定する：MENU 2 1 ▶「はい」を選択
撮影した動画が FOMA 端末に保存され、待受画面に設定されます。
- 撮影した動画が拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ 電話帳の画像に登録する：MENU 2 ▶ 2 〜 3 ▶「はい」を選択
撮影した動画が FOMA 端末に保存され、電話帳の登録画面が表示されます。
- 更新登録するときは、登録する電話帳データを選択します。
- 画像のサイズが Sub-QCIF（128 × 96）または QCIF（176 × 144）で、撮影種別を「画像のみ」に設定しているときのみ登録できます。

■ タイトルを変更する：MENU 3 1 ▶ タイトルを入力 (全角･半角を問わず 31 文字まで) ▶
- 変更したタイトルは動画保存後に有効になります。

■ テロップを挿入する：MENU 3 2 ▶「はい」を選択
撮影した動画が FOMA 端末に保存され、テロップ設定画面が表示されます。以降の操作は「テロップを挿入する」の操作 3 以降と同じです。☛P297
- 画像サイズを QVGA（320 × 240）に設定している場合は、挿入できません。

■ 保存されている動画を一覧表示する：MENU 5

5 または ♫

撮影した動画がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

■ 保存した動画をすぐに確認する：▶ 動画を選択
- 確認後 CLR を 2 回押すと、動画撮影画面に戻ります。
- 電話帳、メール、ｉアプリからビデオカメラを起動したときは確認できません。

おしらせ

- 撮影／録音中にキーを押したり充電を開始すると、操作音が録音される場合があります。
- 撮影／録音するデータによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影／録音できない場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な動画や音声を削除するか、サイズ制限の設定を変更してください。
- 撮影／録音中に電話がかかってきたときや、アラームやスケジュールアラームの設定時刻になったとき、を押したときは、その時点で撮影／録音が中止されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存されます。自動保存を「しない」に設定している場合は、確認画面が表示されます。
- 撮影／録音中に電池が切れそうになると、電池残量がない旨のメッセージが表示され、撮影や録音が中止されます。自動保存を「する」に設定している場合は、中止するまでに撮影／録音したデータが自動で保存され、を押すと撮影／録音画面に戻ります。自動保存を「しない」に設定している場合は、を押すと確認画面が表示されます。撮影／録音画面に戻っても電池がないため撮影できない旨のメッセージが表示され、撮影はできません。
- 撮影／録音中にアラームや電池アラームが鳴り撮影や録音が中止された場合、保存した動画／音声の最後にアラームや電池アラームが録音されることがあります。
- 電話帳またはメールからビデオカメラを起動した場合、確認画面で次の機能が利用できません。
  - メールの作成　・待受画面の設定　・電話帳の画像登録　・テロップ挿入　・動画の一覧表示

静止画／動画のサイズや保存方法などを設定する 静止画詳細設定・動画／録音詳細設定

• 電話帳、メール、iアプリからカメラ、ビデオカメラを起動したときは設定できません。その場合、自動終了時間が自動的に「1分後」になります。

お買い上げ時 ●静止画詳細設定
画像サイズ：待受用（240×400） 画質：スタンダード 撮影日時：なし サイズ制限：制限なし
セルフタイマー間隔：10秒 連続撮影枚数：6枚 自動保存：しない 自動終了時間：1分後
シャッター音：シャッター音5 照明設定：常灯
●動画／録音詳細設定
品質:STD(標準) 撮影種別:画像＋音声 サイズ制限:メール添付用(小) 画像サイズ:QCIF(176×144)
セルフタイマー間隔：10秒 自動再生：しない 自動保存：しない 自動終了時間：1分後
シャッター音：シャッター音5 照明設定：常灯

例 静止画詳細設定を変更するとき

1 （1秒以上）▶MENU 7
■ 動画／録音詳細設定を変更するとき：MENU 6 3 ▶MENU 5

2 各項目を選択して設定▶

設定項目について

○：設定可 ×：設定不可

項目	静止画	動画／録音	説明
画像サイズ	○	○	撮影する静止画／動画の画像サイズを設定します。☛P166
画質	○	×	保存する静止画ファイルの画質を設定します。☛P167
撮影日時	○	×	静止画の右下に撮影日時を入れるかどうかを設定します。
品質	×	○	保存する動画／音声ファイルの品質を設定します。☛P167
撮影種別	×	○	撮影／録音する動画／音声の種類を設定します。 ：画像＋音声 ：画像のみ ：音声のみ（サウンドレコーダー）
サイズ制限	○	○	保存するファイルサイズの制限値を設定します。☛P168
セルフタイマー間隔	○	○	セルフタイマー使用時にシャッターが切れるまでの時間を設定します（2～15秒）。
連続撮影枚数	○	×	連続撮影する枚数を設定します（2～6枚）。
自動再生	×	○	確認画面を表示したときに動画／音声を自動的に再生するかどうかを設定します。
自動保存	○	○	「する」に設定すると、撮影した静止画や動画／音声が自動的に保存されます。「しない」に設定すると、撮影／録音後に確認画面が表示されます。
自動終了時間	○	○	何も操作していないときにカメラ／ビデオカメラ／サウンドレコーダーを終了するまでの時間を設定します。
シャッター音	○	○	撮影確認音（シャッター音）をシャッター音1～5から選択します。 • 選ばれている音が鳴ります。
照明設定	○	○	「常灯」に設定すると、撮影／録音画面表示中はディスプレイの照明が常に点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P128）に従います。

おしらせ

- 静止画詳細設定で画像サイズを電話帳用（96 × 72）に設定すると、撮影日時は設定できません。
- 静止画詳細設定の画像サイズの待受用（240 × 400）、CIF（352 × 288）、横長 VGA（640 × 480）とサイズ制限の「メール添付用（小）」は同時に設定できません。
- 動画／録音詳細設定の品質の「LP（長時間）」「HQ+（最高品質）」と撮影種別の「音声のみ」は同時に設定できません。また、サイズ制限を「制限なし」に設定できません。
- 動画／録音詳細設定は、ビデオカメラとサウンドレコーダーの一方で設定すると両方の設定が変わります。ただし、品質はビデオカメラとサウンドレコーダーで別々に設定されます。

いろいろな方法で撮影する

ズームする

各画像サイズで表示倍率を2倍に設定できます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で [↕]

ズームのマーク

スライダ

静止画撮影時

押すたびにスライダの目盛が移動します。

- [1] を押し、[↕] で目盛を移動して [●] を押しても変更できます。
- 静止画／動画の撮影方法は、通常の撮影時と同じです。

x1：標準　x2：2倍

セルフタイマーを使う

設定した秒数が経過すると自動でシャッターが切れるため、撮影者自身が被写体になったり、手ぶれを防いだりすることができます。

- シャッターが切れるまでの秒数は静止画詳細設定または動画／録音詳細設定で設定できます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で [MENU] [4]

セルフタイマーが設定され、◎が表示されます。

- 解除する：もう一度 [MENU] [4]

2 被写体にカメラを向けて [●] または [♫]

セルフタイマーの
マーク

カウントダウン音が鳴り、セルフタイマーのカウントダウンが始まります。着信ランプが緑で点滅します。インジケータとカウンタには撮影までの残り時間の目安と残り秒数が表示されます。撮影時間が近づくと音と点滅の間隔が短くなり、設定した秒数が経過するとシャッター音が鳴り、撮影されます。

- セルフタイマーを途中で中止する：[■]
- セルフタイマーのカウントダウン中にアラームやスケジュールアラームの設定時刻になったり、[■] を押すと、撮影は中止されます。

撮影時の設定を変更する

フレーム、画像サイズ、撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、画質／品質、サイズ制限、ちらつき調整を設定できます。

- 以下の設定はカメラ／ビデオカメラを終了しても保持されます。
  ・画像サイズ　・明るさ　・色の濃さ　・画質／品質　・サイズ制限　・ちらつき調整

お買い上げ時　フレーム：なし　画像サイズ：〈静止画〉待受用（240 × 400）〈動画〉QCIF（176 × 144）
撮影モード：フルオート　明るさ：± 0　色の濃さ：± 0　ホワイトバランス：オート
画質／品質：〈静止画〉スタンダード〈動画〉STD（標準）　サイズ制限：〈静止画〉制限なし
〈動画〉メール添付用（小）　ちらつき調整：自動

例 フレームを設定するとき

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で [←→] でフレームのマークを選ぶ

フレームのマーク
マークの名前
現在の設定

- 他の設定を変更するときも同様にマークを選びます。
- マークには左から順に [1] ～ [9]、[0] のキーが割り当てられています。各キーを押してもマークを選べます。

[1]：ズーム ☛P164　[5]：ホワイトバランス　[9]：サイズ制限
[2]：撮影モード　[6]：フレーム　[0]：画像サイズ
[3]：明るさ　[7]：連続撮影（静止画撮影時のみ）☛P159
[4]：色の濃さ　[8]：画質／品質

- ちらつき調整はマークでは設定できません。設定するには ☛P168

2 [↕] でフレームを切り替え ▶ [決定]

- 他の設定を変更するときも同様に [↕] で設定内容を切り替えて [決定] を押します。
- 撮影モード、ホワイトバランス、フレーム、連続撮影、画質／品質、サイズ制限、画像サイズは、対応するキー（[2]、[5] ～ [9]、[0]）を押して設定内容を切り替え、[決定] を押しても設定できます。

フレーム

FOMA 端末に保存されているフレームや、サイトからダウンロードしたフレームを選択できます。
[アイコン]：フレーム設定中　[アイコン]：フレーム解除

- お買い上げ時に登録されているフレームは、QCIF（176 × 144）、QVGA（240 × 320）、待受用（240 × 400）の画像サイズに対応しています。☛P371
- 静止画の画像サイズを電話帳用（96 × 72）、横長 VGA（640 × 480）に設定しているときは、フレームを設定できません。
- 電話帳、メール、ｉアプリからカメラを起動したときは、フレームを設定できません。
- 解除するとき：[6]（1 秒以上）

おしらせ

- 静止画撮影画面／動画撮影画面で [MENU][3][1] を押すと、一覧からフレームを選択できます。
- 画像サイズと縦横が逆のフレーム（たとえば画像サイズが QCIF（176 × 144）のときに 144 × 176 のフレーム）を選択した場合、フレームが右 90 度回転して表示されます。このとき、静止画撮影画面／動画撮影画面で [MENU][3][3] を押すと、フレームが 180 度回転します。画像サイズとフレームの縦横が同じ場合は回転できません。
- 撮影中にサイトからフレームをダウンロードしたときは、静止画撮影画面／動画撮影画面で [MENU][3][4] を押すと、追加したフレームが選択可能になります。

画像サイズ

設定できる画像サイズは次のとおりです。

撮影方法	画像サイズ	マーク	メール送信の可否
静止画撮影	電話帳用（96 × 72）	96×72	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。また、デコメールに貼り付けるのに適したサイズです。
	Sub-QCIF（128 × 96）	128×96	
	QCIF（176 × 144）	176×144	
	QVGA（240 × 320）	240×320	
	待受用（240 × 400）	240×400	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。 ファイル添付時にサイズをQVGA（240 × 320または320 × 240）に変換するかどうかの確認画面が表示されます。
	CIF（352 × 288）	352×288	
	横長VGA（640 × 480）	640×480	
動画撮影	Sub-QCIF（128 × 96）	128×96	ｉモードメールに添付してｉモード端末やパソコンなどに送信できます。
	QCIF（176 × 144）	176×144	
	QVGA（320 × 240）	320×240	ｉモードメールに添付できません。

- ｉモード端末に送信できる画像のファイルサイズは最大500Kバイトです。
- D851iWM以外のｉモード端末で見る際に最も適した静止画のサイズは、QVGA（240×320）サイズです。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

撮影モード

色合いや、撮影場所に応じた設定を、20種類から選択できます。

フルオート：最も標準的な撮影モードです。通常はこのモードでご利用ください。
感度アップ：カメラの感度がアップし、暗い所でも被写体が写りやすくなります。
逆光補正：逆光により顔などが暗くなってしまうのを、明るくなるように調整します。
スポット測光：画面中央部の明るさに画像全体の明るさを合わせます。
風景：自然や街並みを鮮やかに撮影できます。彩度とシャープネスがやや強めに設定されます。
夜景：シャッタースピードが遅めになり、夜景を撮影しやすくなります。手ぶれに注意してください。
トワイライト：夕暮れの風景を美しく撮影できます。彩度が高めで、紫がかった写真になります。
サーフ＆スノー：海や空の青色や、雪の白色を鮮やかに再現します。
スポーツ：シャッタースピードが高速に設定され、動く被写体もぶれにくくなります。
ペット：シャッタースピードが速め、彩度が高めに設定されます。
グルメ：料理やお菓子の撮影に適したモードです。
文字：文字の輪郭が強調されます。
美白：肌が明るく、白く見えるように調整されます。室内での撮影をおすすめします。
日焼け：肌が小麦色に見えるように調整されます。屋外での撮影をおすすめします。
ソフトタッチ：輪郭が柔らかい画像になります。
モノトーン（赤）：赤系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。
モノトーン（緑）：緑系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。
モノトーン（青）：青系の階調で表現したモノトーンで撮影できます。
モノクロ：白黒写真の色合いで撮影できます。
セピア：セピア調の色合いで撮影できます。

- 自動連写時は夜景に設定できません。
- 夜景モードでは色合いなどの再現性はよくなりますが、カメラの特性上、光量が少ない場所で撮影すると線などのノイズが出る場合があります。
- 静止画撮影画面／動画撮影画面で MENU 1 を押すと、各モードの説明を見ながらモードを選択できます。

明るさ

：－２　：－１　：±０　：＋１　：＋２

- 被写体によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- 撮影モードをトワイライト、美白、日焼けに設定しているときは設定できません。

色の濃さ

：－２　：－１　：±０　：＋１　：＋２

- 被写体によっては、調整しても表示があまり変化しないことがあります。
- 撮影モードを文字、美白、日焼けに設定しているときは設定できません。

ホワイトバランス

撮影時の光源に合わせて自然な色合いに調整します。

オート：ホワイトバランスを自動的に調整します。
太陽光：晴天時の屋外で撮影するときに設定します。
くもり：曇天や日陰、夕刻などに撮影するときに設定します。
蛍光灯：蛍光灯などの照明の下で撮影するときに設定します。
電球　：電球などの照明の下で撮影するときに設定します。

- 撮影モードを風景、サーフ & スノー、モノトーン（赤）、モノトーン（緑）、モノトーン（青）、モノクロ、セピアに設定しているときは設定できません。

画質／品質

■ **画質（静止画撮影時）**

エコノミー　：最も低い画質です。ファイルサイズは小さくなります。
スタンダード：標準的な画質です。
ファイン　　：最も高い画質です。ファイルサイズは大きくなります。

■ **品質（動画撮影時）**

長時間　：最も低い品質です。ファイルサイズは小さく、撮影時間は最も長くなります。
標準　　：標準的な品質です。
高品質　：画像の動きがなめらかになります。
最高品質：最も高い品質です。ファイルサイズは大きく、撮影時間は最も短くなります。撮影した動画は ｉ モードメールに添付できません。

サイズ制限

■ 静止画撮影時

撮影した静止画のファイルサイズが制限値より大きくなる場合は、自動的に画質を落とすか、画像サイズを小さくして保存します。

メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを9000バイト以下に制限します。iモードメールに添付するのに適したファイルサイズです。

メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを500Kバイト以下に制限します。ファイルサイズを変更せずにiモードメールに添付できます。

制限なし：
ファイルサイズを制限しません。

- 「メール添付用（小）」は、画像サイズがQVGA（240×320）以下のときだけ設定できます。
- 画像サイズの設定によっては、サイズ制限の設定が自動的に変更されることがあります。

■ 動画撮影時

撮影中に動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを290Kバイト以下に制限します。iモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを490Kバイト以下に制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

※1：マークを選んだとき、画面には「メール添付（小）」「メール添付（大）」と表示されます。

ちらつき調整

蛍光灯などの下で画面がちらつくとき、ご利用の地域の電源周波数に合わせてちらつき調整を設定すると、ちらつきを低減できる場合があります。
- 強い光源の下などでは、調整してもちらつきが消えないことがあります。
- 設定を変更すると、テレビ電話のちらつき調整の設定も変更されます。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で MENU 2 4

2 1 ～ 3

自動：自動的にちらつきを低減するように調整します。
50Hz（東日本）：東日本の電源周波数に合わせて調整します。
60Hz（西日本）：西日本の電源周波数に合わせて調整します。

撮影時の設定を初期値に戻す

撮影モード、明るさ、色の濃さ、ホワイトバランス、ちらつき調整の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

1 静止画撮影画面／動画撮影画面で MENU 2 5

2 「はい」を選択

通話中に撮影した静止画を送信する　ワンショットメール

音声電話通話中に撮影した静止画を、ｉ モードメールに添付して通話中の相手に送信します。

1 **音声電話通話中に [カメラ]**

2 **静止画を撮影**

- 静止画詳細設定で自動保存を「する」に設定している場合、撮影した画像をメール添付するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、撮影した静止画を確認できます。
- 連続撮影すると、撮影した静止画がサムネイル表示されます。[十字キー] で静止画を選びます。

3 **[メール]▶「はい」を選択**

撮影した静止画が FOMA 端末に保存され、メール作成画面が表示されます。通話中の相手のメールアドレスが電話帳に登録されている場合、自動的に相手のメールアドレスが宛先に入力されます。ただし、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定している場合）は入力されません。

- 撮影した静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGA （240 × 320 または 320 × 240）への変換やデータBOXへの保存の確認画面が表示されます。☛P208
- 画像サイズとサイズ制限の設定によっては、撮影した静止画のファイルサイズを調整するかどうかの確認画面が表示されます。「制限なし」を選択するとそのままのファイルサイズで、「メール添付用（小）」を選択すると 9000 バイトより小さいファイルサイズで FOMA 端末に保存されます。
- 撮影・保存した静止画のファイルサイズが 9000 バイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
- ｉ モードメールを作成せずに撮影画面に戻るときは [CLR] を押します。そのまま撮影を中止するときは、撮影画面で [CLR] を押します。

4 **ｉ モードメールを作成して送信**

- 通話中画面に戻る：[CLR]

ｉモード／ｉモーション

サイトを表示する

サイトから画像やメロディなどをダウンロードする

ｉモードの便利な機能

ｉモードの設定を行う

メッセージサービスを利用する

証明書を利用する

ｉモーションを利用する

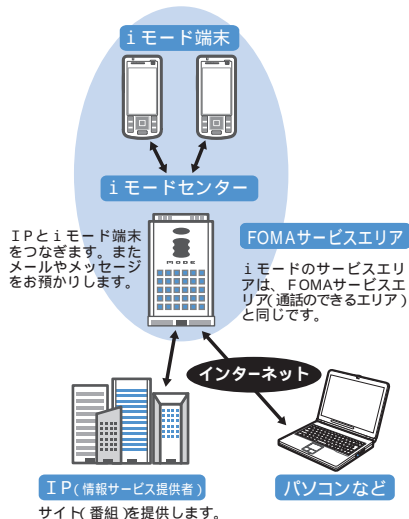
iモードとは

iモードでは、iモード対応FOMA端末（以下、iモード端末）のディスプレイを利用して、サイト（番組）接続、インターネット接続、iモードメールなどのオンラインサービスをご利用いただけます。

■ サイト（番組）接続
iMenuからメニューリストを選択して、天気、ニュースなどIP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。さらにゲームや待受画像をダウンロードして楽しめます。

■ インターネット接続
iモード端末にホームページアドレス（URL）を直接入力することで、iモード対応のさまざまなホームページを見ることができます。

■ iモードメール
iモード端末どうしをはじめ、インターネットのメールアドレスを持っている人となら誰とでもe-mailのやりとりが最大全角5000文字までできます。さらにデコメールや静止画像、動画を送受信して楽しいメールのやりとりができます。

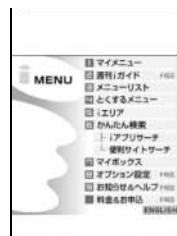
サービスのしくみ

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みに関するお問い合わせは、取扱説明書裏面をご覧ください。

おしらせ
- 新規でFOMAサービスのご契約をいただいた場合は、当日よりすべてのサービスがご利用になれます。
- movaサービス（iモードをご契約）からFOMAサービスへ契約を変更された場合、movaサービスでご利用いただいていた「マイメニュー」の内容は引き継がれます。なお、サイトによってFOMAに「マイメニュー」が引き継がれないサイトもございますので、その場合は、再登録をお願いします。また、「マイメニュー」引継対応サイトについては、iMenuの「お知らせ&ヘルプ」でご確認できます。
- iモードは送受信した情報量（パケット数）に応じて課金されるサービスです。本取扱説明書においては、料金に関する情報は記載しておりません。ご利用料金などにつきましては、iモードご契約時にお渡しいたします『iモード操作ガイド』をご覧ください。
- iモードのサービス内容は変更することがありますので、詳しくは最新の『iモード操作ガイド』をご覧ください。

サイト（番組）接続

簡単なキー操作でサイトに接続して、IP（情報サービス提供者）が提供する各種オンラインサービスをご利用いただけます。
たとえば銀行の残高照会・振込、チケット予約、ニュース、辞書検索、着信メロディのダウンロードなどさまざまなオンラインサービスがあります。

サイトを表示するには

iモードセンターに接続すると、最初にiMenuが表示されます。ここから、各サイト（番組）や「週刊iガイド」などへアクセスします。

- サイトの表示方法 ☛P176
- 画面はイメージです。設定によっては、表示が異なる場合があります。

1 **マイメニュー**
よく利用するサイトを登録しておくと、次回から簡単にサイトに接続できます。☛P179
iMenu内の有料サイトなどは自動的に登録されます。登録可能な件数は45件です。

2 **週刊iガイド**
新着サイトやおすすめサイトなど最新のサイト情報を毎週月曜日から金曜日までの毎日更新して掲載します。

3 **メニューリスト**

すべてのサイトをジャンル別・地域別に紹介するリストです。ここから見たいサイトを選んで接続できます。

4 **とくするメニュー**

楽しいキャンペーン情報、プレゼントやお得な割引クーポン情報などが掲載されています。毎週情報が更新されます（提供：D2 コミュニケーションズ）。

5 **ｉ エリア**

今いる場所やその周辺に関する天気・地図・タウン情報などを簡単にご利用になれます。

6 **かんたん検索**

「ゲーム」「待受画面」などのカテゴリからキーワード検索などで簡単にサイトを検索できます。

ｉ アプリサーチ

ｉ アプリを情報料が無料のものや、ゲームができるものなど目的別に紹介しているメニューです。

便利サイトサーチ

メニューリストの中から、日常的に利用できる便利なサイトを利用シーン別に合わせて紹介しているメニューです。

7 **マイボックス**

サービスを提供するお店やサイトにあらかじめ登録することにより簡単にアクセスできる会員向けのサービスです。

8 **オプション設定**

ｉ モードメールの設定や ｉ モードパスワードの変更などを行います。

9 **お知らせ＆ヘルプ**

ドコモからのお知らせや、ｉ モードの利用方法やご利用規則などを掲載しています。

■ **料金＆お申込**

料金の確認やお支払い、また、ご契約内容の変更・各種サービスのお申し込みができます。

ENGLISH

ｉMenu を英語表記に変更できます。

おしらせ

● サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（ｉ モード有料サイト）があります。
● IP が提供するサービスには、ご利用の際に別途お申し込みが必要なものがあります。
● ｉ が点滅していても、ｉ モードセンターとの通信中以外は、パケット通信料はかかりません。
● デュアルネットワークサービスご契約の場合、ｉMenu 画面などが一部異なります。

こんなこともできます

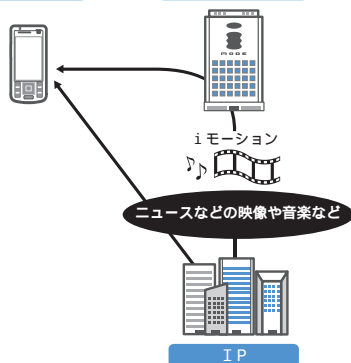
■ **ｉ チャネル**

ニュースや天気などのグラフィカルな情報をドコモまたは IP が ｉ モード端末に配信するサービスです。定期的に情報を受信し、最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、CLR を押すことで見られるチャネル一覧に表示されます。さらにチャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

• 対応機種：ｉ チャネル対応機種でご利用いただけます。詳しくは、『ｉ モード操作ガイド』をご覧ください。

■ **ｉ モーション**

ｉ モードのサイトから映像や音を ｉ モード端末に取得し、再生したり、待受画面として楽しむことができます。

• ｉ モーションを取得するには ☛P193
• ｉ モーションを再生するには ☛P292
• ｉ モーションを自動再生設定するには ☛P195

■ **着モーション／着うた®**

ｉ モードのサイトから ｉ モーションを ｉ モード端末に取得し、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなく、お好きな歌手の歌声なども着信音としてご利用いただけます（一部の対応していない ｉ モーションは着モーションに設定できません）。

• 着モーションを設定するには ☛P114、P294
•「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

■ **ｉ アプリ**

ｉ アプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉ モード端末をより便利に活用いただけます。たとえば ｉ モード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報の ｉ アプリをダウンロードしたりすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図の ｉ アプリでは必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。

• ｉ アプリをダウンロードするには ☛P243
• ｉ アプリを起動するには ☛P244
• ｉ アプリを自動起動するには ☛P248

■ ｉアプリ待受画面

ｉアプリ待受画面では、ｉアプリを待受画面として利用することができ、そのままメールを受信したり、電話をかけたりすることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にすることも可能です。

- ｉアプリ待受画面を設定するには☛P122

■ ｉアプリDX

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して、株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用することが可能です。

- ｉアプリDXとは☛P242

■ キャラ電

テレビ電話利用時に相手のテレビ電話端末に自分の映像を映す代わりにキャラクタを表示させ、キャラクタが音に反応して口を動かしたり、キー操作でキャラクタを動作させたりできます。お好きなキャラクタをダウンロードしてそのまま待受画像に設定したり、そのキャラ電を撮影した静止画・動画ファイルを待受画像に設定したり、メールに添付して送信することもできます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像ファイル・動画ファイルは送信できません）。

- キャラ電をダウンロードするには☛P185
- キャラ電の確認☛P298
- キャラ電を設定するには☛P83、P89、P299
- キャラクタの操作方法☛P299
- キャラ電の撮影☛P299

■ 赤外線通信機能

赤外線通信機能が搭載された携帯電話、パソコンなどと電話帳やメール、ブックマークなどを送受信できます。※1

また、ｉアプリで赤外線通信を利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動して、より広がった使いかたができます。たとえば携帯電話をテレビのリモコンや会員証などとして利用することが可能です。

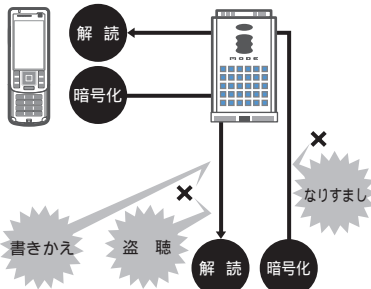
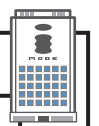
※1：相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

- 赤外線通信モードにするには☛P306、P253

■ SSL通信

SSLとは認証／暗号技術を使用して、プライバシーを守ってより安全にデータ通信を行う方式のことです。SSLページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴やなりすまし、書きかえを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやりとりできるようにしています。

SSL通信には、ｉモード端末から特別な操作なしに、端末内のCA証明書を利用し、SSLに対応したサイト（SSLページ）を表示するものと、FirstPassセンターからダウンロードしたユーザ証明書を利用し、SSLに対応したサイト(SSLページ)を表示するものと2つあります。なお、サイトによって使用する証明書は異なります。☛P191

- ｉモード端末に保存されているCA証明書を利用するには☛P191
- FirstPassのユーザ証明書を利用するには☛P191

■ FOMA カード動作制限機能

お客様情報（電話番号・電話帳（一部）など）を格納している FOMA カードを、ｉモード端末に挿入して、サイトからダウンロードしたり、メールにて取得したメロディ・静止画・ｉモーションなどのファイルの動作を制限します。また、別の FOMA カードに差し替えたり、または未挿入の状態で電源を ON にした場合、取得したファイルの再生や表示をできなくする機能です。☛P40

- カメラ機能によりお客様が撮影した静止画・動画、赤外線通信によりｉモード端末内に保存したファイルについては、本機能の対象外となります。
- 着信音や待受画面設定など、ｉモード端末に設定していた場合、本機能により設定がリセットされます。

■ ｉメロディ

サイトから最新の曲やお好みの曲をｉモード端末にダウンロードし、着信音として利用できます。☛P184

■ ｉアニメ

サイトからお好みのアニメーション画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面や着信画面に表示できます。☛P183

■ Flash™

Flash とは、絵や音を利用したアニメーション技術です。多彩なアニメーションや表現力豊かなサイトを利用できます。また、Flash 画像を利用した画像をｉモード端末にダウンロードし、待受画面に設定することもできます。

Flash 画像によっては、お客様のｉモード端末の端末情報データを参照できるものがあります。利用する登録データには次のものがあります。

- 電池残量
- 受信レベル
- 時刻情報
- 着信音量調整
- バイリンガル設定
- 機種情報

■ メッセージサービス

メッセージサービスは、欲しい情報（メッセージ）が自動的にお客様のｉモード端末に届くサービスです。メッセージサービスにはメッセージ R（リクエスト）とメッセージ F（フリー）があります。

メッセージリクエスト（メッセージ R）	メッセージサービスを提供するサイトでお申し込みいただくと、欲しい情報が自動的に届けられるメッセージです。
メッセージフリー（メッセージ F）	パケット通信料が無料で届けられるメッセージです。

- メッセージサービスの受信方法は☛P188、P214
- メッセージ F（フリー）の設定について、2004 年 10 月 1 日以降に FOMA の新規ご契約と同時にｉモードをお申込みの場合は、メッセージ F 設定の初期設定が「受信する」となっております。お客様が受信を希望されない場合は、メッセージ F 設定をお客様ご自身で「受信しない」に設定を変更していただく必要がありますので、ご了承ください。
  - ・上記の場合以外のお客様がメッセージ F をご利用になるには、あらかじめオプション設定からの受信設定が必要です。初期設定では、「受信しない」に設定されております。
- 電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、メッセージ R/F はｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターでのメッセージ R/F の保管件数、保管期間は次のとおりです。最大保管期間を過ぎたメッセージ R/F は削除されます。最大保管件数を超えた場合は、最も古いメッセージ R/F から順に削除されます。

メッセージ名	最大保管件数	最大保管期間
メッセージ R	300 件	72 時間
メッセージ F	300 件	72 時間

- ｉモードセンターに保管されたメッセージ R/F は、ｉモード問合せ（☛P214）により受信できます。

■ トクだねニュース便

メッセージ R（リクエスト）機能を利用し、ニュースや天気などの情報をｉモード端末にドコモが配信するサービスです。

トクだねニュース便はお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込み完了後、自動的にマイメニュー登録され、マイメニューからアクセスしても同じ情報を見ることができます。

- メッセージ R の画面の見かたは☛P190

■ ｉモードパスワード

有料サイトのお申し込みやマイメニューの登録・解除、ｉモードメールの設定などを行うときには「ｉモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますので、お客様独自の 4 桁の数字に変更してください。☛P180

ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

インターネット接続

インターネットホームページのアドレス（URL）を入力することにより、インターネットに接続し、ｉモード対応のインターネットホームページを表示できます。

・表示方法は☞P180

おしらせ

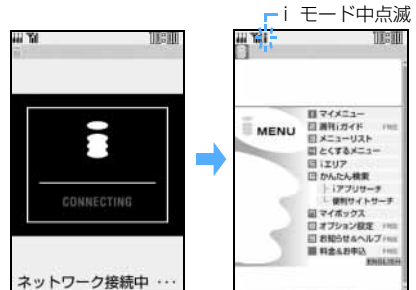
● ｉモード対応のインターネットホームページ(ｉモード対応のタグなどで作成されたホームページ)以外は正しく表示されない場合があります。
● パソコン上での表示とは異なる場合があります。
● URL が 512 文字を超えるインターネットホームページは、表示できない場合があります。
● パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと付属の USB 接続ケーブルを利用して、メール、ブックマークなどの内容をパソコンに保管できます。

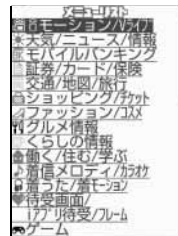
ｉモードのご使用にあたって

● サイト（番組）やインターネット上のホームページ（インターネットホームページ）の内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイト（番組）やインターネットホームページからｉモード端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
● ｉモード端末に保存されている内容(メール、メッセージ R/F、画面メモ、ｉアプリ、ｉモーション)やブックマークなどの登録内容は、ｉモード端末の故障、修理やその他の取り扱いによって消失する場合がありますので、登録内容や重要な内容は控えをとっておくことをおすすめします。万一、保存されている内容や登録した内容が消失した場合、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● ｉモード端末の修理などを行った場合、ｉモード・ｉアプリ・ｉモーションにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい携帯電話への移行を行っておりません。また、別の FOMA カードに差し替えたり、FOMA カードを未挿入のまま電源を ON にした場合、機種によってサイトから取り込んだ静止画・ｉモーション・メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画・動画・メロディ）、画面メモおよびメッセージ R/F などは表示・再生できません。
● FOMA カード動作制限機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定していると、別のFOMAカードに差し替えた場合やFOMAカードを差し込んでいない場合に、設定がお買い上げ時の状態に戻ります。データをダウンロードしたときに使用したFOMAカードを差し込むと、設定は元の状態に戻ります。

Menu 21

サイトを表示する

1 [i] [1]

・接続中の画面で [i] を押すと、接続が中止されます。
・サイト表示中に [8] を1秒以上押すと、ｉモードが切断されます。
・[1]、[2] などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押して選択します（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。

2「[3] メニューリスト」を選択

・ページ取得中に [□] を押すと、ページの取得が中止されます。

3 項目を選択

サイトに接続されます。以降同様に目的のページを表示します。

4 サイトを見終わったら ☎ ▶「はい」を選択

おしらせ

- 画像を含むサイトを表示したとき、画像の代わりに次のマークが表示されることがあります。
  - ：表示・効果設定で画像を「表示しない」に設定しているとき（メッセージR/Fで画像未取得の場合は ）
  - ：画像のデータが不正なときや、画像が見つからないとき、受信中に圏外になるなどで画像を受信できなかったとき
  - ：画像のURLの誤りなどで画像を表示できないとき
- ｉモードは通信を使ったサービスのため、圏外ではご利用になれません。
- サイト表示中にｉMenuに戻る場合は MENU を押し、「iMenu」を選択します。
- サイトからお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」が要求されたときは、確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」が送信されます。送信される「携帯電話／ FOMA カード（UIM）の製造番号」は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかどうかを判定するために使われます。
  送信するお客様の「携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号」は、インターネットを経由して IP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得されることがあります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- サイトからユーザ名、パスワードの入力が要求されたときは、ユーザ名、パスワードの入力画面が表示されます。サイトのユーザ名、パスワードを入力し、 を押します。

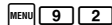
SSL ページに接続する

通常のサイトの表示と同様の操作で、SSL に対応したサイト（SSL ページ）を表示できます。

- SSLページによっては、日付・時刻の設定をしないと接続できない場合があります。
- FirstPass 対応ページに接続するには、ユーザ証明書を FirstPass センターからダウンロードし、FOMA カードに保存する必要があります。

SSL ページに接続する

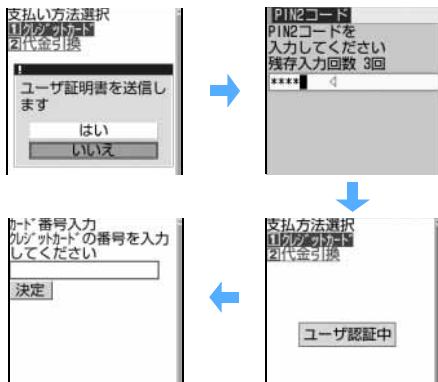
SSL 通信開始の画面が表示されます。SSL ページが表示されるとディスプレイ上部に SSL が表示されます。

■ SSL ページ表示中に証明書を表示する：
MENU 9 2

- 証明書の内容 ☛P191

SSL ページから通常ページに進む

確認画面が表示されます。「はい」を選択すると通常ページが表示され、ディスプレイ上部の SSL が消えます。

FirstPass 対応ページに接続する

次の画面が表示されます。

①「はい」を選択
② PIN2 コードを入力
ユーザ証明書が送信され、FirstPass 対応ページが表示されます。

- 60秒以内に正しいPIN2コードを入力しないとSSL通信は切断されます。

おしらせ

- SSL 通信を行うには、接続サイトと FOMA 端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要です。☛P191
- FirstPass対応サイトに接続した際のパケット通信は、パケ・ホーダイの対象となります。ただし、パソコンと接続してデータ通信を行う場合は、パケ・ホーダイの対象外となります。

Menu 25

最後に表示したページに再接続する
ラストURL

ラストURLを利用すると最後に表示したページに簡単に再接続できます。

- ページによっては、表示できないことがあります。また、最後に表示したページと異なることがあります。

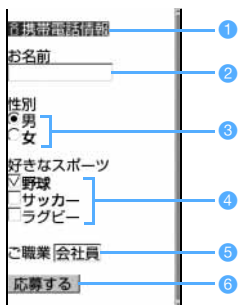
1 [↓][5]

- ラストURLが記録されていないときは、ラストURLがない旨のメッセージが表示されます。

2 **[↓]を押す**

サイトの見かたと操作

リンク先や項目を選択する

ページによっては選択項目や入力欄が表示されます。[↕]で選択項目や入力欄を選び[↓]を押して選択・入力します。

①**リンク**
関連するページへ進みます。選ぶと反転表示されます。

②**文字入力欄**
文字を入力します。入力文字種と文字数は、文字入力欄によって異なります。

③**ラジオボタン**（○：選択されていない状態　◉：選択されている状態）
選択肢の中から1つだけ選択できます。

④**チェックボックス**（□：選択されていない状態　☑：選択されている状態）
選択肢の中から複数選択できます。
[↓]で□と☑が切り替わります。

⑤**プルダウンメニュー**
項目の一覧から項目を選択します。

⑥**ボタン**（名称はサイトによって異なる）
ページの設定内容を確定してサイトへ送信したり、取り消したりします。

おしらせ

- 画像にリンクが設定されている場合もあります。
- [1]、[2]などの番号付きの項目は、項目に対応する番号のキーを押しても選択できます（ダイレクトキー機能）。ただし、サイトによっては選択できない場合があります。
- ｉモードパスワードの入力欄などでは、入力した文字が「*」で表示されます。
- プルダウンメニューによっては、[↓]を押して複数の項目が選択できる場合があります。選択後は[📖]を押します。
- ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニュー、文字入力欄で入力／設定した内容は、登録したブックマークや画面メモには反映されません。

Flash画像の表示について

Flash画像により、表現力豊かなサイトを利用できます。

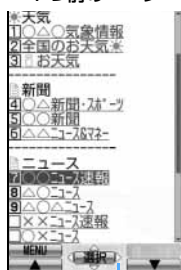
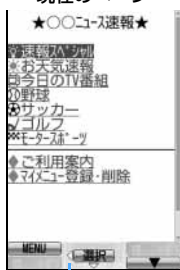
- 表示・効果設定の画像を「表示しない」に設定した場合は表示されません。
- Flash画像を利用したサイトでは、通常のサイトと表示動作が異なる場合があります。
- Flash画像によっては、画像保存したり、画面メモに保存しても画像の一部が保存されないなど、サイトで表示したときと見えかたが異なる場合があります。
- 待受画面や着信画面に設定されたFlash画像の効果音は鳴りません。
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。また、正しく動作しないFlash画像は保存できない場合があります。
- 再生中にエラーが発生したFlash画像は保存できません。
- Flash画像によっては[✥]が表示されていない場合でも、Flash画像の操作ができる場合があります。
- Flash画像を最初から再生する場合は、[MENU][9][6]を押してください。
- Flash画像によっては効果音が鳴る場合があります。音量は電話着信音の音量設定に従います。効果音を鳴らさない場合は、[MENU][9][3]を押し、効果音設定を「OFF」に設定してください。
- バイブレータ設定を「OFF」以外に設定しているときに、Flash画像の効果音が鳴っても振動しません。
- Flash画像によっては、バイブレータ設定を「OFF」に設定しても、再生中にFOMA端末を振動させる場合がありますのでご注意ください。

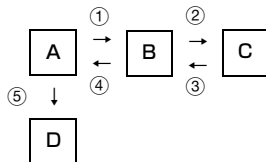
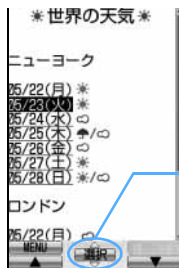
- 再生中に 30 秒以上操作しなかった場合は、一時停止します。再開するには [↓]、[↕]、[(ﾞ)]、[□]、[✉]、[📖]、[0] ～ [9]、[＊]、[＃]、[♪] のいずれかのキーを押してください。
- Flash 画像によっては、端末情報データを利用するものがあります。端末情報データを利用するためには、表示・効果設定の端末情報データ利用設定を「利用する」に設定してください。お買い上げ時は「利用する」に設定されています。なお、利用する登録データには次のものがあります。

  ・電池残量　　　　　　・受信レベル
  ・時刻情報　　　　　　・着信音量調整
  ・バイリンガル設定　　・機種情報

前のページに戻る／進む

ページの履歴をキャッシュに最大 20 件記録しています。

- キャッシュとは、表示したページのデータを一時的に記録する端末内の場所のことです。[□→] で通信を行わずにキャッシュに記録されたページを表示できます。ただし、キャッシュサイズをオーバーしていたり、サイトによって必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示するときは、通信を行います。
- FirstPass センター接続中（☞P191）は本機能を利用できません。

おしらせ

- サイトの表示履歴が満杯になるとキャッシュ内の履歴が消去される場合があり、[←□] を押しても前のページに戻れないことがあります。
- 入力した文字や設定などの情報は記録されません。
- ｉモードを終了すると、キャッシュ内の履歴はすべて消去されます。
- Flash 画像が表示されている場合は、ページの操作方法が異なることがあります。
- ページ A →ページ B →ページ C の順に表示（①、②）した後でページ A に戻り（③、④）、ページ D に進む（⑤）と、ページ A →ページ B →ページ C の表示履歴は消去されます。ページ D からページ A には戻れますが、さらにページ B には戻れません。

画面をスクロールする

- [↕] でスクロールします。押し続けると連続スクロールできます。
- [□]、[✉] を押すと画面単位でスクロールします。押し続けると画面単位で連続スクロールとなります。

情報を再読み込みする

接続の中断などでサイトが表示できなかった場合、再読み込みを行うと表示できることがあります。

1 サイト表示中に [MENU] [5]

表示中のサイトの URL を表示する

1 サイト表示中に [MENU] [9] [1]

おしらせ

- URL 履歴一覧、ブックマーク一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧では [📖] を押します。

マイメニューを使う

マイメニュー

サイトをマイメニューに登録すると、次回からそのサイトを簡単に表示できます。

- 最大 45 件登録できます。
- 登録には ｉモードパスワードが必要です。ｉモードご契約時には「0000」に設定されています。

- ｉMenuのメニューリスト内の有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。
- マイメニューに登録できるのはｉMenuのメニューリスト内のサイトだけです。ただし、登録できないサイトもあります。インターネットホームページを登録する場合はブックマークに登録してください。

マイメニューに登録する

1 サイト表示中に「マイメニュー登録」を選択

- 各サイトによりページ構成が異なりますので、項目に対応する番号のキーを押すか、該当する項目を選択します。

2 ｉモードパスワードの入力欄を選択▶ｉモードパスワードを入力

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。

3 「決定」を選択

マイメニューからサイトを表示する

1 ｉMenuで「1 マイメニュー」を選択▶サイトを選択

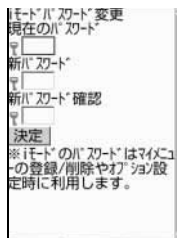
ｉモードパスワードを変更する

ｉモードパスワード変更

マイメニュー登録／削除、メッセージサービスやｉモード有料サイトの申し込み／解約、メール設定を行うときはｉモードパスワードが必要です。ｉモードパスワードはｉモードご契約時には「0000」に設定されていますので、お客様独自のｉモードパスワード（4桁の数字）に変更してください。なお、ｉモードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。

- 入力したパスワードは「*」で表示されます。
- ｉモードパスワードを万一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップ窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

1 ｉMenuで「8 オプション設定」を選択▶「2 ｉモードパスワード変更」を選択

2 現在のパスワード欄を選択▶ｉモードパスワードを入力

3 新パスワード欄を選択▶新しいｉモードパスワードを入力

4 新パスワード確認欄を選択▶操作3と同じｉモードパスワードを入力

5 「決定」を選択

- 入力内容に誤りや抜けがあるとエラー画面が表示されます。「再入力」を選択し操作し直します。

Menu 231

インターネットホームページを表示する

インターネット接続

- ｉモードに対応していないインターネットホームページは正しく表示されない場合があります。

1 [i] [3] [1]

- 2回目からは前回接続したURLが表示されます。

2 URLを入力(半角256文字まで)▶[ブラウザ]

- 「／」「．」「-」などの記号は、半角英字入力モード時に [1] を繰り返し押して入力します。また、「http://www.」「.co.jp」「.ne.jp」「.com」「.html」などは、半角英字入力モード時に [*] を繰り返し押して入力できます。

おしらせ

- サイト画面では [MENU] を押し、「Internet」→「URL入力」を選択します。
- 受信データが1ページの最大サイズを超えたときはメッセージが表示されます。[i] を押すとメッセージが消去され、受信できた分のデータが表示されます。
- インターネットホームページ表示中の操作方法は、ｉモードのサイトの場合と同じです。

Menu 232

URL 履歴を使って表示する　URL 履歴

接続したインターネットホームページのURLを新しい順に最大20件記録しています。この履歴からインターネットホームページに接続できます。

1 [i] [3] [2]

2 インターネットホームページの URL を選択

- URL が途中までしか表示されていないときは、URL を選び [□] を押します。

■ URL 履歴を削除する：
①URL履歴一覧でURLを選ぶ▶[MENU] [4] [1]
- すべて削除する：URL 履歴一覧で [MENU] [4] [2]▶端末暗証番号を入力

②「はい」を選択

おしらせ

● サイト画面では [MENU] を押し、「Internet」→「URL履歴」を選択します。

● URL 履歴が 20 件を超えた場合は、一番古い URL 履歴に上書きされます。

文字を正しく表示する　文字コード

サイトやインターネットホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示できる場合があります。文字コードとは、文字をコンピュータで利用可能にするために作られた取り決めや仕組みの総称のことです。

1 サイトやインターネットホームページ表示中に [MENU] [9] [5] [1]

- 押すたびに文字コードが、自動選択→ SJIS → EUC → JIS → UTF8 の順に切り替わります。操作を 5 回繰り返すと元の表示に戻ります。また、[MENU] [9] [5] [2] を押すと自動選択に戻ります。
- サイトやインターネットホームページを表示した時点では「自動選択」に設定されています。
- 操作を繰り返しても、文字を正しく表示できない場合があります。
- 文字が正しく表示されているときに文字コードを変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

ホームページやサイトを登録してすばやく表示する　ブックマーク

同じサイトの同じページを頻繁に見るときは、ブックマークに登録すると便利です。ブックマークを選択するだけで、登録したページをすばやく表示できます。

- 最大登録件数 ☛P38
- URLが半角256文字を超えるサイトはブックマークに登録できません。
- サイトによってはブックマークに登録できない場合があります。

ブックマークに登録する

- ブックマークを 20 個のフォルダに分類できます。

1 サイトを表示▶[MENU] [2] [1]▶登録先フォルダを選択

おしらせ

● 画面メモ一覧、画面メモ表示画面、URL 履歴一覧では [MENU] を押し、「Bookmark 登録」を選択します。サイト画面で [MENU] を押し、「Internet」→「URL 履歴」を選択して URL 履歴一覧を表示しても同様に操作できます。

● 最大登録件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。登録する場合は上書きするブックマークを選択します。

Menu 22

ブックマークからホームページやサイトを表示する

1 [i] [2]

2 フォルダを選択

□: ブックマークなし　□: ブックマークあり

3 ブックマークを選択

■ URL を確認する：ブックマークを選ぶ▶[□]

おしらせ

● サイト画面では [MENU] を押し、「Bookmark」→「表示」を選択します。

ブックマークのフォルダ名を変更する

1 [i] [2]▶**フォルダを選ぶ**▶[MENU] [3]

2 フォルダ名を変更(全角８文字(半角 16 文字）まで)▶[□]

ブックマークのタイトルを変更する

1 〔i〕〔2〕▶フォルダを選択▶ブックマークを選ぶ▶〔i〕

2 タイトル名を変更（全角 12 文字（半角 24 文字）まで）▶〔□〕
- タイトルを入力しないで登録すると、ブックマーク一覧では URL が表示されます。
- タイトルまたはURLが全角で10文字、半角で21 文字を超える場合、ブックマーク一覧では全角で9文字、半角で 19文字と「…」が表示されます。

少ないキー操作でサイトに接続する ツータッチサイト登録

ブックマークをツータッチサイト登録すると、待受画面から手早くサイトやインターネットホームページを表示できます。

1 〔i〕〔2〕▶フォルダを選択

2 ブックマークを選ぶ▶〔MENU〕〔2〕

3 登録先を選択
- アイコンの番号（0～9）が、サイト表示に使用するキー（〔0〕～〔9〕）に対応します。
- ブックマーク一覧では、登録されたブックマークのマークが から～に変わります。

ツータッチサイトを解除する Menu 291

1 〔i〕〔9〕〔1〕▶ブックマークを選ぶ▶〔MENU〕〔1〕▶「はい」を選択
■ ブックマーク一覧から解除する：〔i〕〔2〕▶フォルダを選択▶ブックマークを選ぶ▶〔MENU〕〔2〕

ツータッチでサイトを表示する

1 ツータッチサイト登録した番号のダイヤルキー（〔0〕～〔9〕）▶〔i〕
■ ツータッチサイト一覧からサイトを表示する：〔i〕〔9〕〔1〕▶ブックマークを選択

ブックマークを削除する

- ブックマークのフォルダは削除できません。

1 〔i〕〔2〕▶フォルダを選択
■ 全件削除する：フォルダ一覧で〔MENU〕〔2〕▶端末暗証番号を入力▶操作 3 に進む
■ フォルダ内のブックマークを全件削除する：フォルダを選ぶ▶〔MENU〕〔1〕▶端末暗証番号を入力▶操作 3 に進む

2 ブックマークを選ぶ▶〔MENU〕〔3〕〔1〕
■ 複数削除する：〔MENU〕〔3〕〔2〕▶ブックマークを選択▶〔□〕
■ フォルダ内のブックマークを全件削除する：〔MENU〕〔3〕〔3〕▶端末暗証番号を入力

3 「はい」を選択

おしらせ
● ツータッチサイト登録されているブックマークを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

ブックマークを移動する

ブックマークを別のフォルダに移動できます。

1 〔i〕〔2〕▶フォルダを選択

2 ブックマークを選ぶ▶〔MENU〕〔6〕〔1〕
■ 複数移動する：〔MENU〕〔6〕〔2〕▶ブックマークを選択▶〔□〕

3 移動先のフォルダを選択

ブックマークを並べ替える ソート

ブックマーク一覧の並び順を一時的に並べ替えます。表示を終了すると、元に戻ります。
- 並べ替えはすべてのフォルダが対象です。
- アクセス日付順、タイトル名順、URL順、アクセス回数順が選択できます。

お買い上げ時 アクセス日付順

1 〔i〕〔2〕▶フォルダを選択▶〔MENU〕〔7〕▶〔1〕～〔4〕

おしらせ
● タイトル名順の場合、タイトルに全角／半角の文字や英字、漢字、URL 表示のものが混在していると、50音順にならない場合があります。

サイトの内容を保存する

画面メモ

画面メモを保存する

- 最大保存件数 ☛P38
- 保存できるファイルサイズは、画面内の画像などを含め1件あたり最大100Kバイトです。

1 **サイトを表示 ▶ MENU 4 1**

- サイトのタイトルが自動的に保存されます。タイトルがない場合は「無題」として保存されます。

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って画面メモを削除してください。保護されている画面メモは上書きされません。

Menu 24

画面メモを表示する

1 4

2 **画面メモを選択**

：通常の画面メモ
：保護されている画面メモ

- 画面メモ表示中の操作方法は、一部を除きサイト表示中と同じです。☛P178

おしらせ

● サイト画面では MENU を押し、「画面メモ」→「表示」を選択します。このとき、文字コードを変更していた場合、サイト画面に戻ると文字コードは「自動選択」に戻ります。
● 画面メモ表示画面で Flash 画像を再度動作させるときは、MENU を押し、「表示」→「リトライ」を選択します。

画面メモのタイトルを変更する

1 4 ▶ **画面メモを選ぶ** ▶

2 **タイトル名を変更（全角12文字（半角24文字）まで）** ▶

- タイトルを入力しないで登録すると、画面メモ一覧では「無題」と表示されます。
- タイトルが全角で10文字、半角で21文字を超える場合、画面メモ一覧では全角で9文字、半角で19文字と「…」が表示されます。

おしらせ

● 画面メモ表示画面では MENU を押し、「タイトル変更」を選択します。

画面メモを保護する

- 最大保護件数 ☛P38

1 4

2 **画面メモを選ぶ ▶ MENU 1 1**

画面メモが保護され、マークが から に変わります。

- 解除する：画面メモを選ぶ ▶ MENU 1 3

■ **複数保護する：MENU 1 2 ▶ 画面メモを選択 ▶**

■ **複数解除する：MENU 1 4 ▶ 画面メモを選択 ▶**

■ **全件解除する：MENU 1 5**

おしらせ

● 画面メモ表示画面では MENU を押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

画面メモを削除する

- 保護されている画面メモは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 4

2 **画面メモを選ぶ ▶ MENU 2 1**

■ **複数削除する：MENU 2 2 ▶ 画面メモを選択 ▶**

■ **全件削除する：MENU 2 3 ▶ 端末暗証番号を入力**

3 **「はい」を選択**

おしらせ

● 画面メモ表示画面では MENU を押し、「削除」を選択します。

サイトやメッセージから画像を取得する

画像保存

サイトやメッセージR/F、iアプリなどから、画像やフレームなどを取得し保存します。保存した画像は「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定できます。

つづく

・最大保存件数 ☛P38
・保存できる画像のファイルサイズは1件あたり最大 100K バイトです。
・GIF 形式、JPEG 形式、Flash 形式の画像を保存できます。

例 サイトからダウンロードするとき

1 サイトを表示 ▶ MENU 6 1

■ サイトの背景画像を保存する：サイトを表示 ▶ MENU 6 2 ▶ 操作3に進む

2 画像を選択

3 各項目を選択して設定

・サイトからダウンロードした画像ファイルは、ファイル制限を変更できません。
・メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている画像（ファイル制限欄に「あり」と表示）は表示名以外は変更できません。
・MENU を押すと、画像を設定できる一覧が表示され、待受画面などに設定できます。☛P287
・表示名は全角・半角を問わず 36 文字まで入力できます。
・ファイル名は半角英数字と「 . 」、「 - 」、「 _ 」で 36 文字まで入力できます。ただし、「 . 」はファイル名の先頭に使用できません。
・コメントは全角・半角を問わず 100 文字まで入力できます。
・フレーム候補、スタンプ候補を設定するときは、設定する項目を選択して 1 ～ 2 を押します。

4 ▶ 保存先を選択

おしらせ

● 画像ファイルによっては選択できない項目があります。
● 画像によっては正しく表示できない場合があります。
● 横縦（または縦横）のサイズが、GIF 形式は 640 × 480、JPEG 形式は 1728 × 2304 を超える画像は保存できません。また、JPEG の種類によっては保存できない場合があります。
● 横縦（または縦横）のサイズが 240 × 400 または 352 × 288 を超える画像はフレーム候補にできません。また、240 × 400 以上の画像はスタンプ候補にできません。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って画像を削除してください。削除する前に画像一覧で を押すと画像の表示、MENU を押すと詳細情報の表示ができます。
● 画像入りのサイトを表示する際、画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。

サイトからメロディをダウンロードする　iメロディ

サイトからメロディをダウンロードし、再生・保存します（iメロディ対応）。保存したメロディは「メロディ」から再生したり、着信音に設定できます。

・最大保存件数 ☛P38
・保存できるメロディのサイズは 1 件あたり最大 100Kバイトです。
・SMF 形式、MFi 形式のメロディを保存できます。

1 サイトを表示 ▶ メロディを選択

・ダウンロード中に を押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」を選択

・再生する：「再生」を選択
・保存を中止する：「戻る」を選択▶「いいえ」を選択

3 表示名を入力(全角 25 文字(半角 50 文字）まで) ▶

メロディは、メロディの「iモード」フォルダに保存されます。☛P301

おしらせ

● メロディによっては正しく再生できない場合があります。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、メロディを削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってメロディを削除してください。削除する前にメロディ一覧で を押すとメロディの再生、MENU を押すと詳細情報の表示ができます。
● モバ HO! 聴取中にメロディを再生しようとすると、モバ HO! 機能を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとモバ HO! 機能が停止され、メロディが再生されます。
● ミュージックプレイヤー／ FM ラジオ起動中にメロディを再生すると、再生が一時停止または受信が停止されます。

サイトからキャラ電をダウンロードする

サイトからキャラ電をダウンロードし、保存します。
- 最大保存件数 ☛P38
- 保存できるキャラ電のサイズは 1 件あたり最大100Kバイトです。

1 サイトを表示 ▶ キャラ電を選択
- ダウンロード中に [本] を押すと、ダウンロードを中止します。

2「保存」を選択
- 表示する：「表示」を選択
- 保存を中止する：「戻る」を選択 ▶「いいえ」を選択

3 各項目を選択して設定
- 表示名は全角・半角を問わず36文字まで入力できます。
- コメントは全角・半角を問わず100文字まで入力できます。

4 [本] を押す

キャラ電は、キャラ電の「ｉ モード」フォルダに保存されます。☛P298

おしらせ
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、キャラ電を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従ってキャラ電を削除してください。削除する前にキャラ電削除画面で [本] を押すとキャラ電の表示、[MENU] を押すと詳細情報の表示ができます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電を削除した場合は、ｉ モードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P372

ｉ モードの便利な機能

Phone To（AV Phone To）・Mail To・Web To 機能を使う

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/Fなど）の電話番号やメールアドレス、URLから、音声電話やテレビ電話の発信(Phone To／AV Phone To)、メールの作成（Mail To)、サイトへの接続（Web To)が行えます。
- サイトによっては、利用できない機能があります。

1 サイトを表示 ▶ 電話番号、メールアドレス、または URL を選択
- 選ぶと反転表示される電話番号、メールアドレス、URL のみ選択できます。

■ Phone To（AV Phone To）のとき：
発信条件の設定画面が表示されます。
① **発信条件を設定** ☛P56
② **[MENU] ▶「はい」を選択**

■ Mail To のとき：
選択したメールアドレスが宛先に設定されているメール作成画面が表示されます。
① **ｉ モードメールを作成して送信**
- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、Mail To 機能を利用できないことがあります。

■ Web To のとき：
選択した URL サイトに接続されます。

URL をコピーする

表示中のサイトや画面メモの URL をコピーします。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けられます。
- コピーした文字は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと、以前にコピーした文字は上書きされます。

例 サイトの URL をコピーするとき

1 サイトの URL を表示 ▶ [MENU] [1]
- URL を表示する ☛P179

2 コピーする範囲の開始位置を選択 ▶ 終了位置を選択
- 全文を選択する場合は [MENU] [保存] を押します。
- 開始位置を指定し直すときは [CLR] を押します。
- 開始位置指定後に [MENU]、[本] を押すとカーソルが文頭、文末に移動します。

3 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

おしらせ

- URL履歴一覧、ツータッチサイト一覧、画面メモ一覧ではMENUを押し、「URLコピー」を選択します。ブックマーク一覧ではMENUを押し、「URL入力／URLコピー」→「URLコピー」を選択します。これらの画面から操作する場合はURL全体がコピーされます。
- メールにURLを貼り付けるには、サイト画面でMENUを押し、「メール作成」を選択します。表示中のサイトのURLが本文に貼り付けられてメール作成画面が表示されます。

電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する　電話帳登録

表示中の画面（サイト、画面メモ、メッセージR/F）の電話番号やメールアドレスを電話帳に登録します。
新規登録も、登録済みの電話帳データへの追加もできます。

- サイトによっては、画面に表示されている項目以外の情報も登録できる場合があります。
- 登録済みの電話帳データへ追加する場合、以前に登録した内容が変更されてしまう場合があります。電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

例　サイト画面に表示されている電話番号やメールアドレスを登録するとき

1 電話番号やメールアドレスがあるサイトを表示

- 反転表示される電話番号、メールアドレスのみ登録できます。

2 電話番号やメールアドレスを選ぶ ▶ 新規登録するときは MENU 8 1、登録済みの電話帳データに追加するときは MENU 8 2

3 FOMA端末電話帳に登録するときは 1、FOMAカード電話帳に登録するときは 2

4 電話帳データを登録

■ 新規登録する：名前などを設定して登録

■ 登録済みの電話帳データに追加する：電話帳データを選択 ▶ 内容を確認して登録

おしらせ

- 画面メモ表示画面ではMENUを押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を、メッセージR/F詳細画面ではMENUを押し、「登録」→「電話帳新規」または「電話帳更新」を選択します。

URLを電話帳に登録する

ブックマーク一覧や画面メモ一覧からURLを電話帳に登録します。新規登録も、登録済みの電話帳データへの追加もできます。

- 登録済みの電話帳データへ追加する場合、以前に登録した内容が変更されてしまう場合があります。電話帳編集画面で登録内容を確認してください。

例　ブックマーク一覧から登録するとき

1 i 2 ▶ フォルダを選択

2 ブックマークを選ぶ ▶ 新規登録するときは MENU 8 1、登録済みの電話帳データに追加するときは MENU 8 2

3 電話帳データを登録

■ 新規登録する：名前などを設定して登録

- ⊡でその他画面を表示するとURLが確認できます。

■ 登録済みの電話帳データに追加する：

① 電話帳データを選択
② 内容を確認して登録

- ⊡でその他画面を表示するとURLが確認できます。

おしらせ

- 画面メモ一覧ではMENUを押し、「電話帳」→「新規登録」または「更新登録」を選択します。
- サイト画面からURLを表示した場合は登録できません。

iモードの設定を行う　iモード設定

Menu 294

接続待ち時間を設定する　接続待ち時間設定

iモードセンターに接続するまでの最大待ち時間を設定します。接続が正常に行われないときなどに、設定した時間で自動的に接続を中断するので、キー操作で中断する必要はありません。

お買い上げ時　60秒間

1 i 9 4 ▶ 1 〜 3

おしらせ

- 「無制限（設定なし）」に設定していても、電波状況などによりiモードセンターとの接続が中断されることがあります。

Menu 295

ｉモードから接続先を変更する　ISP 接続通信

※ドコモのｉモードサービスをご利用の場合は、設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　ｉモード（FOMA カード）

■ ISP 接続通信とは

ドコモのｉモード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）へ接続できます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ISP接続した際のパケット通信はパケ・ホーダイの対象とはなりませんのであらかじめご了承ください。
- ドコモへの新たなお申し込みは不要です。

■ プロバイダ契約について

- ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号が実際に閲覧されるサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- 登録できる接続先は最大 10 件です。
- 通信中は接続先を設定／変更できません。

1 [i] [9] [5]

2 **ユーザ設定 1 ～ 10 のいずれかを選ぶ ▶ [MENU] ▶ 端末暗証番号を入力**

■ ｉモードを利用する設定に戻す：「ｉモード（FOMA カード）」を選択 ▶ 操作 5 に進む

■ 以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択 ▶ 操作 5 に進む

3 **各項目を選択して設定 ▶ [■]**

- 接続先名称は全角 8 文字（半角 16 文字）まで入力できます。
- 接続先は半角英数字で 99 文字まで入力できます。
- 接続先アドレスと接続先アドレス2は半角英数字で 30 文字まで入力できます。接続先アドレス 2 はｉチャネルの接続先です。☞P257
- [MENU] を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

4 **編集した接続先を選択**

5 **[■] を押す**

Menu 292

画像表示、照明、効果音を設定する　表示・効果設定

サイトや画面メモ、メッセージ R/F などの内容を表示したときの画像や照明、効果音（Flash 再生時）を設定します。

お買い上げ時　画像、アニメーション：表示する
端末情報データ利用設定：利用する
照明設定：端末設定に従う
効果音設定：ON

1 [i] [9] [2]

2 **各項目を選択して設定**

画像：

画像を表示するかどうかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、画像や Flash 画像は表示されず、□ が表示されます。また、アニメーション、端末情報データ利用設定は設定できません。

アニメーション：

アニメーションを表示するかどうかを設定します。

- 「表示しない」に設定すると、アニメーションの最初のコマが表示されます。

端末情報データ利用設定：

Flash 画像を表示するときに、FOMA 端末内の登録データを利用するかどうかを設定します。

照明設定：

ディスプレイの照明方法を設定します。

- 「端末設定に従う」に設定すると、ディスプレイの照明設定（☞P128）に従います。
- 「常灯」に設定すると、サイトなどの表示中はディスプレイの照明が常時点灯します。

効果音設定：

Flash 効果音を再生するかどうかを設定します。

3 **[■] を押す**

おしらせ

- サイト画面では [MENU] を押し、「表示」→「表示・効果設定」を選択します。
- 画像を「表示しない」に設定すると、ｉモードメールに Web To 機能を使用して添付されてきた画像の保存や表示もできなくなります。
- アニメーションを「表示しない」に設定しても Flash 画像は再生されます。
- メッセージ R/F の場合、本文に組み込まれている画像の表示／非表示が設定できます。この設定は、添付ファイルとして添付されている画像の表示／非表示には影響しません。また、効果音設定の ON ／ OFF もメッセージ R/F には影響しません。

つづく

● 端末情報データ利用設定を「利用する」に設定すると、電池残量、受信レベル、時刻情報、着信音量調整、バイリンガル設定、機種情報がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

メッセージR/Fを受信したときは

メッセージR/F受信

メッセージR/Fを受信すると画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したメッセージR/FはFOMA端末に保存されます。

- 最大保存件数 ☛P38

1 メッセージR/Fを受信

点滅

受信完了

点滅

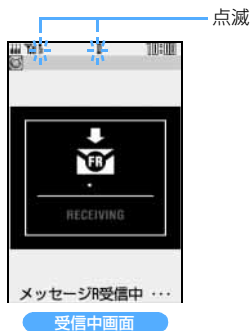
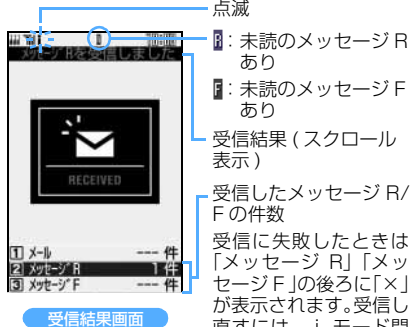
受信結果画面

R：未読のメッセージRあり

F：未読のメッセージFあり

受信結果(スクロール表示)

受信したメッセージR/Fの件数

受信に失敗したときは「メッセージR」「メッセージF」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、iモード問合せを行ってください。

とRまたはFが点滅し、「メッセージR受信中…」または「メッセージF受信中…」と表示されます。受信が完了すると、メッセージR/F着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

- 受信中画面で [キー] を押すと受信を中止します。
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。ただし、メッセージ自動表示に設定したメッセージR/Fを受信した場合は、受信前の画面に戻る前に、未読のメッセージR/Fの内容が表示されます。
- 早く受信前の画面に戻す：CLR

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の古いメッセージR/Fから順に上書きされます。残しておきたいメッセージR/Fは保護してください。☛P190
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯で上書きできないときは、メッセージR/Fの受信は中止され、画面にはR（赤）やF（赤）が表示されます（☛P30）。受信する場合は、未読メッセージR/Fの内容表示（☛P189）、不要メッセージR/Fの削除（☛P190）、保護解除（☛P190）などを行う必要があります。

● 受信表示設定の設定によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されません。☛P232

● 次のような場合に送られてきたメッセージR/Fはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - セルフモード中
  - 圏外のとき
  - 赤外線通信中
  - FirstPassセンター接続中
  - 未読メッセージR/Fと保護されているメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき
  - テレビ電話中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS受信中

● FOMA端末でメッセージR/Fを受信すると、ｉモードセンターに保管されているメッセージR/Fは削除されます。

● ｉモードセンターにメッセージR/Fが残っているときは [マーク] [マーク] や [マーク]（☛P30）が表示されます。ただし、メッセージR/Fがあっても表示されない場合もあります。また、ｉモードセンターの保管件数（☛P175）が満杯になったときは、マークが [マーク] [マーク] や [マーク]（☛P30）に変わります。

新着メッセージR/Fを表示する

1 受信結果画面で [2] ～ [3]

• 受信したメッセージRは「メッセージR」、メッセージFは「メッセージF」に保存されます。

2 メッセージR/Fを選択

• メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。また、自動再生されないようにも設定できます。☛P231
• メッセージR/Fの見かた☛P190

Menu 2731

メッセージR/Fを自動的に表示する

メッセージ自動表示

メッセージR/Fを受信したときに、その内容を自動的に表示（約15秒間）できます。
メッセージRとメッセージFを両方受信したときに、優先して表示するメッセージも設定できます。

お買い上げ時 メッセージR優先

1 [メニュー][7][3][1]▶[1]～[5]

おしらせ

● 待受画面表示中の場合だけ自動表示できます。受信結果画面からメールやメッセージR/Fの表示操作を行った場合、ｉモード問合せでメッセージR/Fを受信した場合は自動表示されません。
● 本機能を設定すると、メッセージR/Fの受信結果画面から受信前の画面に戻るときに、受信したメッセージR/Fの内容が自動表示されます。自動表示中にキー操作を行わなかった場合は、メッセージR/Fは未読の状態で保存されます。

Menu 2734

メッセージR/F着信時の動作を設定する

メッセージ着信設定

お買い上げ時 着信音選択：メロディ／メール・メロディA
着信イルミネーション設定：点滅／アクア
バイブレータ設定：OFF　鳴動時間：10秒

例 メッセージR着信時の動作を設定するとき

1 [メニュー][7][3][4][1]

■ メッセージF着信時の動作を設定する：[メニュー][7][3][4][2]

2 各項目を選択して設定

着信音選択：
「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
• 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには☛P114

着信イルミネーション設定：
着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。
• 点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると点灯色は設定できません。

バイブレータ設定：
着信時の振動を設定します。

鳴動時間（秒）：
着信音が鳴動している時間を設定します（1～30秒）。

3 [i] を押す

おしらせ

● メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
● 本機能でメッセージR/Fの着信音を変更した場合は、音の設定のメッセージR/Fの着信音にも反映されます。着信イルミネーション設定を変更した場合は、イルミネーション設定のメッセージR/Fにも反映されます。

Menu 271 / Menu 272

保存されているメッセージR/Fを表示する

メッセージR／メッセージF

• 未読のメッセージR/Fがあるときは待受画面に[R]または[F]が表示されます。

例 メッセージRを表示するとき

1 [メニュー][7][1]

■ メッセージFを表示する：[メニュー][7][2]

2 メッセージRを選択

おしらせ

● 本文中に画像が組み込まれている場合は画像が表示されます。
• 画像をFOMA端末に取得できます。操作方法はサイトからの画像の保存と同じです。

・画像を受信できなかったときはマークが表示されます。マークはサイトで画像を表示できなかった場合と同じです（☛P177）。受信し直すときは、再読み込みしてください。
・本文中の画像は削除できません。

メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた

メッセージRとメッセージFの画面の見かたは同様です。

■ メッセージR/F一覧画面

メッセージR　1/ 1
①10:00 天気予報
②09:51 最新ニュース
09:01 ニュース速報
08:01 東京為替

ページ番号／総ページ数

受信日時とタイトル
・受信日時には、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。

① ：未読　：既読　：保護
② ：画像あり　：メロディあり
　：画像とメロディあり

■ メッセージR/F詳細画面

状態マーク、添付ファイルマーク（添付ファイルがあるときのみ）、メッセージR/F番号

：受信日時　：タイトル
・で前後のメッセージR/Fを表示できます。

● 添付ファイルがある場合、メッセージR/F詳細画面にマークと添付ファイル名、ファイルサイズなどが表示されます。添付ファイルの操作方法はｉモードメールと同じです。
・画像のマークの意味☛P216
・メロディのマークの意味☛P218

メッセージR/F内の画像を再読み込みする　再読み込み

メッセージR/Fの本文中に未受信の画像があるときは、画像を受信し直します。
・表示・効果設定で、画像を「表示しない」に設定しているときは、再読み込みを行っても画像は受信できません。
・画像によっては再読み込みを行っても表示できない場合があります。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選択
・は未受信の画像データがあることを示します。

3 MENU 1
画像が読み込まれます。

メッセージR/Fを保護する　メッセージ保護

・最大保護件数☛P38
・未読のメッセージR/Fは保護できません。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選ぶ▶MENU 2 1
メッセージR/Fが保護され、マークがからに変わります。
・解除する：メッセージR/Fを選ぶ▶MENU 2 3

■ 複数保護する：MENU 2 2▶メッセージR/Fを選択▶

■ 複数解除する：MENU 2 4▶メッセージR/Fを選択▶

■ 全件解除する：MENU 2 5

おしらせ
● メッセージR/F詳細画面ではMENUを押し、「保護」／「保護解除」を選択します。

メッセージR/Fを削除する　メッセージ削除

・保護されているメッセージR/Fは削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 メッセージR/F一覧を表示

2 メッセージR/Fを選ぶ▶MENU 1 1

■ 既読のメッセージR/Fのみを削除する：MENU 1 2

■ 複数削除する：MENU 1 3▶メッセージR/Fを選択▶

■ 全件削除する：MENU 1 4▶端末暗証番号を入力

3「はい」を選択

おしらせ
● メッセージR/F詳細画面ではMENUを押し、「削除」を選択します。

表示するメッセージR/Fの種別を選ぶ
表示種別

- すべて表示、未読のみ表示、既読のみ表示、保護のみ表示が選択できます。
- メッセージR/F一覧の表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。

1 メッセージR/F一覧を表示▶MENU 3▶1～4

- 「既読のみ表示」では、保護されているメッセージR/Fは表示されません。

証明書を操作する

SSL通信時に必要な証明書の操作を行います。

Menu 2961

証明書を表示して有効／無効を設定する
証明書表示／使用設定

お買い上げ時 すべて有効

証明書を表示する

- ユーザ証明書はダウンロードすると表示されます。
- 青色のFOMAカードを差し込んでいる場合は、「ドコモ証明書」「ユーザ証明書」は表示されません。

1 ▯ 9 6 1▶証明書を選択

CA証明書：
認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。

ドコモ証明書：
FirstPassセンターやFirstPass対応サイトに接続するために必要な証明書で、あらかじめFOMAカード内に保存されています。

ユーザ証明書：
FirstPass対応サイトへ接続するために必要な証明書です。FirstPassセンターで発行申請を行い、ダウンロードするとFOMAカード内に保存されます。

おしらせ

● 証明書の表示内容

所有者

CN=：(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
O=　：(Organization) 会社名など
C=　：(Country) 国名

発行者

CN=：(Common Name) サーバの名前、管理者名、または識別番号
OU=：(Organization Unit) 会社の部署など
O=　：(Organization) 会社名など

有効期限

シリアル番号

● 証明書の所有者、発行者、有効期限について記述がない場合、項目名のみ表示されます。

証明書の有効／無効を設定する

1 ▯ 9 6 1

2 証明書を選ぶ▶MENU

- 押すたびに有効／無効が切り替わります。

3 ▯ を押す

チェックされている証明書が有効となって設定されます。

おしらせ

● ドコモ証明書2は無効に設定できません。
● ドコモ証明書、ユーザ証明書の設定は、FOMAカードに保存されます。

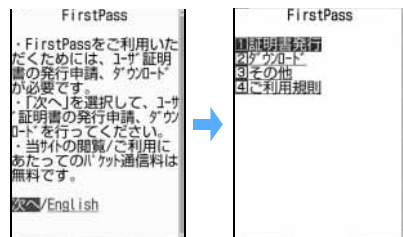
Menu 2962

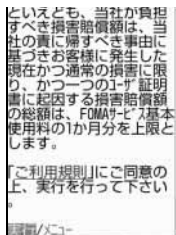
FirstPassを設定する
ユーザ証明書操作

FirstPassセンターに接続して、ユーザ証明書の発行申請をし、ダウンロードします。

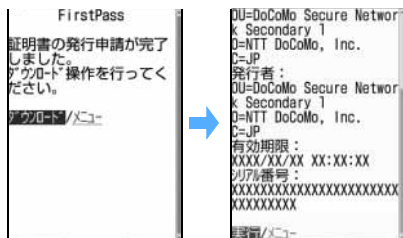
- FirstPassセンターで表示される画面や操作方法は、変更されることがあります。
- FirstPassセンターに接続中は、メールの送受信やメッセージR/Fの受信はできません。

1 ▯ 9 6 2

2 「次へ」を選択▶「1 証明書発行」を選択

■ 発行された証明書を失効させる：
① 「次へ」を選択▶「3 その他」を選択
② 「1 証明書失効」を選択▶「はい」を選択
③ PIN2コードを入力▶「実行」を選択
④ 「次へ」を選択
⑤ 「実行」を選択

3 「実行」を選択

4 PIN2 コードを入力

• 60 秒以内に PIN2 コードを入力しないと発行申請はキャンセルされます。

5 「ダウンロード」を選択 ▶「実行」を選択

• ダウンロードされたユーザ証明書は、証明書の一覧に追加されます。☛P191

おしらせ

● FirstPass センターに接続した際のパケット通信料は無料です。
● ユーザ証明書は、お客様が FOMA 契約されていることを証明するものです。ダウンロードしたユーザ証明書は FOMA カードに保存され、FirstPass に対応しているサイトで利用できます。
● 添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末をパソコンに接続して、FirstPass を使った通信ができます。詳しくは CD-ROM 内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF 形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0 以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードしてください（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

FirstPass のご使用にあたって

● FirstPass とはドコモの電子認証サービスです。FirstPass を利用することにより、サイト側と FOMA 端末側がお互いの証明書を送付し合い、受け取った相手の証明書を検証してお互いの認証を行うクライアント認証が可能となります。
● FirstPassはFOMA端末からのインターネット通信と、FOMA 端末をパソコンに接続した状態でのインターネット通信でお使いいただくことが可能です。パソコンでご利用いただくためには、添付の CD-ROM 内の FirstPass PC ソフトが必要です。
● ユーザ証明書の発行申請をする際は、画面に表示される「FirstPass ご利用規則」をよくお読みになり、ご同意の上、申請してください。
● ユーザ証明書のご利用には PIN2 コードの入力が必要です。
● PIN2コード入力後になされたすべての行為がお客様によるものとみなされますので、FOMA カードまたはPIN2コードが他人に使用されないよう十分ご注意ください。
● FOMA カードの紛失、盗難にあった場合などは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」でユーザ証明書の失効を行うことができます。
● FirstPass 対応サイトによって提供されるサイトや情報については、ドコモは、何らの義務もないものとし、一切の責任を負いません。お客様と FirstPass 対応サイトとの間で解決をお願いいたします。
● FirstPass および SSL のご利用にあたり、ドコモおよび認証会社は安全性などに関し保証を行うものではありませんので、お客様ご自身の判断と責任においてご利用ください。

Menu 2963

証明書発行接続先を変更する

証明書発行接続先設定

FirstPass 以外のサービスを受けるときに、接続先を設定します。設定を変更するとFirstPassセンターに接続できなくなります。

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　ドコモ

1 ［メニュー］［9］［6］［3］

2 接続先欄を選択 ▶［2］

• FirstPass に接続する設定に戻す：接続先欄を選択 ▶［1］▶ 操作 5 に進む

3 ユーザ設定接続先欄を選択 ▶ 接続先を入力（半角英数字 99 文字まで）

4 ユーザ設定初期画面 URL 欄を選択 ▶ URLを入力(半角英数字100文字まで)

5 [□] を押す

ｉ モーションとは

サイトやインターネットホームページから映像や音を取得し、再生・保存します。保存した映像や音は ｉ モーションとして再生したり、着モーションに設定できます。メロディだけではなく歌手の歌声なども着信音として利用できます（一部の対応していない ｉ モーションは着モーションに設定できません）。
ｉ モーションには大きく分けて以下の 2 つのタイプがあります。ｉ モーションがどのタイプであるかは、サイトにより異なります。

■標準タイプ（保存可※1）

再生動作	説　明
データを取得しながら再生（最大 500K バイト）	ｉ モーションのデータを取得しながら再生します。取得完了後は、データを取得後に再生する ｉ モーションと同様に操作できます。
データを取得後に再生（最大 500K バイト）	ｉ モーションのデータをすべて取得後に再生します。

※ 1：保存できない ｉ モーションもあります。

■ストリーミングタイプ（保存不可）

再生動作	説　明
データを取得しながら再生（最大 2M バイト）	ｉ モーションのデータを取得しながら再生します。再生が終わった ｉ モーションのデータは消去され、FOMA 端末に保存できません。

- ストリーミングタイプの ｉ モーションを選択した場合は、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、取得しながら再生します。再生が終了すると取得が完了した旨のメッセージが表示されますが、保存はできません。
- ｉ モーション設定の ｉ モーションタイプ設定を「標準タイプ」に設定しているときにストリーミングタイプの ｉ モーションを取得しようとすると、設定を変更するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択して ｉ モーションタイプ設定を「標準・ストリーミングタイプ」に設定すると、ストリーミングタイプの ｉ モーションを取得できます。☛P195

■ データを取得しながら再生する ｉ モーション：
ｉ モーションを取得しながら再生します。再生終了後は、データを取得後に再生する ｉ モーションと同様に操作できます。

受信済みのデータ量／全体のデータ量

- 再生中は次の操作ができます。
  - [□]：一時停止／再生（標準タイプのみ）
  - [□]：音量調整
  - [□]：中断（ストリーミングタイプ）停止（標準タイプ。[□] を押すと先頭から再生）
  - [MENU]：詳細情報の表示
- 再生を一時停止または停止しても、データの受信は継続します。
- 中断すると確認画面が表示されます。中断する場合は「はい」を選択します。
- ｉ モーション設定の自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、自動再生されません。

サイトから ｉ モーションを取得する

1 サイトを表示 ▶ ｉ モーションを選択

ｉ モーションの取得が始まり、完了するとその旨のメッセージが表示されます。

■ **データを取得後に再生するｉモーション：**
取得が完了すると、自動的に再生されます。

- 再生中は次の操作ができます。
  [↓]：一時停止／再生　[↕]：音量調整
  [→]：早送り再生　[←]：巻戻し再生
  [■]：停止（取得が完了した旨のメッセージ表示）
  [MENU]：詳細情報の表示
- ｉモーション設定の自動再生設定が「自動再生しない」に設定されているときは、自動再生されません。

2 「保存」を選択
- ストリーミングタイプのｉモーションは保存できません。
- もう一度再生する：「再生」を選択
- 詳細情報を表示する：「情報表示」を選択
- 保存を中止する：「戻る」を選択▶標準タイプの場合は確認画面が表示されるので、「いいえ」を選択

3 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[■]
取得したｉモーションは、ｉモーションの「ｉモード」フォルダに保存されます。

■ **取得したｉモーションのテロップにリンクが設定されている：**
テロップ中に電話番号やメールアドレス、サイトなどへのリンクが設定されているときは、再生を終了するか中断するとPhone To、AV Phone To、Mail To、Web Toを利用できます。Phone To、AV Phone Toの場合は、発信条件の設定画面が表示されます。Mail To、Web Toの場合は、確認画面が表示されます。
- Phone To（AV Phone To）の場合は、[■]を押すと電話番号を電話帳に登録できます。Mail Toの場合は、「電話帳登録」を選択するとメールアドレスを電話帳に登録できます。
- ｉモーションが保存されていない場合は、保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- 複数のリンク項目があるときは、1つのリンク項目が有効になります。有効になるリンク項目は、ｉモーションによって異なります。

■ **待受画面に設定する：[MENU][1]▶「はい」を選択**
- 拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されている場合は、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **電話帳に新規登録する：[MENU][2]▶名前などを設定して登録**

■ **登録済みの電話帳データに追加する：[MENU][3]▶電話帳データを選択▶内容を確認して登録**
- 既に動画／ｉモーションが設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ **着モーションに設定する：[MENU][4]▶[1]～[6]**

■ **メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：**
① **[MENU][4]▶[7]～[8]▶電話帳データを選択**
② **内容を確認して[■]**
- 既に着信音が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
- メモリ番号入力について☞P106「登録内容を修正する」操作3

■ **着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定する：[MENU][5]▶[1]～[2]**
- 既に着信画像が設定されているときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

おしらせ
- 待受画面や電話帳などに設定するときの注意事項については☞P294
- 取得、再生できるｉモーションはMP4（Mobile MP4）形式のみです。ASF形式のｉモーションの取得、再生はできません。
- ｉモーションには、再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ｉモーションを取得しながら再生しているときにデータの受信待ちになり、再生が一時停止することがあります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。

●ｉモーションを取得しながら再生しているときに、電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。その場合でも、データが正常に受信されていれば受信完了後に再生できます。ただし、ｉモーションによってはデータを受信できても、正しく再生できない場合があります。
●データを取得しながら再生するｉモーションでも、サイトの状況などによって取得中は再生できない場合があります。
●ｉモーションのデータが不正だった場合、ｉモーションの受信が中止されることがあります。
●保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ｉモーションを削除してください。削除する前に、動画／ｉモーション一覧で[📖]を押すと動画／ｉモーションを再生し、[MENU]を押すと動画／ｉモーションの詳細を表示できます。
●モバHO!聴取中にｉモーションを再生しようとすると、モバHO!機能を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとモバHO!機能が停止され、ｉモーションが再生されます。
●ミュージックプレイヤー／FMラジオ起動中にｉモーションを再生すると、再生が一時停止または受信が停止されます。音声のないｉモーションの場合は、ミュージックプレイヤーの再生／FMラジオの受信が継続されたまま再生されます。

Menu 293

ｉモーションの自動再生と取得するタイプを設定する　ｉモーション設定

ｉモーションを自動的に再生するかどうかや取得するｉモーションのタイプを設定します。

お買い上げ時　自動再生設定：自動再生する
ｉモーションタイプ設定：標準タイプ

1 [ｉ][9][3]

2 各項目を選択して設定

自動再生設定：

標準タイプのｉモーションを取得中、または取得完了後に自動的に再生するかどうかを設定します。

- 「自動再生しない」に設定しても、ｉモーション取得完了後「再生」を選択すると再生できます。
- ストリーミングタイプのｉモーションは自動再生設定の設定に関わらず自動的に再生されます。

ｉモーションタイプ設定：

取得するｉモーションのタイプを設定します。

- ストリーミングタイプのｉモーションを再生するときは「標準・ストリーミングタイプ」を選択します。

3 [📖]を押す

おしらせ

●サイト画面から操作する場合は[MENU]を押し、「表示」→「ｉモーション設定」を選択します。

メール

ｉモードメール／デコメールを作成する

ｉモードメールを受ける・操作する

メールBOXを操作する

メールの設定を行う

チャットメールを使う

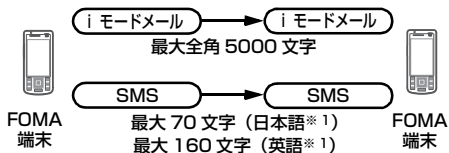
SMS（ショートメッセージ）を使う

FOMA端末のメール機能について

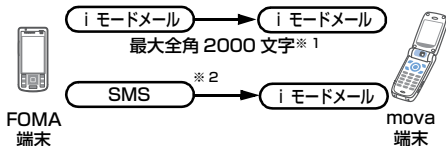
FOMA端末では、ｉモードメール、SMSの2種類のメール機能を利用できます。

- ｉモードメールをご利用いただくには、ｉモードのご契約が必要です。
- SMSは、ｉモードをご契約されていなくてもご利用いただけます。

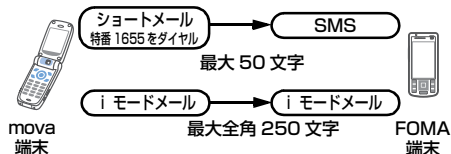
メール機能の送受信について

FOMA端末→FOMA端末

※1：SMS設定の送信文字種で設定します。

FOMA端末→mova端末

FOMA端末から送信したSMSは、mova端末ではｉモードメールとして受信します。

※1：mova端末の設定により異なります。
※2：SMS設定の送達通知を「要求する」に設定している場合は、mova端末に送信できません。

mova端末→FOMA端末

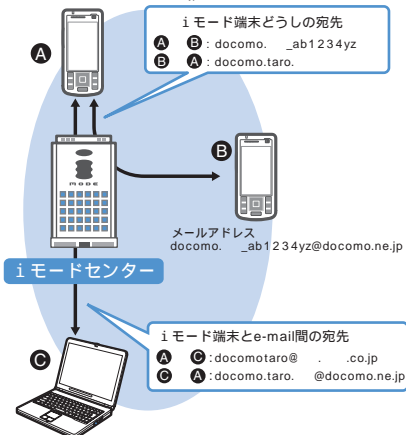
mova端末から送られたショートメールはSMSとして受信します。

- ショートメールとは、ドコモの携帯電話間で文字メッセージをやりとりできるサービスです。

ｉモードメールについて

ｉモードを契約するだけで、ｉモード端末（mova端末含む）間はもちろん、インターネットを経由してe-mailとのメールのやりとりができます。
ｉモードご契約時のメールアドレスは次のようになります。

新規にｉモードをご契約の場合
@マークより前がランダムな英数字の組み合わせになっていますので、ｉモード契約後にお客様のメールアドレスをご確認ください。
(例)abc1234～789xyz@docomo.ne.jp

- **お客様のメールアドレスの確認方法**
  ｉMenu→8オプション設定→1メール設定→アドレス確認

- ｉモード端末（mova端末含む）間でメールをやりとりする場合は、@マークより前の部分のみのアドレスで送信可能です。
- パソコンなどのe-mailからメールを受信する場合は、@docomo.ne.jpも含めたアドレス全体を使用します。

・メールの送信方法は☛P202
・メールの受信方法は☛P212

■ **メール選択受信**

ｉモードセンターに保管されているメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前にｉモードセンターでメールを削除することができます。☛P213

メール設定を行う

下記の各種設定を行うことができます。

設定方法 ｉMenu→8オプション設定→1メール設定→【各設定】

• 詳細は ｉモードご契約時にお渡しいたします『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ **メールアドレス変更【アドレス変更】**
たとえば「docomo.△△_ab1234yz@docomo.ne.jp」のように、メールアドレスの「@」より前の部分を、お好みのアドレスに変更できます。

■ **シークレットコード登録【メールアドレス設定(その他設定）→シークレットコード登録】**
電話番号のアドレス利用時に、メールアドレスに加えて 4 桁のシークレットコードを登録できます。シークレットコードを指定していないメールは受信されなくなるため、不要なメールの受信を避けられます。

■ **メールアドレスリセット【メールアドレス設定(その他設定）→アドレスリセット】**
メールアドレスを「携帯電話番号@docomo.ne.jp」にできます。

■ **メールアドレス確認【アドレス確認】**
現在設定されているメールアドレスを確認できます。

■ **メール受信／拒否設定**
以下のいずれかの方法でメールの受信／拒否設定を行うと、メールの受信を制限できます。

① **ドメイン指定受信【メール受信設定（受信／拒否設定）→ドメイン指定受信】**
- au・ボーダフォン・TU-KA・ウィルコムのうち、指定する会社からのメールの受信ができます。
- また、上記の会社以外から送信されたメールのうち、指定するドメインからのメールを受信します。
- NTT ドコモのｉモード・ｉショット・一定額到達通知サービス・eビリング請求額お知らせメール・ビジュアルネットからのメールはすべて受信します。

② **アドレス指定受信／拒否【メール受信設定（受信／拒否設定）→アドレス指定受信、アドレス指定拒否】**
- 受信するすべてのメールのうち、指定するアドレスからのメールを受信／拒否します。

③ **ｉモードメールのみ受信／拒否【メール受信設定（受信／拒否設定）→ ｉモードメールのみ受信、ｉモードメールのみ拒否】**
- ｉモードどうしのメールのみ受信（インターネット経由のメールを拒否）／拒否します。

④ **ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限【メール受信設定（その他設定）→ ｉモードメール大量送信者からのメール受信制限】**
- 1日に1台のｉモード端末(mova端末含む)から送信される200通目以降のｉモードメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、大量送信者からのメールを拒否したい場合は設定する必要はありません。

⑤ **未承諾広告※メール拒否【メール受信設定（その他設定）→未承諾広告※メール拒否】**
- 受信者の同意なしに一方的に広告・宣伝を行うために送信される、メール件名欄の最前部に「未承諾広告※」と記載されているメールを受信拒否します。初期設定では「拒否する」に設定されていますので、未承諾広告※メールを拒否したい場合は設定する必要はありません（送信者はメール件名欄の最前部に未承諾広告※（全角6文字）と記載することが法律で義務づけられています)。

⑥ **SMS 拒否【メール受信設定（その他設定）→ SMS 拒否設定／確認】**
- 受信するSMSを制限することができ、「SMS一括拒否」「非通知SMS拒否」「国際SMS拒否」「非通知SMSと国際SMSの拒否」の4つの中から選択いただけます。また、設定の状況を確認することができます。

「ドメイン指定受信」、「アドレス指定受信」、「アドレス指定拒否」、「ｉモードメールのみ受信」、「ｉモードメールのみ拒否」は同時に設定することができません。

■ **メール設定状況確認【設定状況確認】**
現在設定されているメール受信／拒否などの設定状況を確認できます。

■ **メールサイズ制限【メールサイズ制限】**
あらかじめ指定したサイズによって、受信するｉモードメールを制限できます。

■ **メール機能停止【メール機能停止】**
メール機能を利用されない場合、ｉモードセンターでのメール機能停止ができます。

送受信できる文字数

ｉモードメールで送受信できる文字数は次のとおりです。

項　目	全角文字(漢字、ひらがな、絵文字など)	半角文字(英字、数字、カタカナなど)
題名	15 文字	30 文字
メールアドレス	−	50 文字
本文	5000 文字	10000 文字

おしらせ

- ｉモードメールの本文は全角5000文字(10000バイト)まで送受信できますが、添付ファイルのデータ量により送受信できる文字数が少なくなります。
- 本文が受信可能な文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- mova端末へｉモードメールを送信する場合、本文として送信できるのは最大全角2000文字までです。また、ｉショット・ｉモーションメールはURLの記載されたメールとして送信され、それ以外の添付ファイルは削除されます。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- ｉモード端末（mova端末含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。

メールを受信できないとき

ｉモードセンターに届いたメールは、すぐにお客様のｉモード端末に送信されます。ただし、お客様のｉモード端末の電源が入っていない場合や圏外などで受信できないときは、メールはｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターで保管しているときは、一定の時間をおいて最大3回再送されます。また、メール選択受信設定により、ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを選択して受信できます。

おしらせ

- ｉモードセンターでのメールの最大保管件数、保管期間は次のとおりです。

項　目	最大保管件数	最大保管期間
ｉモードメール	207～1000件(約2Mバイトまで)	720時間

- 保管期間が超過したメールは自動的に削除されます。
- 最大保管件数は、メールのデータサイズにより異なります。保管件数を超えた場合は、ｉモードセンターではメールを受信せず、送信者にエラーメッセージとともに返信します。このときｉモード端末には▦または▦が表示されます。
  なお、メール選択受信設定「ON」時は、保管件数を超えても▦または▦は表示されません。
- ｉモード端末でメールを受信するとｉモードセンターに保管されていたメールは削除されます。受信したメールはｉモード端末に保存されます。
- 極端に容量の大きいメールはｉモードセンターで受け付けないことがあります。
- ｉモードセンターに保管されているメールは、ｉモード問合せやメール選択受信により受信できます。また新しいメールが届いたときは、保管されている他のメール、メッセージR/Fも合わせて受信できます。

こんなこともできます

■ ファイル添付メール

•メロディ添付メール

サイトやインターネットホームページからダウンロードしたメロディファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているメロディファイルは送信できません）。

・送信する☛P208　・受信したとき☛P218

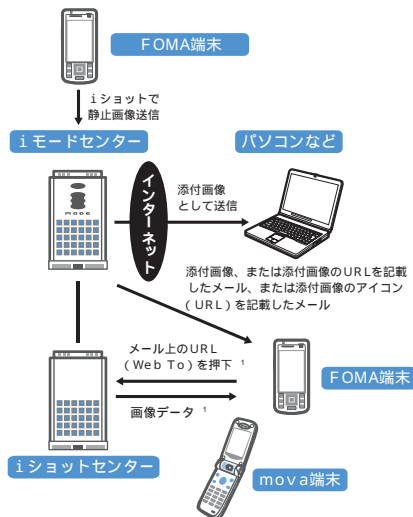
•画像添付メール

サイトやインターネットホームページから、または赤外線通信によって取得した静止画ファイルを、ｉモードメールに添付して送受信できます（メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画ファイルは送信できません)。

・送信する☛P208　・受信したとき☛P216

■ ｉショット

カメラ機能付き端末で撮影した静止画を添付ファイルとしてｉモード端末（mova端末含む）およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます。受信側には添付ファイル形式または、画像閲覧用URL（またはアイコン）および画像の保存期限が記載されたメールとして送信され、そのURLを押下することで画像を取得できます。
mova端末へ送信できるメール本文は最大全角184文字（369バイト）で、複数ファイルを添付した場合、添付ファイルは削除され、メール本文のみ通知されます。

・送信する☛P208　・受信したとき☛P216

※1：添付画像のURLを記載したメールを受信した場合

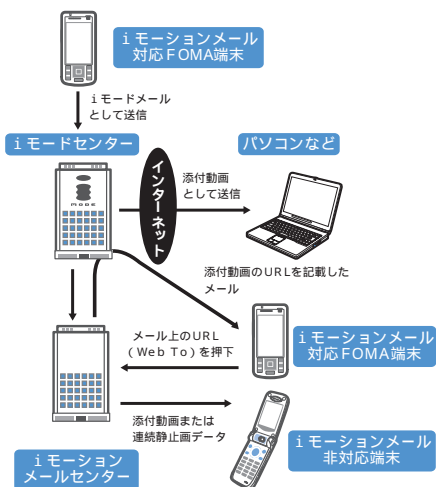
- ｉショットセンターでは最大 10 日間画像が保存され、保存期間経過後自動的に削除されます。
- ｉモード端末が､送信できるのは最大 500K バイトまでの静止画となります。また、20K バイトより大きい画像を添付してｉモード端末に送信した場合は、受信側では自動的にサイズの圧縮された画像を取得します。

■ ｉモーションメール

ｉモーションメール対応端末で撮影した動画やサイトから取得した動画をｉモーションメール対応端末およびパソコンや他社携帯電話の間で送受信できます（メール添付や FOMA 端末外への出力が禁止されている動画ファイルは送信できません）。

・ｉモーションメールを送信する ☛P208
・ｉモーションメールを受信したとき ☛P217

•サービスのしくみ

ｉモーションメールに添付された動画ファイルはｉモーションメールセンターに送信され、そこで保存されます（送信先がパソコンなどの場合は、直接添付ファイルとして送信されます）。
ｉモーションメール対応端末で受信した場合、メール本文中に表示されているURLを押下して動画を取得することができます。
ｉモーションメール非対応端末へ送信した場合は､ｉモーションが連続静止画に変換され､URL の記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されている URL を押下し､連続静止画を取得します。

- ｉモーションメールセンターでは最大 10 日間まで画像が保管され、保管期間経過後、自動的に削除されます。
- ｉモーションメール対応端末が、受信できるのは最大 500K バイトまでの動画となります。また、取得した動画はｉモーションメール対応端末の画面に合わせて画像サイズを自動的に変換します。

■ デコメール

ｉモードメール編集時に文字の大きさや背景の色などを変えたり、画像を本文中に貼り付けることによって、自分のオリジナルメールを作成して送信したり、装飾された楽しいメールを受信することが可能になります（パソコンから装飾したメールを受信する場合、ｉモード端末では非対応の装飾があるため、パソコン上と同じ動作にならない場合もあります）。
デコメールを非対応端末へ送信した場合は、URL が記載されたメールとして受信されます。受信者は表示されている URL を押下し、デコメールを閲覧できます。

・デコメール編集方法 ☛P204
・デコメール送信方法 ☛P204
・対応機種･･･デコメール対応機種でご利用いただけます。詳しくは『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

■ メール同報送信

同じｉモードメールを、一度に複数の宛先（最大 5 件）に送信できます。☛P203

- 通信料は、1 通のみ送信した場合と同じです（ただし、追加した宛先の情報量については通信料が増えます）。

■ CC、BCC 送受信

パソコンと同じように、ｉモードメール編集時に宛先を TO、CC、BCC から選択できます。
ただし、TO が 1 件もない場合は、メールを送信できません。☛P203

■ チャットメール

複数の相手と会話をするような感覚でメールの交換ができます。

- 通信料は、相手が複数の場合メール同報送信したときと同じです。

SMS（ショートメッセージ）について

FOMA 端末間で文字メッセージをやりとりできます。

• 送信方法 ☛P236　•受信方法 ☛P237
• 問合せ方法 ☛P238

SMS（ショートメッセージ）の宛先

SMSの宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間で送受信を行う場合については、ドコモのホームページをご覧ください。

送受信できる文字数

送信文字種の設定（☛P238）により最大文字数が異なります。

項　目	送信文字種「日本語」	送信文字種「英語」
宛先	20文字（数字のみ）※1	
本文	全角・半角を問わず70文字	半角160文字※2

※1：半角の「+」を含めた場合は21文字になります。
※2：半角の英数字と記号（`。「」、･゛゜を除く）を送信できます。
記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなります。

SMS（ショートメッセージ）を受信できないとき

お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSはSMSセンターに保管されます。

おしらせ

- SMSセンターでのSMSの最大保管期間は72時間です。送信者が保管期間を指定することもできます。☛P238
- 保管期間が超過したSMSは自動的に削除されます。
- SMSセンターに保管されているSMSは、SMS問合せにより受信できます。☛P238
- FOMA端末でSMSを受信すると、SMSセンターに保管されていたSMSは削除されます。受信したSMSはFOMA端末に保存されます。

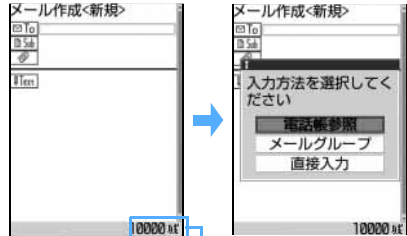
こんなこともできます

■ **送達通知**
送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる送達通知を受け取れます。☛P238

■ **FOMAカードへの保存**
受信したSMSや送信したSMSをFOMAカードに保存できます。☛P239

iモードメールを作成して送信する

iモードメール作成・送信

1 ✉（1秒以上）▶ ✉To 欄を選択

2 「直接入力」を選択 ▶ 宛先を入力（半角50文字まで）

- iモード端末にメールを送信するときは、メールアドレスの「@docomo.ne.jp」は省略できます。
- かな入力方式の場合、半角英字入力モードで、1 を繰り返し押すと「@」「.」「-」などを、＊ を繰り返し押すと「.co.jp」「.ne.jp」「.com」などを入力できます。
- 相手がシークレットコードを登録しているときは、相手のiモード端末の電話番号に続けて4桁のシークレットコードの入力が必要です。

■ **電話帳から検索する：「電話帳参照」を選択 ▶ 電話帳を選択 ▶ メールアドレスを選択**

■ **メールグループから入力する：「メールグループ」を選択 ▶ メールグループを選択**
- メールグループにあらかじめメールアドレスを登録しておく必要があります。
- 既に入力されている宛先との合計が5件を超える場合、メールグループは追加できません。
- MENU を押すとメールグループの詳細を確認できます。

3 Sub 欄を選択 ▶ 題名を入力（全角15文字（半角30文字）まで）

4 Text を選択 ▶ 本文を入力（全角5000文字（半角10000文字）まで）

- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、# を押すと改行できます（全角数字入力モード、半角数字入力モードを除く）。改行も本文の文字数に含まれます。
- 空白も本文の文字数に含まれます。
- 本文を装飾できます。☛P204

■ **署名を挿入する：MENU 5**
- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

5 [■]を押す

- 接続中画面で[↓]を押すと接続が中止されます。送信中画面で[■]を押すと送信が中止され、「未送信メール」の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。ただし、「未送信 BOX」フォルダに保存されても、操作のタイミングによっては送信されていることがあります。
- 圏外の場合、すでに保存済みの圏内自動送信メールが4件以下のときは、圏内自動送信するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。

おしらせ

● 他の機能が起動したりして、10000 バイトを超えるメールが自動保存された場合、作成中のメールの一部が保存されないことがあります。
● 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
● 送信が正常に終了したときは、i モードメールが「送信メール」の「送信 BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、i モードメールが「未送信メール」の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。「未送信メール」から i モードメールを編集・送信できます。
● i モードメールを正常に送信できていても、電波状況によっては「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。その場合、i モードメールは「未送信メール」の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。
● i モード端末（mova 端末含む）どうしのメールのやりとり以外では半角カタカナ、絵文字を使用しないでください。受信側で正しく表示されない場合があります。ただし、一部の絵文字は、相手の i モード端末の機種によっては正しく表示されない場合があります。
● 顔文字は相手の端末の表示文字数やフォント、ディスプレイの大きさによっては、形がくずれたり見え方が異なったりするなど、正しく表示されない場合があります。
● ドコモ以外のアドレスにメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、i モードメールは作成できません。「未送信メール」から不要な i モードメール、SMS を削除してください。☛P225

宛先を追加する　宛先追加

i モードメールは最大 5 人の相手に同時に送信（同報送信）できます。

- 宛先の種別には[To]（TO）、[Cc]（CC）、[Bcc]（BCC）の3種類があります。
  [To]：直接の送信相手
  [Cc]：直接の送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手
  [Bcc]：他の送信相手に知らせたくない相手
- [To]欄に宛先が1件も入力されていないメールは送信できません。
- [Bcc]欄に入力したメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

1 メール作成画面で宛先欄を選ぶ▶[✉]

宛先欄が追加されます。

- 送信する宛先数分の宛先欄ができるまで繰り返します。

■ CC、BCC を追加する：
① メール作成画面で[MENU][7]▶入力方法を選択
② 「CC」または「BCC」を選択▶メールアドレスを入力
- 「TO」も選択できます。
- 「メールグループ」を選択した場合は、あらかじめメールグループに設定してあるTO、CC、BCCが設定されます。

■ TO、CC、BCC を変更する：宛先欄を選ぶ▶[MENU][9]▶宛先種別を選択

■ 追加した宛先欄を削除する：宛先欄を選ぶ▶[MENU][8]▶「はい」を選択
- 宛先欄が1件のときは入力されているアドレスのみが削除されます。

2 追加された宛先欄に宛先を入力▶[■]

- 操作方法は宛先欄が 1 件の場合と同じです。

おしらせ

● [To]欄と[Cc]欄に入力したメールアドレスは受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。
● 送信に失敗した宛先があるときはエラーメッセージが表示されます。[↓]を押すと、送信に失敗したメールアドレスの一覧が表示される場合があります。

デコメールを作成して送信する

デコメール

ｉ モードメールの本文に、文字サイズや文字色、背景色の変更や、撮影した静止画や画像の挿入などの装飾（デコレーション）を行い、デコメールを作成できます。
デコメールの作成方法には、デコレーションを指定してから文字を入力する方法（☛P204）と、入力された文字を範囲選択してからデコレーションを設定する方法（☛P206）があります。
作成したデコメールはプレビュー機能を使って確認できます。

■ 装飾例

❶文字色

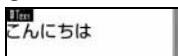
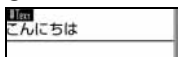
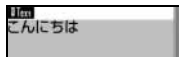
❷文字サイズ

❸画像

❹点滅

❺テロップ

❻スウィング

❼表示位置

❽ライン（罫線）

❾背景色

■ デコメール作成の流れ

ステップ１ メール作成画面からメール本文の入力画面を表示する

ｉ モードメール作成で本文を入力できる状態にします。

ステップ２ 文字入力や装飾を行う

- 装飾した文字や画像を入力する：[✉] ▶ 装飾方法を選択 ▶ 文字を入力
- 入力した文字を装飾する：装飾の開始位置で [◙] ▶ 終了位置で [⬇] ▶ 装飾方法を選択
- 編集中に [MENU] [8] を押すと、装飾を確認できます。

ステップ３ 装飾を確認して送信する

メール作成画面で装飾を確認します。

おしらせ

- 装飾した文字を削除しても、装飾データのみが残り、入力文字数が少なくなる場合があります。装飾の解除を行ってから文字を削除してください。なお、[CLR] を１秒以上押して文字をすべて削除すると、装飾データ（背景色は除く）もすべて削除されます。
- パソコンなど、デコメール対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 点滅、テロップ、スウィング、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間がたつと自動的に停止します。
- デコメールを非対応端末へ送信した場合、デコメール閲覧用 URL が記載されたメールとして受信されます。URL の記載されたメールを転送したり、URL を直接入力しても、デコメールの閲覧はできません（受信した端末以外からは閲覧できません）。

装飾を指定してから文字を入力する

1 メール作成画面で [Text] を選択 ▶ [✉]

2 装飾を選択 ▶ 文字を入力

装飾選択画面

装飾選択画面でマークを選び [⬇] を押すと、その装飾が選択状態になります。複数のマークを選択状態にすれば、複数の装飾を同時に設定できます。ただし､「テロップ」「スウィング」「文字位置」は同時に設定できません。

- 複数の装飾を設定する：装飾選択画面でマークを選ぶ ▶ [MENU]
- 選択状態の装飾を解除して文字を入力する：入力位置を選ぶ ▶ [✉] ▶ [◙]
  解除される装飾は「文字色」「文字サイズ」「点滅」「テロップ」「スウィング」「文字位置」です。

■文字色：文字およびライン（罫線）の色を変更します。

T T T 文字サイズ：文字サイズを変更します。

画像挿入：画像を挿入します。

点滅：文字を点滅して表示します。

テロップ：文字を流して表示（テロップ表示）します。

スウィング：文字を左右に揺らして表示（スウィング表示）します。

⋮ 文字位置
：文字および画像の位置を変更します。
ライン挿入：ライン（罫線）を挿入します。
背景色：本文の背景色を変更します。
元に戻す：１つ前の状態に戻します。

3 MENU 8 ▶ **装飾を確認**

設定した装飾と、入力できる残りのデータ量の正確なバイト数を確認できます。

4 **確認が終わったら**

■ **装飾を変更する：** MENU 1 8 ▶ **開始位置を選ぶ** ▶

- 以降の操作は「文字を入力してから装飾を指定する」の操作2以降と同じです。☛P206

■ **装飾をすべて解除する：** MENU 1 9

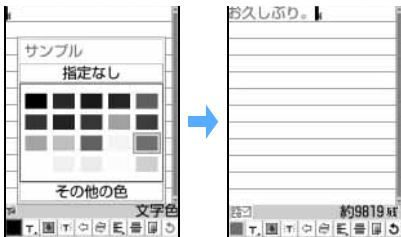
5

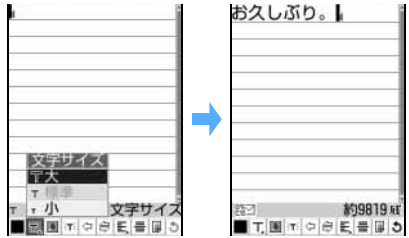
おしらせ

● メール本文の入力画面で MENU を押し、「デコレーション」を選択しても装飾を選択できます。

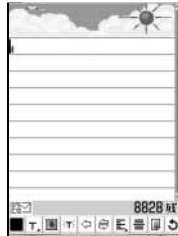
デコメール装飾選択画面の操作

- （　）内の装飾例番号は P204（装飾例）の番号です。

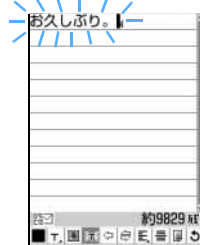
■ **文字色を変更する（装飾例 ❶）：** ■ **を選択** ▶ **文字色を選択** ▶ **文字を入力**

- 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。
- 絵文字の文字色も変更されます。範囲を選択して文字色を「指定なし」にすると元の色に戻ります。操作方法については☛P206「文字を入力してから装飾を指定する」

■ **文字のサイズを変更する（装飾例 ❷）：** T（または T T）**を選択** ▶ **文字サイズを選択** ▶ **文字を入力**

「大」にしたとき

■ **画像を挿入する（装飾例 ❸）：** **を選択** ▶ **「データ BOX」を選択** ▶ **フォルダを選択** ▶ **画像を選択**

- 静止画を撮影して挿入する：「静止画を撮影」を選択 ▶ 静止画を撮影 ▶
  - ・静止画のサイズは自動的に電話帳用（96 × 72）に設定されます。
- お買い上げ時に登録されているデコメールピクチャ☛P370

カーソル位置に画像が挿入されます。

- 動画／ｉモーションやファイルサイズが添付可能なデータ量を超える画像は選択できません。

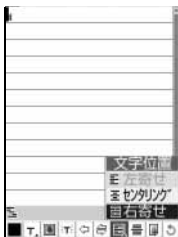
■ **文字を点滅させる（装飾例 ❹）：** T **を選択** ▶ **文字を入力**

入力した文字が点滅します。

■ 文字をテロップにして右から左へ動かす（装飾例❺）：⇦ を選択 ▶ 文字を入力

• [icon]と[icon]の間に文字を入力します。

■ 文字を左右にスウィングさせて動かす（装飾例❻）：[icon] を選択 ▶ 文字を入力

• [icon]と[icon]の間に文字を入力します。

■ 文字の表示位置を変更する（装飾例❼）：[icon]（または [icon] [icon]）を選択 ▶ 表示位置を選択 ▶ 文字を入力

「右寄せ」にしたとき

• カーソルがある行に文字が入力されている場合は、改行されて表示位置が設定されます。

■ ライン（罫線）を挿入する（装飾例❽）：[icon] を選択

文字色（■）で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。

■ 本文の背景色を変更する（装飾例❾）：[icon] を選択 ▶ 背景色を選択

• 標準の20色または「その他の色」の64色から選択できます。

■ 1つ前の状態に戻す：[icon] を選択
直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

文字を入力してから装飾を指定する

メール本文に入力されている文字や、既に装飾されている文字は、範囲を指定して操作します。
• 操作3の（　）内の装飾例番号はP204（装飾例）の番号です。
• ライン挿入、画像挿入、背景色は操作できません。装飾を指定してから操作してください。

1 **メール本文の入力画面で開始位置を選ぶ ▶ [icon]**

2 **終了位置を選ぶ ▶ [icon]**

• カーソルを文頭に移動する：[MENU]
• カーソルを文末に移動する：[icon]
• 本文すべてを選択する：[icon]

3 **装飾方法を選択**

• 装飾の確認や解除方法は、装飾を指定して文字を入力する場合と同じです。☛P204

メール／デコメール

■ 文字色を変更する（装飾例 ❶）：1▶ 文字色を選択
• ライン（罫線）の色も変更されます。

■ 文字のサイズを変更する（装飾例 ❷）：2 ▶1～3

■ 文字を点滅させる（装飾例 ❹）：31
• 解除するとき：32

■ 文字をテロップにして右から左へ動かす（装飾例 ❺）：41
• 解除するとき：42

■ 文字を左右にスウィングさせて動かす（装飾例 ❻）：51
• 解除するとき：52

■ 文字の表示位置を変更する（装飾例 ❼）：6 ▶1～3
• 画像の表示位置も変更されます。

■ 文字をコピーする：7

■ 文字を切り取る：8

■ 1つ前の状態に戻す：9
• 直前に行った装飾または文字入力が解除されます。

■ 続けて文字を装飾する：MENU▶操作3を繰り返す

4 [保存]

装飾した文字の選択が解除されます。
• [方向キー] を押しても解除されます。

5 [保存]▶[本]

おしらせ

● メール本文の入力画面で MENU を押し、「デコレーション」→「デコレーション変更」を選択しても同様に操作できます。
● メール本文の入力画面で MENU 8 を押すと、画面の右下に入力できる残りのデータ量の正確なバイト数が表示されます。

デコメールにメロディを添付する　メロデコ

1 装飾選択画面で [メール]
• 既にメロディが添付されているときは、添付メロディ一覧が表示されます。操作3「メロディを追加する」または「添付したメロディを解除する」を行います。

2 フォルダを選択
• メロディを選び[本]を押すと再生できます。[保存]を押すと添付でき、CLRを押すと一覧に戻ります。
• 添付できないメロディは表示されません。

3 メロディを選択

メロディが添付され、添付メロディ一覧に添付したメロディのファイル名とファイルサイズが表示されます。

■ メロディを追加する：MENU▶ フォルダを選択▶ メロディを選択

■ 添付したメロディを解除する：メロディを選ぶ▶[メール]▶「はい」を選択

4 [本]

画面下部に [アイコン] が表示されます。

5 [保存]▶[本]

メール添付用

お買い上げ時は、次のメロディが「メール添付メロディ」フォルダに登録されています。

タイトル	曲名（【　】内は作曲者）
クリスマス	もろびとこぞりて【HANDEL GEORGE FRIDERIC / MASON LOWELL】
結婚式	結婚行進曲【WAGNER RICHARD WILHELM】
誕生日	－
嬉しい	－
悲しい	－

• 作曲者名はJASRACホームページに準拠して表記しています。

ファイルを添付する

添付ファイル

ｉモードメールに画像や動画／ｉモーション、メロディを添付して送信できます。

- 添付できるファイルの種類と1件のメールに添付可能な最大件数は次のとおりです。

ファイルの種類	最大件数
メロディ（MFi 形式は不可）	10 件※4
10000 バイト以内の画像※1（JPEG、GIF 形式のみ添付可、パラパラマンガ、Flash 画像は添付不可）	
10000バイトを超え500Kバイトまでの画像※1（JPEG 形式のみ添付可）	1 件
500Kバイトまでの動画／ｉモーション※2（再生制限が設定されているものは添付不可※3）	

※1：受信側の端末やパソコンなどの機器によって、URL が記載されたメールまたはメールの添付ファイルとして受信します。

※2：受信側の機種によって、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されて表示される場合があります。QCIF（176 × 144）、Sub-QCIF（128 × 96）以外の動画、「HQ ＋（最高品質）」で撮影した動画は容量に関わらず添付できません。

※3：再生制限が設定されていないファイルでも添付できない場合があります。

※4：画像とメロディを合計最大 10 件、メール本文を含め最大10000バイト添付できます。ただし、添付ファイルのサイズによっては、添付可能な最大件数は少なくなります。

- 添付ファイルのサイズによって、本文に入力できる文字数が異なります。
- 本文（添付したメロディ、画像を含む）の残りのデータ量が全角 100 文字（半角 200 文字）（デコメールでは全角 200 文字（半角 400 文字））分未満の場合は、動画／ｉモーション、10000 バイトを超える画像を添付できません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定した画像を除く）、FOMAカード動作制限機能が設定されているファイルは添付できません。
- mova端末には、JPEG形式の画像を1枚のみ添付できます。その場合、相手の端末はURLが記載されたメール（ｉショットメール）として受信します。
- ｉモーションメールでは、撮影した動画などは本文を除き最大500Kバイトまで添付可能です。
- サウンドレコーダーで録音したデータはｉモーションとして保存され、メールに添付できます。
- メロディを送信する場合、受信側がFOMA D701i、D701iWM、D702i、D851iWM、D901i、D901iS、D902i以外の場合は受信したメロディを正しく再生できないことがあります。

1 メール作成画面で［添付］欄を選択

2 ファイルの種類を選択▶ファイルを選択

■ 画像を添付する：

①「イメージ」を選択

②「データ BOX」を選択▶フォルダを選択

- 静止画を撮影して添付する：「静止画を撮影」を選択▶静止画を撮影▶［保存］▶操作3に進む
  - ・撮影する静止画のサイズは自動的に QVGA（240 × 320）に設定されます。
  - ・オーディオ機能起動中は撮影できません。
- 画像を選び［表示］を押すと画像を表示できます。［保存］を押すと添付でき、CLR を押すと一覧に戻ります。
- 添付できない画像は表示されません。

③ 画像を選択

メール作成画面の［添付］欄に、選択した画像のファイル名が表示されます。

- 画像サイズが QVGA（240 × 320 または320×240）を超えるJPEG 形式の画像の場合は、QVGAに変換するかどうかの確認画面が表示されます。変換された画像が10000バイトを超えていた場合は、変換した画像をデータBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。データBOXに保存しない場合、または保存に失敗した旨のメッセージが表示された場合は、変換した画像は保存されません。このため、メールを「未送信メール」に保存して編集する場合、画像の添付は解除されています。また、圏内自動送信では、添付ファイルは送信されません。
- ファイルサイズが500Kバイトを超えるJPEG 形式の画像の場合は、メールに添付可能なサイズに変換され、データBOXに保存するかどうかの確認画面が表示されます。このとき、処理に時間がかかることがあります。

■ 動画／iモーションを添付する（iモーションメール）：
①「iモーション」を選択
②「データBOX」を選択▶フォルダを選択
- 動画を撮影して添付する：「動画を撮影」を選択▶動画を撮影▶[確定]▶操作3に進む
  - ・撮影する動画のサイズは自動的にQCIF（176×144）に設定されます。
  - ・オーディオ機能起動中は撮影できません。
- 動画／iモーションを選び[再生]を押すと動画／iモーションを再生できます。
- 添付できない動画／iモーションは表示されません。

③動画／iモーションを選択
メール作成画面の[添付]欄に選択した動画／iモーションのファイル名が表示されます。

■ メロディを添付する：
①「メロディ」を選択
②フォルダを選択
- メロディを選び[再生]を押すとメロディを再生できます。[確定]を押すと添付でき、[CLR]を押すと一覧に戻ります。
- 添付できないメロディは表示されません。

③メロディを選択
メール作成画面の[添付]欄に選択したメロディのファイル名が表示され、画面下部に[メロディ]が表示されます。

■ 音声を録音して添付する（iモーションメール）：「ボイス録音」を選択▶録音（サウンドレコーダー）▶[確定]
メール作成画面の[添付]欄に録音した音声のファイル名が表示されます。
- オーディオ機能起動中は録音できません。

3 [再生]を押す
- [添付]欄を選択すると添付ファイルを表示または再生できます。

おしらせ
- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像を添付したメールをiモード端末に送信した場合は、iショットセンターでiモード端末に送信するのに適したサイズに変換されます。
- GIF形式の画像やメロディ、音声を添付したメールをmova端末に送信した場合は、添付ファイルは削除されて送信されます。
- モバHO!聴取中に動画／iモーション、メロディを再生したり、添付した10000バイトを超える画像をメール作成画面で[添付]欄を選択して表示しようとすると、モバHO!機能を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとモバHO!機能が停止され、動画／iモーション、メロディが再生されます。
- ミュージックプレイヤー／FMラジオ起動中に動画／iモーション、メロディを再生すると、再生が一時停止または受信が停止されます。音声のないiモーションの場合は、ミュージックプレイヤーの再生／FMラジオの受信が継続されたまま再生されます。
- 10000バイトを超える画像をQVGAサイズ（240×320または320×240）に縮小できます。☞P288
QVGAサイズはiモード端末に送信するのに適したサイズです。

添付ファイルを変更／解除する

例 添付ファイルを解除するとき

1 メール作成画面を表示

2 [添付]欄を選ぶ▶[メール]
■ 添付ファイルを変更する：[添付]欄を選ぶ▶[メニュー]▶ファイルを添付☞P208

3 「はい」を選択

メールテンプレートを利用する

メールテンプレートは、本文の先頭に同じ文章を入れたり、類似の内容を何度も送信したりするために、あらかじめiモードメールの内容を登録しておく機能です。メールテンプレートを呼び出して内容を追加・修正するだけで、簡単にiモードメールを作成できます。また、デコメールテンプレートは、レイアウトや装飾が既に決められているデコメール用の雛形です。デコメールテンプレートを利用することにより、簡単にデコメールを作成／送信できます。デコメールテンプレートとメールテンプレートは、同じ操作で読み込みます。
- お買い上げ時に登録されているメールテンプレート☞P371
- 作成したテンプレートを登録できます。
- SMSには使用できません。

メール作成時にテンプレートを使う
テンプレート読込み

新規メールを作成するときに読み込んで使用します。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。

1 メール作成画面で MENU 6 1 ▶テンプレートを選択

：10000 バイト以内の画像あり
：メロディあり
：10000 バイト以内の画像とメロディあり

- 入力済みの項目があるメール作成画面からテンプレートの読み込みを行うと、現在入力中のメールに上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「本文のみ読込み」を選択すると、メール本文のみがテンプレートの内容に上書きされます。「すべて読込み」を選択すると、宛先、題名、添付ファイル、本文のすべてがテンプレートの内容に上書きされます。読み込みを中止するときは CLR を押します。
- 1件のメールに複数のテンプレートを読み込むことはできません。

2 メールを編集 ▶

Menu 18

テンプレートを表示してメールを作成する

登録されているテンプレートを一覧表示し、内容を確認してメール作成画面に設定します。
- ダイヤル発信制限中は、テンプレートを読み込めません。ただし、電話帳に登録されているアドレスが宛先に入力されているテンプレートは読み込めます。

1 8 ▶ テンプレートを選択
- で前後のテンプレートを表示できます。

2

テンプレートの内容がメール作成画面に設定されます。

3 メールを編集 ▶

テンプレートを登録する
テンプレート登録

作成したメールまたは送受信したメールをテンプレートとして登録できます。
- 最大保存件数 ☞P38
- お買い上げ時に登録されているテンプレートの内容を変更して、新しいテンプレートとして保存できます。
- 動画／ｉモーション、10000バイトを超える画像はテンプレートに登録できません。
- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと登録できません。

1 メール作成画面で MENU 6 2 ▶「はい」を選択

2 を押す
- 登録済みのテンプレートに上書きする： ▶テンプレートを選択 ▶「はい」を選択
  - ・お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書きできません。
- 表示名にはメールの題名（メールに題名がついていないときは日付・時刻）が入力されています。全角・半角を問わず20文字まで入力できます。
- ファイル名には日付・時刻が入力されています。半角英数字と「.」、「-」、「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

おしらせ

- 登録したテンプレートの詳細情報を確認・変更する場合は、テンプレート一覧で MENU を押し、「詳細情報」→「参照」または「変更」を選択します。ただし、お買い上げ時に登録されているテンプレートの詳細情報は変更できません。
- メール送信できない画像が含まれたテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って保存されているテンプレートを削除してください。

テンプレートをダウンロードする

サイトからメールテンプレートをダウンロードします。ダウンロードしたメールテンプレートは、メール作成画面に読み込み後、編集できます。
- 最大保存件数 ☞P38

1 サイトを表示中に、メールテンプレートを選択
- ダウンロード中に を押すと、ダウンロードを中止します。

2「保存」を選択
- 保存を中止する：「戻る」を選択 ▶「いいえ」を選択
- テンプレートの内容を確認する：「プレビュー」を選択

3 [本] を押す

ダウンロードしたメールテンプレートは、「テンプレート読込み」に登録されます。

- 登録済みのテンプレートに上書きする：[✉]▶テンプレートを選択▶「はい」を選択
  - ・お買い上げ時に登録されているテンプレートには上書きできません。
- 表示名は全角・半角を問わず20文字まで入力できます。
- ファイル名は半角英数字と「.」、「-」、「_」で36文字まで入力できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。

おしらせ

- ●保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えたときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って登録されているテンプレートを削除してください。
- ●サイトからダウンロードしたメールテンプレートにファイルが添付されているときは、ファイルを削除しないと保存できません。
- ●サイトからダウンロードしたメールテンプレートにメール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている画像またはFOMA端末で利用できない画像が挿入されているときは、画像を削除しないと保存できません。

テンプレートを削除する

- お買い上げ時に登録されているテンプレートは削除できません。

例 テンプレートを1件削除するとき

1 [✉][8]

2 テンプレートを選ぶ▶[MENU][2][1]

■ **複数削除する：[MENU][2][2]▶テンプレートを選択▶[本]**

■ **全件削除する：[MENU][2][3]▶端末暗証番号を入力**

3 「はい」を選択

iモードメールを保存しておき、あとで送信する　iモードメール保存

iモードメールを保存する

- 最大保存件数 ☛P38

1 メール作成画面で[MENU][3]

iモードメールが「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

- 宛先、題名、添付ファイル、本文のいずれかを設定しないと保存できません。

■ **圏外で作成したメールを圏内移動時に自動的に送信する：[MENU][2]**

圏内自動送信メールとして「未送信メール」の「未送信BOX」フォルダに保存されます。

- 圏内自動送信メールが5件保存されているときは、通常の未送信メールとして保存されます。
- 圏内自動送信メールは圏内になると自動的に送信されます。送信に失敗したときは、圏内自動送信失敗メールとして保存されます。
- 圏内自動送信設定を解除する：未送信メールの一覧で圏内自動送信メールを選ぶ▶[本]▶「はい」を選択

おしらせ

- ●圏内自動送信メールを保存するとディスプレイ上部に[icon]が表示されます。
- ●圏内自動送信メールは、圏内になってから約1～2分後に送信されます。自動送信中はディスプレイ上部に[icon]が点滅します。送信に失敗したときは[icon]が点滅します。
- ●未送信メール一覧で、圏内自動送信メールを選択すると圏内自動送信設定が解除されます。
- ●未送信メール一覧で、圏内自動送信失敗メールを選び[本]を押し「はい」を選択すると圏内自動送信設定が解除されます。また、圏内自動送信失敗メールを選択すると失敗の原因が表示され、[icon]を押すと圏内自動送信設定が解除されます。
  - 同報への送信に失敗した旨のメッセージが表示されたときは、[icon]を押すとそのアドレスが表示されます。
    [icon]を押すと圏内自動送信設定が解除されます。
- ●圏内自動送信失敗メールの解除、削除またはFOMAカードの差し替えなどによって「未送信メール」から圏内自動送信失敗メールがなくなると[icon]は消えます。

送信・保存したｉモードメールを編集・送信する

例 未送信メールを編集するとき

1 **[✉][4]▶フォルダを選択**

- SMSには が表示されます。
- 送信メールを編集・送信する：[✉][5]▶フォルダを選択

2 **メールを選択**

- 送信メールを再編集する：メールを選ぶ▶[📖]

3 **メールを編集▶[📖]**

おしらせ

● 送信メール詳細画面で[📖]を押しても編集できます。
● スライド編集設定で未送信メール、送信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中にFOMA端末を開くと編集画面が表示されます。

手早くメールを作成する

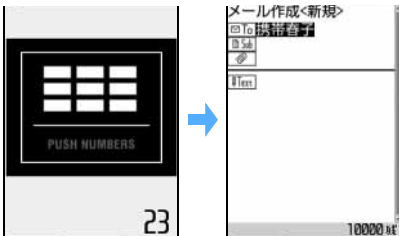
クイックメール

FOMA端末電話帳のメモリ番号0～99の相手には、簡単な操作でｉモードメールやSMSを作成できます。

- ｉモードメールの場合は1件目のメールアドレス、SMSの場合は1件目の電話番号が宛先となります。

例 メモリ番号23のメールアドレスにｉモードメールを送信するとき

1 **メモリ番号（この場合は[2][3]）を入力▶[✉]**

電話帳の1件目のメールアドレスが宛先に設定されます。

- メモリ番号の前には0を付けずに入力します。
- ｉモードメールの作成・送信方法☞P202

■ SMSを作成する：メモリ番号を入力▶[✉]（1秒以上）

- SMSの作成画面が表示されます。電話帳の1件目の電話番号が宛先に設定されます。
- SMSの作成・送信方法☞P236

ｉモードメールを受信したときは

メール自動受信

ｉモードメールが送信されてきたときは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したｉモードメールは「受信メール」に保存されます。

- 最大保存件数☞P38

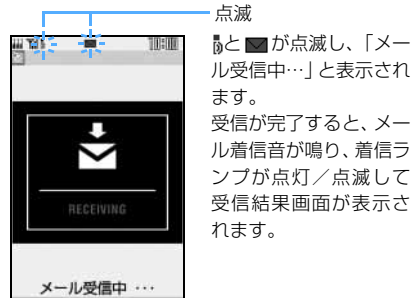
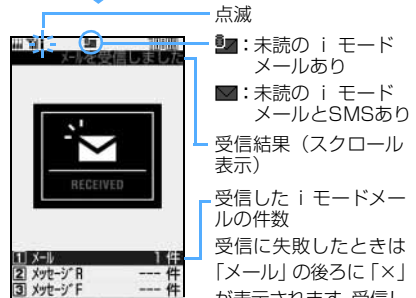
1 **ｉモードメールを受信**

受信中画面

点滅

 と が点滅し、「メール受信中…」と表示されます。
受信が完了すると、メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

受信完了

：未読のｉモードメールあり
：未読のｉモードメールとSMSあり
受信結果（スクロール表示）
受信したｉモードメールの件数
受信に失敗したときは「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、ｉモード問合せを行ってください。

受信結果画面

- メール受信中に[📥]を押すと受信を中止できますが、受信時の状況によってはメールを受信する場合があります。
- 受信結果画面が表示されてから約15秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻すときは[CLR]を押します。

おしらせ

● ｉモードメールに対応していない添付ファイルや受信可能なデータ量（添付可能なデータ量）を超えた添付ファイルは、ｉモードセンターで削除されます。添付ファイルが削除された場合は、メール本文中に［添付ファイル削除］のメッセージが追加されます。添付可能なデータ量☛P208
● 受信メールのデータ量（文字数、添付ファイル）が、ｉMenu のオプション設定の「メールサイズ制限」で設定した文字数（データ量）を超える場合、添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できません。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の一番古い受信メールに上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。
● 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、ｉモードメールの受信は中止され、画面にはやが表示されます（☛P30）。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
● ｉモードメールの送信直後は自動受信できない場合があります。ｉモード問合せを行ってください。
● 極端に容量の大きいｉモードメールは、ｉモードセンターで受け付けずに発信元にエラーメッセージとともに返信されることがあります。
● 受信表示設定の設定内容によっては受信中画面や受信結果画面は表示されません。☛P232
● 新しいｉモードメールが届くと、ｉモードセンターで保管しているｉモードメールやチャットメールも合わせて受信します。
● FOMA端末でｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターのｉモードメールは削除されます。
● TO、CC、BCC を設定できる相手からのメールを受信した場合、自分が TO、CC、BCC のどれにあてはまるかを確認できます。☛P221
● FOMA 端末電話帳にメール着信設定のある相手からｉモードメールを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、着信ランプは FOMA 端末電話帳の設定に従って動作します。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☛P95
  - 複数のｉモードメールを同時に受信したときは、最後に受信したｉモードメールの条件に従って動作します。
● 次のような場合に送られてきたｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。
  - 電源が入っていないとき
  - セルフモード中
  - 圏外のとき
  - 赤外線通信中
  - テレビ電話中
  - 受信に失敗したとき
  - SMS 受信中
  - メール選択受信設定が「ON」のとき
  - FirstPass センター接続中
  - 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯のとき
● ｉモードセンターにｉモードメールが残っているときは、やが（☛P30）が表示されます。ただし、ｉモードメールがあっても表示されない場合があります。また、ｉモードセンターの保管件数（☛P200）が満杯になったときは、マークがやに変わります。

新着ｉモードメールを表示する

1 受信結果画面で 1

- 受信したｉモードメールは「受信メール」の「受信 BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

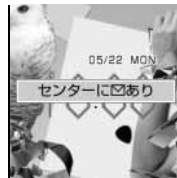
2 フォルダを選択 ▶ メールを選択

- メロディが添付されている場合は、自動的に再生されます。自動再生しないように設定できます。☛P231
- 受信メールの見かた☛P219
- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。

ｉモードメールを選択して受信する

メール選択受信

ｉモードセンターに保管されているｉモードメールを自動受信せずに、選択して受信します。

メールが届いたときは

メール選択受信設定を「ON」に設定しているときにｉモードメールを受信すると、ｉモードセンターに保管され、左記のメッセージが表示されます。

- ｉモードメールがｉモードセンターに保管されてもメール着信音や着信バイブレータは動作しません。
- ▣ 以外のキーを押すとメッセージが消えます。

おしらせ

- オールロック中、PIM ロック中には、センターにメールが届いてもメッセージが表示されません。
- メール選択受信設定を「ON」に設定した場合でも、「i モード問合せ」を行うと、すべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、問い合わせ項目からメールを外してください。
- メール選択受信設定を「ON」に設定しても、SMS、メッセージ R/F は自動受信します。

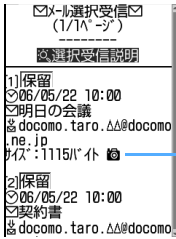
Menu 163

メールを選択受信する

i モードセンターに保管されている i モードメールの題名などを確認し、受信するメールを選択したり、受信前に i モードセンターでメールを削除できます。

- メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定します。「ON」に設定した場合は、自動的に i モードメールを受信できません。

1 ✉ 6 3

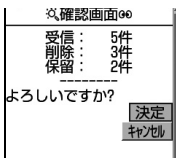
メール選択受信
(1/1ページ)
選択受信説明
[1]保留
06/05/22 10:00
明日の会議
docomo.taro.ΔΔ@docomo.ne.jp
サイズ:1115バイト
[2]保留
06/05/22 10:00
契約書
docomo.taro.ΔΔ@docomo

i モードセンターに接続され、保管されている i モードメールが一覧表示されます。

📷：画像添付あり
♪：メロディ添付あり
🎥：i モーション添付あり

2 **メールごとに「保留」を選択 ▶「受信」「削除」「保留」のいずれかを選択**

- 「保留」を選択した場合は、そのまま i モードセンターに保管されます。i モード問合せなどで受信できます。
- i モードセンターに保管されているすべてのメールを削除するときは「i モードセンターから全てのメールを」の「削除」を選択します。
- ページが複数ある場合には、メール一覧の最後に表示される「前ページ」「次ページ」を選択すると前後のページを表示できます。

3 **「受信／削除」を選択 ▶「決定」を選択**

Menu 161 / Menu 26 / ✉61 / 6

i モードメールがあるかどうかを問い合わせる

i モード問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに i モードメールが届いていないかを問い合わせます。
i モード問合せ設定でメッセージ R/F も問い合わせするように設定している場合は、同時にメッセージ R/F もあるかどうかを問い合わせます。

- 電波状態によっては i モード問合せができない場合があります。電波状態のよい場所で操作してください。

1 ✉ ✉

i モード問合せが実行されます。i モードセンターに i モードメールが保管されていれば受信します。

- 受信結果画面の操作は自動受信時と同じです。ただし、約 15 秒経過しても元の画面には戻りません。

i モードメールに返信する

i モードメール返信

- 受信メールによっては返信できない場合があります。
- 発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」のSMSには返信できません。
- メール返信引用設定で、返信メールに本文を引用するかどうかと、引用した本文の先頭に付ける引用文字を設定できます。

1 ✉ 1 ▶ **フォルダを選択**

2 **メールを選ぶ ▶** 📖

クイック返信本文選択画面が表示されます。

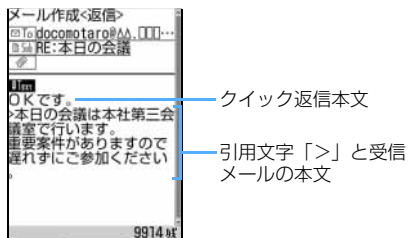
- クイック返信設定を「OFF」に設定しているときやクイック返信本文を登録していないとき、または SMS に返信するときは、クイック返信本文選択画面は表示されません。操作4に進みます。

■ **FOMA 端末を閉じているとき：**
スライド編集設定で受信メールを「ON」に設定している場合、メールを選択または表示中に FOMA 端末を開くと返信できます。

■ **複数の宛先に送られた受信メールの宛先すべてに返信する：** MENU 1 2

- 発信元と、自分以外のすべての宛先に返信できます。

3 クイック返信本文を選択

[To]欄には受信メールの発信元のメールアドレスまたは電話番号、[Sub]欄には先頭に「RE:」の付いた受信メールの題名(ｉモードメールのみ)、[Text]欄にはクイック返信の本文および引用文字「>」と受信メールの本文が入力されます。

- クイック返信本文を挿入しないときは「本文直接入力」を選択します。メール本文の入力画面が表示されます。

4 メールを編集▶[送信]

- 返信した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールのマークが↩または↩🔒になります。

おしらせ

- 受信メール詳細画面では[送信]を押します。
- 受信メールの添付ファイルは、返信メールには添付されません。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））は返信メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 受信したデコメールを引用した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。ただし、画像にファイル制限が設定されている場合は、返信メールに引用されません。
- 複数の宛先に送られた受信メールに[送信]を押すかFOMA端末を開いて返信する場合は、操作する画面により[To]に表示されるメールアドレスが異なります。受信メール一覧から返信する場合は、発信元のメールアドレスが表示され、受信メール詳細画面から返信する場合は、発信元と、自分以外のすべての宛先のメールアドレスが表示されます。

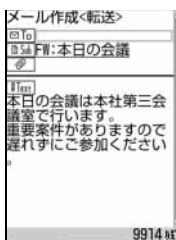
ｉモードメールを他の宛先に転送する

ｉモードメール転送

- SMSも同様に転送できます。ｉモードメールはｉモードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 [✉][1]▶フォルダを選択

2 メールを選ぶ▶[✉]

[Sub]欄には先頭に「FW:」の付いた受信メールの題名（ｉモードメールのみ)、[Text]欄には受信メールの本文が入力されます。

- 添付ファイルがある受信メールを転送する場合は、添付ファイルも設定されます。

3 メールを編集▶[送信]

- 転送した後に受信メール一覧を表示すると、受信メールのマークが↪または↪🔒になります。

おしらせ

- 受信メール詳細画面では、[MENU]を押し、「返信／転送」→「転送」を選択します。
- 受信メールの添付ファイル（画像、メロディ）のうち、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されていなくても、メロディファイルの種類によっては添付されない場合があります。
- 受信メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））は転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 10000バイトを超える画像が添付されたメールで画像を取得していない場合は、転送時に画像は添付されません。
- 受信したデコメールを転送した場合、装飾と挿入されている画像は引用された状態で本文が表示されます。また、転送時にサイズオーバーとなった場合は、[送信]を押すと送信できない旨のメッセージが表示されます。

添付されている画像を表示・保存する

画像表示・保存

保存した画像はデータBOXの「マイピクチャ」から表示したり、待受画面などに設定したりできます。

- 最大保存件数☞P38

1 [✉][1]▶フォルダを選択▶画像が添付されているｉモードメールを選択

画像のマークとファイル名、ファイルサイズ

- ：メール添付やFOMA端末外への出力可
- ：メール添付やFOMA端末外への出力不可
- ：未取得の10000バイトを超える画像
- ：取得済みの10000バイトを超える画像
- ：取得失敗の画像の添付あり
- ：データ異常

■ 画像の表示／非表示を切り替える：ファイル名を選択

- 送信メール詳細画面やメールテンプレート詳細画面に添付されている画像からも同様の操作で表示／非表示を切り替えられます。

■ タイトルを確認する：ファイル名を選ぶ▶[MENU][6][2]

■ 10000バイトを超える画像のURLを表示する：ファイル名を選ぶ▶[MENU][6][3]

- 取得する前に表示する：メール本文の「保存期限」を選ぶ▶[MENU][6][2]

2 ファイル名を選ぶ▶[MENU][6][3]

- 10000バイトを超えるJPEG形式の画像は、自動的に取得され、マイピクチャの「ｉモード」フォルダに保存されます。[MENU][6][3]で新たに保存することはできません。受信を中断したり、画像の保存領域がいっぱいなどの理由により取得できなかった場合は、本文中の「保存期限」を選択すると取得できます。

■ デコメール内に表示されている画像を保存する：[MENU][4][4]▶画像を選択

3 各項目を選択して設定

- メール添付やFOMA端末外への出力を禁止されている画像（ファイル制限に「あり」と表示）では表示名以外は変更できません。
- 設定方法は、「サイトやメッセージから画像を取得する」の操作3と同じです。☞P184

4 [📖]▶保存先を選択

- 保存した画像は、待受画面などに設定できます。☞P287

おしらせ

- 送信メール詳細画面やメールテンプレート詳細画面からタイトルを確認する場合は、画像のファイル名を選び[MENU]を押し、「添付ファイル」→「タイトル確認」を選択します。
- 送信メールに添付した画像も同様の操作で保存できます。
- デコメールでは、メール詳細画面で本文中に表示される画像のデータ名などは表示されません。
- 画像の横幅がディスプレイより大きいときは縮小して表示されます。
- 画像によっては正しく表示できない場合があります。
- 取得した画像のファイル名は、36 文字まで保存されます。ファイル名には半角英数字と「.」、「-」、「_」が使用できます。ただし、「.」はファイル名の先頭に使用できません。
- 横352×縦288または横240×縦400を超える画像はフレーム候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズが240×400以上の画像はスタンプ候補にできません。
- 横縦（または縦横）のサイズがGIF形式は640×480、JPEG形式は1728×2304を超える画像は保存できません。また、JPEGの種類によっては保存できないものもあります。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、FOMA端末に保存されている画像を削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って保存されている画像を削除してください。削除する前に画像一覧で[📖]を押すと画像を、[MENU]を押すと画像の詳細情報を表示できます。
- 取得できる画像は、JPEG形式またはGIF形式で最大100Kバイトです。
- 画像が添付されている受信メールを表示したときは、添付された画像は自動的に表示されます。ただし、受信メールがデコメールの場合は、メールを表示すると、メール本文中に挿入されている画像は自動的に表示されますが、添付された画像は自動的に表示されません。画像を表示するときは画像のファイル名を選択します。

ｉモーションメールからｉモーションを再生・保存する

発信元がメールに添付した動画／ｉモーションはｉモーションメールセンターに保管され、ｉモーションの閲覧のための URL が記載されたメールを受信します。このURLを選択して、ｉモーションを取得し、再生したり保存できます。保存したｉモーションはデータBOXの「ｉモーション」から再生したり待受画面に設定できます。

- 最大保存件数 ☛P38
- 取得できる ｉ モーションは、最大 500K バイトです。
- 再生時の音量はｉモーションの動作設定に従います。

1 ✉ 1 ▶フォルダを選択▶ｉモーションのURLが記載されたｉモードメールを選択

2 URL を選択 ▶「はい」を選択

ｉモーションメールセンターに接続され、ｉモーションの取得・再生が始まります。

- 再生画面の操作方法 ☛P293

❶ ｉ モーションが添付されていることを示す
❷ ｉ モーション閲覧用 URL
❸ ｉ モーションメールセンターでの ｉ モーションの保存期限

3 再生が終了したら「保存」を選択

- 「再生」を選択すると ｉ モーションが再生されます。
- 「情報表示」を選択すると ｉ モーションの情報が表示されます。

4 📖

取得した ｉ モーションは ｉ モーションの「ｉ モード」フォルダに保存されます。

- 表示名は全角・半角を問わず 36 文字まで入力できます。

■ 待受画面に設定する：MENU 1 ▶「はい」を選択

- 映像のない動画／ ｉ モーション、再生制限が設定されている ｉ モーション、画像サイズが 320 × 240 を超える ｉ モーションは待受画面に設定できません。
- 拡大表示できる動画／ ｉ モーションの場合は、等倍表示または拡大表示に設定できます。
- ｉ アプリ待受画面が設定されている場合は、ｉ アプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉ アプリ待受画面を解除して、選択した動画／ ｉ モーションが待受画面に設定されます。
- 待受画面に設定した動画／ ｉ モーションを再生するには ☛P121

5「戻る」を選択

おしらせ

- 送信メールに添付されている動画／ｉモーションも、ファイル名を選択して、同様に再生できます。
  ただし、動画／ｉモーションがFOMA端末から削除されているときは再生できません。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。保存する場合は、画面の指示に従って保存されている動画／ ｉ モーションを削除してください。削除する前に、動画／ ｉ モーション一覧で 📖 を押すと動画／ ｉ モーションの再生、MENU を押すと詳細情報の表示ができます。
- メールに添付されたｉモーションをパソコンで再生する場合は、対応のソフトが必要となります。☛P388
- モバHO! 聴取中に ｉ モーションを再生しようとすると、モバ HO! 機能を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとモバ HO! 機能が停止され、 ｉ モーションが再生されます。
- ミュージックプレイヤー／FMラジオ起動中にｉモーションを再生すると、再生が一時停止または受信が停止されます。音声のない ｉ モーションの場合は、ミュージックプレイヤーの再生／FMラジオの受信が継続されたまま再生されます。
- ｉモード端末へｉモーションメールを送信した場合、ｉ モーションメールセンターに保存された ｉ モーション閲覧用 URL1 件につき 50 回まで取得できます。50 回を超えた場合は、 ｉ モーションの取得ができなくなります。

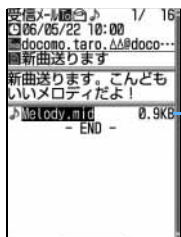
ｉモードメールからメロディを再生・保存する　メロディ再生・保存

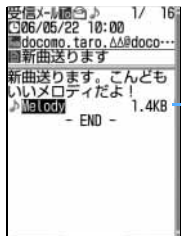
保存したメロディはデータBOXの「メロディ」から再生したり、着信音に設定したりできます。

- 発信元がFOMA D701i、D701iWM、D702i、D851iWM、D901i、D901iS、D902i以外の場合、送られてきたメロディが正しく再生できない場合があります。
- 最大保存件数 ☛P38

1 **[✉][1]▶フォルダを選択▶メロディが添付されているｉモードメールを選択**

- 添付メロディの表示形式には、メロディファイルの種類によって2種類あります。

本文の後に表示（SMF形式）

メロディのマークとファイル名、ファイルサイズ

本文中に表示（MFi形式）

メロディのマークとタイトル名、ファイルサイズ

♪：メール添付やFOMA端末外への出力可
♪©：メール添付やFOMA端末外への出力不可
♪× ♪©×：データ異常

■ **メロディを再生する：メロディを選択**

電話着信音量調整で設定されている音量で再生されます。

- 再生を途中で止める：[CLR]

■ **タイトルを確認する：**

- 本文の後に表示されるメロディ（SMF形式）：メロディを選ぶ▶[MENU][6][5]
- 本文の中に表示されるメロディ（MFi形式）：メロディを選ぶ▶[MENU][6][4]

■ **データを文字として表示する（データ表示）：**

- 本文の後に表示されるメロディ（SMF形式）ではこの機能は利用できません。

① **メロディを選ぶ▶[MENU][6][5]**

- タイトル表示に戻す：メロディの先頭行を選ぶ▶[MENU][6][5]

2 **メロディを選ぶ▶[MENU][6][2]**

3 **[📖]を押す**

メロディの「ｉモード」フォルダに保存されます。

- 既に設定されている表示名が表示されます。表示名を設定するときはメロディの保存画面で表示名を入力します（全角25文字（半角50文字）まで）。

おしらせ

- データ表示時にメロディを再生・保存するにはメロディの先頭行を選び[MENU]を押し、「添付ファイル」→「再生」「保存」を選択します。
- 送信メール詳細画面ではメロディを選び[MENU]を押し、「添付ファイル」→「保存」を選択します。
- 送信メールやメールテンプレートの添付メロディも同様に再生できます。
- 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、削除するかどうかの確認画面が表示されます。画面の指示に従って保存されているメロディを削除してください。削除する前にメロディ一覧で[📖]を押すとメロディの再生、[MENU]を押すと詳細情報の表示ができます。
- モバHO!聴取中にメロディを再生しようとすると、モバHO!機能を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとモバHO!機能が停止され、メロディが再生されます。
- ミュージックプレイヤー／FMラジオ起動中にメロディを再生すると、再生が一時停止または受信が停止されます。
- MFi形式のメロディにタイトル名が設定されていない場合、メールの受信日時が表示されます。

添付ファイルを削除する

添付ファイル削除

受信メールに添付されている画像やメロディを削除します。

- 本文中に表示されるメロディ（MFi形式）、ｉアプリが起動できるリンク項目は削除できません。
- 10000バイトを超える画像は、マイピクチャの「ｉモード」から削除してください。

例 添付されている画像を削除するとき

1 [✉][1] ▶ フォルダを選択 ▶ 画像が添付されているｉモードメールを選択

2 ファイル名を選ぶ ▶ [MENU][6][4]

- 添付ファイルを一括削除する：[MENU][6][5]

3 「はい」を選択

- 削除した添付ファイルはファイル名が薄く表示されて選択できなくなります。

おしらせ

- 送信メール詳細画面では、画像やメロディを選び [MENU] を押し、「添付ファイル」→「削除」／「一括削除」を選択します。
- 10000バイトを超える画像を削除した受信メールを表示すると、保存期限が薄く表示され、選択できなくなります。

Menu 11 / Menu 14 / Menu 15

受信／送信メールBOXのメールを表示する

受信メールBOX／送信メールBOX

受信／送信／未送信のｉモードメールやSMSを確認できます。受信済みのｉモードメールやSMSは「受信メール」のフォルダに、送信済みのｉモードメールやSMSは「送信メール」のフォルダに保存されます。また、送信せずに保存したｉモードメールやSMS、送信に失敗したｉモードメールやSMS、圏外自動送信待ちのｉモードメールは「未送信メール」のフォルダに保存されます。

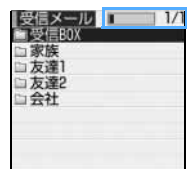
- 最大保存件数☛P38

例 受信メールを表示するとき

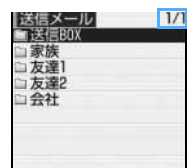
1 [✉][1]

- 送信メールを表示する：[✉][5]
- 未送信メールを表示する：[✉][4]

2 フォルダを選択

受信メールの一覧が表示されます。

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択すると、対応するｉアプリが起動します。
- ｉアプリを起動せずにフォルダ内のメールを表示する：フォルダを選ぶ ▶ [MENU][1]

3 メールを選択

- 電話番号、メールアドレス、URLから、それぞれ電話発信、ｉモードメール送信、サイト表示ができます。電話番号やメールアドレス、URLを電話帳に登録したり、URLをブックマークに登録することもできます。本文などのコピーもできます。☛P225
- 未送信メール一覧からメールを選択すると、メール作成画面が表示されます。

フォルダ一覧画面の見かた

■ 受信メールフォルダ一覧画面

保存領域の使用率とページ番号／総ページ数

- (グレー)：メールなし
- (黄)：未読メールなし
- ：未読メールなし（プライバシーON）
- ：未読メールなし（メール連動型ｉアプリで利用）
- ：未読メールあり
- ：未読メールあり（プライバシーON）
- ：未読メールあり（メール連動型ｉアプリで利用）

■ 送信／未送信メールフォルダ一覧画面

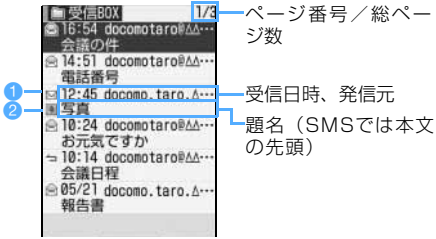
- (グレー)：メールなし
- (黄)：メールあり
- ：プライバシーON
- ：メール連動型ｉアプリ

メール一覧画面の見かた

■ 受信メール一覧画面

ページ番号／総ページ数

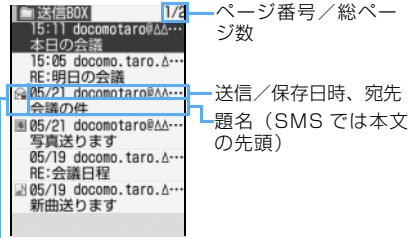
❶ 受信日時、発信元

❷ 題名（SMSでは本文の先頭）

❶ ：未読　：未読（返信不可）
：既読　：既読（返信不可）
：既読（返信済み）　：既読（転送済み）
：保護　：保護（返信不可）
：保護（返信済み）　：保護（転送済み）

- 返信済み／転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

❷ ：10000バイト以内の画像あり
：10000バイトを超える画像あり
：メロディあり
：10000バイト以内の画像とメロディあり
：SMS　：ｉアプリToあり
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

- メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあると、題名の先頭にが表示されます。
- 10000バイトを超える画像が添付されているときは、10000バイト以内の画像やメロディの添付を示すマークは表示されません。
- 発信元が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。
- 海外から送られてきたSMSでは発信元の先頭に「＋」が表示されます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 受信したｉモードメールによっては題名が表示されない場合があります。
- データ異常のSMSにはが表示され、受信日時は「--/--」（受信当日のみ）となります。発信元は表示されません。

■ 送信／未送信メール一覧画面

マークなし：未保護　：保護
：圏内自動送信　：保護（圏内自動送信）
：圏内自動送信失敗
：保護（圏内自動送信失敗）
：10000バイト以内の画像あり
：10000バイトを超える画像あり
：メロディあり
：ｉモーションあり
：10000バイト以内の画像とメロディあり
：SMS
：メール連動型ｉアプリで利用されるメール

- メール一覧表示設定を「1行表示」に設定しているときは、添付ファイルがあると、送信メール一覧では題名の先頭にが表示されます。
- ｉモーションまたは10000バイトを超える画像が添付されているときは、10000バイト以内の画像やメロディの添付を示すマークは表示されません。
- 送信／保存日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 宛先が電話帳に登録されているときは名前が表示されます。

メール詳細画面の見かた

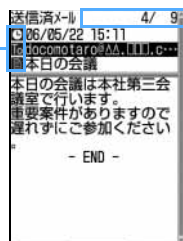
■ 受信メール詳細画面

宛先マーク※1、状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク、メール番号／件数

※1：TO、CC、BCCのいずれで送られてきたのかを示します（iモードメールの場合）。

- 🕒：受信日時　From：発信元
- To：宛先（TO）
- Cc：宛先（CC）（iモードメールのみ）
- 📄：題名（SMSは「受信SMS」、「SMS送達通知」、「留守番　着信通知」）
- ×：発信元（返信不可）
- To×：宛先（TO）（返信不可）（iモードメールのみ）
- Cc×：宛先（CC）（返信不可）（iモードメールのみ）

・データ異常のSMSには×が表示されます。

■ 送信メール詳細画面

状態マーク、添付ファイルマーク、SMSマーク、メール番号／件数

- 🕒：送信日時　To：宛先（TO）
- Cc：宛先（CC）（iモードメールのみ）
- Bcc：宛先（BCC）（iモードメールのみ）
- 📄：題名

おしらせ

- パソコンから装飾されたメールを受信した場合、パソコンと同じ動作にならない場合があります。
- メール本文の添付データ（iアプリが起動できるリンク項目、本文中に表示されるメロディ（MFi形式））が複数添付されていると添付データは無効になります。このとき添付マークには ? が表示されます。
- デコメールを表示した場合、デコメールの背景色によっては、画像やｉモーション取得先URLの文字色と重なってURLが見えない場合があります。
- ｉモードメールでは、発信元または宛先のメールアドレスが電話帳データのメールアドレス欄と照合されます。SMSでは、発信元または宛先の電話番号が電話帳データの電話番号欄と照合されます。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☛P95
- SMSおよび送達通知、着信通知の題名、発信元は次のように表示されます。

項目	SMS	送達通知	着信通知
題名	受信SMS	SMS送達通知	留守番 着信通知
発信元	電話番号	SMS Center	DoCoMo SMS

・電話番号が電話帳に登録されているときは、発信元には名前が表示されます。

・発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。

「非通知設定」：非通知に設定して送られてきた
「公衆電話」　：公衆電話から送られてきた
「通知不可能」：発信者番号を通知できない方法で送られてきた

- 添付ファイルやｉアプリが起動できるリンク項目がある場合、詳細画面にマークと添付ファイル名などが表示されます。

・画像のマークの意味☛P216
・メロディのマークの意味☛P218
・ｉアプリが起動できるリンク項目について☛P249

フォルダを作成・削除する

フォルダを作成する

・「受信メール」では「受信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外に最大40個作成できます。
・「送信メール」「未送信メール」では「送信BOX」フォルダ、「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダ以外にそれぞれ最大10個作成できます。
・「受信BOX」フォルダ、「送信BOX」フォルダ、「未送信BOX」フォルダとメール連動型ｉアプリ用のフォルダのフォルダ設定は変更できません。

例 受信メールのフォルダを追加するとき

1 ✉ 1

・送信メール☛P219
・未送信メール☛P219

2 MENU 1

■ フォルダ設定を変更する：フォルダを選ぶ ▶ MENU 3

3 各項目を選択して設定

フォルダ名：
メールのフォルダ名を設定します（全角 8 文字（半角 16 文字）まで）。

プライバシー：
「ON」に設定すると、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）はフォルダを表示しません。

4 [□] を押す

フォルダを削除する

- お買い上げ時に登録されている「受信 BOX」フォルダ、「送信 BOX」フォルダ、「未送信 BOX」フォルダは削除できません。
- 保護されているメールがあるフォルダは削除できません。保護解除してから削除してください。
- メール連動型 i アプリ用のフォルダは、そのフォルダに対応する i アプリがあるときは削除できません。

例 受信メールのフォルダを削除するとき

1 [✉][1]

- 送信メール ☛P219
- 未送信メール ☛P219

2 フォルダを選ぶ ▶ [MENU][2]

3 端末暗証番号を入力 ▶「はい」を選択

メールの件数を確認する　フォルダ内メール件数

受信メール、送信メール、未送信メールの保存件数をフォルダごとに確認します。

例 受信メールの保存件数を確認するとき

1 [✉][1]

- 送信メール ☛P219
- 未送信メール ☛P219

2 フォルダを選ぶ ▶ [MENU][5]

おしらせ

● メール一覧では [MENU] を押し、「表示」→「メール件数確認」を選択します。

メールアドレスを確認する　アドレス表示

メールアドレスが途中までしか表示されていない場合や、電話帳に登録されていて名前が表示されている場合は、この方法でメールアドレスを確認できます。

例 受信メールのメールアドレスを確認するとき

1 [✉][1] ▶ フォルダを選択 ▶ メールを選択

- 送信メール ☛P219
- メールテンプレート ☛P210

2 発信元または宛先を選択

おしらせ

● 複数のメールアドレスをまとめて確認するときは、メール詳細画面で [MENU] を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。受信／送信／未送信メール一覧では、アドレスを表示するメールを選び [MENU] を押し、「表示」→「アドレス表示」を選択します。送信メール、未送信メールでは全宛先のメールアドレスが、受信メールでは発信元のほか、同報送信された宛先（自分以外）が表示されます（「TO:」「CC:」も表示されます）。

受信／送信メールをフォルダに移動する　メール移動

保存してあるメールを別のフォルダに移動します。

例 受信メールを他のフォルダに 1 件移動するとき

1 [✉][1] ▶ フォルダを選択

- 送信メール ☛P219
- 未送信メール ☛P219

2 受信メールを選ぶ ▶ [MENU][4][1][1]

■ 複数移動する：[MENU][4][1][2] ▶ メールを選択 ▶ [□]

■ フォルダ内のすべての受信メールを移動する：[MENU][4][1][3]

3 [□] ▶ 移動先フォルダを選択 ▶「はい」を選択

おしらせ

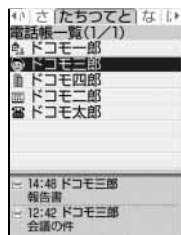
● 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
● 圏内自動送信を設定した i モードメールをメール連動型 i アプリ用のフォルダに移動すると、圏内自動送信の設定は解除されます。

メールを検索する　メール検索

受信メールや送信メールを、発信者・宛先または受信日・送信日を指定して検索します。
- 受信メールでは発信者または受信日を指定して検索します。
- 送信メールでは宛先または送信日を指定して検索します。

例 受信メールを発信者で検索するとき

1 [✉][1]
- 送信メール ☛P219

2 [MENU][9][1] ▶ **検索する電話帳を選択**

- 受信日または送信日で検索する：[MENU][9][2] ▶ 日付を選択
- 電話帳や日付を選ぶと、該当するメールの先頭2件が表示されます。
  - ・[↓]を押すと全メールが一覧表示されます。
  - ・送信メールを宛先で検索する場合、2件目以降の宛先に電話帳の相手が設定されていても検索されます（選択中の画面には1件目の宛先が表示されます）。
- シークレット属性が設定されている電話帳データは、シークレットモードにすると表示されます。

3 **表示するメールを選択**
- 検索結果画面からは、メール一覧と同様の操作ができます。

おしらせ
● 受信メール一覧、送信メール一覧で[MENU]を押し、「メール検索」→「電話帳でメール検索」または「カレンダーでメール検索」を選択しても同様に操作できます。フォルダ内のメールだけが検索されます。

受信／送信メールを並べ替える　ソート

受信メールや送信メールの一覧の並び順を一時的に変更します。表示を終了すると、並び順は「日付順」に戻ります。
- 日付順、送信者順（送信メールでは宛先順）、タイトル順が選択できます。
- 未送信メールやFOMAカード内のSMSの並び順は変更できません。

お買い上げ時　日付順

例 受信メール一覧を並べ替えるとき

1 [✉][1] ▶ **フォルダを選択**
- 送信メール ☛P219

2 [MENU][7][4] ▶ [1]～[3]
■ **送信メールを並べ替える：**[MENU][5] ▶ [1]～[3]

おしらせ
● 送信者順または宛先順の場合、メールアドレスが電話帳に登録されていても電話帳の名前ではなくメールアドレスの順に並び替わります。
● タイトル順の場合、全角／半角の文字が混在していると、50音順と一致しない場合があります。
● 同じフォルダ内にSMS が含まれていると、一覧画面では SMS はメッセージの本文の先頭が表示されるため、タイトル順で並べ替えた場合、50 音順と一致しません。

受信メールの既読／未読を変更する

- 保護されている受信メールの既読／未読は変更できません。

例 既読メールを 1 件未読にするとき

1 [✉][1] ▶ **フォルダを選択**

2 **メールを選ぶ** ▶ [MENU][5][2]
■ **未読メールを 1 件既読にする：メールを選ぶ** ▶ [MENU][5][1]

■ **既読メールを複数選択して未読にする：**[MENU][5][4] ▶ **メールを選択** ▶ [📖] ▶「はい」を選択

■ **未読メールを複数選択して既読にする：**[MENU][5][3] ▶ **メールを選択** ▶ [📖] ▶「はい」を選択

■ **フォルダ内のメールを全件未読にする：**[MENU][5][6] ▶「はい」を選択

■ **フォルダ内のメールを全件既読にする：**[MENU][5][5] ▶「はい」を選択

受信／送信メールを保護する　メール保護

受信メール、送信メール、未送信メールを保護すると、誤って削除したり、保存領域が足りずに上書きされたりすることを防ぐことができます。
- 最大保護件数 ☛P38
- 未読メールは保護できません。

例 受信メールを1件保護するとき

1 ✉ 1 ▶ **フォルダを選択**
- 送信メール ☛P219
- 未送信メール ☛P219

2 **メールを選ぶ** ▶ MENU 3 1

メールが保護され、マークが次のいずれかに変わります。

受信メール：(既読)　(返信不可)　(返信済み)　(転送済み)

送信／未送信メール：

- 解除する：メールを選ぶ ▶ MENU 3 4

■ **複数保護する：MENU 3 2 ▶ メールを選択 ▶ 📖**
- 保護されていない受信メールが最大保護件数を超えて保存されている場合は全選択できません。

■ **フォルダ内の受信メールを全件保護する：MENU 3 3**

■ **複数解除する：MENU 3 5 ▶ メールを選択 ▶ 📖**

■ **全件解除する：MENU 3 6**

おしらせ
- メール詳細画面ではMENUを押し、「保護」／「保護解除」を選択します。
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。
- 「全件保護」を選択すると、日時が新しいメールから順に、最大保護件数に達するまで保護されます。

受信／送信メールを削除する　メール削除

受信メール、送信メール、未送信メールから不要なメールを削除します。
- 保護されているメールは削除できません。まとめて削除する場合、条件に該当していても保護されているメールは削除されずに残ります。保護を解除をしてから削除してください。

受信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細
メール全件	○	×	×
フォルダ内 - 既読	○	○※1	×
フォルダ内 - 全件	○	○※1	×
フォルダ内-7日経過※3	○	○※1	×
フォルダ内-14日経過※3	○	○※1	×
フォルダ内-30日経過※3	○	○※1	×
1件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※2	×

※1：メール検索結果の一覧からは実行できません。
※2：メール検索結果の一覧からのみ実行できます。
※3：メール受信後の経過日数によって削除します。
- まとめて削除する場合、条件に該当する未読メールも削除されます。

例 受信メールを1件削除するとき

1 ✉ 1

■ **メールをすべて削除する：MENU 4 6 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ 操作4に進む**

2 **フォルダを選択**

3 **受信メールを選ぶ** ▶ MENU 2 1

■ **複数削除する：MENU 2 2 ▶ メールを選択 ▶ 📖**

■ **フォルダ内の既読メールを削除する：MENU 2 3**

■ **フォルダ内の受信メールをすべて削除する：MENU 2 4 ▶ 端末暗証番号を入力**

■ **受信後の経過日数によって削除する：MENU 2 ▶ 5 ～ 7**

4 **「はい」を選択**

おしらせ
- メール詳細画面ではMENUを押し、「削除」を選択します。
- 受信メールを複数選択しているときにメールを受信すると、「メールを表示できません」と表示され、それまでの操作が中止される場合があります。

送信／未送信メールを削除する

○：実行可　×：実行不可

削除方法	実行する画面		
	フォルダ一覧	メール一覧	詳細（送信メール）
メール全件	○	×	×
フォルダ内 - 全件	○	×	×
全件削除※1	×	○	×
1 件削除	×	○	○
複数削除	×	○	×
全検索結果削除	×	○※2	×

※ 1：フォルダ内の全メールを削除します。
※ 2：送信メール検索結果の一覧からのみ実行できます。

例 送信メールを 1 件削除するとき

1 [✉][5]

- 未送信メール ☛P219

■ **メールをすべて削除する：**[MENU][4][2]▶端末暗証番号を入力▶操作 4 に進む

2 フォルダを選択

3 メールを選ぶ▶[MENU][2][1]

■ **複数削除する：**[MENU][2][2]▶メールを選択▶[📖]

■ **フォルダ内の送信メールをすべて削除する：**[MENU][2][3]▶端末暗証番号を入力

4 「はい」を選択

おしらせ

● フォルダ一覧では[MENU]を押し、「メール削除」を選択します。
● メール詳細画面では[MENU]を押し、「削除」を選択します。

メールの便利な機能

本文に電話番号やメールアドレス、URL があるとき、これらを選択して音声電話／テレビ電話をかけたり（Phone To ／ AV Phone To）、i モードメールを作成したり（Mail To）、サイトに接続したり（Web To）できます。また、表示中のｉモードメール、SMS の本文中の文字をコピーしたり、電話番号やメールアドレスなどを電話帳に登録することもできます。

Phone To（AV Phone To）• Mail To • Web To 機能を使う

- 操作方法はサイトからのPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web Toと同じです。
- パソコンなどからメールを受信した場合、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が利用できないことがあります。

本文などをコピーする

表示中のｉモードメール、SMS、メールテンプレート中の文字をコピーできます。コピーした文字は、メール作成画面や電話帳の登録画面などの入力欄に貼り付けることができます。

- FOMAカード内のSMSの場合、本文コピーと宛先コピー、発信元コピーができます。
- デコメールの場合、装飾情報はコピーされず、テキストのみコピーされます。
- コピーした文字は電源を切るまで FOMA 端末に記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- 記録できるのは1件だけです。新たにコピーを行うと前にコピーした文字に上書きされます。

例 受信メール詳細画面からコピーするとき

1 受信メール詳細画面を表示

- 選択項目コピーの場合は、コピーする項目を選びます。

2 [MENU][2]

- テンプレートを表示しているときは[MENU][3]を押します。

3 コピー方法を選択

本文コピー：
本文中の指定した範囲の文字をコピーします。

題名コピー：
題名をコピーします。

選択項目コピー：
カーソルを合わせている項目をコピーします。

- 本文コピーの場合はコピーする範囲を指定します。指定方法については ☛P185「URL をコピーする」操作 2

4 貼り付け先の文字入力画面を表示▶文字を貼り付ける

おしらせ

● メールにDate To形式の本文が含まれている場合は、いったんメモ帳に貼り付けて保存するとスケジュール登録できます。

受信／送信メールから電話をかける　電話発信

受信メールの送信者や送信メールの宛先に電話をかけることができます。

- 電話番号とメールアドレス（相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合を除く）を電話帳に登録しておく必要があります。
- シークレット属性を設定した電話帳データにメールアドレスが登録されている場合は、シークレットモード中だけ電話をかけられます。

例 受信メールから電話をかけるとき

1 受信メール一覧を表示

2 メールを選ぶ ▶ MENU 6

- 受信メール／送信メール詳細画面では電話をかける相手（発信者／宛先）を選び MENU 7 を押します。
- 同報アドレスがあるときはメールアドレス選択画面が表示されます。電話をかけるメールアドレスを選択してください。

3 発信条件を設定

4 MENU ▶「はい」を選択

電話番号やアドレス、URL を電話帳に登録する

表示中の i モードメール、SMS中のメールアドレス、電話番号、URLを電話帳に登録できます。新規に登録することも、登録済みの電話帳データに追加することもできます。

例 受信メール詳細画面から電話帳登録するとき

1 項目を含むメールを表示

2 項目を選ぶ ▶ MENU 4

3 新規登録するときは 1 、登録済みの電話帳データに追加するときは 2

- 以降の操作は「電話番号やメールアドレスを電話帳に登録する」の操作 3 以降と同じです。☛P186

おしらせ

- 送信メール詳細画面やFOMAカード内のSMS詳細画面では MENU を押し、「登録」を選択します。
- デコメールからは登録できない場合があります。
- メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

URL をブックマークに登録する

表示中の i モードメール、SMSの本文中にURLがあるとき、その画面から直接、URL をブックマークに登録できます。

例 受信メール詳細画面からブックマーク登録するとき

1 URL を含むメールを表示

2 URL を選ぶ ▶ MENU 4 3

3 フォルダを選択

おしらせ

- デコメールからは登録できない場合があります。

FOMA 端末のメール機能を設定する　メール設定

Menu 193

メールを自動的にフォルダに振り分ける　メール振り分け設定

受信／送信した i モードメールやSMSに振り分け条件を設定し、自動的にフォルダに振り分けるかどうかを設定します。

- 受信メール、送信メールの振り分け条件はそれぞれ30件登録できます。

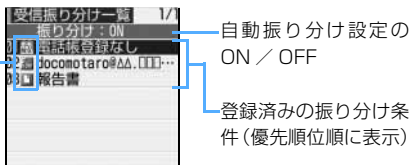
振り分け条件を設定する

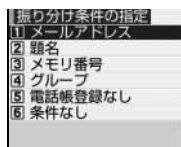
- 振り分け条件を設定したり実行するには、受信振り分け設定／送信振り分け設定の自動振り分け設定を「ON」に設定する必要があります。お買い上げ時は「ON」に設定されています。☛P228
- 条件設定後に受信／送信するメールに対して有効です。受信／送信済みのメールは振り分けられません。
- 通常のメールをメール連動型 i アプリ用のフォルダに振り分けることもできます。
- メール連動型 i アプリのメールは、該当するメール連動型 i アプリ用のフォルダがあると、振り分け条件の設定に関わらず、そのフォルダに保存されます。

例 受信メールを振り分けるとき

1 ✉ 9 3

2 [1]

- 送信メールを振り分ける：[2]

：送信メールアドレス
：受信メールアドレス
：メモリ番号　　：電話帳登録なし
：題名　　：グループ
：条件なし

3 [MENU][1]▶振り分け条件を指定

振り分け条件の指定画面

■ **メールアドレスを指定する：**
指定したメールアドレスで受信／送信したメールを振り分けます。メールアドレスは@以降の文字も含めてアドレス全体を指定します（半角50文字まで）。アドレスの一部の文字では振り分けられません。電話番号を指定すると、SMSも振り分けできます。
① [1][2]▶**メールアドレスを入力**▶[■]
- 電話帳に登録されているメールアドレスを指定する：[1][1]▶電話帳を選択▶メールアドレスを選択

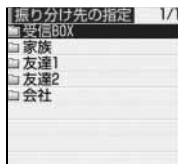
■ **題名を指定する：**
指定した文字を含む題名のメールを振り分けます（全角15文字（半角30文字）まで）。SMSは題名では振り分けできません。
① [2]▶**題名を入力**▶[■]

■ **メモリ番号を指定する：**
FOMA端末電話帳の指定したメモリ番号に登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。
① [3]▶**メモリ番号を入力**▶[■]
② **電話帳データを選択**

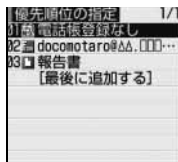
■ **グループを指定する：**
グループに登録されているメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。
① [4]
② **FOMA端末電話帳のグループを指定するときは[1]、FOMAカード電話帳のグループを指定するときは[2]**
③ **グループを選択**

■ **電話帳登録なしを指定する：[5]**
電話帳に登録されていないメールアドレスまたは電話番号のメールを振り分けます。ｉモードメールでは電話帳のメールアドレス、SMSでは電話帳の電話番号と照合されます。

■ **条件なしを指定する：[6]**
条件を設定せずにすべてのメールを振り分けます。

4 振り分け先フォルダを選択

- メール連動型ｉアプリ用のフォルダを選択したときは、選択したフォルダのメールがｉアプリで利用される旨のメッセージが表示されます。振り分け先として設定するときは「はい」を選択します。

5 優先順位を指定

選択した行の上に新しい振り分け条件が追加されます。

- 1件目の条件を登録する：[最後に追加する]を選択
- 最後に追加する：[最後に追加する] を選択
- 優先順位の高い条件から順に並べます。
- 登録済みの条件を変更したときは［最後に追加する］は、［最後に移動する］と表示されます。

おしらせ

● 発信元の端末がｉモード端末でメールアドレスが携帯電話番号の場合、受信するアドレスは携帯電話番号のみになるため、振り分け設定に「携帯電話番号@docomo.ne.jp」と登録した場合は振り分けられません。
● FOMA 端末電話帳と FOMA カード電話帳に同一のメールアドレスが登録されている場合、FOMA 端末電話帳のメールアドレスを優先して振り分けるため、振り分けの優先度と一致しない場合があります。
● 条件は優先順位に従って判定されます。たとえば、条件を 2 件設定した場合、次のように振り分けられます。
  ① 優先順位1の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは②に進みます。
  ②優先順位2の条件に該当するかどうかが判定され、条件に合えば指定のフォルダに保存されます。条件に合わなかったときは「受信 BOX」フォルダまたは「送信 BOX」フォルダに保存されます。

振り分け条件を確認・変更する

1 [✉][9][3]▶[1]～[2]

2 **振り分け条件を選択**

• 条件を確認中でも振り分け条件の変更、削除ができます。

■ **登録済みの振り分け条件を変更する：**
① **振り分け条件を選ぶ▶[MENU][2]▶振り分け条件を指定**
• 振り分け条件の指定は「振り分け条件を設定する」の操作3以降と同じです。☞P227
② **「変更する」を選択**

■ **優先順位を変更する：振り分け条件を選ぶ▶[MENU][5]▶位置を選択**
• 選択した位置の上に条件が移動します。一覧の最後に移動するときは、[最後に移動する］を選択します。

■ **条件を削除する：振り分け条件を選ぶ▶[MENU][3]▶「はい」を選択**
• 条件をすべて削除する：[MENU][4]▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

自動的に振り分けるかどうかを設定する

•「ON」に設定しても、振り分け条件を設定しないと振り分けられません。

お買い上げ時 受信振り分け設定：ON
送信振り分け設定：ON

例 受信メールを振り分けるとき

1 [✉][9][3]

2 [1]▶[MENU][6]

• 送信メールを設定する：[2]▶[MENU][6]

3 [1]～[2]

Menu 194

メールの署名を登録する 署名設定

ｉモードメールやSMSの本文に付ける署名を登録します。また、メール作成時に署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。

• 署名は全角50文字（半角100文字）まで入力できます。

お買い上げ時 自動挿入：する 署名：未登録

1 [✉][9][4]

2 **各項目を選択して設定**

自動挿入：
署名を自動挿入するかどうかを設定します。
• 自動挿入しない場合は「しない」を選択します。

署名：
署名の内容を登録します。

3 [📖] **を押す**

おしらせ

● SMS 設定で送信文字種を「英語」に設定した場合、SMS 新規作成時は、署名は挿入できません。
● 送信文字種が「英語」に設定された SMS に返信、転送するときは、署名は挿入できません。
● 署名も本文の文字数に含まれます。
● 自動挿入を「する」に設定した場合、メールに返信するとき、メールを転送するときも本文の最後に挿入されます。
● 署名を登録したときは、自動挿入の設定に関らずメールの本文入力時に [MENU] を押し「署名挿入」を選択すると挿入できます。
● 署名に電話番号やメールアドレス、URL を入れておくと、ｉ モード端末に ｉ モードメールを送信した場合、相手が Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To 機能を使うことができます。

Menu 164 / Menu 2732 / ✚732

センター問い合わせの内容を設定する
iモード問合せ設定

・お買い上げ時はメール、メッセージR、メッセージFのすべてに☑が付いています。問い合わせをしない場合は、☐にしてご利用ください。

お買い上げ時　すべて選択

1 [✉][6][4]

2 **問い合わせ項目を選択**
・いずれかの項目を選択しないと登録できません。

3 **[📖]を押す**

Menu 1972

メールを選択して受信できるようにする
メール選択受信設定

お買い上げ時　OFF

1 [✉][9][7][2]▶[1]～[2]
・「ON」に設定するとメールを自動的に受信できない旨のメッセージが表示されます。[📥]を押してください。

Menu 196

宛先をメールグループに登録する
メールグループ設定

複数のメールアドレスをメールグループに登録すると、iモードメール作成時に簡単な操作で複数の宛先が設定できます。
・メールグループは最大20件登録できます。1つのメールグループには、最大5件のメールアドレスを登録できます。

1 [✉][9][6]

2 [📖]
■ メールグループ名を編集する：メールグループを選ぶ▶[MENU][2]
■ メールグループをコピーする：メールグループを選ぶ▶[MENU][3]
■ メールグループを1件削除する：メールグループを選ぶ▶[MENU][4][1]▶「はい」を選択
■ メールグループを全件削除する：[MENU][4][2]▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

3 **メールグループ名を入力(全角8文字(半角16文字)まで)▶[📖]**
・続けて別のメールグループを登録する：[📖]

4 **メールグループを選択**
■ メールアドレスを編集する：メールアドレス(または名前)を選択▶メールアドレスを編集▶[📖]
■ メールアドレスを1件削除する：メールアドレス(または名前)を選ぶ▶[MENU][2]▶「はい」を選択
■ メールアドレスの詳細を表示する：[MENU][3]▶メールアドレスの確認が終わったら[📥]

5 **[✉]▶各項目を選択して設定**

宛先種別：
TO、CC、BCCを設定します。☛P203

アドレス：
メールアドレスを入力します（半角50文字まで）。
・電話帳から選択する：[📇] ☛P100

6 [📖]
・既に電話帳に登録されているメールアドレスは、電話帳で登録している名前が表示されます。電話帳に登録されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
・他のメールアドレスを追加する：操作5から繰り返す

7 **[📖]を押す**
メールグループにメールアドレスが登録されます。
・メールグループを選び[✉]を押すとiモードメールを作成できます。

おしらせ
● 宛先種別にTOがないと、メールを送信できません。

Menu 1951

返信時に本文を引用するかどうかを設定する　メール返信引用設定

ｉモードメールや SMS に返信する際に、受信メールの本文を引用するかどうかを設定します。また、引用する本文に付ける引用文字を設定します。

お買い上げ時　引用：する　引用文字：>（半角）

1 [✉][9][5][1]

2 各項目を選択して設定

引用：
　メール返信時に本文を引用するかどうかを設定します。
　・「する」を選択すると、「引用文字」を設定できます。

引用文字：
　全角1文字（半角2文字）まで入力できます。
　・引用文字も本文の文字数に含まれます。
　・送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

3 [📖]を押す

Menu 1952

返信時にクイック返信本文を挿入するかどうかを設定する　クイック返信設定

- SMS にはクイック返信本文は挿入できません。
- 「ON」に設定しても、クイック返信本文が登録されていないと挿入できません。

お買い上げ時　ON

1 [✉][9][5][2]▶[1]～[2]

Menu 1953

クイック返信時に挿入する本文を登録する　クイック返信本文登録

- 最大5件登録できます。
- お買い上げ時の状態から新たに本文を登録するには、登録されている本文を選択して修正するか、不要な本文を削除してください。

お買い上げ時　OK です。　NG です。　ありがとう！　ゴメンなさい！　後ほど連絡します。

1 [✉][9][5][3]▶**本文を選択**

2 本文を入力（全角20文字（半角40文字）まで）▶[📖]▶「はい」を選択

・改行はできません。

■ 登録されている本文を確認する：クイック返信本文一覧で本文を選ぶ▶[📖]

■ 登録されている本文を削除する：クイック返信本文一覧で本文を選ぶ▶[MENU][1]▶「はい」を選択

■ 新たに本文を登録する：クイック返信本文一覧で<新しい返信本文>を選択▶本文を入力▶[📖]

■ お買い上げ時の内容に戻す：クイック返信本文一覧で[MENU][2]▶端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

Menu 1975

メール一覧の表示形式を設定する　メール一覧表示設定

受信メールや送信メールの一覧の表示形式を設定します。

・未送信メールやFOMAカード内のSMSでは設定に関わらず、2行表示されます。

お買い上げ時　2行表示

2行表示　　　1行表示

選んでいるメールの発信元（送信メールでは1件目の宛先）

1 [✉][9][7][5]▶[1]～[2]

Menu 1973

添付ファイルを受信するかどうかを設定する　メール受信添付ファイル設定

ｉモードメールに添付されている画像やメロディを受信するかどうかを設定します。

お買い上げ時　画像、メロディ受信

1 [✉][9][7][3]▶[1]～[4]

おしらせ

● 「受信しない」または「メロディのみ受信」に設定するとメール本文に挿入された画像も受信できません。
● 受信しない添付ファイルはｉモードセンターで削除され、受信できなくなりますのでご注意ください。
● メール本文中に貼付された MFi 形式のメロディは、本設定に関わらず受信します。

メロディを自動再生するかどうかを設定する　添付ファイル自動再生設定

メロディが添付されている i モードメールやメッセージ R/F を表示したときに、メロディを自動的に再生するかどうかを設定します。

お買い上げ時　自動再生する

1 [✉][9][7][4]▶[1]～[2]

おしらせ

- ●「自動再生する」に設定していても、モバ HO! 聴取中はメロディが自動再生されません。
- ●ミュージックプレイヤー／ FM ラジオ起動中は、再生が一時停止または受信が停止されます。
- ●「自動再生する」に設定した場合、メロディが添付されている受信メール、送信メール、メールテンプレート、メッセージ R/F を表示すると、電話着信音量調整で設定されている音量でメロディが 1 回再生されます。複数のメロディが添付されているときは順番にメロディが再生されます。途中で止めるには [CLR] を押します。

表示するメールの種別を選ぶ　表示種別

指定した種別のメールだけを表示します。表示を終了すると「すべて表示」に戻ります。

- 受信メールでは「すべて表示」、「未読のみ表示」、「既読のみ表示」、「保護のみ表示」が選択できます。
- 送信メールでは「すべて表示」、「保護のみ表示」が選択できます。
- 未送信メールや FOMA カード内の SMS の表示種別は選択できません。

お買い上げ時　すべて表示

例　受信メールの表示種別を選択するとき

1 [✉][1]▶ **フォルダを選択**

- 送信メール☛P219

2 [MENU][7][2]▶[1]～[4]

おしらせ

- ●「既読のみ表示」では、保護されている受信メールは表示されません。

メールの文字の大きさを変更する　文字サイズ

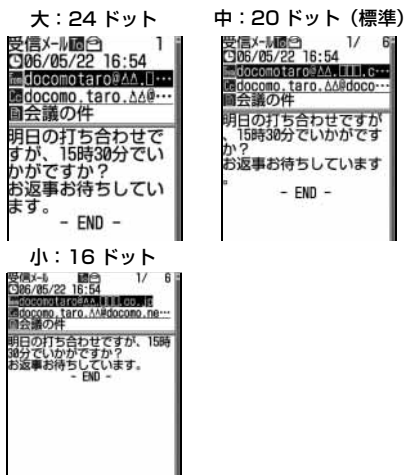
受信メールや送信メール、メールテンプレートの内容を表示するときの文字サイズを変更します。

- 設定は受信メール、送信メール、メールテンプレートのすべてに反映されます。
- メール作成時および編集時の文字サイズは変更できません。

お買い上げ時　中（標準）

大：24 ドット

中：20 ドット（標準）

小：16 ドット

例　受信メール詳細画面から操作するとき

1 [✉][1]▶ **フォルダを選択**

2 **メールを選択** ▶[MENU][3][1]

- メールテンプレートを表示しているときは、[MENU][4][1] を押します。

3 [1]～[3]

おしらせ

- ●文字サイズの変更は次に設定を変更するまで保持されます。

メール　メール設定

メール着信時の動作を設定する　メール着信設定

ｉモードメール、SMSを受信したときの動作を設定します。

お買い上げ時　着信音選択：メロディ／メール・メロディA
着信イルミネーション設定：点滅／アクア
バイブレータ設定：OFF
鳴動時間：10秒

1 [メール] [9] [1]

2 各項目を選択して設定

着信音選択：
「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには ☛P114

着信イルミネーション設定：
着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると点灯色は設定できません。

バイブレータ設定：
バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）：
着信音が鳴動している時間を設定します（1～30秒）。

3 [完了]を押す

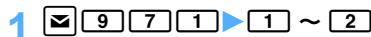
おしらせ

- メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
- 電話帳でメール着信設定をしている相手からのメールを受信した場合は、電話帳の設定で動作します。☛P97

メール受信通知を設定する　受信表示設定

FOMA端末の操作中にｉモードメールやSMS、メッセージR/Fを受信したときに、受信中画面および受信結果画面を優先的に表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時　操作優先

1 [メール] [9] [7] [1] ▶ [1] ～ [2]

操作優先：
受信中画面および受信結果画面を表示しません。

通知優先：
受信中画面および受信結果画面を表示します。

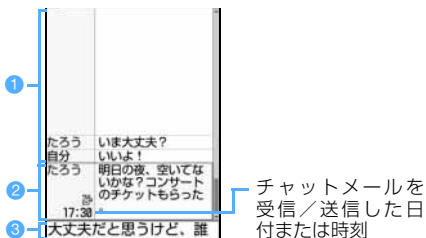
おしらせ

- 「操作優先」に設定すると、待受中以外の場合（他の機能が起動中）は受信中画面や受信結果画面が表示されず、メール着信音も鳴りません。着信ランプも点灯／点滅しません。
- 「通知優先」に設定していても、音声電話中、データ通信中、カメラ起動中、ｉアプリ動作中、ストリーミングタイプのｉモーション再生中、アラーム鳴動中などは受信中画面および受信結果画面は表示されず、メール着信音も鳴りません。着信ランプも点灯／点滅しません。
- オールロック中、PIMロック中、公共モード（ドライブモード）中は設定に関わらず、受信中画面および受信結果表示画面は表示されず、メール着信音も鳴りません。着信ランプも点灯／点滅しません。

チャットメールを作成して送信する　チャットメール作成・送信

複数の相手と会話をするような感覚でメールをやりとりします。メールのやりとりは1つの画面で確認できます。

- あらかじめ相手のメールアドレスをチャットメンバーに登録しておく必要があります。
- メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、または受信／送信メールの保存領域に空きがない場合はチャットメールを利用できません。
- チャットメール非対応端末にチャットメールを送信した場合、相手の端末には「チャットメール」の題名が付いたメールとして届きます。また、チャットメンバーに登録しているチャットメール非対応端末から、題名に「チャットメール」が含まれたメールを受信した場合、チャットメールとして受信できます。
- 複数の相手とチャットメールをやりとりした場合の通信料は、メール同報送信の場合と同じです。

チャットメール画面の見かた

① **送受信履歴**

ガイド行に△▽が表示されているときは[↕]でスクロールできます。

- 画面単位でスクロールする：[i][✉]
- 先頭行に移動する：[MENU][5][1]
- 最終行に移動する：[MENU][5][2]

② **詳細表示欄**

最新または選んだチャットメールの詳細を表示します。表示可能文字数は全角 250 文字（半角 500 文字）までです。

- 詳細表示欄に表示しきれない場合は、欄下の左右に◀▶が表示されます。[↔]でページが切り替わります。

[アイコン]：チャットメンバーに未登録の同報アドレスあり

③ **本文入力欄**

Menu 13

チャットメンバーを登録する

チャットメンバー設定

- チャットメンバーに登録できるのは、最大５件です。同じメールアドレスは複数登録できません。

1 [✉][3]

メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示されます。

- メンバーが既に登録されている場合は、チャットメール画面が表示されます。メンバーを追加登録するときは、[MENU][7]を押して操作3に進みます。

2 「はい」を選択

3 [✉]

4 アドレス欄を選択 ▶ メールアドレスを入力（半角 50 文字まで）

- メンバーに登録する相手がシークレットコードを登録している場合は、電話帳に相手のメールアドレスを登録してからシークレットコードを設定し、相手の携帯電話番号のみをメンバーに登録します。

■ **電話帳から検索する：[i] ▶ 電話帳を選択 ▶ メールアドレスを選択**

5 ニックネーム欄を選択 ▶ ニックネームを入力（全角4文字（半角8文字）まで）

- メールアドレスが、電話帳に登録されているアドレスと一致するときは、電話帳の名前（先頭から全角4文字（半角8文字）まで）がニックネーム欄に表示されます。
- ニックネームを入力しなかった場合は、チャットメール画面では、メールアドレスの@より前の部分の先頭から8文字が表示されます。

6 文字色欄を選択 ▶ 文字色を選択

- 青、赤、緑、オレンジ、黒の順に、登録済みのチャットメンバーに使用していない色から表示されます。
- チャットメール画面ではニックネームが選択した色で表示されます。

7 [📖]

チャットメンバーが表示されます。

- 他のメンバーを追加登録する：[✉] ▶ 操作4〜7を繰り返す

8 [📖]を押す

Menu 13

チャットメールを作成して送信する

- チャットメール送信時は、登録したメンバー全員に送信する設定になっています。送信画面でメンバーを選択することもできますが、チャットメールを終了したり、メンバーの登録内容を変更したりすると、設定は元に戻ります。
- 送信したチャットメールは、「送信メール」の「送信 BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 [✉][3]

- メンバーを登録するかどうかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択してメンバー登録をしてください。

2 本文入力欄を選択 ▶ 本文を入力（全角 250 文字（半角 500 文字）まで）

- スライド編集設定でチャットメールを「ON」に設定している場合、チャットメール画面で FOMA 端末を開くと本文を入力できます。

■ チャットメール画面の履歴から本文をコピーして貼り付ける：
① チャットメールを選ぶ▶ MENU 6 ▶範囲を指定
・範囲の指定方法☞P359
② 本文入力欄を選択▶貼り付ける位置を選ぶ▶ MENU 3

■ 受信したメールの同報アドレス全員に返信する：MENU 2 2

■ 送信するメンバーを選択する：MENU 3 ▶ 宛先を選択▶ 📖

3 📖 を押す

・正常に送信されると、送信されたチャットメールはチャットメール画面に表示されます。

おしらせ

● チャットメールは、以下の操作でも表示できます。
・受信メール一覧でチャットメールを選び MENU 7 5 を押す
・送信メール一覧でチャットメールを選び MENU 7 4 を押す
・受信／送信したチャットメールの詳細画面で MENU 3 3 を押す

● 送信に失敗したり、チャットメール終了時に未送信だったチャットメールは「未送信メール」の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。「未送信 BOX」フォルダにはチャットメールは 1 件のみ保存できます。さらに送信に失敗すると、「未送信 BOX」フォルダに保存されているチャットメールは上書きされます。また、「未送信 BOX」フォルダに保存されているチャットメールは、チャットメール起動時に本文入力欄に表示されます。再送信する場合は、チャットメールから送信してください。

チャットメールを受信する　チャットメール受信

チャットメールを起動しているとき

チャットメンバーに登録している相手から、題名に「チャットメール」（全角・半角を問わず）を含むメールを受信した場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。
・チャットメールを起動しているときは、チャットメールを受信しても、着信音は鳴らず、着信バイブレータも動作しません。着信ランプも点灯／点滅しません。
・チャットメンバーに登録していない相手からチャットメールが送信されてきた場合は、次の「チャットメールを起動していないとき」の操作に従ってチャットメール画面に読み込んでください。

チャットメールを起動していないとき

チャットメールは ｉ モードメールとして「受信メール」の「受信 BOX」フォルダに保存されます。
・メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。

1 受信メール一覧でチャットメール画面に読み込む受信メールを選ぶ▶ MENU 7 5

・受信メール詳細画面では MENU 3 3 を押します。
・読み込むメールの発信元アドレスがチャットメンバーに登録されていない場合は、送信者アドレスを登録するかどうかの確認画面が表示されます。登録するときは「はい」を選択してメンバー登録をしてください。☞P233
・デコメールやパソコンから受信したHTMLメールは、チャットメール画面には読み込めません。

ｉ モードセンターに保管されているチャットメールを受信するとき

1 チャットメール画面で MENU 1

チャットメールがある場合は、履歴を更新する旨のメッセージが表示され、チャットメール画面に受信したチャットメールが追加されます。
・ｉ モード問合せでチャットメールを受信すると、同時に ｉ モードメールも受信します。

おしらせ

● チャットメール画面では本文中に電話番号やメールアドレス、URL が含まれていても、Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To は行えず、ｉ アプリ To の機能も使用できません。また、添付ファイルも表示されません。チャットメールを削除せずに終了し、「受信メール」からチャットメールを表示すると、これらの機能が使用できます。
●「受信メール」からチャットメールを削除した場合は、チャットメール画面のニックネームが「--------」、日付または時刻が「--/--」、本文が「削除されました」と表示されます。
● チャットメールを起動していないとき、チャットメンバーに登録している相手からチャットメールを受信した場合は、次回のチャットメール起動時にチャットメール画面に読み込まれます。
● チャットメール画面で受信したチャットメールは、「受信メール」では既読になります。
● メール連動型 ｉ アプリからメールを送受信した場合、チャットメールとして受信したメールはチャットメール画面に表示されます。

メール　チャットメール作成・送信

同報アドレスを表示する

受信したメールに同報がある場合は、同報アドレスを表示して確認できます。

1 チャットメール画面でメールを選ぶ▶ MENU 4

・メンバー登録されていない同報者はニックネームの代わりに「未登録」と表示されます。またメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、メールアドレスの代わりに名前が表示されます。メールアドレスを確認する場合は を押します。

■ **未登録の同報者をチャットメンバーとして登録する：アドレスを選ぶ▶**

・以降の操作は「チャットメンバーを登録する」の操作5以降と同じです。☛P233

■ **同報アドレスをコピーする：アドレスを選ぶ▶ MENU 2**

チャットメールの履歴をすべて削除する

チャットメール画面に表示されているすべてのチャットメールの履歴を削除します。

・受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

1 チャットメール画面で MENU 9 ▶「はい」を選択

チャットメンバーを編集する

チャットメンバーの登録内容を変更したり、メンバーを追加または削除します。メンバー全員の登録内容の詳細を確認したり、メンバーを入れ替えたりすることもできます。

1 チャットメール画面で MENU 7

2 メンバーを選択▶編集

■ **メンバーを1件削除する：メンバーを選ぶ▶ MENU 2 ▶「はい」を選択**

■ **メンバーの詳細を表示する：**
①MENU 3
②確認が終わったら

■ **メンバーを追加する：**

■ **メンバー全件をメールグループと入れ替える：MENU 5 ▶メールグループを選択▶「はい」を選択**

チャットメールのメンバーが、選択したメールグループに登録されているメンバーと入れ替わります。

3 を押す

個人情報を設定する

チャットメール画面に表示する自分のニックネームとその文字色を設定します。

1 チャットメール画面で MENU 8

2 ニックネーム欄を選択▶ニックネームを入力（全角4文字（半角8文字）まで）

・ニックネームを入力しなかった場合、チャットメール画面では「自分」と表示されます。

3 文字色欄を選択▶文字色を選択

4 を押す

チャットメールを終了する

1 チャットメール画面で または CLR

2 「いいえ」を選択

チャットメールが終了します。次回のチャットメール起動時に、前回のチャットメールが表示されます。

・「はい」を選択すると、チャットメールがすべて削除されます。この場合、受信メール、送信メールのフォルダ内に保存されているチャットメールも削除されますが、保護されているメールは削除されません。

Menu 192

チャットメール着信時の設定を行う

チャットメール着信設定

チャットメールを起動していないときに、チャットメールを受信したときの着信動作を設定します。

お買い上げ時 着信動作設定：メール着信動作に従う

1 9 2

2 各項目を選択して設定

着信動作設定：

着信時の動作を設定するか、メールの着信動作に従うかを設定します。
- 「設定する」に設定すると、以下の項目を設定できます。

着信音選択：

「メロディ」または「着モーション」を選択し、メロディまたは動画／ｉモーションを選択します。着信音を鳴らさないときは「OFF」を選択します。
- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには ☛P114

着信イルミネーション設定：

着信ランプの点灯パターンと点灯色を設定します。
- 点灯パターンを「メロディ連動」または「OFF」に設定すると点灯色は設定できません。

バイブレータ設定：

バイブレータの動作パターンを設定します。

鳴動時間（秒）：

着信音が鳴動している時間を設定します（1 ～ 30 秒）。

3 [📖] を押す

おしらせ

● 同時に複数のメールを受信した場合に本設定どおりの動作となるのは、チャットメールを最後に受信したときのみです。

● メロディによっては、着信イルミネーション設定やバイブレータ設定で「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。

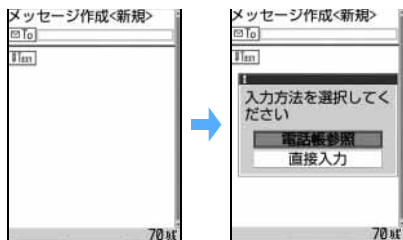
Menu 171

SMS（ショートメッセージ）を作成して送信する

SMS 作成・送信

SMS を作成して送信します。送信せずに保存することもできます。
- 最大保存件数 ☛P38
- 半角カタカナや絵文字を使うと受信側で正しく表示されない場合があります。
- ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも「国際 SMS」の送受信が可能です。ご利用方法やご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。
- 受信、送信、未送信の SMS 一覧／詳細画面の見かた ☛P220

例 宛先を直接入力してSMSを作成・送信するとき

1 [✉][7][1] ▶ [✉To] 欄を選択

2 「直接入力」を選択 ▶ 宛先（相手の電話番号）を入力

- 宛先が電話帳に登録されている場合は、[✉To] 欄に電話帳の名前が表示されます。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合は、「+」（[0] を 1 秒以上押す）「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。また、「010」「国番号」「相手先の携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からの SMS に返信する場合は、「010」を入力して海外に返信してください）。
- [✉To] 欄には26文字まで入力できますが、宛先として送信できるのは20文字（「+」を含めた場合21文字）までです。

■ 電話帳から検索する：「電話帳参照」を選択 ▶ 電話帳を選択 ▶ 電話番号を選択

3 [Text] を選択 ▶ 本文を入力

- SMS設定で送信文字種を「日本語」に設定した場合は、全角・半角を問わず 70 文字まで入力できます。空白も本文の文字数に含まれます。
- SMS設定で送信文字種を「英語」に設定した場合は、半角160文字まで入力できます。英数字と記号（｀。「」、・゛゜を除く）が使用できます。半角空白も本文の文字数に含まれます。
- 文中で改行できます。かな入力方式の場合、改行するときは [#] を押します（全角数字入力モード、半角数字入力モードを除く）。改行も本文の文字数に含まれます。ただし、相手の端末では半角空白に置き換わります。

■ 署名を挿入する：[MENU][4]
- 署名はあらかじめ登録しておく必要があります。

4 [📖] を押す

■ SMS を送信せずに保存する：[MENU][2]
- 宛先、本文のいずれも入力されていない場合は保存できません。
- 保存したSMSを再編集して送信できます。☛P212

おしらせ

● 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
● 発信者番号通知設定を「通知しない」に設定していても、SMS 送信時は送信先に発信者番号が通知されます。
● 送信文字種が英語の場合、一部の記号（| ^ { } [ ] ~ ¥）を入力すると送信できる文字数が少なくなるため、最大文字数以下の文字数でも送信できない場合があります。この場合は、入力文字を少なくして送信し直してください。
● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、SMS を作成できません。「未送信メール」から不要な ｉ モードメール、SMS を削除してください。☛P225
● SMS を送信完了した場合でも、SMS 受信が非対応の機種では正常に SMS を受信することはできません。
● 送信する文字種や送達通知を受け取るかどうかは、あらかじめ SMS 設定で設定します。また、送達通知、有効期間の設定はSMS の作成開始後に変更することもできます。
● 送信が正常に終了したときは、SMSが「送信メール」の「送信 BOX」フォルダに保存されます。ただし、メール振り分け設定で設定した条件と合致した場合は、指定フォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、一番古い送信メールに上書きされます。残しておきたい送信メールは保護してください。
● 送信に失敗したときはエラーメッセージが表示され、SMS が「未送信メール」の「未送信 BOX」フォルダに保存されます。「未送信 BOX」フォルダから SMS を編集・送信できます。☛P212
● 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合、SMS が相手の FOMA 端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は「受信メール」に保存されます。

SMS（ショートメッセージ）を受信したときは　SMS 受信

SMSは自動的に受信し、画面表示や着信音、バイブレータ、着信ランプでお知らせします。受信したSMSは「受信メール」に保存されます。

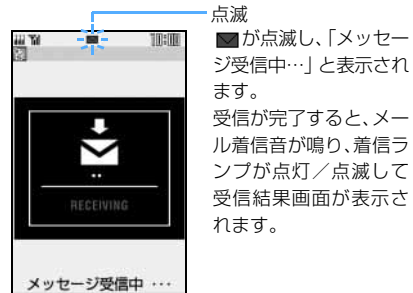
- 最大保存件数 ☛P38

1 SMS を受信

点滅
✉ が点滅し、「メッセージ受信中…」と表示されます。
受信が完了すると、メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示されます。

受信中画面

↓ 受信完了

:未読の SMS あり
✉ :未読の SMS と ｉ モードメールあり
受信結果（スクロール表示）
受信した SMS の件数
受信に失敗したときは「メール」の後ろに「×」が表示されます。受信し直すには、SMS 問合せを行ってください。

受信結果画面

- メッセージ受信中に ☎ を押すと受信を中止します。
- 受信結果画面が表示されてから約 15 秒間、または着信音が鳴り終わるまでの間、何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。早く受信前の画面に戻すときは CLR を押します。

■ **受信したSMSをすぐに読む：受信結果画面で 📩 または 1 ▶フォルダを選択▶SMSを選択**

- 受信したSMSに返信（☛P214）したり、他の宛先に転送（☛P215）できます。
  操作方法は ｉ モードメールの場合と同様です。

おしらせ

● ｉモードメール、メッセージR/F受信中は、SMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。
● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、未読以外の一番古い受信メールに上書きされます。残しておきたい受信メールは保護してください。
  • 未読メールと保護されているメールで保存領域が満杯で上書きできないときは、SMSの受信は中止され、画面にはやが表示されます（☞P30）。受信する場合、未読メールの内容表示、未読メールの既読メールへの変更、不要メールの削除、保護解除などを行う必要があります。
  • FOMAカードにSMSが最大件数（20件）保存されているときは、「受信メール」に空きがあっても、SMSを受信できないことがあります。このとき、画面にはやが表示されます（☞P30）。FOMA端末に移動（☞P240）するか、FOMAカード内のSMSを削除（☞P240）してください。
● 受信したSMSに直接FOMAカードへの保存が指定されている場合は、直接FOMAカードに保存されます。ただし、FOMAカード内のSMSが20件に達している場合は、SMSを受信できません。不要なSMSを削除してから再度、SMS問合せを行ってください。
● 受信表示設定の設定内容によっては、受信中画面や受信結果画面が表示されない場合があります。
● mova端末から送信したショートメールは、FOMA端末ではSMSとして受信します。
● FOMA端末電話帳にメール着信設定のある相手からSMSを受信した場合、メール着信音、着信バイブレータ、着信ランプはFOMA端末電話帳の設定に従って動作します。電話帳との照合については「名前の表示について」を参照してください。☞P95
  • 複数のSMSを同時に受信したときは、最後に受信したSMSの条件に従って動作します。
● ドコモ以外の海外通信事業者からSMSを受信した場合は、発信元のアドレスに自動的に「＋」が付きます。電話帳に「＋」を付けて登録していると、電話帳で登録している名前が表示されます。

Menu 162

SMS（ショートメッセージ）があるかどうかを問い合わせる　SMS問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間にSMSが届いていないかを問い合わせます。

• 電波状態によってはSMS問合せができない場合があります。

1 [✉][6][2]

SMSセンターにSMSが保管されていれば受信します。

おしらせ

● SMS問合せを行っても、受信するまでに時間がかかる場合があります。

Menu 174

SMS（ショートメッセージ）の設定を行う　SMS設定

通常はSMSC、アドレス、Type of Numberの設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　送信文字種：日本語　送達通知：要求しない
有効期間：3日　SMSC：ドコモ
アドレス：81903101652
Type of Number：international

1 [✉][7][4]

2 各項目を選択して設定

送信文字種：
日本語のメッセージを送信するか、英語のメッセージを送信するかを選択します。文字種により送信できる文字数が異なります。

送達通知：
SMSを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。

有効期間：
送信したSMSを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

SMSC：
ドコモ以外のSMSサービスを受ける場合に設定します。
• 「その他」に設定したときは、アドレス欄を選択し、アドレスを入力します（半角20文字まで）。

Type of Number：
「international」「unknown」のいずれかを設定します。
• SMSCに「その他」を設定しアドレス欄に数字のみ、または「＊」、「#」を含んだ番号を入力した場合は、「unknown」に設定してください。

3 [📖]**を押す**

おしらせ

- SMSの作成画面ではMENUを押し、「SMS設定」を選択します。この場合には、「送達通知」「有効期間」のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。
- 送信文字種、有効期間、SMSC、Type of Numberの設定は、FOMA カードに保存されます。

SMS(ショートメッセージ)をFOMAカードに保存する　FOMA カード保存 SMS

送受信したSMSを、FOMA端末からFOMAカードに移動またはコピーします。

SMS(ショートメッセージ)を FOMA カードに移動／コピーする

- 最大保存件数 ☛P38
- 「未送信メール」のSMSは、FOMAカードに保存できません。
- 送信 SMS を移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「FOMAカード（UIM）受信 SMS」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 受信SMSをFOMAカードに1件移動するとき

1 ✉1▶**フォルダを選択**
- 送信 SMS ☛P219

2 **SMS を選ぶ▶MENU 4 2 1**
- ■ 複数移動する：MENU 4 2 2▶SMSを選択▶📖
- ■ 1件コピーする：SMS を選ぶ▶MENU 4 3 1
- ■ 複数コピーする：MENU 4 3 2▶SMS を選択▶📖

3 **「はい」を選択**

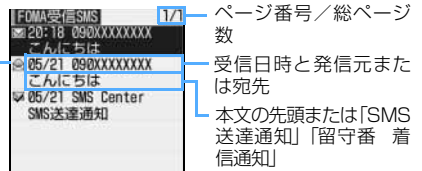
おしらせ

- 受信メール詳細画面、送信メール詳細画面ではMENUを押し、「移動／コピー」→「FOMA カードへ移動」または「FOMA カードへコピー」を選択します。
- FOMA カードに SMS が 20 件保存されているときは移動／コピーできません。FOMAカードから不要な SMSを削除してください。
- 保護の設定は FOMA カードに移動／コピーされません。

FOMA カード内のSMS(ショートメッセージ) を表示する

例 受信 SMS を表示するとき

1 ✉ 7 2

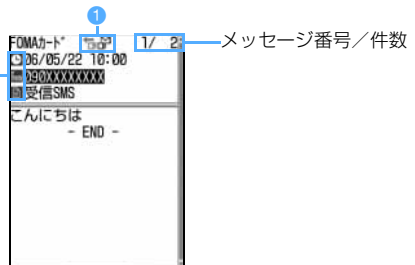
FOMA 受信 SMS 一覧画面では、SMS は 2 行で表示されます。

ページ番号／総ページ数

受信日時と発信元または宛先

本文の先頭または「SMS送達通知」「留守番　着信通知」

- ✉：未読（返信可）　✉：未読（返信不可）
- ✉：既読（返信可）　✉：既読（返信不可）
- ✉：送達通知／着信通知

- 一覧の既読／未読のマークは、FOMA カード内のSMSを表示したかどうかを示します。移動／コピー前の未読／既読の状態も引き継がれます。
- 受信日時には、当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付が表示されます。
- 送信 SMS を表示する：✉ 7 3

2 **SMS を選択**

- ①：受信（返信可）　：受信（返信不可）
- ：送信
- ：送達通知／着信通知
- ：FOMA カード内の SMS
- ②：日時　：宛先
- ：発信元　：発信元（返信不可）
- ：題名（「受信 SMS」「送信 SMS」「SMS送達通知」のいずれか）

- 送達通知の発信元には「SMS Center」、着信通知の発信元には「DoCoMo SMS」と表示されます。
- 送信SMSをFOMAカードに移動／コピーした場合、FOMAカード内の送信SMSから送信日時のデータが消去されます。

メール　FOMAカード保存SMS

おしらせ

● FOMAカード内のSMSから返信／転送、再送信などを行った場合の送信済みメールは、FOMA端末の「送信メール」に保存されます。

FOMAカード内のSMS(ショートメッセージ)をFOMA端末に移動／コピーする

FOMAカードに保存されているSMSを、FOMA端末の「受信メール」、「送信メール」に移動またはコピーします。

- 送信SMSを移動／コピーすると、対応する送達通知があれば、同時に「受信メール」に移動／コピーされます。送達通知だけを移動／コピーすることはできません。

例 受信SMSをFOMA端末に1件移動するとき

1 [✉][7][2]

- 送信SMSを移動／コピーする：[✉][7][3]

2 **SMSを選ぶ▶[MENU][3][1]**

■ 複数移動する：[MENU][3][2]▶SMSを選択▶[📖]

■ 1件コピーする：SMSを選ぶ▶[MENU][3][3]

■ 複数コピーする：[MENU][3][4]▶SMSを選択▶[📖]

3 **[📥]▶移動先フォルダを選択▶「はい」を選択**

おしらせ

● FOMAカード内のSMS詳細画面では[MENU]を押し、「移動／コピー」→「本体へ移動」または「本体へコピー」を選択します。

● 保存領域の空きが足りないときや、最大保存件数を超えるときは、移動／コピーできません。保護されていないSMSやiモードメールがあっても上書きされません。不要なSMS、iモードメールを削除してください。

FOMAカード内のSMS(ショートメッセージ)を削除する

- 送信SMSを削除した場合、対応する送達通知がFOMAカード内にある場合は、同時に削除されます。

例 FOMAカード内の受信SMSを1件削除するとき

1 [✉][7][2]

- 送信SMSを削除する：[✉][7][3]

2 **SMSを選ぶ▶[MENU][2][1]**

■ 複数削除する：[MENU][2][2]▶SMSを選択▶[📖]

■ 全件削除する：[MENU][2][3]▶端末暗証番号を入力

■ 送達通知を全件削除する：[MENU][2][4]▶端末暗証番号を入力

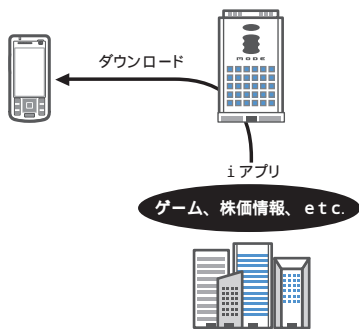
3 **「はい」を選択**

おしらせ

● FOMAカード内のSMS詳細画面では[MENU]を押し、「削除」を選択します。

ｉアプリ

ｉアプリとは

ｉアプリをサイトからダウンロードすることにより、ｉモード対応FOMA端末（以下、ｉモード端末）を便利に活用いただけます。たとえば、ｉモード端末にいろいろなゲームをダウンロードして楽しんだり、株価情報のｉアプリをダウンロードすることにより、株価を定期的に自動チェックするなどが可能です。さらに、地図のｉアプリでは、必要なデータだけをダウンロードするため、スムーズなスクロールが可能です。また、ｉアプリから電話帳やスケジュールに直接登録できるものや、画像保存・画像取得などデータBOXと連動できるｉアプリもあります。

- ｉアプリをダウンロードする☛P243
- ｉアプリを起動する☛P244
- ｉアプリを自動起動する☛P248

おしらせ

- ●ｉアプリによっては、ｉモード端末の携帯電話／FOMAカード（UIM）の製造番号を利用する場合があります。
- ●ｉアプリによっては、実行時に通信を行うものがあります。通信を行わないように設定することもできます。☛P246

登録データを利用する

ｉアプリには、お客様のｉモード端末の登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）を参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存

おしらせ

- ●プライバシーモード中（電話帳・履歴、マイピクチャ、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリがあります。
- ●ｉアプリにより画像が保存される場合は、マイピクチャの「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。

ｉアプリDXとは

ｉアプリDXでは、ｉモード端末の情報（メールや発着信履歴、電話帳データなど）と連動することにより、お好みのキャラクタ画面でメールを作成したり、着信時にキャラクタのコメントで誰からの着信かを知らせたり、メールと連動して株価などの欲しい情報やゲームの進行がよりリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。

登録データを利用する

ｉアプリDXでは、通常のｉアプリで利用できる登録データ（電話帳、ブックマーク、スケジュール、画像、アイコン情報）だけでなく、メール、リダイヤル、着信履歴、着信音などの登録データを参照、登録、操作できるものがあります。登録データを利用してできることは次のとおりです。

- 電話帳登録
- 電話帳参照
- アイコン情報利用
- ブックマーク登録
- スケジュール登録
- メールメニューの利用
- ｉモードメール作成画面利用
- 最新のリダイヤル参照
- 最新の着信履歴参照
- 最新の未読メール参照
- 着信音変更（電話、メール、メッセージR/F）
- データBOXからの画像取得
- データBOXへの画像保存
- データBOXへの動画保存
- データBOXへの着信音保存
- 画像設定の変更（待受画面、電話発着信、テレビ電話発着信、メール送受信、メッセージR/F受信）

おしらせ

- ●ｉアプリDXでは、ｉアプリの有効性を確認するため、ｉアプリの通信設定に関わらず通信する場合があります。通信回数やタイミングはｉアプリによって異なります。
- ●ｉアプリDXを起動するには日付・時刻の設定が必要です。
- ●プライバシーモード中（電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、ｉモーション、スケジュールを「認証後に表示」に設定した場合）は、利用できないｉアプリDXがあります。

● ｉアプリDXにより画像・動画・着信音が保存される場合は、それぞれマイピクチャの「ｉモード」「デコメールピクチャ」フォルダ、ｉモーション・メロディの「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリDX内に保存されます。

メール連動型ｉアプリとは

メール連動型ｉアプリは、ｉアプリDXの一種で、ｉモードメールで情報をやりとりすることにより、株価などの欲しい情報やゲームの進行がリアルタイムに更新されるなど、ｉアプリをより便利に楽しく利用できます。
- メール連動型ｉアプリで利用されるメールは、正しく表示できない場合があります。

こんなこともできます

■ **ｉアプリ待受画面**

ｉアプリ待受画面ではｉアプリを待受画面として利用でき、そのままメールを受信したり、電話をかけることも可能です。ニュースや天気の最新情報を待受画面に表示させたり、お好みのキャラクタがメール受信やアラームを知らせてくれたり、より便利な待受画面にできます。☛P250
- ｉアプリ待受画面に対応したｉアプリで利用できる機能です。

■ **ｉアプリの自動起動**

時刻や日付、曜日などを指定して、ｉアプリを自動起動できます。あらかじめｉアプリに設定されている時間間隔で自動起動できるｉアプリもあります。☛P248

■ **カメラ撮影**

ｉアプリからｉモード端末のカメラを使って撮影できます。
- カメラ撮影機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。☛P253

■ **赤外線通信**

ｉアプリから赤外線通信機能が搭載された機器と通信できます。赤外線通信機能搭載機器と連動してより広がった使い方ができます。☛P253
- 赤外線通信機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。
- 相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できないデータがあります。

■ **赤外線リモコン**

ｉアプリから、赤外線リモコンに対応した家電機器など、各種機器を操作できます。☛P310
たとえばプリインストールされている「Gガイド番組表リモコン」では、テレビ番組表と連動したAVリモコンとして利用することができます。
☛P247
- 赤外線リモコン機能に対応したｉアプリで利用できる機能です。相手の機器に対応したｉアプリが必要です。

サイトからｉアプリをダウンロードする

サイトからｉアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。
- 最大保存件数☛P38
- 電波状況などによりｉアプリのダウンロードに失敗した場合、そのｉアプリはFOMA端末に保存されません。
- モバHO!聴取中は、ｉアプリをダウンロードできません。

1 ｉアプリのあるサイトを表示▶ｉアプリを選択

選択したｉアプリがダウンロードされます。
- ダウンロードを中止する：[キー]▶「はい」を選択

■ **ソフト情報表示設定を「ON」に設定しているとき：**

ｉアプリの情報が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリがダウンロードされます。
- ダウンロードするｉアプリの詳細情報を確認する：[キー]

■ **登録データや携帯電話／FOMAカード(UIM)の製造番号を利用するｉアプリをダウンロードするとき：**

確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロードされます。
- ガイド行に「ガイド」と表示された場合、[キー]を押すと、そのｉアプリが利用するデータの詳細を確認できます。

■ **選択したｉアプリが既にダウンロードされているとき：**

「ダウンロード済みです」と表示されます。
ｉアプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリがダウンロード（バージョンアップ）されます。

■ **選択したｉアプリがすでに異なるFOMAカードでダウンロードされているとき：**

上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ダウンロードしたｉアプリが上書きされます。

2 ｉアプリを保存するフォルダを選択

3 各項目を選択して設定 ▶ [□]

ｉアプリ待受画面：
ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリをｉアプリ待受画面に設定するかどうかを選択します。

通信設定：
ｉアプリに通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報：
ｉアプリにメールや電池残量などの各種アイコンを利用させるかどうかを設定します。

• ｉアプリによっては設定できない項目があったり、設定画面が表示されないことがあります。

4 「はい」を選択

ダウンロードしたｉアプリが起動します。

• サイト画面に戻る：「いいえ」を選択

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って保存されているｉアプリを削除してください。ただし、ダウンロードに失敗した場合でも、削除したｉアプリは元に戻りません。

● アイコン情報を「利用しない」に設定すると、動作しないｉアプリがあります。

メール連動型ｉアプリのダウンロードについて

メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、送信メール・受信メール・未送信メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール連動型ｉアプリ名が設定され、変更できません。

• メール連動型ｉアプリは最大５件（ｉアプリの最大保存件数 100 件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール連動型ｉアプリ用のフォルダを削除してください。

• 同じメールフォルダを利用するメール連動型ｉアプリが、既に FOMA 端末に保存されている場合はダウンロードできません。ただし、ｉアプリが更新された場合はバージョンアップできます。

おしらせ

● メール連動型ｉアプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール連動型ｉアプリを再度ダウンロードしようとすると、既にあるメールフォルダを利用するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メール連動型ｉアプリがダウンロードされます。メールフォルダを利用しない場合は、メールフォルダを削除してからメール連動型ｉアプリをダウンロードしてください。また、プライバシーモード中（メールを「認証後に表示」に設定した場合）に再ダウンロードやバージョンアップを行う場合は、端末暗証番号を入力するとダウンロードやバージョンアップが継続されます。

● ダウンロードするメール連動型ｉアプリに対応した受信メールが既に FOMA 端末に保存されている場合、ダウンロード時に作成されたフォルダに受信メールを移動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、受信メールが振り分けられます。ただし、プライバシーモード中（メールを「指定フォルダを非表示」に設定した場合）は、振り分けられません。

ダウンロード時にｉアプリの情報を見る

ソフト情報表示設定

ダウンロード時、ｉアプリの情報を表示するかどうかを設定します。

お買い上げ時 OFF

1 [MENU] [3] [2] [3] ▶ [1] ～ [2]

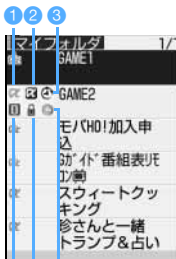
Menu 31

ｉアプリを起動する

1 [□]（1 秒以上）

2 フォルダを選択

[□]：ｉアプリなし　[□]：ｉアプリあり

3 ｉアプリを選択

①[□]：通常のｉアプリ
[□]：ｉアプリ DX
[□]：メール連動型ｉアプリ
②[□]：ｉアプリ待受画面に設定できる
[□]：ｉアプリ待受画面に設定中
③[□]：自動起動設定中
[□]：IP（情報サービス提供者）による停止状態

④ 0～9：
ツータッチ ｉアプリ登録されている
⑤ 🔒：保護されている
SSL：SSL ページからダウンロードした
SSL：SSLページからダウンロードし保護されている
⑥ ：ワンタッチ ｉアプリ登録されている

- 起動する ｉアプリの通信設定を「起動ごとに確認」に設定している場合は、通信するかどうかの確認画面が表示されます。

ｉアプリを終了するには

ｉアプリごとに設定されている方法で終了してください。

- [終話] を押し、「はい」を選択しても終了できます。

おしらせ

- モバHO! 聴取中は、ｉアプリを起動できません。
- 次のような場合、ｉアプリは中断されます。動作中の機能が終了するとｉアプリは再開しますが、[■] を押して「ｉアプリ」を選択すると動作中の機能を継続したままｉアプリを再開できます。ただし、機能によっては、[■] でｉアプリに切り替えられない場合があります。また、ｉアプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
  - 電話がかかってきたとき（留守番電話サービスおよび転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定している場合を除く）
  - スケジュールアラームや、アラーム設定の設定時刻になったとき
  - 他の機能に切り替えたとき
- 圏外にいる場合や、登録データが使用できない場合、ｉアプリによっては起動しないことや、正常に動作しないことがあります。
- ｉアプリで利用する画像やお客様が入力したデータなどが、自動的にインターネットを経由して、サーバに送信される可能性があります。ｉアプリで利用する画像とは、実行中のｉアプリからカメラを起動して撮影した画像、ｉアプリの赤外線通信機能を利用して取得した画像、ｉアプリがサイトやインターネットから取得した画像、ｉアプリがデータ BOX から取得した画像などです。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにアクセスし、直接使用停止状態にしたりすることがあります。その場合はそのｉアプリの起動、待受設定、バージョンアップなどができなくなり、削除および詳細情報の表示のみ行えます。再度、ご利用いただくにはｉアプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP（情報サービス提供者）にお問い合わせください。
- ｉアプリによっては、IP（情報サービス提供者）が携帯電話に保存されたｉアプリにデータを送信する場合があります。
- IP（情報サービス提供者）がｉアプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA 端末は通信を行い、ｉ が点滅します。この場合、通信料はかかりません。
- 3D ポリゴン※1 エンジン搭載により、ｉアプリで立体画像を表示できます。

  ※ 1：多角形（三角形や四角形など）を組み合わせることにより、立体的で奥行きがある画像を表現します。
- ｉアプリ動作中に鳴る音の音量は、電話着信音の音量調整に従います。ただし、音量調整でステップトーンに設定している場合はレベル 4 になります。ｉアプリによっては音の鳴らないものもあります。
- ｉアプリ作成者の方へ

  ｉアプリを作成中、正常動作しないときはトレース表示が参考になる場合があります。待受画面で [MENU] [3] [3] [4] を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録するように作られているｉアプリが保存されていないときは表示できません。

登録データを利用できずに終了したときの履歴を表示する　セキュリティエラー履歴

ｉアプリが登録データなどを利用できないなどの理由でエラーが発生して終了したときに、ｉアプリ名・日時・セキュリティエラー理由が記録されます。

- セキュリティエラー履歴は最新の 20 件まで記録されます。

1 [MENU] [3] [3] [3]

■ 履歴を削除する：[📖] ▶「はい」を選択

ｉアプリの詳細情報を表示する　詳細情報

ｉアプリの名前やバージョンなど、ｉアプリの詳細情報を確認します。

1 [ｉ]（1 秒以上）▶ フォルダを選択

2 ｉアプリを選ぶ ▶ [📖]

3 詳細情報を確認

- 表示される項目は ｉアプリによって異なります。
- SSL ページからダウンロードした ｉアプリの場合、[📖] を押すと、サイトの証明書を確認できます。

ｉアプリ
起動

ｉアプリの動作条件を設定する　動作設定

・設定できる項目はｉアプリによって異なります。
・設定できる項目がないｉアプリでは行えません。

1 [ｉ]（1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選ぶ▶[MENU][7]

3 各項目を選択して設定

ｉアプリ待受画面：
ｉアプリ待受画面に対応しているｉアプリを待受画面に設定するかしないかを設定します。
・ｉアプリ待受画面に設定できるｉアプリは1件のみです。

ｉアプリ待受画面通信設定：
ｉアプリ待受画面動作中に通信させるかどうかを設定します。

通信設定：
ｉアプリ動作中に通信させるかどうかを設定します。

アイコン情報：
ｉアプリがメール、メッセージR/F、電池残量、マナーモード、受信レベルの各種アイコンを利用できるようにするかどうかを設定します。

ブラウザからの起動：
サイトからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

メールからの起動：
メールからｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

外部機器からの起動：
外部機器からｉアプリを起動させる（ｉアプリTo）かどうかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を※1：
ｉアプリが着信音や待受画面などの画像の設定を変更することを許可するかどうかを設定します。「許可する」に設定すると、自動的に着信音や待受画面の画像が変更される場合があります。

変更ごとに確認画面を※1：
ｉアプリが着信音や画像の設定を変更するごとに、確認画面を表示するかどうかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を※1：
ｉアプリが電話帳や履歴を参照することを許可するかどうかを設定します。「許可する」に設定すると、自動的に電話帳や履歴が参照される場合があります。

※1：ｉアプリDXのみ設定できます。

4 [📖]を押す

・「ｉアプリ待受画面」を「設定する」に設定したときは、待受画面に設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとｉアプリ待受画面に設定されます。

おしらせ

● 通信設定を「通信する」に設定した場合、ｉアプリによっては、自動的にネットワークに接続して通信を行う場合があります。
● ネットワークに接続して通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定し、ｉアプリ待受画面通信設定を「通信する」に設定した場合、ｉアプリによっては自動的に通信を行う場合があります。
● 通信設定を「通信しない」に設定すると、ｉアプリが起動できない場合や株価情報やお天気情報などのｉアプリによるタイムリーな情報提供ができない場合がありますのでご注意ください。
● アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、圏内・圏外のアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得されることがあります。

ｉアプリ動作中の照明とバイブレータの動作を設定する　照明設定・バイブレータ設定

照明動作を設定する

・ｉアプリ待受画面の照明動作はディスプレイの照明設定に従います。
・公共モード（ドライブモード）中は、「ソフトに従う」に設定してもｉアプリ動作中の照明は動作しません。

お買い上げ時　端末設定に従う

1 [MENU][3][2][4]▶[1]～[2]

端末設定に従う：
ディスプレイの照明設定に従って照明が点灯します。☛P128

ソフトに従う：
ｉアプリに従って照明が点灯します。

バイブレータを設定する

ｉアプリによるバイブレータの動作を許可します。
・公共モード（ドライブモード）中は、本設定に関わらずｉアプリ動作中のバイブレータは動作しません。

お買い上げ時　ON

1

ｉアプリから他のｉアプリを起動する

ｉアプリによっては指定されたｉアプリを起動でき、ソフト一覧に戻ることなくｉアプリを楽しむことができます。

1 指定されたｉアプリを起動する旨のメッセージが表示されたら [決定]

おしらせ

- 起動するｉアプリが指定されていない場合は、ｉアプリを選択します。
- 起動するｉアプリが指定されていても、ソフト一覧にない場合はダウンロードする必要があります。

プリインストールｉアプリを使う

お買い上げ時は次のｉアプリが登録されています。

- モバHO! 加入申込
- G ガイド番組表リモコン
- スウィートクッキング
- 珍さんと一緒 トランプ&占い

一覧から選択すると各ｉアプリが起動します。

- ｉアプリの名称は画面の表示と異なる場合があります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除してしまったときは、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☞P372

モバHO! 加入申込

モバHO! の契約などができるｉアプリです。詳しくは☞P260

G ガイド番組表リモコン

テレビ番組表とテレビリモコン機能が1つになった月額利用料が無料の便利アプリです。詳しくは☞P311

スウィートクッキング

画面の上から落ちてくるブロックを並べて消していくゲームです。

- ブロックはお菓子の材料を表しており、「フルーツ」「ミルク」「卵」「お粉」「お豆」の5種類があります。同じ材料のブロックを3つ以上並べると消えます。複数の材料をまとめて消すと、組み合わせによっていろいろなお菓子が作れます。
- 「ハートブロック」もあります。ハートブロックは、隣のブロックを消すと一緒に消えボーナス点が入ります。

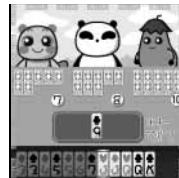
[左右]：ブロック移動
[決定]：ブロック右回転
[上]：ブロック左回転
[下]：落下スピードアップ
[MENU]：メニュー表示
[本]：戻る／終了

■ ゲームモードについて

モード	説　明
きまぐれモード	お菓子の種類に関わらず、ハラペコメーターをいっぱいにしてクリアを目指すモードです。ハイスコアを出すとランキングに記録されます。
おねだりモード	食べたいお菓子などをキャラクターがリクエストしてくるモードです。リクエストに応えると、ハラペコメーターが大幅に上昇します。また、お菓子の豆知識がもらえます（豆知識はトップ画面の「Sweets Box」から表示します）。ランキングには掲載されません。

トップ画面の「Fortune Cookie」を選択すると占いができます。

珍さんと一緒 トランプ&占い

パンダの「珍さん」をはじめ、個性的なキャラクタとトランプゲームができます。「大富豪」「ページワン」「ポーカー」の3つのゲームと占いが楽しめます。

[左右]：カードの選択
[上下]：カードの出し下げ
[決定]：カード決定
[MENU]：メニュー表示
[本]：ルール説明
[＊]：パス（大富豪のみ）

ワンタッチで ｉ アプリを起動する

ワンタッチ ｉ アプリ

ワンタッチ登録をする

• 登録できる ｉ アプリは 1 件です。

1 [キー]（1 秒以上）▶ フォルダを選択

2 ｉ アプリを選ぶ ▶ [MENU] [9] [1]

• 解除する：ｉ アプリを選ぶ ▶ [MENU] [9] [1]

ワンタッチで ｉ アプリを起動する

1 [キー]（1 秒以上）

ツータッチで ｉ アプリを起動する

ツータッチ ｉ アプリ

ツータッチ登録をする

• 登録できる ｉ アプリは最大 10 件です。

1 [キー]（1 秒以上）▶ フォルダを選択

2 ｉ アプリを選ぶ ▶ [MENU] [9] [2]

• 解除する：ｉ アプリを選ぶ ▶ [MENU] [9] [2]

3 登録先を選択

• 番号 0 ～ 9 は、ｉ アプリを起動するときに使用するダイヤルキー [0] ～ [9] に対応しています。

ツータッチで ｉ アプリを起動する

1 ダイヤルキー（[0] ～ [9]）▶ [キー]（1 秒以上）

ツータッチ ｉ アプリの一覧を表示する

1 [MENU] [3] [2] [6]

• 起動する：ｉ アプリを選択
• 詳細情報を表示する：ｉ アプリを選ぶ ▶ [キー]
• 登録を解除する：ｉ アプリを選ぶ ▶ [MENU] [2]

ｉ アプリを自動起動する

自動起動を行うかどうかを設定し、ｉ アプリごとに自動起動の条件を設定します。

• ｉ アプリを自動起動するには、日付・時刻の設定が必要です。

自動起動するかどうかを設定する 自動起動設定

• 「OFF」に設定すると、自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定した ｉ アプリも自動起動しません。

お買い上げ時 ON

1 [MENU] [3] [2] [2] ▶ [1] ～ [2]

自動起動の日時を設定する 自動起動情報登録

ｉ アプリごとに自動起動の ON ／ OFF や起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

• 設定できる条件は、ｉ アプリによって異なります。
• ｉ アプリによっては自動起動できないものがあります。
• 自動起動設定を「OFF」に設定しているときは、自動起動情報を登録できません。

1 [キー]（1 秒以上）▶ フォルダを選択

2 ｉ アプリを選ぶ ▶ [MENU] [6]

3 各項目を選択して設定

ユーザ設定：
自動起動する条件を設定するかどうかを選択します。
• 「OFF」に設定すると、以下の項目は設定できません。

時刻：
自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：
自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。
• 「1 回のみ」に設定した場合は、日付欄で自動起動する日付を設定します。
• 「毎日」に設定すると、時刻欄で設定した時刻に毎日自動起動します。
• 「毎週」に設定した場合は、毎週欄で自動起動する曜日を設定します。

毎週：
繰り返しを「毎週」に設定したとき、自動起動する曜日を設定します。

日付：
繰り返しを「1 回のみ」に設定したとき、自動起動する日付を設定します。

ソフト設定：
ｉ アプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかどうかを設定します。

ｉ アプリ設定1～4：
ｉ アプリ DX によっては、動作中に自動起動の条件を最大 4 つ設定できます。それらの設定を有効にするかどうかを設定します。

4 **[ ] を押す**

おしらせ

● 自動起動を設定しても、次の状態のときに起動時刻になった場合は、ｉ アプリは起動しません。また、次の理由で ｉ アプリが起動しなかったとき（※ 1 の場合を除く）は、待受画面に が表示され、ｉ アプリ名・日時・起動しなかった理由が起動失敗履歴に記録されます。
- FOMA 端末の電源が入っていない場合※1
- FOMA カード動作制限中（プリインストール ｉ アプリを除く）
- FOMA カードを認識できない場合
- 自動起動設定を「OFF」に設定している場合※1
- 自動起動の間隔が短すぎたとき
- 通話中、通信中
- 待受画面以外が表示されているとき、ｉ アプリ待受画面の操作中
- 他の機能が動作中（マイピクチャの一覧表示中とフレーム合成中、ｉ モーションの一覧表示中と再生・編集中およびメロディの一覧表示中と再生中を除く）
- オールロック中、PIM ロック中
- プライバシーモード中（ｉ アプリを「認証後に表示」に設定した場合）
- アラームやスケジュールアラーム鳴動中（自動起動と同一時刻の場合も含む）
- IP（情報サービス提供者）によって ｉ アプリの使用を停止されているとき

● 複数の ｉ アプリが同時刻に自動起動する場合、起動する ｉ アプリは 1 つだけです。起動できなかった ｉ アプリの情報は起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に は表示されません。

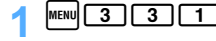
● ユーザ設定では、他の ｉ アプリで設定したユーザ設定と同一内容の設定はできません。

● 日付･時刻の設定より前の日時のみを設定した場合、自動起動は無効になります。

自動起動できなかったときの履歴を表示する

起動失敗履歴

ｉ アプリの自動起動に失敗したときは、待受画面に が表示され、ｉ アプリ名・日時・起動失敗理由が記録されます。
- 起動失敗履歴は最大 20 件記録されます。20 件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の が消えます。

1 [MENU] [3] [3] [1]

■ 履歴を削除する：[ ] ▶「はい」を選択

サイトやメールから ｉ アプリを起動する

ｉ アプリ To

サイトや ｉ モードメールの ｉ アプリを起動できるリンク項目を選択して ｉ アプリを起動します（ｉ アプリ To）。

1 **サイトや ｉ モードメールの ｉ アプリを起動できるリンク項目を選択**

2 **「はい」を選択**

サイト接続が終了し、ｉ アプリが起動します。

おしらせ

● ｉ アプリ To で起動する ｉ アプリが FOMA 端末に保存されていないと、指定された ｉ アプリがない旨のメッセージが表示され、起動できません。ただし、ｉ アプリによっては保存されていなくても、サイトからダウンロード後、すぐに起動するものがあります。
- ダウンロード後すぐに起動する ｉ アプリは、起動中に通信するかどうかの確認画面が表示されることがあります。
- ダウンロード後すぐに起動した ｉ アプリを終了するときは、保存するかどうかの確認画面が表示されます。ただし、FOMA 端末に保存できない ｉ アプリもあります。

● 起動する ｉ アプリを ｉ アプリ To で起動しないように設定している場合は、メッセージが表示され ｉ アプリを起動できません。☛P246

ｉアプリ待受画面を操作する
ｉアプリ待受画面

ｉアプリを待受画面に設定し、待受画面からｉアプリを起動して操作します。ｉアプリ待受画面を設定しているときは、ディスプレイ上部にまたはが表示されます。
- あらかじめｉアプリを待受画面に設定しておく必要があります。☛P122

おしらせ
- 通信を行うｉアプリをｉアプリ待受画面に設定した場合、電波状況などにより正しく動作しないことがあります。
- ｉアプリ待受画面を設定中にオールロック、PIMロック、プライバシーモード（ｉアプリを「認証後に表示」に設定した場合）を起動すると、ｉアプリ待受画面は一時的に解除されます。オールロックなどを解除するとｉアプリ待受画面が再度起動します。
- ｉアプリ待受画面に設定されているｉアプリがIP（情報サービス提供者）によって使用を停止されると、ｉアプリ待受画面が解除されます。
- ｉアプリ待受画面の起動中にｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生すると、ｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。このとき、ｉアプリ名と終了日時が異常終了履歴に記録されます。
- ｉアプリ待受画面からはサイトに接続（Web To）できません。
- ｉアプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、ｉアプリ待受画面を起動するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、ｉアプリ待受画面が起動します。「いいえ」を選択すると、ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。確認画面が表示されてから何も操作せずに約5秒たつと、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。自動電源ONによって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的にｉアプリ待受画面が起動します。

ｉアプリ待受画面のｉアプリを起動する
1 ｉアプリ待受画面で CLR

ｉアプリの画面に切り替わり、ディスプレイ上部のまたはが点滅します。

ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る
1 ｉアプリ動作中に ▶「終了する」を選択

ｉアプリが終了し、ｉアプリ待受画面が起動します。ディスプレイ上部のマークがから、またはからに変わります。
- ｉアプリを終了してｉアプリ待受画面に戻る方法は、ｉアプリによって異なります。CLRを押すと戻るｉアプリもあります。
- 「終了する」を選択してもｉアプリ待受画面は解除されません。解除するときは「解除する」を選択します。ディスプレイ上部の、が消えます。

おしらせ
- ソフト一覧でｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリを選び MENU を押し、「ｉアプリ待受画面」を選択し、「解除する」を選択しても解除できます。

ｉアプリ待受画面の終了履歴を表示する
異常終了履歴

ｉアプリ待受画面を続行できないようなエラーが発生したときに、ｉアプリ名と日時が記録されます。
- 異常終了履歴は最大20件記録されます。20件を超えた場合は、一番古い履歴に上書きされます。
- 通常終了時は記録されません。

1 MENU 3 3 2

■ 履歴を削除する： ▶「はい」を選択

ｉアプリを管理する

ｉアプリをバージョンアップする
バージョンアップ

ｉアプリが更新されている場合は、バージョンアップできます。
- IP（情報サービス提供者）によって使用を停止されているｉアプリはバージョンアップできません。

1 （1秒以上）▶フォルダを選択

2 ｉアプリを選ぶ▶ MENU 5 ▶「はい」を選択
- バージョンアップが必要ない場合は、ｉアプリが最新である旨のメッセージが表示されます。

ｉアプリ／ｉアプリ待受画面

おしらせ

- ●バージョンアップすると、i アプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去されることがあります。
- ● i アプリによっては、使用期間・使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバから i アプリが更新されていると通知された場合は、バージョンアップするかどうかを確認した上でバージョンアップできます。
- ● i アプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。
- ● i アプリによっては、バージョンアップ完了後に i アプリを起動するかどうかの確認画面が表示されます。

フォルダを作成／削除する

フォルダを作成して i アプリを整理します。また、フォルダの並び順の変更や不要なフォルダの削除もできます。

フォルダを作成する

- フォルダは「マイフォルダ」を含めて最大 20 個作成できます。

1 [キー]（1 秒以上）

2 MENU 4

- ■ フォルダ名を変更する：フォルダを選ぶ ▶ MENU 1
- ■ フォルダの並び順を変更する：フォルダを選ぶ ▶ MENU ▶ 5 ～ 6

3 フォルダ名を入力(全角８文字(半角 16 文字）まで） ▶ [キー]

フォルダを削除する

- 保護されている i アプリがある場合は、フォルダを削除できません。保護を解除してから削除してください。

1 [キー]（1 秒以上）

2 フォルダを選ぶ ▶ MENU 2 1

- フォルダ内に i アプリが保存されたままの場合は、端末暗証番号を入力します。

3「はい」を選択

- 削除するフォルダ内にメール連動型 i アプリが含まれている場合は、メールフォルダも同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、 i アプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、 i アプリやメールフォルダは削除できません。

おしらせ

- ●削除対象のメール連動型 i アプリ用メールフォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、i アプリを削除できないことがあります。
- ● i アプリのみ削除し、メール連動型 i アプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールのフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P219

i アプリを保護する

- 最大保護件数 ☛P38

1 [キー]（1 秒以上） ▶ フォルダを選択

2 i アプリを選ぶ ▶ MENU 3 1

i アプリが保護され、ソフト一覧画面で [アイコン] または [アイコン] が表示されます。

- 解除する：i アプリを選ぶ ▶ MENU 3 1
- ■ 複数保護／解除する：MENU 3 2 ▶ i アプリを選択 ▶ [キー]
- ■ フォルダ内のすべての i アプリを保護／解除する：MENU 3 3 ▶ 端末暗証番号を入力

i アプリを削除する

1 [キー]（1 秒以上） ▶ フォルダを選択

2 i アプリを選ぶ ▶ MENU 2 1

- ■ 複数削除する：MENU 2 2 ▶ i アプリを選択 ▶ [キー]
- ■ フォルダ内の i アプリをまとめて削除する：MENU 2 3 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「すべて削除」または「保護以外削除」を選択

3「はい」を選択

- メール連動型 i アプリを削除する場合は、自動的に作られたメールフォルダを同時に削除するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、メールフォルダとその中に保存されているすべてのメールが削除されます。「いいえ」を選択すると、 i アプリのみ削除されます。ただし、「はい」を選択した場合でも、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、 i アプリもメールフォルダも削除できません。

おしらせ

- フォルダ一覧からフォルダ内のｉアプリをまとめて削除するときは、フォルダを選び MENU を押し、「削除」→「ソフト削除」を選択します。
- 保護されているｉアプリは「1件削除」または「複数削除」では削除できません。保護されているｉアプリを削除するには保護を解除してから削除するか、「全件削除」を選択して端末暗証番号を入力して、「すべて削除」を選択してください。
- 削除対象のメール連動型ｉアプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、ｉアプリを削除できないことがあります。
- ｉアプリのみ削除し、メール連動型ｉアプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールのフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。☛P219

ｉアプリを他のフォルダに移動する

1 （1秒以上）▶ フォルダを選択

2 ｉアプリを選ぶ ▶ MENU 4 1

■ 複数移動する：MENU 4 2 ▶ ｉアプリを選択 ▶

■ フォルダ内のすべてのｉアプリを移動する：MENU 4 3

3 移動先のフォルダを選択 ▶「はい」を選択

ｉアプリを並べ替える　ソフトの並べ替え

お買い上げ時　ダウンロード日時順

1 MENU 3 2 1

2 1 ～ 5

- 「ダウンロード日時順」および「使用日時順」では、FOMA端末の日付・時刻で設定されている日時順に並び替わります。
- 「名前順」の場合、ｉアプリ名に全角／半角の文字や英字が混在していると、50音順と一致しないことがあります。
- 「使用回数順」にはｉアプリ待受画面として起動した回数は含みません。使用回数はｉアプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- 「ソフトのサイズ順」の場合、ｉアプリのソフトサイズと使用データ記録領域の合計が大きい順に並び替わります。

フォルダ内のｉアプリの件数を確認する　フォルダ内ソフト件数

1 （1秒以上）

2 フォルダを選ぶ ▶

- マークの意味 ☛P244

ｉアプリの設定状況を確認する　ソフト情報表示

1 （1秒以上）

2 を押す

ソフト保存領域：
保存されているｉアプリの総容量がバーと数値で表示されます。

ソフト保存件数：
保存されているｉアプリの総件数が表示されます。

ｉアプリ待受画面：
ｉアプリ待受画面に設定しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

ワンタッチｉアプリ：
ワンタッチ登録しているｉアプリの名前と保存先のフォルダが表示されます。

自動起動：
次回の自動起動に設定しているｉアプリの名前・保存先のフォルダ・起動日時が表示されます。

ｉアプリからさまざまな機能を利用する

- それぞれの機能に対応したｉアプリをあらかじめダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリによっては、操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

ｉアプリから電話をかける

1 電話番号を選択 ▶ 発信条件を設定

- 発信条件の設定 ☛P56

2 MENU ▶「はい」を選択

設定した内容で電話がかかります。電話をかけるとｉアプリは中断されます。

ｉアプリからサイトに接続する

1 サイトに接続するかどうかの確認画面が表示されたら、「はい」を選択

ｉアプリが終了し、サイトが表示されます。

ｉアプリからカメラ機能を利用する

・オーディオ機能起動中は、カメラを起動できません。

1 ｉアプリを操作してカメラ撮影を行う

おしらせ

● 撮影した画像または動画はｉアプリから通信により自動的にサーバへ送られる場合があります。

● ｉアプリからカメラを起動した場合、撮影した画像は、マイピクチャの「ｉモード」フォルダ、「デコメールピクチャ」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。また、撮影した動画はｉモーション内の「ｉモード」フォルダ、またはｉアプリ内に保存されます。

● ｉアプリによって画像サイズ、撮影サイズなどの変更やフレームなどを設定できる場合があります。

ｉアプリから赤外線通信を利用する

・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

・オーディオ機能起動中は、赤外線通信を行えません。

1 ｉアプリを操作して赤外線通信を行う

・赤外線通信によってｉアプリ起動データを受信し、ｉアプリを起動することもできます。

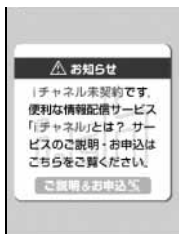
・赤外線通信を実行するときに、サイトに接続していたりメールを送受信していた場合、サイト接続やメールの送受信は中止されます。

i チャネル

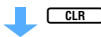
ｉチャネルとは

ニュースや天気などをグラフィカルな情報としてドコモまたはIP（情報サービス提供者）がｉチャネル対応端末に配信するサービスです。
定期的に情報を受信し、最新の情報が、待受画面にテロップとして流れたり、ｉチャネル対応キー（CLR）を押すことでチャネル一覧に表示されます（チャネル一覧の表示方法は ☛P257）。さらに、チャネル一覧でお好きなチャネルを選択することにより、リッチな詳細情報を取得できます。

- ｉチャネルのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

未契約

ｉチャネルをご契約いただいていない場合。

契約後

ｉチャネルをご契約いただいた後、情報を受信したタイミング、もしくはチャネル一覧を表示したタイミングで、待受画面に自動的にテロップが流れます。

CLRを押下するとチャネル一覧が表示されます。各チャネルごとにテロップで流れていた情報などを一覧で見ることができます。

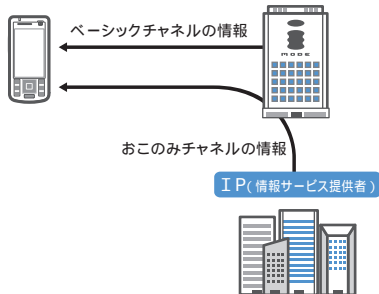
↓ で接続

各チャネルを押下するとそれぞれの詳細情報画面が閲覧できます。

- ｉチャネルの各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

チャネルには「ベーシックチャネル」と「おこのみチャネル」の２種類があります。「ベーシックチャネル」はドコモが提供するチャネルであり、あらかじめ登録されていますのでｉチャネルの利用開始時からすぐに利用することができます。「ベーシックチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料はｉチャネルのサービス利用料に含まれます。「おこのみチャネル」はドコモ以外のIP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、お客様ご自身がお好きなチャネルを登録して利用できます。「おこのみチャネル」に関して配信される情報の自動更新にかかるパケット通信料などは、ｉチャネルのサービス利用料には含まれません。
なお、待受画面にテロップとして流すことができるのは、「ベーシックチャネル」の情報のみとなります。

- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたり情報料がかかるものがあります。
- 「おこのみチャネル」には、ご利用にあたりチャネルを提供するIP（情報サービス提供者）に対し別途お申し込みが必要になるものがあります。
- 「ベーシックチャネル」も「おこのみチャネル」も、チャネル一覧から詳細情報を閲覧する際は、ｉチャネルのサービス利用料とは別にパケット通信料がかかります。

ｉモード端末　ｉモードセンター
ベーシックチャネルの情報
おこのみチャネルの情報
IP（情報サービス提供者）

ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。（お申し込みにはｉモード契約が必要です。）

- 操作方法は ☛P257
- 対応機種：D851iWM、701iシリーズ、702iシリーズ、902iシリーズ、P851i

おためしサービス

ｉモードをご契約の上ｉチャネル対応端末を利用しているお客様で、ｉチャネル対応端末を利用している契約者回線についてｉチャネルを申し込んだことがない場合、一定期間、サービス利用料無料で「ベーシックチャネル」を利用できます。なお、チャネル一覧から詳細情報を閲覧される際にかかるパケット通信料は、お客様のご負担となります。

- おためしサービスのご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細等については、『ｉモード操作ガイド』をご覧ください。

おためしサービスは、原則として FOMA カードを挿入してｉチャネル対応端末の利用を開始した際、一定時間経過後に自動的に開始されます。自動的に開始しない場合は、CLR を押下することで開始できます。

おためしサービスを利用できるのは、1つのご契約者回線につき1回のみです。

おためしサービスは開始後一定期間経過すると、自動的に終了します。また、途中で終了したい場合の操作方法については、『ｉモード操作ガイド』をご参照ください。

おしらせ

- ● 情報を受信しても着信音、バイブレータは動作しません。着信ランプも点灯／点滅しません。
- ● テロップ表示設定でテロップ表示を「表示しない」に設定している場合は、テロップは表示されません。
- ● ｉチャネルサービスまたはｉモードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、CLR を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、CLR を押すと最後に受信した情報がチャネル一覧に表示される場合があります。
- ● FOMA 端末の電源が入っていない場合や、圏外または電波状況がよくないなどで情報を受信できなかったときは、CLR を押すと情報を受信できます。
- ● 情報を受信中は が点滅します。

ｉチャネルの接続先を変更するには

ｉチャネルの接続先は変更できます（通常は変更する必要はありません）。

① MENU 9 5
② **ユーザ設定を選ぶ ▶ MENU ▶ 端末暗証番号を入力**
③ **各項目を選択して設定 ▶ 📖**
- ｉチャネルの接続先は「接続先アドレス2」に入力します（半角30文字まで）。
- 「接続先アドレス」はｉモードの接続先です。☛P187

④ **編集した接続先を選択 ▶ 📖**

● 接続先アドレス2を入力／変更した場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。また、情報が自動更新されない場合があります。待受画面で CLR を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

Menu 281

ｉチャネルを表示する

チャネル一覧

1 CLR

チャネル一覧が表示されます。
- 待受画面に動画／ｉモーション、キャラ電、ｉアプリを設定しているとき：MENU 8 1
- ・CLR を押しても表示されません。

2 **チャネルを選択**

サイトに接続し、詳細情報が表示されます。
- ご利用の状況によりチャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。

Menu 282 / Menu 8215

ｉチャネルの設定を変更する

テロップ表示設定

受信したｉチャネルの情報を待受画面にテロップ表示するかどうかを設定します。テロップ表示の速度も設定できます。

- テロップ表示を「表示する」に設定すると、待受画面を表示するごとに新しい情報から順に最大10件、ディスプレイの表示が消えるまでテロップ表示されます。「表示しない」に設定すると、テロップは表示されません。

・お買い上げ時やFOMAカードを差し替えたとき、接続先アドレス2を変更したときは、iチャネルの情報が自動更新されるか、または CLR を押してチャネル一覧を表示すると、テロップが表示され、テロップ表示設定ができるようになります。

お買い上げ時 テロップ表示：表示する　テロップ速度：普通

1 [メニュー] 8 2

2 各項目を選択して設定

テロップ表示：
「表示する」「表示しない」から選択します。
・「表示しない」を選択した場合、テロップ速度は設定できません。

テロップ速度：
「遅い」「普通」「速い」から選択します。

3 [m] を押す

・テロップ表示を「表示する」に設定した場合、待受画面に動画／iモーション、キャラ電、iアプリが設定されているときは確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、動画／iモーション、キャラ電、iアプリは解除されます。

おしらせ

● 次の場合は、iチャネルの情報はテロップ表示されません。
・オールロック中　・PIMロック中
・公共モード（ドライブモード）中
・FOMAカードを挿入していないとき

モバHO!／音楽再生／FMラジオ

モバHO!を聴く

音楽データを再生する

FMラジオを聴く

オーディオ機能の設定を変更する

モバHO!を受信するには

モバHO!とは、モバイル放送株式会社が提供する移動体向け有料衛星デジタル放送サービスです。D851iWMではモバHO!の音楽･音声チャンネルを受信できます。

卓上クレードル D01（別売）とモバイル放送受信機用アンテナ（市販品）をセットで利用することで、衛星からの電波を安定して受信することができます。☛P283

※ モバ HO! は別途お申し込みが必要な有料の放送サービスです。

※ 再送信設備設置エリアに関するお問い合わせは、モバイル放送カスタマーセンターへご連絡ください。

モバHO!の受信を確認する

契約前にモバHO! 401(401ch）を受信して、聴取できるかどうかを確認できます。

1

- 操作方法☛P261

モバHO!を契約する

ｉアプリ「モバHO!加入申込」を使って契約します。

- 契約についてのお問い合わせは、モバイル放送カスタマーセンターへご連絡ください。

■モバイル放送･「モバHO!」に関するお問い合わせ先
モバイル放送カスタマーセンター
携帯電話・一般電話からの場合　0570-08-6840
PHSからの場合　045-650-6534
受付時間　10:00～20:00（年中無休）
ホームページ　http://www.mobaho.com

おしらせ

- ご使用の環境や放送波の特性により、受信が不安定になったり、受信ができないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- モバ HO! は、放送波を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびモバ HO! サービスエリア外ではご使用になれません。
- 高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。
- 電波が強くモバHO!受信レベルが強の場合で、移動せずに使用している場合でも、音声が途切れる場合があります。
- 表示されるモバ HO! の受信レベルは目安としてご利用ください。
- FOMA圏内でもモバHO!が受信できないエリアではモバHO!を聴取できません。
- 受信が不安定なときは、付属のマイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンを接続してください。☛P29

ｉアプリ「モバHO!加入申込」を使う

「モバ HO! 加入申込」は、モバ HO! を FOMA 端末から契約するためのｉアプリです。

- 「モバHO!加入申込」を使うためには、ｉモードのご契約が必要です。

新規契約する

あらかじめ、モバ HO! を受信できる場所であることを確認してください。

1 **[ｉアプリボタン]1秒以上▶フォルダを選択**

2 **「モバHO!加入申込」を選択▶「はい」を選択**

3 「承諾」を選択 ▶ 「はい」を選択

• 画面に表示される「端末情報」とは、FOMA 端末の受信機 ID です。

4 「モバ HO! 加入申込」の画面に従って申し込む

• 加入申込についてのお問い合わせは、モバイル放送カスタマーセンターへご連絡ください。

5 契約完了後、i モードを終了する

6 MENU 7 1

10 分程度、受信状態のままにしておくと契約手続きが完了し、他のチャンネルも受信できるようになります。

機種変更をする

モバ HO! 対応の他の携帯電話に機種変更します。

1 1 秒以上 ▶ フォルダを選択

2 「モバ HO! 加入申込」を選択 ▶ 「はい」を選択

3 「承諾」を選択 ▶ 「はい」を選択

• 画面に表示される「端末情報」とは、FOMA 端末の受信機 ID です。

4 機種変更画面に従って機種登録する

5 完了後、i モードを終了する

6 モバ HO! 401(401ch)を受信状態にする

しばらくすると機種変更手続きが完了し、他チャンネルの聴取が可能になります。

機器情報（受信機 ID）を確認する

モバイル放送カスタマーセンターへのお問い合わせの際などに、機器情報（受信機 ID）が必要になることがあります。

1 MENU 7 4 1

モバ HO! を解約する

モバ HO!G(有料)のマイメニュー登録を解除します。

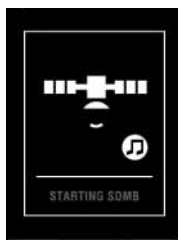
モバ HO! を聴く

モバ HO! 聴取

モバ HO! の音楽・音声チャンネルを受信します。

• 次の場合はモバ HO! を受信できません。
  ・モバ HO! 圏外のとき
  ・未契約の有料番組を聴取しようとしたとき
  ・番組が休止中のとき
  ・聴取制限が設定されている番組を受信したとき
• モバ HO! 聴取中のオーディオ OFF タイマーは、お買い上げ時「120 分」に設定されており、「しない」に設定することはできません。
• 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

番組表から選んで聴く

1 MENU 7 1

モバ HO! 聴取画面

起動確認音が鳴り、前回モバ HO! 機能を終了したときに受信していたチャンネルが受信されます。

• 待受画面で ♪ を 1 秒以上押すと、前回終了時のオーディオ機能が起動します。☛P263
• モバ HO! 聴取画面の表示まで多少時間がかかります。

■ はじめに番組表を表示する：MENU 7 2
  • 番組を選択するまで音声は聴こえません。

2 [本]

モバHO! 番組表画面

モバHO! 番組表画面が表示されます。

- [MENU][3] を押しても操作できます。
- モバHO! 番組表画面では次の操作ができます。

  [i][✉]：ページ切り替え
  [◀▶]：現在番組画面／次番組画面切り替え

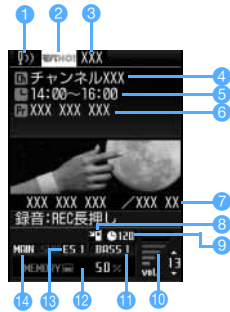
- [本] を押すとモバHO! 聴取画面に戻ります(待受画面で [MENU][7][2] を押して表示した場合は除きます)。

3 **聴取したい番組を選択**

- モバ HO! を聴いているときは次の操作ができます。

  [録](1 秒以上)：聴取中の番組を録音 ☞P264
  [本]：モバHO! 番組表画面へ切り替え
  [▲▼]：音量調整
  [◀▶]：前後のチャンネルを選択（チャンネルリストを設定しているときのみ）☞P264
  [1] ～ [9]：チャンネル番号入力画面へ切り替え
  [#]：サウンド設定切り替え（設定メニューの項目順）☞P280
  [*]：音声 ES 切り替え ☞P279
  [♫]：ミュージックプレイヤーへ切り替え
  [MENU][1][3]：FM ラジオへ切り替え
  [♫]（1 秒以上）／[☎]：モバHO! 機能終了
  [MENU][5]：番組内容の詳細画面を表示

- [CLR] を押しても操作できません。

モバHO! 聴取画面の見かた

①**モバHO! の受信レベル**
[強アイコン]：強　[弱アイコン]：弱　[圏外アイコン]：圏外

②**チャンネルロゴ**
チャンネル番号に対応するロゴがないときは [モバHO!] が表示されます。

③**チャンネル番号**

④**チャンネル名**

⑤**放送時間**

⑥**番組名**

⑦**曲名／アーティスト名**

⑧**着信動作設定 ☞P279**
[アイコン]：着信優先　[アイコン]：着信拒否

⑨**オーディオ OFF タイマー ☞P281**
[30]：30 分　[60]：60 分　[90]：90 分
[120]：120 分

⑩**音量と音量上限設定 ☞P281**
[アイコン]：音量上限設定 OFF
[アイコン]：音量上限設定 ON

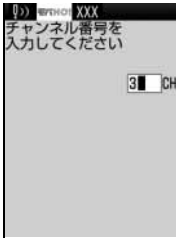
⑪**サウンド設定**
[OFF]：OFF　[BASS1]：BASS1
[BASS2]：BASS2　[BASS3]：BASS3

⑫**オーディオメモリ使用状態（%）**
録音中は、録音経過時間を表示 ☞P264

⑬**音声 ES の状態**

⑭**音声多重の状態 ☞P279**
[MAIN]：主音声　[SUB]：副音声
[MAIN+SUB]：主＋副
[MAIN SUB]：音声多重非対応または切替不可

チャンネル番号を入力して聴く

1 モバHO!聴取画面で、チャンネル番号を入力

数字を入力すると、チャンネル番号入力画面が表示されます。

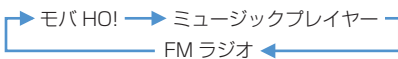
- モバ HO! 聴取画面で MENU 2 を押しても操作できます。

2 [ ] を押す

前回と同じオーディオ機能を起動するには

待受画面で [♫] を 1 秒以上押します。もう一度 1 秒以上押すとオーディオ機能が終了します。モバ HO! の決まったチャンネルを繰り返し聴くときなどに便利です。

● オーディオ機能起動中に [♫] を押すと、次のように切り替えられます。

モバ HO! → ミュージックプレイヤー → FM ラジオ →（モバ HO!）

- FM ラジオと i アプリを同時に起動しているときは、ミュージックプレイヤーに切り替わります。

おしらせ

● 次の場合はモバ HO! 機能を起動できません。
- 日付・時刻を設定していないとき
- オールロック中
- PIM ロック中
- オーディオメモリ読み込み中

● 次の場合は受信を停止し、各機能を終了しても受信は停止したままです。受信を再開するには [ ] を押します（受信の再開までに多少時間がかかることがあります）。
- 着信動作設定を「着信優先」に設定しているときに電話がかかってきたとき、64K データ着信したとき
- 受信表示設定を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージ R/F を受信したとき
- アラームやスケジュールの設定時刻になったとき
- 留守番電話サービスの件数増加通知音が鳴ったとき

● モバ HO! 聴取中は、次の音は鳴りません。
- キー確認音
- 充電確認音
- 開閉時のスライドオープン／スライドクローズの効果音

● 次の場合は、着信音に i モーションを設定しているとお買い上げ時の着信音が鳴ります。また、着信画像は設定に関わらず標準画像の 1 コマが表示されます。
- 着信設定を「着信優先」に設定しているときに電話がかかってきたとき、64K データ着信したとき
- 受信表示設定を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージ R/F を受信したとき
- アラームやスケジュールの設定時刻になったとき

● 次の場合は、画像の設定に関わらず標準画像の 1 コマが表示されます。
- 電話をかけたとき
- メール送受信中
- ネットワーク接続中
- i モード問合せ中

● 次の場合は、画像に i モーションを設定していても再生されません。
- 自局電話番号詳細画面を表示したとき
- 電話帳詳細画面を表示したとき

● 電池残量が [電池アイコン]（電池残量 1）になると、電池残量が少ない旨のメッセージが表示されます。メッセージが表示されてから約 1 分間、何も操作しないと自動的にモバ HO! 機能を終了します。「はい」を選択すると、引き続きモバ HO! を聴取できます。

● メールやメッセージ R/F に添付された 10000 バイトを超える画像やメロディ、i モーション確認時は、モバ HO! 機能を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると受信を停止します。受信を再開するには、各機能終了後 [ ] を押します。

● マナーモード中に付属のマイク付リモコンを接続せずにモバ HO! 聴取を始めようとすると、スピーカー出力するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとスピーカーから音が鳴ります。

● FOMA 端末のスピーカーからの音声はモノラルです。

● モバ HO! 機能をご利用中は FOMA 端末が熱くなりますので、手や顔などで触れる場合はご注意ください。

● 付属のマイク付リモコンの [♫] を 1 秒以上押すと、メール作成など他の機能を実行中でもオーディオ機能を起動できます。

● 受信が不安定なときは、付属のマイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンを接続してください。☛P29

● 衛星からの電波を安定して受信するには、卓上クレードル D01（別売）とセットでモバイル放送受信機用アンテナ（市販品）を接続してください。☛P283

● 画面に表示される SDMB は、Satellite Digital Multimedia Broadcasting（衛星デジタルマルチメディア放送）の略です。

チャンネルリストを設定する
モバHO! チャンネル設定

モバHO! が発信する全チャンネルのリストから、よく聴くチャンネルをチャンネルリストとして設定できます。チャンネルリストに設定されたチャンネルは、モバHO! 聴取中に [⇔] で切り替えられます。
- 未契約の有料番組はチャンネルリストに設定しても受信できません。

お買い上げ時　指定の 15 チャンネル

1 [MENU][7][3]
- モバHO! 聴取画面で [MENU][4] を押しても操作できます。
- [⇔] でページを切り替えられます。

2 チャンネル番号を選択

- 全件選択する：[MENU]
- 全件解除する：[✉]

3 [📖] **を押す**

おしらせ
- チャンネル情報（モバHO! が発信する全チャンネルのリスト）は、変更があるたびに自動的に更新されます。チャンネル情報が更新されたときは、「チャンネル情報が更新されました。チャンネルリストを更新しました」と表示されます。
- チャンネル情報の更新で追加されたチャンネルは、選択解除の状態です。

チャンネルロゴをダウンロードする

モバイル放送株式会社が提供する i モードサイトからチャンネルロゴをダウンロードすることが可能です。ダウンロードしたチャンネルロゴは、モバHO! 聴取画面やチャンネルリストに自動的に設定されます。
- チャンネルロゴをダウンロードするには、i モードのご契約が必要です。
- 登録済みのチャンネルロゴを指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。上書きしないときは「いいえ」を選択してください。
- 「いいえ」を選択すると、チャンネルロゴを保存せず、i モードを終了します。

おしらせ
- ダウンロードしたチャンネルロゴは、データ BOX からは表示できません。
- カメラで撮影した静止画や他のサイトからダウンロードした画像をチャンネルロゴとして設定することはできません。
- チャンネルロゴのダウンロードには、パケット通信料がかかります。

モバHO! を録音する

1 回の録音が 1 ファイルとしてデータ BOX の「モバHO!」に保存されます。モバHO! データは、録音時に記録される曲情報によって、曲単位で再生できる状態になります。
- モバHO! 録音中は、音声電話やテレビ電話をかけることができません。ただし、緊急通報（110 番、119 番、118 番）は可能です。
- 最大録音曲数：500 曲

録音時間を確認する

1 モバHO! 聴取画面で [MENU][6]

録音する

1 モバHO! 聴取画面で [⏺] **（1 秒以上）**

録音開始音が鳴り、録音が開始されます。
- 受信中の放送が録音されます。
- 録音中は、次の機能が利用できません。
  - ・チャンネルの切り替え
  - ・音声 ES の切り替え
  - ・ミュージックプレイヤー／FM ラジオの切り替え
- 番組内容の詳細画面を表示する：[MENU][5]
- 録音中に録音可能時間を確認する：[MENU][6]
- モバHO! 録音中は次の操作ができます。

  [↕]　：音量調整

  [#]　：サウンド設定切り替え（設定メニューの項目順）☛P280
- [CLR] を押しても操作できません。

2 [■] を押す

録音停止音が鳴り、録音が終了します。

おしらせ

- 次の場合は録音を開始できません。
  - 録音可能時間が1分未満のとき
  - コピーが禁止されている番組を受信したとき
- 次の場合は聴取している音声が消音になります（録音は継続されます）。各機能を終了し、[■]を押すと元の音声に戻ります。
  - 着信動作設定を「着信優先」に設定しているときに電話がかかってきたとき、64Kデータ着信したとき
  - 受信表示設定を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信したとき
  - アラームやスケジュールの設定時刻になったとき
  - 留守番電話サービスの件数増加通知音が鳴ったとき
- 次の場合は、着信音にｉモーションを設定しているとお買い上げ時の着信音が鳴ります。また、着信画像は設定に関わらず標準画像の1コマが表示されます。
  - 着信設定を「着信優先」に設定しているときに電話がかかってきたとき、64Kデータ着信したとき
  - 受信表示設定を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信したとき
  - アラームやスケジュールの設定時刻になったとき
- 次の場合は、画像の設定に関わらず標準画像の1コマが表示されます。
  - 電話（緊急通報）をかけたとき
  - メール送受信中
  - ネットワーク接続中
  - ｉモード問合せ中
- 次の場合は、画像にｉモーションを設定していても再生されません。
  - 自局電話番号詳細画面を表示したとき
  - 電話帳詳細画面を表示したとき
- モバHO!圏外に移動したときは録音されませんが、録音状態は継続されます。再び放送を受信すると録音が再開されます。
- モバHO!の受信レベルが圏外でも音声が出力されることがありますが、録音はできません。
- 着信動作設定を「着信優先」に設定しているときにテレビ電話に出たときは、受信と録音が停止されます。受信を再開するには、テレビ電話終了後[■]を押します（受信の再開までに多少時間がかかります）。
- メールやメッセージR/Fに添付された10000バイトを超える画像やメロディ、ｉモーション確認時は、モバHO!の録音を停止するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると録音が停止されます。受信を再開するには、各機能終了後[■]を押します。
- モバHO!を予約録音することはできません。
- 録音中にコピー禁止の番組に切り替わったとき、録音は中止されます。
- 録音中に電池残量がなくなった場合は、それまでに録音されたデータは保存されます。
- 録音中に電池を外したり、電源を切ったりしないでください。正常に録音されなかったり、データが壊れることがあります。
- モバHO!データは録音したFOMA端末でのみ再生できます。USB接続、赤外線通信などでコピーすることはできません。また、パソコンにバックアップすることもできません。
- 故障などによりFOMA端末に保存されたモバHO!データが消失することがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

モバHO!データを再生する

モバHO!データ再生

ミュージックプレイヤーの再生には「モバHO!データ再生」と「ミュージック再生」（☛P271）があります。モバHO!を録音したデータは、モバHO!データ再生画面で再生します。

- 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

1 [MENU] [7] [5]

起動確認音が鳴り、ミュージックプレイヤーが一時停止の状態で起動します。

- 待受画面で[♫]を1秒以上押すと、前回終了時のオーディオ機能が起動します。☛P263
- 起動時は前回ミュージックプレイヤーを終了したときの再生状態が表示されます。ただし、次の操作を行うと前回時の再生情報はリセットされます。
  - ・電源を切る
  - ・オーディオ設定リセット
  - ・USB接続を行う（オーディオメモリモード）
  - ・オーディオメモリ初期化

2 [■] で再生開始

- ミュージックプレイヤー起動中は次の操作ができます。
  - [■]：一時停止／再生
  - [↕]：音量調整
  - [↔]：前後の曲に頭出し
    - ・曲が切り替わるたびに曲切替通知音が鳴ります。
    - ・曲の途中（1秒以上経過）で[←]を押すと、現在の曲の先頭に戻ります。
    - ・ファイル内再生モード時は、ファイル内だけで動作します。

[←□→]（1 秒以上）：早戻し／早送り（再生中のみ）
・指を離すと再生に戻ります。
・1 曲再生モード時は、再生中の曲だけで動作します。
・ファイル内再生モード時は、ファイル内だけで動作します。

[＊]：リピート ON ／ OFF
[0]：プレイモード切り替え（設定メニューの項目順）☛P280
[#]：サウンド設定切り替え（設定メニューの項目順）☛P280
[□]：通常表示／詳細表示／ビジュアル表示切り替え
[□]：曲リスト画面へ切り替え ☛P267
[✉]：モバ HO! プレイリスト画面へ切り替え ☛P267
[♫]：FM ラジオへ切り替え
[MENU][1][2]：モバ HO! 聴取へ切り替え
[MENU][2]：ミュージック再生へ切り替え
[♫]（1 秒以上）：ミュージックプレイヤー終了

再生表示画面の見かた

再生表示画面

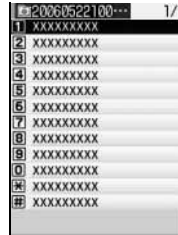
1 曲名
2 アーティスト名
3 ファイル名
4 ファイル内の曲番／曲数
5 再生状態
 PLAY：再生　PAUSE：一時停止
 FFW：早送り　REW：早戻し
6 音声多重の状態 ☛P279
 MAIN SUB：主音声　MAIN+SUB：主音声＋副音声
 MAIN SUB：副音声
 MAIN SUB：音声多重非対応または切替不可
7 リピート
 ：ON　：OFF
8 プレイモード
 ：通常再生　：1 曲再生
 ：ファイル内再生
9 再生経過表示（1 曲単位）
10 サウンド設定
 OFF：OFF　BASS 1：BASS 1
 BASS 2：BASS 2　BASS 3：BASS 3
11 オーディオ OFF タイマー ☛P281
 OFF：OFF　30：30 分　60：60 分
 90：90 分　120：120 分
12 音量と音量上限設定 ☛P281
 ：音量上限設定 OFF
 ：音量上限設定 ON
13 詳細情報（チャンネル名、番組名、ファイル名）

おしらせ

● 次の場合はミュージックプレイヤーを起動できません。
  - オールロック中
  - PIM ロック中
  - オーディオメモリ読み込み中
● 次の場合は再生が一時停止し、各機能を終了しても一時停止のままです。再生を再開するには [キー] を押します。
  - 電話がかかってきたとき、64K データ着信したとき
  - 受信表示設定を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージ R/F を受信したとき
  - アラームやスケジュールの設定時刻になったとき
  - メロディ、ｉモーション、Flash などの音が鳴動したとき
  - ｉアプリを起動したとき
  - 留守番電話サービスの件数増加通知音が鳴ったとき
● 再生中は、次の音は鳴りません（ただし、曲と曲の間で音が鳴ることがあります）。
  - キー確認音
  - 充電確認音
  - 開閉時のスライドオープン／スライドクローズの効果音
● 電池残量が [アイコン]（電池残量 1）になると、電池残量が少ない旨のメッセージが表示されます。メッセージが表示されてから約 1 分間、何も操作しないと自動的にミュージックプレイヤーを終了します。「はい」を選択すると、引き続き再生できます。
● マナーモード中に付属のマイク付リモコンを抜くと一時停止します。
● マナーモード中に付属のマイク付リモコンを接続せずに再生を始めようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示され、「はい」を選択するとスピーカーから音が鳴ります。
● キー確認音を「OFF」に設定していても、曲切替通知音は鳴ります。曲切替通知音の音量は受話音量と連動しています。
● 録音時のチャンネルや放送内容によっては、曲名やアーティスト名が「Unknown」と表示されることがあります。
● 録音時の番組や受信状態によっては曲情報表示と曲の頭出しのタイミングがずれることがあります。
● モバ HO! データは音の設定（着信音・スライド音など）には利用できません。
● 録音した FOMA 端末でのみ再生可能です。故障修理を含めて機種変更した場合、録音した番組は再生できなくなります。
● FOMA 端末のスピーカーからの音声はモノラルです。

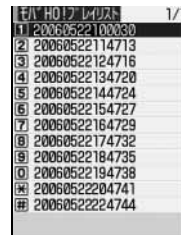
曲を選んで再生する

ファイル別の曲リスト画面から曲を選んで再生します。
- 曲名が付かない番組を録音したファイルでは、曲の選択はできません。

1 再生表示画面で [キー]

曲リスト画面

- [キー] を押してページを切り替えられます。
- 曲名が未登録の場合は「Unknown」と表示されます。
- [キー] を押すと再生表示画面に戻ります。

■ モバ HO! プレイリストから曲を選ぶ

① 再生表示画面または曲リスト画面で [キー]

モバ HO! プレイリスト画面

モバ HO! データが一覧表示されます。
- 待受画面で [MENU] [5] [2] を押してもモバ HO! プレイリスト画面を表示できます。
- [キー] を押してページを切り替えられます。
- [MENU] [2] を押すと、詳細情報（表示名、タイトル、ファイル名、録音開始時間、録音終了時間、ファイルサイズ）が表示されます。
- 表示名が未登録の場合は「Unknown」と表示されます。
- [キー] を押すと再生表示画面に戻ります。

② モバ HO! データ（ファイル名）を選択

選択したモバ HO! データの曲リスト画面が表示されます。
- [キー] を押すとモバ HO! プレイリスト画面に戻ります。

つづく

2 曲を選択

選択した曲が再生されます。

- 再生できない曲を選択したときは、その曲を飛ばして次の曲が再生されます。
- 一部しか再生できない曲を選択したときは、再生できる部分だけが再生されます。

モバHO! データの表示名を変更する

- 再生中は表示名を変更できません。

1 モバHO! プレイリスト画面でモバHO! データを選ぶ ▶ MENU 3

2 表示名を入力（全角・半角を問わず 36 文字まで） ▶ 📖

- タイトルに戻す：「オリジナルに戻す」を選択

モバHO! データを削除する

- 再生中はモバHO! データを削除できません。
- 曲単位での削除はできません。

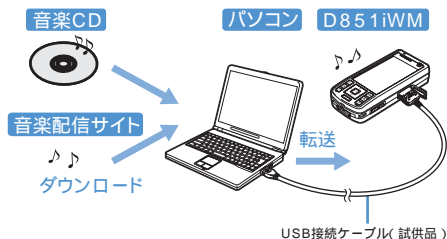
1 モバHO! プレイリスト画面でモバHO! データを選ぶ ▶ MENU 6 1

■ 複数削除する：MENU 6 2 ▶ データを選択 ▶ 📖

■ 全件削除する：MENU 6 3 ▶ 端末暗証番号を入力

2 「はい」を選択

音楽データを転送する

付属のオーディオソフト BeatJam をインストールし、パソコンから音楽データを転送します。転送された音楽データはデータ BOX の「ミュージック」に保存されます。

BeatJam をインストールする

■ BeatJam の動作環境

項　目	必要環境
OS	Windows 98SE、Me、2000※1、XP※1（各日本語版）
CPU／メモリ	CPU Intel Pentium III 450MHz／メモリ 128MB 以上
ハードディスク必要容量	180MB 以上
画面	解像度 1024 × 768 以上、High Color 以上
サウンド	サウンドカード必須

※1：システム管理者（Administrator またはコンピュータの管理者）でのみ使用可能です。パソコンの管理者権限の設定操作については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。

■ BeatJam の取扱説明書について

BeatJam のセットアップ時のご注意や操作方法については、BeatJam の取扱説明書をご覧ください。BeatJam の取扱説明書（PDF 形式のマニュアル）をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader（バージョン 5.0 以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

取扱説明書は以下の方法で確認できます。

①添付の CD-ROM をパソコンにセット
②「BeatJam」をクリック
③「BeatJam の使い方」をクリック

- BeatJam をインストールしたあとは、「スタート」メニューの「プログラム」または「すべてのプログラム」▶「BeatJam」▶「BeatJam のマニュアル」を選択します。

■ BeatJam に関するお問い合わせ先

ジャストシステムサポートホームページ
http://support.justsystem.co.jp/
サポートサービスの詳細につきましては、上記 URL にてご確認ください。
また、上記 URL では、製品に関するお問い合わせで、特に多いご質問の Q&A 情報をご提供しています。

株式会社ジャストシステム　ジャストシステムサポートセンター
電話番号：東京：03-5412-3980
大阪：06-6886-7160
受付時間※1
平日：10:00-19:00
土日祝：10:00-17:00
※1：特別休業日（年末年始など）を除く

- お問い合わせの前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録に関しては『BeatJam サポートガイド』をご覧ください。

1 添付のCD-ROMをパソコンにセット

- 添付のCD-ROMをパソコンにセットすると、自動的に「ソフトウェアのセットアップ」画面が表示されます。セットアップ画面が表示されないときは、CD-ROMの「BeatJam」-「OmgBJ」フォルダ内の「Readme.txt」をご覧ください。

2 「BeatJam」をクリック

3 「BeatJamのセットアップ」をクリック ▶ 画面の指示に従ってインストール

- BeatJamのインストール終了後には、パソコンを再起動させる必要があります。

音楽データを準備する

以下のいずれかの方法で音楽データを準備します。操作方法については、BeatJamの取扱説明書をご覧ください。

- 音楽CDをパソコンにセットする
- パソコンで音楽配信サイトから音楽データをダウンロードし、BeatJamのライブラリに登録する
- MP3などの音楽データをBeatJamのライブラリに登録する

FOMA端末に音楽データを転送する

BeatJamを使ってパソコンから転送します。あらかじめBeatJamを起動していなくても、パソコンとオーディオメモリモードに設定したFOMA端末を接続すると、自動的に転送メニューが表示されます。

- オーディオメモリモードに設定すると、通話やｉモード通信などができなくなります。
- 音楽データを転送するときは、電池残量にご注意ください。転送中に電池残量がなくなった場合は、オーディオメモリが壊れたり、データを正しく転送できない可能性があります。大容量の音楽データを転送する場合は、途中で電池残量がなくなる可能性がありますので、何回かに分けて転送してください。

パソコンとFOMA端末をUSB接続ケーブルで接続する前に、必ずBeatJamをインストールしてください。接続後にインストールを行うと、USBドライバが正しくインストールされないことがあります。

■ 転送できる音楽データ形式

- 転送後はすべての音楽データがOpenMG対応になります。

転送できるデータ形式
ATRAC3／ATRAC3plus／WAVE／WMA／MP3

転送後のデータ形式
ATRAC3／ATRAC3plus／MP3※1

※1：転送前がMP3の場合のみOpenMGで著作権保護されたMP3形式に変換して転送されます。

■ 保存できる音楽データの時間（目安）

- ATRAC3plus、MP3については代表的なビットレートを記載しています。

データ形式	ATRAC3		
ビットレート	132kbps	105kbps	66kbps
時間（分）	約960	約1200	約1920

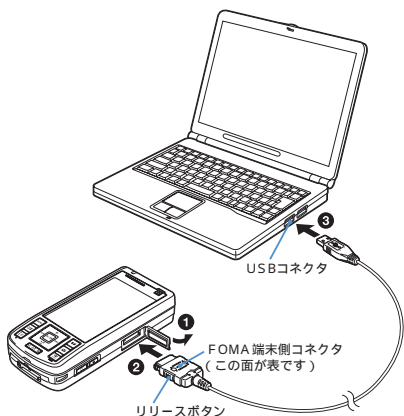
データ形式	ATRAC3plus		
ビットレート	256kbps	64kbps	48kbps
時間（分）	約520	約2080	約2800

データ形式	MP3		
ビットレート	128kbps	64kbps	48kbps
時間（分）	約1040	約2080	約2800

1 FOMA端末でUSBモード設定を「オーディオメモリモード」に切り替える

①MENU 7 7 2
②「はい」を選択

- FOMA端末にパソコンを接続していない状態でオーディオメモリへのアクセスがなく約90秒が経過すると、自動的に「通信モード」に切り替わります。
- オーディオメモリモード中は着信ランプが点滅します。

2 パソコンとFOMA端末を付属のUSB接続ケーブルで接続する

❶FOMA端末の外部接続端子の端子カバーを開く

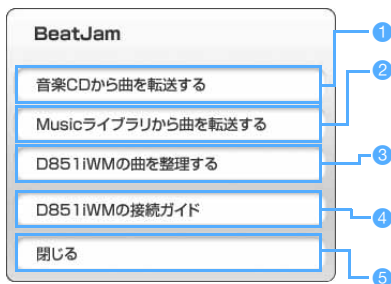
❷USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまでFOMA端末の外部接続端子に差し込む

❸USB 接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む

パソコンにBeatJam-D851iWM転送メニュー画面が自動的に表示されます。

- FOMA端末を接続する前に、タスクトレイのをを右クリックして表示されるメニューから、BeatJam転送メニューを終了したり、Windows起動時に常駐しないように設定している場合は、BeatJam-D851iWM転送メニュー画面が表示されません。[スタート] ▶ [プログラム] または [すべてのプログラム] ▶ [BeatJam] ▶ [BeatJam転送メニュー] をクリックすると、BeatJam転送メニューを表示できます。
- BeatJam-D851iWM転送メニュー画面を表示する設定にしていても画面が表示されないときは、USBドライバが正しくインストールされていない可能性があります。USBドライバを確認する☛P271
- BeatJam を起動した状態で接続したときは、タスクトレイのをクリックし、BeatJam-D851iWM転送メニューを表示できます。

3 BeatJam-D851iWM 転送メニュー画面からBeatJamを起動 ▶FOMA端末に音楽データを転送

- 操作方法については、BeatJamの取扱説明書をご覧ください。

1. 音楽CDの曲を転送するときにクリックします
2. 音楽配信サイトからダウンロードした曲など、ライブラリに登録している音楽データを転送するときにクリックします
3. FOMA端末に転送した曲名や曲順、グループの編集などをするときにクリックします
4. パソコンとFOMA端末の接続方法を確認するときにクリックします
5. BeatJamを起動しないときにクリックします

4 パソコン操作でハードウェアの取り外しを行い、USB接続ケーブルを外す

- Windows XP、2000、Meの場合、パソコン操作でハードウェアの取り外しを行ってからUSB接続ケーブルを外さないと、パソコンを破損させる恐れがあります。
- Windows 98SEの場合は、データの送受信が終了していることを確認して、操作②から操作してください。

①パソコン操作でハードウェア(接続されたFOMA端末)の取り外しを行う

- パソコンのOSや設定により、ハードウェア(接続されたFOMA端末)の取り外し操作は異なります。

②USB接続ケーブルのパソコン側コネクタを引き抜く

③USB接続ケーブルのFOMA端末側コネクタを両側のリリースボタンを押しながら引き抜く

約90秒後に自動的に「通信モード」に切り替わります。手動で切り替えるときは、[■]以外のキーを押し、「はい」を選択します。

- FOMA端末側のコネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引っぱろうとすると故障の原因となります。

おしらせ

- 音楽データ転送中に USB 接続ケーブルを取り外したり、FOMA 端末の USB モード設定を「オーディオメモリモード」から「通信モード」に切り替えたりしないでください。データが破損したり、FOMA 端末やパソコンが故障したりする場合があります。
- パソコンと FOMA 端末を接続する前に、パソコンで BeatJam を起動しても操作できます。操作方法については、BeatJam の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA USB 接続ケーブル（別売）でもパソコンと FOMA 端末を接続できます。
- 卓上クレードル D01（別売）を使用しても、パソコンと FOMA 端末を接続できます。☛P283

USB ドライバを確認する

パソコンと FOMA 端末を付属の USB 接続ケーブルで接続しても BeatJam-D851iWM 転送メニュー画面が表示されないときに確認します。

■ Windows XP の USB ドライバを確認する

①「スタート」メニューの「コントロールパネル」▶「パフォーマンスとメンテナンス」▶「システム」を開く

②「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」を開く

③デバイスが認識されていることを確認する

USB（Universal Serial Bus）コントローラ：
　USB 大容量記憶装置デバイス
ディスクドライブ：
　DoCoMo FOMA D851iWM USB Device
記憶域ボリューム：
　汎用ボリューム

■ Windows 2000 の USB ドライバを確認する

①「スタート」メニューの「設定」▶「コントロールパネル」▶「システム」を開く

②「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」を開く

③デバイスが認識されていることを確認する

USB（Universal Serial Bus）コントローラ：
　DoCoMo FOMA D851iWM
DoCoMo FOMA D851iWM：
　Memory Stick Drive（ご使用の環境により、表示が異なる場合があります。）
記憶域ボリューム：
　汎用ボリューム

■ Windows Me、98SE の USB ドライバを確認する

①「スタート」メニューの「コントロールパネル」▶「システム」を開く

②「デバイスマネージャ」を開く

③デバイスが認識されていることを確認する

ユニバーサルシリアルバスコントローラ：
　DoCoMo FOMA D851iWM
ディスクドライブ：
　DoCoMo FOMA D851iWM
記憶装置：
　USB ディスク（Windows 98SE の場合は表示されません。）

おしらせ

- 確認したデバイスに「！」または「？」が付いている場合は、「その他のデバイス」を開き、「不明なデバイス」を削除してください（Windows XP では「！」が付いたデバイスを開き、プロパティ画面のドライバタブを選んで削除してください）。その後、再びBeatJamをインストールしてください。☛P268
- デバイスが認識されない場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。
  - 抜き差しは 5 秒以上あけてください。
  - 抜き差ししても認識されない場合は、パソコンを再起動してください。

音楽データを再生する

ミュージック再生

ミュージックプレイヤーの再生には「モバ HO! データ再生」（☛P265）と「ミュージック再生」があります。付属のオーディオソフト BeatJam を使って転送され、データ BOX の「ミュージック」に保存された音楽データは、ミュージック再生画面で再生します。

- 音楽データの編集については、BeatJam の取扱説明書をご覧ください。
- 各画像はイメージです。実際の画面とは異なります。

1 MENU 7 5

起動確認音が鳴り、ミュージックプレイヤーが一時停止の状態で起動します。

- 待受画面で ♫ を 1 秒以上押すと、前回終了時のオーディオ機能が起動します。☛P263
- 起動時は前回ミュージックプレイヤーを終了したときの再生状態が表示されます。ただし、次の操作を行うと前回時の再生情報はリセットされます。
  - ・電源を切る
  - ・オーディオ設定リセット
  - ・USB 接続を行う（オーディオメモリモード）
  - ・オーディオメモリ初期化

2 [↓]で再生開始

- ミュージックプレイヤー起動中は次の操作ができます。

[↓]：一時停止／再生

[↕]：音量調整

[↔]：前後の曲に頭出し

・曲が切り替わるたびに曲切替通知音が鳴ります。

・曲の途中（1 秒以上経過）で[←]を押すと、現在の曲の先頭に戻ります。

・グループ内再生モード、グループ内シャッフルモード時は、グループ内だけで動作します。

・シャッフル再生モード、グループ内シャッフルモード時は、現在の曲またはシャッフルされた次曲に頭出しします。

[↔]（1 秒以上）：早戻し／早送り（再生中のみ）

・指を離すと再生に戻ります。

・１曲再生時は、再生中の曲だけで動作します。

・グループ内再生モード、グループ内シャッフルモード時は、グループ内だけで動作します。

・シャッフル再生モード、グループ内シャッフルモード時の早戻しは、現在の曲の先頭までです。

[*]：リピート ON ／ OFF

[0]：プレイモード切り替え（設定メニューの項目順）☛P280

[#]：サウンド設定切り替え（設定メニューの項目順）☛P280

[i]：通常表示／詳細表示／ビジュアル表示切り替え

[📖]：曲リスト画面へ切り替え☛P267

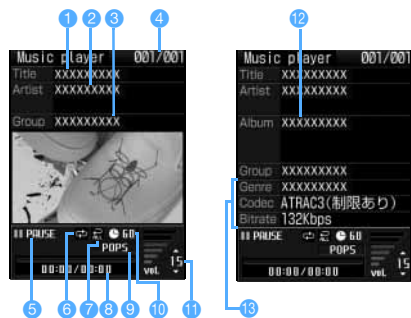
[✉]：ミュージックプレイリスト画面へ切り替え☛P273

[♫]：FM ラジオへ切り替え

[MENU][1][2]：モバ HO! 聴取へ切り替え

[MENU][2]：モバ HO! データ再生へ切り替え

[♫]（1 秒以上）：ミュージックプレイヤー終了

再生表示画面の見かた

通常表示のとき　詳細表示のとき

再生表示画面

①曲名

②アーティスト名

③グループ名

④グループ内の曲番／曲数

⑤再生状態

▶PLAY：再生　II PAUSE：一時停止

▶▶FFW：早送り　◀◀REV：早戻し

⑥リピート

[icon]：ON　[icon]：OFF

⑦プレイモード

[icon]：通常再生　[icon]：シャッフル再生

[icon]：１曲再生　[icon]：グループ内再生

[icon]：グループ内シャッフル

⑧再生経過時間／１曲の演奏時間

⑨サウンド設定

OFF：OFF　POPS：POPS

ROCK：ROCK　ACOUSTIC：ACOUSTIC

BASS 1：BASS 1　BASS 2：BASS 2

BASS 3：BASS 3

⑩オーディオ OFF タイマー☛P281

OFF：OFF　30：30 分　60：60 分

90：90 分　120：120 分

⑪音量と音量上限設定☛P281

[icon]：音量上限設定 OFF

[icon]：音量上限設定 ON

⑫アルバム名

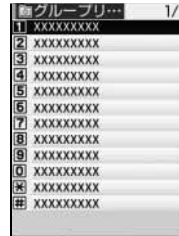
⑬詳細情報（ジャンル、コーデック、ビットレート）

おしらせ

● 次の場合はミュージックプレイヤーを起動できません。
  • オールロック中　　• PIM ロック中
  • オーディオメモリ読み込み中
● 次の場合は再生が一時停止し、各機能を終了しても一時停止のままです。再生を再開するには [⬇] を押します。
  • 電話がかかってきたとき、64K データ着信したとき
  • 受信表示設定を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージ R/F を受信したとき
  • アラームやスケジュールの設定時刻になったとき
  • メロディ、ｉモーション、Flash などの音が鳴動したとき
  • ｉアプリを起動したとき
  • 留守番電話サービスの件数増加通知音が鳴ったとき
● 再生中は、次の音は鳴りません。
  • キー確認音　　• 充電確認音
  • 開閉時のスライドオープン／スライドクローズの効果音
● 電池残量が ▮（電池残量 1）になると、電池残量が少ない旨のメッセージが表示されます。メッセージが表示されてから約 1 分間、何も操作しないと自動的にミュージックプレイヤーを終了します。「はい」を選択すると、引き続き再生できます。
● マナーモード中に付属のマイク付リモコンを抜くと一時停止します。
● マナーモード中に付属のマイク付リモコンを接続せずに再生を始めようとすると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとスピーカーから音が鳴ります。
● キー確認音を「OFF」に設定していても、曲切替通知音は鳴ります。曲切替通知音の音量は一時停止中は受話音量と、再生中はミュージックプレイヤーの音量と連動しています。
● 音楽 CD などでは曲間がつながって再生されていた場合も、ミュージックプレイヤーで再生すると一定の曲間（無音部分）が生じます。
● BeatJam での編集時と FOMA 端末操作時では、曲情報（曲名やグループ名、グループ構成など）の表示が異なることがあります。
● 保存データの種類によっては、ミュージックプレイヤーの起動に時間がかかることがあります。
● 音楽データのビットレートやサンプリング周波数によっては音とびやノイズが生じることがあります。
● 音楽データは音の設定（着信音・スライド音など）には利用できません。
● ミュージック再生では曲名や曲順、グループの編集はできません。
● FOMA 端末のスピーカーからの音声はモノラルです。

曲を選んで再生する

グループ別の曲リスト画面から曲を選んで再生します。

1 再生表示画面で [📖]

曲リスト画面

• [◀▶] を押してページを切り替えられます。
• 曲名が未登録の場合は「Unknown」と表示されます。
• [📋] を押すと再生表示画面に戻ります。

■ ミュージックプレイリストから曲を選ぶ

① **再生表示画面または曲リスト画面で [✉]**

ミュージックプレイリスト画面

グループ名が一覧表示されます。
• 待受画面で [MENU] [5] [1] を押してもミュージックプレイリスト画面を表示できます。
• [◀▶] を押してページを切り替えられます。
• グループ名が未登録の場合は「Unknown」と表示されます。
• [📋] を押すと再生表示画面に戻ります。

② **グループを選択**

選択したグループの曲リスト画面が表示されます。
• [✉] を押すとミュージックプレイリスト画面に戻ります。

2 曲を選択

選択した曲が再生されます。
• 再生できない曲を選択したときは、その曲を飛ばして次の曲が再生されます。
• 一部しか再生できない曲を選択したときは、再生できる部分だけが再生されます。

FMラジオを聴く

FMラジオ

FMラジオ放送（76.0MHz～90.0MHz）とテレビ放送（1ch～3ch）の音声が受信できます。

- FMラジオを聴くときは、付属のマイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンを必ず接続してください。両方のコードがFMアンテナの役目をしています。

お使いの地域の放送局を聴く　エリア選択

お使いの地域の放送局をまとめてダイヤルキーに登録し、選ぶことができます。

- エリア選択時の放送局一覧 ☛P277

1 MENU 7 6

FMラジオが起動し、前回FMラジオを終了したときに受信していた放送局が受信されます。

- 待受画面で ♫ を1秒以上押すと、前回終了時のオーディオ機能が起動します。☛P263

2 📖 ▶ 📇

エリア選択画面が表示されます。

エリア選択画面

- ◀▶ を押してページを切り替えられます。
- 登録される放送局を一覧表示する：表示したい都道府県名を選ぶ ▶ 📖

3 都道府県名を選択

登録確認のメッセージが表示され、登録済みのプリセット一覧画面が表示されます。

- 登録した放送局の周波数を変更するには ☛P276

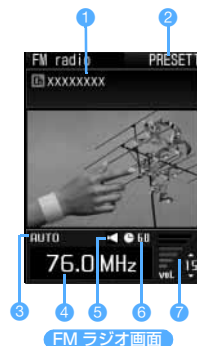
プリセット一覧画面

4 プリセット番号を選択

選択した放送局が受信されます。

- FMラジオ起動中は次の操作ができます。
  - ⬇ ：START（受信）
  - ⬍ ：音量調整
  - ◀▶ ：周波数変更
  - ◀▶（1秒以上）：前後の放送局を自動選局
  - 📇 ✉：前後のプリセット局を受信
  - 1 ～ 9：プリセット局を受信
  - ✱：周波数入力 ☛P275
  - #：AUTO／MONO（モノラル）切り替え ☛P280
  - 📖 ：プリセット一覧画面へ切り替え
  - ♫：モバHO! 聴取へ切り替え
  - MENU 1 1 ：ミュージックプレイヤーへ切り替え
  - ♫（1秒以上）：FMラジオ終了

FMラジオ画面の見かた

FMラジオ画面

1 **プリセット名**

2 **プリセット番号**

3 **受信方法**

AUTO：オート　MONO：モノラル

4 **受信周波数／テレビチャンネル**

5 **状態表示**

（アイコン）：受信停止中　（アイコン）：受信中

6 **オーディオOFFタイマー** ☛P281

OFF：OFF　30：30分　60：60分　90：90分　120：120分

7 **音量と音量上限設定** ☛P281

（アイコン）：音量上限設定OFF
（アイコン）：音量上限設定ON

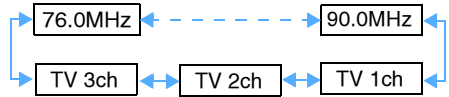
おしらせ

- 次の場合はFMラジオを起動できません。
  - オールロック中
  - PIMロック中
  - オーディオメモリ読み込み中
- 次の場合は受信を停止し、各機能を終了しても停止したままです。受信を再開するには [↓] を押します。
  - 電話がかかってきたとき、64Kデータ着信したとき
  - 受信表示設定を「通知優先」に設定しているときにメールやメッセージR/Fを受信したとき
  - アラームやスケジュールの設定時刻になったとき
  - メロディ、ｉモーション、Flashなどの音が鳴動したとき
  - ｉアプリを起動したとき
  - 留守番電話サービスの件数増加通知音が鳴ったとき
- FMラジオ起動中（受信停止中を除く）は、次の音は鳴りません。
  - キー確認音
  - 充電確認音
  - 開閉時のスライドオープン／スライドクローズの効果音
- 電池残量が ▮▮ （電池残量 1）になると、電池残量が少ない旨のメッセージが表示されます。メッセージが表示されてから約1分間、何も操作しないと自動的にFMラジオが終了します。「はい」を選択すると、引き続きFMラジオを聴くことができます。
- 次の場合は雑音が発生することがあります。
  - 充電中
  - キー操作などで画面を切り替えたとき
  - 近くに電子機器があるとき
- FOMA端末のスピーカーからの音声はモノラルです。
- 室内など電波の弱いところではFMラジオが聴こえにくくなります。そのような場合は次の方法をお試しください。
  - 付属のマイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンのコードを伸ばして、聴こえる角度を探す。
  - 窓の近くなどに移動してみる。
- 卓上クレードル（別売）とFMアンテナを接続してFMラジオを聴くこともできます。☞P283
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などをイヤホンマイク端子に接続してFMラジオを聴くこともできます。ただし、受信感度については保証できない場合があります。

エリア選択以外の放送局を選ぶ

エリア選択画面で登録できなかった放送局を個別に受信できます。

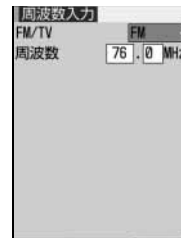
1 FMラジオ画面で [◀□▶] ▶ 放送局を選ぶ

- [◀□▶] を押すごとに、FMラジオは0.1MHz単位、テレビは1ch単位で変化します。

■ **自動的に放送局を選ぶ（自動選局）：[◀□▶]（1秒以上）**

一番近い周波数の放送局を受信します。

- 受信周波数を一巡しても受信できないときは、[◀□▶] を押す前の周波数で止まります。
- 自動選局を中止するには [↓] を押します。中止すると、中止した時点の周波数を受信します。
- 自動選局中は「Scanning」と表示されます。

■ **周波数を入力して放送局を選ぶ：**

① [＊] ▶ 各項目を選択して設定

FM/TV ：[1] ～ [4] を押して「FM」または「TV 1ch」～「TV 3ch」を選択します。

周波数 ：「FM」を選択したときは、ダイヤルキーで周波数（76.0～90.0）を入力します。

② [□] を押す

■ **プリセット一覧画面から選局する：**

[□] ▶ [1] ～ [9]

放送局を個別に登録する　プリセット登録

エリア選択で登録できなかった放送局を追加できます。プリセット登録の編集や削除もできます。
- 最大登録数：9件

1 **登録したい放送局を選ぶ**

2 **[1]～[9]（1秒以上）**
- 同じ放送局がすでに他のプリセット番号に登録されているときは重複して登録できません。
- 登録済みの番号を指定したときは、上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると登録内容を変更できます。

3 **各項目を選択して設定**

プリセット名：放送局名などを入力します（全角20文字（半角40文字）まで）。
- プリセット名を入力せずに登録した場合は、プリセット名欄には何も表示されません。

FM/TV：表示内容を確認･変更します。
周波数：表示内容を確認･変更します。

4 **[📖]を押す**

プリセットの内容を変更する

1 **FMラジオ画面で[📖]**

2 **変更するプリセット番号を選ぶ▶[✉]**

3 **各項目を変更▶[📖]**

プリセットを削除する

1 **FMラジオ画面で[📖]**

2 **削除するプリセット番号を選ぶ▶[MENU][1]**

■ すべてのプリセットを削除する：
[MENU][2]▶端末暗証番号を入力

3 **「はい」を選択**

エリア選択時の放送局一覧

- エリア選択の操作 ☛P274

地域	プリセット番号	放送局名	周波数(MHz)
北海道	1	AIR-G'	80.4
	2	NORTH WAVE	82.5
	3	NHK-FM	85.2
青森県	1	FM 岩手	76.1
	2	FM 青森	80.0
	3	NHK-FM	86.0
岩手県	1	FM 岩手	76.1
	2	Date fm	77.1
	3	NHK-FM	83.1
宮城県	1	Date fm	77.1
	2	ふくしま FM	81.8
	3	NHK-FM	82.5
秋田県	1	FM 岩手	76.1
	2	FM 秋田	82.8
	3	NHK-FM	86.7
山形県	1	Date fm	77.1
	2	FM 山形	80.4
	3	NHK-FM	82.1
福島県	1	Date fm	77.1
	2	ふくしま FM	81.8
	3	NHK-FM	85.3
茨城県	1	InterFM	76.1
	2	bayfm	78.0
	3	NACK5	79.5
	4	TOKYO FM	80.0
	5	J-WAVE	81.3
	6	ふくしま FM	81.8
	7	NHK-FM	83.2
栃木県	1	RADiO BERRY	76.4
	2	NACK5	79.5
	3	TOKYO FM	80.0
	4	NHK-FM	80.3
	5	J-WAVE	81.3
	6	ふくしま FM	81.8
	7	FM 群馬	86.3
群馬県	1	NACK5	79.5
	2	TOKYO FM	80.0
	3	J-WAVE	81.3
	4	NHK-FM	81.6
	5	FM 群馬	86.3
埼玉県	1	InterFM	76.1
	2	bayfm	78.0
	3	FM FUJI	78.6
	4	NACK5	79.5
	5	TOKYO FM	80.0
	6	J-WAVE	81.3
	7	FM ヨコハマ	84.7
	8	NHK-FM	85.1
	9	FM 群馬	86.3
千葉県	1	InterFM	76.1
	2	bayfm	78.0
	3	NACK5	79.5
	4	TOKYO FM	80.0
	5	NHK-FM	80.7
	6	J-WAVE	81.3
	7	FM ヨコハマ	84.7

地域	プリセット番号	放送局名	周波数(MHz)
東京都	1	InterFM	76.1
	2	bayfm	78.0
	3	FM FUJI	78.6
	4	NACK5	79.5
	5	TOKYO FM	80.0
	6	J-WAVE	81.3
	7	NHK-FM	82.5
	8	FM ヨコハマ	84.7
神奈川県	1	InterFM	76.1
	2	bayfm	78.0
	3	FM FUJI	78.6
	4	NACK5	79.5
	5	TOKYO FM	80.0
	6	J-WAVE	81.3
	7	NHK-FM	81.9
	8	FM ヨコハマ	84.7
新潟県	1	FM-NIIGATA	77.5
	2	FM ポート	79.0
	3	ふくしま FM	81.8
	4	NHK-FM	82.3
富山県	1	FM 石川	80.5
	2	NHK-FM	81.5
	3	FM とやま	82.7
石川県	1	FM 福井	76.1
	2	FM 石川	80.5
	3	NHK-FM	82.2
	4	FM とやま	82.7
福井県	1	FM 福井	76.1
	2	FM 石川	80.5
	3	NHK-FM	83.4
山梨県	1	TOKYO FM	80.0
	2	FM FUJI	83.0
	3	NHK-FM	85.6
長野県	1	FM 長野	79.7
	2	NHK-FM	84.0
岐阜県	1	ZIP-FM	77.8
	2	FM 三重	78.9
	3	RADIO- i	79.5
	4	岐阜 FM	80.0
	5	FM AICHI	80.7
	6	NHK-FM	83.6
静岡県	1	K-MIX	79.2
	2	RADIO- i	79.5
	3	FM ヨコハマ	84.7
	4	NHK-FM	88.8
愛知県	1	ZIP-FM	77.8
	2	FM 三重	78.9
	3	RADIO- i	79.5
	4	岐阜 FM	80.0
	5	FM AICHI	80.7
	6	NHK-FM	82.5
三重県	1	ZIP-FM	77.8
	2	FM 三重	78.9
	3	RADIO- i	79.5
	4	岐阜 FM	80.0
	5	FM AICHI	80.7
	6	NHK-FM	81.8

地域	プリセット番号	放送局名	周波数(MHz)
滋賀県	1	FMCOCOLO	76.5
	2	e-radio	77.0
	3	岐阜 FM	80.0
	4	FM802	80.2
	5	NHK-FM	84.0
	6	fm osaka	85.1
	7	Alpha-Station	89.4
京都府	1	FMCOCOLO	76.5
	2	FM802	80.2
	3	NHK-FM	82.8
	4	fm osaka	85.1
	5	Alpha-Station	89.4
	6	Kiss-FM KOBE	89.9
大阪府	1	FMCOCOLO	76.5
	2	FM802	80.2
	3	FM 徳島	80.7
	4	fm osaka	85.1
	5	NHK-FM	88.1
	6	Alpha-Station	89.4
	7	Kiss-FM KOBE	89.9
兵庫県	1	FMCOCOLO	76.5
	2	FM 山陰	77.4
	3	FM 香川	78.6
	4	FM802	80.2
	5	FM 徳島	80.7
	6	fm osaka	85.1
	7	NHK-FM	86.5
	8	Alpha-Station	89.4
	9	Kiss-FM KOBE	89.9
奈良県	1	FMCOCOLO	76.5
	2	FM802	80.2
	3	fm osaka	85.1
	4	NHK-FM	87.4
	5	Alpha-Station	89.4
	6	Kiss-FM KOBE	89.9
和歌山県	1	FMCOCOLO	76.5
	2	FM802	80.2
	3	FM 徳島	80.7
	4	NHK-FM	84.7
	5	fm osaka	85.1
鳥取県	1	FM 山陰	78.8
	2	NHK-FM	85.8
島根県	1	FM 山陰	77.4
	2	FM 山口	79.2
	3	NHK-FM	84.5
岡山県	1	FM 岡山	76.8
	2	FM 山陰	77.4
	3	広島 FM	78.2
	4	FM 香川	78.6
	5	FM 愛媛	79.7
	6	NHK-FM	88.7
広島県	1	FM 山陰	77.4
	2	広島 FM	78.2
	3	FM 山口	79.2
	4	FM 愛媛	79.7
	5	NHK-FM	88.3
山口県	1	Love FM	76.1
	2	FM 山陰	77.4
	3	広島 FM	78.2
	4	CROSS FM	78.7
	5	FM 山口	79.2
	6	FM 愛媛	79.7
	7	FM 福岡	80.7
	8	NHK-FM	85.3

地域	プリセット番号	放送局名	周波数(MHz)
徳島県	1	FMCOCOLO	76.5
	2	FM802	80.2
	3	FM 徳島	80.7
	4	NHK-FM	83.4
	5	fm osaka	85.1
香川県	1	FMCOCOLO	76.5
	2	FM 岡山	76.8
	3	広島 FM	78.2
	4	FM 香川	78.6
	5	FM 愛媛	79.7
	6	FM802	80.2
	7	FM 徳島	80.7
	8	fm osaka	85.1
	9	NHK-FM	86.0
愛媛県	1	広島 FM	78.2
	2	FM 山口	79.2
	3	FM 愛媛	79.7
	4	NHK-FM	87.7
高知県	1	FM 徳島	80.7
	2	FM 高知	81.6
	3	NHK-FM	87.5
福岡県	1	Love FM	76.1
	2	エフエム熊本	77.4
	3	FM 佐賀	77.9
	4	CROSS FM	78.7
	5	FM 山口	79.2
	6	FM 愛媛	79.7
	7	FM 福岡	80.7
	8	NHK-FM	84.8
佐賀県	1	Love FM	76.1
	2	エフエム熊本	77.4
	3	FM 佐賀	77.9
	4	CROSS FM	78.7
	5	Smile-FM	79.5
	6	FM 福岡	80.7
	7	NHK-FM	81.6
長崎県	1	Love FM	76.1
	2	エフエム熊本	77.4
	3	FM 佐賀	77.9
	4	Smile-FM	79.5
	5	NHK-FM	84.5
熊本県	1	Love FM	76.1
	2	エフエム熊本	77.4
	3	FM 佐賀	77.9
	4	CROSS FM	78.7
	5	Smile-FM	79.5
	6	FM 鹿児島	79.8
	7	FM 福岡	80.7
	8	NHK-FM	85.4
大分県	1	CROSS FM	78.7
	2	FM 山口	79.2
	3	FM 愛媛	79.7
	4	FM 福岡	80.7
	5	FM 大分	88.0
	6	NHK-FM	88.9
宮崎県	1	FM 鹿児島	79.8
	2	JOY FM	83.2
	3	NHK-FM	86.2
鹿児島県	1	FM 鹿児島	79.8
	2	JOY FM	83.2
	3	NHK-FM	85.6
沖縄県	1	FM 沖縄	87.3
	2	NHK-FM	88.1

オーディオ機能の設定を変更する

- 同じ設定項目でも、オーディオ機能ごとに異なる設定を保存できます（音量上限設定を除く）。
- 設定内容は電源を切っても保持されます（音声出力先設定、音声 ES 切替、オーディオ OFF タイマーを除く）。
- 音声出力先設定、音声 ES 切替、オーディオ OFF タイマーは、オーディオ機能を起動するたびにお買い上げ時の設定になります。

お買い上げ時　音声出力先設定：イヤホン　音声 ES 切替：ES1　音声多重切替：主音声　着信動作設定：着信優先　オート／モノラル切替：オート　サウンド設定：OFF　プレイモード：通常再生　リピートモード：OFF　ビジュアル設定：アニメーション画像　オーディオ OFF タイマー：OFF（モバ HO! 聴取のみ 120 分）　音量上限設定：OFF

項　目	操作画面	操作	説　明
音声出力先設定	モバ HO! 聴取	MENU 7	マイク付リモコンとアンテナ内蔵ヘッドホンを接続した状態でスピーカー出力ができます。 **イヤホン**　：イヤホン出力 **スピーカー**：スピーカー出力 • モバ HO! 聴取中にマイク付リモコンを接続していないときは、スピーカー出力になります。 • FM ラジオ受信時にマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などを接続していないときは、音声は出力されません。 • マナーモード中はスピーカー出力に設定できません。 • マイク付リモコンを抜くと設定がリセットされます。
	FM ラジオ	MENU 3	
音声 ES 切替	モバ HO! 聴取	MENU 8	音声 ES を ES 番号順に切り替えます。 • 音声 ES（エレメンタリーストリーム）とは、モバ HO! の電波に含まれる音声だけを符号化した要素です。1 つの番組に複数の音声 ES が含まれる場合は 1 つの音声 ES を選択して聴取します。音声 ES1 のみの場合は切り替えられません。 • 録音中は切り替えられません。
音声多重切替	モバ HO! 聴取	MENU 9	音声多重放送の「主音声」「副音声」「主＋副」を選択します。
	モバHO!データ再生	MENU 3	
着信動作設定	モバ HO! 聴取	MENU 0 1	モバ HO! 受信中に電話がかかってきたときの動作を設定します。 **着信優先：** 電話がかかってきたとき、モバ HO! の受信を停止し、電話着信を優先します。録音中に電話がかかってきたときは、モバ HO! の音声が消え、録音は継続されます（テレビ電話の通話中は受信と録音が停止します）。 受信を再開するには、通話終了後 [キー] を押します。 **着信拒否：** モバ HO! 受信中は、電話とテレビ電話の着信を拒否し、モバ HO! 聴取を継続します。着信履歴は残ります。 • 本設定は公共モード（ドライブモード）の設定より優先されます。

項　目	操作画面	操作	説　明
オート／モノラル切替	FM ラジオ	MENU 4 1	FM ラジオ放送の受信方法を選択します。 **オート：** 電波状態に合わせて自動的にステレオ受信、モノラル受信が切り替わります。 **モノラル：** 常にモノラル受信になります。モノラル受信に設定すると、雑音を減らして安定して受信できます。ただし、ステレオのような立体的な音声ではなくなります。 • テレビ音声は「オート」に設定してもモノラルです。
サウンド設定	モバ HO! 聴取	MENU 0 2	再生音の低音域や高音域などを強調することにより、お好みのサウンドで楽しめます。 **OFF：** サウンド設定を使用しません。 **POPS ／ ROCK ／ ACOUSTIC：** 音楽の種類に応じて、お好みで選べます（ミュージック再生時のみ）。 **BASS1 ／ BASS2 ／ BASS3：** 低音域を強調します。「BASS3」が最大です。
	ミュージック再生	MENU 3 1	
	モバHO!データ再生	MENU 4 1	
プレイモード	ミュージック再生	MENU 3 2	再生方法を次の 5 種類から選べます。 **通常再生：** 選択した曲から最終曲まで再生します。 **シャッフル再生：** 選択した曲から全曲を順不同に 1 回ずつ再生します。 **1 曲再生：** 選択した曲だけを再生します。 **グループ内再生：** 選択した曲からグループの最終曲まで曲順どおりに再生します。 **グループ内シャッフル：** 選択した曲からグループの全曲を順不同に 1 回ずつ再生します。
	モバHO!データ再生	MENU 4 2	再生方法を次の 3 種類から選べます。 **通常再生：** 選択した曲から最終曲まで再生します。 **1 曲再生：** 選択した曲だけを再生します。 **ファイル内再生：** 選択した曲からファイル（モバ HO! データ）の最終曲まで再生します。
リピートモード	ミュージック再生	MENU 3 3	「ON」に設定すると、プレイモードに応じて再生を繰り返します。
	モバHO!データ再生	MENU 4 3	

項　目	操作画面	操作	説　明
ビジュアル設定	ミュージック再生	MENU 4	ミュージックプレイヤー起動中に [i] を繰り返し押してビジュアル表示に切り替えたときに表示される内容を設定します。 **アニメーション画像：** お買い上げ時に登録されている Flash 画像（設定時に選択した 1 画像）が表示されます。 **スライドショー（アニメーション）：** お買い上げ時に登録されている Flash 画像がランダムに 30 秒間ずつ表示されます。 **スライドショー（静止画）：** データBOXに保存されている待受サイズ(240×400)以下の静止画（設定時に選択したフォルダ内）がランダムに 7 秒間ずつ表示されます。 • お買い上げ時に登録されている Flash 画像 ☛P372 • スライドショーの表示順は指定できません。 • スライドショー（静止画）で表示される画像は GIF 画像と JPEG 画像です。アニメーション、Flash 画像は表示されません。 • プライバシーモードでマイピクチャを「認証後に表示」に設定していても、スライドショー（静止画）の場合は認証なしで表示されます。 • 再生を一時停止して一時停止した位置から再開しても、ビジュアル表示は先頭から再開されます。 • スライドショー（静止画）に設定したとき、設定された静止画がすべて削除された場合は、お買い上げ時のアニメーション画像が表示されます。
	モバHO!データ再生	MENU 5	
オーディオOFFタイマー	モバ HO! 聴取	MENU 0 3	設定した時間（30 分、60 分、90 分、120 分）経過後に自動的に起動中の機能が終了します。「しない」の設定では終了しません。 • タイマー動作中に設定を変更すると、動作中のタイマーはリセットされ、変更後の設定時間でタイマーが動作します。 • モバ HO! 聴取中のオーディオ OFF タイマーは、お買い上げ時「120 分」に設定されており、「しない」に設定することはできません。
	ミュージック再生	MENU 3 4	
	モバHO!データ再生	MENU 4 4	
	FM ラジオ	MENU 4 2	
音量上限設定	モバ HO! 聴取	MENU 0 4	「ON」に設定すると、音量の上限（レベル 24）をレベル 13 までに制限します。
	ミュージック再生	MENU 3 5	
	モバHO!データ再生	MENU 4 5	
	FM ラジオ	MENU 4 3	

おしらせ

● モバ HO! プレイリスト画面／曲リスト画面、ミュージックプレイリスト画面／曲リスト画面、プリセット一覧画面でもオーディオ機能の設定を変更できます。ただし、メニュー番号は異なります。

オーディオ機能の設定を確認する
オーディオ設定状況確認

1 MENU 7 8 1 ▶ ◁▷ **で項目を選ぶ**

次の設定内容が表示されます。

モバHO!	：音声多重切替、着信動作設定、サウンド設定、音量上限設定
ミュージックプレイヤー	：サウンド設定（ミュージック再生時、モバHO!データ再生時）、プレイモード（ミュージック再生時、モバHO!データ再生時）リピート（ミュージック再生時、モバHO!データ再生時）、音声多重切替、ビジュアル設定、音量上限設定
FMラジオ	：オート／モノラル切替、音量上限設定

オーディオ機能の設定をリセットする
オーディオ設定リセット

オーディオ機能の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- オーディオ設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。「メニュー一覧」に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能やデータは次のとおりです。
  - ・♫ を1秒以上押したときに起動するオーディオ機能情報
  - ・ミュージックプレイヤー起動直後に表示される曲情報
  - ・ミュージック再生時のシャッフル情報

1 MENU 7 8 2 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **「はい」を選択**

おしらせ

● FMラジオのプリセット登録はリセットされません。

オーディオメモリを初期化する
オーディオメモリ初期化

オーディオメモリに保存されている音楽データとモバHO!データをすべて削除します。

1 MENU 7 9 ▶ **端末暗証番号を入力** ▶ **「はい」を選択**

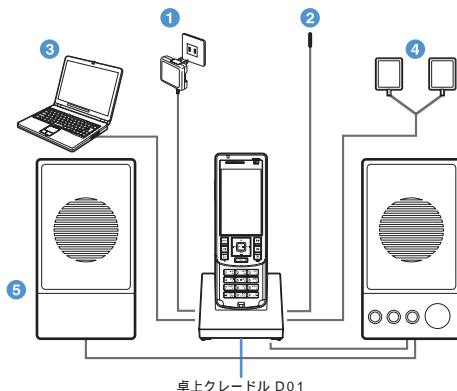
おしらせ

●「オーディオメモリが壊れています」と表示され、オーディオメモリの初期化ができないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

● データ一括削除を実行しても、オーディオメモリは初期化されません。

卓上クレードルを利用すると

卓上クレードル D01（別売）には、モバイル放送受信機用アンテナ（市販品）やスピーカーなどを接続できます。室内でモバ HO! や音楽、FM ラジオを聴いたり、充電やパソコンとの接続を行ったりすることができます。

- 詳しくは、卓上クレードルや各機器の取扱説明書をご覧ください。

❶ **FOMA AC アダプタ 01（別売）**

AC アダプタを接続すると、FOMA 端末を卓上クレードルに差し込むだけで充電ができます。☛P44

❷ **FM アンテナ（試供品：卓上クレードル D01 に付属）**

FM アンテナを接続すると、FOMA 端末を卓上クレードルに差し込んで FM ラジオを聴くことができます。

❸ **パソコン**

パソコンと卓上クレードルを市販の USB ケーブルで接続して FOMA 端末に音楽データを転送したり、データ通信を行ったりできます。☛P268、P350

- 卓上クレードルの USB 接続端子は B タイプです。
- パソコンと卓上クレードルを付属の USB 接続ケーブルや FOMA USB 接続ケーブル（別売）で接続しても、FOMA 端末に音楽データを転送したり、データ通信を行ったりすることはできません。
- 卓上クレードルの USB コネクタおよび FOMA 端末の外部接続端子の両方からパソコンと USB 接続ケーブルで接続しないでください。両方を同時に接続した状態での動作保証はいたしません。

❹ **モバイル放送受信機用アンテナ（市販品）**

詳細についてはモバイル放送カスタマーセンターにてご確認ください。☛P260

❺ **アンプ付スピーカー（市販品）**

スピーカー端子（口径3.5mmステレオミニジャック）にアンプ付スピーカーを接続すると、FOMA端末を卓上クレードルに差し込むだけで、外部スピーカー出力に切り替わります。

- 外部スピーカー出力時は、FOMA 端末の音声出力先設定より外部スピーカー出力が優先されます。FOMA 端末のイヤホンマイク端子も使用できません。
- アンプ付スピーカーが接続されていないときは、FOMA 端末を卓上クレードルに差し込んだ状態で FOMA 端末のスピーカーやイヤホンが使用できます。
- マナーモード中もアンプ付スピーカーからは音が鳴ります。
- スピーカーは、アンプ内蔵でボリューム調整機能が付いたものをお使いください（FOMA 端末から出力される音量は一定です。ただし、音量がレベル 0 の場合は、スピーカーから音は鳴りません）。

  ※スピーカーの性能によっては、音の歪みやノイズなどが生じることがあります。

データ表示／編集／管理

画像を使いこなす

動画／ｉモーションを使いこなす

キャラ電を使いこなす

メロディを使いこなす

各種データを管理する

赤外線通信を使いこなす

サウンドレコーダーを使いこなす

データ BOX について

データ BOX には FOMA 端末に保存されているデータが下記のように保存されています。

フォルダ名	データの種類	参照
ミュージック	パソコンから転送した音楽データ	P271
モバ HO!	モバ HO! を録音したデータ	P265
マイピクチャ	静止画、デコメールピクチャなど	P286
ｉモーション	動画、ｉモーションなど	P292
メロディ	メロディ	P301
キャラ電	キャラ電	P298

Menu 53

画像を表示する

マイピクチャ

FOMA 端末のデータ BOX のマイピクチャに保存されている画像を表示します。

• オーディオ機能起動中はデータ BOX を使用できません。

1 [メニュー] [3] ▶ フォルダを選択

各フォルダには次のような画像が保存されています。

カメラ：
カメラやキャラ電で撮影した静止画、動画／ｉモーションから切り出した静止画

ｉモード：
サイトやｉモードメール、ｉアプリから取り込んだ画像

デコメールピクチャ：
お買い上げ時に内蔵されているデコメール用画像、サイトから取り込んだ画像

アイテム：
お買い上げ時に内蔵されているフレーム画像、サイトからダウンロードしたアイテム画像

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されている画像

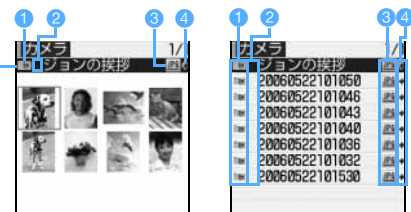
データ交換：
データ通信で受信した画像

アルバム：
他のフォルダから移動した画像

• お買い上げ時は表示されません。作成するには ☞P303
• アルバム名は作成時に任意に付けられます。

2 画像を選ぶ

サムネイル表示のとき

タイトル表示のとき

カーソル位置のデータの表示名とマーク

画像一覧

❶ **取得元**
：内蔵　：ｉモード
：カメラ　：フレーム、スタンプ
：データ交換　：キャラ電

❷ **画像の種類**
表示なし：静止画
：パラパラマンガ
：アニメーション、Flash画像

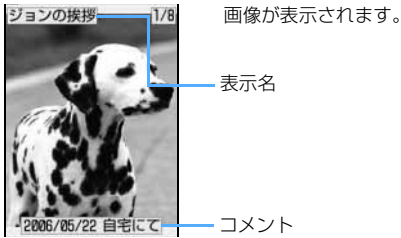
❸ **ファイル形式**
GIF：GIF 画像　JPG：JPEG 画像
：SWF（Flash 画像）
表示なし：パラパラマンガ

❹ **ファイル制限**
（青）：ファイル制限なし
（グレー）：ファイル制限あり

• [表示切替] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。ただし、モバ HO! 聴取中やモバ HO! データ再生中にメール作成画面などからマイピクチャを表示した場合はタイトル表示のみになります。
• FOMA カード動作制限機能が設定されている画像は、サムネイル表示では で表示されます。
• 表示名などを変更できます。☞P304

■ **画像をメールに添付して送信する：画像を選ぶ ▶ [メール]**
画像が添付されているメール作成画面が表示されます。
• 静止画のファイルサイズが 9000 バイトより小さい場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
• 静止画の画像サイズやファイルサイズによっては、QVGA（240 × 320 または 320 × 240）への変換やデータ BOX への保存の確認画面が表示されます。☞P208
• メールに添付できる画像について ☞P208

3 [↓]を押す

画像が表示されます。

- [↕]で前後の画像に切り替わります。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash 画像を表示すると、自動的に再生されます。再生中は次の操作ができます。
  [↓]　：一時停止／再生
  [MENU][0]：リトライ（先頭から再生）
  [📖]　：スロー再生（パラパラマンガの停止中のみ）
  [全]　：全画面表示

■ 画像を等倍表示する：[↓]▶[✥]でスクロール
- 画像サイズが 240 × 400 を超える画像でのみ行えます。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像は等倍表示できません。
- 等倍表示を終了する：[CLR]

■ 画像を全画面表示する：[全]
表示名やガイド行の表示が消え、画像が画面全体に表示されます。
- [↕]で前後の画像を表示できます。
- 画面より小さい画像は拡大されません。
- 動作設定で全画面時の自動スクロールを「あり」に設定していると、JPEG 形式の画像が画面より大きい場合、縦横のどちらか一方が入る倍率で表示され、自動的にスクロールします。
  ・[↓]でスクロールを停止／再開できます。終了後の再スクロールはできません。
  ・画像の縦横の比率が画面とほぼ同じ場合は画像全体が表示され、スクロールしません。
  ・縦または横が画面より小さくても拡大表示はされません。

画像を待受画面や電話帳などに設定する

1 [↑][3]▶フォルダを選択

2 画像を選ぶ▶[MENU][2]

3 項目を選択

■ 待受画面に設定する：[1]▶「はい」を選択
- 画像サイズによっては、静止画の表示サイズを選択できます。☛P121
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。
- 画像によっては設定できない場合があります。

■ 電話帳に新規登録する：[2]
- 電話帳登録について☛P95

■ 登録されている電話帳に更新登録する：[3]▶電話帳データを選択
- 既に画像が設定されていたときは、選択した画像に置き換わります。

■ 電話発着信画像に設定する：[4]▶[1]～[2]

■ テレビ電話の発着信画像や代替画像、保留画像などに設定する：[5]▶[1]～[7]
- 画像サイズが 176 × 144 を超える画像、および FOMA 端末外に出力不可の画像は、発信画像と着信画像にのみ設定できます。

■ メール送信画像／受信画像、問合せ画像に設定する：[6]▶[1]～[3]
- メール送信画像／受信画像に設定した画像は、メッセージ R/F、SMS を送受信したときにも表示されます。
- Flash 画像は問合せ画像に設定できません。

■ メニューアイコンに設定する：[7]～[8]▶[1]～[9]、[0]
選択した画像がタイルアイコンデザインの「カスタム 1」または「カスタム 2」のメニューアイコンに設定されます。
- パラパラマンガ、Flash 画像、アイテム画像はメニューアイコンに設定できません。

パラパラマンガを作成する

同じフォルダ内の静止画（最大6枚）を選択してパラパラマンガを作成します。
- アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像はパラパラマンガに登録できません。
- パラパラマンガに登録した静止画は、個別に表示したり編集したりできなくなります。
- カメラで連続撮影した静止画はパラパラマンガの形式で保存されます。解除すると 1 枚ずつの静止画になります。

1 [↑][3]▶フォルダを選択

2 [MENU][4][1]

■ 解除する：パラパラマンガを選ぶ▶[MENU][4][2]

3 画像を選択

選択した順に画像に番号が表示されます。

- [ ] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
- すべての選択を解除する：MENU

4 [ ]▶表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[ ]

画像一覧に と表示名が表示されます。サムネイル表示では最初のコマが表示されます。

おしらせ

● 連続撮影した静止画を解除すると、ファイル名の末尾に「-1」「-2」のように番号が付きます。

静止画を編集する

マイピクチャに保存されている静止画を編集します。編集項目と編集可能な最大画像サイズは次のとおりです。

編集項目	編集可能な最大画像サイズ（ドット）※1
サイズ変更	1728×2304 （拡大／縮小は240×400または352×288）
切出し	1728×2304 （1728×2304の静止画の範囲指定切出しは不可）
明るさ／色調	240×400または352×288
効果	240×400
反転／回転	480×640
フレーム	240×400または352×288
スタンプ貼付	240×400または352×288
テキスト貼付	240×400または352×288
切抜き	240×400
サイズ制限保存	1728×2304
補正	240×400または352×288

※1：画像サイズが大きくて編集できないときは、サイズ変更で編集可能な画像サイズに縮小できます。

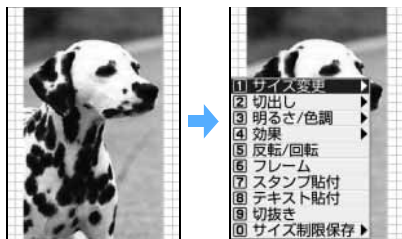
- 次の画像は編集できません。
  - ・アニメーション、パラパラマンガ、Flash画像、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - ・メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されている静止画（自端末でファイル制限を「あり」に設定した静止画を除く）
  - ・縦横のどちらかのサイズが8ドットより小さい静止画
- 明るさ／色調や効果などの編集を行うと、画像が小さく表示されることがあります。そのまま保存しても画像サイズに影響はありません。保存した画像は、正しいサイズで保存されています。

1 [ ][3]▶フォルダを選択

2 静止画を選ぶ▶[ ]

静止画編集画面が表示されます。

- 補正するには ☛P291

3 MENU

静止画編集画面

編集メニュー画面

4 編集項目を選択▶静止画を編集

[1]：サイズ変更 ☛P289
[2]：切出し ☛P289
[3]：明るさ／色調 ☛P290
[4]：効果 ☛P290
[5]：反転／回転 ☛P290
[6]：フレーム ☛P290
[7]：スタンプ貼付 ☛P290
[8]：テキスト貼付 ☛P291
[9]：切抜き ☛P291
[0]：サイズ制限保存 ☛P291

5 編集が終わったら[ ]▶「保存」を選択

編集した静止画が同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。

- フレームやスタンプ用の画像として保存するときは、「フレーム・スタンプ用」を選択します。フレーム候補・スタンプ候補にできる画像について ☛P305

おしらせ

● 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは保存できません。不要な画像を削除してから、保存し直してください。

● 表示領域より大きい静止画は縮小表示されます。ただし、スタンプ貼付、テキスト貼付、切抜き、サイズ変更の拡大／縮小時は等倍で表示されます。
● 編集後、静止画のファイルサイズが大きくなることがあります。
● 編集した静止画をパソコンなどで表示すると、FOMA 端末で透過表示されていた部分は白になります。

サイズを変更する

・静止画のサイズを変更すると、画質が劣化することがあります。

1 編集メニュー画面で 1

2 画像サイズを変更

■ **指定したサイズに変更する：1 ～ 9**

指定したサイズと静止画の縦横比が同じ場合は、サイズが変更され、静止画編集画面に戻ります。縦横比が異なる場合は、サイズ枠が表示されます。/ でサイズ枠の位置を調整し を押すと、サイズ枠で囲まれた部分が指定したサイズに変更されます。

サイズ枠

・縦横比を無視して静止画全体を指定したサイズに収める（ストレッチ）：MENU
・縦横比を保持したまま静止画全体を指定したサイズに収める（フィット）：

■ **拡大／縮小する：**

① 0 ▶ で拡大／縮小

縦横比を保持したまま、5% ずつ拡大／縮小します。画面の右上には現在の画像サイズと拡大／縮小率が表示されます。

・MENU を押すと20%ずつ縮小、 を押すと20%ずつ拡大します。
・縦長の静止画は 288 × 352、横長の静止画は352×288まで拡大できます（縦横どちらかが上限になるまで）。
・縦横どちらかが 8 ドットになるまで縮小できます。

②

静止画編集画面に戻ります。

任意のサイズに切り出す

サイズや範囲を指定して、静止画の一部を切り出します。

・元の静止画が 16 × 16より小さい場合は切り出しできません。

1 編集メニュー画面で 2

2 静止画を切り出す

■ **指定したサイズに切り出す：**

① 1 ～ 9 ▶ で切り出し枠の位置を調整

切り出し枠

・切り出し枠の縦横を切り替える：
・切り出しサイズを切り替える：
・範囲指定に切り替える：MENU

②

静止画が選択したサイズに切り出され、静止画編集画面に戻ります。

■ **範囲を指定して切り出す：**

① 0 ▶ で の位置を調整 ▶

範囲指定枠

範囲指定枠の左上の位置が設定され、範囲指定枠の右下に が表示されます。

② で の位置を調整 ▶

切り出し範囲が決定され、範囲指定枠が実線で表示されます。

・ の代わりに を押すと、左上位置を再度変更できます。
・ を押した後に で範囲指定枠を移動できます。

③

指定した範囲で静止画が切り出され、静止画編集画面に戻ります。

明るさと色調を変更する

1 編集メニュー画面で 3

2 明るさや色調を変更

■ **明るさを調整する：**

① 1 ▶ で明るさを調整

- 最大にする：
- 最小にする：MENU

レベル

②

静止画編集画面に戻ります。

■ **色調をモノトーンまたはセピアにする：**

2 ～ 3

色調が変更され、静止画編集画面に戻ります。

特殊な効果をかける

1 編集メニュー画面で 4

2 効果を選択

効果がかかり、静止画編集画面に戻ります。

ぼかし：ぼかします。

球面：中心から球面状に盛り上がっているような効果をかけます。

エンボス：鉛色にし、凸凹を強調します。

うずまき：中心から渦状に回転させたような効果をかけます。

きらきら：きらきら光っているようなマークを入れます。

モザイク：モザイクをかけます。

反転／回転させる

1 編集メニュー画面で 5

2 静止画を反転／回転

：上下反転　　：左右反転

MENU：左90度回転　　：右90度回転

3 を押す

静止画編集画面に戻ります。

フレームを重ねる

・お買い上げ時に登録されているフレーム☛P371

1 編集メニュー画面で 6

編集している静止画と同じサイズのフレームが一覧表示されます。

- 詳細情報変更でフレーム候補として設定した画像は、編集している静止画のサイズと異なっていても表示されます。

2 フレームを選択

3 静止画を確認 ▶

静止画編集画面に戻ります。

- フレームを切り替える：
- フレームを180度回転させる：MENU

スタンプを貼り付ける

・お買い上げ時に登録されているスタンプ☛P372

1 編集メニュー画面で 7

編集している静止画より小さいサイズのスタンプが一覧表示されます。

- 詳細情報変更でスタンプ候補として設定した画像および、お買い上げ時に登録されているスタンプは、編集している静止画のサイズより大きくても表示されます。

2 スタンプを選択

選択したスタンプが画面の中央に表示されます。

3 でスタンプを移動 ▶

効果音が鳴り、スタンプが貼り付けられます。

- 続けて別の位置に貼り付けることができます。

- 貼り付けたスタンプをすべて削除する：MENU
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

4 を押す

静止画編集画面に戻ります。

文字を貼り付ける　テキスト貼付

1 編集メニュー画面で 8

2 各項目を選択して設定

テキスト　：文字を入力します（全角20文字（半角40文字）まで）。
文字の種類　：文字の種類を設定します。
文字のサイズ：文字のサイズを設定します。
文字色　：文字の色を設定します。
文字縁取り色：文字の縁取りの色を設定します。
背景色　：文字の背景色を設定します。
貼り方　：「まとめて」に設定すると文字をまとめて貼り付けられます。「一字ごと」に設定すると、1文字ずつ異なる位置に貼り付けられます。

3

設定した文字（貼り方が「一字ごと」の場合は最初の文字）が画面の中央に表示されます。

4 で文字を移動▶

効果音が鳴り、文字が貼り付けられます。
- 続けて別の位置に貼り付けることができます。

- 貼り方が「一字ごと」の場合は、を押すたびに1文字ずつ貼り付けられます。最後の文字を貼り付けると、最初の文字が表示されます。
- 貼り付けた文字をすべて削除する：MENU
- 効果音の音量は受話音量調整の設定に従います。

5 を押す

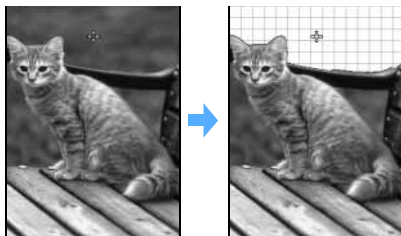
静止画編集画面に戻ります。

任意の部分を切り抜く

選択した色と近似している色の部分を切り抜きます。

1 編集メニュー画面で 9

2 で切り抜く色に ✣ を合わせ

✣の位置の色と近似している色の部分が切り抜かれます。

- 続けて別の部分を切り抜けます。

3 を押す

静止画編集画面に戻ります。

ファイルサイズを制限して保存する

ファイルサイズをメール添付用（小）サイズ（9000バイト以下）、メール添付用（大）サイズ（500Kバイト以下）に制限して保存します。

1 編集メニュー画面で 0 ▶サイズを選択

設定したファイルサイズ以下で、同じフォルダ内に新しい静止画として保存されます。
- サイズが240×400または352×288を超える静止画は、「メール添付用（小）」に設定できません。

明るさや色のバランスを補正する

- 静止画によっては、補正してもあまり変化しないことがあります。

1 静止画編集画面で

静止画補正モードになり、画面の右上に現在の補正モードが表示されます。

2 [上下キー]で補正モードを切り替え

静物　：静物や植物などの画像を適切に補正します。
背景　：背景を適切に補正します。
風景　：風景画像に明るさや色のメリハリを出します。
美肌　：人物画像の肌を白くなめらかに表現します。
日焼け：人物画像の肌を小麦色に表現します。
青ざめ：人物画像の肌を青ざめたように表現します。
酔っ払い：人物画像の肌を赤らめたように表現します。

- [MENU]を押して[1]～[7]を押しても、補正モードを選択できます。

3 [左右キー]でレベルを調整

- 最大にする：[メールキー]
- 最小にする：[iアプリキー]

4 [決定キー]を押す

静止画編集画面に戻ります。

画像の動作条件を設定する

動作設定（マイピクチャ）

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり　タイトル表示：あり
番号表示：あり　コメント表示：あり
小さい画像の拡大：なし　効果音再生：あり
全画面時の自動スクロール：なし

1 [決定キー][3]▶[MENU][4]

2 各項目を選択して設定

一覧の画像表示：
「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

タイトル表示：
画像表示画面で表示名を表示するかどうかを設定します。

番号表示：
画像表示画面で件数を表示するかどうかを設定します。

コメント表示：
画像表示画面でコメントを表示するかどうかを設定します。

小さい画像の拡大：
表示領域より小さい画像を表示したとき、画像の縦横比を保持したまま表示領域いっぱいに拡大表示するかどうかを設定します。
- 「あり」に設定しても全画面表示では拡大されません。

効果音再生：
画像を表示したとき、画像に設定されている効果音を再生するかどうかを設定します。

全画面時の自動スクロール：
画像表示画面で[iアプリキー]を押したときに、自動スクロールを有効にするかどうかを設定します。

3 [iモードキー]を押す

おしらせ

- 画像一覧、画像表示画面では[MENU]を押し、「動作設定」を選択します。

Menu 54

動画／ｉモーションを再生する

ｉモーション

FOMA端末のデータBOXのｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを再生します。
- 画像サイズが48×48～320×240の動画／ｉモーション（MP4ファイル）を再生できます。

1 [決定キー][4]▶フォルダを選択

各フォルダには次のような動画／ｉモーションが保存されています。

カメラ：
ビデオカメラやキャラ電で撮影した動画、サウンドレコーダーで録音した音声、動画メモ

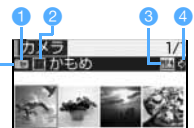
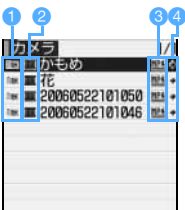
ｉモード：
サイトやｉモーションメールから取得したｉモーション

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されている動画

データ交換：
データ通信で受信した動画／ｉモーション

アルバム：
他のフォルダから移動した動画／ｉモーション
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P303
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

2 動画／ｉモーションを選ぶ

サムネイル表示のとき　タイトル表示のとき

カーソル位置のデータの表示名とマーク

動画／ｉモーション一覧

❶ **取得元**

：内蔵　：ｉモード
：カメラ　：データ交換
：キャラ電　：テレビ電話

❷ **再生制限**

：再生制限なし　：回数制限あり
：期限制限あり　：期間制限あり

❸ **ファイルの種類**

MP4：MP4　MP4：しおり付き MP4

❹ **ファイル制限**

（青）：ファイル制限なし
（グレー）：ファイル制限あり

- を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。ただし、モバ HO! 聴取中やモバ HO! データ再生中にメール作成画面などから動画／ｉモーションを表示した場合はタイトル表示のみになります。
- サムネイル表示では、サウンドレコーダーで録音した音声、音声のみの動画／ｉモーション（歌手の歌声など映像のないｉモーション）は、FOMA カード動作制限機能が設定されている動画／ｉモーションはで表示されます。
- 表示名などを変更できます。☞P304

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する（ｉモーションメール）：動画／ｉモーションを選ぶ▶**

動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて ☞P208

3 を押す

動画／ｉモーションが再生されます。

❶ **再生状態**

PLAY：再生中
STOP：停止中
PAUSE：一時停止中

❷ **ファイルの種類**

：映像のみ　：音声のみ
：テキストのみ　：映像＋音声
：映像＋テキスト
：音声＋テキスト
：音声＋映像＋テキスト

❸ **拡大／縮小表示**

：拡大表示中　：縮小表示中
表示なし：等倍表示中

- 拡大表示するかどうかは、動作設定で設定できます。

❹ **再生時間**：現在の再生時間／総再生時間を数字とバーで示します。

❺ **再生音量**：現在の音量を示します。

- 動作設定の表示画像の拡縮が「なし」に設定されている場合、動画を縮小して再生するときは確認メッセージが表示されます。を押します。
- しおりを設定した動画／ｉモーションの場合は、しおりの位置から再生するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとしおりの位置から再生され、「いいえ」を選択すると先頭から再生されます。
- 動画／ｉモーションの再生中は次の操作ができます。

：一時停止／再生、先頭から再生（停止後）
：音量調整　：停止
：早送り再生　：巻戻し再生
CLR：一覧に戻る

■ **しおりを設定する：再生中にしおりを設定したい位置で▶「はい」を選択**

- しおりは FOMA 端末内の動画／ｉモーション全体で 1 つだけ設定できます。既にしおりが設定されている場合は、破棄されて新しいしおりが設定されます。
- 続けて再生する：

データ表示／編集／管理　ｉモーション

- しおりを解除する：再生を停止させてから [キー]
- 再生制限が設定されているｉモーションでは設定できません。また、電話帳の登録画面やメール作成画面、音や画面の設定画面、ｉアプリなどから再生したときは設定できません。

■ 横向きで再生する：[✱]
- 押すたびに縦横が切り替わります。
- テロップ入りの動画／ｉモーションでは切り替えられません。
- 画像サイズが320×240の動画／ｉモーションは、横再生中に [✱] を押すと画面の幅いっぱいに拡大されます（ワイド再生）。上下にはみ出す部分は表示されません。もう一度 [✱] を押すと通常再生に戻ります。

おしらせ

● 他の機能の影響により、動画／ｉモーションの保存時にサムネイル画像を取得できない場合があります。そのような動画／ｉモーションは、サムネイル表示では[アイコン]で表示されます。

再生制限が設定されているとき

再生を開始する前に確認画面が表示されます。再生制限の種類と確認する内容は次のとおりです。

■ 回数制限

状　態	確認内容
再生回数残あり	「あと×回（×／総再生回数）再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
規定回数再生済み	「再生可能回数が終了しました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

■ 期限制限

状　態	確認内容
期限内	「（年／月／日 時：分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
期限後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

■ 期間制限

状　態	確認内容
期間内	「（年／月／日 時：分）～（年／月／日 時：分）まで再生可能です。再生しますか？」と表示されます。再生するときは「はい」、中止するときは「いいえ」を選択します。
期間前	「再生可能日前です。再生できません」と表示されます。[キー] を押すと、動画／ｉモーション一覧に戻ります。
期間後	「再生可能期限が切れました。削除しますか？」と表示されます。削除するときは「はい」、残すときは「いいえ」を選択します。

- 残り再生回数、再生期限、再生期間は詳細情報参照で確認できます。
- 日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。
- 長い間電池パックを外していると、FOMA端末で保持されている日付・時刻情報がリセットされることがあります。その場合、再生期限または再生期間が設定されているｉモーションは再生できなくなります。

動画／ｉモーションを待受画面や電話帳などに設定する

- 映像のない動画／ｉモーション、再生制限が設定されているｉモーションは待受画面に設定できません。
- 電話帳、着モーション（着信音）、着信画像には、画像サイズがSub-QCIF（128×96）、またはQCIF（176×144）の動画／ｉモーションを設定できます。ただし、電話帳、着信画像には映像のみの動画／ｉモーションのみ設定できます。
- 着モーション（着信音）、着信画像には、詳細情報の着信音設定、着信画面設定が「可」になっている動画／ｉモーションを設定できます。ただし、赤外線通信やデータリンクソフトなどを使用してパソコンや他のFOMA端末に転送してから、もう一度FOMA端末に戻した動画／ｉモーションは設定できません。

1 [キー] [4] ▶ フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選ぶ ▶ [MENU] [2]

3 設定する項目を選択

■ 待受画面に設定する：[1] ▶「はい」を選択
- 動画／ｉモーションが拡大表示できる場合は、「はい（等倍表示）」を選択すると画像サイズのまま、「はい（拡大表示）」を選択すると画面サイズに合わせて拡大して表示されます。
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

・待受画面に設定した動画／ｉモーションを再生するには☛P121

■ 電話帳に新規登録する：2
・電話帳登録について☛P95

■ 登録されている電話帳に更新登録する：3▶電話帳データを選択
・既に動画／ｉモーションが設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

■ 着モーションに設定する：4▶1～6

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：
①4▶7～8
②電話帳データを選択
③内容を確認▶📖
・既に着信音が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。
・メモリ番号入力については☛P106「登録内容を修正する」操作3

■ 着信画像（音声電話、テレビ電話）に設定する：5▶1～2
・既に着信画像が設定されていたときは、選択した動画／ｉモーションに置き換わります。

おしらせ

● 動画／ｉモーションによっては、待受画面などに設定できない場合があります。

動画／ｉモーションを編集する

ｉモーションに保存されている動画／ｉモーションを編集します。
・編集できる動画／ｉモーションは次のとおりです。
・自端末で撮影した動画
・自端末で撮影した動画以外の動画／ｉモーションで、ファイル制限、再生制限がないもの
・お買い上げ時に登録されている動画／ｉモーションは編集できません。また、ファイル形式などにより編集できない動画／ｉモーションがあります。

静止画を切り出す　キャプチャ

動画／ｉモーションの再生中に任意の位置を指定し、静止画として切り出します（キャプチャ）。
・テロップはキャプチャした静止画に表示されません。
・静止画の画像サイズは動画／ｉモーションが表示されているサイズになります。

1 ⏏4▶フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選択
選択した動画／ｉモーションが再生されます。

3 切り出す位置でMENU5
・切り出しの操作をやり直す：MENU▶「はい」を選択

4 画像を確認▶📖

静止画がキャプチャされ、マイピクチャの「カメラ」フォルダに保存されます。
・続けてキャプチャする：⏏▶操作3～4を繰り返す

■ キャプチャした静止画をメールに添付して送信する：✉
キャプチャした静止画がマイピクチャの「カメラ」フォルダに保存され、静止画が添付されているメール作成画面が表示されます。
・静止画のファイルサイズが9000バイト以下の場合は、本文内へ貼り付けるかどうかの確認画面が表示されます。本文内に貼り付けるには「はい」、添付ファイルに設定するには「いいえ」を選択します。
・動画の画像サイズや撮影時の品質の設定によっては、メールに添付できません。

動画／ｉモーションを切り出す　選択切り出し

動画／ｉモーションを先頭から任意の位置まで切り出します。

1 ⏏4▶フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選ぶ▶MENU41
選択切り出しモードになり、再生時間の上に▣が表示されます。
・動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、選択切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

3 [始点キー]（始点）▶切り出しを終える位置で[終点キー]（終点）

現在のファイルサイズ／最大ファイルサイズ

- [始点キー]（始点）を押した後で操作をやり直すには[CLR]、切り出しを中断するには[MENU]を押します。
- [終点キー]（終点）を押さずに最後まで再生すると自動的に切り出しが終了します。この場合、終点はファイルの最後より少し手前に設定されます。
- 動画／ｉモーションのファイルサイズが490Kバイトを超える場合、上限の設定に関わらず、490Kバイトになると自動的に切り出しを終了します。

■ **切り出しサイズの上限を設定する：**
- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

①[始点キー]（始点）を押す前の画面で[MENU]
②「メール添付用(小)」(290Kバイト)、「メール添付用（大）」（490K バイト）または「設定なし」(切り出し元のファイルサイズ)を選択
- 切り出し中のファイルサイズが設定した切り出しサイズに達したときは、自動的に切り出しが終了します。
- 切り出し元のファイルサイズが490Kバイトを超える場合は、「設定なし」に設定できません。

4 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[保存キー]

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生する：**[再生キー]

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：**[メールキー]
切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P208

ファイルサイズを指定して切り出す　サイズ切り出し

動画／ｉモーションを先頭から指定したファイルサイズまで切り出します。
- 指定できるファイルサイズは10～490Kバイトです。ただし、上限は動画／ｉモーションにより異なります。

1 [iモードキー][4]▶フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選ぶ▶[MENU][4][2]

- 動画／ｉモーションにテロップが挿入されている場合は、テロップが削除される可能性がある旨を通知する画面が表示されます。「はい」を選択すると、サイズ切り出しモードになります。この場合、切り出す位置によってはテロップが削除されることがあります。

3 切り出しサイズを入力

■ **メール添付サイズに設定する：**
- 切り出し元のファイルサイズが290Kバイトより大きいときのみ設定できます。

①[MENU]
②「メール添付用（小）」(290K バイト) または「メール添付用（大）」（490K バイト）を選択
- 「メール添付用（小）」を選択すると「290」、「メール添付用（大）」を選択すると「490」が切り出しサイズに設定されます。

4 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[保存キー]

切り出した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生する：**[再生キー]

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：**[メールキー]
切り出した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。
- メールに添付できる動画／ｉモーションについて☛P208

テロップを挿入する　テロップ編集

- 挿入できるテロップ数は、動画／ｉモーションにより異なります（最大10個）。
- 既に挿入されているテロップの内容は変更できません。新しくテロップを挿入する場合、既に挿入されているテロップはすべて削除されます。

・テロップを挿入した動画／ｉモーションは着モーションに設定できません。

1 [] [4] ▶ フォルダを選択

2 動画／ｉモーションを選ぶ ▶ [MENU] [4] [3] [1]

・既にテロップが挿入されている場合は、削除してテロップ編集を行うかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、既に挿入されているすべてのテロップが削除されます。

■ **テロップを削除する：** [MENU] [4] [3] [2] ▶「はい」を選択

挿入されているすべてのテロップが削除されます。操作 9 に進みます。

3 各項目を選択して設定

表示間隔：

「ユーザ指定」に設定すると、テロップの挿入位置を任意に指定できます。

「等間隔」に設定したときはテロップ数を指定します。動画／ｉモーションの再生時間内に、指定した数のテロップが等間隔で挿入されます。

テロップ数：

表示間隔を「等間隔」に設定したときに、テロップ数を入力します（1 ～ 10）。

4 []

・表示間隔を「ユーザ指定」に設定したときは、確認メッセージが表示され、再生時間の上に[]が表示されます。操作 5 に進みます。

・表示間隔を「等間隔」に設定したときは、操作 7 に進みます。

5 [] で再生を開始 ▶ テロップの挿入位置で []

再生は中断しません。[] を押すたびに、テロップの挿入位置が設定されます。

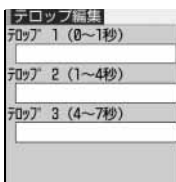
・挿入位置の設定を終了する：[]

・再生を開始すると先頭に 1 箇所目の挿入位置が設定されます。

・動画／ｉモーションの再生が終了するか、挿入位置を 9 箇所設定すると、挿入位置の設定が終了します。

・先頭から最後まで 1 つのテロップを表示する：[] で再生を開始 ▶ []

6 「はい」を選択

7 テロップの入力欄を選択 ▶ 文字を入力（全角 20 文字（半角 40 文字）まで）

■ **テロップを装飾する：**

① テロップを選ぶ ▶ []

② 各項目を選択して設定

テロップ 1 ～ 10：

テロップ編集画面で入力した文字が表示されます。文字を入力できます。

文字色：

文字の色を設定します。「指定なし」に設定すると白になります。

・文字色は絵文字には反映されません。

背景色：

テロップの背景色を設定します。「指定なし」に設定すると黒になります。

スクロール動作：

文字のスクロール動作を設定します。

・「スクロール・イン」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されます。

・「スクロール・アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示されなくなります。

・「スクロール・イン＆アウト」に設定すると、文字が移動しながら徐々に表示され、その後徐々に表示されなくなります。

・「なし」に設定すると、文字はスクロールしません。

スクロール方向：

スクロール動作を「なし」以外に設定したときの文字のスクロール方向を設定します。

文字位置：

文字の表示位置を設定します。

文字サイズ：

文字の大きさを設定します。

下線：

文字に下線を付けるように設定します。

点滅：

文字が点滅するように設定します。

③ []

8 [i-αppli]

- テロップ挿入前の動画／ｉモーションのファイルサイズが300Kバイト以下の場合、テロップ挿入後のファイルサイズが300Kバイトを超えると、メール添付用（小）サイズを超える旨のメッセージが表示されます。そのままテロップを挿入する場合は [保存] を押します。

9 表示名を入力（全角・半角を問わず36文字まで）▶[i-αppli]

テロップを挿入した動画／ｉモーションが、新しいデータとして、元の動画／ｉモーションと同じフォルダに保存されます。

■ **動画／ｉモーションを再生する：[再生]**

■ **動画／ｉモーションをメールに添付して送信する：[メール]**

テロップを挿入した動画／ｉモーションが保存され、動画／ｉモーションが添付されているメール作成画面が表示されます。

- メールに添付できる動画／ｉモーションについて ☞P208

動画／ｉモーションの動作条件を設定する

動作設定（ｉモーション）

お買い上げ時　一覧の画像表示：あり
表示画像の拡縮：なし
リピート再生：ON　照明設定：常灯
音量：レベル20

1 [ ]［4］▶［MENU］［5］

2 各項目を選択して設定

一覧の画像表示：

「あり」に設定するとサムネイル表示、「なし」に設定するとタイトル表示になります。

表示画像の拡縮：

「あり」に設定すると、表示領域と再生する動画／ｉモーションのサイズが合わないときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて動画／ｉモーションを拡大／縮小表示します。

「なし」に設定すると、拡大／縮小表示しません。ただし、表示領域より大きいサイズの動画／ｉモーションを再生したときは、縦横比を保持したまま表示領域に合わせて縮小表示します。

リピート再生：

アルバム再生時にリピート再生するかどうかを設定します。

照明設定：

「常灯」に設定すると、動画／ｉモーションの一覧表示中や再生中は常に照明が点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☞P128）に従います。

音量：

再生時の音量を設定します。

3 [i-αppli]を押す

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧では［MENU］を押し、「動作設定」を選択します。

キャラ電とは

キャラ電とは、テレビ電話利用時に、自分の画像の代わりに相手の画面に表示させるキャラクタです。テレビ電話中にダイヤルキーを押すことでキャラクタを動かし、そのときの気持ちを手軽に表現できます。また、キャラ電を待受画面に設定して、待受時や不在着信があるときに特定のアクションを動作させたり、表示中のキャラ電の静止画や動画を撮影して保存することもできます。

- キャラ電によっては、送話口からの音声に反応して口を動かすものもあります。
- サイトなどからキャラ電をダウンロードして保存することもできます。
- キャラ電のアクションには、キャラクタ全体が動く「全体アクション」と、部分的に動く「パーツアクション」があります。キャラ電によってはどちらか一方しかないものや、アクションがないものもあります。お買い上げ時に登録されているキャラ電には「パーツアクション」はありません。

Menu 56

キャラ電を表示する

キャラ電

- お買い上げ時に登録されているキャラ電 ☞P372

1 [ ]［6］▶ **フォルダを選択**

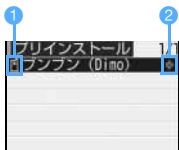
各フォルダには次のようなキャラ電が保存されています。

ｉモード：

サイトからダウンロードしたキャラ電

プリインストール：
お買い上げ時に内蔵されているキャラ電

フォルダ：
他のフォルダから移動したキャラ電
- お買い上げ時は表示されません。作成するには☞P303
- フォルダ名は作成時に任意に付けられます。

2 キャラ電を選ぶ

キャラ電一覧

① 取得元
：ｉモード
：内蔵

② ファイル制限
（グレー）：
ファイル制限あり

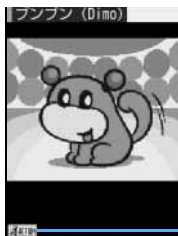
- 表示名などを変更できます。☞P304

■ **キャラ電を利用してテレビ電話をかける：**
①**キャラ電を選ぶ▶**
②**電話番号入力欄を選択 ▶ 電話番号を入力▶**
- を押すと、電話帳から電話番号を入力できます。
- MENUを押すと、条件を設定してテレビ電話をかけられます。☞P56
- テレビ電話の操作のしかた☞P79
- テレビ電話中にキャラ電を利用する☞P83

■ **キャラ電をテレビ電話の代替画像に設定する：キャラ電を選ぶ▶**
- キャラ電表示画面で を1秒以上押しても設定できます。

■ **キャラ電を待受画面に設定する：**
①**キャラ電を選ぶ▶MENU 4**
②**アクションの種類とアクション間隔を設定▶**
- 設定内容は「キャラ電のアクションを設定する」の操作②〜③と同じです。☞P120

③**「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択**
- ｉアプリ待受画面が設定されているときは、続けてｉアプリ待受画面を解除するかどうかの確認画面が表示されます。

3 を押す

©BVIG

キャラ電が表示されます。

アクションモード
ACTION：全体
PARTS：パーツ

- ダイヤルキーを押すと、その数字に応じたアクションをします。
- アクションを中止する：0

■ **拡大表示と等倍表示を切り替える：拡大表示するには 、等倍表示するには**

■ **キャラ電を切り替える：**
① MENU 9 1 ▶ **フォルダを選択**
② **キャラ電を選択**

■ **アクションを一覧表示する：**
設定中のアクションモードのアクション一覧が表示されます。
- アクションを選択すると、キャラ電が動きます。
- アクションを選び MENU を押すと詳細を確認できます。

■ **全体アクションとパーツアクションを切り替える：（1秒以上）**
- 押すたびに全体アクションとパーツアクションが切り替わります。

おしらせ

●キャラ電を編集したり、メール添付やデータ転送でFOMA端末外に保存することはできません。

キャラ電を撮影する

キャラ電撮影

- 撮影した静止画や動画は、カメラで撮影した静止画や動画と同様のファイル形式で保存されます。画像ファイルの保存形式☞P156

1 6▶フォルダを選択

2 キャラ電を選ぶ▶

キャラ電撮影画面が表示されます。

3 [カメラ]で撮影種別を切り替え

撮影種別
©BVIG
アクションモード☛P299

- [MENU][3]を押し、[1]～[4]を押しても切り替わります。

動画＋音声：
送話口からの音声付きでキャラ電を録画します。送話口からの音声に反応するキャラ電の場合は、音声に合わせて口を動かします。

動画のみ（マイクあり）：
映像のみを録画します。マイクは音声に反応するキャラ電のみ有効となり、送話口からの音声に反応してキャラ電が口を動かします。音声は録音されません。

動画のみ（マイクなし）：
映像のみを録画します。マイクは無効となります。

静止画：
静止画を撮影します。

- 撮影種別、アクションモード以外のマークの意味☛P155
- 画像サイズ、静止画のサイズ制限は変更できません。
- 画質／品質、動画のサイズ制限はキャラ電撮影の静止画設定／動画設定で変更できます。☛P300

■ **キャラ電を切り替える：[MENU][1][1]▶フォルダを選択▶キャラ電を選択**

4 撮影したいアクションを実行▶[保存]

静止画撮影の場合、撮影確認音（シャッター音）が鳴り、静止画が保存されます。
動画撮影の場合、撮影確認音（シャッター音）が鳴り、撮影が開始されます。[再生]を押すか、ファイルサイズが制限値を超えると撮影が終了して撮影確認音が鳴り、動画が保存されます。

- 撮影した静止画／動画は、マイピクチャまたはｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
- 動画撮影中に[保存]を押すと撮影を一時停止できます。[保存]を押すと撮影を再開します。
- 動画撮影中もアクションを実行できます。

■ **静止画設定または動画設定で自動保存を「しない」に設定しているとき**

確認画面が表示されます。確認画面では次の操作ができます。

[保存]：静止画／動画の保存
[カメラ]：取消（保存せずに静止画／動画を消去）
[メール]：メール作成
[再生]：再生（動画のみ）

■ **保存した静止画／動画をすぐに確認する：[再生]▶静止画／動画を選択**

- 確認後[CLR]を2回押すと、キャラ電撮影画面に戻ります。

おしらせ

- 撮影時の注意事項については、「静止画を撮影する」のおしらせ（☛P158）、「ビデオカメラで動画を撮影する」のおしらせ（☛P162）を参照してください。
- 送話口からの音声に反応するキャラ電は、送話口からの音声の大きさによっては正しく動作しないことがあります。
- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従って不要な画像／動画を削除してください。

静止画／動画の撮影動作を設定する
静止画設定／動画設定

お買い上げ時
- 静止画設定
  画質：スタンダード　撮影確認音：確認音５
  撮影後ファイル制限：なし　自動保存：する
  表示サイズ：拡大
  照明設定：端末設定に従う
- 動画設定
  品質：STD（標準）　サイズ制限：メール添付用（小）
  撮影確認音：確認音５　撮影後ファイル制限：なし
  自動保存：する　表示サイズ：拡大
  照明設定：端末設定に従う

1 キャラ電撮影画面で[MENU][4]

2 各項目を選択して設定

画質（静止画設定のみ）：
撮影する静止画の画質を設定します。画質がよくなるほど静止画のファイルサイズは大きくなります。

品質（動画設定のみ）：
撮影する動画の品質を設定します。品質がよくなるほど動画のファイルサイズは大きくなります。

サイズ制限（動画設定のみ）：
撮影する動画のファイルサイズの制限値を設定します。撮影中の動画のファイルサイズが制限値を超えると、自動的に撮影を終了します。

撮影確認音：

撮影確認音（シャッター音）を確認音 1 〜 5 から選択します。

- 選ばれている音が鳴ります。

撮影後ファイル制限：

メール添付やデータ転送によって他の携帯電話に静止画／動画を送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話に静止画／動画を送信することを制限するかどうかを設定します。

- ダウンロードしたキャラ電で最初から「あり」に設定されている場合は、「なし」に設定できません。

自動保存：

「する」に設定すると、撮影した静止画／動画が自動的に保存されます。「しない」に設定すると、撮影後に確認画面が表示されます。

表示サイズ：

キャラ電を拡大表示するか等倍表示するかを設定します。

- 撮影画面を表示したときから有効になります。

照明設定：

「常灯」に設定すると、キャラ電撮影中は常に照明が点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P128）に従います。

3 [📖] を押す

おしらせ

● 詳細情報の撮影後ファイル制限が「あり」に設定されているキャラ電を撮影した静止画／動画（自端末で撮影後ファイル制限を「あり」に設定した場合を除く）は、編集・転送・メール添付ができません。

キャラ電の動作条件を設定する

動作設定（キャラ電）

お買い上げ時　表示サイズ：拡大　照明設定：端末設定に従う

1 [📤][6] ▶ [MENU][4]

2 各項目を選択して設定

表示サイズ：キャラ電を拡大表示するか等倍表示するかを設定します。

照明設定　：「常灯」に設定すると、キャラ電一覧やキャラ電の表示中は常に照明が点灯します。「端末設定に従う」に設定すると、照明設定（☛P128）に従います。

3 [📖] を押す

Menu 55

メロディを再生する

メロディ

FOMA端末のデータBOXのメロディに保存されているメロディを再生します。

1 [📤][5] ▶ フォルダを選択

各フォルダには次のようなメロディが保存されています。

iモード：

サイトやｉモードメールから取り込んだメロディ

プリインストール：

お買い上げ時に内蔵されているメロディ

メール添付メロディ：

お買い上げ時に内蔵されているメール添付用のメロディ

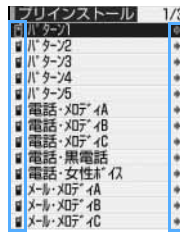
データ交換：

データ通信で受信したメロディ

アルバム：

他のフォルダから移動したメロディ

- お買い上げ時は表示されません。作成するには☛P303
- アルバム名は作成時に任意に付けられます。

2 メロディを選ぶ

メロディ一覧

① 取得元

- ：ｉモード
- ：データ交換
- ：内蔵

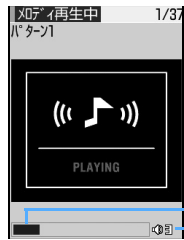
② ファイル制限

- （青）：ファイル制限なし
- （グレー）：ファイル制限あり

- 表示名などを変更できます☛P304

つづく

■ メロディをメールに添付して送信する：メロディを選ぶ ▶ [✉]
メロディが添付されているメール作成画面が表示されます。
- 受信側がFOMA D701i、D701iWM、D702i、D851iWM、D901i、D901iS、D902i以外の場合、受信したメロディを正しく再生できないことがあります。
- メールに添付できるメロディについて ☛P208

3 [⏎] **を押す**

メロディが再生されます。

- メロディの再生中は次の操作ができます。
  [⇔]：音量調整　[⇕]：前後のメロディ再生
  [CLR]／[⏎]：メロディ一覧に戻る

メロディを着信音に設定する

- 「メール添付メロディ」フォルダのメロディは着信音に設定できません。

1 [📱][5] ▶ **フォルダを選択**

2 **メロディを選ぶ** ▶ [MENU][2]

3 **音の種類を選択**

■ 音声電話、メール、チャットメール、メッセージR/F、テレビ電話の着信音に設定する：[1]～[6]

■ メモリ指定着信音（電話、メール）に設定する：
①[7]～[8] ▶ 電話帳データを選択
②内容を確認 ▶ [📖]
- 既に着信音が設定されていたときは、選択したメロディに置き換わります。
- メモリ番号入力について ☛P106「登録内容を修正する」操作3

メロディの動作条件を設定する

動作設定（メロディ）

お買い上げ時　音量：レベル3
イルミネーションパターン：メロディ連動
イルミネーションカラー：レインボー
バイブレータ：OFF
再生位置：フルコーラス再生
再生画面背景：標準

1 [📱][5] ▶ [MENU][5]

2 **各項目を選択して設定**

音量：
メロディ再生時の音量を設定します。

イルミネーションパターン：
メロディ再生時の着信ランプの点灯パターンを設定します。「メロディ連動」または「OFF」に設定するとイルミネーションカラーは設定できません。

イルミネーションカラー：
メロディ再生時の着信ランプの点灯色を設定します。

バイブレータ：
メロディ再生時の振動パターンを設定します。

再生位置：
メロディ再生時、全体を再生（フルコーラス再生）するか一部分を再生（ポイント再生）するかを設定します。

再生画面背景：
メロディ再生時に背景に表示する画像を設定します。マイピクチャの画像を設定するには「選択」に設定し、画像を選択します。

3 [📖] **を押す**

おしらせ

- メロディ一覧およびメロディ再生画面では [MENU] を押し、「動作設定」を選択します。
- メロディによっては、イルミネーションパターンやバイブレータを「メロディ連動」に設定しても連動しないことがあります。
- メロディによっては、再生位置を「ポイント再生」に設定しても、ポイント再生しないことがあります。

アルバムを利用する

FOMA端末のデータBOXのマイピクチャ、iモーション、メロディ、キャラ電の下にアルバム（フォルダ）を作成し、データを分類・整理できます。iモーション、メロディでは、アルバム内のデータをまとめて再生できます。

・キャラ電ではアルバムを「フォルダ」と表記しています。
・お買い上げ時に登録されている固定フォルダは、名前の変更や削除ができません。

アルバムを作成する

・アルバムはマイピクチャで最大100個、iモーション・メロディ・キャラ電でそれぞれ最大10個作成できます。
・お買い上げ時、アルバムはありません。

例 マイピクチャのアルバムを作成するとき

1 [📤][3]

2 [MENU][1]

■ アルバム名を変更する：アルバムを選ぶ▶[MENU][2]

■ アルバムを削除する：
①アルバムを選ぶ▶[MENU][3]
・削除するアルバムにデータが保存されているときは、端末暗証番号を入力します。
②「はい」を選択

3 アルバム名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶[📖]

おしらせ

● iモーション、メロディのフォルダ一覧では[MENU]を押し、「アルバム作成」を選択します。
● キャラ電のフォルダ一覧では[MENU]を押し、「フォルダ作成」を選択します。

データをアルバムに移動／コピーする

データをアルバムに移動する

固定フォルダのデータをアルバムに移動したり、アルバム間でデータを移動します。
・マイピクチャの「デコメールピクチャ」と他のフォルダ間でもデータを移動できます。
・「プリインストール」フォルダ、「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは移動できません。

例 マイピクチャのデータを移動するとき

1 [📤][3]▶**フォルダを選択**

2 データを選ぶ▶[MENU][5][1][1]

■ 複数移動する：
①[MENU][5][1][2]▶データを選択
・[📇]を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
②[📖]

■ フォルダ内のすべてのデータを移動する：[MENU][5][1][3]

3 移動先のアルバムを選択▶「はい」を選択

おしらせ

● 動画／iモーション一覧では[MENU]を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。
● 画像表示画面では[MENU]を押し、「移動／コピー」→「アルバムへ移動」を選択します。
● メロディ一覧では[MENU]を押し、「移動」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。メロディ再生画面では[MENU]を押し、「移動」→「アルバムへ移動」→「1件移動」「全件移動」を選択します。
● キャラ電一覧では[MENU]を押し、「移動」→「1件移動」「複数移動」「全件移動」を選択します。キャラ電表示画面では[MENU]を押し、「移動」を選択します。

アルバムのデータを固定フォルダに戻す

・キャラ電では固定フォルダへ戻す操作はできません。

例 マイピクチャのアルバムのデータを固定フォルダに戻すとき

1 [📤][3]▶**アルバムを選択**

2 データを選ぶ▶[MENU][5][2][1]

■ 複数戻す：
①[MENU][5][2][2]▶データを選択
・[📇]を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。
②[📖]

■ アルバム内のすべてのデータを戻す：[MENU][5][2][3]

3 「はい」を選択

おしらせ

● 動画／iモーション一覧では[MENU]を押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。
● 画像表示画面では[MENU]を押し、「移動／コピー」→「フォルダへ戻す」を選択します。
● メロディ一覧では[MENU]を押し、「移動」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「複数戻す」「全件戻す」を選択します。メロディ再生画面では[MENU]を押し、「移動」→「フォルダへ戻す」→「1件戻す」「全件戻す」を選択します。

●「デコメールピクチャ」フォルダで固定フォルダに戻す操作をすると、お買い上げ時に登録されている画像は「ｉモード」フォルダに移動します。

データをコピーする

- 次のデータはコピーできません。
  - ・マイピクチャのパラパラマンガ、「アイテム」フォルダ内の画像、「プリインストール」フォルダ内の画像
  - ・再生制限が設定されているｉモーション
  - ・メロディ、キャラ電
  - ・ファイル制限が「あり」に設定されているデータ。ただし、FOMA端末でファイル制限を「あり」に設定したデータ、および「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。

例 マイピクチャのデータをコピーするとき

1 [↑][3]▶**フォルダを選択**

2 **データを選ぶ**▶[MENU][5][3]

コピーしたデータはコピー元のデータと同じフォルダ内に保存されます。

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、画像表示画面では[MENU]を押し、「移動／コピー」→「コピー」を選択します。
- アルバム内でコピーしたデータを固定フォルダに戻すと、コピー元のデータが保存されていた固定フォルダに移動します。

アルバムごと再生する

ｉモーションおよびメロディのアルバム内のデータを続けて再生できます。

- お買い上げ時に登録されている固定フォルダはアルバム再生できません。
- 再生制限が設定されているｉモーションは再生されません。

1 **ｉモーションでは**[↑][4]**、メロディでは**[↑][5]

2 **アルバムを選ぶ**▶[MENU][4]

- 動画／ｉモーションのアルバム再生中は次の操作ができます。
  [↓]：一時停止／再生　[↕]：音量調整
  [📖]／[✉]：前後のデータ再生
  [📕]：停止
- メロディのアルバム再生中は次の操作ができます。
  [↔]：音量調整　[↕]：前後のメロディ再生
  [CLR]／[↓]：フォルダ一覧に戻る

データの詳細情報を確認／変更する

詳細情報参照／変更

データの詳細情報を確認します。一部の情報は内容を変更できます。

詳細情報を確認する

例 画像の詳細情報を表示するとき

1 [↑][3]▶**フォルダを選択**

2 **画像を選ぶ**▶[MENU][3][1]

- [📖]、[✉]を押すと画面単位でスクロールできます。
- [📕]を押すと詳細情報の一部を変更できます。

おしらせ

- 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面では[MENU]を押し、「詳細情報」→「参照」を選択します。
- 動画／ｉモーション再生画面では[MENU]を押し、「詳細」を選択します。
- キャラ電撮影画面では[MENU]を押し、「詳細情報参照」を選択します。

詳細情報を変更する

例 画像の詳細情報を変更するとき

1 [↑][3]▶**フォルダを選択**

2 **画像を選ぶ**▶[MENU][3][2]

3 **各項目を選択して設定**▶[📕]

おしらせ

- 画像表示画面、動画／ｉモーション一覧、キャラ電一覧、キャラ電表示画面、メロディ一覧、メロディ再生画面では[MENU]を押し、「詳細情報」→「変更」を選択します。
- 動画／ｉモーション、キャラ電、メロディの場合、「オリジナルに戻す」を選択すると、表示名を、あらかじめデータに設定されているオリジナルタイトルに戻せます。

表示項目と変更可否一覧

- データによっては、表中で「変更可」となっている項目でも、変更できない場合があります。

●：変更可　○：表示のみ　－：表示されない

表示項目	画像	動画／iモーション	キャラ電	メロディ
表示名	●	●	●	●
タイトル	－	○	○	○
ファイル名	●	●	○	●
種類	○	－	－	－
ファイル制限	●	●	○	●
撮影後ファイル制限	－	－	○	－
作成者	－	●	－	－
コピーライト	－	●	－	－
説明	－	●	－	－
ファイル種別	○	○	－	○
音	－	○	－	－
表示サイズ	○	○	○	－
ファイルサイズ	○	○	○	○
再生時間	－	○	－	○
保存日時	○	○	○	○
フレーム候補	●	－	－	－
スタンプ候補	●	－	－	－
コメント	●	－	●	－
着信音設定	－	○	－	－
着信画面設定	－	○	－	－
再生制限	－	○	－	－
取得元	○	○	○	○
故障時移行可否	○	－	－	○

表示項目の説明

表示名：
FOMA 端末で表示するタイトル（変更する場合、メロディ以外では全角・半角を問わず 36 文字まで、メロディでは全角 25 文字（半角 50 文字）まで）

タイトル：
データにあらかじめ設定されているオリジナルタイトル

ファイル名：
データをメールに添付したときに表示されるファイル名（変更する場合、半角英数字、「.」、「-」、「_」で 36 文字まで）
- 「.」はファイル名の先頭に入力できません。

種類：画像の種類

ファイル制限：
メール添付によって他の携帯電話にデータを送信したとき、受信した相手の携帯電話からさらに他の携帯電話にデータを送信することを制限するかどうかの区分
- サイトなどから取得した i モーション、ダウンロードしたメロディでは変更できません。

撮影後ファイル制限：
キャラ電を撮影した静止画／動画にファイル制限を設定するかどうかの区分

作成者：
作成者の名前など（変更する場合、全角・半角を問わず 256 文字まで）
- 自端末で撮影した動画では、自局番号に登録した名前が表示されます。自局番号に名前が登録されていない場合は設定されません。

コピーライト：
著作者名や著作物の公表年月日など（変更する場合、全角・半角を問わず 256 文字まで）

説明：
動画／ i モーションの説明（変更する場合、全角・半角を問わず256文字まで）

ファイル種別：
ファイルの種別（Flash 画像では「---」）

音：音声データの種別

表示サイズ：
データの表示サイズ（ドット）（Flash 画像では表示されません）

ファイルサイズ：データのファイルサイズ

再生時間：データの再生時間

保存日時：データを保存した日時

フレーム候補：
画像をフレーム画像として貼り付け可能にするかどうかの区分
- サイズが 240 × 400 または 352 × 288 を超える画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。

スタンプ候補：
画像をスタンプ画像として貼り付け可能にするかどうかの区分
- サイズが 240 × 400 以上の画像、およびアイテム画像と合成した画像は「する」に変更できません。

コメント：
データの説明など（変更する場合、全角・半角を問わず 100 文字まで）

着信音設定：
動画／ i モーションを着信音に設定できるかどうかの区分

着信画面設定：
動画／ i モーションを着信画像に設定できるかどうかの区分

再生制限：動画／ i モーションの再生制限

取得元：データの取得元

故障時移行可否：

お客様の FOMA 端末を修理する際、お客様のデータをドコモ指定の故障取扱窓口において移行できるかどうかの区分

- 万一、お客様のデータを移行できない場合およびデータの消失、変化に関し、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おしらせ

- 画像の詳細情報のうちフレーム候補やスタンプ候補を「する」に設定しても、画像は元のフォルダに保存され、「アイテム」フォルダには表示されません。
- 自端末で撮影種別を「画像＋音声」または「音声のみ」で撮影／録音した動画／音声や、その動画／音声から切り出した動画／音声は、着信音設定が必ず「可」になります。ただし、表示サイズが 320 × 240 の動画、テロップを挿入した動画は不可になります。

データを削除する

- マイピクチャ・ｉモーション・メロディの「プリインストール」フォルダ、メロディの「メール添付メロディ」フォルダに保存されているデータは削除できません。

例 マイピクチャのデータを削除するとき

1 [↑] [3] ▶ **フォルダを選択**

2 **データを選ぶ** ▶ [MENU] [6] [1]

■ **複数削除する：**

① [MENU] [6] [2] ▶ **データを選択**

- [□] を押すたびにサムネイル表示とタイトル表示が切り替わります。

② [■]

■ **フォルダ内のデータを全件削除する：** [MENU] [6] [3] ▶ **端末暗証番号を入力**

3 **「はい」を選択**

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧では [MENU] を押し、「削除」→「1 件削除」「複数削除」「全件削除」を選択します。
- 画像表示画面、キャラ電表示画面では [MENU] を押し、「削除」を選択します。
- メロディ再生画面では [MENU] を押し、「削除」→「1 件削除」「全件削除」を選択します。
- 待受画面や着信音などに設定しているデータを削除すると、それぞれの設定はお買い上げ時の設定に戻ります。電話帳に設定されているデータを削除したときは、音の設定や発着信時の画面の設定に従って動作します。
- パラパラマンガを削除すると、パラパラマンガを構成している元の画像も削除されます。
- お買い上げ時に登録されているキャラ電デコメールピクチャ、フレームを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☞P372

データを並べ替える

ソート

一覧画面のデータの並び順を変更します。

お買い上げ時 対象：保存日時 順序：降順

例 マイピクチャのデータを並べ替えるとき

1 [↑] [3] ▶ **フォルダを選択**

2 [MENU] [7]

3 **各項目を選択して設定** ▶ [■]

対象：並べ替えの方法を設定します。
順序：データの並び順を設定します。

おしらせ

- 動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧、キャラ電一覧では [MENU] を押し、「ソート」を選択します。
- 表示名に全角・半角の文字が混在していると、並び順が 50 音順と一致しないことがあります。

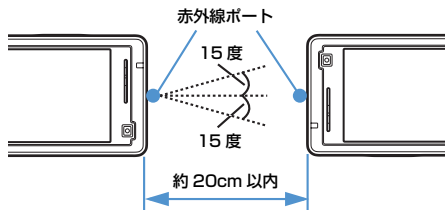
赤外線通信について

赤外線通信機能が搭載された他の FOMA 端末や携帯電話、パソコンなどとデータを送受信します。また、赤外線通信に対応したｉアプリを利用することにより、赤外線通信機能が搭載された機器と連動できます。

- オールロック中、PIM ロック中、セルフモード中、オーディオ機能起動中は赤外線通信を行えません。
- 赤外線通信とUSB接続は同時に使用できません。
- FOMA 端末外への出力が禁止されているデータは送受信できません。ただし、FOMA 端末でファイル制限を「あり」に設定したデータおよび「データ交換」フォルダ内のデータは除きます。

- 赤外線通信中は画面上部に ⇌ が表示され、データ転送モード（圏外と同じ状態）になるため、通話、ｉモード接続、データ通信などはできません。また、■を押して他の機能に切り替えることもできません。
- 本端末の赤外線通信機能は IrMC1.1 に準拠しています。
- 相手端末が IrMC1.1 に準拠していても、データの種類によっては送受信できない場合があります。
- 絵文字を使用したデータをｉモード端末以外に送信すると、正しく表示されない場合があります。また、受信側がｉモード端末であっても、相手端末によっては、絵文字２を使用したデータは正しく表示されない場合があります。

赤外線通信を行うには

通信距離は約 20cm 以内、角度は中心から 15 度以内です。データの送受信が終わるまで、FOMA 端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。

FOMA端末のデータを赤外線受信するときの留意事項

- メールを全件受信しても、相手の端末が設定したフォルダ名にならないことがあります。
- メールを受信したとき、受信メール、送信メール、未送信メールのメール連動型ｉアプリ用のフォルダに通常のメールが保存されることがあります。
- ブックマークを全件受信すると、相手の端末が作成したフォルダごとデータを受信します。
- D851iWM 以外の端末からブックマークを受信したとき、先頭のフォルダに保存されることがあります。
- D851iWM 以外の端末から画像、動画／ｉモーション、メロディを受信したとき、メモとして登録されることがあります。

D851iWMのデータをFOMA端末に赤外線送信するときの留意事項

- データサイズの制限などの違いにより、画像、動画／ｉモーション、メロディを送信したとき、受信側で保存できない場合があります。

赤外線通信を使ってデータを送信する

赤外線送信

送信するデータを選択して１件ずつ送信する方法と、機能ごとのデータを全件送信する方法があります。送信できるデータは次のとおりです。

種　類	留意事項
電話帳※１	• シークレット属性を設定した電話帳はシークレットモード中のみ１件送信できます。 • 全件送信すると自局番号データも送信されます。 • ダイヤル発信制限中は送信できません。 • データ送受信設定の電話帳の画像送信で、全件送信時に電話帳データに登録されている静止画も一緒に送信するかどうかを設定できます。 • 送信先によっては、電話帳データに登録されている画像が受信されない場合があります。
スケジュール※１	• シークレット属性を設定したスケジュールはシークレットモード中のみ１件送信できます。 • 日付・時刻の設定が必要です。
受信メール※１ 送信メール※１ 未送信メール※１	• メール本文中の添付データ（ｉアプリが起動できるリンク項目）は削除されます。
メモ※１	―――
ブックマーク※１	• 送信先によってはフォルダ分けの設定が反映されない場合があります。 • 全件送信すると一覧の末尾から送信されます。
画像	• 表示名は全角9文字（半角18文字）まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。 • 500Kバイトを超えるデータは送信できません。
動画／ ｉモーション	• 表示名は全角9文字（半角18文字）まで送信できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
メロディ	• タイトルは全角25文字（半角50文字）まで送信できます。
自局番号	• 送信先によっては画像が受信されない場合があります。

※１：全件送信できます。

・D851iWM 以外の端末や赤外線通信機器との通信では、データを正しく送受信できない場合があります。送信先で登録できない項目は破棄されます。

データを 1 件送信する

例 電話帳を 1 件送信するとき

1 相手の FOMA 端末を受信待機状態にする

2 電話帳を検索 ▶ 電話帳データを選ぶ ▶ MENU 7 1

3 「はい」を選択

・赤外線送信を中断する：[↓]

おしらせ

● ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧では MENU を押し、「赤外線送信」→「送信」を選択します。

● 画像一覧、動画／ｉモーション一覧、メロディ一覧では MENU を押し、「赤外線送信」を選択します。

● スケジュールのデイリービュー画面では MENU を押し、「赤外線」→「赤外線送信」を選択します。

● 自局番号の詳細画面では MENU を押し、「自局番号送信」を選択します。

データを全件送信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマークのすべてのデータを赤外線送信します。

・全件送信する場合は、送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で 4 桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 相手の FOMA 端末を受信待機状態にする

2 MENU 6 1 1

3 データの種類を選択 ▶ 端末暗証番号を入力

4 4 桁の認証パスワードを入力

入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

5 「はい」を選択

・赤外線送信を中断する：[↓]

おしらせ

● ブックマーク一覧、送信メール一覧、未送信メール一覧、受信メール一覧、メモ一覧では MENU を押し、「赤外線送信」→「全件送信」を選択します。

● ブックマーク、送信メール、未送信メール、受信メールのフォルダ一覧では MENU を押し、「赤外線全件送信」を選択します。

● 電話帳一覧では MENU を押し、「赤外線／ FOMA カード」（FOMA カード電話帳では「赤外線／本体へコピー」）→「赤外線全件送信」を選択します。

● スケジュールのカレンダー画面、デイリービュー画面では MENU を押し、「赤外線」→「赤外線全件送信」を選択します。

● 全件送信した場合、受信側でデータの並び順が変わることがあります。

赤外線通信を使ってデータを受信する

赤外線受信

データを1件ずつ受信する方法と、機能ごとのデータを全件受信する方法があります。受信したデータは、直接 FOMA 端末に保存するか、赤外線受信の INBOX に一時的に保存して、受信したデータを確認してから FOMA 端末に保存します。受信できるデータは次のとおりです。

データの種類	受信後の保存場所
電話帳※ 1	電話帳
スケジュール※ 1	スケジュール帳
受信メール※ 1	受信メール
送信メール※ 1	送信メール
未送信メール※ 1	未送信メール
メモ※ 1	メモ帳
ブックマーク※ 1	Bookmark
画像	マイピクチャの「データ交換」フォルダ
動画／ｉモーション	ｉモーションの「データ交換」フォルダ
メロディ	メロディの「データ交換」フォルダ
自局番号	電話帳

※ 1：全件受信できます。

・受信データの保存順は以下のとおりです。
　・電話帳、自局番号は、最も小さい空きメモリ番号に登録されます。
　・スケジュール、メールは日時順に保存されます。
　・メモは受信順に保存されます。
　・ブックマーク、画像、動画／ｉモーション、メロディは一覧の先頭に追加されます。

・電話帳データを全件受信した場合、自局電話番号以外の自局番号データが上書きされます。

・ダイヤル発信制限中は電話帳データを受信できません。

- スケジュールの受信には日付・時刻の設定が必要です。
- 受信したデータの中に不正な文字などが含まれる場合、空白に置き換えられたり、切り詰められます。

データを 1 件受信する

- 512K バイトを超えるデータは受信できません。

1 MENU 6 1 2 1

受信方式選択画面が表示されます。

2 1 ～ 2

保存確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。INBOX に空きがないときは選択できません。受信完了後、INBOX のデータ一覧が表示されます。

保存確認なし：
受信したデータは FOMA 端末に保存されます。受信完了後、INBOX は表示されず、受信方式選択画面に戻ります。

3 「はい」を選択

受信待機状態になります。

4 送信側でデータを 1 件送信する

操作 2 で「保存確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX 画面が表示されます。データの保存方法については ☛P310「受信したデータを保存する」操作 2 以降

「保存確認なし」を選択した場合は、受信終了後、受信方式選択画面に戻ります。

- 赤外線受信を中断する：[キー]

データを全件受信する

電話帳、スケジュール、メール、メモ、ブックマークのすべてのデータを赤外線受信できます。

- 全件受信する場合は、受信側と送信側で同じ認証パスワードを入力する必要があります。あらかじめ「0000」～「9999」の範囲で 4 桁の認証パスワードを決めておいてください。

1 MENU 6 1 2 2

全件受信方式選択画面が表示されます。

2 1 ～ 2

上書き確認あり：
受信したデータはINBOXに一時的に保存されます。INBOX に空きがないときは選択できません。受信完了後、INBOX のデータ一覧が表示されます。INBOX からの保存時に追加保存と上書き保存を選択できます。

上書き確認なし：
受信したデータは FOMA 端末に上書き保存されます。受信完了後、INBOX は表示されず、全件受信方式選択画面に戻ります。

- 上書き保存すると FOMA 端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。
- 「上書き確認あり」を選択したときは、操作 4 に進みます。

3 「はい」を選択 ▶ 端末暗証番号を入力

4 4 桁の認証パスワードを入力

- 入力した認証パスワードは「*」と表示されます。

5 「はい」を選択

受信待機状態になります。

6 送信側でデータを全件送信する

操作 2 で「上書き確認あり」を選択した場合は、受信終了後、INBOX 画面が表示されます。データの保存方法については ☛P310「受信したデータを保存する」操作 2 以降

「上書き確認なし」を選択した場合は、受信終了後、全件受信方式選択画面に戻ります。

- 赤外線受信を中断する：[キー]

おしらせ

- 受信するデータの種類や件数によって受信時間は異なります。データ容量が大きい場合や件数が多い場合は、受信に時間がかかることがあります。
- データ保存時の注意事項については「受信したデータを保存する」のおしらせをご覧ください。☛P310

受信したデータを保存する

INBOX に一時的に保存されているデータを FOMA 端末に保存します。

- 1 件受信時に「保存確認あり」、全件受信時に「上書き確認あり」を選択した場合、受信終了後、自動的に INBOX 画面が表示されます。
- FOMA 端末に保存したデータは INBOX から削除されます。

1 MENU 6 1 2 3

2 データを選択

／：電話帳1件データ／複数件データ
／：ブックマーク1件データ／複数件データ
／：メール1件データ／複数件データ
／：スケジュール1件データ／複数件データ
／：メモ1件データ／複数件データ
：画像
：動画／ｉモーション
：メロディ

■ 1件削除する：データを選ぶ▶ MENU 2 ▶「はい」を選択

■ 全件削除する：MENU 3 ▶ 端末暗証番号を入力▶「はい」を選択

3 「はい」を選択

■ 複数件データを選択したとき：
①端末暗証番号を入力
②追加保存する場合は「追加」、上書き保存する場合は「上書き」を選択
- 「上書き」を選択するとFOMA端末の元のデータはすべて消去され、新しいデータで上書きされますのでご注意ください。

おしらせ

- 保存するデータのサイズによっては、受信できる件数がFOMA端末の最大保存／登録件数より少なくなることがあります。
- D851iWMではToDoデータ（用件を管理するリスト機能のデータ）は保存できません。D851iWM以外の機種などからToDoデータとスケジュールデータをまとめて全件受信した場合、スケジュールデータのみが保存されます。ToDoデータのみを全件受信した場合、上書き保存するとD851iWMに登録されていたスケジュールがすべて削除されますのでご注意ください。
- 全件受信したデータを上書き保存すると、FOMA端末の保護されているデータも削除されます。
- D851iWMで利用できないデータを受信したとき、INBOXにメモとして表示される場合があります。このとき、メモとしても保存できない場合があります。
- プッシュトーク電話帳を受信した場合は通常の電話帳として登録されます。
- メールをフォルダごとに保存できる機器から受信したメールデータの場合、メール連動型ｉアプリ用のフォルダに保存されることがあります。保存したメールデータを確認するには、保存されているメール連動型ｉアプリ用のフォルダを選び MENU 1 を押してください。

赤外線通信モードにする

赤外線通信モード

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信して、ｉアプリを起動します。
- 指定のソフトをあらかじめサイトなどからダウンロードしておく必要があります。
- ｉアプリが外部機器からのｉアプリToで起動しないように設定されている場合は起動できません。

1 MENU 6 1 2 1 2 ▶「はい」を選択

受信待機状態になります。

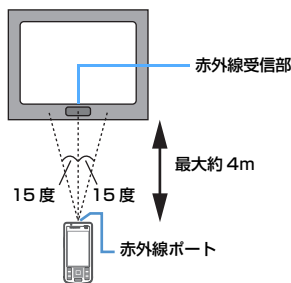
2 赤外線通信機器からｉアプリ起動データを受信する

ｉアプリが起動します。
- 受信を中断する：

赤外線リモコン機能を利用する

赤外線リモコン用のｉアプリをダウンロードして、FOMA端末を赤外線リモコンとして使用します。
- 各機器に対応したｉアプリをダウンロードしてください。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリ「Gガイド番組表リモコン」を起動すると、FOMA端末をテレビなどの赤外線リモコンとして利用できます。☛P311
- セルフモード中および赤外線通信中は本機能を利用できません。
- 対応機器や周囲の明るさによって、通信動作に影響を受けることがあります。
- 赤外線リモコンに対応した機器でも操作できない場合があります。

リモコン操作について

FOMA端末の赤外線ポートを対応機器の赤外線受信部に向けてリモコン操作をしてください（操作方法はｉアプリによって異なります）。リモコン操作ができる角度は中心から15度、距離は最大で約4mです。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによって、操作できる角度と距離は変わります。

G ガイド番組表リモコンを使う

G ガイド番組表リモコンは、テレビ番組表とテレビリモコン機能が 1 つになった便利アプリです。
いつでもどこでも知りたい時間のテレビ番組情報が簡単に取得できます。お住まいの地域に応じたテレビ局のタイトル、番組内容、開始／終了時間などを知ることができます。気になった番組情報があったら、すぐにお友達に番組のタイトル、番組の放送スケジュールなどをメールで知らせる「おすすめメール」機能があります。
また、お使いのテレビのリモコン操作ができます（一部対応していない機種もあります）。

- 「G ガイド番組表リモコン」の月額使用料は無料です。別途パケット通信料がかかります。
- 詳しくは『i モード操作ガイド』をご覧ください。

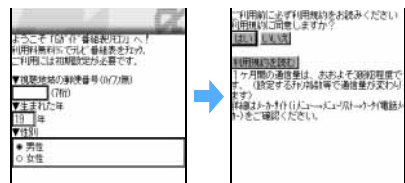
Gガイド番組表リモコンを起動する

1 **[i] 1 秒以上 ▶ フォルダを選択**

2 **「G ガイド番組表リモコン」を選択**
G ガイド番組表リモコンが起動します。初回起動時は、初期設定の画面が表示されます。2 回目以降はメイン画面が表示されます。

初期設定を行う

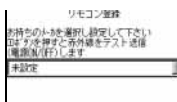
以下の手順で初期設定を行います。

1 **視聴地域の郵便番号（7 桁）、生まれた年、性別を設定 ▶ [📖]**

2 **「利用規約を読む」を選択 ▶ 利用規約を読み [MENU]**

3 **利用規約に同意するときは「はい」を選択 ▶ 通信終了後に [⬇]**
メイン画面が表示されます。
- ご利用になる前に、続けて以下の手順でリモコン登録、視聴チャンネルの設定、リモコンチャンネルの設定を行ってください。
- 各設定は、[↕] を押して画面のガイド行に「メニュー」を表示させてから操作してください。

リモコン登録を行う

リモコン操作をするテレビの情報を登録します。

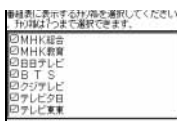
1 **メイン画面で [📖] ▶「リモコン登録」を選択**

2 **テレビのメーカーを選択**

3 **FOMA 端末の赤外線ポートをテレビに向け [1]**
- テレビの電源ON／OFFができるか確認します。

4 **[📖] を押す ▶ 通信終了後に [⬇]**

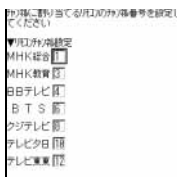
視聴チャンネルを設定する

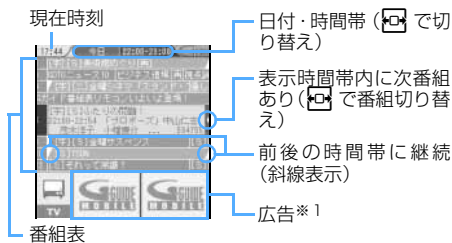
番組表に表示するチャンネルを設定します。

1 **メイン画面で [📖] ▶「視聴チャンネル」を選択**

2 **チャンネルを選択 ▶ [MENU] ▶ [📖] ▶ [⬇]**
- チャンネルは 7 つまで選択できます。

リモコンチャンネルを設定する

各チャンネルに割り当てるチャンネル番号を設定します。

1 **メイン画面で [📖] ▶「リモコンチャンネル設定」を選択**

2 チャンネル番号を設定 ▶ [i] ▶ [決定]

メイン画面の見かたと操作

※1：広告を選ぶと詳細情報が表示されます。[決定]を押すとWeb to機能で関連サイトに接続したり、Mail to、Phone to機能を利用できる場合があります。

• 画面はイメージです。実際の画面とは異なります。お住まいの地域に応じたチャンネルが表示されます。

■ リモコン操作をするには

項　目	操　作
電源ON/OFF	[1]
チャンネル選択	番組を選ぶ ▶ [決定]
前後のチャンネルに切り替え	次のチャンネル：[2] 前のチャンネル：[8]
音量調整	上げる：[6]　下げる：[4] 消音：[7]
入力切り替え	[3]
キーの機能確認	[MENU]

・お使いのテレビによっては一部の操作が行えないことがあります。

■ その他の操作

[i] ▶ メニューから項目を選択

項　目	説　明
番組詳細	カーソルを合わせている番組の詳細情報を通信により取得して表示します。
おすすめメール	番組の情報が本文に入力されたｉモードメールを作成します。
HELP	Gガイド番組表リモコンの使いかたを表示します。
最新に更新	番組表を最新の内容に更新します。
バージョン情報	Gガイド番組表リモコンのバージョンを表示します。バージョンが更新されているときはバージョンアップもできます。
初期化	Gガイド番組表リモコンの設定を初期化します。

データ送受信時の動作を設定する
データ送受信設定

赤外線通信やUSB接続によるデータ送受信時の動作を設定します。

お買い上げ時　通信終了音：OFF　自動認証：なし
電話帳の画像送信：あり

1 [MENU] [6] [1] [3]

2 各項目を選択して設定

通信終了音：
通信終了時に終了音を鳴らすかどうかを設定します。

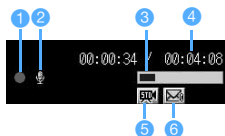
自動認証：
USB接続による通信時に、認証コードを通信相手と自動でやりとりするかどうかを設定します。
• 「あり」に設定するときは、端末暗証番号を入力し、4〜8桁の携帯側認証コード（FOMA端末側）とパソコン側認証コード（相手側）を入力し、[i]を押します。

電話帳の画像送信：
電話帳データの全件送信時に、電話帳に登録されている画像を一緒に送信するかどうかを設定します。

3 [i] を押す

サウンドレコーダーで音声を録音する
サウンドレコーダー

サウンドレコーダーを使用して音声の録音ができます。録音した音声はFOMA端末で再生するだけでなく、ｉモードメールに添付して送信したり、赤外線通信で送信したりできます。
• 録音した音声は、映像のない動画／ｉモーションとして保存されます。

録音画面の見かた

❶**機能／状態**
実行中の機能や録音状態を示します。

❷**撮影種別**
音声を録音することを示します。

❸**インジケータ**
録音待機中
保存領域の使用率を示します。
録音中／一時停止中
サイズ制限で設定しているファイルサイズに対する録音したサイズの割合を示します。

❹**カウンタ**
録音待機中
現在の設定で FOMA 端末に保存できる音声の最大時間（目安）を示します。
録音中／一時停止中
経過時間／残り時間（録音停止するまでの時間）（目安）を示します。

❺**品質**
保存する音声の品質を示します。☛P314

❻**サイズ制限**
保存するファイルのサイズ制限値を示します。
☛P314

音声ファイルについて

項　目	内　容
ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	AMR
拡張子	3gp
ファイル名／表示名／タイトル	録音した日時が自動的に付けられます。 （例）2006年5月22日12時34分56秒の場合 → 20060522123456 • 音声の録音後、ファイル名や表示名を変更できます。☛P304 • FOMA 端末の日付・時刻が設定されていない場合、ファイル名／表示名／タイトルは「--------------」になります。
メール添付・出力	メールに音声を添付して送信したり、専用のデータリンクソフトを利用してパソコンや他の端末に取り込んだりできます。

音声の録音時間について

D851iWM に保存できる音声の録音時間は、品質、サイズ制限の設定によって変わります。

• 品質、サイズ制限は動画／録音詳細設定で設定できます。☛P163

■ 保存できる音声の録音時間（目安）

項　目	品　質	ファイルサイズ制限	
		メール添付用（小）	メール添付用（大）
1回あたりの録音時間	STD	約4分	約7分
	HQ	約3分	約5分
保存できる合計録音時間	STD	約159分	約159分
	HQ	約104分	約105分

音声を録音する

• 周囲の騒音が少ない、できるだけ静かな場所で録音してください。
• 着信音量を「Silent」（消音）に設定している場合やマナーモード中、公共モード（ドライブモード）中などでも、録音確認音（シャッター音）は鳴ります。また、録音確認音（シャッター音）の音量は変更できません。

1 MENU 6 4

録音画面

着信ランプが青で点灯し、サウンドレコーダーが起動します。

2 [録音キー] または [♫]

録音確認音（シャッター音）が鳴り、録音が開始されます。[アイコン]が●に切り替わり、着信ランプが色を変えながら点滅します。

• 音声は送話口から録音されます。
• 録音を一時停止するときは [録音キー] を押します。●が❚❚に切り替わり、着信ランプが緑で点灯します。[録音キー] または [♫] を押すと、録音を再開します。

データ表示／編集／管理

サウンドレコーダー

つづく

3 [■]または[♫]

録音確認音（シャッター音）が鳴り、音声の録音が終了します。録音した音声の確認画面が表示されます。

- 動画／録音詳細設定の自動保存を「する」に設定しているときは、録音した音声が保存され、録音画面に戻ります。操作４以降の操作は不要です。
- 録音中にファイルサイズが制限値を超えると、録音が自動的に終了し、その時点までに録音した音声が保存の対象になります。
- 一時停止中に[■]を押して録音を終了した場合は、その時点までに録音した音声が保存の対象になります。

4 録音した音声を確認

- 音声をすぐに保存する：操作5に進む
- 保存しないで録音し直す：[CLR]
- 音声を再生する：[■]
  動画／録音詳細設定の自動再生を「する」に設定している場合は、自動的に再生されます。

■ **音声をメールに添付して送信する：[✉]**
録音した音声を保存するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録音した音声がFOMA端末に保存され、メール作成画面が表示されます。

■ **タイトルを変更する：[MENU][3][1]▶タイトルを入力（全角・半角を問わず31文字まで）▶[■]**
- 変更したタイトルは音声保存後に有効になります。

■ **テロップを挿入する：[MENU][3][2]▶「はい」を選択**
録音した音声がFOMA端末に保存され、テロップ設定画面が表示されます。以降の操作は「テロップを挿入する」の操作３以降と同じです。☛P297

■ **保存されている音声を一覧表示する：[MENU][5]**

5 [保存]または[♫]

録音した音声がｉモーションの「カメラ」フォルダに保存されます。

- 保存した音声をすぐに確認するときは[■]を押し、確認する音声を選択します。

おしらせ

- 静止画撮影画面や動画撮影画面で[MENU]を押し、「機能切替」→「サウンドレコーダー」を選択してもサウンドレコーダーに切り替わります。ビデオカメラの撮影待機中に、動画／録音詳細設定の撮影種別を「音声のみ」に設定しても切り替わります。
- サウンドレコーダーを利用する際の注意事項については☛P162「ビデオカメラで動画を撮影する」のおしらせ
- 録音した音声の再生方法については☛P292「動画／ｉモーションを再生する」

録音時の設定を変更する

音声の品質を設定する

1 録音画面で[◁▷]で品質のマーク（[STD]、[HQ]）を選ぶ

- [8]を押しても選べます。

2 [▲▼]でマークを切り替え▶[保存]

[STD]標準　：標準的な品質です。
[HQ]高品質：音質がよくなりますが、録音できる時間は短くなります。

- [8]を押して値を切り替え、[保存]を押しても設定できます。

ファイルサイズを制限する

1 録音画面で[◁▷]でサイズ制限のマーク（[✉]、[✉]）を選ぶ

- [9]を押しても選べます。

2 [▲▼]でマークを切り替え▶[保存]

[✉]メール添付用（小）※1：
ファイルサイズを290Kバイト以下に制限します。ｉモードメールに添付して大容量メールに対応していない機種に送信できるファイルサイズです。

[✉]メール添付用（大）※1：
ファイルサイズを490Kバイト以下に制限します。大容量メールに対応している機種に送信できるファイルサイズです。

- [9]を押して値を切り替え、[保存]を押しても設定できます。

※1：マークを選んだとき、画面には「メール添付（小）」「メール添付（大）」と表示されます。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセス

マルチアクセスとは、音声電話、パケット通信、SMSの3つの機能を同時に使用できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 機能を実行中に [■] を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示して操作します。
- 同時に使用できる機能は次のとおりです。
  - ・音声電話：1通信
  - ・iモード、iアプリ、iモードメール、パソコンなどをつないだパケット通信：いずれか1通信
  - ・SMS：1通信
- マルチアクセスの組み合わせ ☛P383

おしらせ

● マルチアクセス中はそれぞれの通信について通話料金がかかります。

マルチアクセスでできる主な操作

接続中の通信を中断せずに、iモードメールやSMS、音声電話を受けたり、別の通信を実行したりできます。

音声電話通話中にiモードメールを受信する

1 音声電話通話中にメールを受信

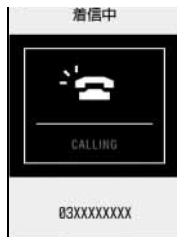
受信中はディスプレイ上部に と が点滅表示され、受信が完了すると が点滅し、 が表示されます。

- の点滅は自動的に止まります。

iモード中に音声電話を受ける

サイトを表示しながら、かかってきた音声電話を受けます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話を受けられます。

1 iモード中に音声電話がかかってくる

- 音声電話がかかってきたときの画面は、優先通信モード設定によって異なります。

2 [通話] を押す

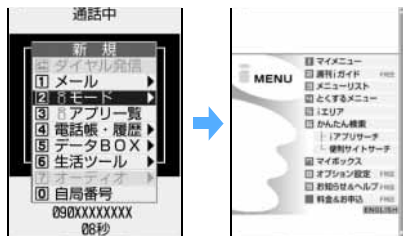
- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。☛P318
- サイト表示を終了する：サイト画面で [終話]▶「はい」を選択
- 通話を終了する：通話中画面で [終話]

音声電話通話中にiモードに接続する

1 音声電話通話中に [■]

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、サイト画面を見ながら通話できます。

2 [2][1]

新規起動メニュー

- 通話中画面とサイト画面を切り替えながら操作できます。☛P318
- サイト表示を終了する：サイト画面で [終話]▶「はい」を選択
- 通話を終了する：通話中画面で [終話]

音声電話通話中にiモードメールを送信する

1 音声電話通話中に [■]

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、メールを作成しながら通話できます。

2 1 2

iモードメールの送信が終了すると通話中画面に戻ります。

- 通話中画面とメール作成画面を切り替えながら操作できます。☛P318
- メール作成を終了する：メール作成画面で
- 通話を終了する：通話中画面で

音声電話通話中にパケット通信を行う

1 音声電話通話中にパソコンから発信操作を行う

パケット通信が始まります。

- パケット通信実行時の画面は優先通信モード設定によって異なります。
- 通話を終了する：通話中画面で

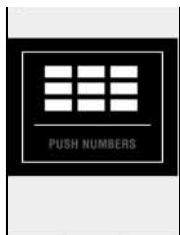
iモード中に音声電話をかける

サイトを表示しながら、音声電話をかけます。

- パソコンとつないだパケット通信中も、同様に音声電話をかけられます。

1 iモード中に

新規起動メニューが表示されます。

2 ▶ 電話番号を入力 ▶

- 電話帳や着信履歴、リダイヤルから電話をかけるには、新規起動メニューから「電話帳・履歴」を選択します。

- サイト表示を終了する：サイト画面で ▶「はい」を選択
- 通話を終了する：通話中画面で

マルチタスクについて

マルチタスク

マルチタスクとは、複数の機能を同時に実行し、画面を切り替えながら操作できる機能です。

- タスクバーには、動作中の機能を示すアイコンが表示されます。
- 機能を実行中に を押して新規起動メニューまたは画面切替メニューを表示して操作します。
- 同時に実行できる機能は 2 つまでです。ただし、「ダイヤル発信」および「自局番号」の機能は、他の機能が 2 つ実行されていても、起動できます。
- 機能によっては同時に起動できないものや制限のあるものがあります。マルチタスクの組み合わせ☛P385

新しい機能を実行する

例 音声電話通話中にスケジュールを表示／登録するとき

1 音声電話通話中に

新規起動メニューが表示されます。

- 通話中画面でスピーカーホン機能を利用した通話に切り替えておくと、スケジュールの画面を見ながら通話できます。

2 6 4

3 スケジュールを表示／登録

- スケジュールを終了する：スケジュールの画面で
- 通話を終了する：通話中画面で

おしらせ

- 動画やアニメーションの再生中、カメラの操作中などにメールを自動受信するなど、同時に多くの機能を実行すると、画面がスムーズに動作しなかったり、再生中の音声が途切れることがあります。

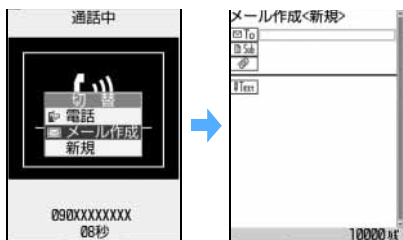
操作する機能を切り替える

複数の機能を実行中に [■] を押すと画面切替メニューが表示され、画面を切り替えて操作できます。

例 音声電話とｉモードメール作成のマルチタスク中にメール作成画面へ切り替えるとき

1 音声電話通話中に [■]

画面切替メニューが表示されます。

2 「メール作成」を選択

画面切替メニュー

- 通話中画面に戻す：[■] ▶ 画面切替メニューから「電話」を選択
- 画面切替メニュー表示中に [MENU] を押すと新規起動メニューが表示され、新しい機能を起動できます。再度 [MENU] を押すと画面切替メニューに戻ります。

おしらせ

● マルチタスクの組み合わせ（☞P385）で選択不可になっている組み合わせでは、画面を切り替えられません。

● オーディオ機能起動中に音声電話／テレビ電話をかけたり受けたりすると、モバHO!機能は停止、ミュージックプレイヤーは再生が一時停止、FM ラジオは受信が停止されます。

● ミュージックプレイヤー／FMラジオ起動中にｉアプリに切り替えると、再生が一時停止または受信が停止されます。

● 画面切替メニューの項目名は、次のように、メニューの項目名などと異なる場合があります。

- ダイヤル入力（電話番号入力）
- AV 通信（外部機器によるテレビ電話）
- ｉモード（サイト、インターネットホームページ、ブックマーク、画面メモ）
- メール（ｉモードメール、SMS の一覧画面や詳細画面）
- メール作成（ｉモードメール作成画面、SMS 作成画面）
- ｉモードメール着信（ｉモードメール、メッセージ R/F の受信画面）
- 問合せ（ｉモード問合せ、SMS 問合せ）
- PPP データ通信（パソコンとつないだパケット通信）

実行中のすべての機能を終了する

マルチタスクで実行中の全機能を一度に終了させます。

1 マルチタスク中に [■] [📖] ▶「はい」を選択

FOMA 端末を開いて編集画面を表示するように設定する　スライド編集設定

「ON」に設定するとFOMA端末を開くだけでメールの作成画面やスケジュールの編集画面などを表示できます。

お買い上げ時　すべて ON

1 [MENU] [8] [8] [8]

2 項目を選択 ▶ [1] ～ [2]

- 各項目を「ON」に設定すると、以下のように動作します。

受信メール：
受信メール一覧／受信メール詳細画面でFOMA 端末を開いたとき、クイック返信本文選択画面を表示します。
- クイック返信本文が登録されていないときや、クイック返信設定を「OFF」に設定しているときは、返信用のメール作成画面を表示します。

送信メール：
送信メール一覧／送信メール詳細画面でFOMA 端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示します。

未送信メール：
未送信メール一覧でFOMA端末を開いたとき、編集用のメール作成画面を表示します。

チャットメール：
チャットメール画面で FOMA 端末を開いたとき、送信する本文を入力する画面を表示します。

スケジュール：
カレンダー画面／デイリービュー画面でFOMA端末を開いたとき、スケジュールの新規作成画面を表示します。

メモ帳：
メモ一覧画面／メモ帳参照画面で FOMA 端末を開いたとき、メモ帳編集画面を表示します。

3 [📖] を押す

おしらせ

● スケジュールを「ON」に設定すると、スケジュールの各詳細画面でFOMA端末を開いたとき、編集画面が表示されます。

指定した時刻に自動的に電源を入れる／切る
自動電源 ON ／ OFF 設定

・自動電源ON設定と自動電源OFF設定を同時刻に設定できません。

お買い上げ時 自動電源 ON：OFF　自動電源 OFF：OFF

例 自動電源ON設定を設定するとき

1 MENU 8 5 2

■ **自動電源 OFF 設定を設定する：**MENU 8 5 3

2 各項目を選択して設定

自動電源 ON：
自動電源 ON を設定／解除します。
・「OFF」に設定すると、時刻、繰り返しは選択できません。

時刻：
自動的に電源を入れる時刻を設定します。
・24 時間制で入力します。時、分が 0 〜 9 のときは、前に 0 を付けます。

繰り返し：
自動電源 ON の繰り返しを設定します。
・「OFF」に設定すると、指定した時刻に一度だけ FOMA 端末の電源が入った後、自動電源 ON の設定は解除されます。

3 □ **を押す**

おしらせ

● アラームやスケジュールアラームと同時刻に自動電源 OFF 設定を「ON」に設定すると、スケジュールやアラーム設定の動作終了後に自動電源OFFを行います。アラーム鳴動後スヌーズ動作が開始すると、スヌーズ動作を終了した後に自動電源OFFを行います。

● 自動電源 OFF 設定を「ON」に設定しても、待受中以外のときは、指定した時刻になっても、電源は切れません。動作中のそれぞれの機能を終了した後、電源が切れます。ただし、待受画面からの端末暗証番号入力画面や、FOMA 端末の電源を入れた際に表示される PIN1 コード、PIN2 コード入力画面を表示中に、指定した時刻になった場合は、電源は切れません。

● 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく自動電源 ON 設定を「OFF」に設定してください。

指定した時刻にアラームを鳴らす
アラーム設定

指定した時刻に、アラーム音、着信ランプの点灯／点滅、バイブレータ動作などでお知らせします。

お買い上げ時 未設定

アラームを鳴らす時刻や音などを設定する

・アラームを設定したときの各項目のお買い上げ時の設定は、時刻「00：00」、繰り返し「なし」、アラーム音「アラーム・アナログ時計」、音量「レベル 4」、バイブレータ「OFF」、イルミネーションパターン「端末設定に従う」、イルミネーションカラー「端末設定に従う」です。

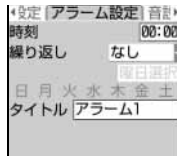
1 MENU 6 7

2 1 〜 9

・9件まで設定できます。設定中のアラームには、タイトルの左に SET が表示されます。

■ **解除する：アラーム一覧からアラームタイトルを選ぶ ▶ MENU**
・解除したアラームを再設定する：MENU

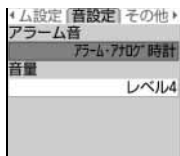
■ **編集する：**
①アラーム一覧からアラームタイトルを選択
②アラーム設定を編集

3 各項目を選択して設定

時刻：
アラームを設定する時刻を入力します。
・24 時間制で入力します。時、分が 0 〜 9 のときは、前に 0 を付けます。

繰り返し：
繰り返し設定を選択します。
・「なし」に設定すると、一度だけアラームが起動します。
・「毎日」に設定すると、毎日アラームが起動します。
・「曜日指定」を選択したときは、「曜日選択」を選択し、曜日を選択して □ を押します。

タイトル：
全角 7 文字（半角 14 文字）まで入力できます。
・お買い上げ時のタイトルは、「アラーム 1」〜「アラーム 9」に設定されています。タイトルを入力していないアラームは設定できません。

つづく

4 [key] で音設定画面に切り替え ▶ 各項目を選択して設定

アラーム音：

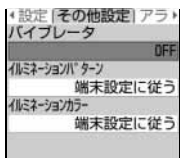
「ｉモーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画／ｉモーションまたはメロディから選択します。

- 選択時にメロディ、動画／ｉモーションを再生して確認するには ☛P114

音量：

アラームの音量を選択します。

- 調整方法 ☛P65

5 [key] でその他設定画面に切り替え ▶ 各項目を選択して設定

バイブレータ：

アラーム時刻になったときの振動を設定します。

イルミネーションパターン：

アラーム時刻になったときの着信ランプの点灯パターンを設定します。

- 「メロディ連動」または「OFF」に設定すると、イルミネーションカラーは設定できません。

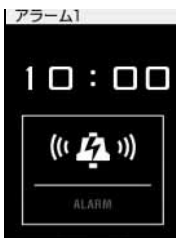
イルミネーションカラー：

アラーム時刻になったときの着信ランプの点灯色を設定します。

6 [key] を押す

待受画面に [icon] または [icon]（スケジュールアラームも設定しているとき）が表示されます。

設定時刻になると

アラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。アラーム画面には、次の画面または設定した動画／ｉモーションが表示されます。設定した音量でアラームが鳴ります。また、イルミネーションやバイブレータを設定している場合は、その設定に従って動作します。

- アラーム鳴動中に [key] を押すとアラームが終了し、鳴動前の画面に戻ります。
- アラーム鳴動中に約1分間何も操作しないか、[key] 以外を押すと、アラームが止まり、「1分間鳴った後、4分間停止」する動作（スヌーズ動作）を30分間繰り返します。このとき、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されます。アラームが鳴っているときに音声電話やテレビ電話の着信があったときも、同様にスヌーズ動作になります。
- 設定時刻に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。
  - ・通話中の場合は、アラームではなく警告音が鳴り、アラーム画面が表示されます。また、バイブレータの振動で通知する設定になっていても、バイブレータは動作しません。
    通話保留中の場合は保留解除後に上記動作となります。
  - ・電源が入っていない場合は、設定した時刻になっても電源は入らず、アラームも鳴りません。鳴らす場合は、アラーム自動電源ON設定を「ON」に設定してください。
  - ・データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）、電話の発着信・切断中に設定した時刻になった場合は、上記動作終了後にアラームが動作します。

おしらせ

- ● 同時刻に複数のアラームを設定していると、アラーム一覧の一番小さい項目番号に設定されているアラームが動作します。
- ● アラームとスケジュールアラームを同じ時刻に設定していると、最初にアラームを通知する画面が表示された後スヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。スケジュールアラーム画面を終了した後も、アラームのスヌーズ動作は継続されます。
- ● 設定時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。
- ● オールロック中、PIMロック中はアラームは動作しません。

アラームが鳴る時刻に自動的に電源が入るように設定する アラーム自動電源ON設定

スケジュールやアラーム設定で指定した日時に電源が入っていなかったとき、電源が自動的に入り、アラームが鳴るように設定します。

お買い上げ時 OFF

1 MENU 8 5 5

2 1 **を押す**

- 自動的に電源を入れない：2

おしらせ

- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された場所では、電源を切るだけではなく本設定を「OFF」に設定してください。
- 「ON」に設定しているとき、PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定している場合に、アラーム設定やスケジュールで指定した日時になると、電源がONになり、PIN1コード入力画面が表示される前にアラームが鳴ります。[電源]を押してアラームを停止させると、PIN1コード入力画面が表示されます。このとき、アラームにダウンロードしたメロディまたはｉモーションを設定していても、お買い上げ時に登録されているメロディ（アラーム設定は「アラーム・アナログ時計」、スケジュールアラームは「アラーム・女性ボイス」）でアラームが鳴ります。

Menu 65

スケジュールを管理する スケジュール帳

仕事の予定などを登録しておくと、設定日時になったとき画面表示やアラーム音でお知らせします。

カレンダーを表示する

カレンダー画面から、スケジュールを表示できます。

1 [本] **（1秒以上）**

用件アイコン

カーソル

その日のスケジュール（3件以上のときは3件め以降を「…」で表示）

カレンダー画面が表示されます。日付は、当日はオレンジ、土曜日は青、休日・祝日は赤で表示されます（カラーテーマ設定により、表示される色は異なる場合があります）。

- 複数のスケジュールを設定している日は、最も早い時刻に登録しているスケジュールの用件アイコンが表示されます。最も早い時刻に登録されているスケジュールの時間を過ぎても、次に登録されているスケジュールの用件アイコンは表示されません。
- [方向キー]で日付を移動します。[決定]を押すとデイリービュー画面が表示されます。
- [i]を押して前月、[メール]を押して翌月に切り替えます。
- カレンダーは、前回終了したときの設定で表示されます。

■ **特定の日を指定して表示する：**

①**カレンダー画面で** MENU 4 2

②**年月日を入力**

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
- 当日に戻す：MENU 4 1
- デイリービュー画面では MENU 5 2 を押します。当日に戻す場合は MENU 5 1 を押します。

おしらせ

- カレンダーの祝日設定は、「国民の祝日に関する法律及び老人福祉法の一部を改正する法律（平成13年6月22日・法律第59号）」に基づいています（2006年2月現在）。
  ただし、春分の日・秋分の日は、前年2月1日の官報で発表されるため、変更しなければならないことがあります。また、上記法律は2003年1月から施行されていますが、2002年までの海の日と敬老の日については改正前の日付では表示されませんのでご注意ください。
- カレンダーは2000年1月1日から2060年12月31日まで表示できます。

カレンダーの表示形式を設定する カレンダーモード設定

お買い上げ時 動作モード：マンスリーモード
表示モード：ノーマルモード

1 [本] **（1秒以上）** ▶ MENU 6 1

2 **各項目を選択して設定**

動作モード：

カレンダーの表示方法を設定します。

- 「マンスリーモード」に設定すると、1ヶ月ごとに画面が切り替わります。
- 「スライドモード」に設定すると、1週間ごとに画面がスクロールします。

つづく

表示モード：

1週間の始まり（左の表示）の曜日を設定します。

- 「ノーマルモード」に設定すると、日曜日になります。
- 「ビジネスモード」に設定すると、月曜日になります。

3 [■] を押す

休日を設定する　休日設定

会社や学校などの休日を設定できます。日付や曜日を指定して設定します。

- 日付を指定して休日を設定する場合は、最大30件登録できます。

例 日付を指定して休日を設定するとき

1 [■]（1秒以上）

2 休日にする日付を選ぶ ▶ [MENU] [6] [2] [1]

設定した日付の色が変わります。

- 毎年繰り返して休日にする：[MENU] [6] [2] [2]

■ **解除する：休日設定を解除する日を選ぶ ▶ [MENU] [6] [2] [3]**

- 全解除する：[MENU] [6] [2] [4]

■ **曜日を指定して休日を設定する：**

① [MENU] [6] [3]

② [1] ～ [7] で休日に設定する曜日を選択

- お買い上げ時は、日曜日が休日に設定されています。
- 日曜日以外の曜日を選択したり、日曜日の選択を解除するとガイド行に「リセット」が表示されます。お買い上げ時の状態に戻すときは [MENU] を押します。

③ [■]

- 曜日が1つも選択されていない状態で登録すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

祝日を設定する　祝日設定

祝日の変更や新規登録（5件まで）ができます。

1 [■]（1秒以上）

2 [MENU] [6] [4]

■ **変更する：祝日を選択 ▶ 操作4に進む**

■ **削除する：祝日を選ぶ ▶ [MENU] ▶「はい」を選択**

- お買い上げ時に設定されている祝日は削除できません。

3 [■]

4 各項目を選択して設定

祝日名：

全角11文字（半角22文字）まで入力できます。

- お買い上げ時に設定されている祝日の祝日名は変更できません。

表示：

設定した祝日を表示するかどうかを選択します。

- 「OFF」を選択すると祝日を表示しません。また、日付は設定できません。

日付：

祝日に設定する日付を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。

- お買い上げ時に設定されている祝日の日付を変更するときは、「カスタマイズ」を選択してから日付を入力してください。

5 [■] を押す

スケジュールを登録する

同じ日に複数のスケジュールを登録できます。

- 最大300件登録できます。

1 [■]（1秒以上）

2 スケジュールを登録する日付を選ぶ ▶ [■]

- デイリービュー画面でも [■] を押します。
- スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、カレンダー画面から日付を選ぶかデイリービュー画面を表示してFOMA端末を開くと、新規作成画面が表示されます。

3 各項目を選択して設定

（用件アイコン）：

アイコンを選択します。

- 選択したアイコンがスケジュールの先頭に表示されます。

その他の便利な機能　スケジュール帳

予定(内容入力欄):

選択した用件アイコンに対応した内容が表示されます。必要に応じて変更します(全角100文字(半角200文字)まで)。

- 内容変更後にアイコンを変更しても、内容は変更されません。

終日:

時間を指定せずに終日のスケジュールとして設定するかどうかを設定します。

- 「ON」に設定すると、デイリービュー画面のスケジュールの日付・時刻表示部分には「終日」と表示されます。長期間スケジュールを終日に設定すると、日付の後ろに「終日」と表示されます。

開始日時:

スケジュールの開始日時を入力します。

- 西暦は下2桁を入力します。月、日が1～9のときは、前に0を付けます。
- 時刻は24時間制で入力します。時、分が0～9のときは、前に0を付けます。
- 2060年12月31日まで設定できます。
- 終日に設定した場合は時刻を設定できません。

終了日時:

スケジュールの終了日時を入力します。

- 日時の入力方法は開始日時と同じです。
- 開始日時よりも後の日付に設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に◣が表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンの下に⇔が表示されます(長期間スケジュール)。

要約・メモ:

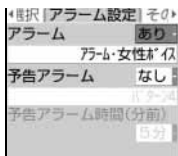
全角300文字(半角600文字)まで入力できます。

4 [⇔]でメンバーリスト選択画面に切り替え

5 「<メンバーリスト選択>」を選択 ▶ 登録するメンバーを選択

- 登録済みの電話帳の中から5名まで登録できます。メンバーリストから、電話をかけたり、メールを送信できます。
- 電話帳の1件目に登録されている電話番号、メールアドレス、URLが登録されます。

■ **削除する:メンバーを選ぶ ▶ [MENU]**

6 [⇔]でアラーム設定画面に切り替え ▶ 各項目を選択して設定

アラーム(スケジュールアラーム):

アラームを鳴らすかどうかを設定します。

- 「あり」を選択したときは、アラーム選択欄から「iモーションを選択」または「メロディを選択」を選択して、アラーム音を動画/iモーションまたはメロディから選択します。アラームに設定できない動画/iモーションは表示されません。
  選択時にメロディ、動画/iモーションを再生して確認するには ☛P114
- 「なし」に設定すると、アラームは鳴りません。

予告アラーム:

スケジュールの開始日時より前にアラームを鳴らすかどうかを設定します。

- アラーム音の選択方法はアラームと同じです。
- 「なし」に設定すると、アラームは鳴りません。また、予告アラーム時間(分前)は設定できません。

予告アラーム時間(分前):

予定の何分前に予告アラームを鳴らすかを設定します。

7 [⇔]でその他の設定画面に切り替え ▶ 各項目を選択して設定

繰り返し:

スケジュールの繰り返し設定を選択します。

- スケジュールの開始年月日を「31日」やうるう年の「2月29日」などに設定し、繰り返し設定を「毎月」または「毎年」を選択した場合など、該当する日が存在しない月、年には、その月、年の月末(「30日」や「2月28日」など)が繰り返し日となります。
- 「なし」に設定すると、一度だけスケジュールアラームが起動します。
- 「曜日指定」を選択したときは「曜日選択」を選択し、アラームを鳴らす曜日を選択して[■]を押します。
- 繰り返しを設定すると、カレンダー画面には、設定した日付の右上に◥が表示されます。ただし、設定した最初の日にのみ用件アイコンが表示されます。また、デイリービュー画面とスケジュール詳細画面の用件アイコンの下に🔄が表示されます(繰り返しスケジュール)。

イメージ：

スケジュールアラーム画面にイメージを表示するかどうかを設定します。

- 「あり」を選択したときは、「画像選択」を選択し画像を選択します。Flash 画像は設定できません。
- 「なし」を設定したときは、お買い上げ時のイメージが表示されます。

8 [📖]を押す

- アラームや予告アラームを設定したスケジュールを登録すると、待受画面に[アイコン]または[アイコン]（アラーム設定も設定しているとき）が表示されます。

待受画面から簡単なキー操作でスケジュールを登録する

1 スケジュールを登録する日時を8桁の数字で入力 ▶ [📖]

（例）5月22日午後3時の場合：「05221500」と入力する

- 当日の時刻を入力するときは、時間2桁、分2桁の4桁を入力します。

2 スケジュールを登録

おしらせ

- スケジュールを知らせる画面は、アラーム設定画面のアラーム・予告アラームで映像のある動画／ｉモーションを選択するか、その他の設定画面のイメージで画像を選択すると変更できますが、両方で設定を行った場合は後からの設定が有効になります。アラームに音声と映像のある動画／ｉモーションを設定している場合に、後からイメージを設定したときはアラーム音が標準のメロディになります。イメージを設定している場合に後から音声と映像のある動画／ｉモーションをアラームに設定したときはイメージが「なし」になります。
- スケジュール帳に登録した内容は、別にメモを取り、保管することをおすすめします。
  パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと付属の USB 接続ケーブルを利用して、パソコンに保管することもできます。

設定日時になると

スケジュールアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。スケジュールアラーム画面には、日時、スケジュールの内容、設定したイメージや動画／ｉモーションが表示されます。電話着信音量調整で設定した音量で鳴ります。また、イルミネーション設定のスケジュールやバイブレータ設定の電話を設定している場合は、その設定に従って動作します。

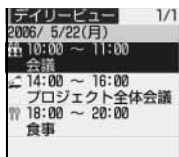
- 予告アラームを設定していると、開始日時の前に予告アラーム音が鳴ります。
- アラーム鳴動中に [☎] を押すとアラーム音が終了し、鳴る前の画面に戻ります。アラーム鳴動中に1分間何も操作しないか、[☎] 以外を押すと、イメージを設定していた場合はディスプレイの表示はそのままで、動画／ｉモーションを設定していた場合は最初のコマが表示されてアラーム音などが止まります。[📋]を押すと上の画面が消えます。設定日時に通話などの動作を行っていた場合は、次のように動作します。
  - ・通話中の場合は、設定したアラーム音ではなく、警告音が鳴り、スケジュールアラーム画面が表示されます。バイブレータは動作しません。通話保留中の場合は保留解除後に動作します。
  - ・電源が入っていない場合は、指定日時になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。鳴らす場合は、アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定してください。
  - ・データ送受信中（パケット通信の送受信中は除く）や電話の発着信・切断中に指定日時になった場合は、上記動作終了後にアラームが動作します。ただし、データ通信でスケジュールデータを受信した場合は動作しません。

おしらせ

- イメージにパラパラマンガを設定している場合は、最初のコマが表示されます。
- 同一日時に複数のスケジュールを設定していると、アラーム音を停止してから、[◁▷]で同一日時に設定していた他のスケジュールの内容を確認できます。
- スケジュールアラームとアラームを同じ時刻に設定していると、最初にアラームを通知する画面が表示された後スヌーズ動作となり、続けてスケジュールアラームが通知されます。スケジュールアラーム画面を終了した後も、アラームのスヌーズ動作は継続されています。
- 終日設定でスケジュールアラームを設定した場合は、設定した日の 0:00 になると、スケジュールアラーム画面が表示され、アラーム音が鳴ります。
- 設定時刻にキャラ電を表示している場合は、アラームの鳴動が数秒遅れる場合があります。
- オールロック中、PIMロック中はスケジュールアラームは動作しません。

登録したスケジュールを確認する

表示したスケジュール画面から、スケジュールの追加や変更、削除ができます。

1 **[■]（1 秒以上）▶ スケジュールの登録日を選択**

デイリービュー画面

- デイリービュー画面では、[◎] で日付が切り替わります。

■ **特定の用件のスケジュールのみ表示する（用件別表示モード）：**

① **[■]（1 秒以上）**

② **[MENU][3][2]**

- 全用件表示にする：[MENU][3][1]
- デイリービュー画面では [MENU][4][2] を押します。全用件表示に戻すには [MENU][4][1] を押します。

③ **用件アイコンを選択**

2 **スケジュールを選択**

スケジュール詳細画面

■ **変更する：**

① **スケジュール詳細画面で [■]**

- スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合、スケジュールの各詳細画面で FOMA 端末を開くと、編集画面が表示されます。
- デイリービュー画面では、スケジュールを選び [MENU][2] を押します。

② **スケジュールの内容を変更 ▶ [■]**

③ **「はい」を選択**

おしらせ

● 表示中のスケジュールの内容に電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To (AV Phone To)・Mail To・Web To 機能を利用できます。

スケジュールをコピー／貼り付けをする

スケジュールをコピーして別の日付のスケジュールとして貼り付けます。

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールをコピーして貼り付けた場合は、設定されていた日数分のスケジュールが貼り付けられます。
- コピーしたスケジュールはスケジュール帳を終了するまで記録され、別の日付に何度でも貼り付けることができます。ただし、記録できるのは 1 件のみで、新たにコピーすると内容は上書きされます。

1 **[■]（1 秒以上）▶ スケジュールの登録日を選択**

2 **スケジュールを選ぶ ▶ [MENU][6][1]**

3 **[CLR]**

4 **スケジュールを貼り付ける日付を選ぶ ▶ [MENU][5]**

- デイリービュー画面では、[MENU][6][2] を押します。

スケジュールからメールを作成する

スケジュールを i モードメールの本文として送信します。

- 操作する画面によって、送信できるスケジュールの件数が異なります。

○：実行可　×：実行不可

送信方法／操作画面	1 件送信	1 日送信／全件送信※ 1
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

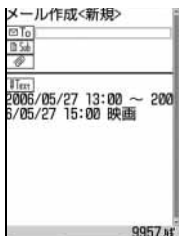
※ 1：登録しているすべてのスケジュール（過去のスケジュールも含む）が送信されます。

- スケジュールはメール本文に Date To 形式で入力されます。☛P335
- メール本文の容量を超えたスケジュールは、超過した分が削除されます。
- 用件別表示モードのときは、表示されている用件だけがメール送信の対象になります。
- シークレット属性が設定されたスケジュールを送信するときは、シークレットモードを設定してください。

例 デイリービュー画面から1件のスケジュールをメール送信するとき

1 [📖]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

- カレンダー画面では [MENU][8][1] を押し「1日送信」または「全件送信」を選択します。
- スケジュール詳細画面では [✉] を押します。

2 スケジュールを選ぶ▶[✉]

- 選択した日に登録されているすべてのスケジュールをメール送信する：[MENU][7][1][2]
- 登録しているすべてのスケジュールをまとめてメール送信する：[MENU][7][1][3]

スケジュールからメールを検索する

スケジュールで選択した日付の送受信メールを検索します。

例 カレンダー画面から受信メールを検索するとき

1 [📖]（1秒以上）▶メールを検索する日を選ぶ

2 [MENU][8][2][1]

- 送信メールを表示する：[MENU][8][2][2]
- デイリービュー画面で受信メールを表示するときは [MENU][7][2][1] を押します。送信メールを表示するときは [MENU][7][2][2] を押します。
- 受信／送信メールの見かた ☞P219
- メール検索を解除する：[MENU][0]

スケジュールを削除する

1件または複数件まとめて削除できます。

○：実行可　×：実行不可

操作画面＼削除方法	1件削除	1日削除／選択日前日まで削除／全件削除
カレンダー画面	×	○
デイリービュー画面	○	○
スケジュール詳細画面	○	×

- 長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールを削除すると、当日だけでなく長期間スケジュールまたは繰り返しスケジュールが含まれるすべての日から削除されます。「選択日前日まで削除」を選択した場合でも、長期間スケジュールが前日にかかっているときには、当日以降にかけてのスケジュールもすべて削除されます。

例 デイリービュー画面からスケジュールを削除するとき

1 [📖]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 [MENU][3]

3 [1]～[3]

- 選択した日を含む長期間スケジュールを登録している場合、「1日削除」または「選択日前日まで削除」を選択すると長期間スケジュールも削除するかどうかの確認画面が表示されます。

■ **全件削除する：[4]▶端末暗証番号を入力**

- シークレットモードを設定していない状態で削除しても、シークレット属性のスケジュールは削除されません。

4「はい」を選択

おしらせ

- カレンダー画面では [MENU] を押し、「削除」→「1日削除」「選択日前日まで削除」「全件削除」を選択します。
- スケジュール詳細画面では [MENU] を押し、「削除」を選択します。

メンバーリストを利用する

スケジュールに登録しているメンバーリストを選択して、電話をかけたり、iモードメールを作成したりします。また、メンバーリストの電話帳データに登録しているURLからサイトを表示します。

1 [📖]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択

2 **スケジュールを選択▶[⇔]でメンバーリスト一覧画面を表示**

- シークレット属性を設定しているメンバーは、シークレットモードを設定していないと名前と詳細情報が「＊」で表示されます。また、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、すべてのメンバーの名前と詳細情報が「＊」で表示されます。

3 **電話帳データを利用**

■ **音声電話／テレビ電話をかける：メンバーを選ぶ▶音声電話のときは[発信]、テレビ電話のときは[テレビ電話]**
表示されている電話番号に音声電話／テレビ電話がかかります。
- 条件を設定して電話をかけられます。☞P56

■ **iモードメールを作成する：メンバーを選ぶ▶[メール]**
選択したメンバーのメールアドレスが宛先に設定され、スケジュールはDate To形式で本文に入力されます。
- メンバー全員にiモードメールを送信するときは[MENU][5][2]を押します。

■ **サイトを表示する：メンバーを選ぶ▶[MENU][6]**

おしらせ

● 電話帳データに登録している2件目以降の電話番号やメールアドレスを利用するときは、メンバーリスト一覧画面からメンバーを選択して電話帳の詳細（電話／メール）画面を表示します。利用する電話番号またはメールアドレスを選んで電話をかけたり、iモードメールを作成したりできます。ただし、電話帳の詳細画面からiモードメールを作成すると、スケジュールは本文に入力されずDate To機能は使用できません。

● メンバーリスト一覧画面で[■]を押すか、スライド編集設定でスケジュールを「ON」に設定している場合にFOMA端末を開くと、メンバーリスト選択画面が表示され、メンバーを登録、削除できます。

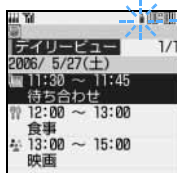
他人に見られたくないスケジュールを守る
シークレット属性

シークレット属性を設定すると、シークレットモード中しか表示されません。

- シークレットモードを設定していないときは、シークレット属性の設定／解除はできません。

1 **シークレットモードを設定**

2 **待受画面で[■]（1秒以上）▶スケジュールの登録日を選択**

3 **スケジュールを選ぶ▶[MENU][9]**

選択しているスケジュールにシークレット属性が設定されているときは[■]が点滅

- 解除する：シークレット属性が設定されているスケジュールを選ぶ▶[MENU][9]
- スケジュール詳細画面で設定／解除する場合は、[MENU][6]を押します。

おしらせ

● シークレット属性が設定されているスケジュールのスケジュールアラーム、予告アラームは、シークレットモードを設定しないと表示されません。

● シークレットモード中に作成されたスケジュールは、自動的にシークレット属性が設定されます。

スケジュールの登録件数を確認する
登録件数確認

1 **[■]（1秒以上）▶[MENU][7]**
- [■]を押すとカレンダー画面に戻ります。

おしらせ

● 登録件数は、シークレット属性が設定されている件数を含みます。

よく使う機能を登録する
カスタムメニュー

お買い上げ時に[MENU]を押して表示されるノーマルメニューの他に、よく使う機能や頻繁に連絡をとる相手の電話帳データを登録して、自分だけのオリジナルのメニュー（カスタムメニュー）を作ると、機能を手早く実行したり、簡単に電話をかけたりできます。

テンプレートを読み込む

テンプレートを読み込んでからメニュー項目を追加・削除して、オリジナルのカスタムメニューの作成もできます。

- あらかじめ4種類のテンプレートが用意されています。
- テンプレートを読み込むと、カスタムメニューの登録内容はすべて上書きされます。

お買い上げ時 スタンダード

1 MENU 📖

- メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

2 MENU 7 1 ▶ 1 ～ 4

スタンダード：
アラーム、電卓、サウンドレコーダー、着信表示設定、イルミネーション設定、着信中オープン応答、スライド編集設定、暗証番号変更、発信者番号通知設定

データ／セキュリティ：
ミュージック、モバHO!、マイピクチャ、iモーション、プライバシーモード設定、オールロック、PIMロック、遠隔ロック

ユーザデータ：
Bookmark、画面メモ、電話帳検索、電話帳登録、スケジュール帳、アラーム、メモ帳、単語登録、定型文登録

メール：
新規メール、チャットメール、メールグループ、テンプレート読込み、受信メール

3 端末暗証番号を入力

テンプレートが読み込まれ、カスタムメニューに設定されます。

- 既にカスタムメニューを設定しているときは、新しいカスタムメニューにするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択してください。

カスタムメニューを作成する

テンプレートを利用してカスタムメニューを作成します。

- カスタムメニューの1つの階層には最大9個のアイコンが登録できます。

1 テンプレートのサンプルを読み込む

- すべての項目を新規に登録する場合は、全件削除します。☛P330

2 項目を登録

- テンプレートのうち、スタンダード、ユーザデータには既に9個のアイコンが登録されています。これらのテンプレートを読み込んだ場合は、不要なメニュー項目に上書き登録します。

■ **人物を登録する：**

- Flash画像、動画／iモーションを設定している電話帳データをカスタムメニューに登録すると、Flash画像、動画／iモーションではなく、あらかじめ登録されているアイコンがメニュー画面に表示されます。

① MENU 1 1
② **登録する人物を選択**

■ **機能を登録する：**
① MENU 1 2

- 機能選択の画面は、メニュー設定のノーマルの表示形式で表示されます（画面はタイルアイコン表示の場合です）。ただし、ノーマルを「アニメーション」に設定しているときは、リスト表示になります。

② **登録するメニュー項目を選ぶ** ▶ 📖

「スライド編集設定」を登録した場合

- 下位の階層がないメニュー項目を登録するときは、項目番号に対応するキーを押すか、項目を選択すると登録できます。

その他の便利な機能　カスタムメニュー

■ グループを登録する：
電話帳データや機能を目的に合わせてグループ分けするためのグループフォルダを作成します。
① MENU 1 3 ▶ グループ名を入力（全角9文字（半角18文字）まで）
② 📖

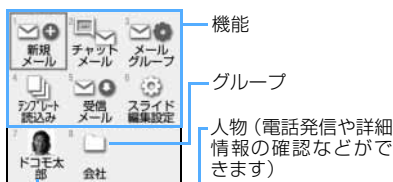
■ グループ内に登録する：
3階層目を表示しているときは、機能または人物だけが登録できます。
① グループを選択
グループ内の項目が表示されます。
• 項目を登録していないグループを選択したときは項目選択画面が表示されます。2階層目を表示しているときは、グループを登録できません。
② 追加登録または上書き登録

■ 登録済みの項目に上書き登録する：
① 上書きする項目を選ぶ ▶ MENU 2
② 1 ～ 3 ▶ 登録する項目を選択
• グループに上書きするときは、1 ～ 3 を押した後に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、グループ内の項目はすべて削除されます。

カスタムメニューを利用する

カスタムメニューに登録されている機能を実行したり、人物に電話をかけたりできます。
• メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

1 MENU 📖

2 項目を選択

• グループ内の機能や人物を選択する：グループを選択 ▶ グループ内の機能や人物を選択

■ 機能を実行する：機能を選択
• 下位の階層がある場合は、メニュー項目が表示されます。

■ 電話をかける：人物を選ぶ ▶ 音声電話をかけるときは 📞、テレビ電話をかけるときは 📺
• 電話番号を2件以上登録している場合は、電話番号を選択します。
• 人物を選択して、1 を押すと、条件を設定して電話をかけられます。☛P56
電話番号を2件以上登録している場合は、人物を選択して 1 を押し、利用する電話番号を選択すると、同様に操作できます。

■ ｉモードメールを作成する：人物を選ぶ ▶ ✉
• メールアドレスを2件以上登録しているときは、メールアドレスを選び ✉ または 📥 を押します。未登録のときは、宛先は空欄になります。

■ SMSを作成する：人物を選ぶ ▶ ✉（1秒以上）
• 電話番号を2件以上登録しているときは、電話番号を選び ✉ または 📥 を押します。未登録のときは、宛先は空欄になります。

登録されている機能をすばやく実行するには

カスタムメニューに登録した機能は、待受画面で対応するダイヤルキー（1 ～ 9）を1秒以上押して起動できます。ただし、メニュー項目が人物やグループのときや2階層目以降にメニューがある機能のときは起動できません。

おしらせ

● カスタムメニュー表示中もショートカット操作ができます。ショートカット操作は、メニュー設定のカスタムメニューショートカットの設定に従います。
● PIMロック中、プライバシーモード中（電話帳・履歴を「認証後に表示」に設定した場合）は、人物の選択はできません。アイコンが🔒に変わり、人物名は「＊＊＊」で表示されます。
● シークレット属性とPIMロックの両方を設定している場合は、PIMロック中のアイコン表示と動作になります。
● シークレット属性を設定した電話帳データの人物は、シークレットモードを設定していないと人物名が「＊＊＊」で表示されます。アイコンは🔒になります。

カスタムメニューを編集する

カスタムメニューに表示される項目の表示順やアイコンの変更、グループ名の変更や項目の削除を行います。

1 MENU 📖
• メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

2 項目を選ぶ ▶ それぞれの操作を行う
• グループ内の項目を編集する：グループを選択 ▶ それぞれの操作を行う

つづく

■ 項目を入れ替える：MENU 4 ▶ 入れ替え先の項目を選択 ▶「はい」を選択

■ アイコンを変更する：MENU 5 ▶ アイコンを選択

• アイコンを元に戻す：MENU 5 ▶ 📖

■ グループ名を変更する：MENU 6 ▶ グループ名を入力 ▶ 📖

■ 項目を削除する：MENU 3 ▶「はい」を選択

• グループを削除するとグループ内の項目も削除されます。

カスタムメニューを全件削除する

カスタムメニューのメニュー項目をすべて削除します。カスタムメニューを新規に作成する際に行います。

1 MENU 📖

• メニュー設定の起動メニューを「カスタム」に設定しているときは、待受画面で MENU を押します。

2 MENU 7 2 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」を選択

• ⬇ を押すと、項目選択画面が表示されます。

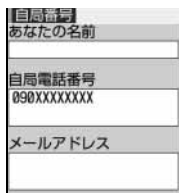
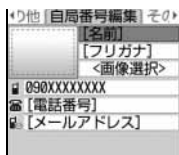
Menu 47

自分の名前やメールアドレスなどを登録する　自局番号

お買い上げ時　自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録

1 MENU 0

• 自局電話番号には、FOMA端末に挿入しているFOMAカードの電話番号が表示されます。

2 📖

3 端末暗証番号を入力 ▶ 名前やメールアドレスなどを設定

• 各項目の設定方法は、「FOMA端末電話帳に登録する」の操作3～4と同じです。☛P96ただし、グループは設定できません。

• 既に設定している項目は、その内容が表示されます。

• 1件目の電話番号には、ご契約の電話番号（自局電話番号）が表示されます。変更はできません。

4 ⟷ でその他画面に切り替え ▶ 各項目を選択して設定

• 各項目の設定方法は、「FOMA端末電話帳に登録する」の操作5と同じです。☛P97

• 初期登録時はいずれも設定されていません。

• 既に設定している項目は、その内容が表示されます。

5 📖 を押す

おしらせ

● 自局番号のメールアドレスを変更しても、iモードのメールアドレスは変更されません。また、iモードのメールアドレスを変更しても、自局番号のメールアドレスは変更されません。iモードのメールアドレスを確認・変更する方法については、『iモード操作ガイド』をご覧ください。

● 自局電話番号はFOMAカードに登録されています。それ以外の項目は、FOMA端末に登録されます。

自局番号の詳細を表示する

1 MENU 0

2 ⬇ ▶ 端末暗証番号を入力

• ⬚ を押すたびに、詳細（TOP）画面→詳細（メール）画面→詳細（その他）画面→詳細（電話）画面の順に切り替わります。⬚ を押すと逆の順に切り替わります。

• 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。すべての内容を表示するには、詳細（TOP）画面では 📖 を押します。詳細（メール）画面、詳細（その他）画面、詳細（電話）画面では、表示する内容を選び 📖 を押します。

• 自局番号の詳細画面では、電話帳の詳細画面と同様に次の操作ができます。

・メール／URL起動 ☛P101
・電話（自局電話番号への発信を除く）☛P56
・コピー ☛P106
・メールアドレス入替え ☛P107
・発番号設定 ☛P108
・テレビ電話設定 ☛P109

■ 登録内容を編集する：MENU 2 ▶ 登録内容を編集

■ 登録内容をリセットする：MENU 3 ▶「はい」を選択

声や画像を録音／録画する

音声メモ／動画メモ

待受中に自分の声をメモ代わりに録音したり（待受中音声メモ）、音声電話やテレビ電話で通話中に相手の声や画像を録音／録画したりします（通話中音声メモ／動画メモ）。

- 通話中音声メモと待受中音声メモは、1 件につき最大 30 秒、合わせて 4 件録音できます。
- 動画メモは、1 件につき最大 30 秒録画できます。
- 電波の状態により、通話中音声メモ／動画メモの録音内容が途切れたり、録画画像が乱れることがあります。
- 圏外通知や番号変更案内などのガイダンスは録音できません。

通話中に相手の声や画像を録音／録画する

音声電話通話中は相手の声だけが録音されます。テレビ電話通話中は相手の画像も録画されます。

1 通話中に ♫（1 秒以上）

録音／録画が開始されます。

録音／録画可能時間の目安

音声電話通話中
音声メモ

テレビ電話通話中
動画メモ

- 動画メモ録画中は、「Recording 録画中」と表示された映像が相手に送信されます。
- 動画メモ録画中に ⏏ を押すと、録画可能時間の目安と通話時間表示が切り替わります。
- 残り約５秒になると、終了予告音（ピピッ）が鳴ります。終了時には「ピーッ」と音が鳴ります（開始時には鳴りません）。ただし、終了予告音や終了音は録音されません。
- 録音／録画を途中で停止する：♫（1 秒以上）
- 動画メモは ｉ モーションの「カメラ」フォルダに保存されます。
  動画／ ｉ モーションの再生方法☛P292

Menu 463

待受中に自分の声を録音する

1 ♫ 3

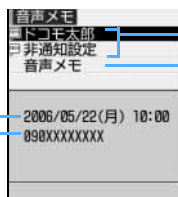
約3秒後に「ピーッ」と音が鳴り、録音が開始されます。

- 残り約５秒になると、録音終了予告音（ピピッ）が鳴ります。録音終了時には「ピーッ」と音が鳴ります。ただし、録音終了音は録音されません。
- 録音を途中で停止する：⏏、☎、CLR のいずれか

Menu 464

音声メモを再生する

1 ♫ 4

音声メモ一覧には、通話中音声メモと待受中音声メモの両方が表示されます。

通話中音声メモ
- 電話番号、名前（相手の電話番号が電話帳に登録されている場合）または発信者番号非通知理由

待受中音声メモ

相手の電話番号（待受中音声メモの場合、「音声メモ」と表示されます）

録音日時（日付・時刻が設定されていない場合は記録されません）

2 音声メモを選択

時間経過の目安

音声メモが再生されます。

- 再生を停止する：⏏
- 音量を調整する：⇕
- スピーカーホン機能ON/OFFの切り替え：((·))

3 再生した音声メモを削除するかどうかを選択

■ 音声メモ一覧から音声メモを削除する：音声メモを選ぶ ▶ MENU 2 1 ▶「はい」を選択
- 全件削除する：MENU 2 2 ▶「はい」を選択

■ 音声メモ一覧から電話番号を電話帳に登録する：
① 通話中音声メモを選ぶ ▶ MENU 4
- 登録済みの電話帳データに追加する：MENU 5

② 1 〜 2 ▶ 名前やメールアドレスなどを登録 ☛P95、P98

・登録済みの電話帳データに追加する：
1～2▶登録先の電話帳データを選択登録内容を修正☛P105

おしらせ

● 音声メモ／動画メモの内容は、別にメモを取るなどして保管してください。FOMA端末の故障・修理・電話機の変更やその他の取り扱いによって、録音／録画内容が消失してしまう場合もあります。万一、録音／録画内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● 通話中音声メモの場合、音声メモ一覧で相手を選びを押すと音声電話、を押すとテレビ電話をかけられます。また、サブメニューの「電話」から条件を設定して電話をかけられます。☛P56
● 通話中音声メモ／動画メモを録音／録画しているときにFOMA端末を閉じた場合の動作は☛P62

通話時間・料金を確認する

通話時間／通話料金

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

・通話時間は、音声電話通話時間とテレビ電話通話時間、64Kデータ通信時間が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
・通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0 YEN」または「****** YEN」と表示されます。
・通話料金はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金が表示されます（2004年12月から積算開始）。
　・901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードには蓄積されていますが、表示することはできません。
・表示される通話時間および通話料金は、リセットすることができます。
・表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の通話時間／通話料金とは異なる場合があります。また、通話料金に消費税は含まれておりません。

通話時間を確認する

1 MENU 8 4 1

・以前に通話時間を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話時間が表示されます。

直前通話時間：
直前に発着信した音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信時間
積算通話時間（音声）：
音声電話で通話した積算時間
積算通話時間（テレビ電話）：
テレビ電話で通話した積算時間
積算通話時間（データ）：
データ通信を行った積算時間

■ **積算通話時間をリセットする：**
①▶端末暗証番号を入力
②1～4▶「はい」を選択
・通話時間画面に戻す：

通話料金を確認する

1 MENU 8 4 4 1

・以前に通話料金を積算リセットした場合は、その時点からの積算通話料金が表示されます。

直前通話料金（音声）：
直前にかけた音声電話の通話料金
直前通話料金（テレビ電話）：
直前にかけたテレビ電話の通話料金
直前通話料金（データ）：
直前に行ったデータ通信の通信料金
積算通話料金：
音声電話、テレビ電話、データ通信の通話・通信料金の積算料金
前回リセット日時：
前回積算リセットした日時

■ **積算通話料金をリセットする：▶PIN2コードを入力▶「はい」を選択**

おしらせ

● 直前通話料金の情報がない場合は、「****** YEN」と表示されます。
● 通話中に音声電話とテレビ電話を切り替えた場合の直前通話料金は、通話内のそれぞれの合計金額が表示されます。ただし、切り替え中は、料金は加算されません。
● 直前および積算の音声電話通話時間やテレビ電話通話時間、データ通信時間が9999時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントされます。
● FOMA端末の電源を切ると、直前通話時間は保持されますが、直前通話料金は「****** YEN」と表示されます。
● 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。
● iモード通信やパケット通信の通信時間や通信料金はカウントされません。iモード利用料などの確認方法については、iモードご契約時にお渡しする『iモード操作ガイド』をご覧ください。

通話料金を自動でリセットする
通話料金自動リセット設定

毎月1日の0時に積算通話料金を自動リセットします。

お買い上げ時 OFF

1 MENU 8 4 4 4

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 1**

- 解除する：2

3 **PIN 2コードを入力**

おしらせ

- 「ON」に設定しても、設定時と異なるFOMAカードに差し替えて電源を入れると設定は解除されます。設定時のFOMAカードを差し込んでも設定は元の状態に戻りません。
- 「ON」に設定しているときは、日付時刻設定で、翌月以降へ日付時刻が変更されたときもリセットされます。
- 「ON」に設定し、1日の0時になったときに電源が入っていない場合や通話中の場合は、電源を入れたときや通話終了後にリセットされます。

通話料金の上限を設定して知らせる
通話料金上限通知

通話料金の上限金額を設定し、積算通話料金が設定金額を超えると、アラームやアイコンで通知します。

- 通話料金通知はあくまで目安であり、実際の通話料金とは異なる場合があります。

お買い上げ時 OFF

1 MENU 8 4 4 2

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 各項目を選択して設定**

通話料金上限通知：
上限金額を超えたときに通知するかどうかを設定します。
- 「OFF」に設定すると以下の項目は設定できません。

料金上限（円）：
料金の上限値を設定します（10円単位で10～100000円）。

通知方法：
アラームとアイコンで通知するか、アイコンのみで通知するかを設定します。

アラーム音：
通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラーム音をメロディから選択します。
- 選択時にメロディを再生して確認するには ☛P114

アラーム時間（秒）：
通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定したときに、アラームを鳴らす時間を設定します（1～60秒）。

3 **📖 を押す**

おしらせ

- 通話中または通信中に設定した料金の上限を超えると、ディスプレイ上部に ¥ が表示されます。
- 通知方法を「アラーム＋アイコン表示」に設定しているときは、通話または通信終了後、待受画面に戻るとアラームが鳴り、通話料金が上限を超えた旨のメッセージが表示されます。ただし、通常マナーモード中は、メッセージは表示されますが、アラームは鳴りません。オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモード設定の電話着信音量に従って鳴ります。また、次の場合は、アラームは鳴らず、メッセージも表示されません。
  - 公共モード（ドライブモード）中
  - 通話料金自動リセット設定を「ON」に設定しているときに、1日0時に通話料金の上限を超える通話や通信を行った場合
- アラームは、電話着信音量調整で設定した音量で鳴ります。
- アラームが鳴っているときにキー操作を行ったり、他の機能が起動するとアラームは止まります。また、プロテクトキーロックの一時解除中は、FOMA端末を閉じても止まります。
- 通話料金上限通知を「ON」に設定後に異なるFOMAカードに差し替えた場合でも設定は保持されます。

上限通知アイコンを消去する
上限通知アイコン消去

1 **MENU 8 4 4 3 ▶ 端末暗証番号を入力 ▶「はい」を選択**

電卓として使う

電卓

FOMA端末で四則演算（+、−、×、÷）ができます。
- 最大8桁入力できます。
- スケジュールやメモ帳の入力欄から電卓を利用し、その結果を元の画面の入力欄に貼り付けることができます。☛P358

1 MENU 6 8

2 計算を行う

ダイヤルキー（0 〜 9）と ◎（+、−、×、÷）を使って計算します。

- 入力した数字を1桁削除する：✉
- 小数点を入力する：＊
- 表示中の数字の+と−を切り替える：#

3 ◻ を押す

計算結果が表示されます。
- CLR を押すと計算結果が削除されます。

おしらせ

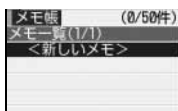
- 計算結果の整数部分が8桁を超えたり、0で除算するとエラーとなり、「E」と表示されます。解除するには CLR を押します。小数点を含む数値が8桁を超える場合は、表示に収まらない小数部分が四捨五入されます。
- 表示されている数値をコピーするには MENU 1 を押します。コピーした数値を貼り付けるには MENU 2 を押します。
  - 記録できるのは1件のみで、新たにコピーすると数値は上書きされます。コピーした数値は電源を切るまで記録されます。
  - コピーした数値は、メモやメール作成画面などの入力欄に何度でも貼り付けることができます。またメモやメール作成画面などの入力欄から最大上位8桁の半角数字をコピーして、電卓画面に貼り付けられます。
  - 電卓に貼り付けた数値に続けて数字を入力することはできません。

メモを作成する

メモ帳

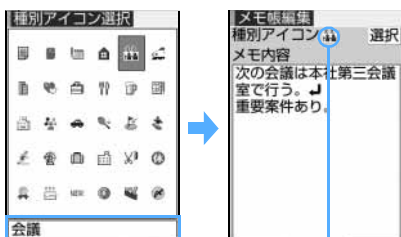
- 最大50件登録できます。

1 MENU 6 6

2 「<新しいメモ>」を選択

- スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、「<新しいメモ>」を選んでFOMA端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

3 メモ内容欄にメモ内容を入力（全角300文字（半角600文字）まで）

■ **電卓で計算した数値を入力する：文字入力画面で MENU 8 2 ▶ 計算を行う ▶ ◻**

4 種別アイコン欄の「選択」を選択 ▶ アイコンを選択

5 ◻ を押す

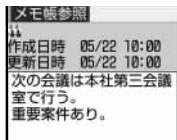
- メモ内容が入力されていないときは登録できません。

おしらせ

- メモ帳に登録した内容は、別にメモを取るなどして保管してください。パソコンをお持ちの場合は、データリンクソフトと付属のUSB接続ケーブルを利用して、パソコンに保管することもできます。

メモを確認する

1 MENU 6 6

2 メモを選択

メモ帳参照
作成日時 05/22 10:00
更新日時 05/22 10:00
次の会議は本社第三会議室で行う。
重要案件あり。

- 電話番号・メールアドレス・URL が含まれている場合は、Phone To(AV Phone To)･Mail To･Web To 機能を利用できます。
- [📖] を押すと、メモを編集できます。
- メモを作成した日時が作成日時に、メモを編集した日時が更新日時に自動的に登録されます。
- スライド編集設定でメモ帳を「ON」に設定している場合、FOMA 端末を開くと、メモ帳編集画面が表示されます。

■ **メモを削除する：MENU 1 ▶「はい」を選択**

■ **メモからメールを作成する：MENU 2**

おしらせ

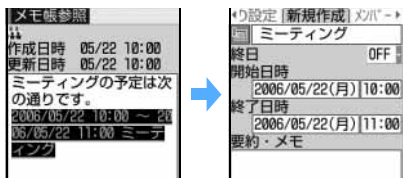
● メモ一覧画面からメモを 1 件削除する場合は、削除するメモを選び MENU を押し、「削除」を選択します。全件削除する場合は、MENU を押し、「全件削除」を選択し、端末暗証番号を入力します。

● メモ一覧画面からメールを作成する場合は、メールの本文にするメモを選び MENU を押し、「メール作成」を選択します。

メモからスケジュールを登録する
Date To 機能

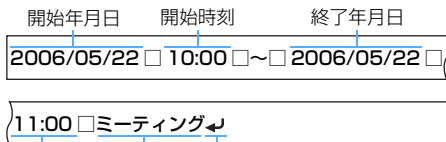
メールの本文に Date To 形式の記述が含まれている場合は、本文をメモ帳にコピーしてスケジュールへ登録できます。

1 MENU 6 6 ▶**Date To 形式で記述してあるメモを選択**

2 Date To形式の記述を選択▶スケジュールを登録

Date To 形式

Date To はメモ内容に次の形式の文字列があるときに有効です。項目はすべて必須です。

開始年月日　開始時刻　終了年月日

2006/05/22□10:00□～□2006/05/22□11:00□ミーティング↵

終了時刻　内容　改行までが内容とみなされます。

- □は半角の空白を示します。画面には表示されません。
- 年月日と時刻は半角文字で入力してください。
- 開始年月日、開始時刻、～（全角）、終了年月日、終了時刻、内容の間は半角の空白で区切ります。
- 内容は全角 100 文字（半角 200 文字）まで入力できます。最大文字数を超えた文字は削除されます。
- 年は西暦、時刻は 24 時間制です。月や日が 1 ～ 9 のときや、時や分が 0 ～ 9 のときは前の 0 は省略できます。

付属のマイク付リモコンを使って電話をかける／受ける

- 付属のマイク付リモコンを FOMA 端末に接続した状態でご使用ください。☛P29
- 付属のマイク付リモコンの [スイッチ] を押してもテレビ電話はかけられません。
- イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。
- 付属のマイク付リモコンの代わりに平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）などでも操作できます。平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチが、付属のマイク付リモコンの [スイッチ] にあたります。同じ操作で電話をかけたり、受けたりできます。
- 付属のマイク付リモコンのホールドキーをスライドして、誤操作を防止しても、[スイッチ] の操作は無効にはなりません。
- モバ HO! を聴取したり、音楽データを再生したり、FMラジオを聴くこともできます。☛P261、P271、P274

付属のマイク付リモコンを使って電話をかける

電話番号をイヤホンスイッチ設定で設定した電話帳のメモリ番号に登録しておくと、付属のマイク付リモコンの [発信] を押すだけで音声電話をかけられます。

- 付属のマイク付リモコンで電話をかけるときは、イヤホンスイッチ設定を「ON」に設定する必要があります。

1 「ピピッ」と音がするまで、[発信] を 1 秒以上押す

イヤホンスイッチ設定で設定したメモリ番号の1 件目に登録されている電話番号に音声電話がかかります。

- 複数の電話番号が登録されている場合は、1 件目に登録されている電話番号に電話がかかります。

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまで [発信] を 1 秒以上押す

おしらせ

- イヤホンスイッチ設定で設定したメモリ番号にシークレット属性を設定した場合は、シークレットモードに設定してから、操作してください。
- キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合でも、通話中に第三者の電話番号を入力し、[発信] を押しても電話はかけられません。[発信] を押すと、通話が終了しますのでご注意ください。
- 赤外線通信中は、[発信] を押しても電話をかけられません。

付属のマイク付リモコンを使って電話を受ける

1 電話がかかってきたら、「ピピッ」と音がするまで [発信] を 1 秒以上押す

- 着信音はイヤホン切替設定で設定したところから聞こえます。

2 通話が終わったら、「ピッ」と音がするまで [発信] を 1 秒以上押す

おしらせ

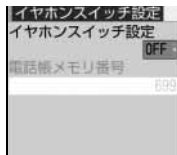
- テレビ電話を受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定した代替画像が送信されます。
- 付属のマイク付リモコンを接続して通話中にFOMA 端末を閉じた場合の動作は ☞P62
- キャッチホンをご契約でサービスを開始に設定している場合は、通話中にかかってきた音声電話に、[発信] を1 秒以上押して出られます。

付属のマイク付リモコンをつないで電話をかけるときの相手を選ぶ　イヤホンスイッチ設定

付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続して電話をかけるときの相手を電話帳のメモリ番号で設定します。

お買い上げ時　OFF

1 [MENU] [8] [6] [6] [3]

2 イヤホンスイッチ設定欄を選択 ▶ [1]

- 解除する：[2] ▶ 操作 5 に進む

3 電話帳メモリ番号欄を選択

4 相手を選択 ▶ [選択]

5 [完了] を押す

おしらせ

- 本機能で設定しているメモリ番号の電話帳データを削除したり、メモリ番号の入れ替えや他の電話帳データで上書きしたりすると、本機能は解除されます。

付属のマイク付リモコンをつないで自動で電話を受ける　オート着信機能設定

付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているとき、かかってきた電話を自動的に受けるかどうかを設定します。
音声電話やテレビ電話を自動的に受けると、接続したイヤホンマイクなどから音声が聞こえます。

- 通話中の着信は、本機能が設定されていても動作しません。
- 公共モード（ドライブモード）中は、本機能は動作しません。

お買い上げ時　OFF

1 [MENU] [8] [6] [6] [2]

2 自動着信機能欄を選択 ▶ [1]

- 解除する：[2] ▶ 操作 4 に進む

3 自動着信機能時間（秒）欄を選択 ▶ 自動着信するまでの時間を入力(0～120秒)

4 [本] を押す

おしらせ

● テレビ電話をオート着信で受けた場合、テレビ電話画像選択の代替画像設定で設定した代替画像を送信し、自動的にテレビ電話を開始します。
● 本機能と伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスを同時に設定している場合、設定した呼出時間により、優先順位が異なります。
● 自動着信機能時間が呼出動作開始時間設定の時間以内の場合には、オート着信機能は動作しません。
● オーディオ機能起動中に電話を受けると、モバHO!機能は停止、ミュージックプレイヤーは再生が一時停止、FMラジオは受信が停止されます。

アンテナ内蔵ヘッドホンからのみ着信音を鳴らす　イヤホン切替設定

付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をアンテナ内蔵ヘッドホンやイヤホンからのみ鳴らすように設定します。

お買い上げ時　イヤホン+スピーカー

1 [MENU] [8] [6] [6] [1]

2 [2] を押す

- イヤホンとスピーカーの両方から着信音を鳴らす：[1]

おしらせ

● 付属のマイク付リモコンや平型スイッチ付イヤホンマイクなどが接続されていないときは、本設定に関わらず、スピーカーから鳴ります。
●「イヤホンのみ」に設定した場合でも、着信音の開始から約20秒経過しても電話に出ないと、スピーカーからも着信音が鳴ります。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた　スイッチ付イヤホンマイク

イヤホンマイク端子に別売りの平型スイッチ付イヤホンマイク（平型ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押すだけで電話をかけたり受けたりできます。使いかたは付属のマイク付リモコンと同じです。☛P335

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのスイッチを押してもテレビ電話はかけられません。
- イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、従来のイヤホンマイクを使うことができます。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクなどをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開け、平型スイッチ付イヤホンマイクなどの接続プラグを差し込んでください。☛P27

- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをFOMA 端末に巻き付けないでください。電波の受信レベルが低下する場合があります。
- 平型スイッチ付イヤホンマイクなどのコードをアンテナ部に近づけると、ノイズが入ることがあります。
- プラグは確実に差し込んでください。途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。

利用する通信事業者を設定する　NW 検索方法

FOMA サービスを提供する通信事業者を設定します。自動検索で設定するか手動設定するかを選択できます。手動選択にするときは、通信事業者を指定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

お買い上げ時　ネットワーク自動検索

1 [MENU] [8] [8] [5]

2 各項目を選択して設定

検索方法：
ネットワークの検索方法を設定します。
- 「ネットワーク自動検索」に設定したときは、手動選択は設定できません。

手動選択：
通信事業者を設定します。
- ドコモ以外の通信業者は選択できません（2006 年 2 月現在）。

3 [本] を押す

電源を入れたときの起動時間を短縮する　クイック起動設定

お買い上げ時　OFF

1 MENU 8 8 7

2 1 を押す
- 解除する：2

おしらせ

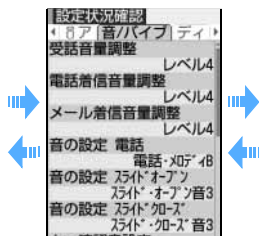
●「ON」に設定していても、次の場合は通常の起動時間がかかります。
- 電池残量が 2 以下のとき
- 電池パックを取り付け直したとき
- 電源を切ってから 24 時間が経過したとき

また、待受画面以外で電源を切ったときや、電源を入れた直後の ▦ が表示されている間に電源を切ったときも、通常の起動時間がかかる場合があります。

各種機能の設定状況を確認する　設定状況確認

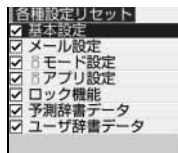
- PIM ロック中は、ロックされている項目の設定状況が「---」で表示されます。

1 MENU 8 4 2

2 ✥ で各種設定状況を確認

各種機能の設定をリセットする　各種設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- 設定リセットを行ったときにお買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください（☛P364）。「メニュー一覧」に記載されていない機能で、お買い上げ時の状態に戻る機能やデータは次のとおりです。
  - ・基本設定を選択したとき：
    - ・メニュー設定のノーマル、タイルアイコンデザイン、アニメーションデザイン
    - ・マナーモード
    - ・公共モード（ドライブモード）
    - ・上限通知アイコン
    - ・記号・絵文字の履歴
  - ・予測辞書データを選択したとき：
    - ・入力予測機能で登録されたデータ
  - ・ユーザ辞書データを選択したとき：
    - ・単語登録で登録したデータ

1 MENU 8 4 5

2 端末暗証番号を入力 ▶ 項目を選択

3 📖 ▶「はい」を選択

おしらせ

●ｉモード設定をリセットした場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で CLR を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。

登録データを一括して削除する

データ一括削除

登録されているデータを削除し、各種機能の設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- 保護したデータも削除されます。
- データ一括削除を行うときは、電池をフル充電しておいてください。電池残量が不十分の場合は、データ一括削除できないことがあります。
- お買い上げ時に登録されている次のデータは削除されます。
  - ・ｉアプリ　・キャラ電
  - ・データ BOX 内のマイピクチャの「デコメールピクチャ」と「アイテム」フォルダ内の画像
- 保存・登録した次のデータは削除されます。
  - ・メールテンプレート　・メールグループ
  - ・ブックマーク　・URL 入力
  - ・URL 履歴　・画面メモ
  - ・ラスト URL
  - ・ｉチャネル（受信した情報）
  - ・ｉアプリ　・ｉアプリの履歴表示
  - ・電話帳データ　・着信履歴
  - ・リダイヤル　・音声メモ
  - ・マイピクチャ（「プリインストール」を除く）
  - ・ｉモーション（「プリインストール」を除く）
  - ・メロディ（「プリインストール」と「メール添付メロディ」を除く）
  - ・キャラ電　・メモ帳
  - ・アラーム　・通話時間
  - ・単語・定型文　・USSD 登録
  - ・応答メッセージ登録
  - ・自局番号（自局電話番号以外）
  - ・作成したフォルダ・アルバム
  - ・ソフトウェア更新（予約更新）
  - ・メッセージ R/F　・ｉモードメール
  - ・チャットメール（チャットメンバー設定、個人情報設定含む）
  - ・SMS
  - ・伝言メモ（録音した応答ガイダンス含む）
  - ・スケジュール（登録・変更した祝日を含む）
- 各種設定リセットの対象となる機能※1と次の機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
  - ・メール振り分け設定　・伝言メモ設定
  - ・モバ HO!
  - ・ミュージックプレイヤー　・FM ラジオ
  - ・カメラ　・ビデオカメラ
  - ・サウンドレコーダー　・端末暗証番号
  - ・プライバシーモード設定　・日付時刻設定
  - ・テレビ電話使用機器設定
  - ・通話中着信動作選択　・メニュー設定
  - ・変更したフォルダ名　・カスタムメニュー
  - ・ブックマークのツータッチサイト登録
  - ・ｉアプリ（ソフト一覧から設定する機能）
  - ・電話帳検索
  - ・マイピクチャ・ｉモーション・メロディ・キャラ電の各動作設定
  - ・赤外線通信のデータ送受信設定

※1：送達通知を除くSMS設定とCA証明書1～9を除く証明書表示／使用設定は戻りません。

1 MENU 8 4 6 ▶**端末暗証番号を入力▶「はい」を選択**

再起動中にデータ一括削除されます。

おしらせ

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - FOMAカードに保存･登録･設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
  - パソコンから転送した音楽データ
  - モバ HO! を録音したデータ
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかるときがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。
- データ一括削除を行った場合、待受画面にｉチャネルの情報はテロップ表示されなくなります。その後、情報が自動更新されるか、待受画面で CLR を押してチャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- お買い上げ時に登録されているデータ・ｉアプリを削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます（☛P372）。ダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- データ BOX 内の「ミュージック」と「モバ HO!」のデータを一括で削除する場合は、オーディオメモリ初期化を行ってください。☛P282

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA 端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

ネットワークサービス

本書では、各ネットワークサービスの概要説明のみ記載しています。

サービス名	申し込み	月額使用料	参照
留守番電話サービス	必要	有料	P342
キャッチホン	必要	有料	P343
転送でんわサービス	必要	無料	P344
迷惑電話ストップサービス	必要	無料	P344
番号通知お願いサービス	不要	無料	P345
デュアルネットワークサービス	必要	有料	P345
英語ガイダンス	不要	無料	P345
マルチナンバー	必要	有料	P347
公共モード（ドライブモード）	不要	無料	P70
公共モード（電源OFF）	不要	無料	P71

- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。また、マルチナンバーについては『マルチナンバー操作ガイド』をご覧ください。
- ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録できます。☛P348

留守番電話サービスを利用する

留守番電話

電波の届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。
日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。

- 応答しなかった電話は、留守番電話サービスセンターに接続し、伝言メッセージをお預かりします。待受画面のアイコンや着信履歴で、着信があったことをお知らせします。
- 留守番電話サービスを開始に設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。着信音の鳴っている時間（呼出時間）は変更できます。ただし、呼出時間を0秒に設定した場合、着信履歴は記録されません。
- 着信中の電話を手動で留守番電話サービスセンターに転送できます。☛P61

留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ **1**：サービスを開始に設定する
ステップ **2**：電話をかけてきた方が伝言を録音する※1
ステップ **3**：伝言メッセージを再生する

※1：留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに[#]を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えられます。

ネットワークサービス

操作方法

1 MENU 9 1

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
留守番サービス開始	1 1 ▶「はい」を選択 ▶「はい」を選択 ▶ 呼出時間を入力（0 ～ 120 秒）
留守番呼出時間設定	1 2 ▶「はい」を選択 ▶ 呼出時間を入力（0 ～ 120 秒）
留守番サービス停止	1 3 ▶「はい」を選択
留守番設定確認	1 4 ▶「はい」を選択
留守番メッセージ再生	新しい伝言メッセージがあると待受画面に 1（数字は件数）が表示されます。 1 5 ▶「はい」を選択 ▶ 音声ガイダンスの指示に従う
留守番サービス設定	1 6 ▶「はい」を選択 ▶ 音声ガイダンスの指示に従う
メッセージ問合せ	1 7 ▶「はい」を選択 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面に 1（数字は件数）が表示されます。
件数増加鳴動設定 お買い上げ時 件数通知音：ON 通知メロディ：パターン 1	相手が新しい伝言メッセージを残した場合やメッセージ問合せを行ったときに伝言メッセージの件数が増えていた場合は、通知音が鳴るようにします。 ① 2 ▶ 件数通知音を選択 ② 1 • 鳴らさないとき：2 ▶ 操作 ④ に進む ③ 通知メロディを選択 ▶ フォルダを選択 ▶ メロディを選択 ④ 📖 を押す
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに着信があったことを SMS でお知らせします。 3 1 ▶「はい」を選択 ▶「はい」／「いいえ」を選択 「はい」：発信者番号通知の着信のみ通知します。 「いいえ」：すべての着信を通知します。
着信通知停止	3 2 ▶「はい」を選択
着信通知開始設定確認	3 3 ▶「はい」を選択
表示消去	4 ▶「はい」を選択 伝言メッセージの件数を示すアイコンが消えます。

おしらせ

- 留守番設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
  MENU 1：留守番電話サービス開始
  MENU 2：留守番電話サービス停止
  MENU 3：留守番電話呼出時間設定
- 新しい伝言メッセージがあるときは、待受画面からすばやく再生できます。☛P37
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

キャッチホンを利用する

キャッチホン

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。通話中の電話を保留にして、第三者と通話できます。

1 MENU 9 2

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
キャッチホン開始	1 ▶「はい」を選択
キャッチホン停止	2 ▶「はい」を選択
キャッチホン設定確認	3 ▶「はい」を選択

通話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に 📞

最初の相手との通話が保留になり、後からかかってきた電話に出られます。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手を切り替える：☐
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、☐ を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度 ☐ を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせる：キャッチホン中（マルチ接続中）に MENU 1

2 一方の相手との通話が終わったら ☐

通話が終了し、着信音が鳴ります。

- 保留中の相手との通話を再開する：📞

通話を終わらせて、かかってきた電話に出る

1 通話中に ☐

かかってきた電話の着信音が鳴ります。

2 📞 **を押す**

新しくかかってきた電話と通話できます。

つづく

通話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 通話中に MENU 8 ▶ 電話番号を入力

- 着信履歴から電話をかける：MENU 2
- リダイヤルから電話をかける：MENU 3
- 電話帳に登録されている相手に電話をかける：▶ 相手を選ぶ

2 を押す

新しくかけた相手と通話できます。お話し中の通話は自動的に保留になります。

- 「マルチ接続中」と表示されます。
- 通話相手を切り替える：
- ガイド行に「保留」と表示されているときは、を押すと現在通話中の相手も保留にできます。再度を押すと解除されます。
- 保留中の通話を終わらせる：キャッチホン中（マルチ接続中）に MENU 1

3 新しくかけた相手との通話が終わったら

通話が終了します。

- 保留中の相手との通話を再開する：

おしらせ

● マルチ接続中に別の電話がかかってきても受けられません。着信履歴には不在着信として残ります。

転送でんわサービスを利用する

転送でんわ

電波が届かない所にいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、FOMA 端末にかかってきた電話を、ご家庭やオフィスなどに自動的に転送します。

- 転送でんわサービスを開始に設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴ります。着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。着信音の鳴っている時間（呼出時間）は変更できます。ただし、呼出時間を 0 秒に設定した場合、着信履歴は記録されません。
- 着信中の電話を手動で転送できます。☛P61

転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ **1**：転送先の電話番号を登録する
ステップ **2**：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ **3**：お客様の FOMA 端末に電話がかかる
ステップ **4**：電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

操作方法

1 MENU 9 3

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
転送サービス開始	1 ▶「はい」を選択 ▶「はい」を選択 ▶ 転送先電話番号を入力（26 桁まで）▶ ▶「はい」を選択 ▶ 呼出時間を入力（0 ～ 120 秒） • 電話番号の入力欄を選択する前に、MENU を押すと電話帳から、を押すとリダイヤルから、を押すと着信履歴から電話番号を設定できます。
転送サービス停止	2 ▶「はい」を選択
転送先変更	3 ▶ 転送先電話番号を入力 ▶ ▶「はい」を選択
転送先通話中時設定	転送先が通話中のとき留守番電話サービスで対応するように設定します。 4 ▶「はい」を選択 • 解除するとき：「いいえ」を選択
転送サービス設定確認	5 ▶「はい」を選択

転送ガイダンスの有・無を設定する

1 1 4 2 9 ▶ 音声ガイダンスの指示に従う

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話ストップサービス

迷惑電話を自動的に着信拒否します。迷惑電話の登録操作をすると、以降、同じ電話番号から電話がかかってきたときに、着信を拒否するガイダンスを流して通話を終了します。

1 MENU 9 4

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否登録します。不在着信など通話していない場合は登録の対象になりません。 1▶「はい」を選択
電話番号指定拒否登録	2▶「はい」を選択▶電話番号を入力（22桁まで）▶📖▶「はい」を選択 • 電話番号の入力欄を選択する前に、MENUを押すと電話帳から、✉を押すとリダイヤルから、📋を押すと着信履歴から電話番号を設定できます。
迷惑電話全登録削除	3▶「はい」を選択
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件のみ削除します。 4▶「はい」を選択
拒否登録件数確認	5▶「はい」を選択

番号通知お願いサービスを利用する

番号通知お願いサービス

発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスで応答します。迷惑電話などによるトラブルを防ぎ、安心して携帯電話を利用できます。

1 MENU 9 6

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
番号通知開始	1▶「はい」を選択
番号通知停止	2▶「はい」を選択
番号通知確認	3▶「はい」を選択

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワーク

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末を利用できます。これによってFOMAサービスエリア外であっても、movaサービスエリア内であれば、mova端末で音声電話などが利用できます。

- FOMAとmovaを同時に利用することはできません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態のFOMA端末またはmova端末から行います。

mova端末を使えるようにする

1 mova端末で「1540」をダイヤル

2 ガイダンスに従って操作

FOMA端末を使えるようにする

mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替える操作です。

1 MENU 9 9 5

2 以下の操作を行う

項　目	操作方法
デュアルネットワーク切替	1▶「はい」を選択▶ネットワーク暗証番号を入力
デュアルネットワーク状態確認	2▶「はい」を選択

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

英語ガイダンス

発着信時の音声ガイダンスなど各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスを英語に設定できます。

- 利用できる言語は、「日本語」と「英語」です。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。

1 MENU 9 9 4

2 以下の操作を行う

つづく

項　目	操作方法
ガイダンス設定	① 1 ▶「はい」を選択 ② 1 ～ 2 **日本語：** 発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定します。 **英語：** 発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定します。 ③「はい」を選択 ▶ 1 ～ 3 **日本語：** 着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定します。 **日本語＋英語：** 着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定します。 **英語＋日本語：** 着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定します。
ガイダンス設定確認	2 ▶「はい」を選択

サービスダイヤルを利用する

サービスダイヤル

ドコモ故障窓口やドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- お使いのFOMAカードによっては、ドコモ故障窓口とドコモ総合案内・受付の項目番号が異なる場合や表示されない場合があります。☛P41

1 MENU 9 9 6

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
ドコモ故障問合せ	1 ▶「はい」を選択 ドコモ故障問合せに電話がかかります。
ドコモ総合案内・受付	2 ▶「はい」を選択 DoCoMo インフォメーションセンターに電話がかかります。

通話中に電話がかかってきたときの応対を設定する

音声電話通話中または64Kデータ通信中に別の電話がかかってきたときに、留守番電話や転送でんわなどで対応します。

1 MENU 9

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
通話中着信動作選択 お買い上げ時 通常着信	通話中に電話がかかってきたときの対応方法を設定します。 8 ▶ 1 ～ 4 **通常着信：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に応答したり、留守番電話サービスセンターや転送でんわサービスで登録した転送先に転送できます。 **留守番電話：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話に留守番電話サービスで応答します。 **転送でんわ：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を転送します。 **着信拒否：** 通話中または64Kデータ通信中にかかってきた電話を着信拒否します。
通話中着信設定開始	通話中着信動作選択で設定した対応方法を有効にします。 7 1 ▶「はい」を選択
通話中着信設定停止	7 2 ▶「はい」を選択
通話中着信設定確認	7 3 ▶「はい」を選択

おしらせ

- 通話中着信動作がいずれの設定の場合でも、着信履歴に記録されます。

遠隔操作を設定する

遠隔操作

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 MENU 9 9 3

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
遠隔操作開始	1 ▶「はい」を選択
遠隔操作停止	2 ▶「はい」を選択
遠隔操作設定確認	3 ▶「はい」を選択

マルチナンバーを利用する

マルチナンバー

基本契約番号のほかに、付加番号１と付加番号２の最大２つの番号を追加してご利用になれます。

1 MENU 9 9 7

2 以下の操作を行う

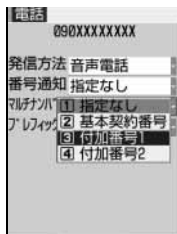
項　目	操作方法
通常発信番号設定	通常発信番号設定を切り替えると、設定した番号で電話をかけられます。 1 ▶ 1 〜 3 ▶ 「はい」を選択
通常発信番号設定確認	2 ▶ 「はい」を選択
電話番号設定 お買い上げ時 基本契約番号：基本契約番号／自局電話番号 付加番号１：付加番号１／未登録 付加番号２：付加番号２／未登録 マルチナンバー発信：無効	マルチナンバー契約済み電話番号の設定をします。 ① 3 ▶ **各項目を選択して設定** **名称：** 付加番号１／付加番号２ごとに設定できます（全角 10 文字（半角 20 文字）まで）。基本契約番号は、自局番号の設定内容が表示されます。 **電話番号：** 契約済みの付加番号１／付加番号２を設定します。 **マルチナンバー発信：** 「有効」にすると、電話をかけるときに、サブメニューから相手に通知する番号を選んで発信できます。 ② 📖 **を押す**
着信設定 お買い上げ時 個別設定：OFF	付加番号ごとに着信音などを設定します。 ① 4 ▶ 1 〜 2 ▶ **各項目を選択して設定** **個別設定：** 個別に着信設定するかどうかを選択します。 •「OFF」に設定すると以下は設定できません。 **着信音、イメージ表示：** 設定方法は ☛P67 ② 📖 **を押す**

相手に通知する番号を選んで発信する

電話をかけるときに、サブメニューから相手に通知する番号を選んで発信できます。

1 電話番号を入力 ▶ MENU 3

- リダイヤルから発信する：▶ リダイヤルから相手を選ぶ ▶ MENU 3
- 着信履歴から発信する：▶ 着信履歴から相手を選ぶ ▶ MENU 3

2 マルチナンバー欄を選択 ▶ 相手に通知する番号を選択

- 「指定なし」を選択すると、通常発信番号の設定内容で発信します。
- 電話番号設定のマルチナンバー発信を「無効」に設定すると、発信番号を選択できません。

3 MENU ▶ 「はい」を選択

おしらせ

- FOMA カードを抜いたり、差し替えた場合、FOMA 端末に登録していたマルチナンバーの設定（名称・電話番号など）が消去されることがあります。このような場合は、再度登録を行ってください。
- 発信中／着信中の画面には、マルチナンバー（基本契約番号／付加番号１／付加番号２）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルには、発信時に通知したマルチナンバー（基本契約番号／付加番号１／付加番号２）に対応した名称が表示されます。
- 着信履歴には、着信したマルチナンバー（基本契約番号／付加番号１／付加番号２）に対応した名称が表示されます。
- リダイヤルから発信した場合、以前に発信したときの番号で発信します。
- 着信履歴から発信した場合、以前に着信したときの番号で発信します。

新しいネットワークサービスを登録する

追加サービス（USSD登録）

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、メニューに登録して利用します。

1 MENU 9 9

2 **以下の操作を行う**

項　目	操作方法
USSD登録	■登録する 1 ▶サービスを登録・変更する番号を選ぶ ▶ 📖 ▶USSD コード欄を選択▶USSD コードを入力▶名称欄を選択▶サービス名を入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶ 📖 • 最大10件登録できます。 • USSDコード欄には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。 FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。 ■サービスを利用する 1 ▶ 1 〜 9 、0 登録されたコードがサービスセンターに発信されます。 ■登録したサービスを削除する 1 ▶サービスを選ぶ▶ MENU 1（全件削除するときは MENU 2）▶「はい」を選択
応答メッセージ登録	追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。 ■登録する 2 ▶ 1 〜 9 、0 ▶USSD コード欄を選択▶USSD コードを入力▶応答メッセージ欄を選択 ▶ メッセージを入力（全角10文字（半角20文字）まで）▶ 📖 • 最大10件登録できます。 ■登録したメッセージを削除する 2 ▶サービスを選ぶ▶ MENU 1（全件削除するときは MENU 2）▶「はい」を選択

データ通信

データ通信について、詳しくは添付の CD-ROM 内の「データ通信マニュアル」（データ通信マニュアル.pdf）をご覧ください。「データ通信マニュアル」（データ通信マニュアル .pdf）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA 端末をドコモの PDA「sigmarion Ⅱ」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion Ⅱ」や「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

利用できる通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64K データ通信、データ転送の 3 つに分類されます。
これらの通信は、添付の CD-ROM から関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

■ パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大 64kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64K データ通信

64K データ通信は 64kbps の安定した通信速度でデータ送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA 64K データ通信に対応したアクセスポイント、または ISDN 同期 64K アクセスポイントを利用します。
長時間にわたる通信をした場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

付属のUSB接続ケーブルを使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera をご利用いただけます。mopera U は、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、mopera は、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは FOMA のパケット通信に対応した接続先、64K データ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- PIAFS などの PHS64K ／ 32K データ通信や DoPa のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（ID とパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークで ID とパスワードを入力して接続してください。ID とパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザー証明書）の認証を行う場合は添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをインストールし、設定してください。詳しくは添付の CD-ROM 内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF 形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0 以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードしてください（別途通信料が

かかります)。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ FirstPass PC ソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT 互換機
OS	Windows 98SE、Me、2000、XP(各日本語版)
必要メモリ※1	Windows 98SE、Me、2000:32MB 以上 Windows XP:128MB 以上
ハードディスク容量※1	10MB 以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上 Windows XP の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以上

※1:パソコンのシステム構成によって異なります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA 端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- 付属の USB 接続ケーブルを利用できるパソコンであること
- FOMA サービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先が FOMA のパケット通信に対応していること
- 64K データ通信の場合、接続先が FOMA 64K データ通信、または ISDN 同期 64K に対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

● 管理者権限
Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

● APN(Access Point Name)
パケット通信で接続するプロバイダや社内 LAN を識別する文字列。mopera U は「mopera.net」が、mopera は「mopera.ne.jp」が APN となります。

● cid(Context Identifier)
パケット通信の接続先(APN)をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3には「mopera.net」が登録されています。

● W-TCP
FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最大限に生かすための TCP パラメータ。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

データ通信の準備の流れ

パソコンと FOMA 端末を接続して、パケット通信または 64K データ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

通信設定ファイル(ドライバ)について

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、添付の CD-ROM から通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

動作環境について

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT 互換機
OS	Windows 98、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98、Me：32MB 以上 Windows 2000：64MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量	5MB 以上の空き容量

※1：USB ポート（USB 仕様 1.1/2.0 に準拠）が必要です。

おしらせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

AT コマンドについて

AT コマンドとは、パソコンで FOMA 端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。
FOMA 端末は、AT コマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自の AT コマンドをサポートしています。
AT コマンドの詳細は添付の CD-ROM の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

文字入力

文字入力について

FOMA 端末には、電話帳やメールなど、文字を入力して活用する多くの機能があります。

- 文字の入力方式には「かな入力方式」と「スロット入力方式」があります。
  かな入力方式は、1 つのキーに複数の文字が割り当ててあり、キーを押すたびに文字が切り替わります。☛P373
  スロット入力方式は、スロット入力ボードに表示された文字から、入力文字を指定します。☛P361
- 入力方式によって、入力できる文字の種類は異なります。

○：入力可　×：入力不可　－：入力文字なし

入力方式／文字の種類	かな入力方式		スロット入力方式	
	全角	半角	全角	半角
ひらがな／漢字	○	－	○	－
カタカナ	○	○	×	○
英字	○	○	×	○
数字	○	○	×	○
記号	○	○	○	○
絵文字	○	－	○	－

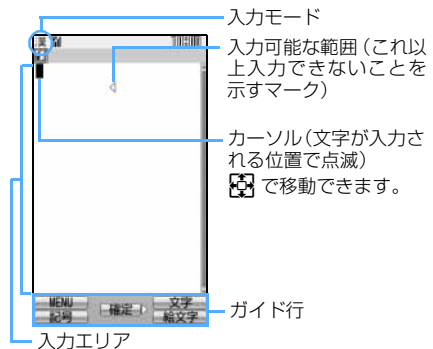
- 文字の種類には「全角文字」と「半角文字」があります。全角文字や全角の空白、改行は、半角文字 2 文字分にカウントされます。半角文字では、濁点・半濁点も 1 文字分にカウントされます。
- 入力する文字の呼び出しかたがわからない場合などは、区点コードで入力できます。
- 入力できる漢字は JIS 第一水準漢字・第二水準漢字の 6355 文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
- 本書では最後に [確定] を押す操作も含めて「入力する」（操作文では「入力」）と表記しています。

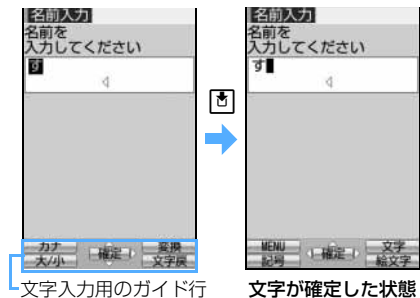
文字入力画面の見かた

文字の入力方法には、「全画面入力」と「インライン入力」の 2 種類があります。

- 入力欄によっては、どちらか一方しか利用できない場合があります。
- 貼り付けや定型文入力などで、入力可能な文字数を超えた場合、超過分は削除されます。

全画面入力

入力欄を選び [確定] を押すと、入力エリアが全画面表示されます。

インライン入力

入力欄を選び [0] ～ [9]、[*]、[#] を押し、文字を直接入力します。[確定] を押すと文字が確定します。

文字入力画面のサブメニュー

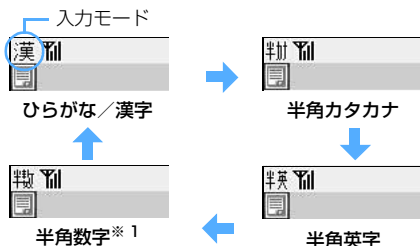
文字入力画面で [MENU] を押します。次の操作ができます。ただし、文字が確定される前やデコメールの装飾選択画面ではサブメニューは表示されません。

- 文字のコピー ☛P359
- 文字の切り取り ☛P359
- コピー／切り取りした文字の貼り付け ☛P359
- 電話帳データの引用 ☛P358
- 単語登録 ☛P360
- 定型文登録 ☛P359
- 文字入力の設定 ☛P361
- 自局番号の内容や電卓の計算結果の引用（入力欄によって表示される項目が異なります）☛P358
- 文字編集入力の終了（スロット入力方式で文字を入力中にのみ表示されます）

入力モードを切り替える

- 文字入力画面によって切り替えられる入力モードが異なります。

[(i)] で切り替える

[(i)] を押すたびに、次のように切り替わります。

※1：スロット入力方式では表示されません。

- 英語表示のときは「半角英字」→「半角数字」→「漢字」→「半角カタカナ」の順に切り替わります。

入力モードリストで切り替える

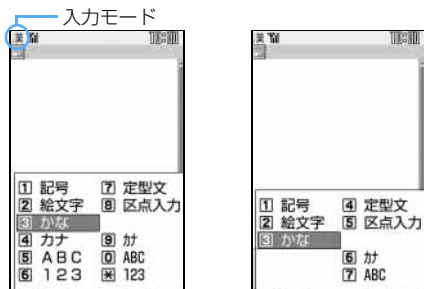
文字入力画面で [📖] を押すと、次の入力モードが選択できます。

項　目	入力モード		項　目	入力モード	
かな	ひらがな／漢字	漢	123※2	全角数字	全数
			ｶﾅ	半角カタカナ	半ｶﾅ
カナ※2	全角カタカナ	全ｶﾅ	ABC	半角英字	半英
ABC※2	全角英字	全英	123※2	半角数字	半数

※2：スロット入力方式では表示されません。

- ひらがなしか入力できない場合は全ひらが表示されます。

かな入力方式

スロット入力方式

- [✣] または対応するダイヤルキーを押して入力モードを選択します。
- 入力モードリストから選択して、次の操作もできます。

「記号」　：記号を入力します。☞P357
「絵文字」　：絵文字を入力します。☞P357
「定型文」　：定型文を入力します。☞P357
「区点入力」：区点コードで文字を入力します。☞P360

かな入力方式で文字を入力する

かな入力方式

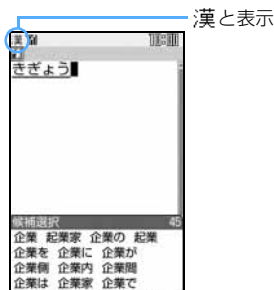
文字を入力する

かな漢字変換

例 電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 名前の入力欄を選ぶ ▶ [☐]

文字入力画面が表示されます。

2 「きぎょう」と入力

「き」：[2] を２回
[□▸] を押して、カーソルを１つ右に移動します（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）。
「ぎ」：[2] を２回 ▶ [＊]
「ょ」：[8] を３回 ▶ [☐]
「う」：[1] を３回

- キーを押し間違えたときは [CLR] を押して取り消します。
- 文字に「゛」「゜」を付ける：文字を入力 ▶ [＊]
たとえば、「ほ」を入力して [＊] を押すと、押すたびに「ぼ」→「ぽ」→「ほ」と切り替わります。
「゛」「゜」が付けられない文字のときは、「゛」「゜」が全角で入力されます。
- 大文字と小文字を切り替えるには、文字を入力し [☐] を押します。
- [MENU] を押すと全角カタカナに変換できます。

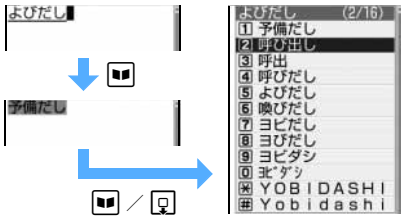
■ **１つ前の文字に戻す：**
文字入力直後に [✉] を押して１つ前の文字に戻すことができます。押すたびに、通常の文字入力順とは逆の順に文字が切り替わります（例：…→１→お→え→う→い→あ→１→…）。ただし、濁点や半濁点を入力したときや、大文字と小文字を切り替えたときは、切り替わりません。

■ **ひらがなのまま確定する：**
ひらがなを入力した状態で操作4に進みます。

3 [辞書キー]

- 予測変換候補が表示されていないときは、[上下キー]でもかな漢字変換されます。予測変換 ☛P357
- CLR を押すと、変換前の状態に戻ります。

■ **変換候補を一覧表示する：**
[辞書キー] を押しても目的の文字が表示されないときは、[上下キー] またはもう一度 [辞書キー] を押すと変換候補が一覧表示されます。変換候補の一覧が複数ページあるときは、[メールキー] を押すと次ページ、[アドレス帳キー] を押すと前ページに切り替わります。[上下キー] で変換候補を選び [決定キー] を押すか、各候補に割り当てられている番号のダイヤルキーを押して選択します。

4 [決定キー]

文字が確定します。
- 入力設定の入力予測を「ON」に設定しているときは、「閉じる」を選択します。

■ **文字を挿入する：**
[方向キー] で挿入する位置までカーソルを移動し、文字を入力します。入力した文字はカーソル位置に挿入されます。

■ **文字を削除する：**
- カーソルが入力文字の途中にある場合
  （例：ドコモ太郎）
  - CLR を押すと、カーソル位置の 1 文字が削除されます。
  - CLR を 1 秒以上押すと、カーソル位置の文字とそれ以降のすべての文字が削除されます。
- カーソルが入力文字の末尾にある場合
  （例：ドコモ太郎▌）
  - CLR を押すと、カーソル位置の左の 1 文字が削除されます。
  - CLR を 1 秒以上押すと、すべての入力文字が削除されます。

■ **改行する：**
改行する位置にカーソルを移動し、# を押します。
- 入力欄によっては改行できない場合があります。

5 [決定キー] **を押す**

文字入力が終了します。
- 文字を未入力の状態にするときは、すべての文字を削除してから [決定キー] を押します。新規に入力した場合は、すべての文字を削除してから CLR を押してもできます。
- 入力済みの入力欄の内容を修正し、修正前の状態に戻したいときは、すべての文字を削除してから CLR を押し、「はい」を選択します。

おしらせ

● メール本文の入力画面では、操作 4 での文字確定後、CLR または # で予測変換候補表示を消し、文字の挿入や削除、改行などができます。
● 次の入力モードのときは、入力途中でキーを押さずに一定時間経過すると、自動カーソル機能によってカーソルが右に移動します。移動するまでの時間を変更したり、自動カーソル機能を使わないように設定できます。☛P361
- ひらがな／漢字
- 全角／半角カタカナ
- 全角／半角英字

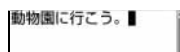
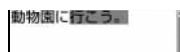
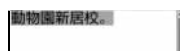
● 自動カーソル機能によってカーソルが右に移動した後でも次の操作ができます。
- * ：濁点／半濁点を付ける
- [アドレス帳キー] ：大文字／小文字を切り替える
- [メールキー] ：1 つ前の文字に戻す

複数の文節を一括変換する

複数の文節を一括変換し、文章を簡単に入力できます。
- 全角で 24 文字まで変換できます。

例 「動物園に行こう。」と入力するとき

1 **文字を入力 ▶** [辞書キー]

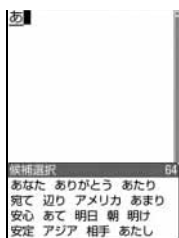
■ **全確定する：** MENU

■ **変換部分を確定する：** [決定キー]

■ **変換範囲を変更する：** [左右キー]

[左キー] **を押したとき**

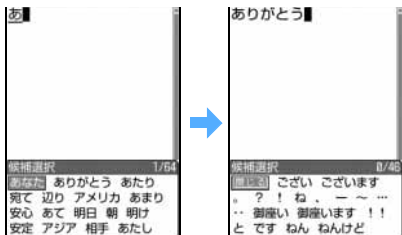
入力予測機能を使って文字を入力する

入力予測機能は、文字を入力したときに、読みの先頭部分が一致する予測変換候補が一覧表示される機能です。
予測変換候補には、一度入力した単語が自動的に予測辞書データとして登録されるので、次に同じ内容を入力するときには、先頭の文字を入力するだけですばやく入力できます。

- 次の単語や文字列が候補として表示されます。
  - ・標準搭載の単語
  - ・かな漢字変換で入力した単語
  - ・単語登録した文字列
- 予測変換は、ひらがな／漢字モードのみで利用できます。ただし、次の場合は予測変換できません。
  - ・インライン入力の場合
  - ・スロット入力方式の場合
- 予測変換候補を表示しないように設定できます。☛P361

1 文字を入力

予測変換候補が表示されます。

- 1文字、2文字、3文字と文字を入力するたびに候補は絞り込まれます。

2 [↓]▶[↕]で候補を選ぶ▶[確定]

- 予測変換候補にカーソルがあるときは、次の操作ができます。
  [←]／[✉]：前ページ／次ページ切り替え
  [📖]：かな漢字変換（予測変換候補は消えます）
  [確定]：文字確定
- 該当する用語がない場合、[📖]を押すと、かな漢字変換になり、予測変換候補が消えます。

3 「閉じる」を選択

予測変換候補が消えます。

定型文を入力する

あらかじめ登録されている文や顔文字、絵文字ことばを入力します。

1 文字入力画面で[📖][7]

- [📖][MENU]を押しても表示できます。

2 [1]～[8]

- 定型文を作成･登録した場合は、[9]を押して選択できます。

3 [1]～[0]、[✱]、[#]

「顔文字 1」を選択した場合

- [↔]でページを切り替えられます。
- 定型文の内容を確認する：定型文を選ぶ▶[📖]
  [確定]を押すと定型文が入力されます。

おしらせ

- 顔文字はひらがな／漢字モードで「かおもじ」と入力して変換できます。
- 顔文字を使ったメールを送信する場合、相手の端末のディスプレイの大きさ、表示文字数やフォントによっては、形が崩れたり、見えかたが異なるなど、正しく表示されない場合があります。
- 「定型文一覧」☛P374

記号・絵文字を入力する

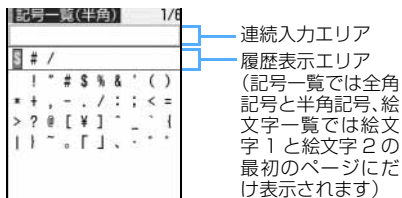
- 記号は入力可能なもののみ一覧表示されます。

例 記号を入力するとき

1 文字入力画面で[←]

- 絵文字を入力する：[✉]
- メール本文の入力画面では[📖][1]を押して記号一覧、[📖][2]を押して絵文字一覧を表示できます。
- [MENU]を押すと、記号一覧では全角記号と半角記号、絵文字一覧では絵文字 1 と絵文字 2 が切り替わります。
- 記号一覧、絵文字一覧は[←]または[✉]を押して複数のページを切り替えます。

2 記号を選択

一覧や履歴表示エリアから選択すると、連続入力エリアに表示されます。

- 記号の場合は全角10文字（半角20文字）まで、絵文字の場合は10文字まで連続入力できます。
- 履歴表示エリアには記号または絵文字が最大10文字まで表示されます。10文字を超えると、古いものから順に消去されます。
- 次のかっこの左側（例：｛）を1つだけ選択した場合は、右側のかっこ（例：｝）も自動的に入力されます。

() [] {} 「」（ ）〔 〕［ ］｛ ｝〈 〉《 》「 」『 』【 】

3 [■]を押す

おしらせ

● 一部の記号は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

読み	入力できる記号
ぎりしあ	ギリシア文字
ろしあ	ロシア文字
すうじ	①～⑳、Ⅰ～Ⅹ
けいせん	罫線記号
きごう	上記を除く全角記号

● 絵文字は、ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。☞P376

● 記号や絵文字は、赤外線通信などでデータ転送を行った際、正しく表示されない場合があります。

● 絵文字を入力して i モード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。

● 絵文字2を入力してメールを送信すると、相手の端末によっては正しく表示されない場合があります。

データを引用して文字を入力する

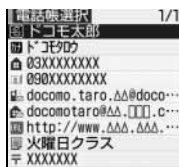
電話帳データや自局番号の登録内容や電卓の計算結果を引用して入力します。

- 引用できない文字入力画面では、メニュー項目が薄く表示されたり、メニュー項目自体が表示されないため操作できません。

電話帳データの内容を引用する

- 文字入力画面を全画面入力に切り替えて操作してください。
- 電話帳の文字入力画面では、電話帳データを引用できません。

1 文字入力画面で [MENU][4] ▶ 電話帳データを選択

2 内容を選択

- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び[■]を押します。[■]を押すと引用できます。

自局番号の内容を引用する

- 自局番号の文字入力画面では、自局番号を引用できません。

1 文字入力画面で [MENU][8][1]

2 端末暗証番号を入力 ▶ 自局番号の内容を選択

- 内容が長い場合は、途中までしか表示されません。確認するときは、内容を選び[■]を押します。[■]を押すと引用できます。

電卓の計算結果を引用する

- 引用できるのは、スケジュール帳とメモ帳の文字入力画面です。

1 文字入力画面で [MENU][8][2]

2 計算を行う ▶ [■]

定型文を登録する

定型文登録

登録した定型文は「ユーザ作成」に登録されます。

- 最大 50 件登録できます。

1 MENU 8 8 2 9

2 「<新しい定型文>」を選択

定型文編集画面が表示されます。

- 登録済みの定型文を修正する：定型文を選択
- 登録済みの定型文を確認する：定型文の一覧で定型文を選ぶ ▶ を押すと編集できます。

■ **定型文を削除する：削除する定型文を選ぶ ▶ MENU ▶「はい」を選択**

3 本文欄を選択 ▶ 定型文を入力(全角 64 文字（半角 128 文字）まで)

4 を押す

- 登録済みの定型文を修正したときは確認画面が表示されます。上書き登録するときは「はい」を、中止するときは「いいえ」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して定型文に登録します。

1 文字入力画面で MENU 6

- メール本文の入力画面では MENU 6 2 を押します。

2 開始位置を選ぶ ▶

- 全文を選択する：MENU ▶ 操作 4 に進む
- メール本文の入力画面で全文を選択する：▶ 操作４に進む

3 終了位置を選ぶ ▶

選択した範囲の文字が定型文編集画面に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する：MENU
- 開始位置から文末までを選択する：

4 を押す

おしらせ

- メール本文の入力画面以外では、文字が入力されていない場合に MENU 6 を押すと、すぐに定型文編集画面が表示されます。
- 定型文が既に 50 件登録されている場合は、定型文登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの定型文を修正してください。
- 選択した入力済みの文字列内に空白が含まれていた場合は、次の動作となります。
  - 空白のみ　　　　　　：定型文として登録不可
  - 文字列の前後に空白　：文字列のみ有効
  - 文字と文字の間に空白：空白も有効

文字をコピー／切り取りして貼り付ける

文字コピー

文字入力画面から文字のコピーや切り取りを行い、別の場所に貼り付けます。別の文字入力画面に貼り付けることもできます。

- コピーまたは切り取った文字は電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けることができます。
- 記録できるのは 1 件だけです。新たにコピーまたは切り取りを行うと内容は上書きされます。

文字をコピー／切り取りする

例 文字をコピーするとき

1 文字入力画面で MENU 1

- 文字を切り取る：MENU 2
- メール本文の入力画面では MENU を押し、「コピー」／「切り取り」を選択します。

2 開始位置を選ぶ ▶

- 全文を選択する：MENU
- メール本文の入力画面で全文を選択する：

3 終了位置を選ぶ ▶

選択した範囲の文字がコピーされます。

- 開始位置から文頭までを選択する：MENU
- 開始位置から文末までを選択する：

文字を貼り付ける

- 貼り付けたとき、編集中の文章が入力可能な文字数を超える場合は、すべての文字を貼り付けることができない旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、入力可能な文字数を超えない文字だけが貼り付けられます。

1 文字入力画面で、貼り付ける位置を選ぶ ▶

- メール本文の入力画面では MENU を押し、「貼り付け」を選択します。

おしらせ

- コピーまたは切り取った文字種と、貼り付け先の文字種が適合しないときは、貼り付けられません。たとえば、メールアドレス欄（半角英数字）にひらがなや漢字などの文字は貼り付けられません。
- 改行が入力できない入力画面に改行を含んだ文字列を貼り付けた場合は、改行が空白に置き換えられます。

区点コードで入力する

区点コード入力

区点コード一覧にある文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。

例「携」（区点コード2340）を入力するとき

1 文字入力画面で [📖] [8]

2 4桁の区点コードを入力（この場合は [2] [3] [4] [0]）

- 有効な区点コードは0101～8406です。
- 対応する文字、数字、記号がない区点コードの入力は無効です。

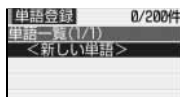
よく使う単語をあらかじめ登録する

単語登録

文字の変換のときに、登録した読みで簡単に呼び出せます。

- 最大200件登録できます。

1 [MENU] [8] [8] [1]

2「<新しい単語>」を選択

- 登録済みの単語を修正する：修正する単語を選択
- 登録済みの単語を確認する：単語を選ぶ ▶ [📖]
  [保存] を押すと編集できます。

■ 単語を削除する：

①削除する単語を選ぶ ▶ [MENU]

②「削除」を選択

- 全件削除する：「すべて削除」を選択

3 単語欄を選択 ▶ 登録する単語を入力（全角12文字（半角24文字）まで）

- 登録できる文字の種類は次のとおりです。
  - ・ひらがな／漢字　・全角／半角カタカナ
  - ・全角／半角英字　・全角／半角数字
  - ・全角／半角記号　・絵文字

4 読み欄を選択 ▶ 読みを入力（全角8文字まで）

- ひらがなのみ入力できます。

5 [📖] を押す

- 登録済みの単語を修正したときは確認画面が表示されます。元の単語に上書きするときは「上書き登録」を選択します。元の単語を残して新規に登録するときは「新規登録」を選択します。

文字入力中に登録する

入力済みの文字を選択して単語登録できます。

1 文字入力画面で [MENU] [5]

- メール本文の入力画面では [MENU] [6] [1] を押します。

2 開始位置を選ぶ ▶ [保存]

- 全文を選択する：[MENU] [保存] ▶ 操作4に進む
- メール本文の入力画面で全文を選択する：[✉] ▶ 操作4に進む

3 終了位置を選ぶ ▶ [保存]

選択した範囲の文字が単語欄に表示されます。

- 開始位置から文頭までを選択する：[MENU] [保存]
- 開始位置から文末までを選択する：[📖] [保存]

4 読みを入力 ▶ [📖]

おしらせ

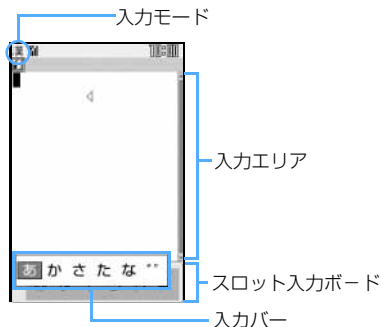
- 文字入力中に登録する場合、メール本文の入力画面以外では、文字が入力されていないときに [MENU] [5] を押すと、すぐに単語編集画面が表示されます。
- 文字入力中に登録する場合、改行を含んだ文字列を単語登録しようとすると、改行が空白に置き換えられます。
- 読みにひらがなと長音、濁点、半濁点以外の文字が入力されていた場合は、登録できません。

● 次の文字が読みの先頭にある場合は、登録できません。
を、ん、ぁ、ぃ、ぅ、ぇ、ぉ、ゃ、ゅ、ょ、っ、ー（長音）、゛（濁点）、゜（半濁点）
● 空白は入力できますが、登録後に削除されます。
● 単語と読みの組み合わせで、同じ単語が既に登録されている場合は、登録できません。
● 同じ読みの単語は、最大5つ登録できます。さらに登録する場合は、読みを変更して登録してください。
● 単語が既に200件登録されている場合は、単語登録の一覧画面が表示されます。新たに登録する場合は、一覧から登録データを削除するか、登録済みの単語を修正してください。

スロット入力方式で文字を入力する

スロット入力方式

スロット入力ボードに表示された文字から、[十字キー]を使って入力文字を指定します。

- スロット入力方式で入力するには、入力方式の設定が必要です。☛P361
- スロット入力方式では予測変換機能は利用できません。
- 「入力バーの文字割り当て一覧」☛P373

- 入力方式を「スロット入力」に設定していても、インライン入力時は「かな入力」になります。入力エリアを全画面表示にすれば「スロット入力」で操作できます。
- スロット入力ボードで操作している場合に、入力エリアの操作（文字の削除やカーソル移動など）をするときは [メール] を押します。スロット入力ボードの操作に戻すときは再度 [メール] を押します。

例 電話帳の登録で「企業」と入力するとき

1 名前の入力欄を選ぶ ▶ [決定]

文字入力画面が表示されます。

2 「きぎょう」と入力

「き」：[右] を1回 ▶ [下] を1回 ▶ [決定]
「ぎ」：[決定] ▶ [右] を4回 ▶ [決定]
「ょ」：[入力バー切替] ▶ [右] を2回 ▶ [上] を2回 ▶ [決定]
「う」：[右] を4回 ▶ [下] を2回 ▶ [決定]
- 上段と下段の入力バーを入れ替える：[入力バー切替]

3 [変換]

変換されます。

- 変換方法はかな入力方式と同じです。
- 変換前の状態に戻して文字入力を続けるには [CLR] を押します。
- ひらがなのまま確定する：[MENU]
続けて文字を入力できます。文字入力を終了するには、操作5に進みます。

4 [決定]

文字が確定します。
- 続けて文字を入力できます。

5 [メール] ▶ [決定]

文字入力が終了します。

入力方法を設定する

入力設定

お買い上げ時　入力方式：かな入力　入力予測：ON
自動カーソル：普通

1 [MENU] [8] [8] [3]

2 各項目を選択して設定

入力方式：
「かな入力」方式にするか「スロット入力」方式にするかを設定します。
- 「スロット入力」に設定すると、以下の項目は設定できません。

入力予測：
予測変換候補を表示するかどうかを設定します。

つづく

自動カーソル：

カーソルが右側に自動移動するまでの時間を設定します。

- 「OFF」に設定すると、自動移動しません。
- 「遅い」に設定すると、約 1.5 秒経過後に移動します。
- 「普通」に設定すると、約 1 秒経過後に移動します。
- 「速い」に設定すると、約 0.5 秒経過後に移動します。

3 [📖] を押す

文字入力中に設定を変更する

- 文字が確定される前やデコメールの装飾選択画面では変更できません。
- インライン入力中は自動カーソルの変更しかできません。

1 文字入力画面で [MENU] [7]

2 [1] ～ [3]

- 「かな入力」と「スロット入力」を切り替える：[1]
- 「入力予測 ON」と「入力予測 OFF」を切り替える：[2]
- 自動カーソルの移動時間を設定する：[3] ▶ [1] ～ [4]

付録／外部機器連携／困ったときには

外部機器との連携

困ったときには

メニュー一覧

- メニューの表示は、メニューの表示形式（メニュー設定）によって異なります。
- 文字の全角／半角は、実際の表示と異なる場合があります。

□：設定を変更している場合、各種設定リセットを行ってもお買い上げ時の設定には戻りません。

1 メール

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 受信メール	―	P219
2 新規メール	―	P202
3 チャットメール	―	P233
4 未送信メール	―	P219
5 送信メール	―	P219
6 問合せ		
1 ｉモード問合せ	―	P214
2 SMS 問合せ	―	P238
3 メール選択受信	―	P214
4 ｉモード問合せ設定	すべて選択	P229
7 SMS		
1 SMS 作成	―	P236
2 FOMA カード（UIM）受信 SMS	―	P239
3 FOMA カード（UIM）送信 SMS	―	P239
4 SMS設定	送信文字種：日本語 送達通知：要求しない 有効期間：3 日 SMSC：ドコモ アドレス:81903101652 Type of Number：international	P238
8 テンプレート読込み	―	P210
9 メール設定		
1 メール着信設定	着信音選択： メロディ／メール･メロディA 着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10 秒	P232
2 チャットメール着信設定	着信動作設定： メール着信動作に従う	P235
3 メール振り分け設定	受信振り分け設定：ON 送信振り分け設定：ON	P226
4 署名設定	自動挿入：する 署名：未登録	P228
5 メール返信設定		
1 メール返信引用設定	引用：する 引用文字：>（半角）	P230
2 クイック返信設定	ON	P230
3 クイック返信本文登録	OK です。 NG です。 ありがとう！ ゴメンなさい！ 後ほど連絡します。	P230
6 メールグループ	―	P229
7 受信・表示設定		
1 受信表示設定	操作優先	P232
2 メール選択受信設定	OFF	P229
3 メール受信添付ファイル設定	画像、メロディ受信	P230
4 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P231
5 メール一覧表示設定	2 行表示	P230

2 ｉモード

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 ｉMenu	―	P176
2 Bookmark	―	P181
3 Internet		
1 URL 入力	―	P180
2 URL 履歴	―	P181
4 画面メモ	―	P183
5 ラスト URL	―	P178
6 ｉモード問合せ	―	P214
7 メッセージ		
1 メッセージ R	―	P189
2 メッセージ F	―	P189
3 メッセージ設定		
1 メッセージ自動表示	メッセージ R 優先	P189
2 ｉモード問合せ設定	すべて選択	P229
3 添付ファイル自動再生設定	自動再生する	P231
4 メッセージ着信設定	着信音選択： メロディ／メール・メロディ A 着信イルミネーション設定：点滅／アクア バイブレータ設定：OFF 鳴動時間：10 秒	P189
8 ｉチャネル		
1 ｉチャネル一覧	―	P257
2 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P257
9 ｉモード設定		
1 ツータッチサイト表示	未登録	P182
2 表示・効果設定	画像、アニメーション：表示する 端末情報データ利用設定：利用する 照明設定：端末設定に従う 効果音設定：ON	P187

メニュー			お買い上げ時	参照先
9 iモード設定				
	3 iモーション設定		自動再生設定：自動再生する iモーションタイプ設定：標準タイプ	P195
	4 接続待ち時間設定		60秒間	P186
	5 接続先設定		iモード(FOMAカード)	P187
	6 証明書設定			
		1 証明書表示／使用設定※1	すべて有効	P191
		2 ユーザ証明書操作	―――	P191
		3 証明書発行接続先設定	ドコモ	P192

3 i アプリ

メニュー		お買い上げ時	参照先
1 ソフト一覧		―――	P244
2 iアプリ設定			
	1 ソフトの並べ替え	ダウンロード日時順	P252
	2 自動起動設定	ON	P248
	3 ソフト情報表示設定	OFF	P244
	4 照明設定	端末設定に従う	P246
	5 バイブレータ設定	ON	P246
	6 ワンタッチiアプリ表示	未登録	P248
3 履歴表示		―――	P245 P249 P250

4 電話帳／履歴

メニュー		お買い上げ時	参照先
1 電話帳検索		全件表示（50音）	P100
2 電話帳登録		―――	P95
3 FOMAカード（UIM）登録		―――	P98
4 着信履歴		―――	P63
5 リダイヤル		―――	P54
6 伝言メモ／音声メモ			
	1 伝言メモ設定	停止する	P72
	2 伝言メモ一覧	―――	P75
	3 音声メモ録音	―――	P331
	4 音声メモ一覧	―――	P331
7 自局番号		自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P48 P330

5 データBOX

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 ミュージック	―――	P273
2 モバHO!	―――	P267
3 マイピクチャ	―――	P286
4 iモーション	―――	P292
5 メロディ	―――	P301
6 キャラ電	―――	P298

6 生活ツール

メニュー		お買い上げ時	参照先
1 赤外線／PCデータ連携			
	1 赤外線全件送信	―――	P308
	2 赤外線受信	―――	P309
	3 データ送受信設定	通信終了音：OFF 自動認証：なし 電話帳の画像送信：あり	P312
	4 USBモード設定	通信モード	P269
2 カメラ		―――	P157
3 ビデオカメラ		―――	P161
4 サウンドレコーダー		―――	P313
5 スケジュール帳		―――	P321
6 メモ帳		―――	P334
7 アラーム		未設定	P319
8 電卓		―――	P334

7 オーディオ

メニュー		お買い上げ時	参照先
1 モバHO!※2		音量：13レベル チャンネル番号：401ch 音声多重切替：主音声 着信動作設定：着信優先 サウンド設定：OFF 音量上限設定：OFF	P261
2 モバHO!番組表		―――	P262
3 モバHO!チャンネル設定※2		指定の15チャンネル	P264
4 モバHO!設定			
	1 機器情報	―――	P261
	2 着信動作設定※2	着信優先	P279
5 ミュージックプレイヤー※2		音量：13レベル 音声多重切替：主音声（モバHO!データ再生のみ） ビジュアル設定：アニメーション画像 サウンド設定：OFF プレイモード：通常再生 リピート：OFF 音量上限設定：OFF	P265
6 FMラジオ※2		音量：13レベル 周波数：76.0MHz オート／モノラル：オート 音量上限設定：OFF	P274
7 USBモード設定		通信モード	P269
8 情報表示／リセット			
	1 オーディオ設定状況確認	―――	P282
	2 オーディオ設定リセット	―――	P282
9 オーディオメモリ初期化		―――	P282

8 設定

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 音／バイブ		
1 音の設定	電話： メロディ／電話・メロディB メール： メロディ／メール・メロディA チャットメール：メール連動 メッセージR、メッセージF：メロディ／メール・メロディA 通話保留音： 保留音・ボイス テレビ電話：メロディ／ ■ FLOW スライドオープン： メロディ／スライド･オープン音3 スライドクローズ： メロディ／スライド・クローズ音3	P114
2 着信音量調整		
1 電話着信音量調整	レベル4	P66
2 メール着信音量調整	レベル4	P66
3 受話音量調整	レベル4	P65
4 キー確認音設定	キー確認音3	P117
5 電池アラーム音設定	ON	P45
6 マナーモード選択	通常マナーモード	P119
7 バイブレータ設定	すべてOFF	P116
8 呼出動作開始時間設定	OFF	P150
9 充電確認音設定	ON	P117
2 ディスプレイ		
1 待受画面設定		
1 待受画面選択	■ TGB design	P120
2 カレンダー設定	――――――	P123
3 時計表示設定	デザイン：デジタル1 形式：24時間表示 表示位置：下	P133
4 画面のカスタマイズ	――――――	P124
5 テロップ表示設定	テロップ表示：表示する テロップ速度：普通	P257
6 イメージ以外を解除	――――――	P126
2 発着信画面表示設定		
1 電話発信設定	標準画像	P126
2 電話着信設定	着信音： メロディ／電話・メロディB イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／オーシャン	P66
3 テレビ電話発信設定	標準画像	P126
4 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／ ■ FLOW イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／オーシャン	P66
5 人物画像表示設定	ON	P127
6 メール送信画像設定	標準画像	P127
7 メール受信画像設定	標準画像	P127
8 問合せ画像設定	標準画像	P127
9 着信表示設定	電話着信時電話番号： 表示する 電話着信時名前表示： 通常表示 メール／メッセージ着信時表示：表示する	P128
3 カラーテーマ設定	■ TGB design	P129
4 電池マーク設定	→→	P131
5 照明設定	照明方法：点灯 点灯時間：10秒 範囲：ディスプレイ＋キー ディスプレイの明るさ：標準 ACアダプタ接続時動作： 端末設定に従う	P128
6 イルミネーション設定	新着通知、通話中：OFF テレビ電話着信、音声着信：点滅／オーシャン メール着信、メッセージR着信、メッセージF着信、チャットメール着信：点滅／アクア アラーム、スケジュール：OFF メロディ再生：メロディ連動／レインボー スライドオープン、スライドクローズ：ゆっくり点滅／ガーネット	P131
7 文字表示設定		
1 文字サイズ設定	中（標準）	P132
2 バイリンガル	Japanese	P134
8 トータルコーディネイト設定	■ TGB design	P134
3 セキュリティ／ロック		
1 ロック		
1 オールロック	未設定	P140
2 PIMロック	OFF	P143
3 遠隔ロック	OFF	P141
2 シークレットモード	未設定	P147
3 ダイヤル発信制限	OFF	P144

メニュー	お買い上げ時	参照先
3 セキュリティ／ロック		
4 FOMA カード（UIM）	PIN1 コード、PIN2 コード：0000 PIN1 コード ON ／ OFF：OFF	P138
5 暗証番号変更	0000	P137
6 プライバシーモード設定	電話帳・履歴、メール、マイピクチャ、i モーション、スケジュール、i アプリ：表示する 自動起動：OFF	P144
7 スキャン機能		
1 パターンデータ更新	――	P403
2 自動更新設定	有効	P403
3 スキャン機能設定	有効	P403
4 バージョン表示	――	P404
8 プロテクトキー動作設定	スライドオープン時は解除	P146
4 情報表示／リセット		
1 通話時間	――	P332
2 設定状況確認	――	P338
3 電池レベル表示	――	P45
4 通話料金		
1 通話料金表示	――	P332
2 通話料金上限通知	OFF	P333
3 上限通知アイコン消去	――	P333
4 通話料金自動リセット設定	OFF	P333
5 各種設定リセット	――	P338
6 データ一括削除	――	P339
5 時計		
1 日付時刻設定※3	自動時刻補正：ON オフセット時間： ＋、00 時間 00 分	P46
2 自動電源 ON 設定	OFF	P319
3 自動電源 OFF 設定	OFF	P319
4 時計表示設定	デザイン：デジタル 1 形式：24 時間表示 表示位置：下	P133
5 アラーム自動電源 ON 設定	OFF	P321
6 発着信・通話機能		
1 電話発信設定	標準画像	P126
2 電話着信設定	着信音： メロディ／電話・メロディ B イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／オーシャン	P66
3 発番号なし動作設定	すべて設定解除	P149

メニュー	お買い上げ時	参照先
6 発着信・通話機能		
4 応答保留ガイダンス設定	内蔵音	P68
5 エニーキーアンサー設定	ON	P62
6 イヤホン機能設定		
1 イヤホン切替設定	イヤホン＋スピーカー	P337
2 オート着信機能設定	OFF	P336
3 イヤホンスイッチ設定	OFF	P336
7 メモリ着信拒否／許可		
1 メモリ別着信拒否／許可	設定解除	P148
2 メモリ登録外着信拒否	OFF	P151
8 発着信詳細設定		
1 優先通信モード設定	設定なし	P67
2 プレフィックス設定	009130010	P57
3 国際ダイヤル自動付加	自動付加	P57
4 サブアドレス設定	ON	P58
5 着信中オープン応答	OFF	P62
9 通話詳細設定		
1 ノイズキャンセラ設定	ON	P59
2 再接続アラーム設定	アラーム高音	P58
3 通話保留音設定	保留音・ボイス	P69
4 通話品質アラーム設定	アラーム高音	P117
5 通話中クローズ設定	通話継続	P62
7 テレビ電話		
1 テレビ電話発信設定	標準画像	P126
2 テレビ電話着信設定	着信音：メロディ／ ■ FLOW イメージ表示：標準画像 バイブレータ：OFF イルミネーション： 点滅／オーシャン	P66
3 テレビ電話動作設定	音声自動再発信：OFF テレビ電話画面設定：両方 子画面表示：自画像 画面サイズ設定：大 発信時自画像送信：ON 送信画質設定：標準 照明設定：常灯（標準） スピーカーホン設定：ON	P88

メニュー	お買い上げ時	参照先
7 テレビ電話		
4 テレビ電話画像選択	代替画像：標準キャラ電 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像：標準画像	P89
5 テレビ電話使用機器設定	本体	P91
6 テレビ電話切替機能通知		
1 切替機能通知開始	開始	P90
2 切替機能通知停止	—	P90
3 切替機能通知設定確認	—	P90
8 文字入力／その他		
1 単語登録	—	P360
2 定型文登録	—	P359
3 入力設定	入力方式：かな入力 入力予測：ON 自動カーソル：普通	P361
4 セルフモード設定	OFF	P142
5 NW 検索方法	ネットワーク自動検索	P337
6 ソフトウェア更新	—	P399
7 クイック起動設定	OFF	P338
8 スライド編集設定	すべて ON	P318

9 NWサービス

メニュー	お買い上げ時	参照先
1 留守番電話		
1 留守番サービス		
1 留守番サービス開始	—	P342
2 留守番呼出時間設定	—	P342
3 留守番サービス停止	—	P342
4 留守番設定確認	—	P342
5 留守番メッセージ再生	—	P342
6 留守番サービス設定	—	P342
7 メッセージ問合せ	—	P342
2 件数増加鳴動設定	件数通知音：ON 通知メロディ：パターン 1	P342
3 着信通知		P342
1 着信通知開始	—	P342
2 着信通知停止	—	P342
3 着信通知開始設定確認	—	P342
4 表示消去	—	P342
2 キャッチホン		
1 キャッチホン開始	—	P343
2 キャッチホン停止	—	P343
3 キャッチホン設定確認	—	P343
3 転送でんわ		
1 転送サービス開始	—	P344
2 転送サービス停止	—	P344
3 転送先変更	—	P344
4 転送先通話中時設定	—	P344
5 転送サービス設定確認	—	P344
4 迷惑電話ストップ		
1 迷惑電話着信拒否登録	—	P344
2 電話番号指定拒否登録	—	P344
3 迷惑電話全登録削除	—	P344
4 迷惑電話 1 登録削除	—	P344
5 拒否登録件数確認	—	P344
5 発信者番号通知		
1 発信者番号通知設定	—	P48
2 発信者番号通知確認	—	P48
6 番号通知お願いサービス		
1 番号通知開始	—	P345
2 番号通知停止	—	P345
3 番号通知確認	—	P345
7 通話中着信設定		
1 通話中着信設定開始	—	P346
2 通話中着信設定停止	—	P346
3 通話中着信設定確認	—	P346
8 通話中着信動作選択	通常着信	P346
9 その他の NW サービス		
1 USSD 登録	—	P348
2 応答メッセージ登録	—	P348
3 遠隔操作設定		
1 遠隔操作開始	—	P346
2 遠隔操作停止	—	P346
3 遠隔操作設定確認	—	P346
4 英語ガイダンス		
1 ガイダンス設定	—	P345
2 ガイダンス設定確認	—	P345
5 デュアルネットワーク		
1 デュアルネットワーク切替	—	P345
2 デュアルネットワーク状態確認	—	P345
6 サービスダイヤル		
1 ドコモ故障問合せ	—	P346
2 ドコモ総合案内・受付	—	P346
7 マルチナンバー		
1 通常発信番号設定	—	P347
2 通常発信番号設定確認	—	P347
3 電話番号設定	基本契約番号：基本契約番号／自局電話番号 付加番号 1：付加番号 1 ／未登録 付加番号 2：付加番号 2 ／未登録 マルチナンバー発信：無効	P347
4 着信設定	個別設定：OFF	P347
8 規制※4		

0 自局番号

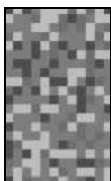
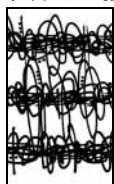
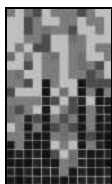
メニュー	お買い上げ時	参照先
自局番号	自局電話番号はご契約の電話番号、それ以外は未登録	P48 P330

※１：各種設定リセットを行うと、FOMA カードに保存されている証明書もすべて有効になります。
※２：お買い上げ時の設定に戻すには、オーディオ設定リセットを行ってください。☛P282
※３：各種設定リセットを行っても、日付と時刻は保持されます。
※４：本端末ではご利用になれません。

お買い上げ時に登録されているデータ

待受画面用の画像／ｉモーション

■ 画像

■TGB design※1（お買い上げ時）　■GLAMOOVE※1　■Prag　Dot Pattern※1　Square generator※1　■酢毛糸寝具※1　■DRESSCAMP

■NEWSTENCH STUDIO　■RYUJI KAMIYAMA　■TGB design※1　■GLAMOOVE※1　■Prag※1　Dot Wave※1　Square Sound※1

Paint※1　Stripes※1　Color※1

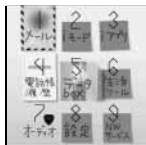
■ ｉモーション

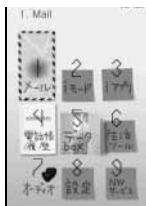
Space Traveler※2

Space Traveler

※１：Flash 画像です。
※２：着モーションにも設定できます。

ノーマルメニュー

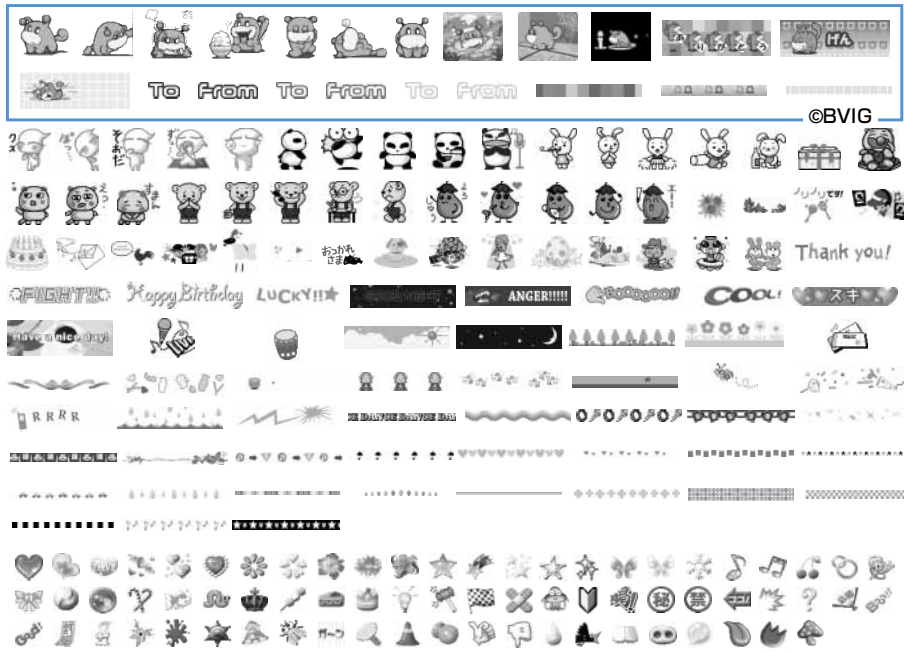
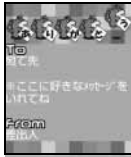
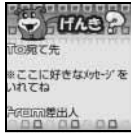
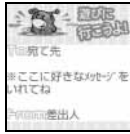
■ タイルアイコン

■ TGB　■ GLMV　■ Prag　タイル 1　タイル 2

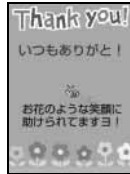
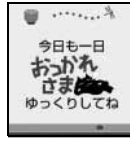
■ アニメーション

■ TGB　■ GLMV　■ Prag

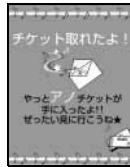
デコメールピクチャ用画像

次の画像が、データ BOX のマイピクチャの「デコメールピクチャ」フォルダに保存されています。

- 削除した場合は、ｉ モードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P372
- 画像によっては、背景色を白以外に設定しないと絵柄がわかりにくいものがあります。

メールテンプレート

ありがとう　げんき？　遊びにいこう　ありがとう　おめでとう！　誕生日おめでとう

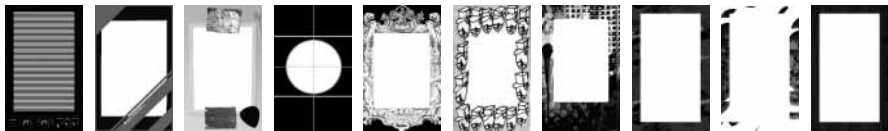
©BVIG　©BVIG　©BVIG

元気？　頑張って　ノリノリです！　おつかれさま　サイコー！　幸せ気分

好きです…　お願い　電話します　チケット取れた　行こうよ　来て来て！

カラオケ行こうよ　ドライブ　おはよ！　なごむ〜　おやすみ　反省してます

泣けるぅ　ちょっと怒ったよ　忙しいよぉ　踊りましょ　飲みたい気分　つまんない

フレーム

- 削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P372

■ 待受用（240 × 400）サイズ

■ QVGA（240 × 320）サイズ

■ QCIF（176 × 144）サイズ

スタンプ

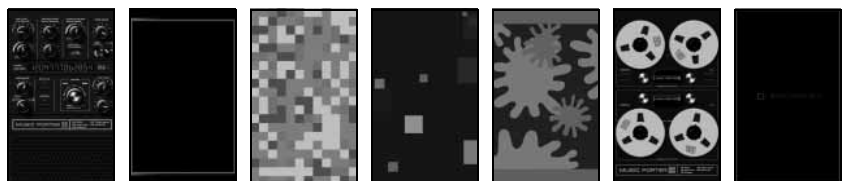
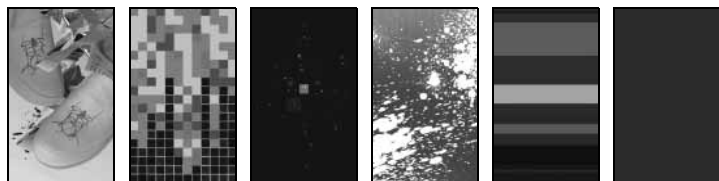
キャラ電

• 削除した場合は、ｉモードサイト「My D-style」からダウンロードできます。☛P372

■ ブンブン（Dimo）

全体アクション

1 嬉しい	4 ラブラブ	7 着ぐるみ
2 ごめんなさい	5 病気	8 拾ってください
3 びっくり	6 酔っぱらい	9 成金

ビジュアル設定用 Flash 画像

■ TGB design ■ GLAMOOVE Dot Pattern Square generator ■酢毛糸寝具 ■ TGB design ■ GLAMOOVE

■ Prag Dot Wave Square Sound Paint Stripes Color

ｉモードサイト「My D-style」へのアクセス方法

「My D-style」には、ｉMenu の「3 メニューリスト」→「ケータイ電話メーカー」から接続してください（2006 年 2 月現在）。

ダイヤルキーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	ひらがな／漢字モード（全角）※1	カナモード（全角／半角）※1	英字モード（全角／半角）※1	数字モード（全角／半角）※3
1	あ い う え お 1	ア イ ウ エ オ 1	. ／ @ ￣※2 －：＿ [￥] ＾ ｀ { ｜ } 1	1
2	か き く け こ 2	カ キ ク ケ コ 2	a b c 2	2
3	さ し す せ そ 3	サ シ ス セ ソ 3	d e f 3	3
4	た ち つ て と 4	タ チ ツ テ ト 4	g h i 4	4
5	な に ぬ ね の 5	ナ ニ ヌ ネ ノ 5	j k l 5	5
6	は ひ ふ へ ほ 6	ハ ヒ フ ヘ ホ 6	m n o 6	6
7	ま み む め も 7	マ ミ ム メ モ 7	p q r s 7	7
8	や ゆ よ 8	ヤ ユ ヨ 8	t u v 8	8
9	ら り る れ ろ 9	ラ リ ル レ ロ 9	w x y z 9	9
0	わ を ん ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	ワ ヲ ン ー 、 。 ・ ？ ！ 「 」 □ 0	！ ” ＃ ＄ ％ ＆ ’ （ ） ＊ ＋ ， ； ＜ ＝ ＞ ？ □ 0	0 ＋※4
＊	゛ ゜	゛ ゜	半角の場合のみ次の文字列が入力可 @docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm	＊ P※4
#※5	改行	改行	改行	# T※4

□：空白を示します。　　：文字入力後に［ ］を押すたびに、大文字と小文字が切り替わります。
※1：全角の数字モード以外の数字は半角で入力されます。
※2：半角の英字モードは「~」で入力されます。
※3：数字モードの「＊」「#」「P」「T」「+」は、これらの文字が有効な入力欄のみ入力できます。
※4：該当するキーを1秒以上押すと入力できます。
※5：入力欄によっては改行できない場合があります。

入力バーの文字割り当て一覧（スロット入力方式）

入力バー		ひらがな／漢字モード（全角）
上段	あ	あいうえおぁぃぅぇぉ1
	か	かきくけこ 2
	さ	さしすせそ 3
	た	たちつてとっ 4
	な	なにぬねの 5
	゛゜	゛゜
下段	は	はひふへほ 6
	ま	まみむめも 7
	や	やゆよ ゃゅょ 8
	ら	らりるれろ 9
	わ	わをんー 、 。？！「」□0
	↵	改行

入力バー		カナモード（半角）
上段	ｱ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ1
	ｶ	ｶｷｸｹｺ 2
	ｻ	ｻｼｽｾｿ 3
	ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ 4
	ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ 5
	ﾞ	ﾞﾟ
下段	ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎ 6
	ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ 7
	ﾔ	ﾔﾕﾖ ｬｭｮ 8
	ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ 9
	ﾜ	ﾜｦﾝｰ､｡?!｢｣□0
	↵	改行

入力バー		英数字モード（半角）
上段	.	./@~－:_[¥]^`{｜}1
	A	ABCabc2
	D	DEFdef3
	G	GHIghi4
	J	JKLjkl5
	定	@docomo.ne.jp .com .or.jp .go.jp .ne.jp .co.jp .ac.jp http://www. www. .html .htm
下段	M	MNOmno6
	P	PQRSpqrs7
	T	TUVtuv8
	W	WXYZwxyz9
	!	!"#$%&'()*+,;<=>?□0
	↵	改行

□：ひらがな／漢字モードでは全角の空白、カナモード、英数字モードでは半角の空白を示します。
- ひらがな／漢字モードでは、「゛」と「゜」は［ ］を押すたびに切り替わります。
- 数字は半角で表示されます。

定型文一覧

・顔文字１（72件）

(^-^)	m(__)m	(^^;)	(^^)v	(;_;)
o(^o^)o	＼(^O^)／	(^o^)／	d=(^o^)=b	(*^_^*)
(^^ゞ	(^｡^;)	σ(^_^;	(ToT)	(^^)/~~
(ToT)/~~	(>_<)	(*_*)	(+_+)	(@_@)
(?_?)	(=_=)	(^_-)	(^∧^)	(-_-;)
w(ﾟoﾟ)w	(^3^)/～☆	(☆o☆)	(-_-)zzz	☆彡
(^ワ^)	v(^o^)	(^◇^)	(^-^)/	o(^-^)o
(^－ﾟ)b	(^_-)-☆	(｡･_･｡)/	(･_･ゞ-☆	～(m~-~)m
＼(~o~)／	(#￣3￣)	(￣(エ)￣)	(^-^)_旦~	ヽ(´∇`)/
＼(*^∇^*)/	～(￣∇￣～)	^－^)人(^－^	ε=┌(･_･)┘	(^∇^)σ)~O~)
(~∇~@)♪♪♪	ヾ(￣◇￣)ノ))	ε=ヾ(*~∇~)ノ	(^_^;	(._.)
(･_･、	(~∧~;)	(ﾟ～ﾟ)	(>_<")	(-｡-)
(-_-#)	(-_-)	_(._.)_	(´□`)	(´－`)
(´￢`)	(´ω`)	(・_・?)	(・｡・)	o(T□T)o
Σ(￣□￣;)	･ﾟ･(>_<)･ﾟ･			

・顔文字２（28件）

_･)ｿｫｰｯ	('-'*)ｴﾍ	(-_☆)ｷﾗﾘ	(･_*)＼ﾍﾟﾁ
(^-^＞了解	[壁]_-) ﾁﾗｯ	(~－~) ﾍｴ～	(;￢_￢)ｱﾔｼｲ
(-_ゞｺﾞｼｺﾞｼ	(; -_-)=3 ﾌｩ	{{(>_<)}}ｻﾑｲ	Σ(ﾟﾛﾟ;)ﾅﾆｰ!!
(ﾟ∇^)] ﾓｼﾓｼ	ヾ(*'-'*)ﾏﾀﾈｰ	(≧∇≦)/ ﾊﾊﾊ	φ(..)ﾒﾓﾒﾓ♪
(･_･)ノ~ ﾟ ﾎﾟｲ	ﾁｶﾞｰｳ(-_-)ノノ	o(^-^)○☆ﾊﾟﾝﾁ	d (>◇<) ｱｳﾄ!
__(-_-)__ｾｰﾌ!	(>_<)(>_<)ｲﾔｰ	＼(o￣∇￣o)ﾊｰｲ	(~-~;)ヾ(-_-;)ｵｲ
(￣～￣) ﾓｸﾞﾓｸﾞ	<("0")> ﾅﾝﾃｺｯﾀ!	凸ヽ(^-^) ﾀｲｺﾊﾞﾝ	(･_･、ヾ(^-^)ﾖｼﾖｼ

・一般（20件）

おはよう	おやすみ
おはよー！今日も一日がんばりましょう。	昨日は、とっても楽しかったです。どうもありがとう。
連絡下さい。	今から電話してもいいですか？
ごめんなさい、遅れます。	今日は○○の日です。早く帰って来てね。
○○まで迎えに来て！お願いします。	○○について知っている人は○○までに○○に教えて下さい。
もう少し待ってて！	
いってらっしゃい。	留守電にメッセージをお願いします。
○○で待ってます。	ただいま電話にでることができません。メールでご用件をお知らせ下さい。
集合時間は○○、集合場所は○○です。	
今日は外で食べて帰ります。ご飯はいりません。	メールありがとう。
○○の写真送ります。	最近の○○○の写真です。

・遊び（20件）

今なにしてるの？電話かメールを下さい。	どこか、遊びに行こーよ！
電話ちょうだい！電話番号は○○です。	おくれちゃう、ゴメン！
どこにいるの？	集合！
時間だよーん！！	トラブル発生！！
会いたい！	大好き！
みんなで飲みませんか？○○に○○。	今日○○に、○○へ行きませんか？
○○の待ち合わせ時間と場所、決めようよ。	○○に行かない？
○○のメンバー募集！詳しくは○○まで連絡下さい。	

今度みんなで○○へ行きましょう。○○までで、都合の良い日を教えて下さい。	
今度みんなで○○へ行きましょう。いいところがありましたら、お知らせ下さい。	
○○しませんか？日時：○○、場所：○○。出欠をご連絡下さい。	
メッセージ下さい！！	○○の時の写真だよ。

• ビジネス（20 件）

本日の○○会議は、○○となりました。	本日の○○訪問は、○○となりました。
○○へ直行します。	○○へ直帰します。
電車遅延のため、○○遅れます。	至急 TEL 下さい。
予定変更！ TEL 下さい。	待ち合わせ変更！場所：○○、時間：○○
○○頃まで、携帯電話の電源を切ります。	振込口座：○○銀行○○支店、口座番号○○、名義人名○○です。
○○の件、よろしくお願い致します。	
今日、一杯どうですか？連絡下さい。	FAX 確認願います。
次の指示を待て。	変更します。
延期します。	中止します。
○○での写真送ります。	今わかりません。
あとで連絡します。	

• 応答（20 件）

Thank you!	Good!	OK です。	NG です。
いいよ。	行きます。	了解。	ダメ！
ごめんネ･･･	スミマセン、無理です。	本当？	おまかせっ！！
関係ないね！	うらやましー。	お疲れさま。	反対。
賛成。	待ってました！	それは残念。	写真届きました。

• その他（20 件）

またねー！	今どこ？	お誕生日おめでとう。	おめでとう。
まじでー！？	まかせなさい！！	キャンセル。	いってきます。
頑張って！	ありがとう！	www.	.ne.jp
.co.jp	.or.jp	.ac.jp	.net
.com	.org	.html	http://

• 絵文字ことば（20 件）

絵文字ことば	意味例	絵文字ことば	意味例	絵文字ことば	意味例
	ハロー！／またね		ごきげん		ピース
	るんるん		落ち込む		どうしよう
	ぷんぷん		怒ってるぞ		メロメロ
	パニック		寝ます		チュッ！
	ラブラブ		ダッシュ		えっ何？
	写真を撮る		がんばれ！		独りぼっち
	カラオケ		サッカー		

• 意味例を入力しても絵文字ことばは表示できません。

• ユーザ作成（最大 50 件）

登録した定型文が表示されます。

記号一覧

半角	□ ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ﾞ ﾟ
全角	□、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“ ”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄ ¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒ ⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝ ΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψωАБВГД ЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийк лмнопрстуфхцчшщъыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳ ┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦ ⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹ ㍾㍽㍼≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪

□：半角／全角の空白を示します。
• 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

絵文字一覧

ひらがな／漢字モードで読みを入力して変換できます。

- 絵文字1は「えもじ」と入力しても変換できます。
- 絵文字2は「えもじに」と入力しても変換できます。
- 絵文字を入力してｉモード端末以外の相手にメールを送信すると、正しく表示されない場合があります。
- 絵文字2を入力してメールを送信すると、相手端末によっては正しく表示されない場合があります。

絵文字1

絵文字	読み
	はーと
	はーと
	しつれん　はーと
	はーと
	うれしい　にこ　かお
	おこる　いかり　むかかお
	がっかり　かなしい　かお
	かなしい　かお
	ふらふら　かお
	いぬ　どうぶつ
	ねこ　どうぶつ
	はれ　てんき　たいよう
	くもり　てんき　くも
	あめ　てんき　かさ
	ゆき　てんき
	かみなり　てんき
	たいふう　てんき　うずまき

絵文字	読み
	きり　てんき
	こさめ　てんき　かさ
	るんるん　おんぷ　おんがく
	むーど　おんぷ　おんがく
	おんせん　ふろ　おふろ
	かわいい　はな
	きすまーく　きす　くち
	ぴかぴか　きらきら
	ひらめき　でんきゅう　ぴかぴか
	むか　いかり　おこる
	ぱんち　て　ぐー
	ばくだん
	ねむい　ねむり　すいみん　ねる
	びっくり
	びっくり　はてな
	びっくり

絵文字	読み
	どん　しょうげき
	あせ
	あせ
	だっしゅ
	ちょうおん
	ちょうおん
	けってい　おーけー　おっけー
	みぎうえ　みぎななめうえ　やじるし
	みぎした　みぎななめした　やじるし
	ひだりうえ　ひだりななめうえ　やじるし
	ひだりした　ひだりななめした　やじるし
	ぐっど　やじるし
	ばっど　やじるし
	め

絵文字	読み
	みみ
	ぐー て
	ちょき ぶい ぴーす て
	ぱー て
	あし
	はーと とらんぷ
	すぺーど とらんぷ
	だいや とらんぷ
	くらぶ くろーばー とらんぷ
	でんしゃ のりもの てつどう
	ちかてつ のりもの
	しんかんせん のりもの
	くるま のりもの じどうしゃ
	くるま のりもの じどうしゃ
	ばす くるま のりもの
	ふね のりもの
	ひこうき のりもの くうこう
	りぞーと よっと のりもの
	くりすます つりー
	いえ じたく
	びる かいしゃ
	ゆうびんきょく ゆうびん
	びょういん
	ぎんこう
	えーてぃーえむ ぎんこう
	ほてる
	こんびにえんすすとあ こんびに
	がそりんすたんど がそり ん がすすた がそすた
	ちゅうしゃじょう ぱーきんぐ ぱーく
	しんごう
	といれ
	れすとらん しょくじ ごはん
	きっさてん こーひー かっぷ かふぇ
	ばー かくてる さけ
	びーる さけ
	ふぁーすとふーど はんばーがー
	ぶてぃっく くつ ひーる

絵文字	読み
	びよういん はさみ とこや
	からおけ まいく
	えいが
	ゆうえんち もくば
	おんがく へっどほん
	あーと
	えんげき
	いべんと
	ちけっと きっぷ
	すぽーつ しゃつ
	やきゅう すぽーつ ぼーる
	ごるふ すぽーつ
	てにす すぽーつ
	さっかー すぽーつ ぼーる
	すきー すぽーつ
	ばすけっとぼーる ばすけ ばすけっと すぽーつ
	もーたーすぽーつ ふらっぐ はた すぽーつ
	ぽけっとべる ぽけべる
	きつえん たばこ
	きんえん たばこ
	かめら
	かばん ばっぐ
	ほん
	りぼん
	ぷれぜんと
	ばーすでー ろうそく たんじょうび
	でんわ
	でんわ けいたいでんわ けいたい けーたい
	めーる
	めも
	てれび
	げーむ
	しーでぃー おんがく
	くつ すにーかー
	めがね
	くるまいす
	おひつじざ せいざ
	おうしざ せいざ
	ふたござ せいざ
	かにざ せいざ
	ししざ せいざ

絵文字	読み
	おとめざ せいざ
	てんびんざ せいざ
	さそりざ せいざ
	いてざ せいざ
	やぎざ せいざ
	みずがめざ せいざ
	うおざ せいざ
	しんげつ つき
	つき
	はんげつ つき
	みかづき つき
	まんげつ つき
	でんわ けいたいでんわ けいたい けーたい
	めーる
	ふぁっくす
	あいもーど
	あいもーど
	どこも
	どこも
	ゆうりょう えん おかね かね
	むりょう ふりー
	あいでぃー
	ぱすわーど かぎ ろっく
	りたーん えんたー
	くりあ
	さーち むしめがね
	にゅー
	いちじょうほう はた ふらっぐ
	ふりーだいやる
	しゃーぷだいやる
	もばきゅー
	いち すうじ
	に すうじ
	さん すうじ
	よん し すうじ
	ご すうじ
	ろく すうじ
	なな しち すうじ
	はち すうじ
	きゅー きゅう く すうじ
	ぜろ れい すうじ
	かちんこ えいが
	ふくろ

絵文字	読み
	ぺん
	ひとかげ　ひと
	いす

絵文字	読み
	よる　つき
	すーん
	おん

絵文字	読み
	えんど　おわり
	とけい　じかん

絵文字2

絵文字	読み
	じてんしゃ　のりもの
	れんち　こうぐ　しゅうり
	ぱそこん　ぴーしー
	えんぴつ
	くりっぷ
	さゆう　やじるし
	じょうげ　やじるし
	りさいくる
	えぬじー
	まるひ　ひみつ
	きんし
	くうしつ　くうせき くうしゃ　あき
	ごうかく
	まんしつ　まんせき まんしゃ　まん
	きけん　けいこく　びっくり
	こぴーらいと　しー
	とれーどまーく てぃーえむ
	れじすたーどとれーどまー く　あーる
	あいあぷり
	あいあぷり
	どるぶくろ　おかね　かね
	うでどけい　とけい　じかん
	すなどけい　とけい
	おにぎり　おむすび
	しょーとけーき　けーき

絵文字	読み
	ぱん
	どんぶり　らーめん
	ゆのみ　おちゃ
	とっくり　にほんしゅ さけ
	わいんぐらす　わいん さけ
	ばなな　くだもの
	りんご　くだもの
	さくらんぼ　くだもの
	くろーばー　よつば　は はっぱ
	ちゅーりっぷ　はな
	め　は　はっぱ
	もみじ　は　はっぱ
	さくら　はな
	かたつむり　どうぶつ
	ひよこ　とり　どうぶつ
	ぺんぎん　どうぶつ
	さかな　どうぶつ
	うま　どうぶつ
	ぶた　どうぶつ
	てぃーしゃつ　しゃつ
	じーんず　じーぱん　ずぼん
	けしょう　くちべに
	ゆびわ　りんぐ
	おうかん
	ちゃぺる　べる　あらーむ
	どあ　とびら

絵文字	読み
	がっこう
	なみ　うみ
	ふじさん　やま
	すのぼ　すのーぼーど
	はしる　ひと　だっしゅ
	うーん　かお
	ほっ　にこ　かお
	あせ　かお
	あせ　かお
	むっ　むか　かお
	ぼけ　かお
	はーと　かお
	あっかんべー　べー　かお
	うぃんく　かお
	うれしい　にこ　かお
	がまん　かお
	ねこ　どうぶつ　かお
	えーん　かなしい　なく かお
	なみだ　かなしい　なく かお
	うまい　おいしい　かお
	うっしっし　うれしい　かお
	げっそり　さけび　かお
	おーけー　ぐっど　て おっけー
	らぶれたー　てがみ　めーる
	さいふ　おかね　かね

区点コード一覧

• 実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(ｽﾍﾟｰｽ)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

つづく

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る					
466	瑠	塁	涙	累	類					
					れ					
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

つづく

区点 1~3桁	区点4桁目									
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに、発生・実行する処理の動作可否を次に示します。

○：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できます。
×：現在の通信状態を維持したまま、新たに通信を実行できません。

発生・実行する処理 / 現在の状態	音声電話		テレビ電話		i モード	i モードメール	
	発信	着信	発信	着信	接続	送信	受信
音声電話通話中	×※1	×※1、2	×	×※3	○	○	○※4
テレビ電話通話中	×	×※3	×	×※3	×	×	×
i モード中	○	○	×※5	×※6	×	○	○
i モードメール送受信中	○	○	×※5	×※6	○	○※7	○※7
SMS送受信中	○	○	○	○	○	○※7	○※7
i アプリ動作中	○※8	○※8	○※8	○※8	×	○	○※4
パケット通信中	○	○	×	×※6	×	×	×
64Kデータ通信中	×	×※2、9	×	×※3	×	×	×
モバHO!録音中	×※10	○	×	○※11	○	○	○
ソフトウェア更新中	×	○	×	×※6	×	×	×
データ転送中(赤外線通信／USB接続)	×	×	×	×	×	×	×
オーディオメモリモード切替中	×	×	×	×	×	×	×
オーディオメモリ初期化中	×	×	×	×	×	×	×

発生・実行する処理 / 現在の状態	SMS		パケット通信		64Kデータ通信		データ転送(赤外線通信)	
	送信	受信	発信	着信	発信	着信	送信	受信
音声電話通話中	○	○※4	○	○	×	×※3	×	×
テレビ電話通話中	×	○※4	×	×	×	×※3	×	×
i モード中	○	○	×	×	×	×※6	×	×
i モードメール送受信中	○※7	○※7	×	×	×	×※6	×	×
SMS送受信中	○※7	○※7	○	○	送信中：× 受信中：○	○	×	×
i アプリ動作中	○	○※4	○	○	○	○	○	×
パケット通信中	○※12	○※4	×	×	×	×※6	×	×
64Kデータ通信中	×	○※4	×	×	×	×※3	×	×
モバHO!録音中	○	○	○	○	×	○	×	×
ソフトウェア更新中	×	×	×	×	×	×※6	×	×
データ転送中(赤外線通信／USB接続)	×	×	×	×	×	×	×	×
オーディオメモリモード切替中	×	×	×	×	×	×	×	×
オーディオメモリ初期化中	×	×	×	×	×	×	×	×

- 外部機器と接続してテレビ電話を行う場合は、64Kデータ通信中の動作になります。
- 赤外線通信中、USB 接続でデータ転送中、オーディオメモリモード中は、いずれの通信も実行できません。

※1： キャッチホンを「開始」に設定している場合、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2： 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3： キャッチホンを「開始」に設定している場合、着信履歴に不在着信として記録されます。
※4： 着信音は鳴りません。
※5： i モード通信中の場合は、i モード通信が切断されます。

※６：　着信履歴に不在着信として記録されます。
※７：　送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※８：　ｉ アプリのメロディは鳴らなくなります。また、ｉ アプリで ｉ モード通信中の場合は次のようになります。
- テレビ電話をかけると、ｉ モード通信が切断されます。
- テレビ電話がかかってくると、その電話着信は拒否されます。

※９：　キャッチホンを「開始」に設定している場合、現在の通信を終了して電話を受けるか、着信を拒否するかを選択できます。
※ 10：緊急通報（110 番、119 番、118 番）は可能です。
※ 11：テレビ電話に出たときはモバ HO! 機能が停止します。
※ 12：電話帳から SMS を作成・送信できます。

マルチタスクの組み合わせ

現在実行中／設定中の機能ごとに、新規起動メニュー項目の選択可否を次に示します。

○：選択可能　×：選択不可

実行中機能／状態 ＼ 新規起動メニュー項目	ダイヤル発信	1メール 1受信メール	1メール 2新規メール	1メール 3チャットメール	1メール 4未送信メール	1メール 5送信メール	1メール 6問合せ 1iモード問合せ	1メール 6問合せ 2SMS問合せ	1メール 6問合せ 3メール選択受信	1メール 7SMS 1SMS作成	1メール 7SMS 2FOMAカード（UIM）受信SMS	1メール 7SMS 3FOMAカード（UIM）送信SMS	1メール 8テンプレート読込み	2iモード 1iMenu	2iモード 2Bookmark	2iモード 3Internet 1URL入力	2iモード 3Internet 2URL履歴	2iモード 4画面メモ	2iモード 5ラストURL	2iモード 6iモード問合せ	2iモード 7メッセージ 1メッセージR	2iモード 7メッセージ 2メッセージF	2iモード 8iチャネル一覧
電話／ダイヤル入力	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
64K データ通信	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×
PPP データ通信	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
送信／未送信／受信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／ SMS 作成	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
テンプレート読込み	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMA カード受信／送信メール	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージ R/F	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
ｉ モード問合せ	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
SMS 問合せ	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉMenu	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
Internet URL 入力／ Internet URL 履歴／ Bookmark ／ラスト URL	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
画面メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
ｉ チャネル	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
ｉ アプリ一覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
ｉアプリ／ｉアプリダウンロード	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×
ｉ モーション／メロディ／マイピクチャ／キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カメラ／ビデオカメラ／ サウンドレコーダー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モバHO!聴取中・録音中・番組表	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミュージックプレイヤー／ FM ラジオ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電話帳／メモ帳／スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル（通常モード）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル（参照モード）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ｉ モードメール受信	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
SMS 受信	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×
FOMA カード未挿入時	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×
PIN ロック解除 10 回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×
セルフモード中	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	○	○	×
ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIM ロック中	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
FOMA カード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

つづく

○：選択可能　×：選択不可

新規起動メニュー項目＼実行中機能／状態	3 iアプリ一覧	4 電話帳・履歴 1 電話帳	4-2 着信履歴	4-3 リダイヤル	4-4 伝言メモ・音声メモ 1 伝言メモ一覧	4-4-2 音声メモ録音	4-4-3 音声メモ一覧	4-5 自局番号	5 データBOX 1 ミュージック	5-2 モバHO!	5-3 マイピクチャ	5-4 iモーション	5-5 メロディ	5-6 キャラ電	6 生活ツール 1 カメラ	6-2 ビデオカメラ	6-3 サウンドレコーダー	6-4 スケジュール帳	6-5 メモ帳	6-6 電卓	7 オーディオ 1 モバHO!	7-2 モバHO!番組表	7-3 ミュージックプレイヤー	7-4 FMラジオ	0 自局番号
電話	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
ダイヤル入力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テレビ電話	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○
64K データ通信	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
PPP データ通信	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
送信／未送信／受信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メール／ SMS 作成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
チャットメール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
テンプレート読込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
FOMAカード受信／送信メール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メッセージ R/F	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
iモード／SMS問合せ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
i Menu	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
Internet URL 入力／Internet URL 履歴／Bookmark／ラストURL	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
画面メモ	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
i チャネル	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
i アプリ一覧	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
iアプリ／iアプリダウンロード	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
i モーション	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
メロディ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
マイピクチャ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
キャラ電	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
カメラ	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
ビデオカメラ／サウンドレコーダー	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
モバ HO! 聴取中・録音中・番組表	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
ミュージックプレイヤー／FM ラジオ	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
電話帳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
メモ帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
スケジュール帳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
電卓	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル（通常モード）	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着信履歴／リダイヤル（参照モード）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自局番号	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
iモードメール／SMS受信	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
伝言メモ／音声メモ	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
アラーム／スケジュールアラーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外部機器によるテレビ電話	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○
FOMA カード未挿入時	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIN ロック解除 10 回失敗によるロック中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
セルフモード中／ダイヤル発信制限中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
PIM ロック中	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
FOMA カード読み込み中	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 選択可能な機能でも、起動状況やロック設定の状況などによって、実行できない場合があります。
- モバ HO! 録音中のダイヤル発信は、緊急通報（110 番、119 番、118 番）のみ可能です。
- セルフモード中の i チャネル一覧は、FOMA 端末に i チャネル情報が取得されている場合、表示のみ可能です。

FOMA 端末から利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内 およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）　午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋ 177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

おしらせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と 1 回の通話ごとの取扱手数料 90 円（税込 94.5 円）がかかります（2006 年 2 月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料 100 円（税込 105 円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から 116 番（NTT 営業窓口）までお問い合わせください（2006 年 2 月現在）。
- FOMA 端末から 110 番・119 番・118 番通報の際は、発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず 10 分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送電話」をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116 番（NTT 営業窓口）、ダイヤル Q2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください（一般電話、公衆電話から FOMA 端末へおかけになる際のクレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA 端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック　D07
- リアカバー　D09
- 卓上クレードル　D01
- FOMA AC アダプタ　01
- FOMA 海外兼用 AC アダプタ　01
- FOMA DC アダプタ　01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク　P01 ／ P02
- 平型ステレオイヤホンセット　P01
- イヤホンジャック変換アダプタ　P001
- スイッチ付イヤホンマイク　P001※1 ／ P002※1
- ステレオイヤホンセット　P001※1
- イヤホンターミナル　P001※1
- マイク付リモコン　D02
- アンテナ内蔵ヘッドホン　D01
- FOMA USB 接続ケーブル
- FOMA 室内用補助アンテナ
- 車載ハンズフリーキット　01※2
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01
- 車内ホルダ　01

※ 1：イヤホンジャック変換アダプタ　P001 が必要です。
※ 2：FOMA D851iWM と接続するには、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル　01 が必要です。

データリンクソフトのご紹介

「FOMA D シリーズ　データリンクソフト」を使って、ブックマークなどのデータを、FOMA端末と接続したパソコンとの間で転送できます。「FOMA D シリーズ　データリンクソフト」は、添付のCD-ROMに収録されている他、次のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.MitsubishiElectric.co.jp/musicporterx/

●データリンクソフトのインストールについては、添付のCD-ROMの「DataLink」フォルダ内の「README_DL.txt」をご覧ください。
●ダウンロード方法、転送可能データ、操作方法、動作環境など詳細については、上記ホームページ、または、データリンクソフトのヘルプをご覧ください。

- パソコンとの接続には、付属のUSB接続ケーブルを使います。
- FOMA端末にダウンロードした情報は、著作権法によりデータリンクソフトでもFOMA端末から外に転送できません。また、FOMA端末から外への出力が禁止されているデータも転送できません。

対応OS

Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition
- 上記OSが動作するPC/AT互換機

ご使用にあたって

- 著作権について
  本ソフトウェアはフリーウェアとして無料配布を行っておりますが、著作権は三菱電機株式会社に帰属します。
- 免責事項について
  三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの不稼動、稼動不良を含む法律上の瑕疵担保責任、その他の保証責任を負わないものとします。また、三菱電機株式会社は、本ソフトウェアの商品性、またはお客様の特定の目的に対する適合性について、いかなる保証も行わないこととします。

データリンクソフトに関する技術的なお問い合わせ先

三菱電機データリンクサポートセンター
03-5319-3762
受付時間：
平日 9：00 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00
（土・日・祝日、年末年始および所定の休日を除く）
- ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

動画再生ソフトのご紹介

パソコンで動画（MP4ファイル）を再生するには、アップルコンピュータ株式会社のQuickTime Player（無料）ver.6.4以上（またはver.6.3 + 3GPP）が必要です。
QuickTime Playerは以下のホームページからダウンロードいただけます。
http://www.apple.com/jp/quicktime/download/
- ダウンロードするには、インターネットと接続した環境のパソコンが必要です。また、ダウンロードにあたっては別途通信料がかかります。
- 動作環境、ダウンロード方法、操作方法など詳細は、上記ホームページをご覧ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックしていただき、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。☛P398

電源・充電関連

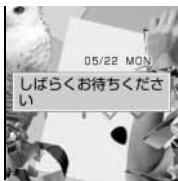
●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P41
- 電池切れになっていませんか。☛P45
- デュアルネットワークサービスで mova 端末が有効となっている場合、FOMA 端末でのサービスの利用はできません。FOMA 端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

●ディスプレイ上部のアイコンが点滅し、ピピピというアラーム音が出ている
電池が少なくなっています。充電してください。☛P42

●充電できない
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。☛P41
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- AC アダプタ（別売）のコネクタが FOMA 端末の外部接続端子や卓上クレードル（別売）の接続端子にしっかりと差し込まれていますか。☛P44
- 卓上クレードル（別売）に FOMA 端末が正しく取り付けられていますか。☛P44

●充電中に着信ランプが赤く点滅する
通話／通信中の場合は、直ちに終了してください。FOMA 端末から別売りの AC アダプタ（卓上クレードル）や DC アダプタを外してセットし直し、正しい方法で再度充電してください。☛P43、P44
以上の操作をしても正常に充電できない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

電話関連

●ディスプレイに「しばらくお待ちください」と表示され、消えない

- 回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルキーを押すと、文字情報を消去できます。
- 110 番、119 番、118 番には電話をかけることができます。ただし、状況によりつながらない場合があります。

●ダイヤルキーを押しても発信できない
- オールロックを設定していませんか。☛P140
- 遠隔ロックを設定していませんか。☛P141
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P144
- セルフモードを設定していませんか。☛P142

●ディスプレイに「圏外」と表示され、話中音（ツーツー）が出る
サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか。☛P46

●電話をかけたが話中音（ツーツー）が出てつながらない
- 市外局番を忘れていませんか。☛P50
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 「圏外」の表示が出ていませんか。☛P46

●着信音が鳴らない
- 着信音量を「Silent」（消音）に設定していませんか。☛P65
- 次の機能を設定していませんか。
  - ・メモリ別着信拒否／許可 ☛P147
  - ・発番号なし動作設定 ☛P149
  - ・呼出動作開始時間設定 ☛P150
  - ・メモリ登録外着信拒否 ☛P151
- マナーモードに設定していませんか。☛P118
- 公共モード（ドライブモード）に設定していませんか。☛P70
- オールロックを設定していませんか。☛P140
- セルフモードに設定していませんか。☛P142
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を「0 秒」に設定していませんか。☛P343、P344

●エニーキーアンサー機能で音声電話を受けることができない
エニーキーアンサー設定を「OFF」に設定していませんか。☛P62

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
受話音量の設定を変更していませんか。聞き取りやすい受話音量に調整してください。☛P65

●リダイヤル／着信履歴が勝手に削除される
- ダイヤル発信制限を設定していませんか。☛P144
- PIM ロックを設定していませんか。☛P143

●電話がかかってきたとき、設定していない着信音が鳴る
- 複数の機能で着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ①マルチナンバーの着信設定
  ②FOMA 端末電話帳の設定
  ③FOMA 端末電話帳のグループ設定
  ④音の設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P144

●**電話がかかってきたとき、設定していないイメージが表示される**

- 電話着信設定の着信音に音声と映像のある動画／ｉモーションが設定されている場合は、イメージは設定した動画／ｉモーションになります。
- 複数の機能で着信画像を設定している場合は、次の優先順位でイメージが表示されます。
  ①マルチナンバーの着信設定
  ②FOMA 端末電話帳の設定
  ③FOMA 端末電話帳のグループ設定
  ④電話着信設定／テレビ電話着信設定
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P144

●**電話がかかってきたとき、設定していないイルミネーションパターン、イルミネーションカラーで着信ランプが動作する**

- 複数の機能でイルミネーションパターンやイルミネーションカラーを設定している場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳のグループ設定
  ③イルミネーション設定／電話着信設定／テレビ電話着信設定
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P144

設定・操作関連

●**メニューのアイコンが鍵のアイコンになり、選択できない**

各種ロック機能やFOMAカード未挿入などの理由で機能が実行できない場合は、アイコンが🔒で表示され、選択できません。

●**キー確認音が鳴らない**

- キー確認音設定を「OFF」に設定していませんか。☛P117
- マナーモードに設定していませんか。☛P118

●**FOMA端末の電源を入れると「FOMAカード（UIM）を挿入してください」とメッセージが表示される**

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMA カードが正しく取り付けられているかご確認ください。☛P38

●**ディスプレイに「このカードは認識できません」と表示される**

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P38

●**ディスプレイに「オールロック中」と表示されている**

オールロック中です。解除してください。☛P140

●**ディスプレイに「遠隔ロック中」と表示され、操作できない**

遠隔ロック中です。解除してください。☛P141

●**ディスプレイに何も表示されていない**

照明設定で点灯時間を「常時」以外に設定していませんか。何も操作せずに約 90 秒が経過すると画面の表示が消えます。☛P128
キー操作をすると再び表示されます。

●**待受画面に🔑が表示され、操作できない**

プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P146

●**キーを押しても操作できない**

プロテクトキーロック中のため、キーの操作が無効になっています。解除してください。☛P146

●**ディスプレイが暗い**

照明設定の明るさの設定を「低輝度」に設定していませんか。☛P128

●**ディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない**

照明設定の照明方法の設定を「消灯」に設定していませんか。☛P128

●**自動電源ONを「ON」に設定しても、指定した時刻に電源が入らない**

電源を切る操作や自動電源 OFF 機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、自動電源 ON の機能は動作しません。

●**アラーム設定やスケジュールを設定しても、電源が切れているときに指定した日時に動作しない**

- 電源を切る操作や自動電源OFF機能以外で電源が切れると（電池パックが外れてしまった場合など）、これらの機能は動作しません。
- アラーム自動電源 ON 設定を「ON」に設定してください。☛P321

●**通話料金が積算されなくなった**

通話料金の FOMA カードへの積算が上限（約 1677 万円）に達した可能性があります。リセットすることにより 0 円に戻せます。☛P332

メール・データ関連

●**ダウンロードデータ・メール添付のファイル・メッセージR/Fの表示や再生ができない**

FOMA カード動作制限機能により、FOMA カードを差し替えた場合や FOMA カードを差し込んでいない場合は、これらの機能は動作しません。☛P40

●**メール受信時に、設定していないメール着信音が鳴る**

- 複数の機能でメール着信音を設定している場合は、次の優先順位で着信音が鳴ります。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳のグループ設定
  ③音の設定／メール着信設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従いメール着信音が鳴ります。
- メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信音を設定していますか。
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P144

●**メール受信時に、電話帳に登録されている名前や着信音が動作しない**

- 相手の電話番号またはメールアドレスと電話帳に登録されている電話番号またはメールアドレスが一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを電話帳に登録してください。☛P95
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P144

●**メール受信時に、設定していないメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーで着信ランプが動作する**

- 複数の機能でメール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーが設定されている場合は、次の優先順位で着信ランプが動作します。
  ①FOMA 端末電話帳の設定
  ②FOMA 端末電話帳のグループ設定
  ③イルミネーション設定／メール着信設定
- 複数のメールを同時に受信したときは、最後に受信したメールに設定されている条件に従い、メール着信イルミネーションパターンとメール着信イルミネーションカラーで点灯／点滅します。
- メールの発信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、メール着信イルミネーションパターン、メール着信イルミネーションカラーを設定していますか。
- プライバシーモードを設定していませんか。☛P144

●**静止画や動画が や で表示される**

データが壊れている場合は正しく表示できず、 や で表示されます。

BeatJam 関連

●**FOMA端末とパソコンを接続しても、BeatJam-D851iWM転送メニュー画面が表示されない**

- BeatJam-D851iWM 転送メニュー画面を「表示しない」に設定していませんか。☛BeatJam 取扱説明書
- USB ドライバが正しくインストールされているか確認してください。☛P271

モバ HO! 関連

●**モバHO!を契約したにもかかわらず、モバHO!が聴取できない**

- 「圏外」の表示が出ていませんか。☛P262
- 未契約の有料番組を聴取していませんか。☛P261
- 長期間モバ HO! を聴取しなかった場合は、モバ HO! 起動時に「モバ HO! カスタマーセンターへご連絡ください(E221)」と表示される場合があります。モバイル放送カスタマーセンターにお問い合わせください。☛P260

こんな表示が出たら

エラーメッセージ一覧

FOMA 端末に表示される主なエラーメッセージを 50 音順に示します。

- エラーメッセージ中の「(数字)」または「XXX」は、ｉモードセンターから送信されたエラーを区別するためのコードです。
- エラーメッセージ中に「E220」または「E221」が表示されたときは、モバ HO! 関連のエラーコードです。モバイル放送カスタマーセンターにお問い合わせください。お問い合わせの際には、エラーコードをご連絡ください。☛P260

英字

●**FOMAカード（UIM）がいっぱいです**

FOMA カードの保存領域の空きが不足しているため SMS を保存できません。FOMA カード内の SMS を削除するか ☛P240、FOMA 端末に移動してください。☛P240

●**FOMAカード（UIM）が異なるためご利用できません**

サイトやインターネットホームページからデータをダウンロードしたときや、メールの添付ファイル、メッセージ R/F を保存したときとは異なる FOMA カードを挿入しています。ダウンロードまたは保存したときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●**FOMAカード（UIM）が異なるため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●**FOMA カード（UIM）が挿入されていないためご利用できません**

FOMA カードが挿入されていません。FOMA カードを挿入して利用してください。☛P38

●**FOMA カード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした**

サイトなどからダウンロードしたときのFOMAカードと連携して利用するｉアプリを起動できません。ダウンロードしたときと同じFOMAカードを挿入して利用してください。

●**ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？**

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多い場合に表示されます。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリの通信を終了して継続するには「いいえ」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●**ｉアプリ利用を継続し、通信を行いますか？**

ｉアプリ利用時の通信回数が一定時間内に著しく多く、「ｉアプリの通信回数が多くなっています。通信を継続しますか？」のメッセージが表示された後で、再度ｉアプリが通信しようとしました。ｉアプリを継続して利用するには「はい」、ｉアプリを終了するには「ｉアプリ終了」を選択します。

●**ｉモーション再生サイズを超えています**

ｉモーションのデータ取得時に、データが 500K バイトを超えたため受信を中断しました。

●**ｉモーション再生サイズを超えました**

ｉモーションのデータ取得時、またはデータ取得中の再生時に、データが 500K バイトを超えたため受信または再生が完了しませんでした。

●**ｉモーション最大サイズを超えています**

ストリーミングタイプのｉモーションのデータ取得時に、サイズが 2M バイトを超えたため受信を中断しました。

●ｉモーション最大サイズを超えました
ストリーミングタイプのｉモーションのデータ取得時に、サイズが2Mバイトを超えたため取得が完了しませんでした。

●ｉモードセンターが混みあっています。しばらくお待ち下さい（555）
ｉモードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●PIMロック中です
PIMロック中は、禁止されている操作はできません。

●PINロック解除コードがロックされています
ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

●SMSセンター設定を確認してください
SMS設定の「SMSC」の設定が誤っています。設定を確認してください。☛P238

●SSL通信が切断されました
SSL通信中にエラーが発生したか、サーバ側での認証エラーのためSSL通信が中断されました。

●SSL通信が無効です
SSL通信の認証処理で問題が検出されました。接続は中止されます。

●SSL通信が無効に設定されています
FOMA端末の証明書が無効に設定されています。接続するには設定を変更してください。☛P191

●SSL通信を切断しました
SSL通信中にサイトの証明書に問題を検出しました。接続確認画面で「いいえ」を選択した場合に表示され、SSL通信が切断されます。

●URLが正しくありません
入力したURLにエラーがあります。URLを確認してください。

●URLが長すぎて登録できません
URLが登録可能な文字数を超えているためブックマークまたは画面メモに登録できません。

ア

●宛先をご確認ください
SMSの送信に失敗しました。宛先が正しいかどうか確認してください。

●アドレスが登録されていません
選択したメールグループ内にメールアドレスが登録されていません。メールアドレスを登録してください。☛P229

●アドレスをご確認ください
メールグループに入力したメールアドレスにエラーがある、または入力されていません。メールアドレスを確認してください。

●以下の宛先にはメール送信できませんでした（561）
いくつかの宛先にｉモードメールを送信できませんでした。[↓]を押すと送信に失敗した宛先が表示されます。宛先が正しいかどうか確認の上、電波状態のよい場所で送信し直してください。

●移動できませんでした
データの複数移動または全件移動時に、すべてのデータを移動できませんでした。

●エラーが発生したため録音が中断されました
モバHO!録音中に、他の機能を長時間操作し続けたときに録音が中断される場合があります。エラー発生直前（約1分前）のモバHO!データは保存されません。

●エラーが発生したため保存できません
添付ファイル保存時にエラーが発生したため、保存できません。

●遠隔操作可能なサービスは未契約です
留守番電話サービスおよび転送でんわサービスが未契約です。留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを利用するには別途ご契約が必要です。

●応答がありませんでした（408）
サイトやインターネットホームページから規定時間内に応答がないため、通信が切断されました。しばらくたってから操作し直してください。

カ

●カード情報を認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。☛P38

●画像に誤りがあり正しく動作しません
画像データに誤りがあるため、Flash画像を表示できません。

●画像を表示できません
添付しようとする画像がない、または画像にエラーがあるため表示できません。画像を確認してください。

●規定のアクセス回数を超えたため参照できません（491）
10000バイトを超える静止画の取得時に、規定のアクセス回数を超えました。

●圏外です
電波の届かない場所かFOMAサービスエリア外にいるため実行できません。

●更新できませんでした
パターンデータの更新に失敗しました。他に起動している機能をすべて終了後、電波状態のよい場所で更新し直してください。

●このｉモーションを再生するためにはｉモーションタイプ設定を変更してください。今すぐ設定を行いますか？
ｉモーションタイプ設定が「標準タイプ」の設定のままストリーミングタイプのｉモーションを取得しようとしました。「はい」を選択してｉモーション設定でｉモーションタイプを変更してください。設定しないときは「いいえ」を選択します。☛P195

●このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、FOMAカードに異常があります。FOMAカードの取り付けを確認してください。☛P38

●この画像は保存できません
サイトや画面メモ、メッセージR/F内の画像にエラーがあるため、保存できません。

●このキャラ電は表示できません
データに不正があるキャラ電は表示できません。

●このサイトとのSSL通信は無効です
サイトの証明書が書き換えられています。接続できません。

●このサイトの安全性が確認できません。接続しますか？
サイトの証明書が、FOMA端末が対応していない証明書です。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●このサイトは安全でない可能性があります。接続しますか？
サイトの証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。

●**この接続先の安全性が確認できません。接続しますか？**
FOMA 端末の証明書の有効期限前か期限が過ぎています。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P191
また、日付・時刻が未設定または間違っている場合にも表示されることがあります。その場合は日付・時刻を正しく設定してください。☛P46

●**この接続先は安全でない可能性があります。接続しますか？**
サイトの証明書の CN 名（サーバ名）が実際のサーバ名と一致していません。接続するときは「はい」を、接続を中止するときは「いいえ」を選択します。☛P191

●**このソフトは現在利用できません**
IP（情報サービス提供者）によってｉアプリの使用が停止されています。

●**このチャンネルは受信できません（E210）**
チャンネル番号入力画面で音声チャンネル番号以外は選局できません。音声チャンネル番号を入力してください。

●**このデータは再生できない可能性があります**
FOMA 端末が対応していない形式の動画／ｉモーションです。または、動画ファイルが破損している可能性があります。

●**このデータは表示できません**
メールテンプレートにエラーが発生したため、表示できません。

●**このデータは保存できません。取得しますか？**
ｉモーションを保存できませんが、取得するときは「はい」を、取得しないときは「いいえ」を選択します。

●**このデータを取得するためには時刻設定をしてください**
日付・時刻が設定されていないため受信できません。日付・時刻を設定してください。☛P46

●**この番組は受信できません**
聴取制限が設定されているため受信できません。

●**この番組は録音できません。録音を中止しました**
録音中にコピー禁止または聴取制限が設定された番組になりました。また、録音中に番組が終了したり、契約が解除されました。

●**この番組は放送休止中です（E203）**
選局したチャンネル番号の放送番組は休止中です。選局し直してください。

●**これ以上入力できません**
入力可能な文字数を超えています。文字数を減らしてください。

●**コンテンツ不正のためダウンロードできません**
課金対象コンテンツが不正のためダウンロードできません。

サ

●**サービス未契約です**
- ｉモードの契約がされていません。ｉモードを利用するには申し込みが必要です。
- ｉモードを途中から契約された場合は、FOMA 端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

●**サービス未提供です**
SMS が未提供です。

●**再生可能日前です。再生できません**
ｉモーションに設定されている再生期間より前のため再生できません。再生可能日以降に再生してください。
☛P294

●**再生制限データに誤りがあるため、取得できません**
再生制限データが誤っているため取得できません。

●**再生できません**
メロディやｉモーションのデータが再生できません。

●**再生できませんでした**
再生できない音楽データです。

●**最大サイズを超えたので中断しました**
- サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えたため受信を中断しました。[↓]を押すと正常に受信した部分までを表示します。
- キャラ電、デコメールテンプレート、または 10000 バイトを超える静止画のダウンロード時に最大サイズを超えたため受信を中断しました。

●**最大サイズを超えています。受信できません（452）**
サイトやインターネットホームページのサイズが最大サイズを超えているため、受信できません。

●**最大文字数を超えたため引用できない部分がありました**
返信時に、SMS の本文が 70 文字（送信種別が英語の場合は160文字）を超えたため、引用できない文字がありました。

●**最大文字数を超えました**
返信時に、ｉモードメールの本文が全角 5000 文字（半角 10000 文字）を超えました。文字数を減らして送信してください。

●**サイトが移動しました（301）**
サイトやインターネットホームページが自動的にURL転送を行っているか、URL が変更されています。

●**サイトに接続できませんでした（403）**
指定のサイトやインターネットホームページに接続を拒否されるなど、何らかの原因で接続できませんでした。

●**指定サイトがみつかりません（404）**
サイトなどが見つかりませんでした。URL が正しいかどうか確認してください。

●**指定サイトに表示データがありません（204）**
指定のサイトにデータがありませんでした。

●**指定先にジャンプできません**
ｉモーションのテロップにサイト（Web To）などのリンクが設定されているとき、URL が 256 文字を超えている場合や取得を中断した場合は、リンク先を表示できません。

●**指定されたソフトがありません**
メールや外部機器から指定されたｉアプリがFOMA端末に保存されていません。

●**指定されたソフトが起動できませんでした**
ｉアプリにエラーが発生したため、ｉアプリを起動できません。
サイトやメール、外部機器からｉアプリ To 機能で指定されたｉアプリを起動するとき、ソフト動作設定や起動条件などに問題がある場合はｉアプリを起動できません。

●**指定したサイトへは接続できませんでした（504）**
何らかの原因で指定のサイトなどに接続できませんでした。操作し直してください。

●**指定したファイルが見つかりません（492）**
10000 バイトを超える静止画の取得時に、指定ファイルが見つかりませんでした。

●しばらくお待ちください
- 回線がたいへん混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。
- ｉ モードの利用が現在規制されています。しばらくたってから操作し直してください。

●受信が中断されました。受信できなかったメッセージがあります
受信中にエラーが発生したため、SMS をすべて受信できませんでした。電波状態のよい場所に移動して、SMS問合せを行ってください。
☛P238

●受信メールがいっぱいです
受信メールの保存領域の空きが不足しているため、ｉ モードメールを受信できません。未読の ｉ モードメールを読むか、ｉ モードメールの保護を解除するか、ｉ モードメールを削除してください。

●受信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールの受信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●受信を拒否されました
SMS センターにSMSの受信を拒否されました。

●情報が正しくないため再生できませんでした
添付されたメロディや動画／ｉ モーションのデータが不正なため再生できませんでした。

●署名をつけることができません
- 本文と署名の合計文字数が最大文字数を超えるため、署名を添付できません。本文の文字数を減らすか、署名を添付せずに送信してください。
- SMS 設定で送信文字種が「英語」に設定されているため、署名を添付できません。送信文字種を「日本語」に変更してください。
☛P238

●新規パターンデータがリリースされました。スキャン機能のパターンデータ更新を起動してください
パターンデータの自動更新に失敗しました。手動でパターンデータ更新を行ってください。☛P403

●既にメッセージをお預かりしています
既に SMS は送信済みです。

●正常に受信できませんでした。モバHO!機能を終了します(E110)
FOMA 端末に異常があるためモバHO! を受信できません。取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

●正常に接続できませんでした（400）
- サイトやインターネットホームページのエラーにより接続できません。URL が間違っている可能性があります。URL が正しいかどうかを確認してください。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●赤外線　FOMA カード（UIM）が挿入されていないため指定されたソフトが起動できませんでした
FOMA カードが挿入されていないため、赤外線通信で受信したデータにｉ アプリ To が設定されていても、指定されている ｉ アプリを起動できません。

●赤外線　接続相手が見つかりません。処理を継続しますか？
赤外線通信状態にしてから通信する相手が見つからないまま 5 秒以上経過しました。20cm 以内の距離で、相手の赤外線ポートにFOMA端末を向けてから「はい」を選択してください。☛P307

●赤外線　中断されました
赤外線通信中にエラーが発生しました。赤外線通信中は、データの送受信が終了するまでFOMA端末を相手の赤外線ポートに向けたまま動かさないでください。☛P307

●赤外線　認証接続できませんでした
認証パスワードが正しくないため、全件送信ができませんでした。送信側と受信側で同じ認証パスワードを入力してください。☛P308、P309

●セキュリティエラーのため、ｉ アプリ待受画面を解除しました
許可されていない操作をしようとしたため、ｉ アプリ待受画面が終了しました。

●セキュリティエラーのため、終了しました
許可されていない操作をしようとしたため、ｉ アプリが終了しました。セキュリティエラー履歴に記録されます。

●接続が中断されました
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●接続できません
ｉ モードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした
サーバとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●接続できませんでした（503）
サーバのメンテナンスや回線の混雑などのため接続に失敗しました。しばらくたってから操作し直してください。

●接続できませんでした（562）
ｉ モードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●設定時間内に接続できませんでした
ｉ モードセンターが混み合っています。しばらくたってから操作し直してください。

●セルフモード中です
セルフモード中は禁止されている操作はできません。

●送信できませんでした
ｉ モードメールまたは SMS の送信に失敗しました。電波状態のよい場所で送信し直してください。

●送信できませんでした（552）
ｉ モードセンターまたは SMS センター側のエラーにより、ｉ モードメールまたは SMS の送信に失敗しました。しばらくたってから送信し直してください。

●送信できません。宛先を確認してください（451）
ｉ モードメールまたは SMS が送信できません。宛先が正しいかどうか確認してください。

●送信メールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？
チャットメールの送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●送信を拒否されました
SMS の送信が拒否されました。

●そのソフトは最新です
既に最新の ｉ アプリにバージョンアップされているため、バージョンアップできません。

●ソフトに誤りがあります
ｉ アプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

●**ソフトに誤りがあるため、ダウンロードできません**
i アプリのデータに誤りがあるためダウンロードできません。

タ

●**対応機種ではありません**
ダウンロードしようとした i アプリが本FOMA端末に対応していないため、ダウンロードできません。

●**ダイヤル発信制限中です**
ダイヤル発信制限中は禁止されている操作はできません。

●**ダウンロードできませんでした**
受信中に通信が中断されました。電波状態のよい場所に移動し、しばらくたってから操作し直してください。

●**ただいま利用制限中の為しばらくしてからご利用下さい**
i モードパケット定額サービスをご利用の場合に限り、一定時間内に著しく大量のデータ通信があったときに表示されます。一定時間接続できなくなることがありますので、しばらくたってから i モードをご利用ください。

●**他の機能が起動中のため起動できません**
他に起動している機能をすべて終了してから、パターンデータの更新を行ってください。

●**チャットメールのデータが壊れています　お買い上げ時の状態に戻しますか？**
チャットメールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**チャネル情報取得失敗しました**
i モードセンターとの接続に失敗しました。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●**データが壊れています。お買い上げ時の状態に戻しますか？**
メールのデータにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。お買い上げ時の状態に戻さないとメールを起動できません。

●**データが不正です**
ダウンロードしたキャラ電、デコメールテンプレート、または 10000 バイトを超える静止画のデータにエラーがあります。

●**データまたはオーディオメモリにエラーが発生したため録音が失敗しました**
録音中にエラーが発生したため録音データは保存されません。繰り返し同じエラーが表示される場合は、オーディオメモリを初期化してください。☛P282

●**データまたはオーディオメモリにエラーが発生しました**
繰り返し同じエラーが表示される場合は、オーディオメモリを初期化してください。☛P282

●**電話中のため開始できません**
通話中は、FM ラジオを聴くことはできません。通話を終了してから受信を開始してください。

●**電話中のため再生できません**
通話中は、ミュージックプレイヤーを再生することはできません。通話を終了してから再生を再開してください。

●**電話中のため動画撮影・録音はできません**
通話中のカメラ撮影時は動画撮影および音声録音への切り替えはできません。通話を終了してから動画撮影・音声録音に切り替えてください。

●**問合せできませんでした**
電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。それでも同じエラーになる場合は、しばらくたってから操作し直してください。

●**登録中です。しばらくしてからご利用ください（554）**
i モードへのユーザ登録中です。しばらくたってから操作し直してください。

ナ

●**長すぎる項目がありました。入力が完全ではありません**
サイトなどに表示されている項目を選択して電話帳に登録するときに、文字数が規定の長さを超えています。[保存]を押すと各項目の最大文字数を超えた部分が削除された状態で電話帳登録画面が表示されます。

●**入力データまたは URL が長すぎます**
サイトやインターネットホームページの入力欄に入力された文字数が多すぎて送信できません。文字数を減らしてから送信し直してください。

●**入力データをご確認ください（205）**
サイトやインターネットホームページの入力データに誤りがあります。入力データを確認してください。

●**認証タイプに未対応です（401）**
認証タイプに未対応のため、指定のサイトやインターネットホームページには接続できません。

●**認証を中止しました**
基本認証画面で認証を中止したときに表示されます。

ハ

●**バージョン表示できませんでした**
パターンデータのバージョンを確認できません。再度パターンデータを更新してください。☛P403

●**パスワードをご確認ください（401）**
サイトやインターネットホームページの基本認証画面に入力したユーザ名かパスワードに誤りがあります。再入力してください。

●**発信できません**
音声電話中、テレビ電話中、または 64K データ通信中に音声電話、テレビ電話の発信はできません。

●**日付時刻が設定されていません。起動できません**
日付・時刻が未設定の場合、 i アプリ DX、アラーム、スケジュール帳を起動できません。日付・時刻を正しく設定してから起動してください。☛P46

●**表示されていないデータも含めて保存可能件数を超えています。これ以上録音できません**
パソコンでの不正な操作により保存可能件数（500 曲）を超えるデータが存在します。オーディオメモリを初期化してください。

●**ファイルを添付することができません**
1 件のメールに添付可能な最大件数を超えました。

●**不正なデータのため保存できません**
ダウンロードしたキャラ電に不正があるため、キャラ電を保存できません。

●**保存可能件数を超えているため表示できないデータがあります**
パソコンでの不正な操作により保存可能件数（500 曲）を超えるデータが存在します。オーディオメモリを初期化してください。

●**保存できません**

- 赤外線通信で受信したデータがFOMA 端末で対応していないファイル形式のため保存できません。
- メールテンプレート保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●**保存できませんでした**

10000 バイトを超える静止画の保存時に、データにエラーがあったため保存できません。

●**保存領域がいっぱいで保存できません**

FOMA 端末または FOMA カードの保存領域の空きが不足しているため、i モードメールまたはSMSを保存できません。SMSをFOMAカードまたはFOMA端末に移動、または i モードメールを削除してください。

マ

●**未送信メールのデータが壊れています お買い上げ時の状態に戻しますか？**

チャットメールの未送信データにエラーがあります。「はい」を選択してお買い上げ時の状態に戻します。「いいえ」を選択するとお買い上げ時の状態に戻さずチャットメールを終了します。

●**未保存のデータを本体に保存するか削除してください**

赤外線通信の INBOX にデータを保存したまま赤外線通信を終了できません。INBOX のデータを FOMA 端末に保存するか、削除してください。☛P309

●**無効なデータを受信しました(XXX)**

- 指定のサイトやインターネットホームページが i モードに対応していません。
- URL が間違っている可能性があります。URL が正しいかどうか確認してください。
- 受信データにエラーがあるため表示できません。
- 圏内自動送信メールの送信に失敗しました。

●**メール／メッセージがいっぱいです。これ以上受信できません**

FOMA 端末または FOMA カードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため SMS を受信できません。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してください。

●**メール／メッセージがいっぱいです。受信できなかったメッセージがあります**

FOMA 端末または FOMA カードの受信メールの保存領域の空きが不足しているため、SMS をすべて受信できませんでした。未読メールを読むか、メールの保護を解除するか、メールを削除してから SMS 問合せを行ってください。

●**メールデータを参照できませんでした**

- メールの削除時や検索時などに、他の処理で使用しているため、対象のメールデータを参照できませんでした。しばらくたってから操作し直してください。
- チャットメールでメールデータを参照できません。しばらくたってから操作し直してください。

●**メール受信処理中です。しばらくして、再度起動してください。**

メール･メッセージ R/F 受信中は i チャネルを起動できません。受信後に操作し直してください。

●**メールを表示できません**

受信、送信メールにエラーがあるため表示できません。

●**メッセージがいっぱいです**

保存領域の空きが不足しているためメッセージR/Fを受信できません。未読のメッセージ R/F を読むか、メッセージR/Fの保護を解除するか、メッセージR/Fを削除してください。

●**メモリ不足です**

メモリが不足したため処理を中断します。

●**メモリ不足です。メインメニューに戻ります**

メモリ不足が発生したため処理を中断して、メインメニューに戻ります。

●**モバ HO! カスタマーセンターへご連絡ください(E221)**

- モバHO!の契約がされていません。モバ HO! を利用するには申し込みが必要です。☛P260
- 長期間モバ HO! を聴取しなかった場合にも表示されることがあります。

●**モバ HO! カスタマーセンターへご連絡ください(E220)**

有料番組のため契約が必要です。聴取するには申し込みが必要です。☛P260

ヤ

●**ユーザ証明書がありません。継続しますか？**

ユーザ証明書がダウンロードされていません。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。

●**ユーザ証明書の有効期限が切れています。継続しますか？**

ユーザ証明書の有効期限が切れています。接続を継続するときは「はい」を、接続を中断するときは「いいえ」を選択します。☛P191

ラ

●**料金情報の読み込みができませんでした**

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P38

●**料金情報のリセットができませんでした**

FOMA カードが正しく取り付けられていないか、FOMA カードに異常があります。☛P38

●**連続撮影はできません**

マイピクチャ内の保存領域・保存件数がいっぱいのため、連続撮影できません。自動的に連続撮影が解除されます。

●**録画できません**

映像・音声の通信が切れているため動画メモを録画できません。

ワ

●**割り当てチャンネルがありません(E204)**

存在しないチャンネル番号を選局しています。選局し直してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。
  記載内容および『販売店名・お買上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA 端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン(Windows 98 Second Edition、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP Home Edition)をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフトと付属のUSB接続ケーブルまたはFOMA USB接続ケーブル(別売)をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA 端末の修理などを行った場合、i モード・i アプリにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により新しい FOMA 端末などに移行を行っておりません。モバ HO! を録音した情報は、著作権保護法により新しい FOMA 端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

■ 調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください。☛P389
それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■ 次の場合は、修理できないことがあります。

水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外となりますので有償修理となります。

■ 保証期間が過ぎた場合は

ご要望により有償修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA 端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

■ お願い

- FOMA 端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末、FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末、FOMAカードは使用できません。
  - 改造(部品の交換・改造・塗装など)が施された FOMA 端末の故障修理は、改造部分を元の状態(ドコモ純正品状態)に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA 端末に貼付されている銘板シールは、はがさないでください。
  銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA 端末の故障・修理やその他取り扱いによって、クリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA 端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカー

ドなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

■ メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ、モバHO! を録音したデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。本FOMA端末はｉモード公式サイトからダウンロードした画像・着信メロディを故障修理時に移し替えします（一部移し替えできないコンテンツもあります。また、故障の程度によっては移し替えができない場合があります）。

ソフトウェアを更新する

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはパケット通信※1を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

※1：ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

- ソフトウェア更新には、次の2種類の方法があります。
  - ・即時更新：
    更新したいときすぐに更新を行います。
  - ・予約更新：
    更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - ・オールロック中
  - ・他の機能を使用しているとき
  - ・日付・時刻を設定していないとき
  - ・FOMAカードが未挿入のとき
  - ・電池がフル充電されていないとき
  - ・PIN1コード入力中
  - ・PIN1コードロック中
  - ・「圏外」が表示されているとき
  - ・PIMロック中
  - ・電源が入っていないとき
  - ・セルフモード中
  - ・通話中
  - ・遠隔ロック中
  - ・パソコンとつないだパケット通信中
- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

おしらせ

- ●ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ●PIN1コードON／OFF機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
- ●ソフトウェア更新中は、他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ●ダウンロード中に音声電話の着信があった場合、着信音に「着モーション」を設定しているときは、着モーションは動作せず、着信音はメロディになります。また、イメージに動画／ｉモーションを設定しているときは、最初のコマが表示されます。
- ●ダウンロード中にテレビ電話の着信があっても電話は受けられません。着信履歴には不在着信として記録されます。
- ●ソフトウェア更新中にアラームなどが設定されていても、ソフトウェア更新が継続され、アラームなどは起動しません。
- ●ソフトウェア更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。証明書表示／使用設定でSSL証明書を有効に設定してください。お買い上げ時は有効に設定されています。☛P191
- ●ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（ ）で実行してください。

● ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態（📶）で、移動せずに実行することをおすすめします。
- ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

● ソフトウェア更新後、表示されていたｉモードセンター蓄積状態表示のアイコンは消えます。
また、メール選択受信設定を「ON」に設定している場合、ソフトウェア更新中にメールが届くと、ソフトウェア更新後にｉモードセンターにメールがあることを通知する画面が表示されないことがあります。

● ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。更新に失敗する恐れがあります。

● ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水漏れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします（ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください）。

● ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、たいへんお手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

● 更新が必要ないときは、ソフトウェア更新のチェックを行った際に「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。

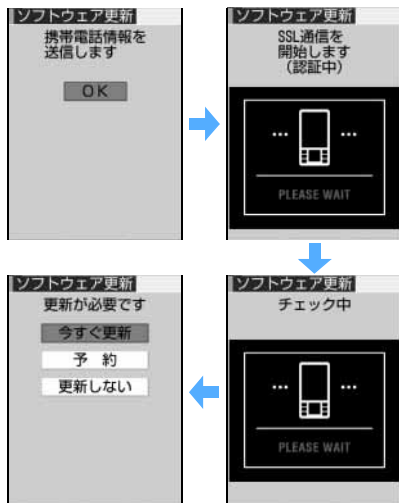
● 接続先設定をｉモード以外に設定している場合でもソフトウェア更新を行えます。

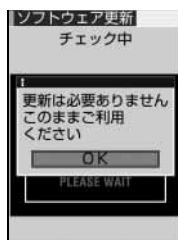
ソフトウェア更新を起動する

1 MENU 8 8 6

2 **端末暗証番号を入力 ▶ 注意事項を確認して** ⏎

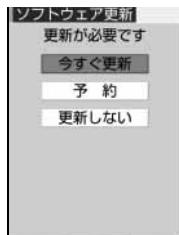
- 入力した端末暗証番号（4～8桁）は「*」で表示されます。
- お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

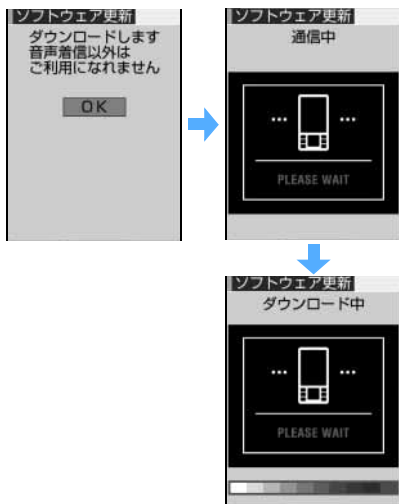
3 ⏎ ⏎ ▶ **ソフトウェア更新が必要かどうかを確認**

- 携帯電話情報の送信確認画面で ⏎ を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

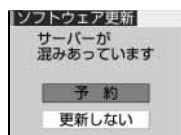
■ **更新が必要ないとき：**

ソフトウェア更新が必要かどうかをチェックした結果、更新の必要がない場合は左の画面が表示されます。⏎ を押してFOMA端末をそのままご利用ください。

すぐにソフトウェアを更新する　即時更新

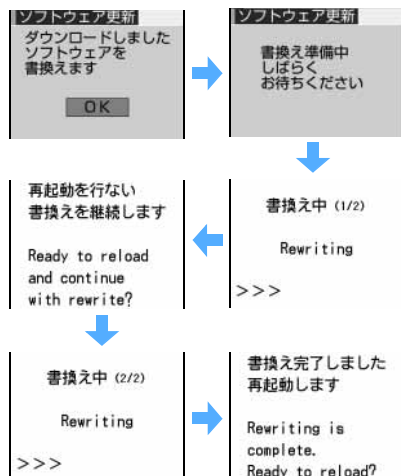
- サーバが混みあっていて、即時更新ができない場合があります。

1 **更新方法の選択画面を表示**

2 「今すぐ更新」を選択 ▶ □

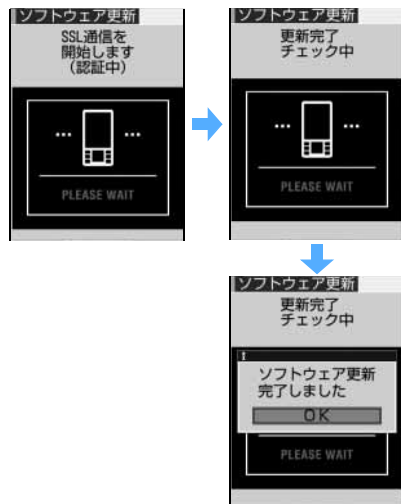
ダウンロードが開始され、着信ランプが点滅します。

- □ を押さなくても、約５秒後にダウンロードが開始されます。
- ダウンロードを中止するときは □ を押します。ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードされたデータは削除されます。
- ダウンロードを開始すると、あとはメニューなどの選択操作をしなくても更新処理が実行されます。

■ **サーバが混み合っているとき：**

- 「予約」を選択して更新日時を予約してください。

3 ダウンロード終了後に □

書き換え中は着信ランプが点滅します。

- ダウンロード終了後、□ を押さなくても約５秒後に書き換えが開始されます。
- ソフトウェア書き換え中はすべてのキー操作が無効となり、更新の中止もできません。

4 書き換え終了後、自動的に再起動

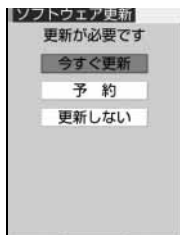
再起動すると再度サーバと通信を行いますので、しばらくお待ちください。

5 □ を押す

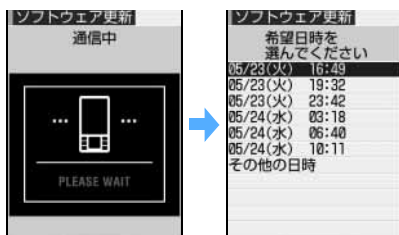
更新が終了し、待受画面が表示されます。

日時を予約してソフトウェアを更新する

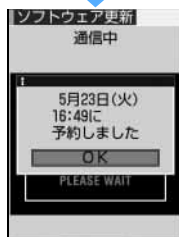
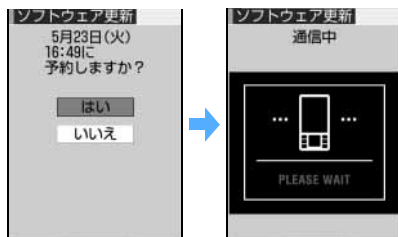
予約更新

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、あらかじめソフトウェア更新を起動する日時をサーバと通信して設定しておけます。

1 更新方法の選択画面を表示

2 「予約」を選択

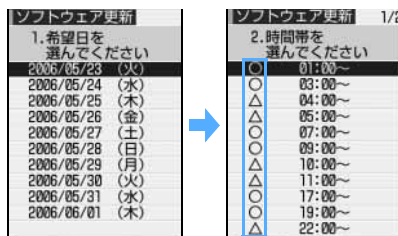
サーバと通信を行い、予約時間候補を問い合わせます。

- 予約可能な日時がサーバの時刻で表示されます。

3 希望日時を選択

■ 表示されている予約候補から選択する：希望日時を選択▶「はい」を選択

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、[↔]でページを切り替えられます。

■ 表示されている予約候補以外から選択する：

①「その他の日時」を選択▶希望日を選択

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、[↔]でページを切り替えられます。

各時間帯の予約の空き状況が表示されます。
○：空きあり
△：空きわずか

②希望時間帯を選択

サーバに接続され、選択した希望日・時間帯に近い予約候補が表示されます。

- 希望時間帯の候補が複数ページあるときは、[↔]でページを切り替えられます。
- [📖] を押すと、時間帯の左に表示されている記号の説明を表示できます。

③希望日時を選択▶「はい」を選択

- 希望日時の候補が複数ページあるときは、[↔]でページを切り替えられます。

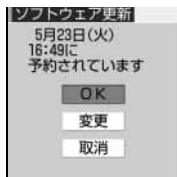
つづく

4 [確定] を押す

予約の設定が完了し、メニューが表示されます。
• 予約中は、待受画面に [アイコン] が表示されます。

予約の確認・変更・取り消しをする

1 MENU 8 8 6

2 端末暗証番号を入力 ▶ 内容を確認

• 確認を終了する：「OK」を選択

■ 予約を変更する：

①「変更」を選択

携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② [確定]

予約候補の選択画面が表示されます。

• 以降の操作は、「日時を予約してソフトウェアを更新する」の操作2以降と同じです。☛P401
• 携帯電話情報の送信確認画面で [確定] を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

■ 予約を取り消す：

①「取消」を選択 ▶「はい」を選択

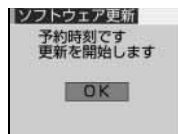
携帯電話情報の送信確認画面が表示されます。

② [確定][確定]

予約が取り消され、メニューが表示されます。

• 携帯電話情報の送信確認画面で [確定] を押すとサーバに接続され、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）を送出します。

予約の日時になると

予約日時になると下の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約日時前には、電池がフル充電されていることを確認の上、電波の十分届くところでFOMA端末を待受画面にしておいてください。ダウンロードが完了するとソフトウェアの書き換えが行われ、再起動されます。

• ソフトウェア更新を中止する：[終話] ▶「はい」を選択

おしらせ

● 他の機能を使用していると予約時刻になっても起動しないことがあるのでご注意ください。通話中またはメール受信中に予約日時になったときは、通話終了後またはメール受信終了後にソフトウェア更新を開始します。
● PIN1 コード ON ／ OFF 機能を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1 コード入力画面が表示されます。正しい PIN1 コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信操作ができません。
● 同じ日時にアラームなどが設定されていた場合には、アラームなどが優先され、ソフトウェア更新が開始されない場合があります。

障害を引き起こすデータから FOMA 端末を守る　スキャン機能

まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードや i モードメールなど外部から FOMA 端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

• チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
• スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際に携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入することに対して、一定の防衛手段を提供する機能です。
各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合には、

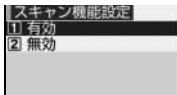
本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。また、当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は停止することがありますので、あらかじめご了承ください。
- パターンデータ更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が自動的にサーバ（当社が管理するスキャン機能用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報をスキャン機能以外の目的には利用いたしません。

スキャン機能を設定する　スキャン機能設定

本設定を「有効」に設定すると、データの表示やプログラムを実行する際、自動的にチェックします。

お買い上げ時 有効

1 MENU 8 3 7 3

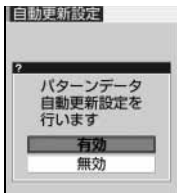
2 1 ▶「はい」を選択

- スキャン機能を設定すると、障害を引き起こすデータを検出した場合に、5段階の警告レベルで表示されます。☛P404
- 解除する：2 ▶「はい」を選択

自動的にパターンデータを更新する　自動更新設定

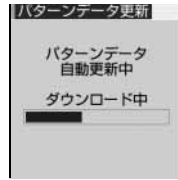
パターンデータを最新の状態に保つように自動的に更新します。

お買い上げ時 有効

1 MENU 8 3 7 2

2 「有効」を選択 ▶「はい」を2回選択

- 解除する：「無効」を選択 ▶「はい」を選択

3 [ソフトキー] を押す

新しいパターンデータが配信されると

- 新しいパターンデータが配信されると上の画面が表示され、自動的にパターンデータ更新を開始します。パターンデータの更新に成功すると、待受画面に [アイコン] が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認した後、「OK」を選択してください。
- パターンデータの更新に失敗したときは、待受画面に [アイコン] が表示されます。アイコンを選択し、メッセージを確認し、「OK」を選択した後、手動でパターンデータを更新してください。
- パターンデータ更新を中止する：[ソフトキー] ▶「はい」を選択

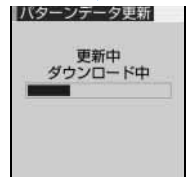
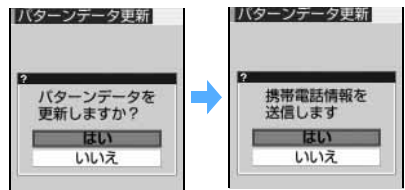
すぐにパターンデータを更新する　パターンデータ更新

自動更新設定を「無効」に設定しているときや、自動更新に失敗したときに、手動でパターンデータを更新してください。

- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。

1 MENU 8 3 7 1

2 「はい」を2回選択

パターンデータが更新されます。

3 [ソフトキー] を押す

- パターンデータ更新が必要ないときは、パターンデータが最新である旨のメッセージが表示されます。そのままお使いください。

おしらせ

- パターンデータ更新中に音声電話の着信があった場合は、更新は中断されます。テレビ電話の着信、外部機器や赤外線機能を利用してのデータ受信があった場合は、更新は中断されません。
- パターンデータ更新中にアラームやスケジュールアラームの設定日時になると、設定日時を知らせる画面が表示されてアラームが鳴りますが、パターンデータの更新は継続されています。

スキャン結果の表示について

スキャンされた問題要素の表示について

1 警告メッセージ表示中に「詳細表示」を選択

スキャン機能で検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。

- 問題要素が 6 個以上検出された場合は、6個目以降の問題要素名は省略され、検出された問題要素の総数が表示されます。

スキャン結果の表示について

警告レベル／表示メッセージ	対応方法
警告レベル 0 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります OK 詳細表示	「OK」： 起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 1 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があります 動作を中止しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「いいえ」： 起動中のアプリケーションの処理を続行します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 2 問題要素が検出されました 正常に動作できない場合があるため終了します OK 詳細表示	「OK」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を終了します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 3 問題要素が検出されました　正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？ はい いいえ 詳細表示	「はい」： 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「いいえ」： 障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。
警告レベル 4 問題要素が検出されました 正常に動作できないためデータを削除します OK 詳細表示	「OK」： 障害を引き起こす可能性のあるデータを削除します。 「詳細表示」： 検出された問題要素の名前の一覧を表示します。

おしらせ

- スキャン機能によって ｉ アプリ待受画面に設定している ｉ アプリに問題要素が見つかり、ｉ アプリの起動を中止した場合は、ｉ アプリ待受画面が解除されます。

パターンデータのバージョンを確認する

バージョン表示

1 MENU 8 3 7 4

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種 FOMA D851iWM の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg ※ 1 の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機 FOMA D851iWM の SAR の値は 0.544W/kg です。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm 社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/ 三菱電機のホームページ http://www.MitsubishiElectric.co.jp/musicporterx/

※ 1：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の2）で規定されています。

索引／クイックマニュアル

索引

ア

カ

サ

ナ

ハ

マ

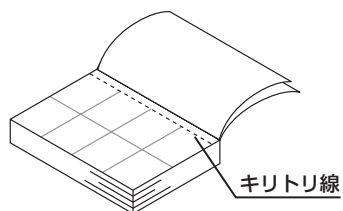
ヤ

ラ

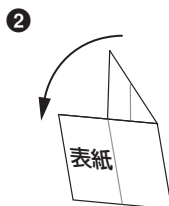
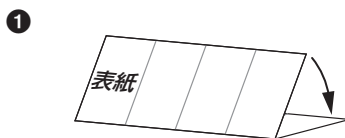
ワ

数字・英字・記号

クイックマニュアル

本誌に綴じ込みされているクイックマニュアルはキリトリ線で切り取り、下記のように折ってご使用ください。

キリトリ線でクイックマニュアルのページを切り取ります。
●切り取る際はけがにご注意ください。

❶

❷ ❸

表紙面が見えるように、折れ線に合わせて折りたたんでお使いください。

NTT DoCoMo FOMA® D851iWM
クイックマニュアル

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの） 151 （無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
（局番なしの） 113 （無料）
※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話帳の登録

■FOMA 端末電話帳の登録

1 [MENU][4][2]
2 名前を入力▶[📖]
3 各項目を設定▶[📖]
・撮影：[MENU]（静止画）／[📷]（動画）
・着信音など他の項目を登録：[○]
4 メモリ番号（0～699）を入力▶[↓]

■FOMA カード電話帳の登録

1 [MENU][4][3]
2 名前を入力▶[📖]

3 各項目を設定▶[📖]

■リダイヤルや着信履歴からの登録

1 [□→] または [←□]
2 登録する相手を選ぶ▶[MENU][1]
・登録済みの電話帳データへ追加：[MENU][2]
3 [1]（FOMA 端末電話帳）～[2]（FOMA カード電話帳）
・登録済みの電話帳データへ追加する場合は追加する相手を選択する
4 各項目を設定▶[📖]
・FOMA カード電話帳の場合は操作 6 に進む
5 メモリ番号（0～699）を入力▶[↓]
6 登録済みの電話帳データへ追加する場合は「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の修正

1 [📖]
・電話帳の切り替え：[📖]
2 修正する相手を選ぶ▶[MENU][3]

3 修正▶[📖]
・FOMA カード電話帳の場合は操作 5 に進む
4 メモリ番号（0～699）を入力▶[↓]
5 「上書き登録」または「新規登録」を選択

電話帳の検索

1 [MENU][4][1]
・電話帳の切り替え：[📖]
2 [1]～[7]
・FOMA カード電話帳では [1]～[4]

文字の入力

■文字の入力・変換（かな入力方式）

〈例〉「企業」と入力するとき

1 ひらがな／漢字モードで文字を入力
「き」：[2] を 2 回▶[□→]（自動カーソル機能によってカーソルが移動したときは必要ありません）
「ぎ」：[2] を 2 回▶[＊]
「ょ」：[8] を 3 回▶[📷]

「う」：[1] を 3 回
・入力した文字の確定前にできる操作
[MENU]：全角カタカナに変換
[CLR]：入力した文字の取り消し
[📷]：大文字／小文字の切り替え
[✉]：入力直後に 1 つ前の文字に戻す（例：…→ 1 →お→え→う→…）
[＊]：濁点「゛」や半濁点「゜」の付加（例：→ぼ→ぽ→ほ→…）
・文字の挿入：カーソルを挿入位置に移動▶文字を入力
2 [📖]
・変換候補一覧の表示：[↕]／[📖]
・変換前の状態に戻す：[CLR]
3 [↓]

■入力モードの切り替え

文字入力中に [(ı)] を複数回
・[📖] を押し、入力モードを選択しても切り替え可能

■文字の削除

●カーソルが文中にあるとき
[CLR]：カーソル位置の文字の削除
[CLR]（1 秒以上）：カーソル位置の文字とその右側にあるすべての文字の削除

●カーソルが文末にあるとき
[CLR]：カーソル位置の左側にある文字の削除
[CLR]（1 秒以上）：すべての入力文字の削除

■記号・絵文字・定型文の入力

●記号を入力する
文字入力中に [📷]▶記号を選択▶[📖]
・[📖][1] を押しても入力可能

●絵文字を入力する
文字入力中に [✉]▶絵文字を選択▶[📖]
・[📖][2] を押しても入力可能

●定型文を入力する
文字入力中に [📖][7]▶定型文種別を選択▶定型文を選択
・[📖][MENU] を押しても入力可能

■区点コードでの入力

文字入力中に [📖][8]▶区点コード（4 桁）を入力

モバ HO! を聴く

1 [MENU][7][1]
2 [📖]
3 聴取したい番組を選択

●録音するとき
番組を聴取中に [↓]（1 秒以上）
・録音を終了するとき：[↓]

音楽データ／モバ HO! データを再生する

1 [MENU][7][5]
2 選択

●音楽データ再生／モバ HO! データ再生を切り替える [MENU][2]

FM ラジオを聴く

1 [MENU][7][6]
2 [📖][📷]
3 都道府県名を選択
4 プリセット番号を選択

キリトリ線

テレビ電話

テレビ電話のかけかた

1 電話番号を入力
2 [テレビ電話]
3 通話する
・通話中保留：[保留]▶[保留]で解除
・スピーカーホン機能の切り替え：[メール]／[スピーカー]
・自画像／代替画像の切り替え：[テレビ電話]
4 通話が終了したら [終話]

テレビ電話の受けかた

1 電話がかかってくる
・応答保留：[終話]
2 [テレビ電話]または[スピーカー]
・通話中の操作は「テレビ電話のかけかた」の操作3と同様
3 通話が終わったら [終話]

iモードメール

送受信できる文字数

項　目	全角文字	半角文字
題名	15文字	30文字
メールアドレス	―	50文字
本文	5000文字	10000文字

iモードメールの作成・送信

1 [メール]（1秒以上）

2 宛先欄を選択▶入力方法を選択▶宛先を入力または選択
3 題名欄を選択▶題名を入力

4 本文欄を選択▶本文を入力
・デコメールの作成：[メール]
▶装飾方法を選択▶文字を入力
5 [i]
・メールの保存：[MENU][3]

ファイルの添付

1 メール作成画面で添付欄を選択
2 添付するファイルの種類を選択
・静止画を撮影して添付：「イメージ」を選択▶「静止画を撮影」を選択
・動画を撮影して添付：「iモーション」を選択▶「動画を撮影」を選択
・音声を録音して添付：「ボイス録音」を選択
3 「データBOX」を選択▶フォルダを選択
4 ファイルを選択
・添付ファイルの解除：添付欄を選ぶ▶[メール]▶「はい」を選択

送信・保存したiモードメールの編集・送信

〈例〉未送信メールを編集するとき
1 [メール][4]
・送信メールの編集：[メール][5]
2 フォルダを選択
3 メールを選択
・送信メールの編集：メールを選択▶[i]
4 編集▶[i]

iモードメールの受信

1 メールを受信
メール着信音が鳴り、着信ランプが点灯／点滅して受信結果画面が表示される
2 [保留]または[1]▶フォルダを選択▶メールを選択

iモード問合せ

[メール][メール]

メニュー一覧

[MENU]を押してから、各項目の番号を入力します。
〈例〉送信メールを表示するとき
[MENU][1][5]

1 メール
- 1 受信メール　2 新規メール
- 3 チャットメール　4 未送信メール
- 5 送信メール
- 6 問合せ
  - 1 iモード問合せ　2 SMS問合せ
  - 3 メール選択受信　4 iモード問合せ設定
- 7 SMS
  - 1 SMS作成　2 FOMAカード(UIM)受信SMS
  - 3 FOMAカード(UIM)送信SMS　4 SMS設定
- 8 テンプレート読込み
- 9 メール設定
  - 1 メール着信設定　2 チャットメール着信設定
  - 3 メール振り分け設定　4 署名設定
  - 5 メール返信設定
    - 1 メール返信引用設定　2 クイック返信設定
    - 3 クイック返信本文登録
  - 6 メールグループ

1 メール
- 9 メール設定
  - 7 受信・表示設定
    - 1 受信表示設定　2 メール選択受信設定
    - 3 メール受信添付ファイル設定　4 添付ファイル自動再生設定
    - 5 メール一覧表示設定

2 iモード
- 1 iMenu　2 Bookmark
- 3 Internet
  - 1 URL入力　2 URL履歴
- 4 画面メモ　5 ラストURL
- 6 iモード問合せ
- 7 メッセージ
  - 1 メッセージR　2 メッセージF
  - 3 メッセージ設定
    - 1 メッセージ自動表示　2 iモード問合せ設定
    - 3 添付ファイル自動再生設定　4 メッセージ着信設定
- 8 iチャネル
  - 1 iチャネル一覧　2 テロップ表示設定
- 9 iモード設定
  - 1 ツータッチサイト表示　2 表示・効果設定
  - 3 iモーション設定　4 接続待ち時間設定
  - 5 接続先設定

2 iモード
- 9 iモード設定
  - 6 証明書設定
    - 1 証明書表示／使用設定　2 ユーザ証明書操作
    - 3 証明書発行接続先設定

3 iアプリ
- 1 ソフト一覧
- 2 iアプリ設定
  - 1 ソフトの並べ替え　2 自動起動設定
  - 3 ソフト情報表示設定　4 照明設定
  - 5 バイブレータ設定　6 ツータッチiアプリ表示
- 3 履歴表示

4 電話帳／履歴
- 1 電話帳検索　2 電話帳登録
- 3 FOMAカード(UIM)登録　4 着信履歴
- 5 リダイヤル
- 6 伝言メモ／音声メモ
  - 1 伝言メモ設定　2 伝言メモ一覧
  - 3 音声メモ録音　4 音声メモ一覧
- 7 自局番号

5 データBOX
- 1 ミュージック　2 モバHO!
- 3 マイピクチャ　4 iモーション
- 5 メロディ　6 キャラ電

6 生活ツール
- 1 赤外線／PCデータ連携
  - 1 赤外線全件送信　2 赤外線受信
  - 3 データ送受信設定　4 USBモード設定
- 2 カメラ　3 ビデオカメラ
- 4 サウンドレコーダー　5 スケジュール帳
- 6 メモ帳　7 アラーム
- 8 電卓

7 オーディオ
- 1 モバHO!　2 モバHO!番組表
- 3 モバHO!チャンネル設定
- 4 モバHO!設定
  - 1 機器情報　2 着信動作設定
- 5 ミュージックプレイヤー　6 FMラジオ
- 7 USBモード設定
- 8 情報表示／リセット
  - 1 オーディオ設定状況確認　2 オーディオ設定リセット
- 9 オーディオメモリ初期化

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 1 音の設定
  - 2 着信音量調整
    - 1 電話着信音量調整　2 メール着信音量調整
  - 3 受話音量調整　4 キー確認音設定

キリトリ線

8 設定
- 1 音／バイブ
  - 5 電池アラーム音設定　6 マナーモード選択
  - 7 バイブレータ設定　8 呼出動作開始時間設定
  - 9 充電確認音設定
- 2 ディスプレイ
  - 1 待受画面設定
    - 1 待受画面選択　2 カレンダー設定
    - 3 時計表示設定　4 画面のカスタマイズ
    - 5 テロップ表示設定　6 イメージ以外を解除
  - 2 発着信画面表示設定
    - 1 電話発信設定　2 電話着信設定
    - 3 テレビ電話発信設定　4 テレビ電話着信設定
    - 5 人物画像表示設定　6 メール送信画像設定
    - 7 メール受信画像設定　8 問合せ画像設定
    - 9 着信表示設定
  - 3 カラーテーマ設定　4 電池マーク設定
  - 5 照明設定　6 イルミネーション設定
  - 7 文字表示設定
    - 1 文字サイズ設定　2 バイリンガル
  - 8 トータルコーディネイト設定
- 3 セキュリティ／ロック
  - 1 ロック
    - 1 オールロック　2 PIM ロック
    - 3 遠隔ロック

8 設定
- 3 セキュリティ／ロック
  - 2 シークレットモード　3 ダイヤル発信制限
  - 4 FOMA カード（UIM）　5 暗証番号変更
  - 6 プライバシーモード設定
  - 7 スキャン機能
    - 1 パターンデータ更新　2 自動更新設定
    - 3 スキャン機能設定　4 バージョン表示
  - 8 プロテクトキー動作設定
- 4 情報表示／リセット
  - 1 通話時間　2 設定状況確認
  - 3 電池レベル表示
  - 4 通話料金
    - 1 通話料金表示　2 通話料金上限通知
    - 3 上限通知アイコン消去　4 通話料金自動リセット設定
  - 5 各種設定リセット　6 データ一括削除
- 5 時計
  - 1 日付時刻設定　2 自動電源 ON 設定
  - 3 自動電源 OFF 設定　4 時計表示設定
  - 5 アラーム自動電源 ON 設定
- 6 発着信・通話機能
  - 1 電話発信設定　2 電話着信設定
  - 3 発番号なし動作設定　4 応答保留ガイダンス設定
  - 5 エニーキーアンサー設定

8 設定
- 6 発着信・通話機能
  - 6 イヤホン機能設定
    - 1 イヤホン切替設定　2 オート着信機能設定
    - 3 イヤホンスイッチ設定
  - 7 メモリ着信拒否／許可
    - 1 メモリ別着信拒否／許可　2 メモリ登録外着信拒否
  - 8 発着信詳細設定
    - 1 優先通信モード設定　2 プレフィックス設定
    - 3 国際ダイヤル自動付加　4 サブアドレス設定
    - 5 着信中オープン応答
  - 9 通話詳細設定
    - 1 ノイズキャンセラ設定　2 再接続アラーム設定
    - 3 通話保留音設定　4 通話品質アラーム設定
    - 5 通話中クローズ設定
- 7 テレビ電話
  - 1 テレビ電話発信設定　2 テレビ電話着信設定
  - 3 テレビ電話動作設定　4 テレビ電話画像選択
  - 5 テレビ電話使用機器設定
  - 6 テレビ電話切替機能通知
    - 1 切替機能通知開始　2 切替機能通知停止
    - 3 切替機能通知設定確認
- 8 文字入力／その他
  - 1 単語登録　2 定型文登録

8 設定
- 8 文字入力／その他
  - 3 入力設定　4 セルフモード設定
  - 5 NW 検索方法　6 ソフトウェア更新
  - 7 クイック起動設定　8 スライド編集設定

9 NW サービス
- 1 留守番電話
  - 1 留守番サービス
    - 1 留守番サービス開始　2 留守番呼出時間設定
    - 3 留守番サービス停止　4 留守番設定確認
    - 5 留守番メッセージ再生　6 留守番サービス設定
    - 7 メッセージ問合せ
  - 2 件数増加鳴動設定
  - 3 着信通知
    - 1 着信通知開始　2 着信通知停止
    - 3 着信通知開始設定確認
  - 4 表示消去
- 2 キャッチホン
  - 1 キャッチホン開始　2 キャッチホン停止
  - 3 キャッチホン設定確認
- 3 転送でんわ
  - 1 転送サービス開始　2 転送サービス停止
  - 3 転送先変更　4 転送先通話中時設定
  - 5 転送サービス設定確認

9 NW サービス
- 4 迷惑電話ストップ
  - 1 迷惑電話着信拒否登録　2 電話番号指定拒否登録
  - 3 迷惑電話全登録削除　4 迷惑電話 1 登録削除
  - 5 拒否登録件数確認
- 5 発信者番号通知
  - 1 発信者番号通知設定　2 発信者番号通知確認
- 6 番号通知お願いサービス
  - 1 番号通知開始　2 番号通知停止
  - 3 番号通知確認
- 7 通話中着信設定
  - 1 通話中着信設定開始　2 通話中着信設定停止
  - 3 通話中着信設定確認
- 8 通話中着信動作選択
- 9 その他の NW サービス
  - 1 USSD 登録　2 応答メッセージ登録
  - 3 遠隔操作設定
    - 1 遠隔操作開始　2 遠隔操作停止
    - 3 遠隔操作設定確認
  - 4 英語ガイダンス
    - 1 ガイダンス設定　2 ガイダンス設定確認
  - 5 デュアルネットワーク
    - 1 デュアルネットワーク切替　2 デュアルネットワーク状態確認

9 NW サービス
- 9 その他の NW サービス
  - 6 サービスダイヤル
    - 1 ドコモ故障問合せ　2 ドコモ総合案内・受付
  - 7 マルチナンバー
    - 1 通常発信番号設定　2 通常発信番号設定確認
    - 3 電話番号設定　4 着信設定

0 自局番号

■キー操作一覧

待受画面から操作します。

機　能	操作方法
電源 ON ／ OFF	（2 秒以上）
セルフモード	CLR（1 秒以上）▶「はい」を選択（解除時は CLR（1 秒以上））
プロテクトキーロック	プロテクトキーを下にスライドさせてから離す
i チャネル一覧の表示	CLR
公共モード（ドライブモード）	* （1 秒以上）

機　能	操作方法
i モードメニュー	
i アプリフォルダ一覧	（1 秒以上）
着信履歴	
プライバシーモード※1	（1 秒以上）（解除時は （1 秒以上）▶ 端末暗証番号入力）
リダイヤル	
マナーモード	MENU（1 秒以上）または #（1 秒以上）
新規起動メニュー	
伝言メモ／音声メモメニュー	
スケジュール帳	（1 秒以上）
データ BOX メニュー	
カメラ起動	（1 秒以上）

※ 1：プライバシーモード設定を行っているときのみ有効

ネットワークサービス

■留守番電話サービス

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

●サービスを開始する

1. MENU 9 1 1 1
2. 「はい」を選択
3. 「はい」を選択
4. 呼出時間を入力

キリトリ線

● サービスを停止する

1 MENU 9 1 1 3

2 「はい」を選択

● 伝言メッセージを再生する

1 MENU 9 1 1 5

2 「はい」を選択

3 音声ガイダンスに従って操作

■キャッチホン

お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。

● サービスを開始／停止する

1 MENU 9 2

2 1（開始）／ 2（停止）

3 「はい」を選択

● 通話中にかかってきた電話を受ける

通話中に ［通話］

・通話相手の切り替え：［切替］

● 通話中に電話をかける

通話中に MENU 8 ▶ 電話番号を入力 ▶ ［通話］

・通話相手の切り替え：［切替］

● 通話を終了する

一方の相手との通話が終了したら ［終話］

・保留中相手との通話再開：［通話］

■転送でんわサービス

お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。

● サービスを開始する

1 MENU 9 3 1

2 「はい」を選択

3 「はい」を選択

4 転送先電話番号を入力

・電話帳から転送先を入力：MENU

5 ［電話帳］▶「はい」を選択

6 呼出時間を入力

● サービスを停止する

1 MENU 9 3 2

2 「はい」を選択

■番号通知お願いサービス

お申し込みなしでご利用いただけます（無料）。

● サービスを開始／停止する

1 MENU 9 6

2 1（開始）／ 2（停止）

3 「はい」を選択

■利用できるサービス

利用できるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様については、ご案内できません）	（局番なし）104

利用できるサービス	電話番号
電報の発信（有料）午前８時～午後１０時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

ディスプレイの見かた

■ディスプレイ上部

①～⑬

① ：電池残量表示　漢：文字入力モード表示

② ：受信レベル　圏外：圏外表示

self：セルフモード中

：データ転送モード中など

③ ：ｉモード中（ｉモード接続中）

：ｉモード中（パケット通信中）

④ ：赤外線通信中など

⑤ ：スピーカーホン機能利用中

：ハンズフリー対応機器で通信中

：積算通話料金が上限を超過

⑥ ：ｉモードセンター蓄積状態表示

⑦ ：未読メール状態表示

⑧ ：未読メッセージＲ状態表示

⑨ ：未読メッセージＦ状態表示

⑩ ：ｉアプリ待受画面表示中

：ｉアプリDX待受画面表示中

：ｉアプリ／ｉアプリDX動作中

⑪ ：SSLページ表示中など

：圏内自動送信メールあり

：圏内自動送信失敗メールあり

⑫ ：シークレットモード中

⑬ ：ｉアプリ自動起動失敗

■ディスプレイ下部

①～④

⑤～⑮

① ：不在着信

② ：伝言メモ

③ ：留守番電話サービスの伝言メッセージ

④ ：未読メール

⑤ ：通常マナーモード中

：オリジナルマナーモード中

⑥ ：電話着信音消音設定中

：音声電話着信のバイブレータ設定中

：電話着信音消音と音声電話着信のバイブレータを同時に設定中

⑦ ：公共モード（ドライブモード）中

⑧ ：伝言メモ設定中

：伝言メモ満杯

⑨ ：プロテクトキーロック中

⑩ ：USB接続ケーブル接続状態表示など

⑪ ：フォーカスモード時のイージーセレクタープラスの有効キー表示

⑫ ：FOMAカード読み込み中

⑬ ：PIMロック中

：ダイヤル発信制限中

⑭ ：アラーム設定中

：スケジュールアラーム設定中

：アラームとスケジュールアラームを同時に設定中

⑮ ：ソフトウェア更新予約中

：最新パターンデータの自動更新失敗

：最新パターンデータの自動更新成功

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

故障お問い合わせ先

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

※ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA 端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ず FOMA 端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中の FOMA 端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、公共モード（ドライブモード／電源OFF）をご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所で FOMA 端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で FOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA 端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード／オリジナルマナーモード

キー確認音･着信音など FOMA 端末から鳴る音をすべて消します（通常マナーモード）。☛P118
マナーモードの動作を変更することもできます（オリジナルマナーモード）。☛P119
マナーモード中は、カメラ撮影時の撮影確認音（シャッター音）は鳴ります。

●公共モード（ドライブモード／電源 OFF）

電話をかけてきた相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスまたは電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。☛P70、P71

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。☛P116

●伝言メモ

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音します。☛P72

その他にも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。☛P342、P344

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

「ドコモｅサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

iモードから	i Menu ▶ 料金&お申込 ▶ ドコモeサイト　パケット通信料無料
パソコンから	My DoCoMo(https://www.mydocomo.com/) ▶ 各種手続き（ドコモeサイト）

※ｉモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ｉモードからご利用いただく場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によってはご利用いただけない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）151（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）113（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元　三菱電機株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

R100 古紙配合率100％再生紙を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

'06.3（2版）

データ通信マニュアル

データ通信について

FOMA 端末から利用できるデータ通信の形態や利用時の留意点について説明します。

- FOMA端末はRemote Wakeupには対応していません。
- FOMA端末はFAX通信をサポートしていません。
- FOMA 端末をドコモの PDA「sigmarion Ⅱ」や「musea」に接続してデータ通信を行う場合、「sigmarion Ⅱ」や「musea」をアップデートしてご利用ください。アップデートの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

利用できる通信形態

FOMA 端末の通信形態は、パケット通信、64K データ通信、データ転送の 3 つに分類されます。
これらの通信は、添付の CD-ROM から関連ソフトをパソコンにインストールし、FOMA 端末とパソコンを接続して各種設定を行うと利用できます。

■ パケット通信

パケット通信は送受信したデータ量に応じて課金されるので、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速で送受信するのに適しています。ネットワークに接続していても、データを送受信していないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA のパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大 64kbps の高速パケット通信が可能です。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ 64K データ通信

64K データ通信は 64kbps の安定した通信速度でデータ送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるので、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera など、FOMA 64K データ通信に対応したアクセスポイント、または ISDN 同期 64K アクセスポイントを利用します。
長時間にわたる通信をした場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

■ データ転送

付属のUSB接続ケーブルを使ってデータを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降、プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMA サービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービス mopera U / mopera をご利用いただけます。mopera U は、お申し込みが必要（有料）です。ブロードバンド接続や国際ローミングなどに対応し、使用した月だけ月額使用料がかかるプランもございます。また、mopera は、お申し込み不要、月額使用料無料です。今すぐインターネットに接続できます。利用料などの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と 64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときは FOMA のパケット通信に対応した接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- PIAFSなどのPHS64K／32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証（ID とパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークで ID とパスワードを入力して接続してください。ID とパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、プロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証について

FirstPass（ユーザー証明書）の認証を行う場合は添付の CD-ROM から FirstPass PC ソフトをインストールし、設定してください。詳しくは添付の CD-ROM 内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン 6.0 以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードしてください（別途通信

つづく

料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■ FirstPass PC ソフトの動作環境

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT 互換機
OS	Windows 98SE、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ※1	Windows 98SE、Me、2000：32MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量※1	10MB 以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上 Windows XP の場合は Microsoft® Internet Explorer 6.0 以上

※1：パソコンのシステム構成によって異なります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA 端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

- 付属の USB 接続ケーブルを利用できるパソコンであること
- FOMA サービスエリア内であること
- パケット通信の場合、接続先が FOMA のパケット通信に対応していること
- 64K データ通信の場合、接続先が FOMA 64K データ通信、または ISDN 同期 64K に対応していること

ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

● 管理者権限
Windows XP、2000を使用するときに、OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバ、ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

● APN（Access Point Name）
パケット通信で接続するプロバイダや社内 LAN を識別する文字列。mopera U は「mopera.net」が、mopera は「mopera.ne.jp」が APN となります。

● cid（Context Identifier）
パケット通信の接続先（APN）をFOMA端末へ書き込むときの登録番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。
お買い上げ時、cid 1には「mopera.ne.jp」、cid 3には「mopera.net」が登録されています。

● W-TCP
FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最大限に生かすための TCP パラメータ。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

データ通信の準備の流れ

パソコンと FOMA 端末を接続して、パケット通信または 64K データ通信を利用する場合の準備は次のような流れになります。

通信設定ファイル（ドライバ）について

FOMA端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、添付の CD-ROM から通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

動作環境の確認

通信設定ファイルおよびFOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
パソコン本体※1	PC/AT 互換機
OS	Windows 98、Me、2000、XP（各日本語版）
必要メモリ	Windows 98、Me：32MB 以上 Windows 2000：64MB 以上 Windows XP：128MB 以上
ハードディスク容量	5MB 以上の空き容量

※1：USB ポート（USB 仕様 1.1/2.0 に準拠）が必要です。

おしらせ

● 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

● 本書の説明は、主に Windows XP での操作方法を例にしています。OS やお使いのパソコンにより、画面の表示が異なることがあります。また、Windows 98 と Windows 98SE をまとめて Windows 98 と表記しています。

インストール・アンインストール前の注意点

• Windows XP、2000で通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール・アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、パソコンの取扱説明書をご覧になるか、各パソコンメーカーやマイクロソフト社にお問い合わせください。

• 操作を始める前に、稼動中の他のプログラムがないことを確認してください。稼動中のプログラムがあった場合は、プログラムを保存・終了させた後に行ってください。

パソコンと FOMA 端末を接続する

パソコンと FOMA 端末は、電源が入っている状態で接続してください。

• 通信モードで初めてパソコンに接続する場合は、必ず通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしておいてください。☛P4

• オーディオメモリモードで初めてパソコンに接続した場合は、OS が自動的にドライバをインストールします。あらかじめ通信設定ファイルをインストールする必要はありません。ただし、オーディオメモリモードに対応しているOSはWindows XP、2000 のみです。また、BeatJam をインストールすると、Windows Me、98SE でもオーディオメモリモードに対応します。

USB 接続時にパソコンで操作する内容を設定する　USB モード設定

パソコンと FOMA 端末を接続したとき、パソコンでデータ通信を行うか、パソコンからオーディオメモリ内のデータを操作するかを設定します。

お買い上げ時　通信モード

1 MENU 7 7 ▶ 1 ～ 2

通信モード

：パソコンでデータ通信を行うモードです。

オーディオメモリモード

：パソコンからオーディオメモリ内のデータを操作するモードです。

2 **「はい」を選択**

おしらせ

● パソコンと FOMA 端末を接続していても本機能の設定を変更できます。ただし、パソコンからオーディオメモリを操作しているときは通信モードに切り替えないでください。パソコンや FOMA 端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。

● パソコン側で、FOMA 端末を接続すると自動的にデータ通信を行うように設定している場合は、オーディオメモリモードに設定できないことがあります。

● 通話中や i モード中は、オーディオメモリモードに設定できません。

● オーディオメモリモードに設定したとき

• パソコンからオーディオメモリを初期化すると、FOMA 端末で正常に使用できなくなる場合があります。初期化は FOMA 端末で行ってください。

• FOMA 端末にパソコンを接続していない状態でオーディオメモリへのアクセスがなく約 90 秒が経過すると、自動的に通信モードに切り替わります。

• 通話や i モード通信などができなくなります。

• 着信ランプが点滅します。

• オーディオメモリの操作を終了するときは、タスクトレイのをクリックし「USB 大容量記憶装置デバイスードライブ（E:）※2 を安全に取り外します」をクリックしてください。

※2：ドライブに割り当てられる文字はパソコンのシステムによって異なります。

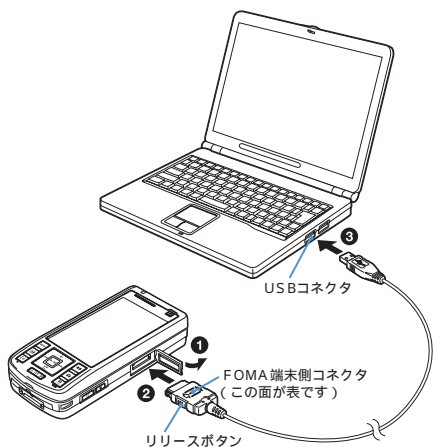
接続のしかた

付属のUSB接続ケーブルを使って接続します。

❶ FOMA 端末の外部接続端子の端子カバーを開く

❷ USB 接続ケーブルの FOMA 端末側コネクタを、「カチッ」と音がするまで FOMA 端末の外部接続端子に差し込む

❸ USB 接続ケーブルのパソコン側コネクタを、パソコンのUSBコネクタに差し込む

- 通信モードでパソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の画面にが表示されます。
- 通信モードで通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、USB接続ケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA 端末を取り外し、ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして、終了してください。

■ 取り外しかた

FOMA 端末側コネクタの両側のリリースボタンを押しながら引き抜きます。パソコン側コネクタはそのまま引き抜きます。

- FOMA 端末側コネクタを取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら引き抜いてください。無理に引っ張ろうとすると故障の原因となります。

■ 充電しながら接続する

卓上クレードル D01（別売）を使って充電しながら接続できます。ただし、充電時間が長くなります。

おしらせ

- データ通信中に USB 接続ケーブルを外さないでください。パソコンや FOMA 端末の誤動作や故障、データ消失の原因となります。
- FOMA USB 接続ケーブル（別売）でもパソコンとFOMA端末を接続でき、付属のUSB接続ケーブルで接続したときと同様の手順で通信設定ファイルのインストールや各種設定、データ通信の操作ができます。

通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA 端末をパソコンに接続して通信モードでデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールしてください。

- オーディオメモリモードでパソコンと接続する場合は、通信設定ファイルのインストールは不要です。

通信設定ファイルをインストールする

操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

- FOMA 端末は操作 1 ～ 3 を行った後にパソコンに接続してください。

1 添付の CD-ROM をパソコンにセット

「ソフトウェアのセットアップ」画面が表示されます。

2 ［通信設定ファイル］をクリック

3 ［はい］をクリック

FOMA D851iWM をパソコンに接続する旨の画面が表示されます。

4 FOMA 端末をパソコンに接続する

インストール中の画面が表示され、インストールが自動的に完了します。

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。
- 「通信設定ファイルを確認する」に進み、インストールされたデバイスの種類とデバイス名を確認してください。

おしらせ

- インストールには数分かかることがあります。
- Windowsを再起動する旨の画面が表示されたときは、画面の指示に従い、再起動してください。
- 通信設定ファイルのインストールを行う前にパソコンと FOMA 端末を接続すると、自動的に別のドライバがインストールされてしまう場合があります。その場合、操作 2 でアンインストールする必要がある旨のメッセージが表示されます。このときは画面の指示に従ってアンインストールを行った後、通信設定ファイルをインストールしてください。

通信設定ファイルを確認する

FOMA 端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

例 Windows XP の場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンをクリック

「システムのプロパティ」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98 の場合：
① ［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
② ［システム］アイコンをダブルクリック

2 ［ハードウェア］タブをクリック ▶ ［デバイスマネージャ］をクリック

「デバイスマネージャ」画面が表示されます。

■ Windows Me、98 の場合：［デバイス マネージャ］タブをクリック

3 各デバイスをダブルクリック ▶ インストールされたデバイス名を確認する

インストールしたデバイス名がすべて表示されていることを確認します。

デバイスの種類	デバイス名
ユニバーサル シリアル バスコントローラ または USB（Universal Serial Bus）コントローラ	• FOMA D851iWM • FOMA D851iWM Command※1 • FOMA D851iWM Modem※1 • FOMA D851iWM OBEX※1
ポート（COM と LPT）または（COM ／ LPT）	• FOMA D851iWM Command Port（COMx）※2 • FOMA D851iWM OBEX Port（COMx）※2
モデム	FOMA D851iWM

※1：Windows Me、98 の場合のみ表示されます。
※2：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。

通信設定ファイルをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3
アンインストールを実行する前に、必ずパソコンから FOMA 端末を取り外してください。

例 Windows XP の場合

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンをクリック

「プログラムの追加と削除」画面が表示されます。

■ Windows 2000、Me、98 の場合：
① ［スタート］→「設定」→「コントロールパネル」をクリック
② ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

2 「FOMA D851iWM USB」を選択 ▶ ［変更と削除］をクリック

• Windows Me、98 の場合は［追加と削除］をクリックします。

3 プログラム名を確認して［はい］をクリック

通信設定ファイルのアンインストールを開始します。

4 ［OK］をクリック

おしらせ

● インストールに失敗したとき、または操作 1 の画面に「FOMA D851iWM USB」が表示されていないときは、添付の CD-ROM をパソコンにセットし、「ソフトウェアのセットアップ」画面で［通信設定ファイル］をクリックして直接実行し、通信設定ファイルをアンインストールしてください。
● Windows Me、98 では通信設定ファイルのアンインストール後、すぐにインストールし直してデータ通信を行うと、パソコンなどの環境によっては正しく通信できないことがあります。その場合は、付属の USB 接続ケーブルを一度抜き差ししてからデータ通信を行ってください。

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA 端末をパソコンに接続してパケット通信や 64K データ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

■ **かんたん設定**
ガイドに従い操作することで、「FOMA データ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCP の設定」などを行います。

■ **W-TCP の設定**
「FOMA パケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、「W-TCP 設定」による通信設定の最適化が必要です。

つづく

■ 接続先（APN）の設定

「パケット通信」を行う際に必要な「接続先（APN）の設定」を行います。

FOMA パケット通信の接続先には、64K データ通信と異なり、通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA 端末に APN と呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。お買い上げ時、cid の 1 番には、mopera に接続するための APN「mopera.ne.jp」が、3 番には、mopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要になります。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 古いバージョンのFOMA PC設定ソフト（バージョン1.00）がインストールされている場合は、添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフト（バージョン2.00）をインストールする前にアンインストールしてください。バージョンは、FOMA PC設定ソフトの「メニュー」→「バージョン情報」で表示できます。
- お使いのパソコンに、本機種より前に発売されたFOMA 端末に添付の「W-TCP 環境設定ソフト（以降、旧「W-TCP 設定ソフト」）」、および「FOMA データ通信設定ソフト（以降、旧「FOMA データ通信設定ソフト」）」がインストールされている場合は、それらのソフトをアンインストールしてください。
- 操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

例 Windows XP の場合

1 添付のCD-ROMをパソコンにセットする

2 ［PC 設定ソフト］をクリック

3 ［次へ］をクリック

FOMA PC設定ソフトの使用許諾契約が表示されます。

4 内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

5 「タスクトレイに常駐する」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「W-TCP 設定」が常駐します。

- 「W-TCP 通信」の最適化の設定・解除を行うときに使用しますので（☛P12）、常駐をおすすめします。
- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 インストール先を確認して［次へ］をクリック

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認して［次へ］をクリック

8 ［完了］をクリック

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

- このまま各種設定を始められます。

おしらせ

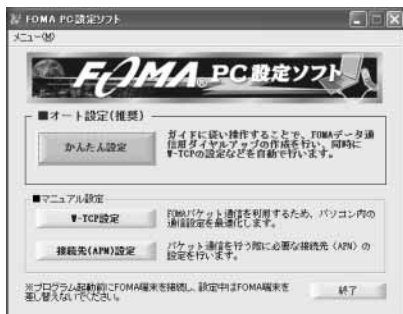
- 既に「FOMA PC 設定ソフト」や旧「W-TCP 設定ソフト」、旧「FOMA データ通信設定ソフト」がインストールされている場合は、インストールを中断する画面が表示されます。［OK］をクリックし、これらソフトをアンインストールしてから「FOMA PC 設定ソフト」をインストールしてください。
- インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックしたときは、インストール画面の説明に従って［はい］または［いいえ］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

設定はFOMA端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P4

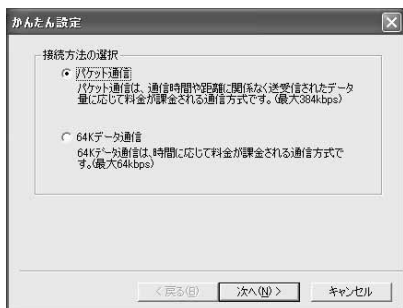
例 Windows XPの場合

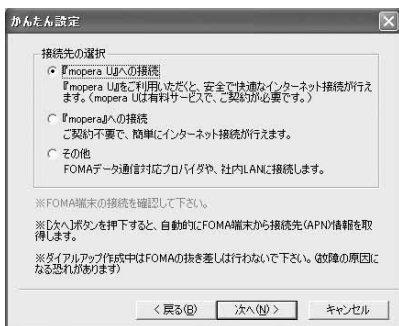
1 [スタート]→「すべてのプログラム」(Windows XP以外の場合は、「プログラム」)→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」をクリック

「FOMA PC設定ソフト」が起動します。

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合☛P8

1 FOMA PC設定ソフトを起動▶[かんたん設定]をクリック

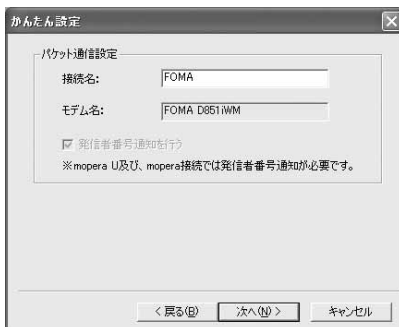
2 「パケット通信」を選択▶[次へ]をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択▶[次へ]をクリック

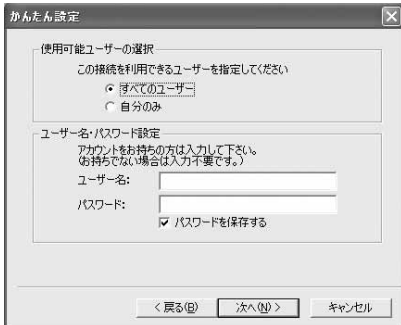
- ドコモのインターネット接続サービスmopera U/moperaをご利用いただけます。mopera Uをご利用いただく場合は、お申し込みが必要(有料)となります。moperaをご利用いただく場合は、お申し込み不要、月額使用料無料です。
- mopera Uを選択すると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合は[はい]をクリックします。

4 「FOMA端末設定取得」画面で[OK]をクリック

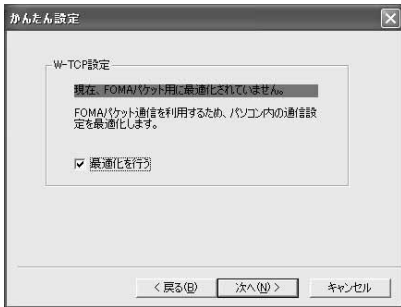
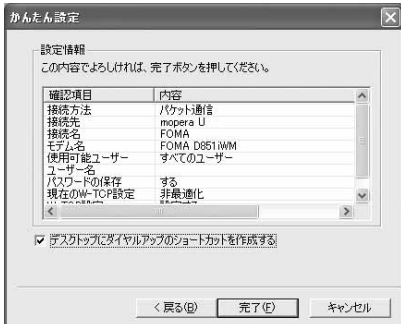
FOMA端末から「接続先(APN)情報」を取得します。しばらくお待ちください。

5 任意の接続名を入力▶[次へ]をクリック

- 次の記号(半角文字)は入力できません。
  ¥/:*?!<>|"

つづく

6 ［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」は空欄でも接続できます。
- Windows XP、2000 の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。Windows Me、98 の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック

- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して［完了］をクリック

9 ［OK］をクリック

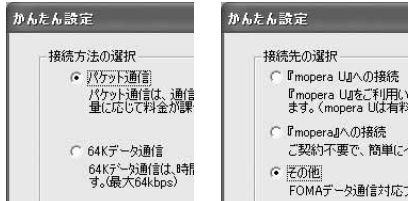
設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既に W-TCP 設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P11

その他のプロバイダを利用する場合

- mopera U / mopera の場合 ☛P7

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 4 を行う ☛P7

- 操作 3 の接続先は「その他」を選択します。

2 任意の接続名を入力 ▶［接続先（APN）設定］をクリック

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> ｜ ”

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：
［詳細情報の設定］をクリックすると「IP アドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内 LAN などのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 接続先（APN）を設定

お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」が、cid3 には「mopera.net」が設定されています。cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

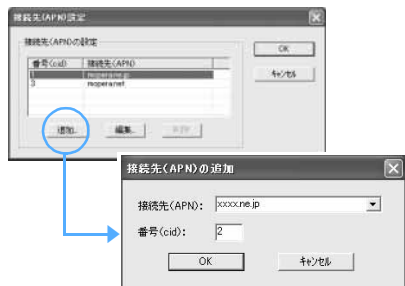
つづく

①[追加]をクリック

「接続先（APN）の追加」画面が表示されます。

②「接続先（APN）」にご利用のプロバイダのFOMAパケット網に対応した接続先名（APN）を正しく入力 ▶ [OK]をクリック

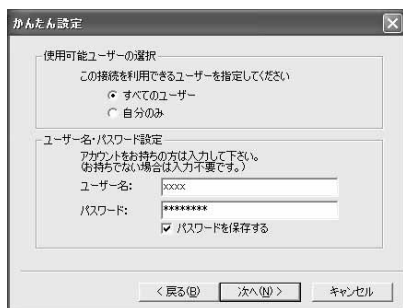
「接続先（APN）設定」画面に戻ります。

- 「接続先（APN）」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ入力できます。

4 [OK]をクリック

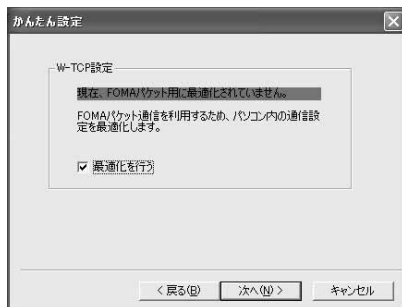
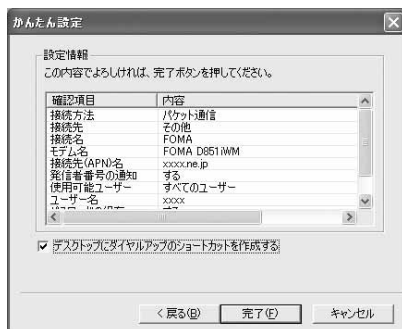
操作2の画面に戻ります。「接続先（APN）の選択」には、操作3で設定した「接続先（APN）」が表示されています。

5 「接続先（APN）の選択」の接続先名（APN）を確認して[次へ]をクリック

6 ユーザー名・パスワードを入力 ▶ [次へ]をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
- Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して[次へ]をクリック

パケット通信に必要なW-TCP設定を最適化します。

- 既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。

8 設定情報を確認して[完了]をクリック

9 [OK]をクリック

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動します。再起動をする旨の画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。

- 既にW-TCP設定が最適化されている場合は、再起動する必要はありません。
- 通信を実行する ☛P11

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

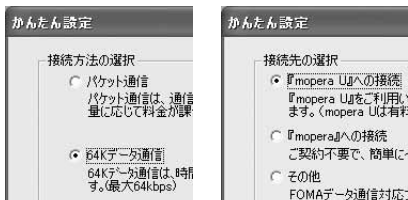
設定はFOMA端末をパソコンに正しく接続してから行ってください。☛P4

例 Windows XPの場合

mopera U / moperaを利用する場合

- その他のプロバイダの場合☛P11

1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / moperaを利用する場合」の操作1～3を行う☛P7

- 操作2の接続方法は「64Kデータ通信」を選択します。

2 任意の接続名を入力しモデムを選択 ▶［次へ］をクリック

- 次の記号（半角文字）は入力できません。
  ￥/: ＊ ?!<> ｜ ”
- 「モデムの選択」が「FOMA D851iWM」に設定されていることを確認します。

3 ［次へ］をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
- Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。Windows Me、98の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

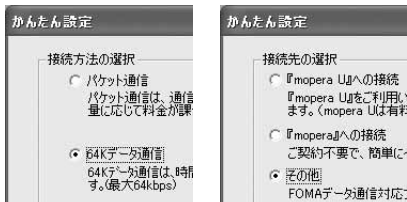
- 通信を実行する☛P11

つづく

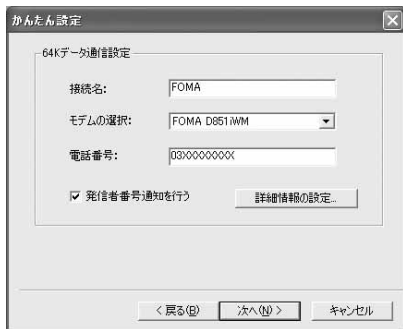
その他のプロバイダを利用する場合

• mopera U / mopera の場合 ☛P10

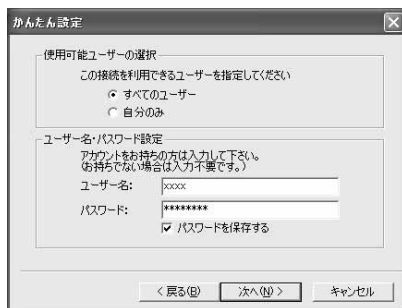
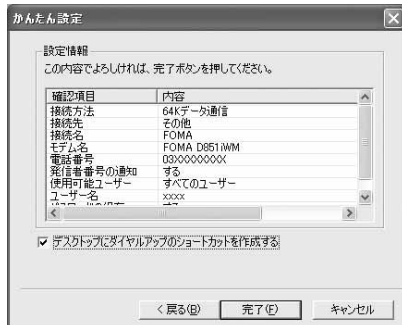
1 「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U / mopera を利用する場合」の操作 1 ～ 3 を行う ☛P7

• 操作 2 の接続方法は「64K データ通信」、操作 3 の接続先は「その他」を選択します。

2 各項目を設定 ▶ ［次へ］をクリック

• 次の項目を登録します。

・接続名　　　：任意
・モデムの選択：FOMA D851iWM
・電話番号　　：プロバイダ情報を基に入力

■ 高度な設定（TCP/IP の設定）：
［詳細情報の設定］をクリックすると「IP アドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。ご加入のプロバイダや、社内 LAN などのダイヤルアップ情報として入力が必要な場合は、入力指示情報を基に各種アドレスを登録してください。

3 ユーザー名・パスワードを入力 ▶ ［次へ］をクリック

•「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
• WindowsXP、2000 の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択すると Windows にログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。Windows Me、98 の場合は、「使用可能ユーザーの選択」は表示されません。

4 設定情報を確認して［完了］をクリック

5 ［OK］をクリック

• 通信を実行する ☛P11

通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

1 FOMA 端末とパソコンを接続する ☛P3

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック

• アイコンはOSによって異なります。

つづく

・デスクトップに接続アイコンを作成しなかった場合は、スタートメニューから起動します。

■ Windows XP のスタートメニューから起動：
① [スタート] →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック
② 接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000、Me、98 のスタートメニューから起動：
① [スタート] →「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98 の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）をクリック
② 接続アイコンをダブルクリック

3 各項目を確認して [ダイヤル] をクリック

・mopera U / mopera を選択した場合は「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。
・ご加入のプロバイダなどの指示により必要な場合は、入力指示情報を基に「ユーザー名」「パスワード」を入力して［ダイヤル］（Me、98 の場合は [接続] ）をクリックします。
・OS によっては、接続完了画面が表示されることがあります。[OK] をクリックしてください。

■ 通信中の FOMA 端末画面

パケット通信を実行すると発信中画面、64K データ通信を実行すると呼出中画面がそれぞれ表示され、接続すると次の画面が表示されます。

おしらせ

● パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
● データ通信を実行する場合、接続アイコン作成時の FOMA 端末を接続した場合のみ有効です。
● D851iWM 以外の FOMA 端末を接続する場合は、ご利用になる FOMA 端末の通信設定ファイルをインストールする必要があります。

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリック

・Windows Me、98 の場合はダブルクリックします。

2 [切断] をクリック

パケット通信の設定を最適化する

「W-TCP 設定」を利用してパソコンのパケット通信の設定を FOMA ネットワーク用に最適化する方法と最適化を解除する方法について説明します。
「W-TCP 設定」とは FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最適化するための「TCP パラメータ設定ツール」です。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

Windows XP の場合

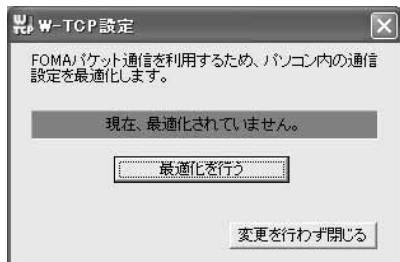
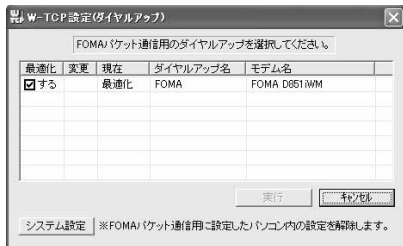
ダイヤルアップごとに最適化できます。

1 「FOMA PC設定ソフト」を起動（☞P7）▶[W-TCP設定]をクリック

■ タスクトレイから起動： をクリック

つづく

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき：
① W-TCP 設定画面で［最適化を行う］をクリック
② 最適化するダイヤルアップを選択▶［実行］をクリック
システム設定とダイヤルアップ設定のそれぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき：
次の画面が表示されます。内容を変更する場合は設定を行ってください。

■ 最適化を解除するとき：
①「W-TCP 設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリック
W-TCP 設定画面が表示されます。
②［最適化を解除する］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動

• 設定した内容は再起動後に有効になります。

Windows 2000、Me、98 の場合

1「FOMA PC設定ソフト」を起動（☛P7）▶［W-TCP設定］をクリック

■ タスクトレイから起動：をクリック

2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき：［最適化を行う］をクリック

■ 最適化されているシステム設定を解除するとき：［最適化を解除する］をクリック

3 画面に従ってパソコンを再起動する

• 設定した内容は再起動後に有効になります。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

接続先（APN）は最大10件設定でき、登録番号（cid）の1～10に登録して管理します。

お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」、cid3 には「mopera.net」が設定されています。

• 設定を行う前に FOMA 端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。☛P4
• mopera U / mopera 以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

1「FOMA PC設定ソフト」を起動（☛P7）▶［接続先（APN）設定］をクリック

「FOMA 端末設定取得」画面が表示されます。

2［OK］をクリック

FOMA 端末に登録されている「接続先（APN）情報」を読み込みます。

3 接続先（APN）の設定を行う

■ 接続先（APN）を追加する：［追加］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を編集または修正する：対象の接続先（APN）を一覧から選択▶［編集］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を削除する：対象の接続先（APN）を一覧から選択▶［削除］をクリック
• cid1 と cid3 に登録されている接続先は削除できません（cid 3を選択して［削除］をクリックしても、実際には削除されず、「mopera.net」に戻ります）。

■ ファイルへ保存する：「ファイル」→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック
• FOMA 端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込む：「ファイル」→「開く」をクリック

• パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA 端末に書き込んだりするときに利用します。

■ FOMA 端末から接続先（APN）情報を読み込む：「ファイル」→「FOMA 端末から設定を取得」をクリック
FOMA 端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA 端末へ接続先（APN）情報を書き込む：[FOMA 端末へ設定を書き込む] をクリック
表示されている接続先（APN）設定が FOMA 端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成する：
① 追加・編集された接続先（APN）を選択 ▶ [ダイヤルアップ作成] をクリック
「FOMA 端末設定書き込み」画面が表示されます。
② [はい] をクリック ▶ [OK] をクリック
FOMA 端末へ接続先（APN）情報の書き込み終了後、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。
③ 任意の接続名を入力 ▶ [アカウント・パスワードの設定] をクリック
④ ユーザー名とパスワードを入力 ▶ [OK] をクリック
• mopera U / moperaの場合は空欄でも接続できます。
• Windows XP、2000の場合は、使用可能ユーザーを選択してください。「すべてのユーザー」を選択するとWindowsにログオンできるすべてのユーザーがこの接続を利用できます。
• ご利用のプロバイダより、IPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で [詳細情報の設定] をクリックし、必要な情報を登録後、[OK] をクリックしてください。
⑤ [OK] をクリック ▶ [OK] をクリック
⑥ [FOMA 端末へ設定を書き込む] をクリック
上書きするかどうかの確認画面が表示されます。
⑦ [はい] をクリック ▶ [OK] をクリック

おしらせ

● 接続先（APN）設定は FOMA 端末に登録される情報のため、異なる FOMA 端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APN を登録し直してください。
● パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じ APN の登録番号（cid）を FOMA 端末に登録してください。
● 通信設定ファイルの確認で FOMA 端末が COM1 ～ 9 以外の番号として認識されている場合は、APN 設定の際、APN の情報の取得・書き込みができない場合があります。その場合は Windows 標準添付の「ハイパーターミナル」を使って設定します。☛P15

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

操作の前に、必ず「インストール・アンインストール前の注意点」をお読みください。☛P3

アンインストールを実行する前に

タスクトレイの アイコン を右クリックし、「常駐させない」をクリックして、「W-TCP 設定」の常駐を解除してください。

アンインストールする

例 Windows XP の場合

1 [スタート] →「コントロールパネル」→ [プログラムの追加と削除] アイコンをクリック

■ Windows 2000、Me、98 の場合：
① [スタート] →「設定」→「コントロールパネル」をクリック
② [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリック

2 「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択 ▶ [変更と削除] をクリック

• Windows Me、98 の場合は [追加と削除] をクリックします。

3 削除するプログラム名を確認して [はい] をクリック

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。

■「W-TCP 最適化」の解除：
W-TCP が最適化されている場合は確認画面が表示されます。
• 通常は [はい] をクリックして、最適化を解除してください。
• 再起動の確認画面が表示されたら、今すぐ再起動するかどうかを選び [完了] をクリックします。
• 「W-TCP 最適化」の解除は、パソコンの再起動後に行われます。

4 [OK] をクリック

FOMA PC設定ソフトを利用しないで通信する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64K データ通信のダイヤルアップネットワークの設定を行う方法について説明します。

設定操作の流れ

通信設定ファイルのインストール ☛P4
パソコンと FOMA 端末の接続 ☛P3

接続先（APN）の設定
（64K データ通信の場合、パケット通信の接続先が mopera U / mopera の場合は、設定不要）

発信者番号通知／非通知の設定 ☛P16
（必要に応じて設定）

その他の設定（AT コマンド） ☛P23
（必要に応じて設定）

ダイヤルアップネットワークの設定

ご使用の OS	設定	
	接続先	TCP/IP
Windows XP	P17	P18
Windows 2000	P18	P20
Windows Me	P21	P21
Windows 98	P22	P22

- 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

接続 ☛P22（切断 ☛P23）

パケット通信の接続先（APN）を設定する

設定を行うためには、AT コマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここでは Windows 標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

お買い上げ時　cid1：mopera.ne.jp
cid3：mopera.net
cid2、4 ～ 10：未登録

例 Windows XP の場合

1 **パソコンと FOMA 端末を接続する** ☛P3

2 **[スタート] →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」をクリック ▶「ハイパーターミナル」をクリック（Windows 98 ではさらに [Hypertrm] アイコンをダブルクリック）**

- Windows XP 以外の場合は、「すべてのプログラム」が「プログラム」と表示されます。

3 **「名前」に接続先名など任意の名前を入力 ▶ [OK] をクリック**

4 **「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を仮入力し、「接続方法」から「FOMA D851iWM」を選択 ▶ [OK] をクリック**

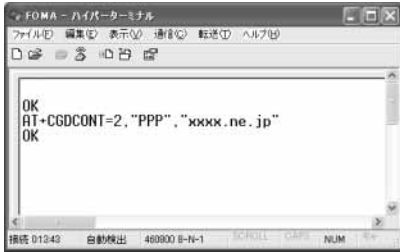
- 市外局番は接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 **接続画面が表示されたら [キャンセル] をクリック**

6 **接続先（APN）を入力 ▶ ⏎ を押す**

- 「AT+CGDCONT ＝ < cid > ,“PPP”,“APN”」の形式で入力します。

つづく

<cid> : 2、4～10の任意の番号を入力します。
"PPP" : そのまま "PPP" と入力します。
"APN" : 接続先（APN）を " " で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

■ 接続先（APN）設定をリセットするとき：
AT+CGDCONT=⏎
すべての cid をリセットします。
- ＜ cid ＞ =1 と 3 はお買い上げ時の設定に戻り、＜ cid ＞ =2、4 ～ 10 の設定は未登録になります。

AT+CGDCONT= ＜ cid ＞⏎
特定の cid をリセットします。

■ 接続先（APN）設定を確認するとき：
AT+CGDCONT?⏎
- 詳細 ☞P29

■ AT コマンドを入力しても画面に表示されないとき：ATE1⏎
- 詳細 ☞P27

7 「OK」と表示されていることを確認し、「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」の表示後に [はい] をクリックします。
- 「"XXX" と名前付けされた接続を保存しますか？」の表示後に [いいえ] をクリックします。

接続先(APN)と登録番号(cid)について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号cid1～10に設定できます。お買い上げ時、cid1には「mopera.ne.jp」、cid3 には「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANなどに接続する場合は、cid2、4～10に接続先（APN）を登録してください。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録と考えられます。接続先の設定項目を FOMA 端末電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA 端末電話帳の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

- 登録した cid はダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報なので、通知する際には十分にご注意ください。

- mopera U / moperaをご利用になる場合は、「通知」に設定します。

お買い上げ時 設定なし

1 「パケット通信の接続先（APN）を設定する」の操作 1 ～ 5 を行う ☞P15

2 パケット通信時の発信者番号の通知（186）／非通知（184）を設定

「AT ＊ DGPIR= ＜ n ＞」の形式で入力します。

AT ＊ DGPIR=1⏎
パケット通信確立時、接続先（APN）に「184」を付けて接続します。

AT ＊ DGPIR=2⏎
パケット通信確立時、接続先（APN）に「186」を付けて接続します。

3 「OK」と表示されていることを確認し、[ファイル] → 「ハイパーターミナルの終了」をクリック

- 「現在、接続されています。切断してもよろしいですか？」の表示後に [はい] をクリックします。
- 「"XXX" と名前付けされた接続を保存しますか？」と表示後に [いいえ] をクリックします。

■ ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について
ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に「186」（通知）／「184」（非通知）を付けられます。
AT ＊ DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で「186」（通知）／「184」（非通知）の設定を行った場合、発信者番号の通知／非通知は次のようになります。

AT＊DGPIRコマンドによる通知／非通知設定 ＼ ダイヤルアップネットワークの設定（＜cid＞=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊ 99 ＊＊＊ 3#	通知	非通知	通知
184 ＊ 99 ＊＊＊ 3#	非通知		
186 ＊ 99 ＊＊＊ 3#	通知		

- AT ＊ DGPIR コマンドによる通知／非通知設定を「設定なし」に戻すには、「AT ＊ DGPIR=0」と入力してください。

Windows XP で設定する

「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先と TCP/IP プロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

2 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック

「新しい接続ウィザード」画面が表示されます。

3 ［次へ］をクリック

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

4 「インターネットに接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

準備画面が表示されます。

5 「接続を手動でセットアップする」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

インターネット接続画面が表示されます。

6 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

デバイスの選択画面が表示されます。

- インストールされているモデムが1台しかない場合、デバイスの選択画面は表示されません。操作 8 へ進みます。

7 「モデム－ FOMA D851iWM(COMx) ※ 1」のみ選択 ▶ ［次へ］をクリック

※ 1：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。

8 「ISP 名」に任意の接続名を入力 ▶ ［次へ］をクリック

9 「電話番号」に接続先の番号（半角文字）を入力 ▶ ［次へ］をクリック

■ パケット通信の場合：

＊ 99 ＊＊＊< cid >＃を入力します。

- <cid>には､｢パケット通信の接続先(APN)を設定する｣（☛P15）で登録した cid 番号を入力します。mopera U は＊ 99 ＊＊＊ 3 ＃､mopera は＊ 99 ＊＊＊ 1 ＃となります。

■ 64K データ通信の場合：

接続先の電話番号を入力します。

- mopera Uは＊8701､moperaは＊9601を入力します。

10 「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力 ▶ 各項目を以下のように設定 ▶ ［次へ］をクリック

- 接続先が mopera U / mopera の場合は､｢ユーザー名｣｢パスワード｣｢パスワードの確認入力｣については空欄でも接続できます。各項目を画面のように設定し［次へ］をクリックします。

11 ［完了］をクリック

12 設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

• ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択 ▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

• 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA D851iWM（COMx）※1」のみ選択します。

※1：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。

• 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認

• 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP:Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。

• 「この接続は次の項目を使用します」は、「インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。「QoS パケットスケジューラ」は設定変更できませんので、そのままにしてください。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリック

Windows 2000 で設定する

「ネットワークの接続ウィザード」を使用して、接続先と TCP/IP プロトコルの両方を設定します。

接続先を設定する

1 ［スタート］→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック

「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面が表示されます。

2 ［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック

「所在地情報」画面が表示されます。

• この画面は［新しい接続の作成］アイコンを初めてダブルクリックしたときに表示されます。2 回目以降の場合は、操作 5 へ進みます。

3 「市外局番」を入力 ▶［OK］をクリック

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

4 ［OK］をクリック

「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されます。

5 ［次へ］をクリック

ネットワーク接続の種類を選択する画面が表示されます。

6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

「インターネット接続ウィザード」の開始画面が表示されます。

7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

インターネット接続の設定選択画面が表示されます。

8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

モデムの選択画面が表示されます。

- 複数のモデムがインストールされていない場合、この画面は表示されません。操作10に進みます。

9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA D851iWM」に設定されていることを確認して［次へ］をクリック

インターネットアカウントの接続情報画面が表示されます。

- 「FOMA D851iWM」に設定されていない場合は、「FOMA D851iWM」に設定してください。

10 「電話番号」に接続先の番号（半角文字）を入力 ▶ ［詳細設定］をクリック

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

■ パケット通信の場合：

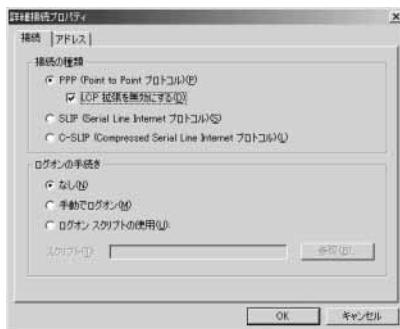
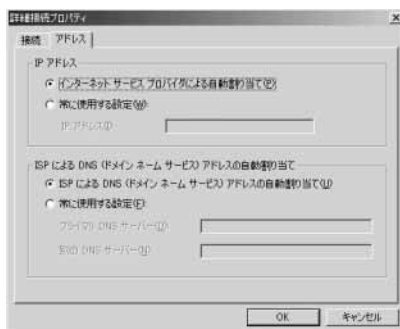
＊99＊＊＊<cid>#を入力します。

- <cid>には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P15）で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3#、moperaは＊99＊＊＊1#となります。

■ 64Kデータ通信の場合：

接続先の電話番号を入力します。

- mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。

11 ［接続］タブの各項目を以下のように設定

12 ［アドレス］タブをクリック ▶ 各項目を以下のように設定

13 ［OK］をクリック

インターネットアカウントの接続情報画面に戻ります。

14 ［次へ］をクリック

インターネットアカウントのログオン情報画面が表示されます。

15 「ユーザー名」と「パスワード」を入力 ▶ ［次へ］をクリック

- 接続先がmopera U／moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続

できます。入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

16 「接続名」に任意の接続名を入力 ▶ ［次へ］をクリック

17 「いいえ」を選択 ▶ ［次へ］をクリック

18 ［完了］をクリック

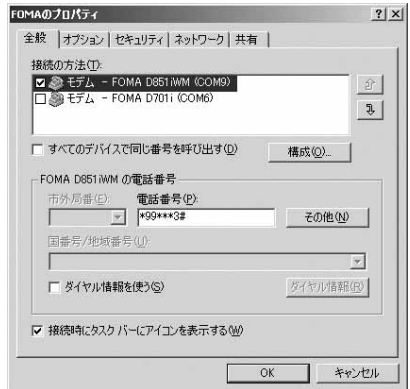
「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面に戻ります。

TCP/IP プロトコルを設定する

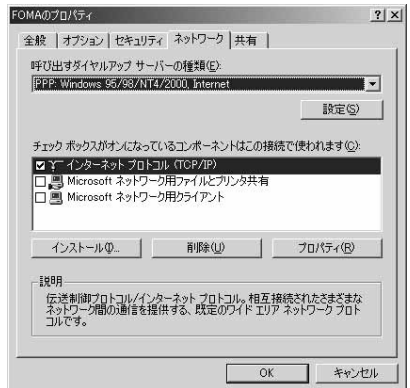
1 作成した接続先アイコンを選択 ▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック

2 ［全般］タブの各項目の設定を確認

- 複数のモデムがインストールされている場合は､｢接続の方法｣の｢モデム－FOMA D851iWM（COMx）※1｣のみ選択します。
  モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、再度接続先電話番号を入力してください。

※ 1：COMx の x はお使いのパソコンによって異なります。

- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認

- 「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: Windows 95/98/NT4/2000, Internet」に設定します。
- コンポーネントは｢インターネット プロトコル（TCP/IP）」だけを選択します。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）にして［OK］をクリック

接続先のプロパティ画面に戻ります。

6 ［OK］をクリック

Windows Me で設定する

接続先を設定する

•Windows 98 の設定方法も同じです。

1 [スタート] →「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ダイヤルアップネットワーク」をクリック

「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面が表示されます。

- この画面は「ダイヤルアップネットワーク」を初めて選択したときに表示されます。2 回目以降の場合は、操作 3 へ進みます。

2 [次へ] をクリック

「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。

3 [新しい接続] アイコンをダブルクリック

4「接続名」に任意の接続名を入力 ▶ [次へ] をクリック

- 「モデムの選択」が「FOMA D851iWM」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D851iWM」に設定します。

5 接続先の番号（半角文字）を入力 ▶ [次へ] をクリック

■ パケット通信の場合：
＊99＊＊＊< cid >＃を入力します。
- < cid >には、「パケット通信の接続先（APN）を設定する」（☛P15）で登録したcid番号を入力します。mopera Uは＊99＊＊＊3＃、moperaは＊99＊＊＊1＃となります。

■ 64K データ通信の場合：
接続先の電話番号を入力します。
- mopera Uは＊8701、moperaは＊9601を入力します。
- 「市外局番」には何も入力しません。

6 接続先名を確認 ▶ [完了] をクリック

TCP/IP プロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択 ▶「ファイル」→「プロパティ」をクリック

2 [全般] タブの各項目の設定を確認

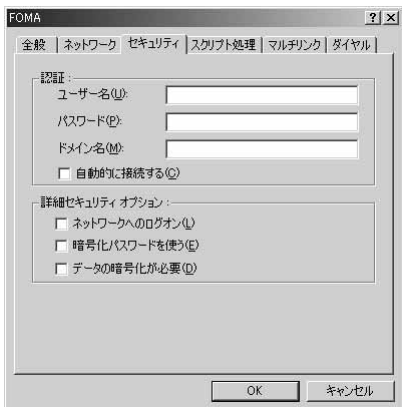
- 「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」を非選択（□）にします。
- 「接続方法」が「FOMA D851iWM」に設定されていることを確認してください。設定されていない場合は、「FOMA D851iWM」に設定します。

つづく

3 **[ネットワーク]タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認**

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は「PPP: インターネット、Windows2000/NT、Windows Me」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

4 **[セキュリティ]タブをクリック ▶「ユーザー名」と「パスワード」を入力し、[OK]をクリック**

- 接続先が mopera U / mopera の場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。

Windows 98 で設定する

接続先を設定する

Windows Me の設定方法と同じです。☛P21

TCP/IP プロトコルを設定する

1 **「Windows Me で設定する」の「TCP/IP プロトコルを設定する」の操作 1 ～ 2 を行う** ☛P21

2 **[サーバーの種類]タブをクリック ▶ 各項目の設定を確認**

- 「ダイヤルアップサーバーの種類」は、「PPP: インターネット、Windows NT Server、Windows 98」に設定します。
- 「詳細オプション」はすべて非選択（□）にします。
- 「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」だけを選択します。

3 **[OK] をクリック**

ダイヤルアップ接続する

パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続を行う方法について説明します。

例 Windows XP の場合

1 **FOMA 端末とパソコンを接続する** ☛P3

2 **[スタート] →「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワーク接続」をクリック**

「ネットワーク接続」画面が表示されます。

- Windows 2000、Me、98 の場合は、[スタート] →「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」（Me、98 の場合は「ダイヤルアップネットワーク」）の順にクリックします。

3 **接続先のアイコンをダブルクリック**

つづく

4 各項目を確認して［ダイヤル］をクリック

- Windows Me、98 の場合は、各項目を確認して、[接続] をクリックします。
- 「ダイヤル」または「電話番号」には、ダイヤルアップネットワークに設定した接続先の番号が表示されます。
- 接続先がmopera U / moperaの場合は、「ユーザー名」「パスワード」については空欄でも接続できます。

通信を切断するには

ブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

1 タスクトレイの をクリック

- Windows Me、98 の場合はダブルクリックします。

2 ［切断］をクリック

AT コマンド

AT コマンドとは、パソコンで FOMA 端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA 端末は、AT コマンドに準拠しさらに拡張コマンドの一部や独自の AT コマンドをサポートしています。

AT コマンドについて

■ AT コマンドの入力形式

AT コマンドは、コマンドの先頭に「AT」を付けて入力します。半角英数字で入力してください。次に入力例を示します。

ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#⏎

コマンド　パラメータ　Enter キーを押します

AT コマンドはコマンドに続くパラメータ（数字や記号）を含めて、1 行で入力します。1 行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、160 文字（「AT」含む）まで入力できます。

■ AT コマンドの入力モード

AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。
ターミナルモードとは、パソコンを 1 台の通信端末（ターミナル）のように動作させるモードです。キーボードから入力した文字が通信ポートに接続されている機器や回線に送られます。

- オフラインモード
  FOMA 端末が待受の状態です。通常 AT コマンドで FOMA 端末を操作する場合は、この状態で行います。
- オンラインデータモード
  FOMA 端末が通信中の状態です。この状態のときに AT コマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させることがあります。通信中は AT コマンドを入力しないでください。
- オンラインコマンドモード
  FOMA 端末が通信中の状態でも、AT コマンドで FOMA 端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したまま AT コマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替える

FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- 「+++」コマンドまたは「S2」レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※1の ER 信号を OFF にします。

オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO ↵ 」と入力します。

※1：USB インタフェースにより、RS-232C の信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによる RS-232C の信号線制御が有効になります。

AT コマンド一覧

- AT コマンド入力時に、使用している PC や通信ソフトのフォント設定により、「¥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。
- ここで説明するのは FOMA D851iWM Modem Port で使用できる AT コマンドです。

※ 1　：AT&F コマンドで設定が初期化されます。
※ 2　：AT&W コマンドで FOMA 端末に記憶でき、ATZ コマンドで復元できます。
「なし」：表示コマンド、テストコマンドがない AT コマンドです。
[　]　：省略できるパラメータです。

コマンド		概要・パラメータ					
AT%V		FOMA 端末のバージョンを「Verx.xx」の形式で表示します。					
	例	設定	AT%V	表示	なし	テスト	なし
AT&C[n]		DTE への回路 CD 信号の動作条件を選択します。 n=0: 回路 CD 信号を常に ON にします。(パラメータ省略時) n=1: 回路 CD 信号は相手モデムの状態に従って変化します。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&C1	表示	なし	テスト	なし
AT&D[n]		オンラインデータモードの場合に、DTE から受け取る回路 ER 信号が ON から OFF に変わったときの動作を設定します。 n=0:ER 信号の状態を無視します（常に ON)。(パラメータ省略時) n=1:ER 信号が ON から OFF に変わるとオンラインコマンドモードになります。 n=2:ER 信号が ON から OFF に変わると回線を切断し、オフラインモードになります。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&D1	表示	なし	テスト	なし
AT&E[n]		接続時の速度表示仕様を選択します。 ATX コマンドが n=0 以外の場合に有効です。 n=0 : 無線区間通信速度を表示します。 n=1 : パソコンと FOMA 端末間の通信速度を表示します。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&E1	表示	なし	テスト	なし
AT&F[0]		FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。着信中に実行すると、着信には影響を与えずに、FOMA 端末をお買い上げ時の状態に戻します。通信中は通信を切断してからお買い上げ時の状態に戻します。					
	例	設定	AT&F0	表示	なし	テスト	なし
AT&S[n]		FOMA 端末の出力する DR 信号の制御を設定します。 n=0: 常に ON にします。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 回線接続時に DR 信号を ON にします。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT&S0	表示	なし	テスト	なし
AT&W[0]		現在の設定値を FOMA 端末に書き込みます。					
	例	設定	AT&W0	表示	なし	テスト	なし
AT ＊ DANTE		電波の強さ（受信レベル）を「＊ DANTE:m」の形式で表示します。 m=0: 圏外です。　m=1 ～ 3:FOMA 端末に表示されるアンテナの本数です。					
	例	設定	AT ＊ DANTE	表示	AT ＊ DANTE?	テスト	AT ＊ DANTE=?
AT ＊ DGANSM=n		パケット着信呼に対して、着信拒否、着信許可を設定します。 n=0: 着信拒否設定と着信許可設定を OFF にします。(お買い上げ時) n=1: 着信拒否設定を ON にします。　n=2: 着信許可設定を ON にします。					
	例	設定	AT ＊ DGANSM=0	表示	AT ＊ DGANSM?	テスト	AT ＊ DGANSM=?
AT ＊ DGAPL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を許可する接続先 (APN) を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。 n=0:cid で定義された APN を着信許可リストへ追加します。 n=1:cid で定義された APN を着信許可リストから削除します。 cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。					
	例	設定	AT ＊ DGAPL=0,1	表示	AT ＊ DGAPL?	テスト	AT ＊ DGAPL=?
AT ＊ DGARL=n[,cid]		パケット着信呼に対して、着信を拒否する接続先 (APN) を設定します。APN は「+CGDCONT」で定義された cid パラメータを使用します。 n=0:cid で定義された APN を着信拒否リストへ追加します。 n=1:cid で定義された APN を着信拒否リストから削除します。 cid パラメータを省略すると、すべての cid を追加または削除します。					
	例	設定	AT ＊ DGARL=0,1	表示	AT ＊ DGARL?	テスト	AT ＊ DGARL=?

つづく

<table>
<tr><th>コマンド</th><th colspan="7">概要・パラメータ</th></tr>
<tr><td>AT ＊ DGPIR=n</td><td colspan="7">パケット通信時の番号通知、非通知を設定します。発信時、着信時に有効です。
n=0: パケット通信確立時に、APN をそのまま使用します。（お買い上げ時）
n=1: パケット通信確立時に、APN に「184」を付けます。
n=2: パケット通信確立時に、APN に「186」を付けます。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT ＊ DGPIR=0</td><td>表示</td><td>AT ＊ DGPIR?</td><td>テスト</td><td>AT ＊ DGPIR=?</td></tr>
<tr><td>AT ＊ DRPW</td><td colspan="7">受信電力指標を「＊ DRPW:m」の形式で表示します。m:0 ～ 75</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT ＊ DRPW</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT ＊ DRPW=?</td></tr>
<tr><td>+++</td><td colspan="7">FOMA 端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えます。エスケープガード区間は、1 秒間の固定です。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>+++</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>AT+CEER</td><td colspan="7">直前の通信の切断理由を表示します。☛P29</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CEER</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CEER=?</td></tr>
<tr><td>AT+CGDCONT</td><td colspan="7">パケット通信時の接続先 (APN) を設定します。☛P29</td></tr>
<tr><td>AT+CGEQMIN</td><td colspan="7">パケット通信確立時に、ネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を登録します。☛P29</td></tr>
<tr><td>AT+CGEQREQ</td><td colspan="7">パケット通信の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。☛P30</td></tr>
<tr><td>AT+CGMR</td><td colspan="7">FOMA 端末のバージョンを 16 桁の数字で表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CGMR</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CGMR=?</td></tr>
<tr><td>AT+CGREG=[n]</td><td colspan="7">ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は、圏内または圏外です。
n=0: 通知しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: 通知します。「+CGREG:n,stat」の形式で通知されます。
stat=0: 圏外　stat=1: 圏内 (home)　stat=4: 不明　stat=5: 圏内 (visitor)</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CGREG=1</td><td>表示</td><td>AT+CGREG?</td><td>テスト</td><td>AT+CGREG=?</td></tr>
<tr><td>AT+CGSN</td><td colspan="7">FOMA 端末の製造番号を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CGSN</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CGSN=?</td></tr>
<tr><td>AT+CLIP=[n]</td><td colspan="7">64K データ通信の着信時に、相手の発信者番号をパソコンに表示します。
n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: 表示します。
AT+CLIP? を入力すると、「+CLIP:n,m」が表示されます。
m=0: 発信時に相手に発信者番号を通知しないネットワーク設定
m=1: 発信時に相手に発信者番号を通知するネットワーク設定　m=2: 不明</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CLIP=0</td><td>表示</td><td>AT+CLIP?</td><td>テスト</td><td>AT+CLIP=?</td></tr>
<tr><td>AT+CLIR=[n]</td><td colspan="7">64K データ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。
n=0: サービス契約の設定に従います。（パラメータ省略時）　n=1: 通知しません。
n=2: 通知します。（お買い上げ時）
AT+CLIR? を入力すると、「+CLIR:n,m」を表示します。
m=0:CLIR が起動していません。（常時通知）　m=1:CLIR が起動しています。（常時非通知）
m=2: 不明　m=3:CLIR テンポラリーモード（非通知デフォルト）
m=4:CLIR テンポラリーモード（通知デフォルト）</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CLIR=0</td><td>表示</td><td>AT+CLIR?</td><td>テスト</td><td>AT+CLIR=?</td></tr>
<tr><td>AT+CMEE=[n]</td><td colspan="7">FOMA 端末のエラーレポートの形式を設定します。☛P29
n=0:「ERROR」を表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1:「+CME ERROR : xxxx」の形式（xxxx は数字）で表示します。
n=2:「+CME ERROR : xxxx」の形式（xxxx は文字）で表示します。</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CMEE=0</td><td>表示</td><td>AT+CMEE?</td><td>テスト</td><td>AT+CMEE=?</td></tr>
<tr><td>AT+CNUM</td><td colspan="7">FOMA 端末の自局番号を表示します。「+CNUM:, “number”,type」の形式で表示します。
number: 電話番号
type=129:「+81」を表示しません。　type=145:「+81」を表示します。</td></tr>
<tr><td></td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CNUM</td><td>表示</td><td>なし</td><td>テスト</td><td>AT+CNUM=?</td></tr>
<tr><td>AT+CR=[n]</td><td colspan="7">回線接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別（パケット通信または 64K データ通信）を表示するかどうかを設定します。
n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1: 表示します。「+CR:serv」の形式で表示します。
serv=SYNC:64K データ通信　serv=GPRS: パケット通信</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CR=0</td><td>表示</td><td>AT+CR?</td><td>テスト</td><td>AT+CR=?</td></tr>
<tr><td>AT+CRC=[n]</td><td colspan="7">着信時に +CRING:type のリザルトコードを使用するかどうかを設定します。
n=0:+CRING:type のリザルトコードを使用しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時）
n=1:+CRING:type のリザルトコードを使用します。応答例は以下のとおりです。
パケット通信　… +CRING:GPRS “PPP”,,, “mopera.net”
64K データ通信… +CRING:SYNC</td></tr>
<tr><td>※ 1、※ 2</td><td>例</td><td>設定</td><td>AT+CRC=0</td><td>表示</td><td>AT+CRC?</td><td>テスト</td><td>AT+CRC=?</td></tr>
</table>

つづく

コマンド		概要・パラメータ					
AT+CREG=[n]		圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0: 表示しません。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: 表示します。 AT+CREG? を入力すると、「+CREG:n,stat」の形式で表示します。 stat=0: 圏外 stat=1: 圏内 (home) stat=4: 不明 stat=5: 圏内 (visitor)					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+CREG=0	表示	AT+CREG?	テスト	AT+CREG=?
AT+GMI		FOMA 端末の製造会社名を表示します。					
	例	設定	AT+GMI	表示	なし	テスト	AT+GMI=?
AT+GMM		FOMA 端末名を表示します。					
	例	設定	AT+GMM	表示	なし	テスト	AT+GMM=?
AT+GMR		FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	AT+GMR	表示	なし	テスト	AT+GMR=?
AT+IFC=[n,[m]]		パソコンと FOMA 端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n は DCE by DTE の制御を設定します。 n=0: フロー制御しません。 n=1:XON/XOFF フロー制御します。 n=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） m は DTE by DCE の制御を設定します。省略すると DCE by DTE と同じ入力値になります。 m=0: フロー制御しません。 m=1:XON/XOFF フロー制御します。 m=2:RS/CS(RTS/CTS) フロー制御します。（お買い上げ時） パラメータをすべて省略すると、AT+IFC=2,2 になります。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+IFC=2,2	表示	AT+IFC?	テスト	AT+IFC=?
AT+WS46=[22]		発信時に FOMA 端末が使用する無線ネットワークを設定します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT+WS46=22	表示	AT+WS46?	テスト	AT+WS46=?
ATA		パケット通信、64K データ通信の着信時に着信処理をします。パケット通信の着信時には下記を入力できます。 ATA184: 発信者番号通知なし着信 ATA186: 発信者番号通知あり着信					
	例	設定	ATA	表示	なし	テスト	なし
A/		直前に実行したコマンドを再実行します。					
	例	設定	A/	表示	なし	テスト	なし
ATD		パケット通信または 64K データ通信の発信をします。 ・パケット通信…「ATD ＊ 99 ＊＊＊ cid#」の形式で入力します。cid パラメータを省略すると、cid=1 になります。 「ATD184 ＊ 99」で始まる形式で入力した場合、指定した cid パラメータの APN に対して 184（発信者番号通知なし）が付加されます。（186 でも同様です） ・64K データ通信…「ATD 電話番号」の形式で入力します。 ・リダイヤル発信…「ATDL」または「ATDN」の形式で入力します。					
	例	設定	ATD 電話番号	表示	なし	テスト	なし
ATE[n]		パソコンから送信された文字をエコーバックします。 n=0: エコーバックしません。（パラメータ省略時） n=1: エコーバックします。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATE0	表示	なし	テスト	なし
ATH		通信を切断します。					
	例	設定	ATH	表示	なし	テスト	なし
ATI[n]		認識コードを表示します。 n=0:「NTT DoCoMo」と表示します。（パラメータ省略時） n=1:FOMA 端末名を表示します。 n=2:FOMA 端末のバージョンを表示します。					
	例	設定	ATI0	表示	なし	テスト	なし
ATO		オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに移行します。					
	例	設定	ATO	表示	なし	テスト	なし
ATQ[n]		パソコンにリザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0: リザルトコードを表示します。（お買い上げ時、パラメータ省略時） n=1: リザルトコードを表示しません。					
※ 1、※ 2	例	設定	ATQ0	表示	なし	テスト	なし
ATV[n]		リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0: 数字で表示します。（パラメータ省略時） n=1: 文字で表示します。（お買い上げ時）					
※ 1、※ 2	例	設定	ATV1	表示	なし	テスト	なし

コマンド		概要・パラメータ					
ATX[n]		ビジートーン検出、ダイヤルトーン検出、通信速度表示を設定します。 n=0: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示なし。(パラメータ省略時) n=1: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=2: ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。 n=3: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、通信速度表示あり。 n=4: ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、通信速度表示あり。(お買い上げ時)					
※ 1、※ 2	例	設定	ATX1	表示	なし	テスト	なし
ATZ		FOMA 端末の設定を AT&W で記憶させた不揮発メモリの内容に復元します。パケット通信または 64K データ通信の着信中に入力したときは、着信には影響を与えずに復元します。通信中に入力すると、通信を切断してから復元します。					
	例	設定	ATZ	表示	なし	テスト	なし
ATS0=[n]		FOMA 端末で自動着信するまでの呼出(RING)回数を設定します。 n=0: 自動着信しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1 ~ 255					
※ 1、※ 2	例	設定	ATS0=0	表示	ATS0?	テスト	なし
ATS2=[n]		エスケープキャラクタを設定します。 n=0 ~ 127(43: お買い上げ時、0: パラメータ省略時、127: エスケープ処理を無効にする)					
※ 1	例	設定	ATS2=43	表示	ATS2?	テスト	なし
ATS3=[13]		AT コマンドの文字列の最後を認識する復帰 (CR) キャラクタを設定します。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付けられます。(設定値は変更できません)					
※ 1	例	設定	ATS3=13	表示	ATS3?	テスト	なし
ATS4=[10]		改行 (LF) キャラクタの設定をします。英文字でリザルトコードを表示する場合に、復帰 (CR) キャラクタの次に付けられます。(設定値は変更できません)					
※ 1	例	設定	ATS4=10	表示	ATS4?	テスト	なし
ATS5=[8]		AT コマンド入力中に、入力バッファの最後のキャラクタを削除するバックスペース (BS) キャラクタを設定します。(設定値は変更できません)					
※ 1	例	設定	ATS5=8	表示	ATS5?	テスト	なし
ATS6=[n]		ダイヤルするまでのポーズ時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=2 ~ 10:単位は秒。(5: お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※ 1	例	設定	ATS6=5	表示	ATS6?	テスト	なし
ATS7=[n]		パケット通信または 64K データ通信で、発呼してから接続できるまでの待ち時間を設定します。 n=1 ~ 255:単位は秒。(60: お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※ 1、※ 2	例	設定	ATS7=60	表示	ATS7?	テスト	なし
ATS8=[n]		カンマダイヤル機能(ポーズ時間)を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、ポーズ時間は 3 秒で固定です。 n=0 ~ 255:単位は秒。(3: お買い上げ時、0: パラメータ省略時)					
※ 1	例	設定	ATS8=3	表示	ATS8?	テスト	なし
ATS10=[n]		自動切断までの遅延時間を設定します。このコマンドを使用しても、レジスタは設定されますが、動作しません。 n=1 ~ 255:単位は 1/10 秒。(1: お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※ 1、※ 2	例	設定	ATS10=1	表示	ATS10?	テスト	なし
ATS30=[n]		データ転送がなかった場合、通信を切断するまでの時間を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=1 ~ 255: 単位は分。 n=0: 切断しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時)					
※ 1	例	設定	ATS30=0	表示	ATS30?	テスト	なし
ATS103=[n]		着サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=0: *(パラメータ省略時) n=1:/(お買い上げ時) n=2:¥					
※ 1	例	設定	ATS103=0	表示	ATS103?	テスト	なし
ATS104=[n]		発サブアドレスを付けて発信するときの区切りに使う記号を設定します。64K データ通信の場合に有効です。 n=0:#(パラメータ省略時) n=1:%(お買い上げ時) n=2:&					
※ 1	例	設定	ATS104=0	表示	ATS104?	テスト	なし
AT¥S		コマンドの設定内容と S レジスタを表示します。					
	例	設定	AT¥S	表示	なし	テスト	なし
AT¥V[n]		接続時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを選択します。 ATX コマンドのパラメータが n=1 ~ 4 の場合に有効です。 n=0: 拡張リザルトコードを使用しません。(お買い上げ時、パラメータ省略時) n=1: 拡張リザルトコードを使用します。					
※ 1、※ 2	例	設定	AT¥V0	表示	なし	テスト	なし

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APN が存在しない、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64K データ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
19	相手を呼び出しましたが通信ができません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信した、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMA カードがセットされていません。
15	SIM wrong	FOMAカード以外のSIM(FOMAカードに相当する IC カード) が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

AT コマンドの補足説明

■ コマンド名：AT+CGDCONT= [パラメータ]

パケット発信時の接続先（APN）を設定します。

書式

AT+CGDCONT＝ [<cid> [, "PPP" [, "<APN>"]]]

パラメータ説明

< cid >：1 ～ 10
　お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」、cid3 には「mopera.net」が登録されています。

< APN >：任意

実行例

「abc」という APN 名を登録する場合のコマンド（< cid > =2 の場合）
AT+CGDCONT=2, "PPP", "abc"

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGDCONT=
　すべての< cid >の設定をクリアします。ただし、「< cid > =1」と「< cid > =3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT= < cid >
　指定された< cid >の設定をクリアします。ただし、「< cid > =1」と「< cid > =3」の設定はお買い上げ時の状態に再設定されます。

AT+CGDCONT=？
　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGDCONT？
　現在の設定値を表示します。

■ コマンド名：AT+CGEQMIN=[パラメータ]

PPP パケット通信確立時にネットワーク側から通知される QoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

書式

AT+CGEQMIN=[< cid > [, , < Maximum bitrate UL > [, < Maximum bitrate DL >]]]

パラメータ説明

< cid >：1 ～ 10
　お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」、cid3 には「mopera.net」が登録されています。

< Maximum bitrate UL >：なしまたは 64

< Maximum bitrate DL >：なしまたは 384
　「Maximum bitrate UL」および「Maximum bitrate DL」では、FOMA 端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「64」および「384」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

実行例

（1）上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（< cid > =2 の場合）
　AT+CGEQMIN=2

（2）上り 64kbps ／下り 384kbps の速度のみ許容する場合のコマンド(<cid>=4の場合)
　AT+CGEQMIN=4,,64,384

（3）上り64kbps／下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（< cid > =5 の場合）
　AT+CGEQMIN=5,,64

（4）上りすべての速度／下り 384kbps の速度のみ許容する場合のコマンド（< cid > =6 の場合）
　AT+CGEQMIN=6,,,384

つづく

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=

　すべての＜ cid ＞の設定をクリアします。

AT+CGEQMIN= ＜ cid ＞

　指定された＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQMIN=？

　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQMIN？

　現在の設定を表示します。

■ **コマンド名：AT+CGEQREQ= ［パラメータ］**

PPP パケット通信の発信時にネットワークへ要求する QoS（サービス品質）を設定します。

書式

AT+CGEQREQ=[＜ cid ＞]

パラメータ説明

上り 64kbps ／下り 384kbps の速度で接続を要求するコマンドのみ設定可能です。各 cid にはその内容がお買い上げ時に設定されています。

＜ cid ＞：1 ～ 10

　お買い上げ時、cid1 には「mopera.ne.jp」、cid3 には「mopera.net」が登録されています。

実行例

（＜ cid ＞ =2 の場合）

AT+CGEQREQ=2

パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=

　すべての＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ= ＜ cid ＞

　指定された＜ cid ＞をお買い上げ時の状態に戻します。

AT+CGEQREQ=？

　設定可能な値のリストを表示します。

AT+CGEQREQ？

　現在の設定を表示します。

リザルトコード

- ATV ［n］ コマンド（☛P27）が n=1 に設定されている場合には文字表示（初期値）、n=0 に設定されている場合には数字表示でリザルトコードが表示されます。

■ **リザルトコード**

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受付られません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウトしました。
100	RESTRICTION	通信ネットワークが混雑しています。しばらくしてから接続し直してください。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ **拡張リザルトコード**

数字表示	文字表示	FOMA 端末−パソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

おしらせ

● 従来の RS-232C で接続するモデムとのパソコンでの処理上の互換性を保つため通信速度の表示はしますが、FOMA 端末− PC 間は付属の USB 接続ケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64K データ通信で接続
2	AV32K	AV（テレビ電話）[32K] で接続
3	AV64K	AV（テレビ電話）[64K] で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX 0 が設定されている場合

AT¥V コマンド（☛P28）の設定に関わらず、接続完了の際にCONNECTのみの表示となります。

文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
CONNECT（数字表示の場合は「1」）

ATX 1 が設定されている場合

• ATX1、AT¥V0が設定されている場合（初期値）
接続完了のときに、CONNECT ＜ FOMA 端末－ PC 間の速度＞の書式で表示します。

文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
CONNECT 460800（数字表示の場合は「1 21」）

• ATX1、AT¥V1 が設定されている場合※1
接続完了のときに、以下のように表示します。

文字表示例：ATD ＊ 99 ＊＊＊ 3#
CONNECT 460800 PACKET mopera.net/64/384（数字表示の場合は「1 21 5」）

FOMA 端末－PC 間速度 460800bps で、mopera.net に、上り最大 64kbps、下り最大 384kbps で接続したことを表します。

※1：ATX1、AT¥V1 を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできない場合があります。
ATX1、AT¥V0 を設定した状態（初期値）でのご利用をおすすめします。